СОБРАНО В PDF: SONICALTAICA
МАТЕРИАЛ: HARLEY-STARS
ПРИ ПОДДЕРЖКЕ: #БИЧ_SQUAD

2019 ©

CORONA EXiV

用品サービス資料



1993年11月

トヨタ自動車株式会社
サービス部

目　次

1	新商品・新機構・新意匠の内容

◇ウッド調パネル----------P　1
◇静電防止プレート----------P　2～P　3
◇トランクサイドケース----------P　4～P　5
◇ニーサポート----------P　6～P　7
◇マルチユースセンターコンソール----------P　8～P　9
◇１ＤＩＮマルチボックス----------P　１０
◇宇光式ナンバープレート用ブラケット----------P　１１～P　１２
◇ドアエッジプロクター----------P　１３
◇アルミペダルセット，アルミフットレスト----------P　１４～P　１５
◇１ＤＩＮ４インチテレビ----------P　１６～P　１８
◇ＴＯＭ’Ｓドレスアップ用品----------P　１９～P　２０

2	旧型車からの改良点

◇サイドバイザー----------P　２１
◇バンパーコーナープロテクター----------P　２２
◇ラック----------P　２３～P　２４
◇ドアオープニングブライト----------P　２５
◇コーナーセンサ（Ｆｒ）----------P　２６
◇ワイヤレスドアロックリモートコントロール----------P　２７

3	Ｑ＆Ａ

----------P　２８～P　３０

4 取付要領書 - 取扱書

◇ウッド調パネル----------P 31～P 34
◇静電防止プレート----------P 35～P 37
◇トランクサイドケース----------P 38～P 39
◇ニーサポート----------P 40～P 42
◇リヤサンシェード----------P 43～P 44
◇1DINマルチボックス----------P 45～P 48
◇ゴールドエンブレム----------P 49～P 50
◇サイドバイザー----------P 51～P 57
◇サンルーフバイザー----------P 58～P 63
◇字光式ナンバープレートブラケット----------P 64～P 67
◇アルミペダルセット----------P 68～P 72
◇アルミフットレスト----------P 73～P 75
◇コーナーセンサー（Fr）----------P 76～P 88
◇　〃　（Rr）----------P 89～P100
◇コンライト----------P101
◇電動フェンダーランプ（Fr）----------P102～P114
◇ドアオープニングブライト----------P115～P118
◇ドアオープニングブライト（トランク用）----------P119～P124
◇フットランプ----------P125～P132
◇リヤフェンダーポール----------P133～P143
◇ワイヤレスドアロックリモコン----------P144～P161
◇ワイヤレストランクオープナ----------P162～P194
◇1DIN4インチテレビ----------P195～P224
◇CDオートチェンジャー----------P225～P228

1	新商品・新機構・新意匠の内容

品名	ウッド調パネル

車種初

1 開発の狙い

インパネ部のドレスアップを目的とした商品。

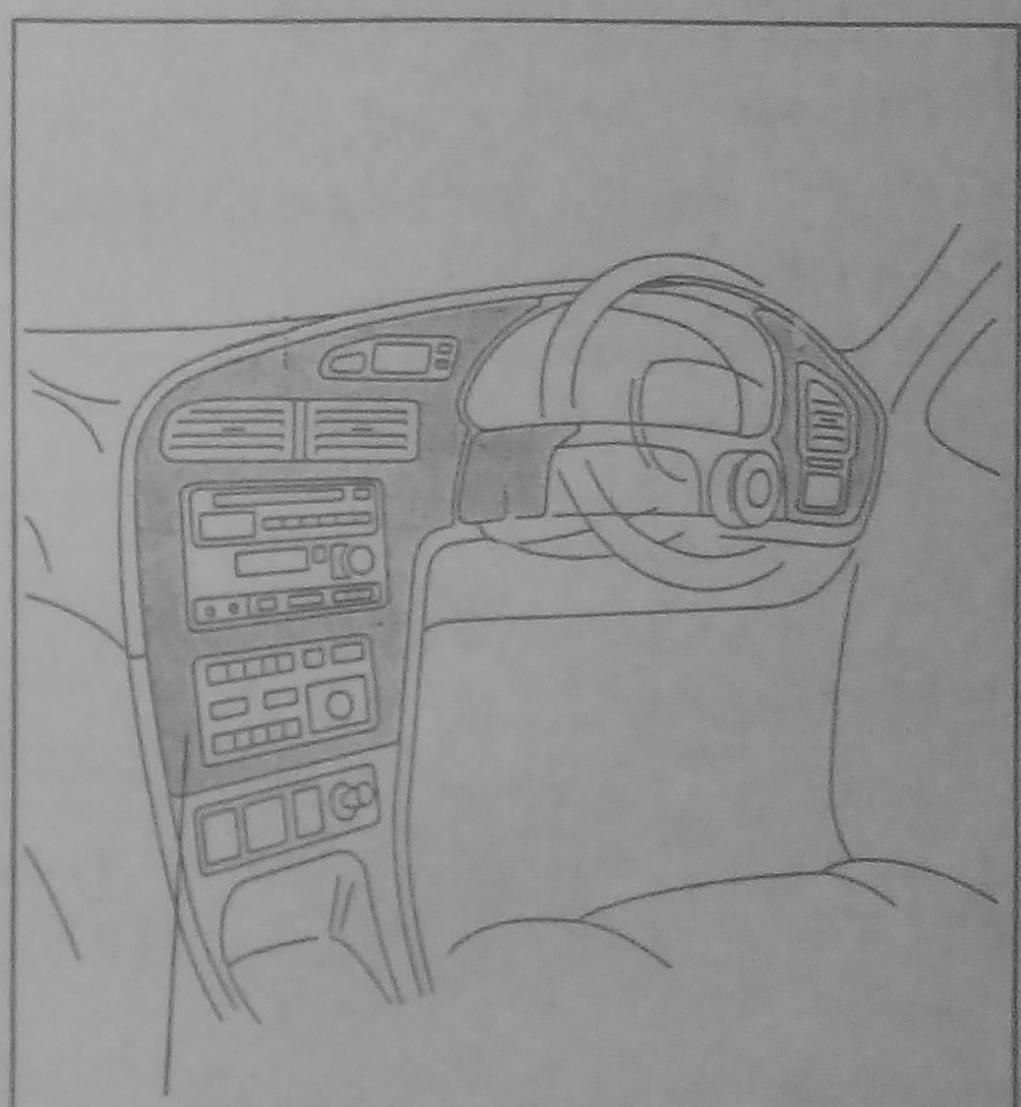
2 商品の特徴

1．ＡＢＳ樹脂板に木目柄を転写しています。

2．柄はバーズアイメープル

3．インパネにフィットする様一部成形形状としました。

4．取付けはウッド調パネルを接着テープで接着します。



ウッド調パネル

3 製品仕様

1．基　材　：ＡＢＳ樹脂板
2．木目・柄：バーズアイメープル
3．表　面　：アクリル系クリアコート

4 取付概要

ウッド調パネルを接着テープでインパネに接着する。

〔取付時間　０．　２Ｈ〕

取り付け上の注意事項

1．接着面は２４時間程度で硬化するのでしっかり圧着してください。
2．何度も貼り直すと接着力が弱まるので注意してください。
3．レジスター部、オーディオ開口部等に位置を合わせて接着するとズレません。
4．取付要領書にてクリーナーの塗布を指定されている場合は必ず行ってください。
（インパネが汚れていたりするとはがれの原因になります）

品名	静電防止プレート

1 開発の狙い

車両降車時に受ける静電気ショックを防止する。

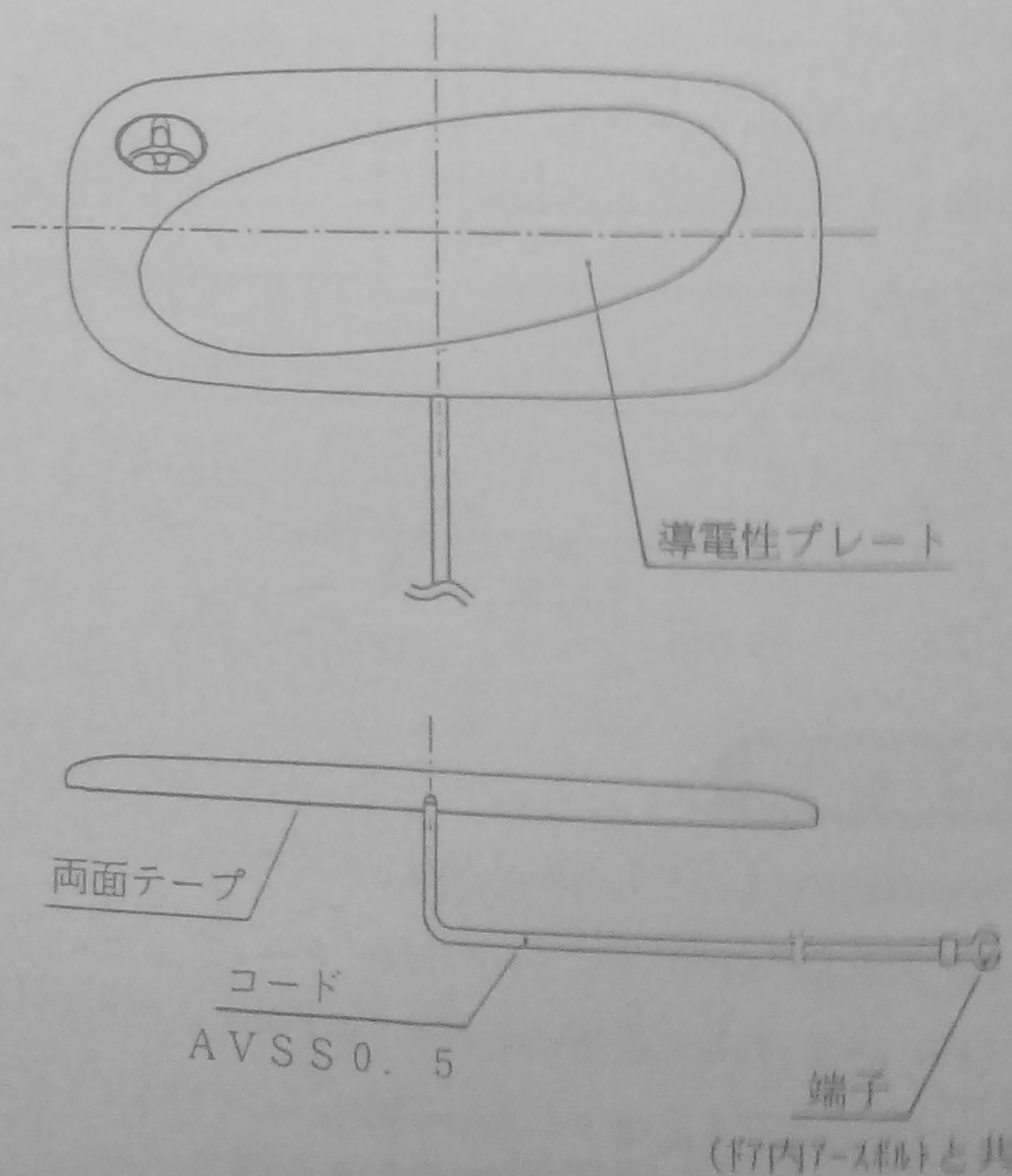
2 商品の特徴

人体に帯電した静電気を導電性プレート（数１０～数１００MΩ）を通じて車両アースに緩やかに放電させ、降車時、車両に手を触れた時に発生するアーク放電を防止し、電気ショックによる不快感を無くす。

3 製品仕様

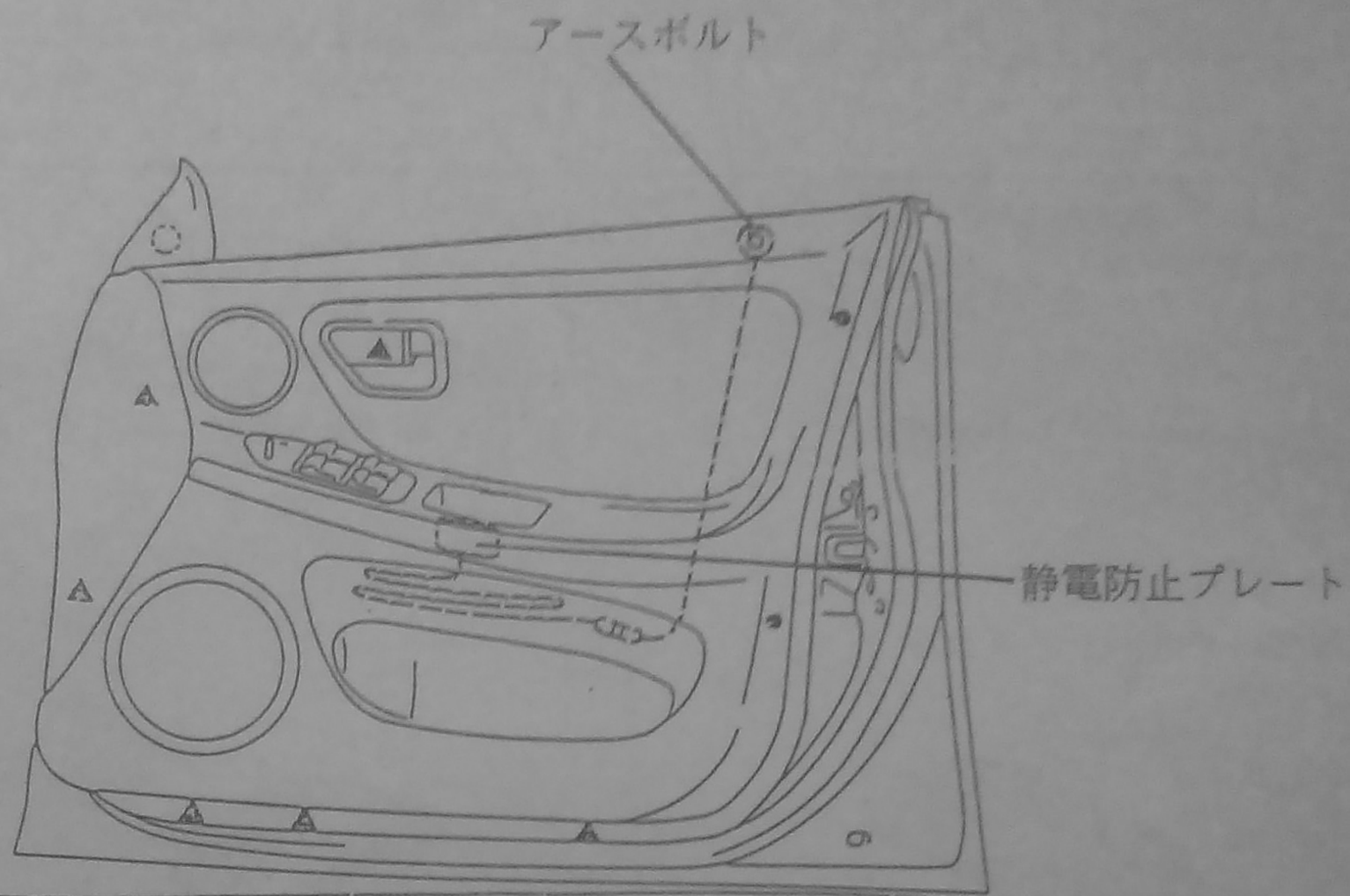
1．材質　：本体----導電性塩化ビニール
2．抵抗値：１００$^{+400}_{-80}$ MΩ
3．色　　：ブラック
4．サイズ：３０mm×７０mm×３．９mm
　　（縦）　（横）　（厚さ）

外　観



4 取付概要

ドアトリムプルハンドル内側に貼り付け、ドア内アースボルトに共締めしてアースをとる。



取り付け上の注意事項

1．プレートを貼り付ける前に汚れ・油分をアルコール等で拭き取る。

2．アースボルトはボデーとの導通を必ずテスターで確認する。

品名	トランクサイドケース

チャンネル物

1 開発の狙い

トランクルームの小物（ケミカル類、洗車用具など）をすっきり収納できるフタ付サイドケース

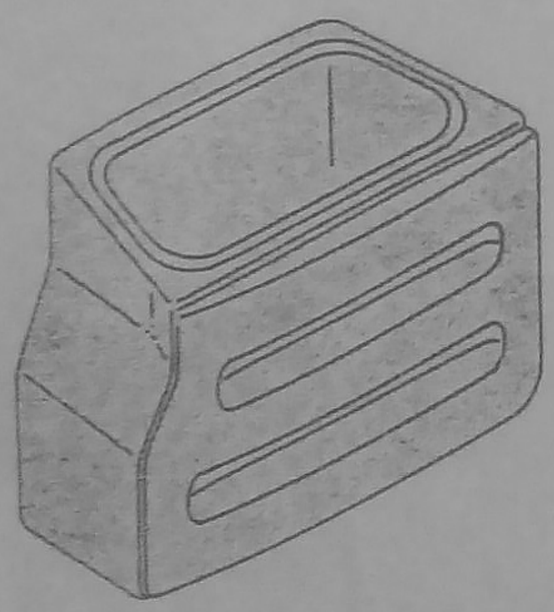
2 商品の特徴

1．トランクルームサイドにジャストフィット形状

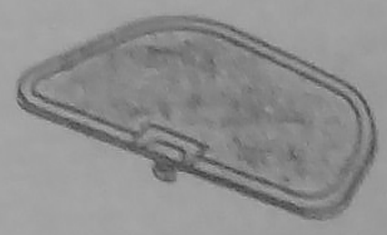
2．純正カークリーナー、ケミカル類、ファーストエイドキット、洗車用具などトランクルーム内の小物が収納可

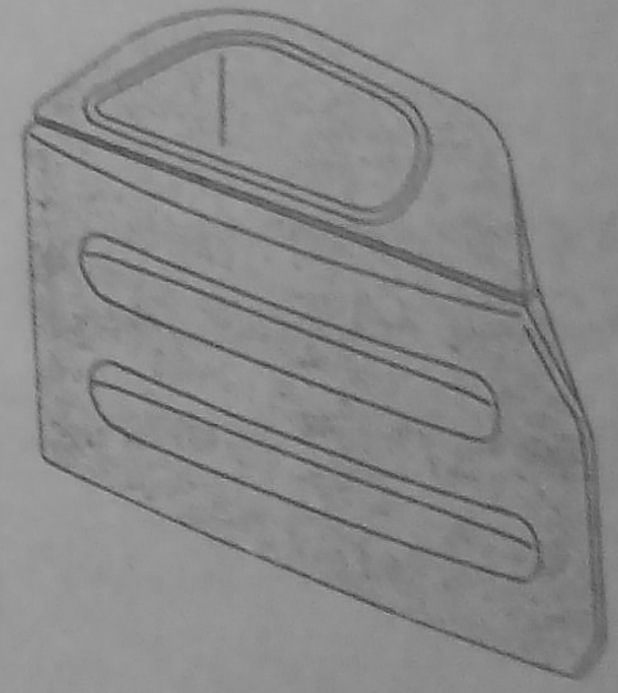
3．脱着が容易なフタ付ボックスタイプ





<セリカ>





<ED，Exiv>

3 製品仕様

1．材質　：ＰＰ

2．色　　：ブラック

3．サイズ：ＥＤ　　約４５０ｍｍ×１８０ｍｍ×２９０ｍｍ

　　Ｅｘｉｖ　約４７０ｍｍ×１８５ｍｍ×２９０ｍｍ

　　セリカ　　約４００ｍｍ×１７０ｍｍ×２４０ｍｍ

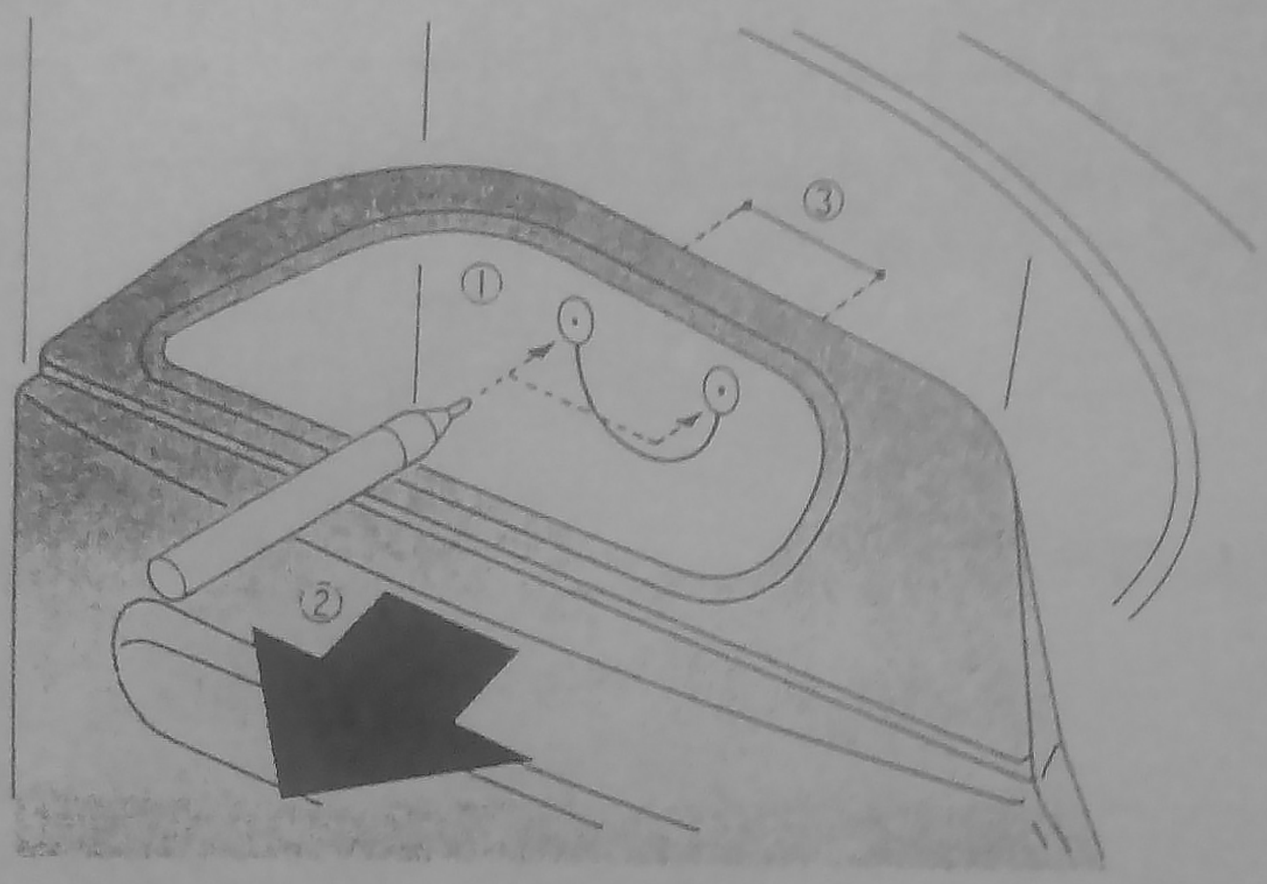
（縦）　（横）　（高さ）

4．容量　：約１１ℓ

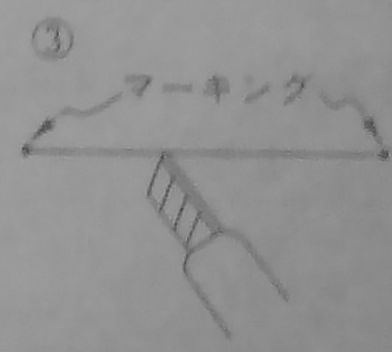
4 取付概要

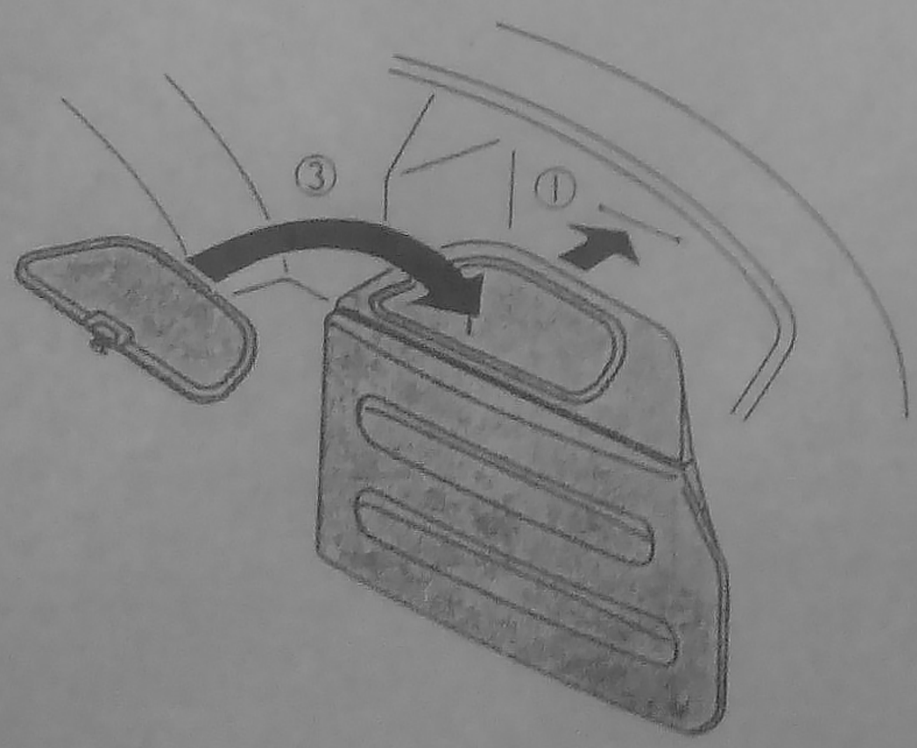
①トランク右側に設置

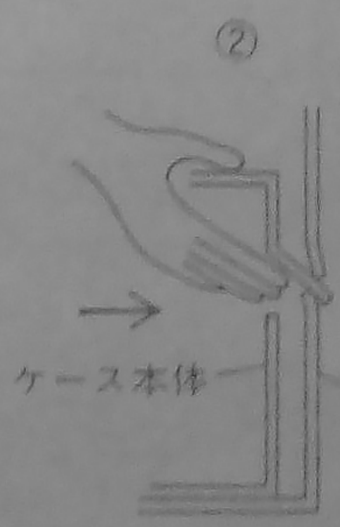
②トリムにスリットを入れ、ケース本体を差し込む



ケース本体内側の切欠部穴中央でマーキングして下さい。
トリムからケース本体を取り外し②、トリムにマーキング間でスリットを入れて下さい③。







ケース本体をトランクルーム右側に入れ①、ケース本体内側からケース切欠部を押し出しトリムのスリットへ差し込んで下さい②。
ケース本体にケースリッドを取付けて下さい③。

品名	ニーサポート

車種初

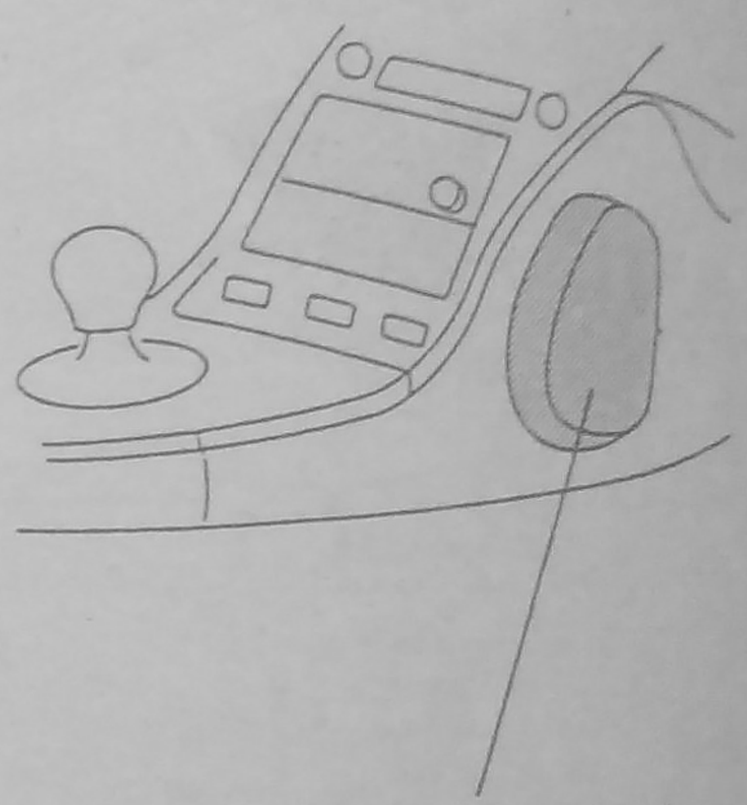
1 開発の狙い

ピュアスポーツ　ニーズに従い、スポーツ走行時のひざ部サポート商品として設定しました。

2 商品の特徴

1．軟質発砲ポリウレタン成形で、適度なサポートフィーリングを保ちました。

2．車種専用設計により、最適な位置でのひざ部サポートを可能にしました。



3 製品仕様

1．材質　　：発砲ポリウレタン（インテグラルスキンフォーム）

※フロンは使用していません。

2．表面処理：モールドコート

3．色　　：ブラック

4．サイズ　：１３０ｍｍ×９０ｍｍ×３０ｍｍ
（縦）　（横）　（厚さ）

5．重さ　　：８０ｇ

4 取付概要

①取付位置センターコンソール部
（型紙にて位置決めを行う）
②取付部にプライマー処理を行い、両面テープで
取り付ける
〔取付時間　０．　５Ｈ〕



・プライマーの取扱い注意

注意

- プライマーは皮ふにふれないようにし、取扱い後は、手洗いを十分行なってください。
- プライマーは火気厳禁です。
- 乾燥(約３分指に付かない程度)してから取付作業を行なってください。
- プライマー塗布作業は換気のよい所で行なってください。
- 有機溶剤が含まれています。故意に吸引しないでください。

・接着後の注意

注意

- 接着力を保持するため圧着後24時間以内は引っ張ったり無理な荷重をかけないでください。

取り付け完了後の点検

1．フロントシートのスライド時ニーサポートに干渉しないか確認すること。

取り付け上の注意事項

1．ニーサポートに足を掛けたり、必要以上の力を加えないでください。
はがれの原因になります。

2．ベンジン，シンナー等揮発性のものは樹脂本体を侵したり、接着はがれの原因となりますので
絶対に使用しないでください。

品名	マルチユーズセンターコンソール

トヨタ初

1 開発の狙い

1．アームレストとしての使用性の向上。

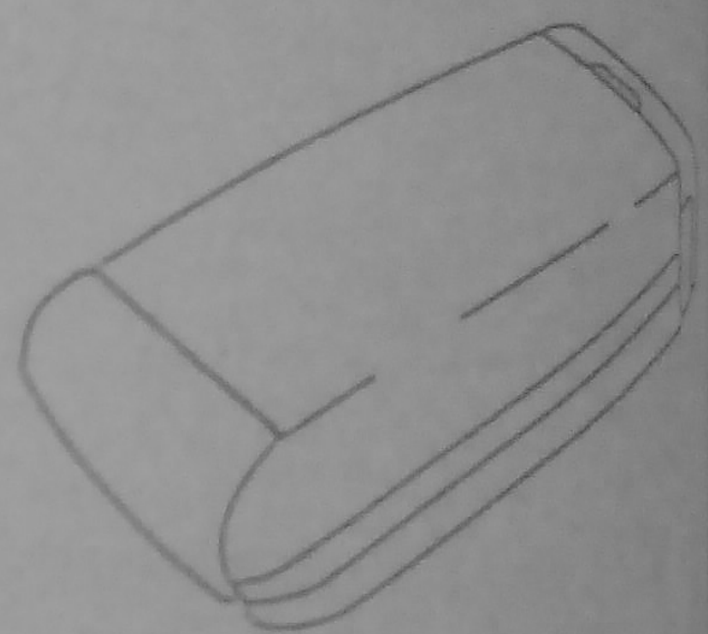
2．ドライバーの体形による調整機能の付加。

2 商品の特徴

1．本体にスライド機構を設け、ドライバーの体形にジャストフィットの取付位置を選択できるようにし、使用性の向上を図りました。

2．トレー部は、プッシュオープンタイプを採用し、使用性の向上を図りました。また、コインホルダーも装備しました。

3．収納式カップホルダーを採用し、使用性の向上を図りました。



3 製品仕様

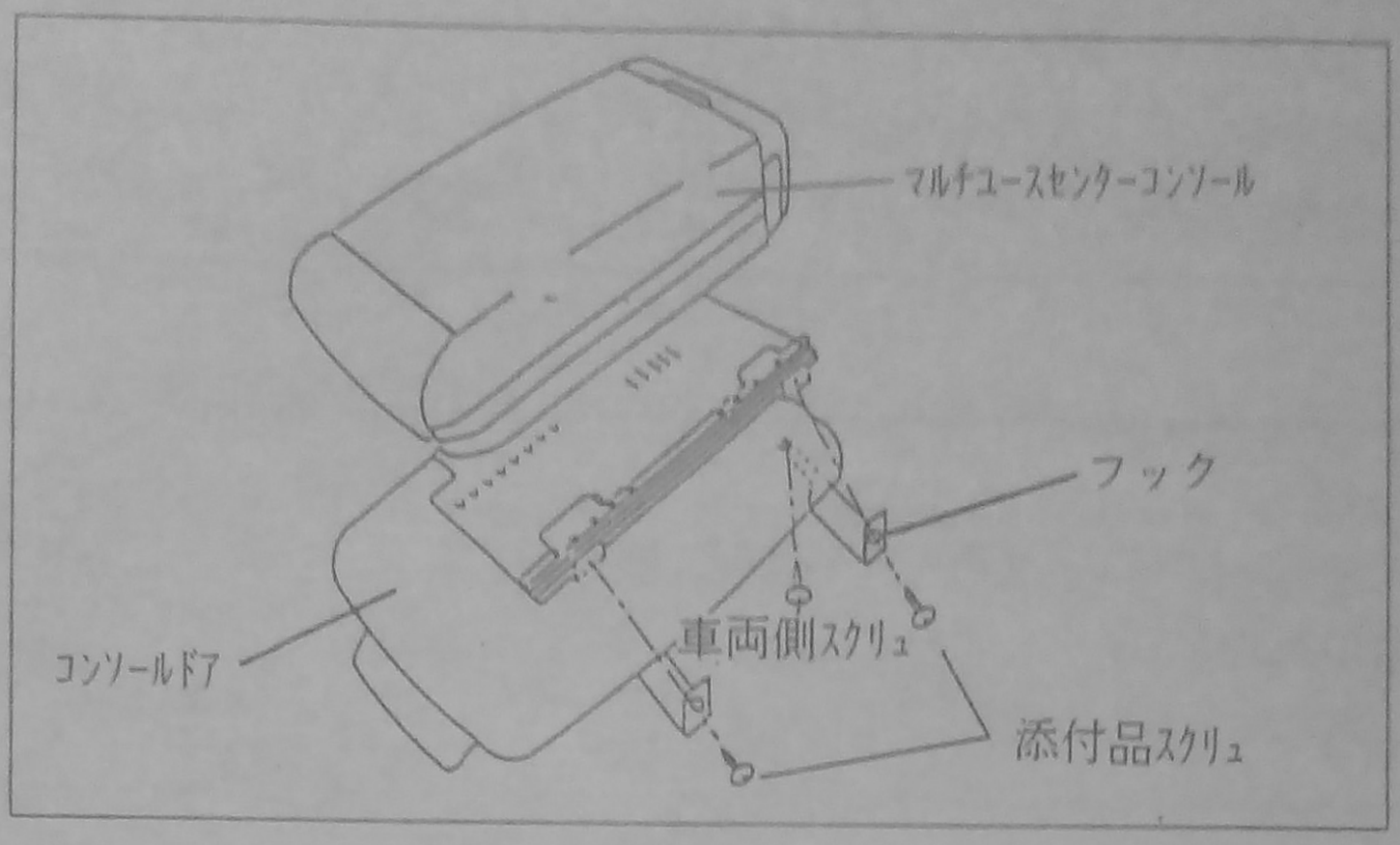
1．材質　　：ＡＢＳ樹脂

2．色　　：本体----ブラック
　　：表皮----内装色に合わせ３色設定
　　（グレー、ブラック、トープ）

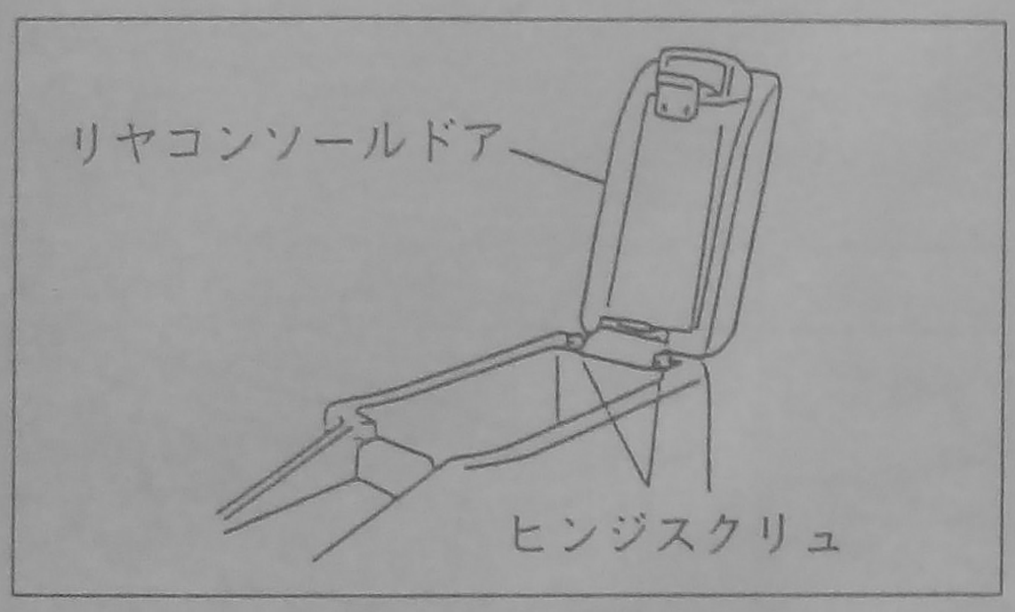
3．サイズ　　：３５０ｍｍ×１５０ｍｍ×１１０ｍｍ
　　（縦）　（横）　（高さ）

4．重さ　　：１．２ｋｇ

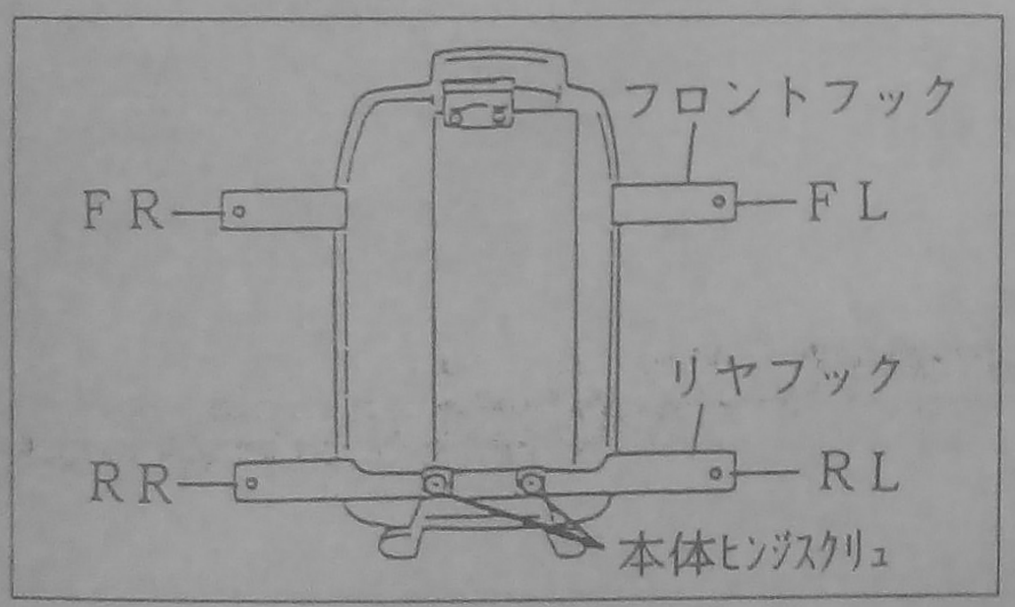
取付フックにてリヤコンソールドアに取り付ける。
〔取付時間　０．　２Ｈ〕



マルチユースセンターコンソール本体取り付け

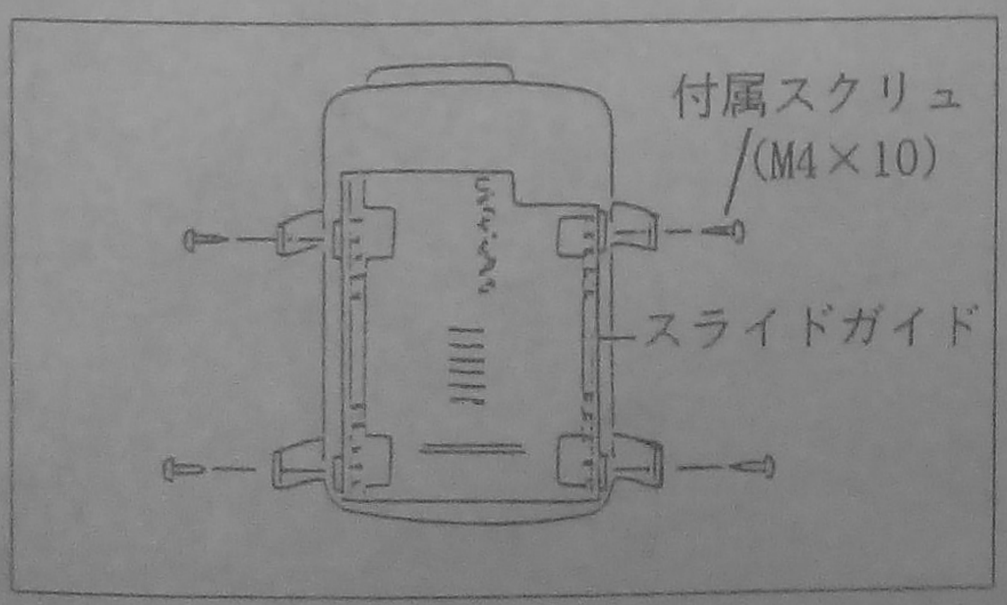


1．リヤコンソールドアのヒンジスクリュ（２本再使用）を外し、ドアを取り外す。



2．リヤコンソールドアの本体ヒンジスクリュ(2本再使用)を外し、付属のリヤフック２本と本体ヒンジを共締めする。

3．付属のフロントフック（２本）をリヤコンソールドアの表皮と内蓋の間に差し込む。



4．付属のスライドガイドをリヤコンソールドアに被せ前後フックとの穴位置に合わせ、付属スクリュ(M4×10４本で固定する。

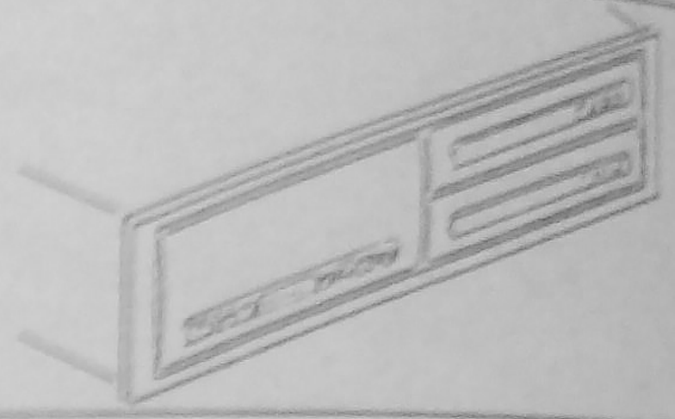
品名	１ＤＩＮマルチボックス

1 開発の狙い

１ＤＩＮ商品の強化のため、ＤＩＮサイズ内にカードケース・コインケース・小物入れを別々に配置し、使用性の向上を図った商品を設定する。

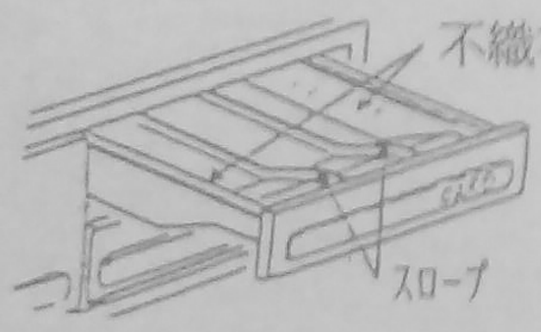
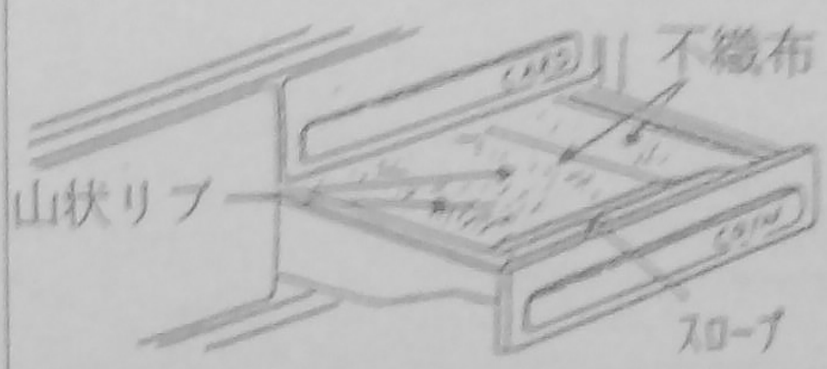
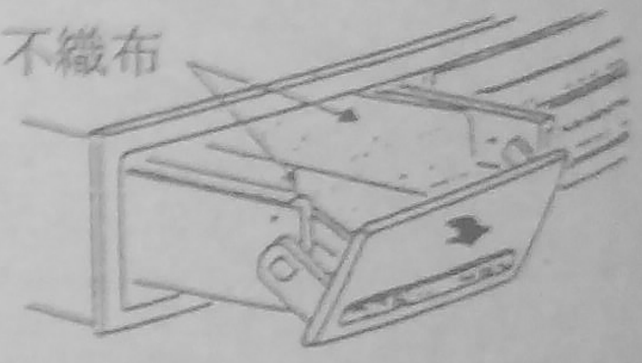
2 商品の特徴

1．カードケース・コインケース・小物入れを別々に配置。
2．取り出し、収納に便利なプッシュオープン式。
3．トヨタオーディオにマッチした意匠。



3 製品仕様

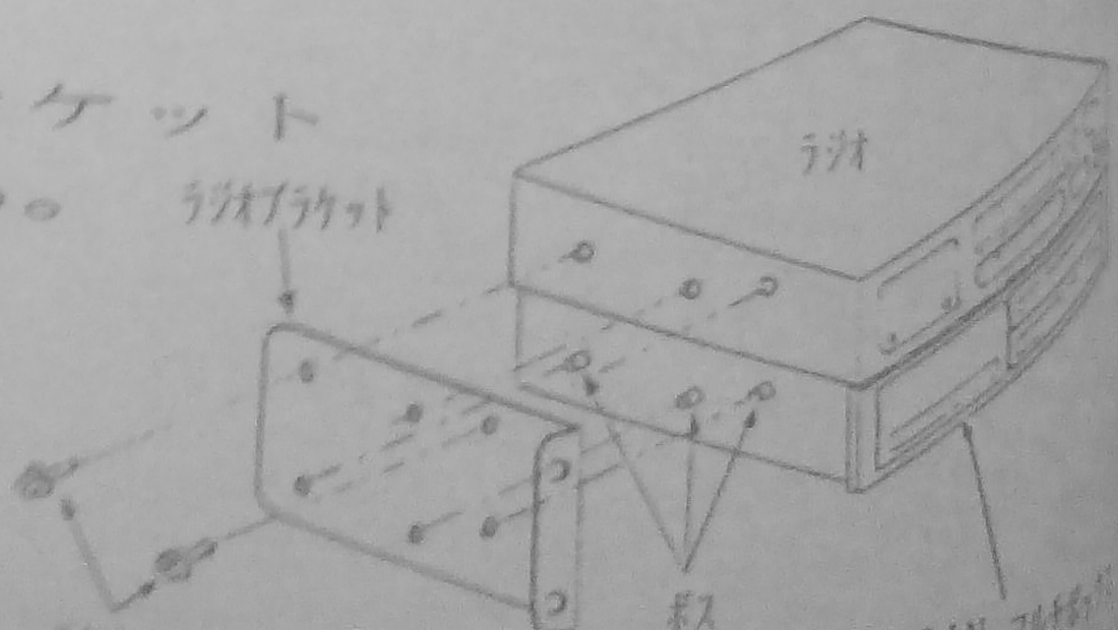
1．材質　：ＡＢＳ成形材料（内部不織布張）
2．色　　：ブラック
3．サイズ：１８０×５０×１６０ｍｍ

カードケース	コインケース	小物入れ
		
①簡易プッシュオープン機能 ②カードが容易に取り出し易いスロープ付き ③ケース側面に異音防止不織布を貼付	①簡易プッシュオープン機能 ②コインが容易に取り出し易いスロープ付き ③コインを無造作に入れてもコインが積もらない山状リブ付き ④ケース内面に異音防止不織布を貼付	①簡易プッシュオープン機能 ②中の物が取り出し易い前面パネル可倒式 ③ケース側面に異音防止不織布を貼付

4 取付概要

枠のボスを車両ラジオブラケットに差し込み、はさみ付ける。
〔取付時間　０．５Ｈ〕

ワイヤーハーネス等がマルチボックスに干渉しているとボックスが変形して各ケースが出てこない場合が有ります。取付後各ケースの作動チェックを必ずお願いします。



品名	字光式ナンバープレート用ブラケット

トヨタ初

1 開発の狙い

1．字光式ナンバープレートを取り付けても、全長オーバーしないこと。

2．字光式ナンバープレートを取り付けても、見栄え確保。

3．字光式ナンバープレートを取り付けたユーザーのみ、費用負担。

2 商品の特徴

1．1次ユーザーが字光式ナンバープレートを取り付けた後、2次ユーザーがノーマルのナンバープレートを取り付けても、ブラケットを裏返して取り付けることにより、見栄え確保。

2．字光式ナンバープレートを取り付けた時の全長オーバー解消。

3．字光式ナンバープレートを取り付けた時の見栄え確保。

4．フロントのみ設定。

3 製品仕様

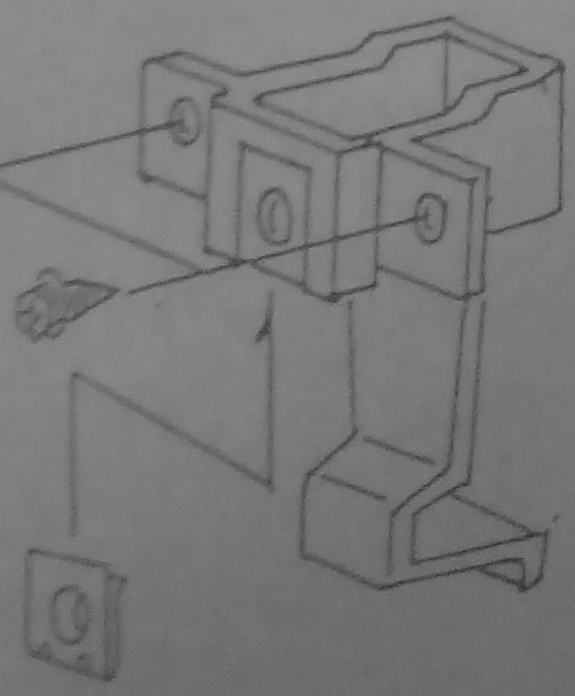
1．構成部品

本体--------ＰＰ（板厚３㎜）：材質表示＞ＰＰ＜、黒色　２個

取付部品----ナット（板厚０．８㎜）、カーボンスティール　２個

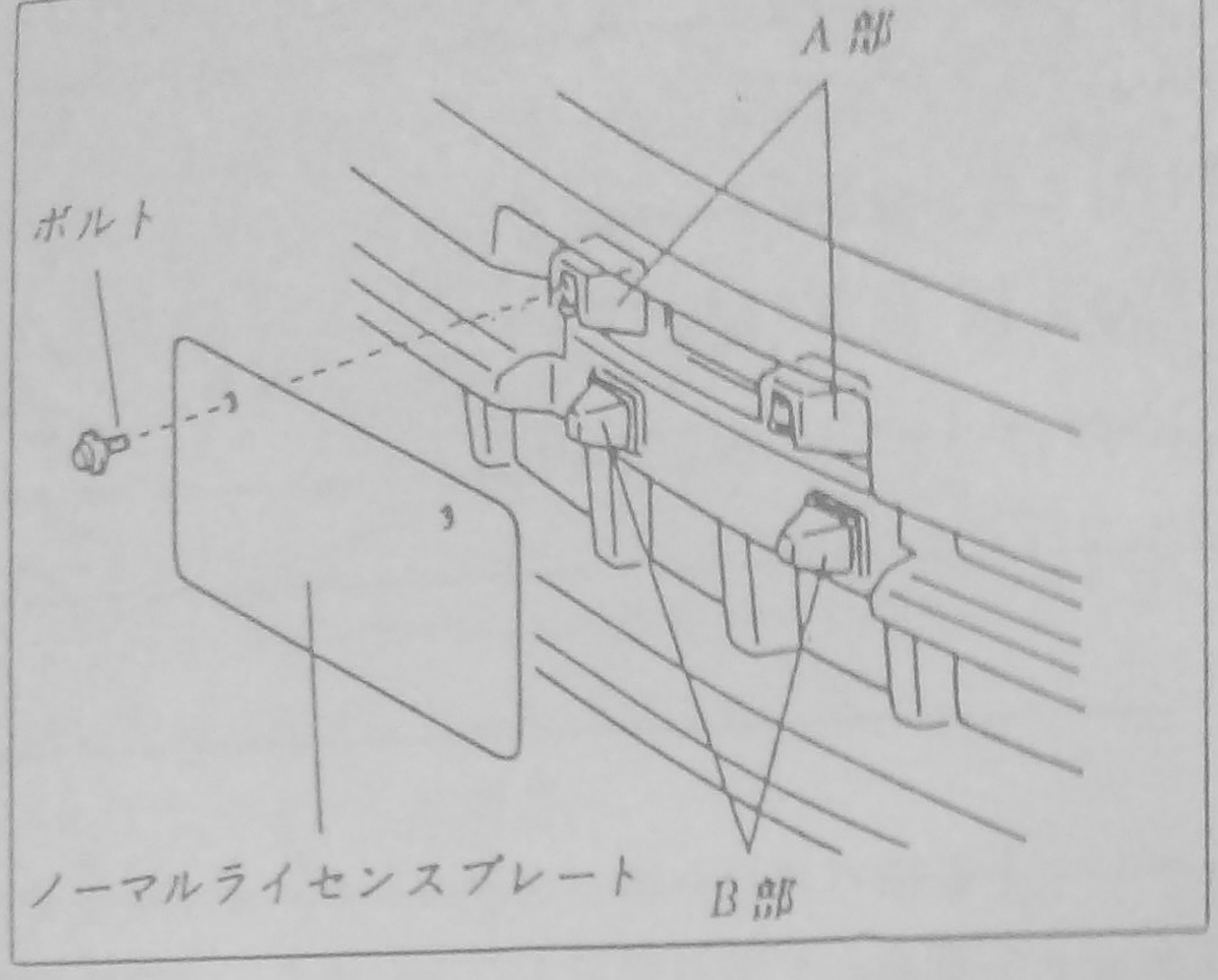
スクリュー（全長２３㎜）、平ワッシャー付き　４個

2．製品概要

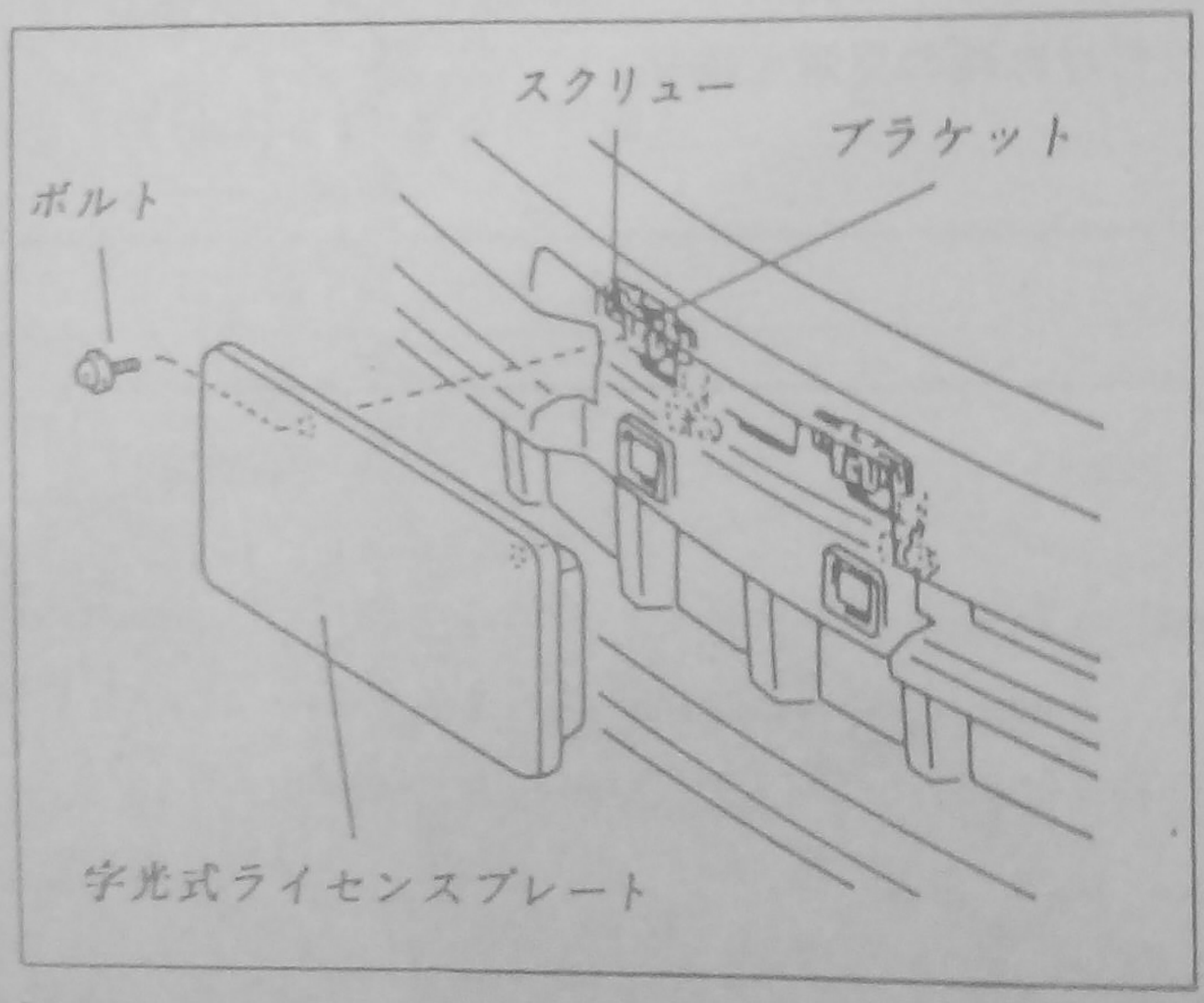


2個で1セット

1．ノーマルナンバープレート取付時

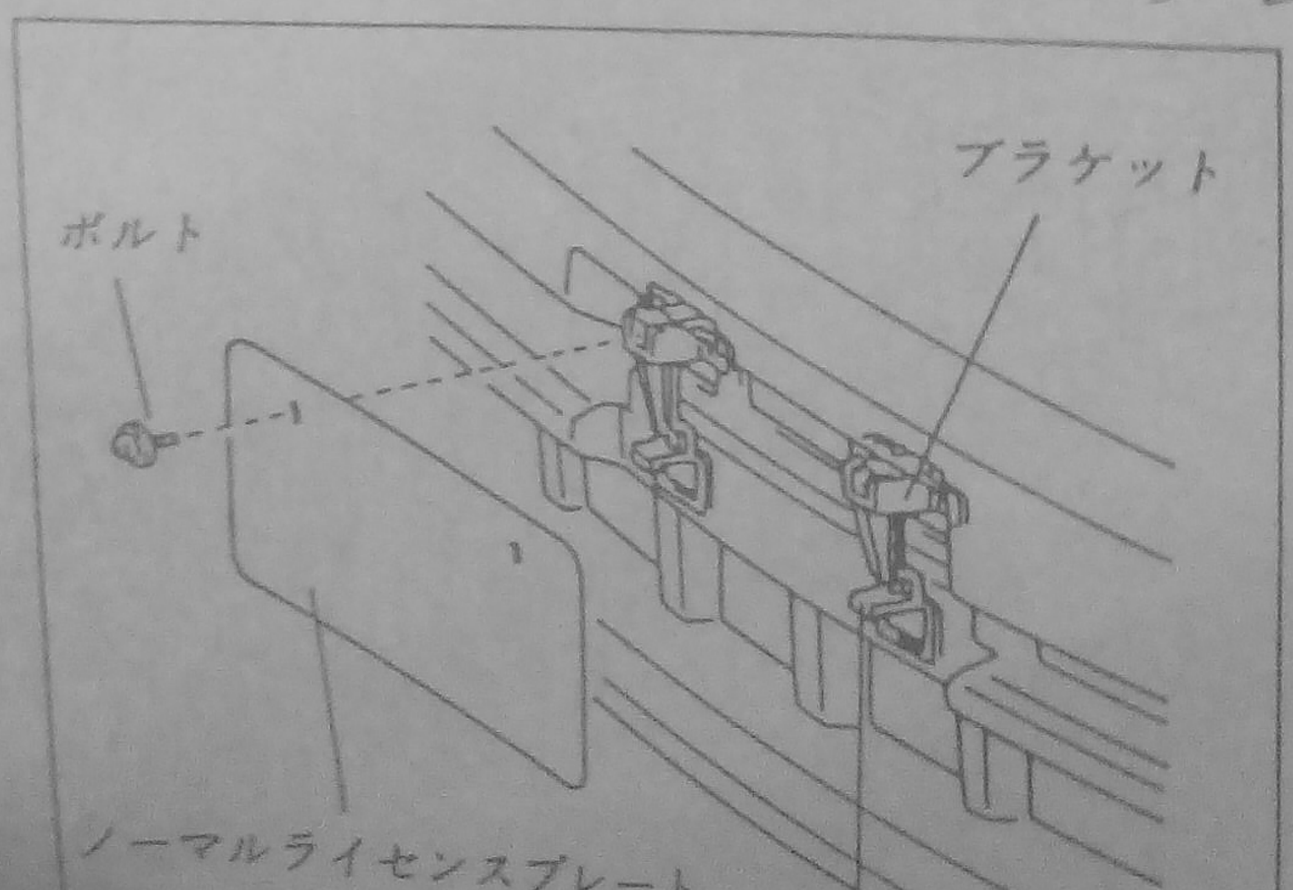


2．字光式ナンバープレート取付時



フロントバンパーのA，Bを切り取り、ブラケットで取り付け。

3．字光式→ノーマルナンバープレート取付時



字光式用ブラケットを前後逆にして取り付け。

品名	ドアエッジプロテクター（樹脂製）	トヨタ初

1 開発の狙い

1．ドアエッジ部の保護を更にアップ
2．車両とマッチングした色・デザイン
3．汎用

2 商品の特徴

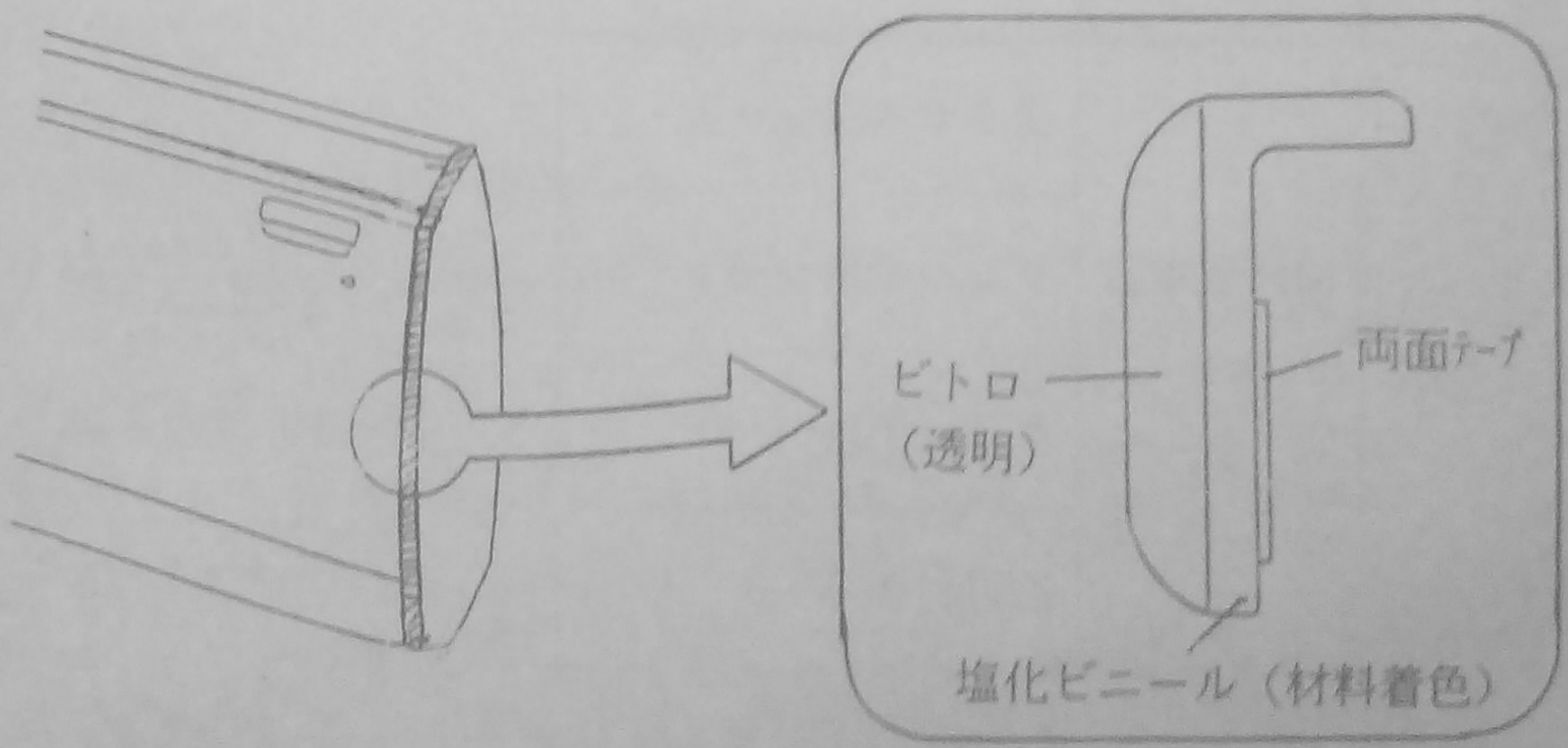
1．エッジ部まで回り込む断面形状にすることにより、プロテクト機能をアップ
2．切り欠くことなく、リヤドアのくびれ部に追従
3．車両の色にほぼマッチするように、6色設定

ホワイト　　ダークグレー　　レッド
シルバー　　ブラック　　ダークグリーン（新設）

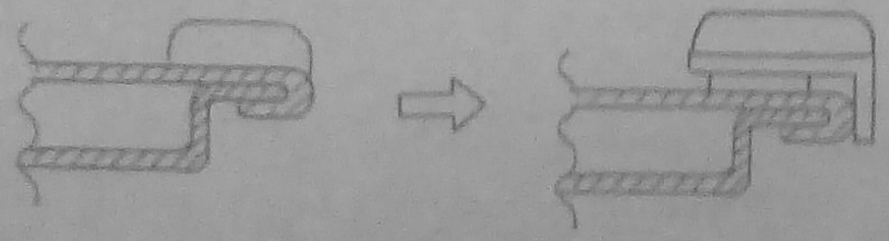
4．構成　　1セット2本入り　2200円
従って4ドア車は2セット必要です

3 製品仕様

1．構造



2．旧型との違い



ドアエッジ部の保護を更にアップ

取り付け上の注意事項

ドアエッジプロテクターを赤外線ランプ等で暖めてから貼る。
特に気温が15℃以下の場合はプロテクタの接着面，ボデーの貼り付け面をよく暖める。

品名	アルミペダルセット，アルミフットレスト

1 開発の狙い

新型のコックピットを、室内足元からスポーティに演出するアルミペダルパッドを設定しました。

2 商品の特徴

1．アクセル、ブレーキ、クラッチ、フットレストをアルミ素地のシルバー色で統一し、スポーティ感を強調します。

2．アルミプレート表面に、円形の凸形状（φ５，１０㎜ピッチ）による滑り止め機能を施しました。

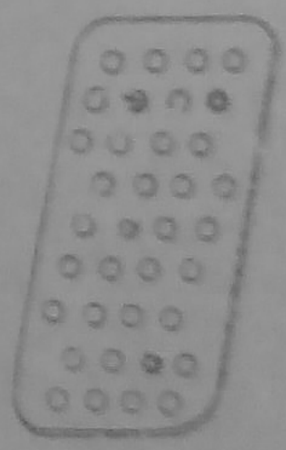
3．外形形状は車両装着品と同一形状としています。

3 製品仕様

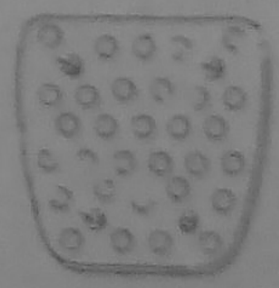
品　名	設定対象	構　成
アルミペダルセット	M／T車用	アクセル用シート
		ブレーキ用シート
		クラッチ用シート
		取付付属品

品　名	設定対象	構　成
アルミフットレスト	全　車	フットレスト用シート
		取付付属品

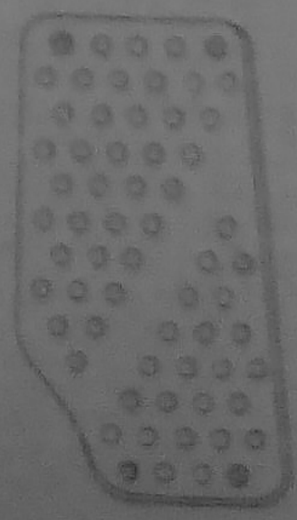
<アクセル>



<ブレーキ、クラッチ>



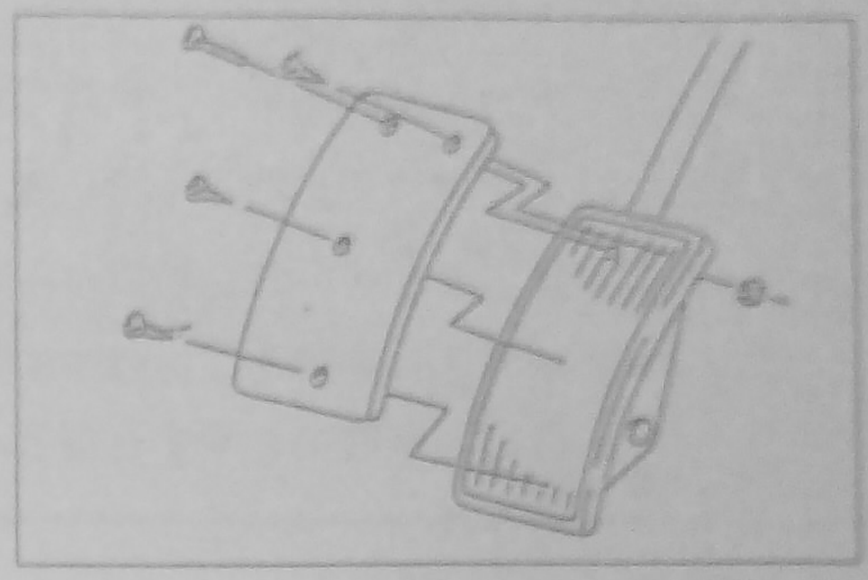
<フットレスト>



4 取付概要

＜アクセルペダル＞

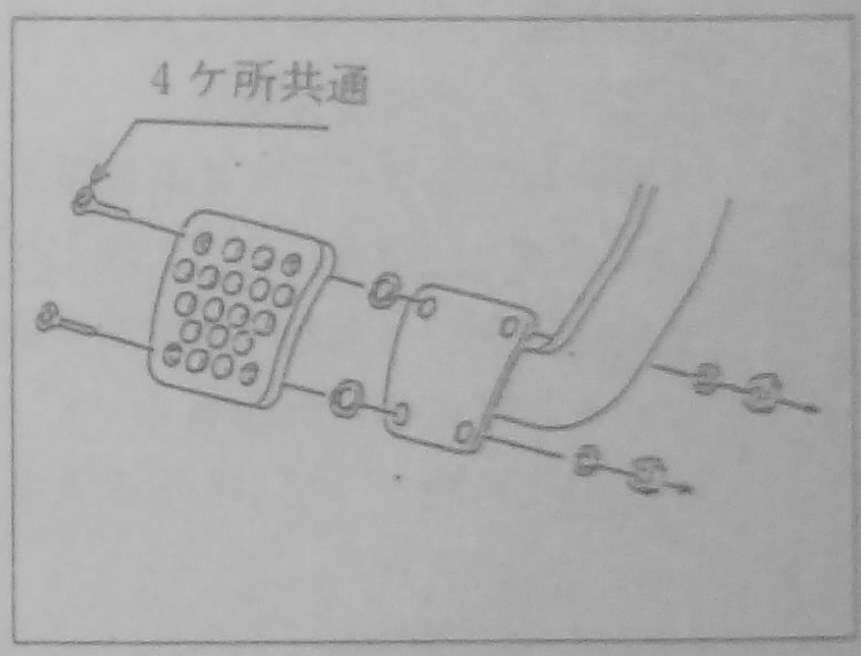
車両側ペダル（樹脂）にかぶせ、直接ネジで取付ける。
但し、穴あけ作業が必要。



1．下穴径が２種類ありますのでご注意下さい。
　a．φ１．５　…　３カ所（タッピング用）
　b．φ３．５　…　１カ所（ボルト・ナット用）
2．安全を考慮して１カ所のみ、ボルト方式としています。
　更にボルトのネジ部にアドヒーシブを塗布して下さい。
　推奨ｱﾄﾞﾋｰｼﾌﾞ＝トヨタ純正　０８８３３－０００７０

＜ブレーキ・クラッチペダル＞

１．車両側ペダル本体にプリホールが設定されているため、穴あけ作業は不要。
２．４ケ所ボルト，ナットで取り付ける。

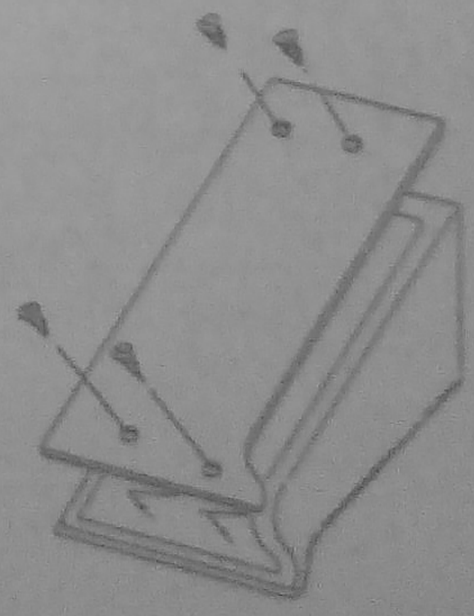


1．安全を考慮して、ボルトのネジ部にアドヒーシブを塗布して下さい。
　推奨ｱﾄﾞﾋｰｼﾌﾞ＝トヨタ純正　０８８３３－０００７０
2．締付トルクを安定させるため、ワッシャを必ず装着して下さい。
　▷ｱﾙﾐﾍﾟﾀﾞﾙ×本体ﾍﾟﾀﾞﾙ 間＝大径（黒色）
　▷本体ﾍﾟﾀﾞﾙ ×締付ﾅｯﾄ 間＝小径（シルバー色）

＜フットレスト＞

４ケ所×φ１．５の下穴をあけ、タッピングスクリューで取り付ける。

1．取付時は、下穴加工（φ１．５×４カ所）が必要です。
2．アクセル・フットレストを本体にタッピングスクリュー締付けする場合、本体が樹脂のため電動ドライバーを使用すると、ネジが空回りする恐れがあるため必ずドライバーで手締めして下さい。



品名　１ＤＩＮ４インチテレビ

1　開発の狙い

1．A／C，オーディオにつぐ”車両の魅力アップ”につながる商品
2．価格的にもアフター市場と十分に競合できる商品
3．トヨタの純正テレビとしてアフター市場とは一線を画す機能／性能／純正らしさ（＊）を有する商品
　（＊）販売店における取付けやすさ、車両へのフィッティングの美しさ、他の１ＤＩＮ商品を含めた販売のしやすさなど

2　商品の特徴

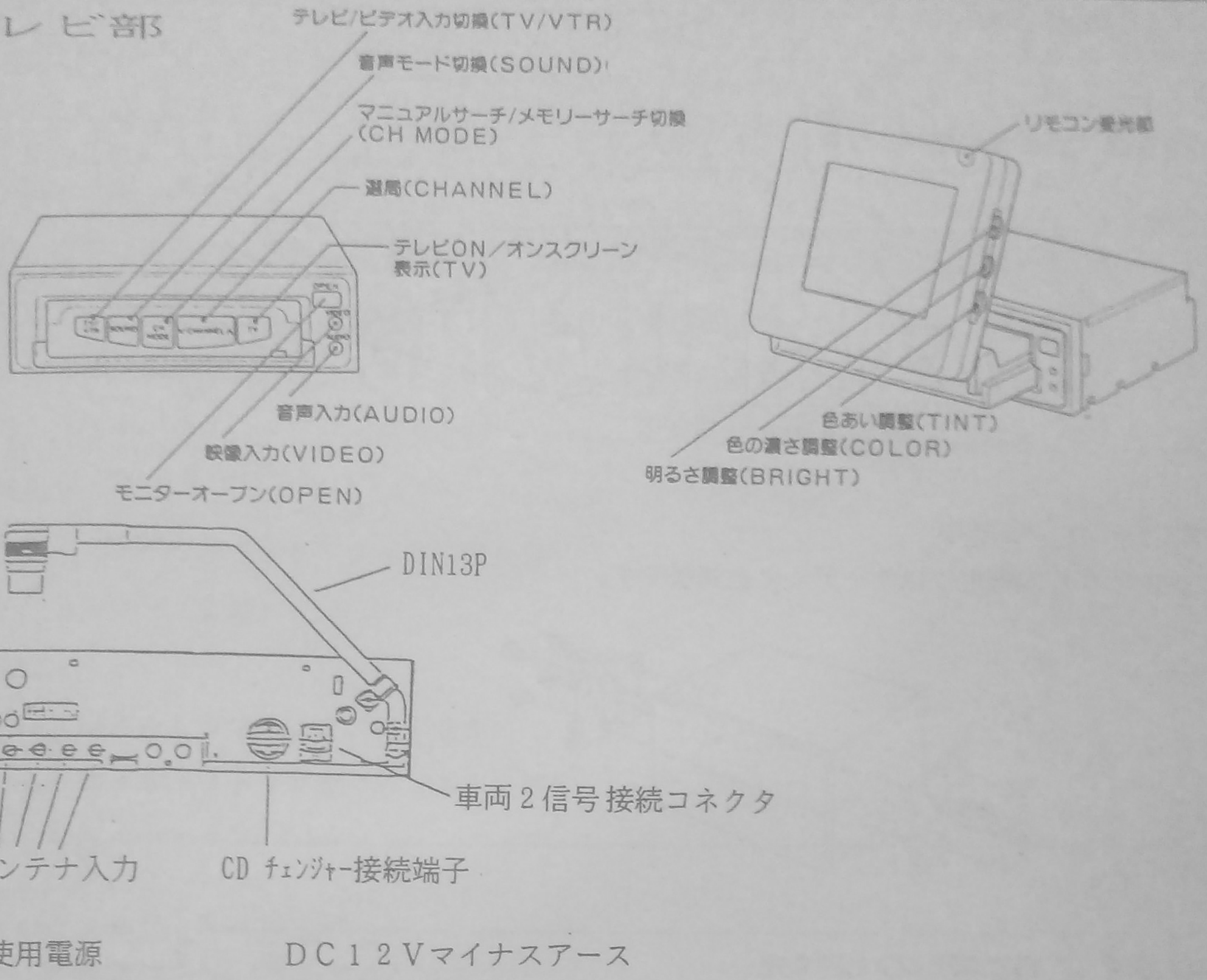
1．オーディオ用空きスペース（１ＤＩＮ）に収納可能
　＊チューナー、ディスプレイ、ダイバシティ回路を内蔵
　＊引き出し、収納はモータードライブ機構採用
2．低反射液晶パネルの採用により、画面への写り込みを低減
3．純正オーディオに直接接続
　＊音声は純正オーディオを使用して出力
4．走行中は映像が消え、音声だけとなる安全設計
　＊助手席側では画面の角度調整機構により、走行中でも映像がお楽しみいただけます。
5．アフター市場に迫る低価格
　＊部品代合計　　￥１１８０００（テレビ＋アンテナセット　￥１１５０００
　　専用フィッティングキット　￥　３０００）

3　製品仕様

○　システム構成

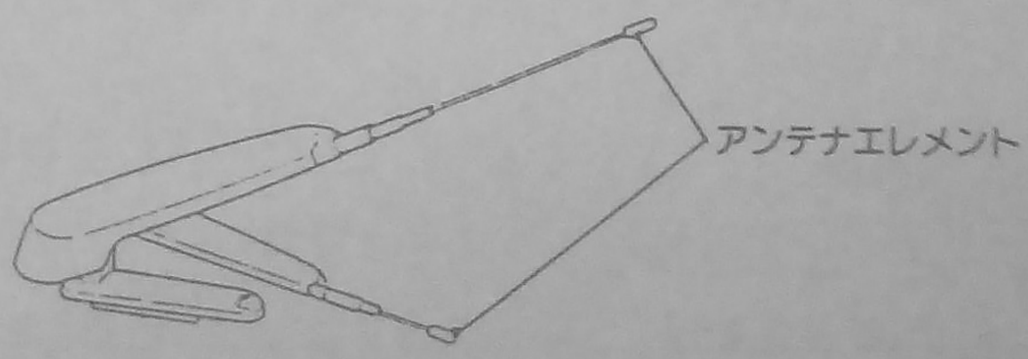


○テレビ部



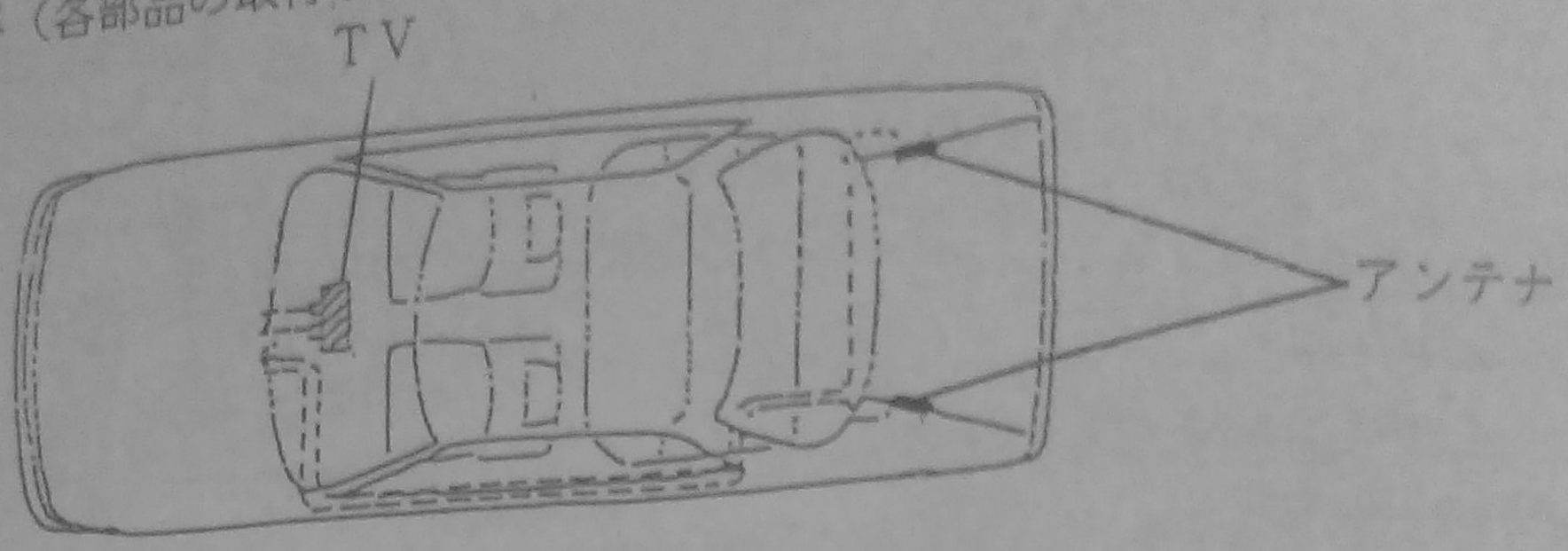
1．使用電源	ＤＣ１２Ｖマイナスアース
2．消費電力	１０Ｗ
3．受信チャンネル	ＶＨＦ１～１２ＣＨ　ＵＣＦ１３～６２ＣＨ
4．液晶パネル	4型低反射液晶パネル
5．駆動方式	ＴＦＴアクティブマトリックス
6．外形寸法	１８０×５０×１６５（㎜）
7．重量	１．５（kg）

○アンテナ部



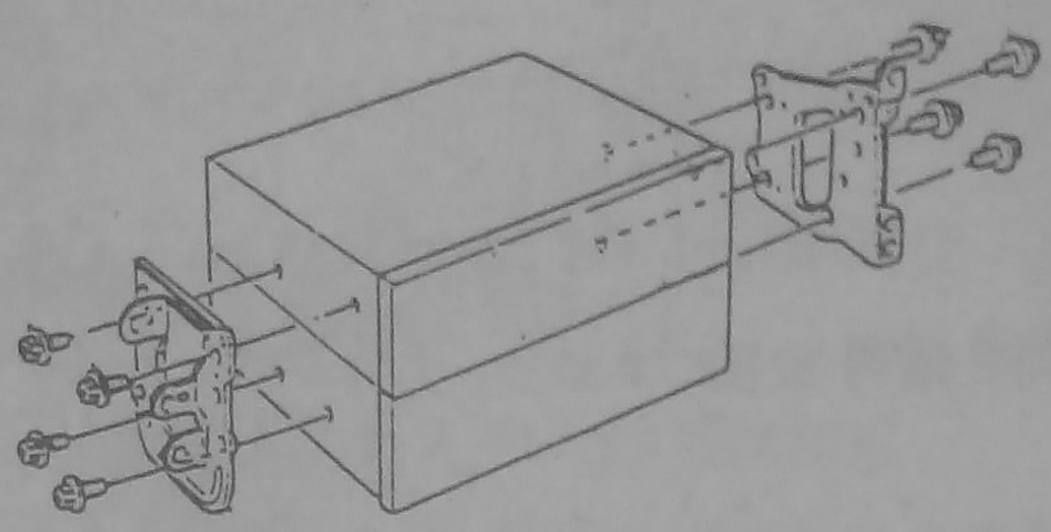
1．受信チャンネル	ＶＨＦ１～１２ＣＨ　ＵＣＦ１３～６２ＣＨ
2．出力インピーダンス	７５オーム（ミニプラグ付き）
3．ケーブル長さ	６．５ｍ
4．外形寸法	３３×５３×２１２（㎜）収納時
5．重量	０．５kg（片側、ケーブル含む）

○概要（各部品の取付け位置）



○テレビ本体

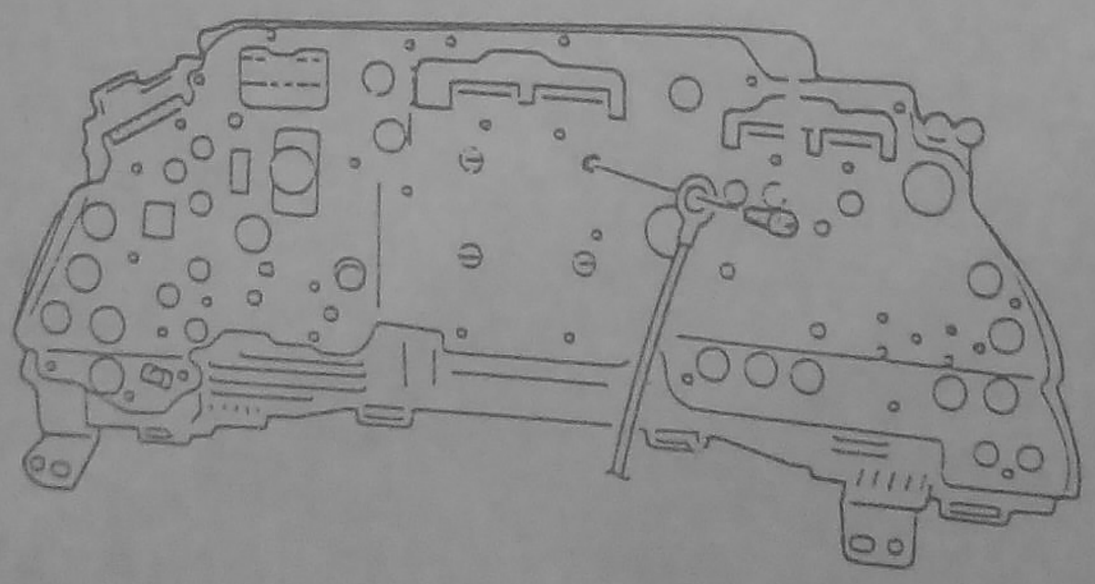
テレビ本体の取付けはオーディオと同様です。



○車両２信号の接続

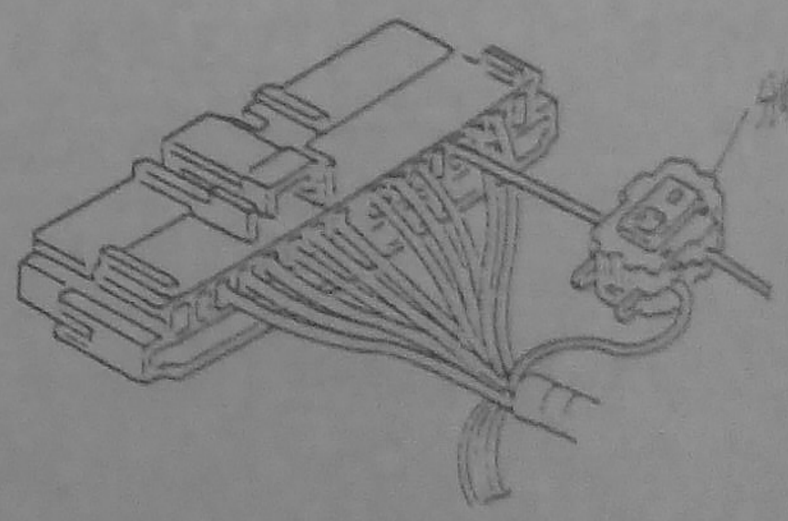
1）SPD信号

メーター裏のタッピングスクリューに端子を接続します。



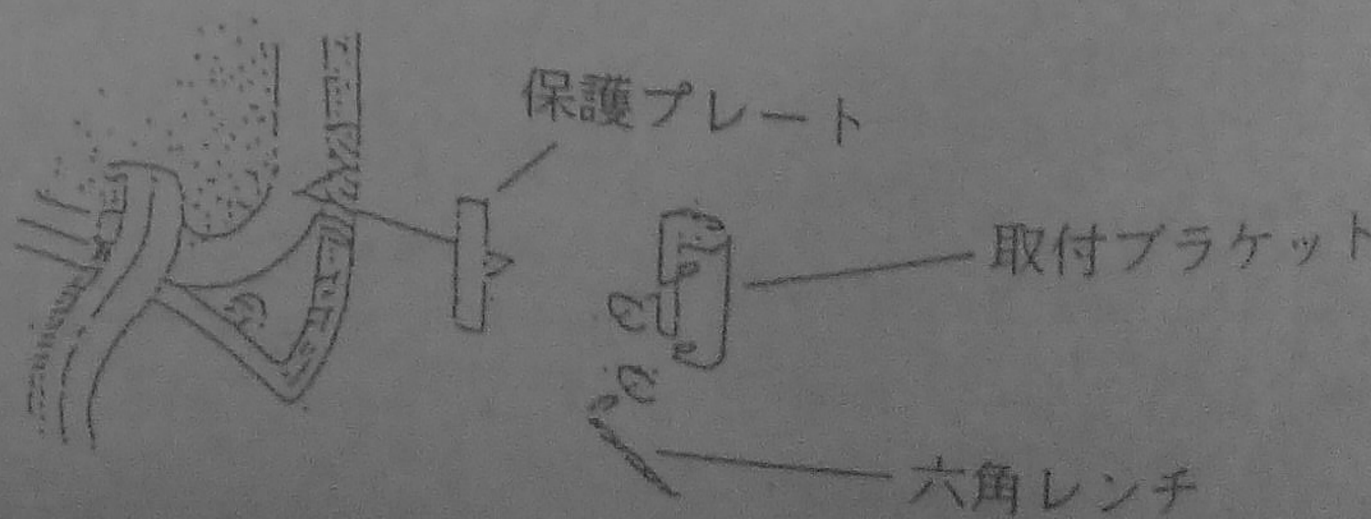
2）PKB信号

メーターコネクタのW/Hに分岐コネクタ接続します。



○テレビアンテナ

ラゲージドアに取付けます。



品名	ＴＯＭＳ ドレスアップ用品

トヨタ初

1 開発の狙い

①新型の車両開発の狙いである”スタイリッシュスポーツスペシャリティ”を具現化するため、スポーティイメージのある”ＴＯＭＳ”ブランドを採用しました。

②オリジナルデザインによる、車両とベストマッチを図った大人のスポーティ意匠としました。

③車両全体をトータルコーディネイトも可能とする、内・外装を飾るＴＯＭＳ用品を設定しました。

＜外装＞

・アルミホイール（１５”タイヤ装着全車）

・ステッカー（全車）

＜内装＞

・ＭＴ用アルミシフトノブ（ＭＴ全車）

・ＡＴ用本革シフトノブカバー（ＡＴ全車）

2 商品の特徴

＜アルミホイール＞

①スポーティな５本スポークをベースに、風穴を大きくし立体感を強調した細いスポークとナットホール部にティアドロップを配し、ＴＯＭＳらしいスポーティ感を演出したデザイン。

②２０代ヤングに人気のゴールド塗装と、リム部のダイヤモンドカット。

③軽量化と強度を高次元でバランスした１ピース鋳造ホイール。

④耐久強度において、ＪＷＬ規格は当然ながらトヨタの基準をクリヤー。

＜ステッカー＞

・サイド及びリヤを個性的に演出するステッカー。

・フェンダー両サイドとバックドア（ラゲージドア）に貼付けを推奨しています。

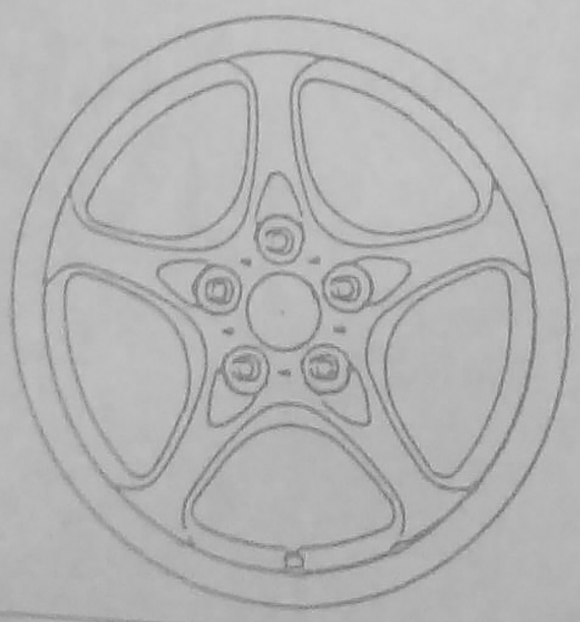
<MTシフトノブ>
・ルマン２４時間レースやツーリングカーレースに参加するＴＯＭＳが、レーシングカーをイメージしてデザインした、スポーティなアルミ削り出しシフトノブ。

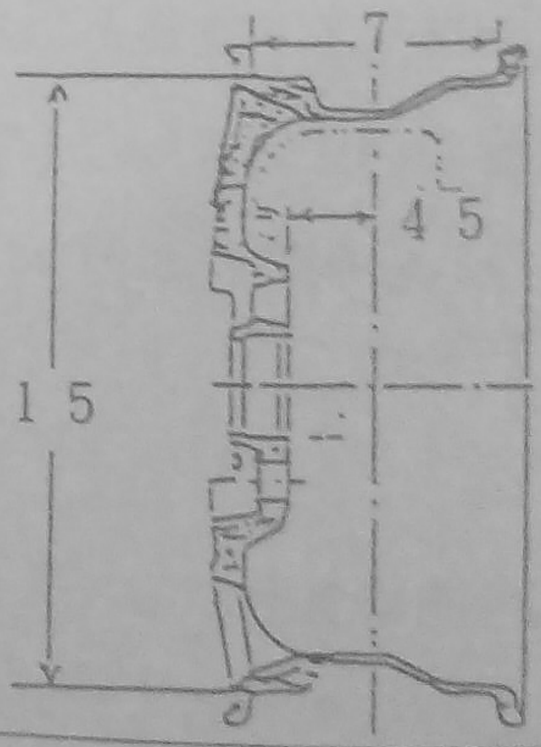


<ＡＴシフトノブカバー>
・ドライビンググローブの製法をいかした、ＡＴシフトノブカバー。
良質の牛革により、柔らかい触感と優れたグリップ感が得られる。



<アルミホイール>





設定サイズ	・ホイールサイズ------１５×７JJ　オフセット４５ ・対象タイヤサイズ----２０５／５５Ｒ１５
重　　量	・単体重量（バルブ、インサート無し）----６．８kg　MOPアルミ に対し２kg／台低減
塗　　装	・３コート３ベーク仕様（クロメート処理→粉体→カラーベース→クリヤー） ＜特徴＞厚膜の粉体塗装（トータル約１５０μ）により、滑らかな塗装面と強力な保護性能を有する。

※取付けにあたっては、別売のハブナットが必要です。ナット貼付けタイプを使用してください。

2	旧型車からの改良点

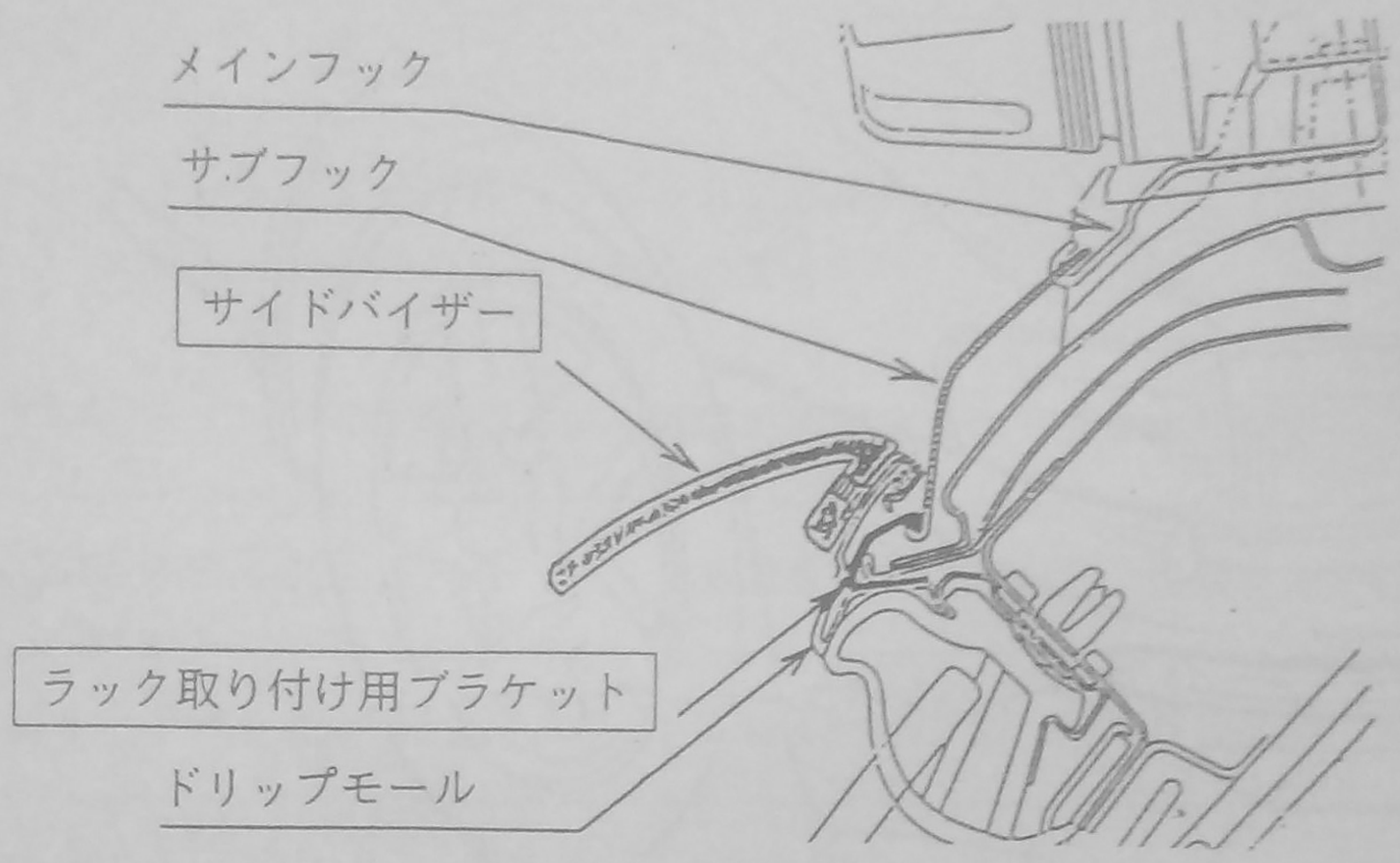
品名	サイドバイザー

商品性・使用性・取付性・性能向上

＜改良点＞

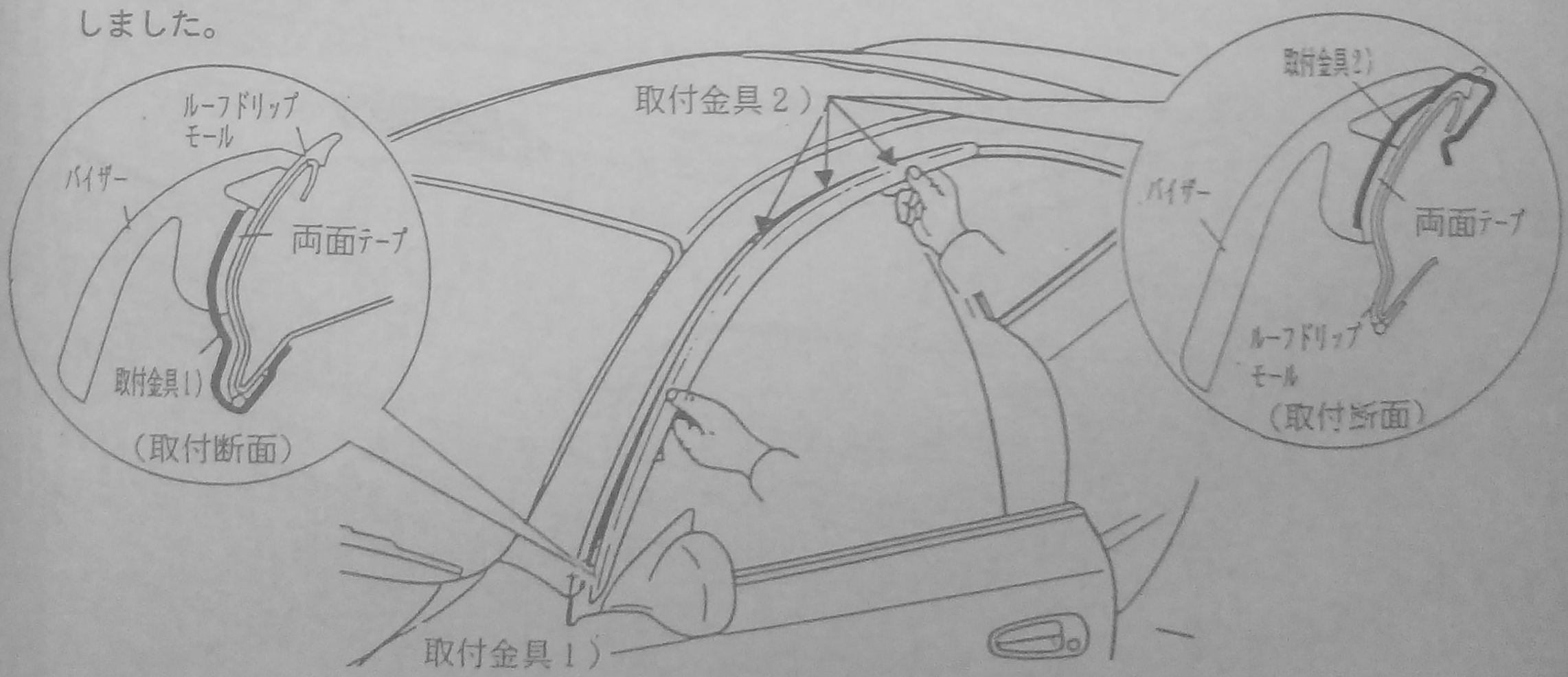
1．商品性・使用性向上

サイドバイザーを取り外すことなく、純正ルーフラックとの同時装着を可能にしました。



2．取付性向上

ルーフモールにバイザーと一体化された金具をかけ、両面テープだけで貼り付けるだけの構造にしました。



3．性能向上

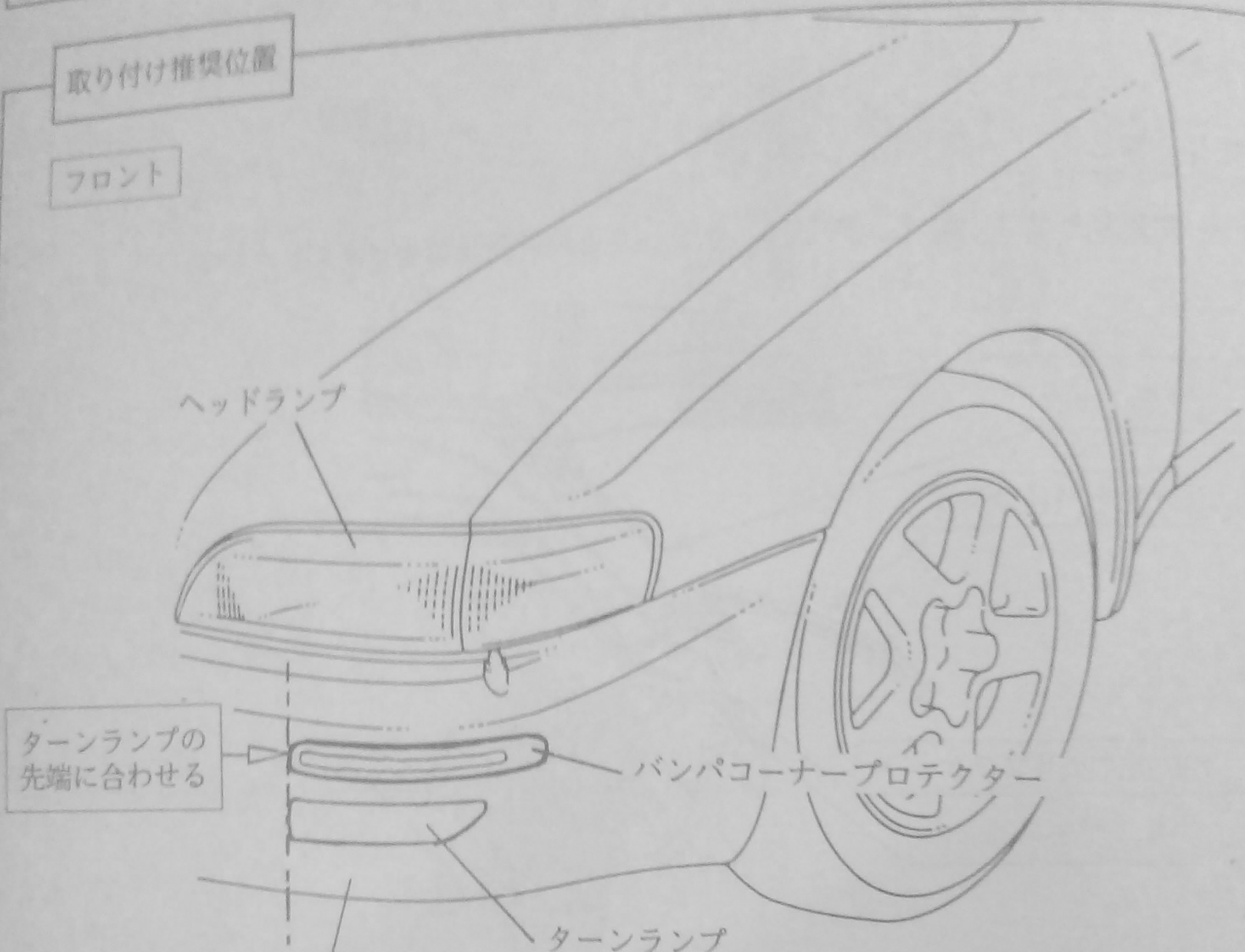
風洞試験，実車走行試験を重ね、本体形状の最適化を図り、風切音を低減させました。

０．５～４ＫＨＺで＋０．９ｄＢ以内（１００km/h）

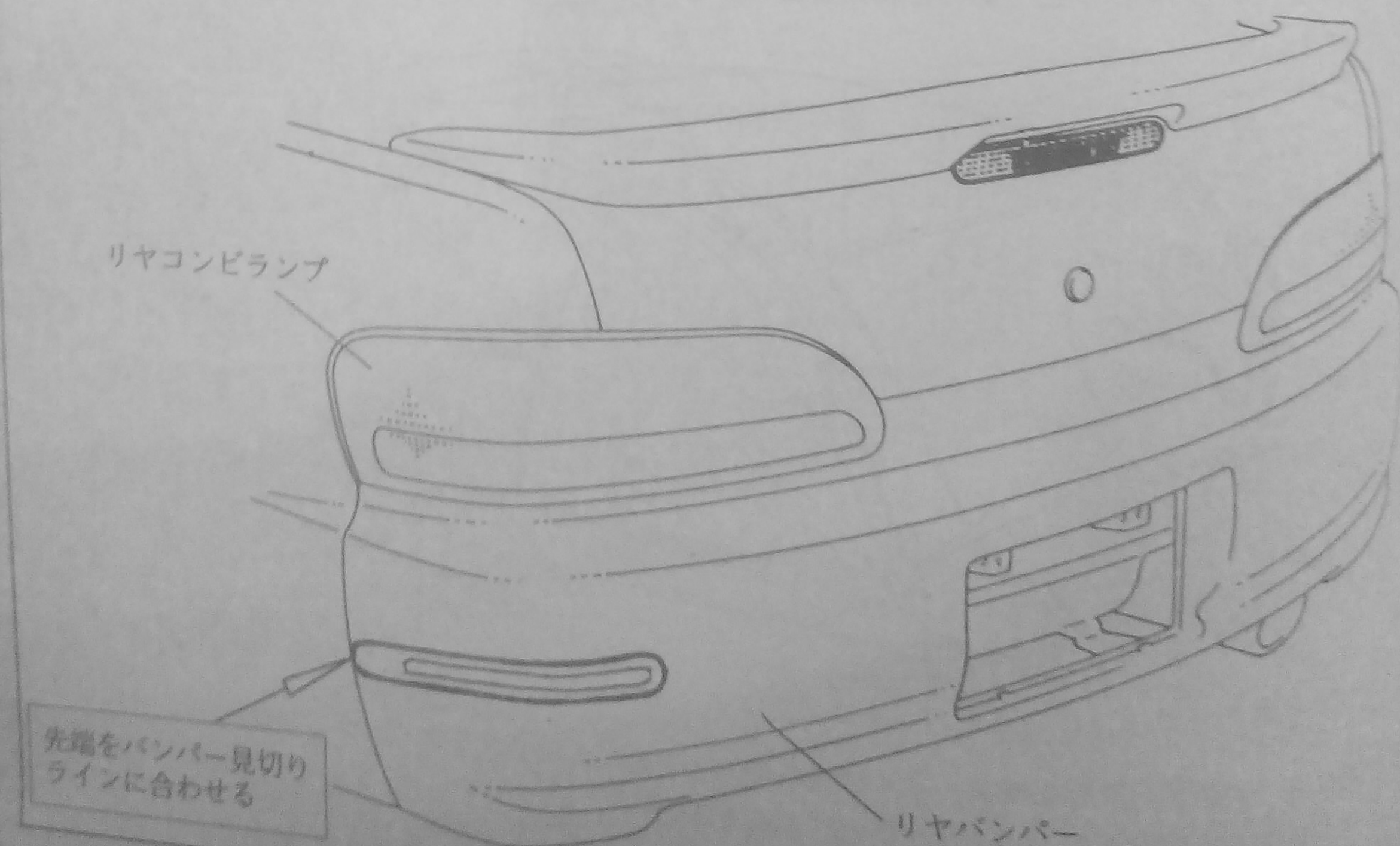
品名	バンパーコーナープロテクター

取り付け推奨位置

フロント



リ　ヤ



品名	ラック

商品性・使用性向上

＜改良点＞

車両側にラック取り付け用ブラケットを設定し、サイドバイザーとの同時装着を可能にしました。
又、ウエザーストリップをつぶすことなく取り付けられる構造とし、水入り，見栄えに対する性能を確保しました。

＜主な製品仕様＞

1．マルチシステムラック

（1）ベースラックのビーム長（フロント／リヤ）　８１３／８１３㎜

・ベースラック装着時のルーフからの高さ　６５㎜

（2）アタッチメントの交換により６種類の使い分けができます。

①スキーラック	横置きキー付(2ﾀｲﾌﾟ)、縦置きキー付、キー無　があります
②ルーフラック	アルミパイプ製　前後長1000㎜、左右幅715㎜
③サーフボードラック	ラバー製ソフトタイプでサーフボードを損傷から守ります
④サイクルラック	自転車を倒立固定するタイプで手締めにて脱着簡単
⑤ウインドサーフボードラック	ベルト３本で固定
⑥ルーフボックス	サイズ　前後960㎜ 、左右幅650㎜ 、高さ270㎜

従来使用されていたものが、マルチシステムラックＥＸ用であればそのまま使用できます。

取扱上の留意点

サーフボードラック　：ボードは２枚まで積載可能
サイクルラック　：ﾏｳﾝﾃﾝﾊﾞｲｸの場合は１台のみ、ﾛｰﾄﾞﾚｰｻｰ 仕様なら２台まで積載可能
ウインドサーフボードラック：重量30Kg以下、全長3500㎜以下のボード１枚を積載可能

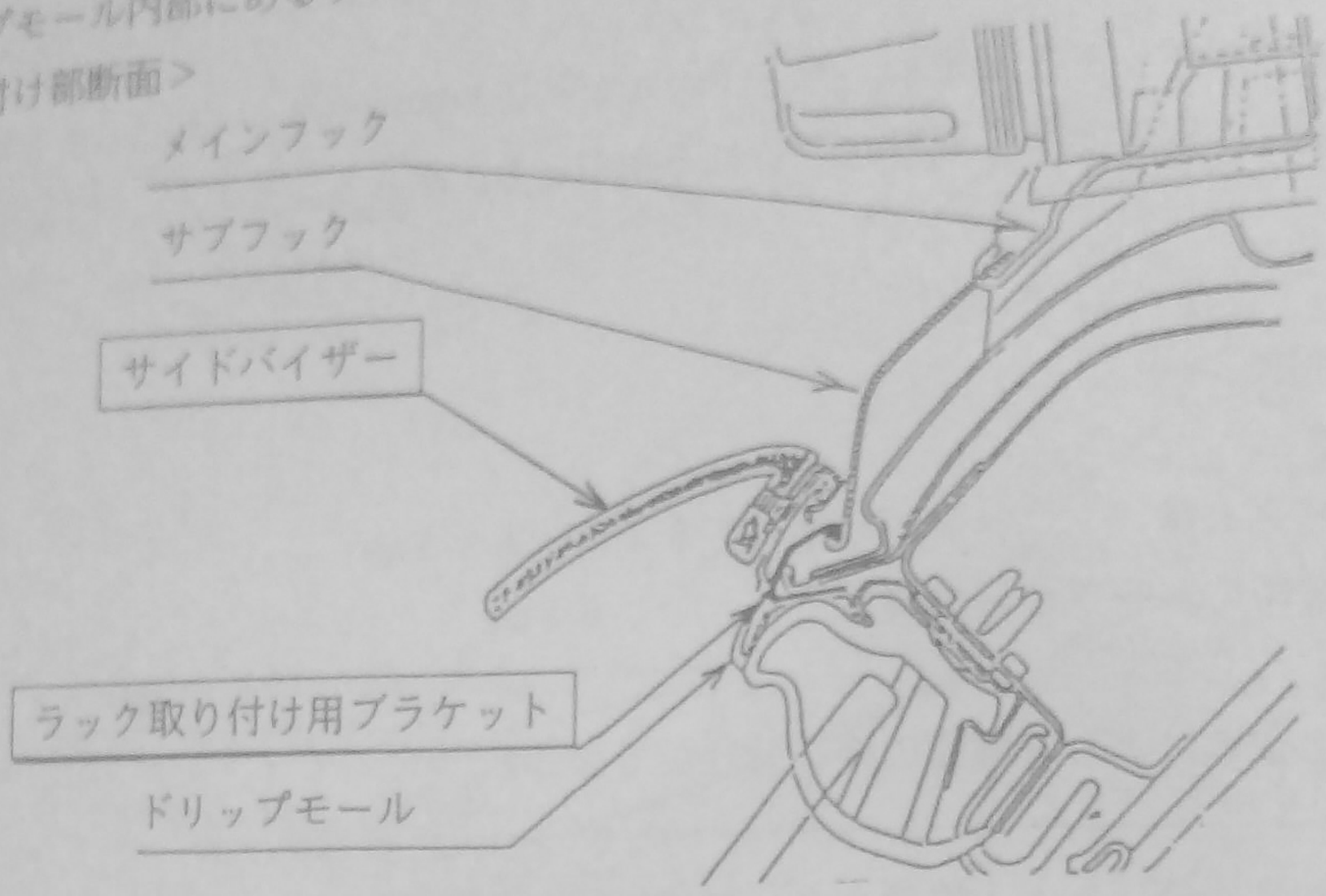
2．高級スキーラック

・スキーラック装着時のルーフからの高さ　１７５㎜

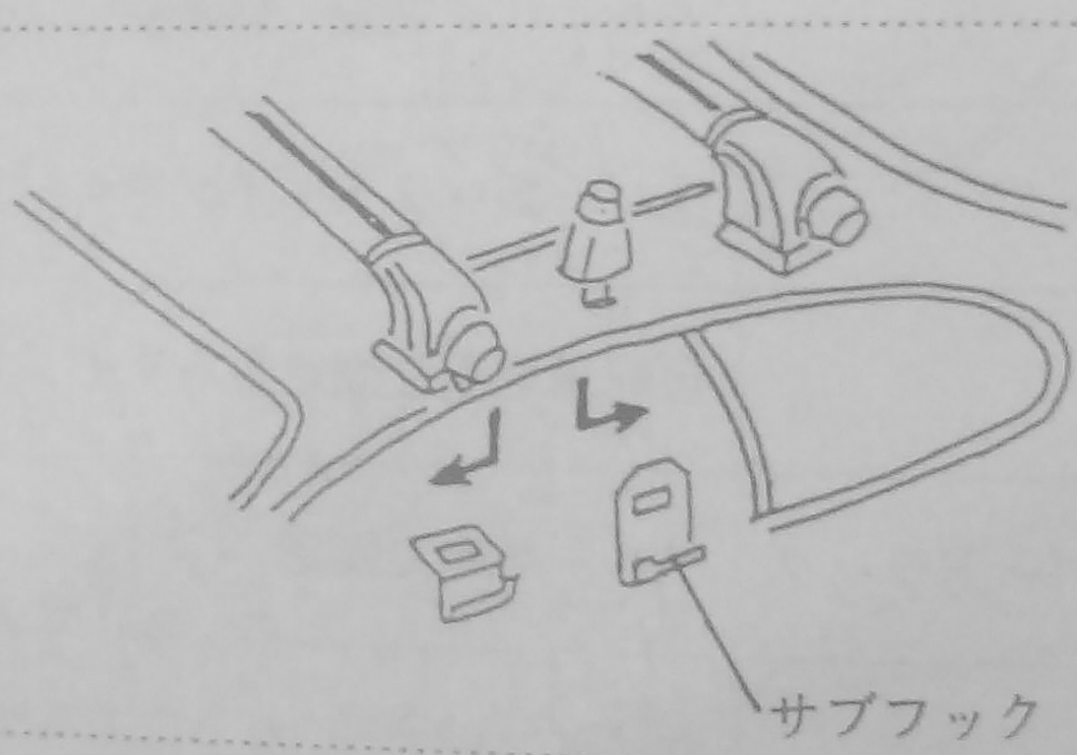
取付概要

ドリップモール内部にあるラック取り付け用ブラケットにサブフックを引っ掛ける。

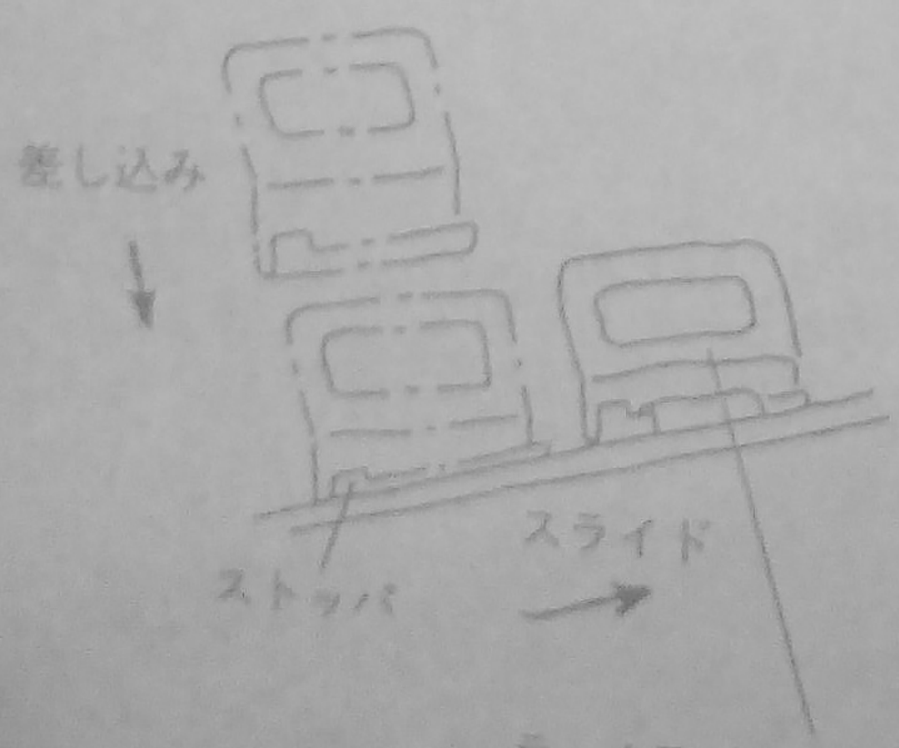
<取り付け部断面>



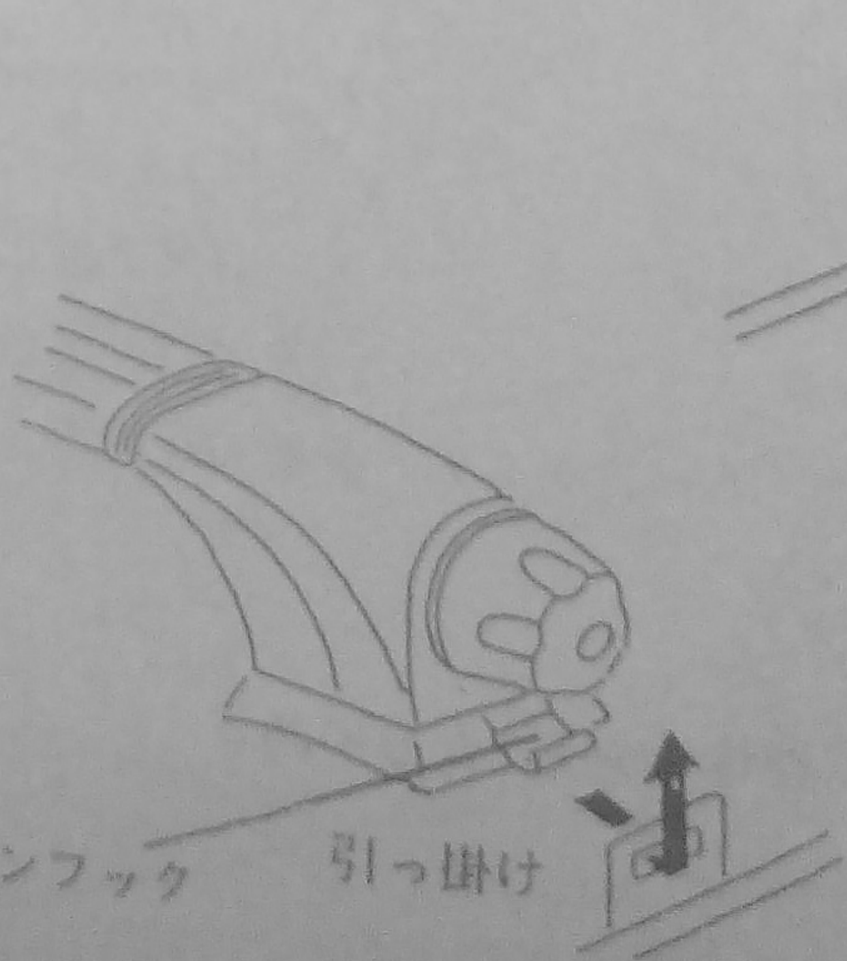
<取り付け要領>



(1)サブフックをスライドさせ、ラック取り付け用ブラケットに挿入する。



(2)メインフックをサブフックの穴に引っ掛ける





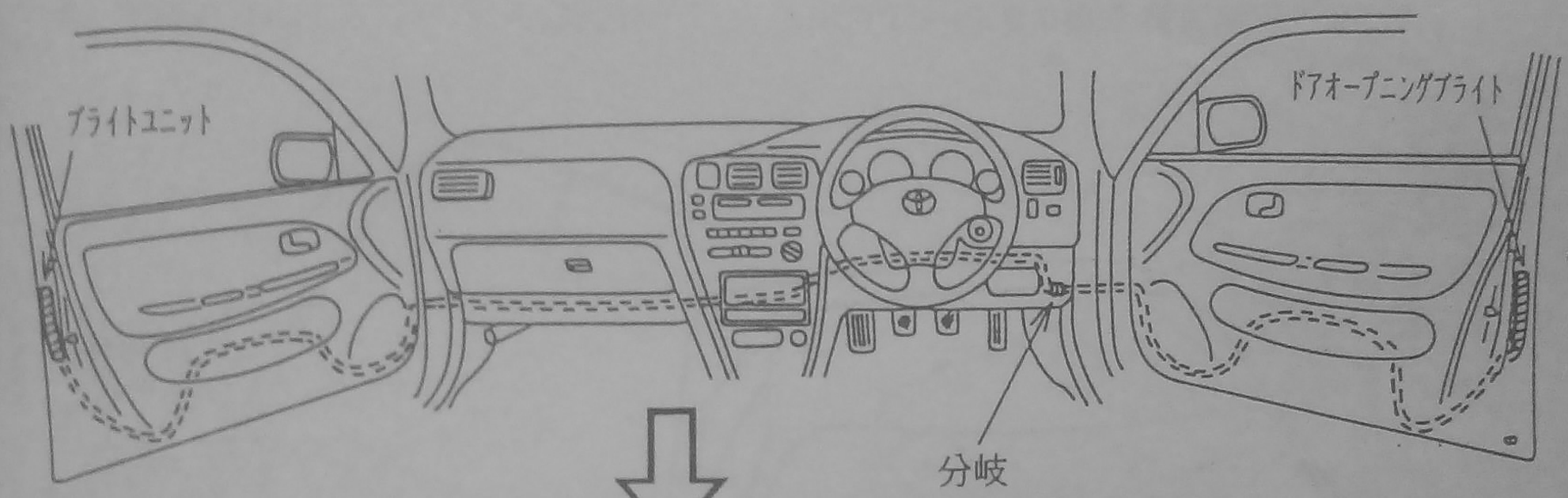
品名	ドアオープニングブライト

取付性向上

＜改良点＞

電源取り出し位置を右カウルＪ／Ｂ→右ドア内のカーテシランプに変更し、配線作業を軽減しました。

（作業時間　１．３Ｈ　⟶　０．６Ｈ）

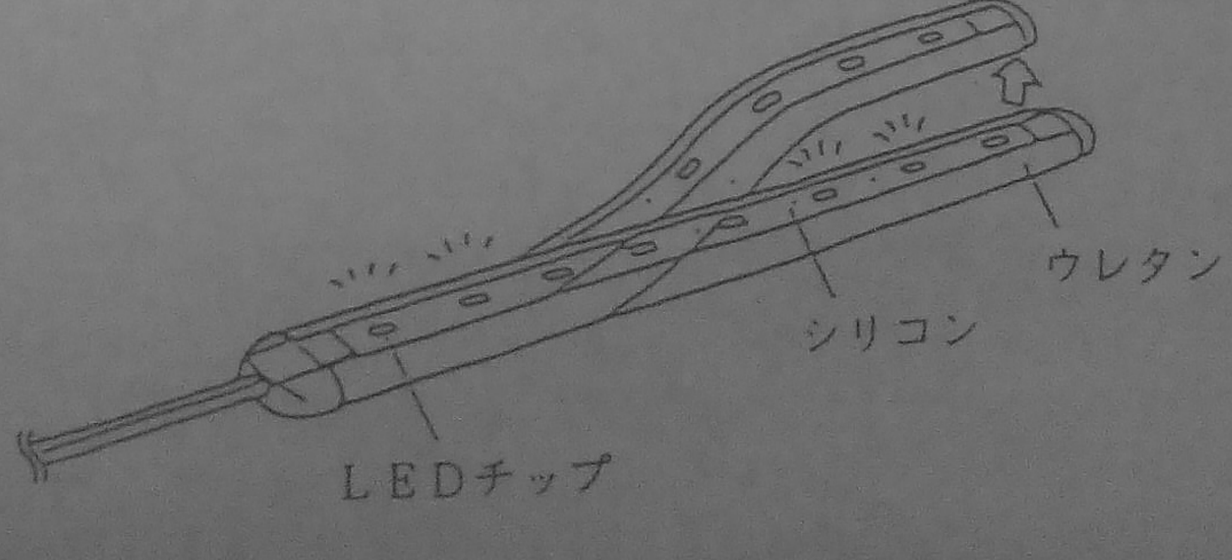


＜仕様＞

・ＬＥＤチップを８個使用。

・本体はシリコン・ウレタン樹脂仕様でフレキシブルであり、アルミ板内蔵により可塑性もある。

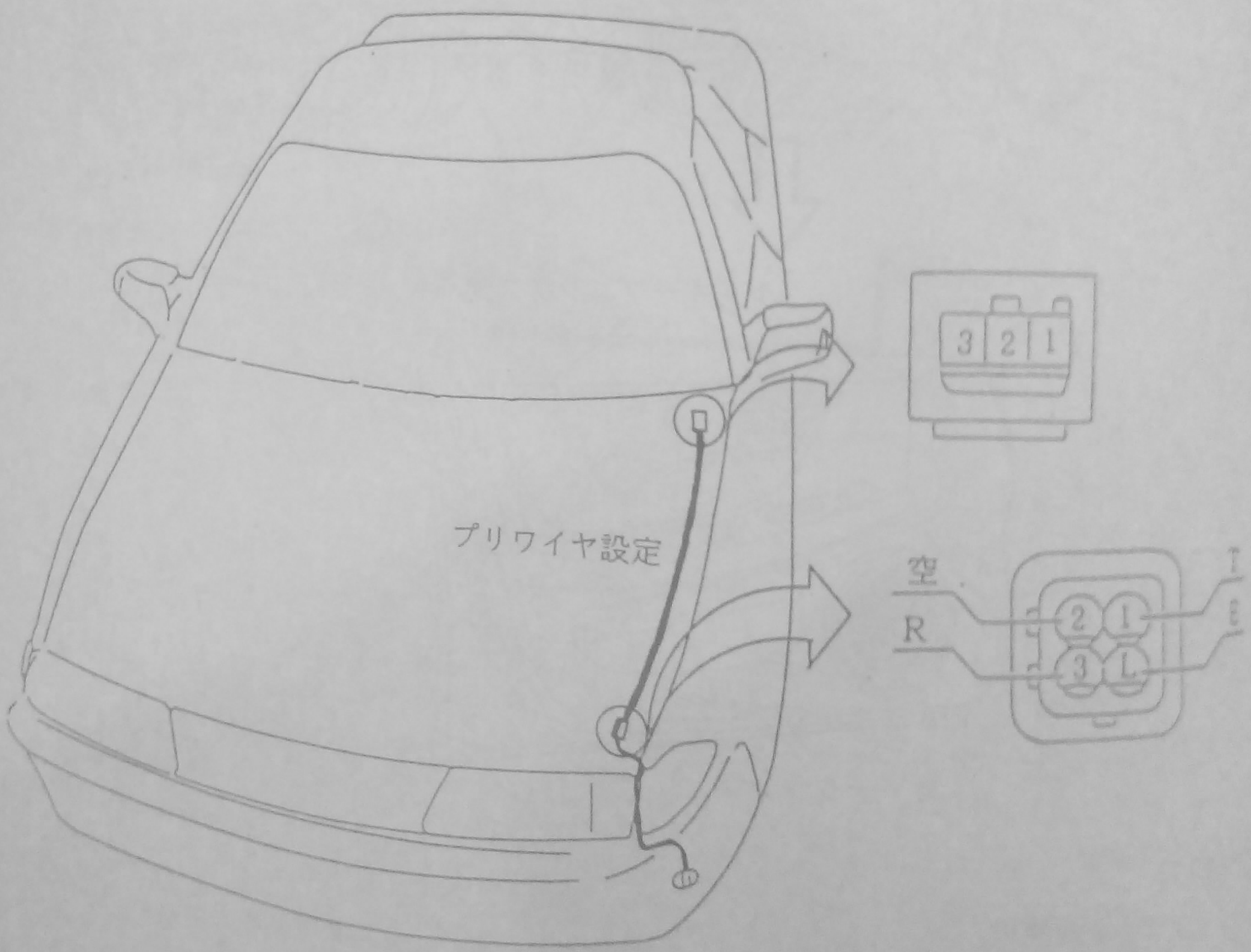
・ドアカーテシランプに接続することによりドアの開閉に連動し、点灯・消灯する。



品名	コーナーセンサ（Ｆｒ）

取付性向

＜改良点＞
バンパー左コーナー部より、車室内（カウルサイド）まで車両にプリワイヤを設定することにより
配線作業性軽減。
（作業時間　1．2Ｈ　→　1．0Ｈ）



品名	ワイヤレスドアロックリモートコントロール

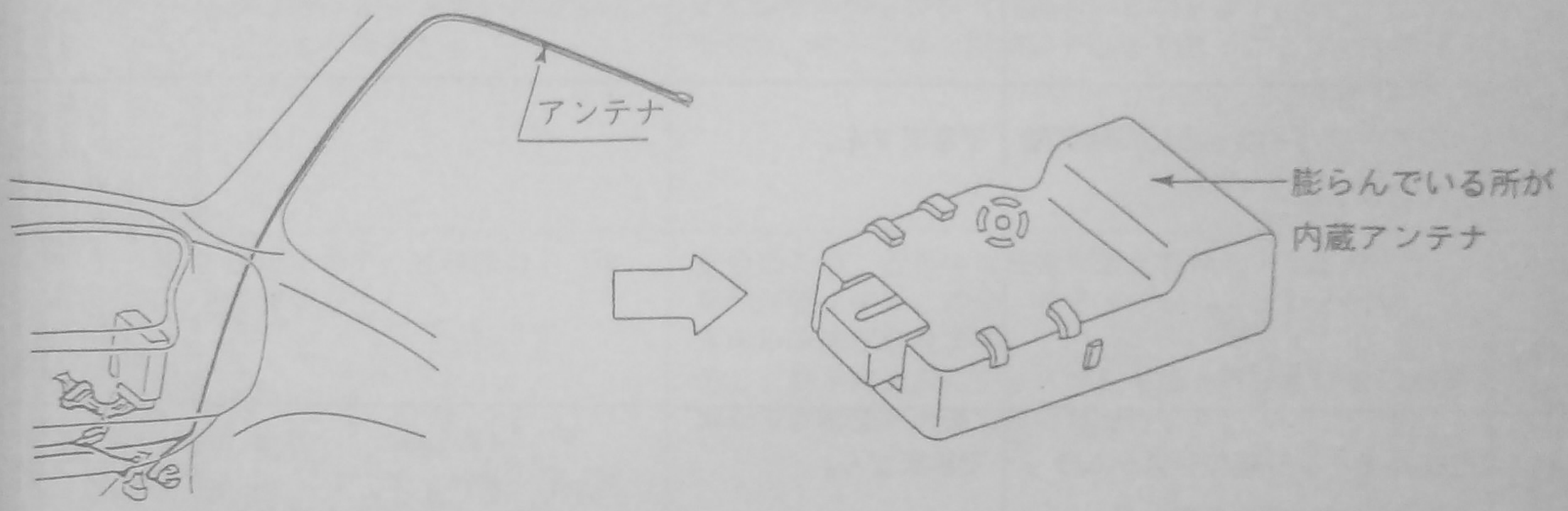
取付性・操作性・サービス性向上

＜改良点＞

1．取付性向上

アンテナを受信機に内蔵することにより、ピラーへのアンテナ配線作業を不要にしました。
（作業時間　1．0H　→　0．5H）

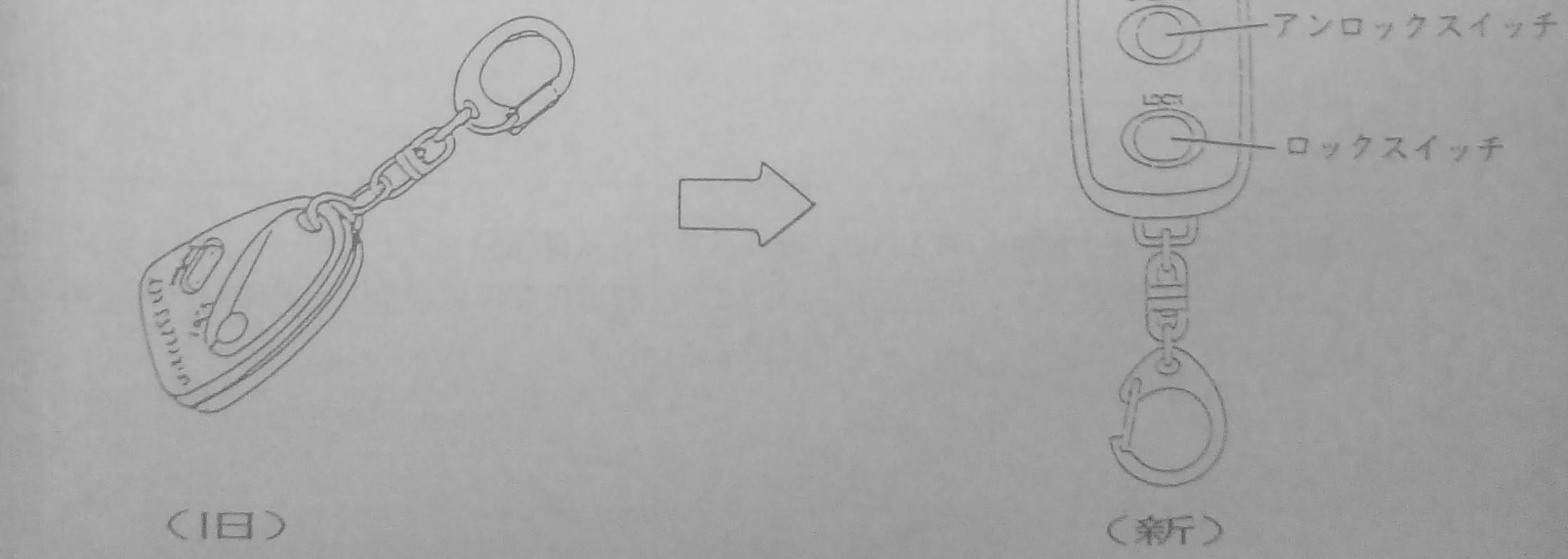
又、内蔵小型化するにあたって周波数領域を５０MHZ →３００MHZ 帯に変更しました。



（旧）　　（新）

2．操作性向上

トランスミッタ（キーホルダータイプ）の大型化及び構造変更によりスイッチボタンのフィーリング向上をはかりました。



（旧）　　（新）

3．サービス性向上

トランスミッタの点検時従来はＦＭラジオを使用していましたが、受信機にダイアグ機能を持たせました。

3 Q&A

	No	質　問　(Q)	回　答　(A)
システムラック	1	サイドバイザーとの同時装着はできますか？	できます。 車両側ドリップモール内に取り付けブラケットが設定されており、そこにフックを引っ掛ける構造となっています。
	2	サンルーフバイザーとの同時装着はできますか？	できません。
	3	モデルチェンジ前のシステムラックは取り付けできますか？	できません。
	4	他車種用のシステムラックは取り付けできますか？	できません。
リフト	1	本体を取り外すことなく2柱リフトを使用できますか？	可能です。但し、リフトに付属のリフトアタッチメントを必ず使用して下さい。なお、作業の際にはリフトと本体が干渉していないことをご確認下さい。

	No.	質　問　(Q)	回　答　(A)
1DINインチテレビ	1	テレビの音声はどのスピーカから出力されますか？	テレビの音声は、オーディオのアンプを使用して出力するため、車両の全スピーカから出力されます。
	2	ラジオ、テープ等との関係はどうなりますか？	ダイレクトチェンジ（後勝ち）となります。また、このためラジオ、テープ等と同時にテレビを見ることはできません。
	3	走行中のテレビ映像はどうなりますか？	安全のため、走行中は映像が消え音声のみとなります。 車両が停止中で、かつ、サイドブレーキが引かれているときのみ映像が映ります。 但し、助手席方向にディスプレイ部を回転させると、助手席からは映像がお楽しみいただけます。
	4	走行中に映像を映すことはできませんか？	走行中の映像の取り扱いについては、日本自動車工業会の自主規制に準拠しており、走行中に運転者から見える状態でテレビ映像を映すことはできません。
	5	取付けできないグレードはありますか？	ありません。 但し、2DINサイズのオーディオが装着されている車両には取付けができません。（取付けスペースがないため）
	6	モデルチェンジ前の車に取付けはできますか？	車両2信号（PKB,SPD）接続用W/Hが専用になっており、モデルチェンジ前の車両では接続位置等が異なるため、取付けできません。
	7	ライン装着オーディオにテレビを取付けた場合、CDオートチェンジャーを取付けることはできますか？	CDチェンジャーリモコンコマンダーを使用して取付けが可能です。

	No.	質　問（Q）	回　答（A）
アア ルル ミミ ホフ イダ ルト セレ クス ナト	1	車検等、法規上の問題はありませんか？	問題ありません。届出値・諸元表との なく標準ペダルと同一形状です。
	2	他車及び、他社で同様の製品の設定はありますか？	トヨタ …… スープラ イスズ …… ジェミニピアッツア 三菱 …… ランサー・ミラージ、 ユーノス …… ルーチェ・ロードスター・RX-7 で、同様の製品が設定されています。
	3	設定はM／T車だけですか？	スポーティ走行の頻度の高いM／T車を に設定しました。 但し、フットレストはA／T車に装着で す。
トムス アルミホイール	1	バランスウエイトは、打込み式でも使用できますか？	できません。軽量化・意匠性を優先して 指定の位置に貼付け式を使用してくだ
	2	梱包内容を考えてください。	梱包箱内に、以下を同梱しております。 ・アルミホイール本体　1コ ・センターオーナメント　1コ ・エアバルブ　1コ ・取付・取扱説明書　1通 尚、ハブナットは別売となっております 詳しくは用品カタログ等を参照ください 但し、スチールホイール用の袋ナットで ば使用可能です。
トムスステアリングホイール	1	セリカにTOMSステアリングホイールを設定しないのは何故ですか？	運輸省への届出ができておりません。 次期改良のタイミングで設定できるよう を進めております。
	2	4WS車に装着できませんか？	できません。 ホーン信号の接点が異なる構造のため、 けできません。
	3	TOMS市販品との違いは何ですか？	トヨタ純正の品質を確保するために、 板厚及び形状、取付ボルトのネジサイズ 補強しています。

トヨタ純正 ウッド調パネル

取付要領書

このたびはトヨタ純正ウッド調パネルをお買い上げいただきありがとうございました。
本書はカリーナ・コロナにウッド調パネルを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
この「取付要領書」は必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

品　　番	適　用　車　種	年　　式
08172-20010	カリーナED・コロナエクシィブ	1993年10月～

取り付け時間

0.2H

取り付け上の注意事項

●本商品は天然の木目を印刷しておりますので、部品により柄及び色が完全には一致しておりませんのでご了承ください。

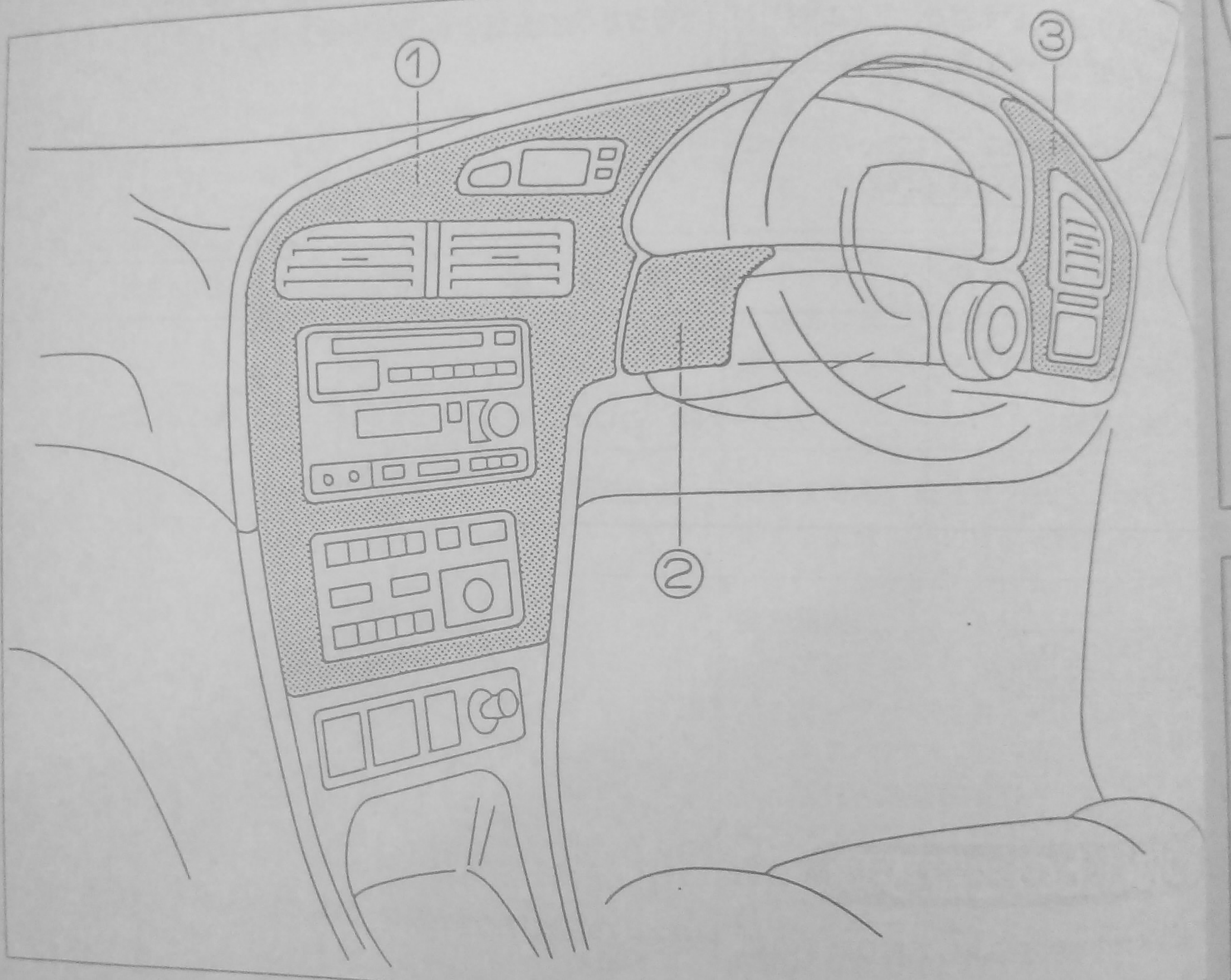
●強い衝撃、摩擦等が加わりますと外観を損なう恐れがありますので十分ご注意ください。

●強力な接着テープ（24H後接着剤となる）を使用しておりますので、取り付けにはやり直しのないように充分ご注意ください。

●接着剤作業後24Hで接着剤として硬化し、はがすことはできませんのでご注意ください。

構成部品

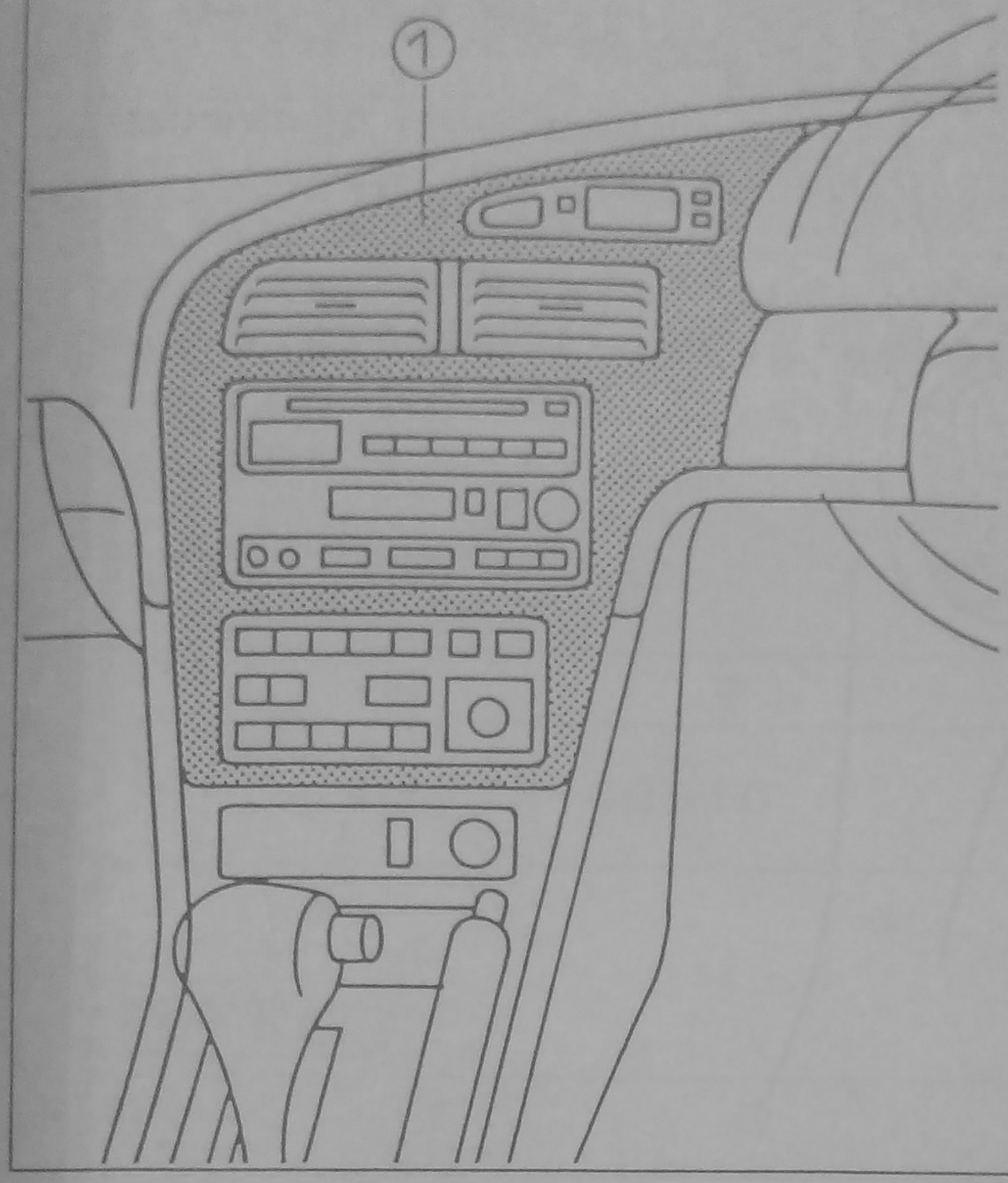
No	名称	個数
①	センタークラスターパネル	1
②	メータークラスターパネル	1
③	RHサイドパネル	1



取り付け概要

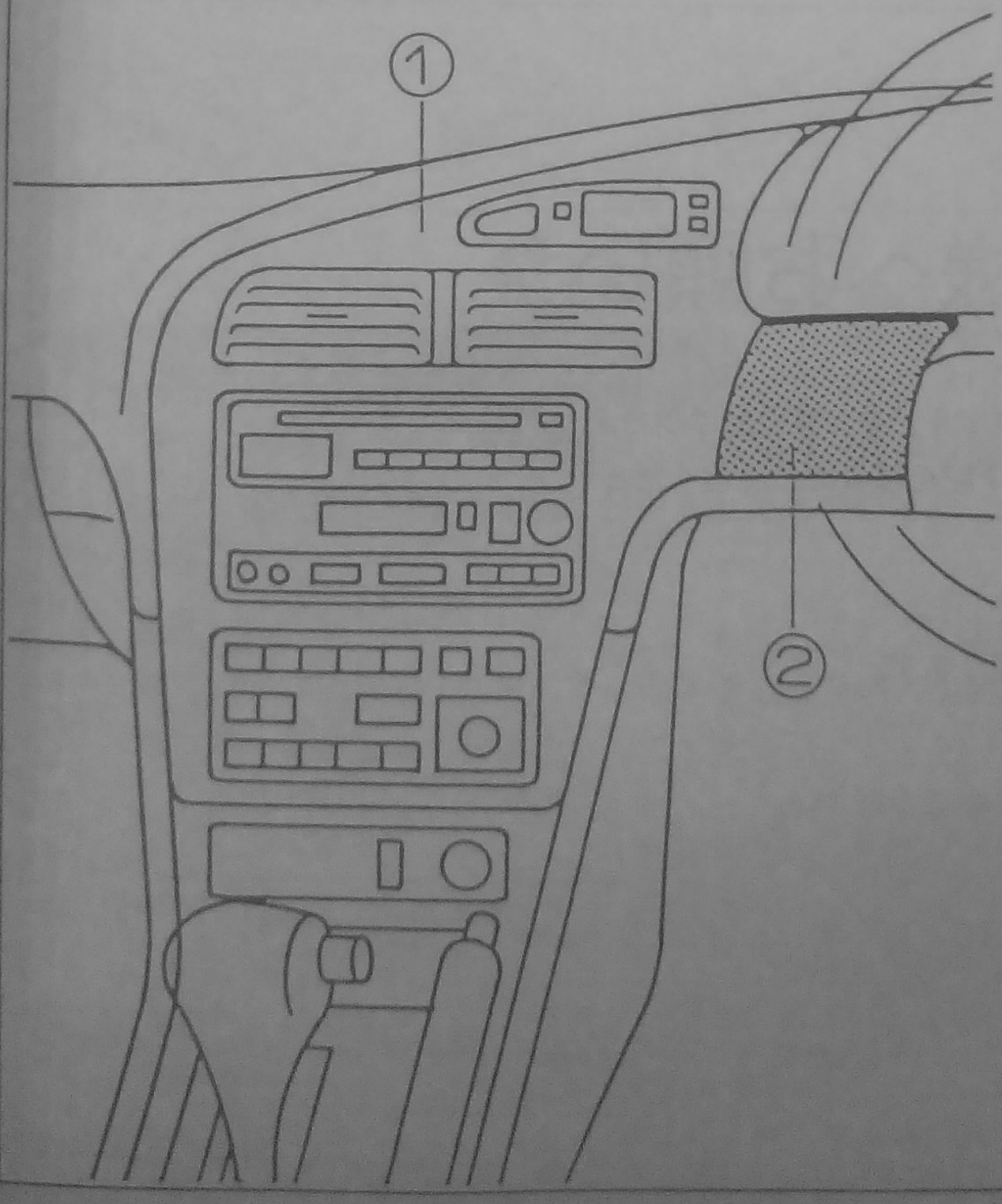
1．取り付け部位の清浄
　車両側の取り付け部位のほこりを乾いた布で拭き取ってください。
（水分・油分は、はがれの原因となります。）
2．部品の確認
　最初に１部品づつ離型紙をつけたままで取り付け位置を確認し、
　次いで離型紙をはがしてその位置に取り付けてください。
3．離型紙をはがした後、接着面にふれたり、ほこりをつけないでください。
（はがれの原因になります。）
4．各部品取り付け

取り付け要領



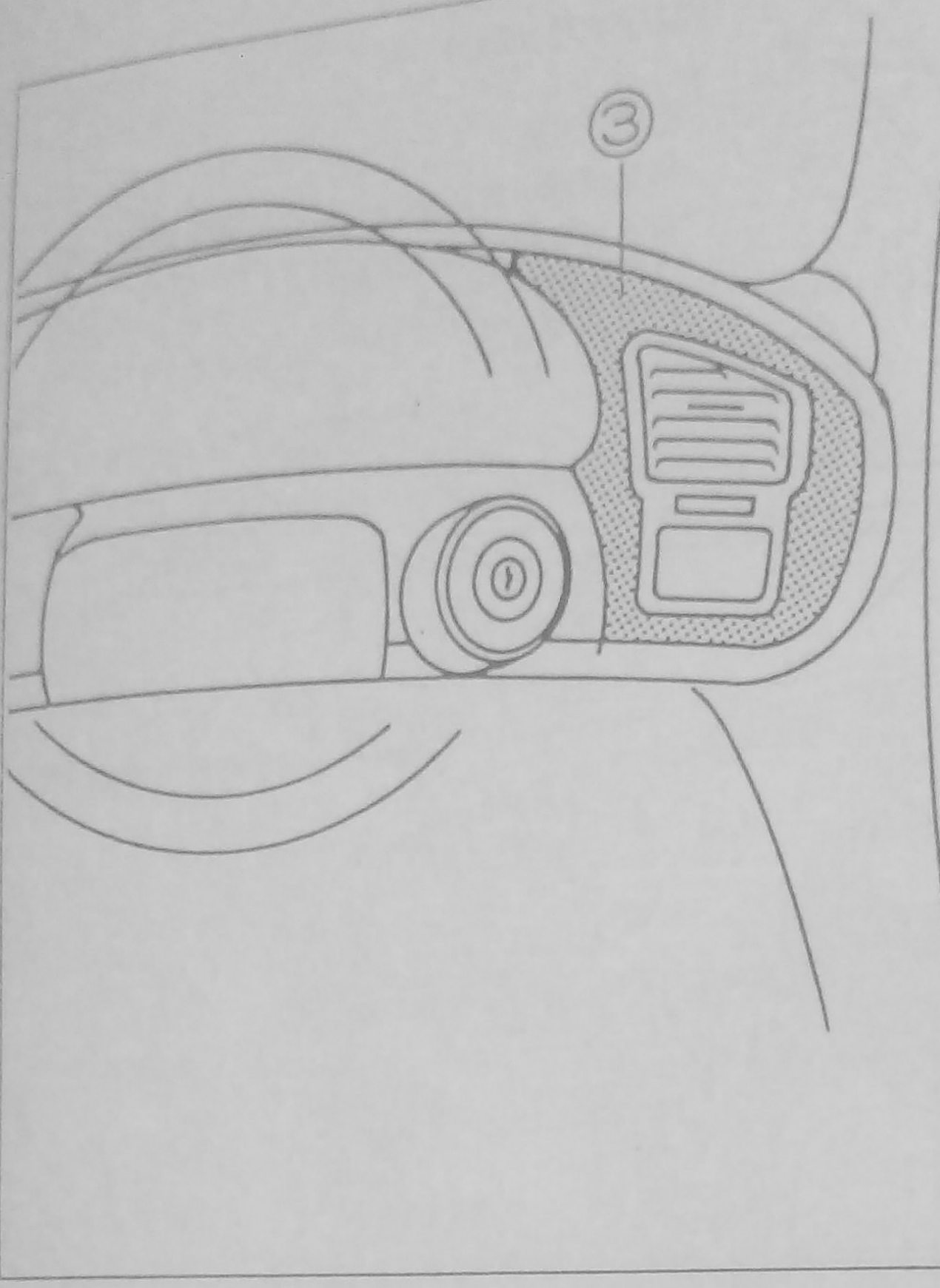
(1)No①の取り付け

オーディオ・ヒーターコントロール部の外周見切線に合わせ、全体の位置を確認しながら取り付けてください。



(2)No②の取り付け

上部の見切線に合わせ、全体の位置を確認しながら取り付けてください。



(3)No③の取り付け

外周見切線に合わせ、全体の位置を確
ながら取り付けてください。

≪お客様へお願い≫

このたびは、トヨタ純正「ウッド調パネル」をお買い上げ頂きありがとうございました。
ご使用にあたり下記の項目にご注意ください。

●商品を強く抑えるとワレの原因になります。

●汚れた場合は、柔らかい布で水拭きしてください。

●接着作業後24Hで接着剤として硬化し、はがすことはできませんのでご注意ください。

トヨタ純正 静電防止プレート

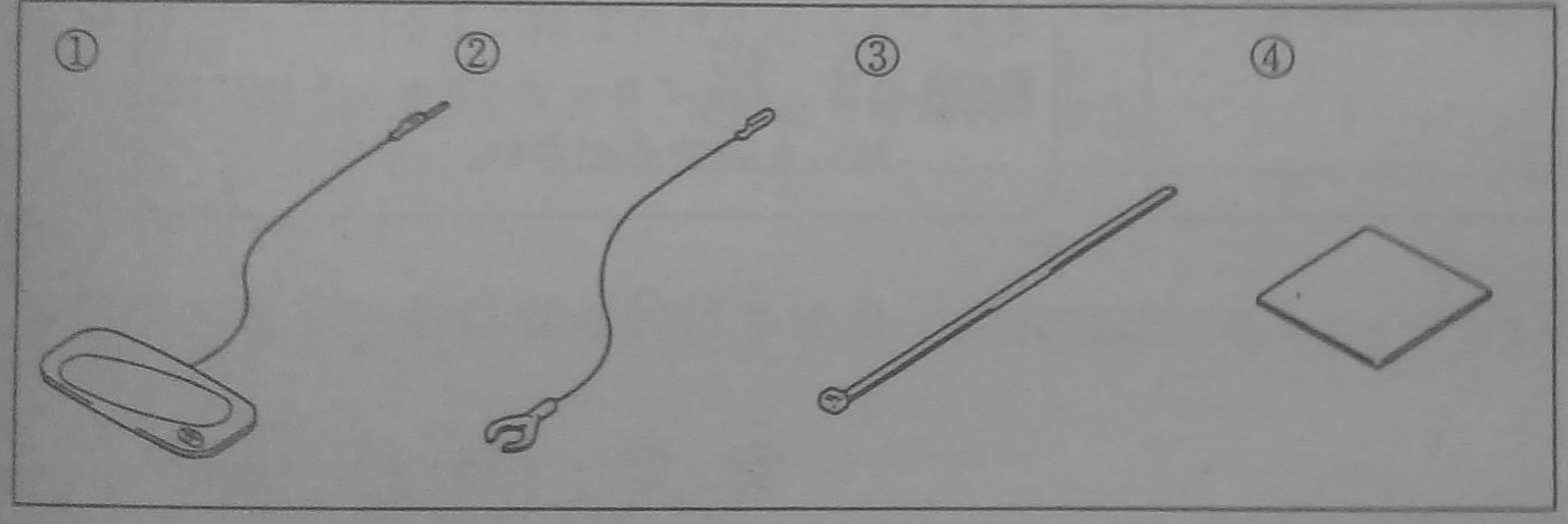
取付要領書

このたびはトヨタ純正静電防止プレートをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はトヨタ純正静電防止プレートを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

品　　番	適 用 車 種
08172-00010	全　車

構成部品



No.	品　　名	個数
①	プレートASSY	1
②	ワイヤハーネス	1
③	クランプ	1
④	シール	1

取り付け上の注意事項

1．本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。

2．車両部品の取りはずしに際して、タッピング　スクリューやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。

取り付けに必要な工具等

一般工具　　ドリル　　カッターナイフ　　ビニールテープ　　ガムテープ

768174-0011

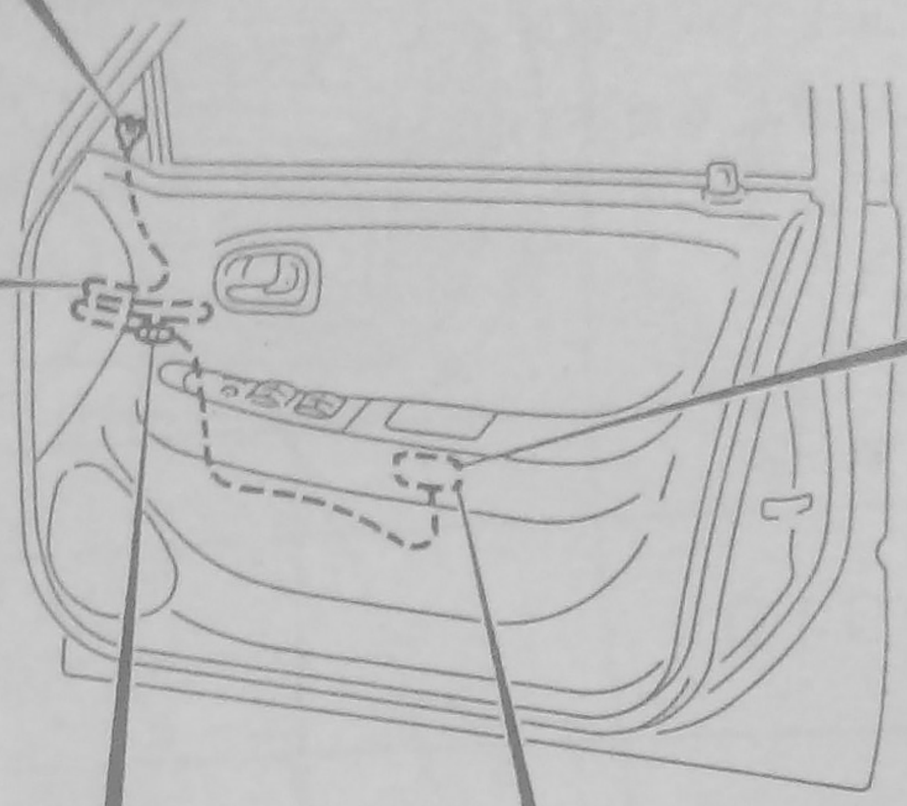
取り付け概要

アースボルトは

ボデーとの導通を必ずテスターで確認する。

取り付け要領は

後ページ・各車種ごとの取り付け要領による。
(作業前にドアガラスを下げてください。)



余分なハーネスは

クランプ・ガムテープ等で固定する。

プレートを貼り付ける前に

汚れ・油分を、アルコール等で拭き取る。

ターミナル接続後

ターミナル部分をビニールテープで巻いて固定する。

プレートの貼り付けは

平担な場所に貼る。(位置は、後ページ・各車種ごとの取り付け要領による。)

注意 曲面・ファブリック・モケット地には貼らないでください。

復元作業

取りはずした車両部品は元通りに取り付ける。

注意

復元時に車両ハーネスおよび静電防止プレートのハーネスをかみ込んだり、車両部品を損傷させないように注意してください。

最終点検

1. ハーネス類のかみ込み、車両部品の取り付けに異常がないか確認してください。
2. パワーウインドウ・ドアロックが正常に作動することを確認してください。

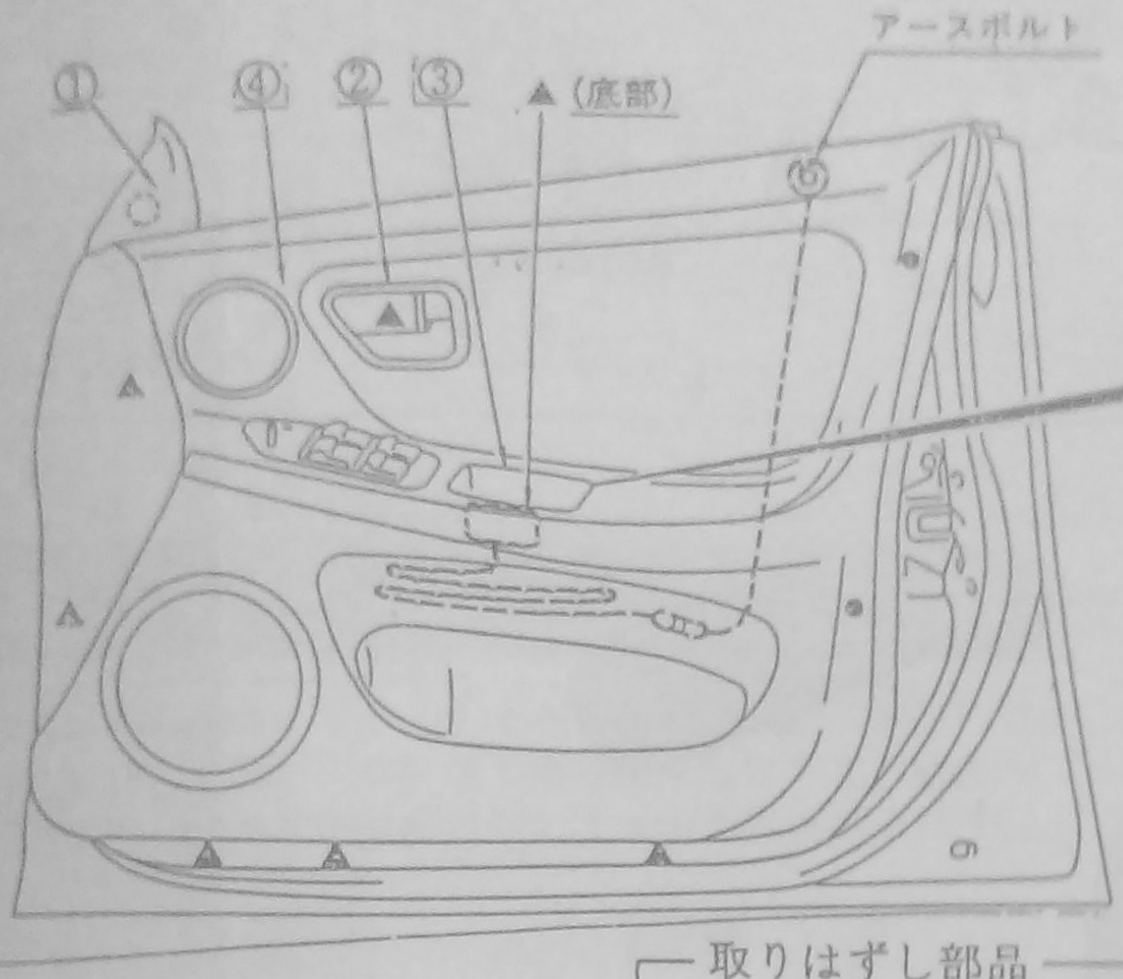
取り付け店殿へのお願い

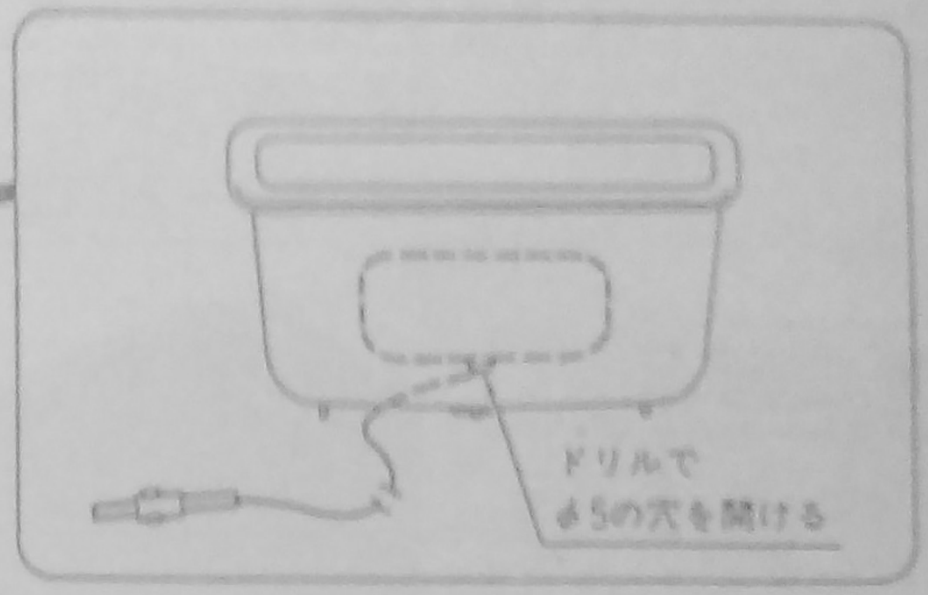
・必ずお客様に使用

取り付け要領

カリーナED・コロナEXiVへの取り付け

運転席側・助手席側に取り付ける場合（助手席側の場合はイラストが左右対称となります）

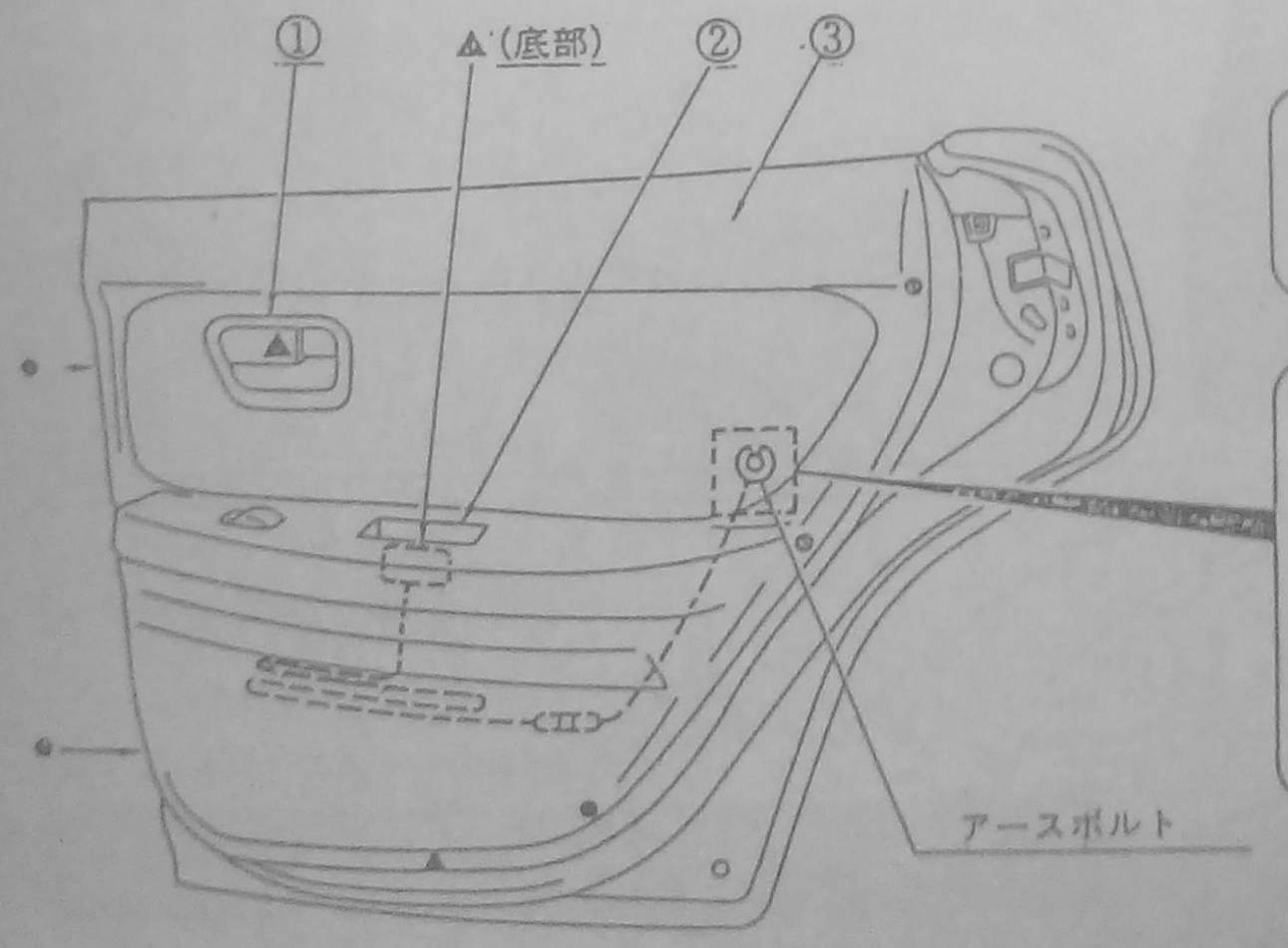




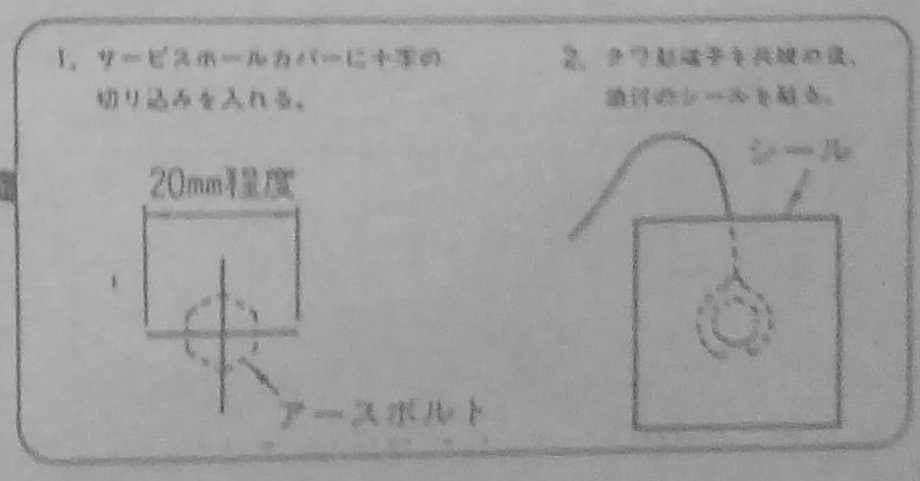
取りはずし部品

①ロワーフレームブラケットガーニッシュ
②フロントドアインサイドハンドルベゼル（▲印１箇所）
③ドアトリムプルハンドル（▲印１箇所）
④フロントドアトリムボード（●印２箇所，▲印５箇所）
〔●：クリップ，▲：スクリュー〕
※詳細は修理書を参照してください。

後部席右側・左側に取り付ける場合（後部席左側の場合はイラストが左右対称となります）



プレートASSYの取り付け要領は上記運転席側・助手席側の場合と同様です。



取りはずし部品

①フロントドアインサイドハンドルベゼル（▲印１箇所）
②ドアトリムプルハンドル（▲印１箇所）
③フロントドアトリムボード（●印５箇所，▲印１箇所）
〔●：クリップ，▲：スクリュー〕
※詳細は修理書を参照してください。

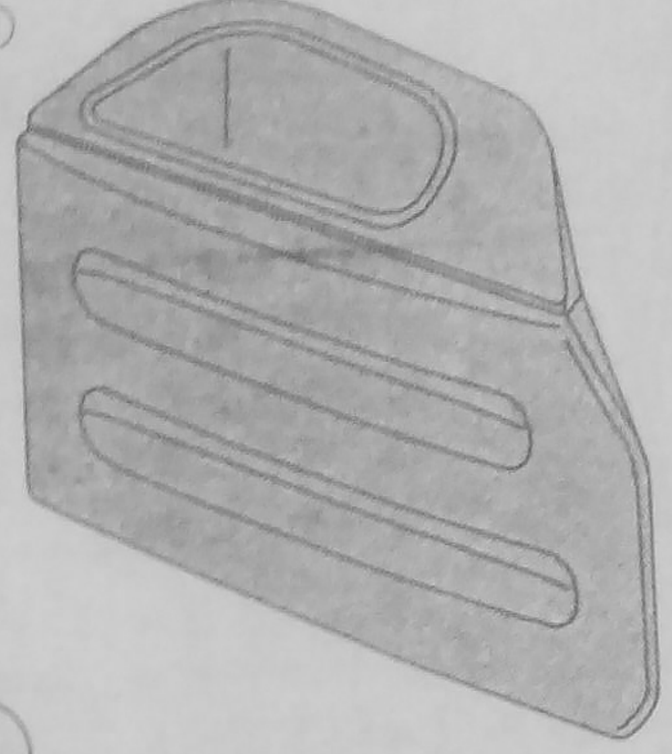
トヨタ純正トランクサイドケース

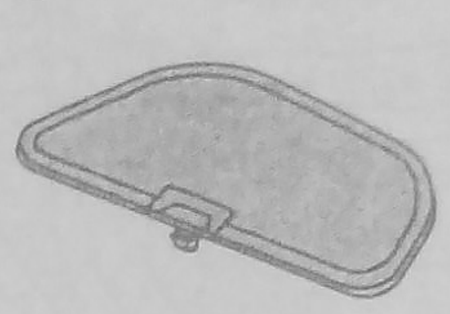
トヨタ純正トランクサイドケースをお買い上げいただきありがとうございました。
取扱いに際しては、この取扱書に従って行なってください。

品番および適用車種

品番	適用車種
08768-20110	ED
08768-20120	EXIV

構成部品

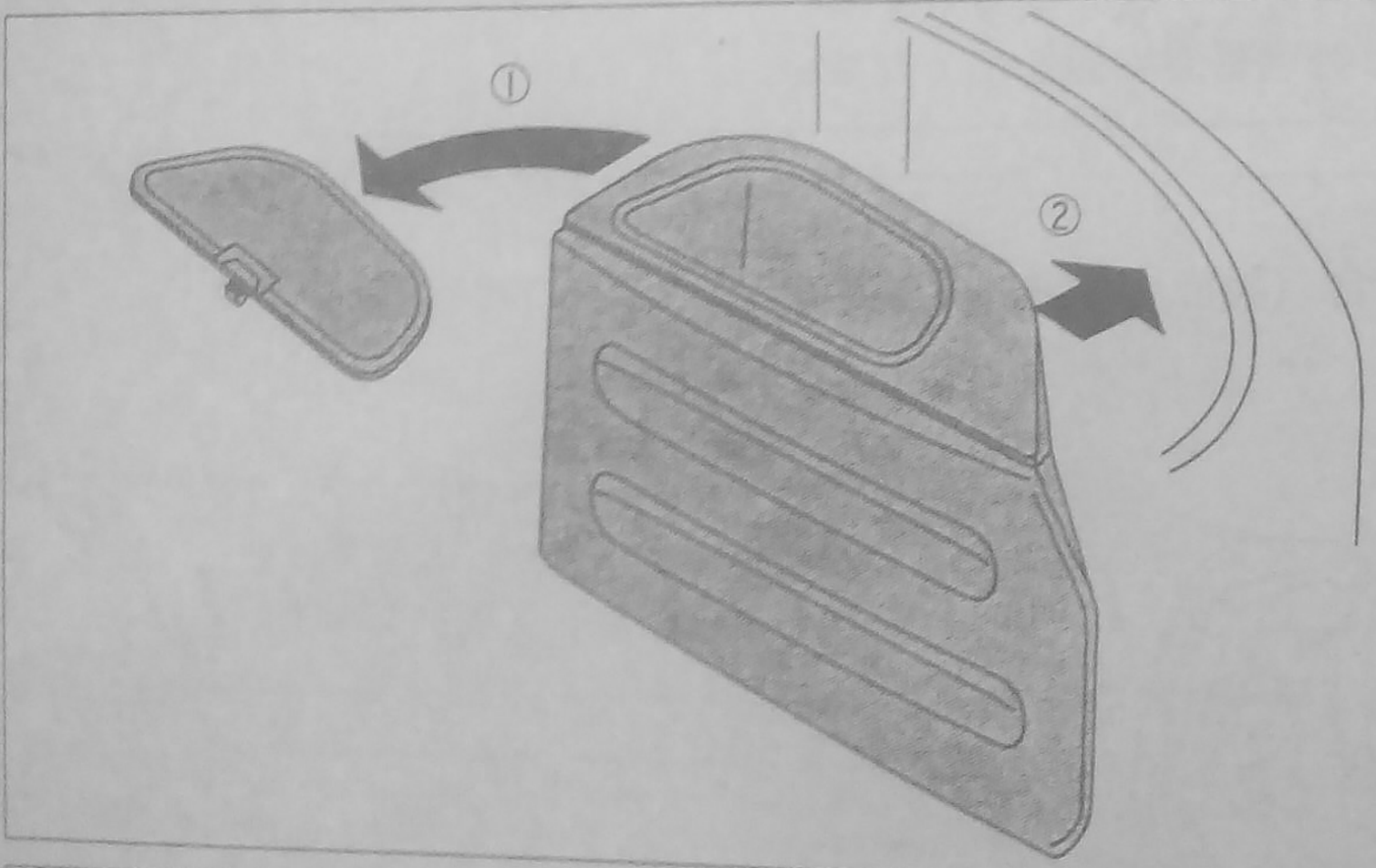




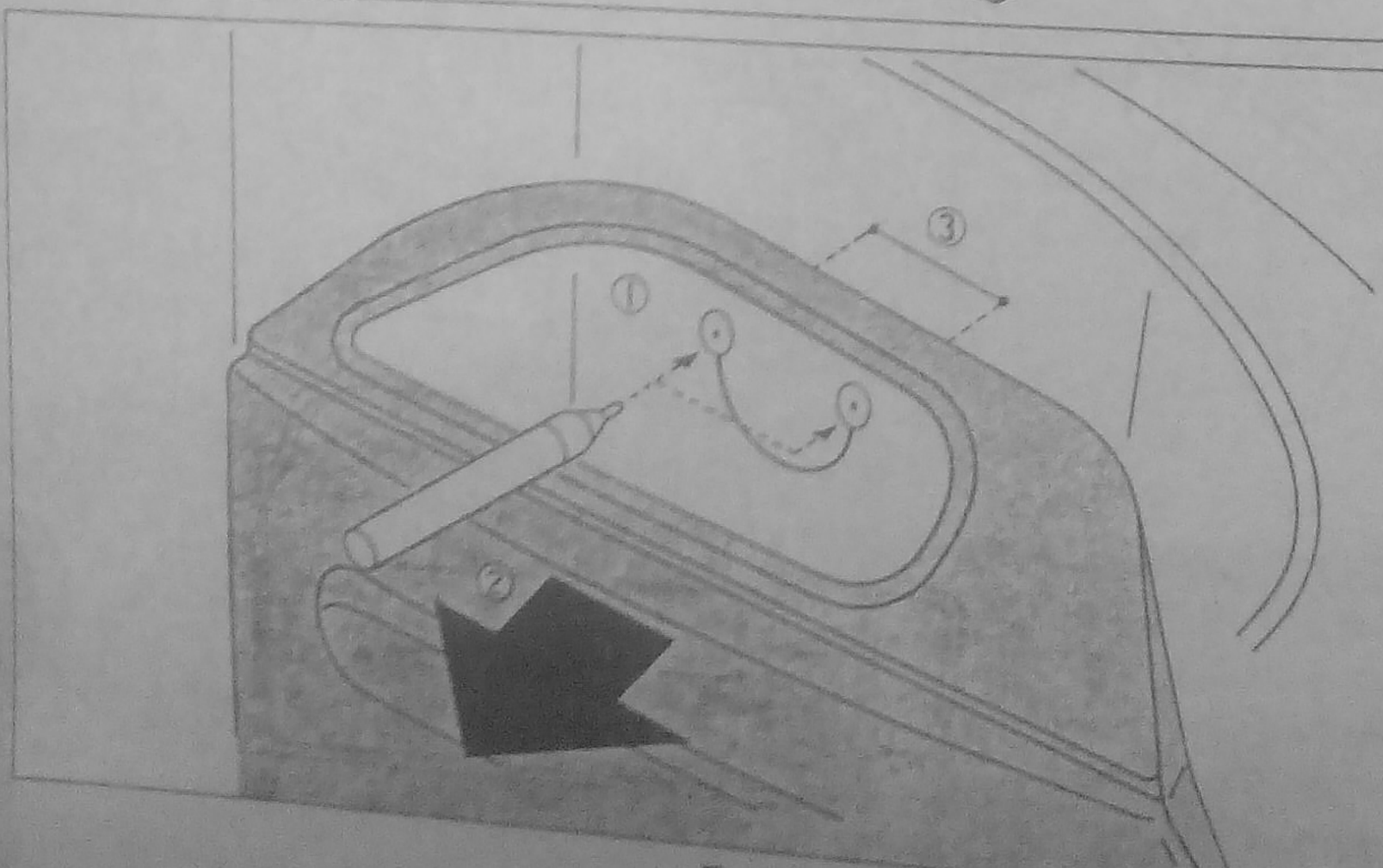
No.	品名
①	ケース本体
②	ケースリッド

	寸法
ED	451×181×70
EXIV	463×185×70

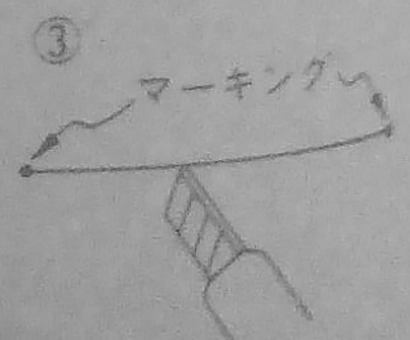
取り付け要領

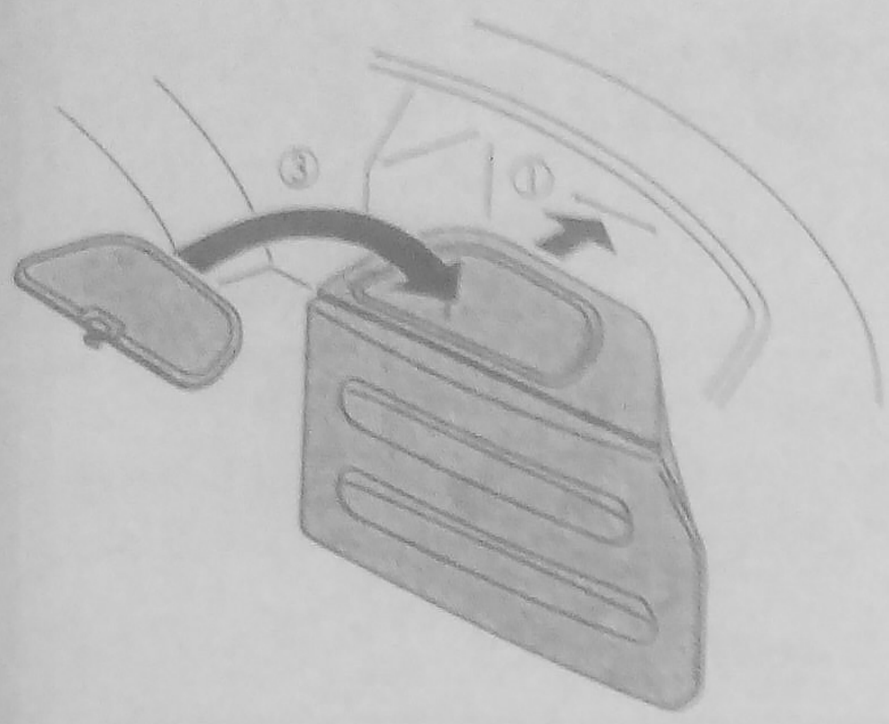


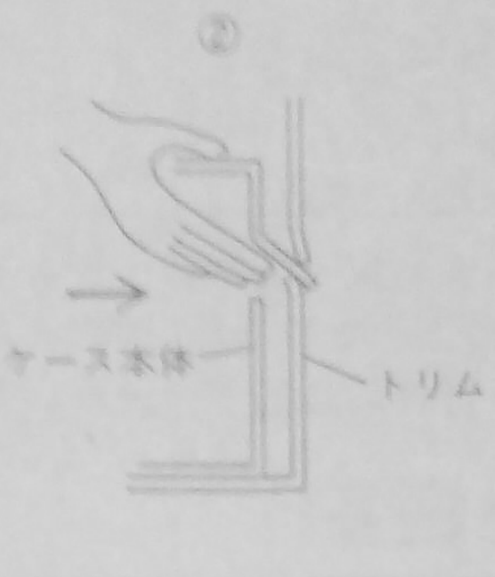
1 ケース本体からケースリッドを取りはずし①、ケース本体をトランクルーム右側にセットして下さい②。



2 ケース本体内側の切欠部分をでマーキングして下さい③。トリムからケース本体を取りはずし②、トリムにマーキングでスリットを入れて下さい。



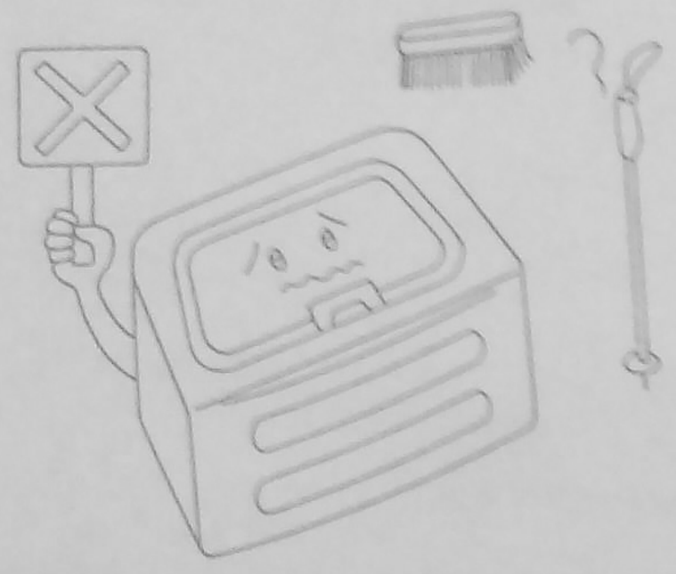




3 ケース本体をトランクルーム右側に入れ①、ケース本体内側からケース切欠部を押し出し、トリムのスリットへ差し込んで下さい②。ケース本体にケースリッドを取り付けて下さい③。

取扱上の注意事項

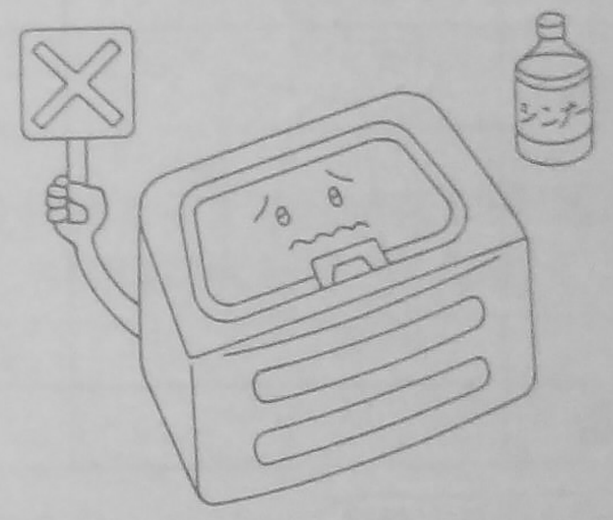
● トランクサイドケースを鋭利なもので突ついたり、硬いブラシ等で擦ったりしますと、破れたり、キズが付いたりしますのでお止めください。



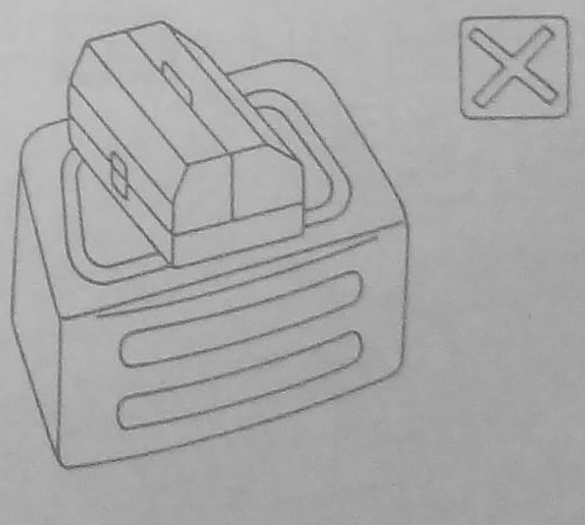
● トランクサイドケースの保管、乾燥では必ず平置きにしてください。不安定な状態での保管、乾燥は、変形の原因となりますのでお止めください。



● トランクサイドケースの汚れは、水または中性洗剤でスポンジを用いて洗い流してください。小石等が残っていますと、キズ付き、破れの原因となります。また、シンナー等の揮発油は変形、変色の原因となりますので、ご使用にならないでください。

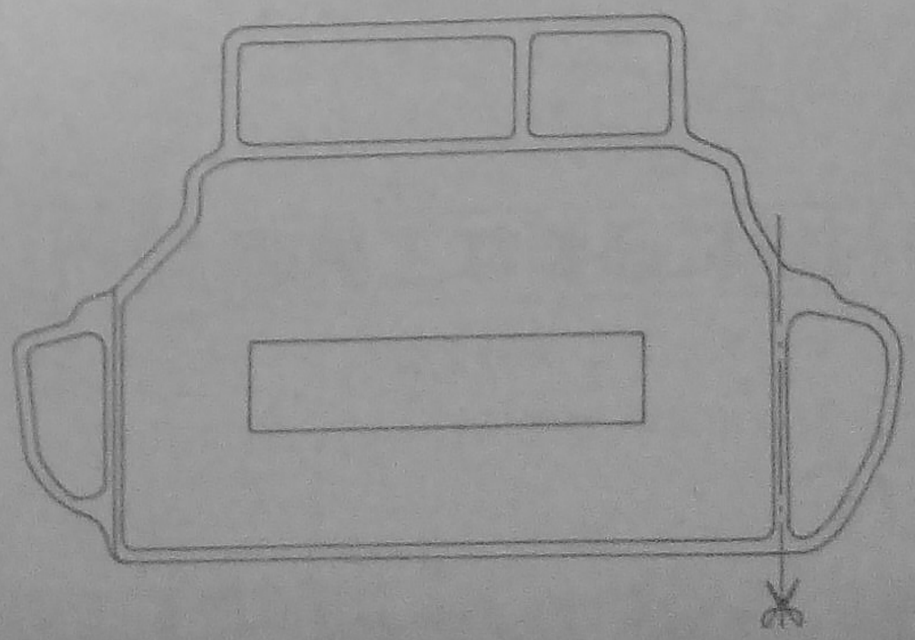


● トランクサイドケースの上に、重い物を載せますと、変形しますのでお止めください。



取り付け上の注意事項

● ラゲージトレイと同時装着の場合は、右図の位置（V溝中央）でトレイをカットして下さい。



トヨタ純正ニーサポート 取付要領書

このたびはトヨタ純正ニーサポートをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はスープラ、セリカ、カリーナED、コロナEXiVのニーサポートを取り付ける場合の取り付け
領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき正しい取り付けを行なってくだ

品番および適用車種

品番	適用車種	年式
08258-14003	スープラ	1993年5月以降
08258-20010	セリカ・カリーナED・コロナEXiV	1993年9月以降

構成部品

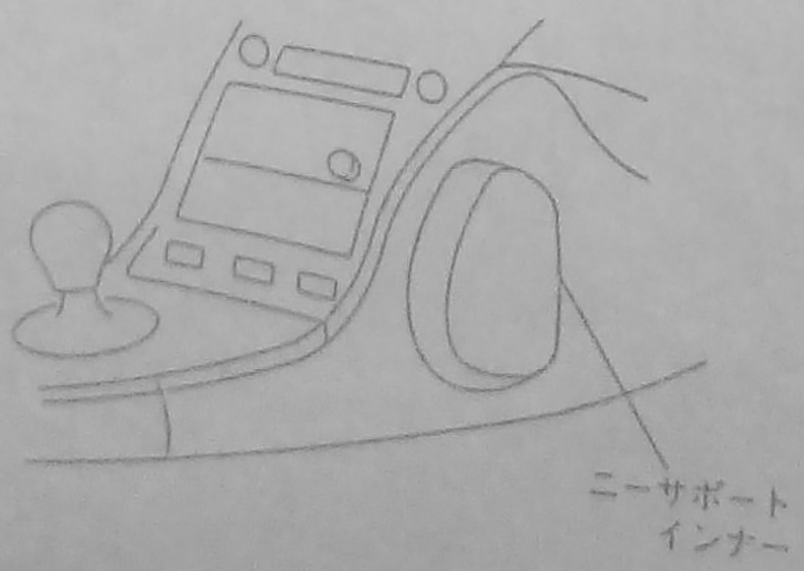
品名	ニーサポート・インナー	型紙
略図		
個数	1	1

取り付け時間　0.2H

取り付け上の注意事項

1. 本文中の取り付け上の **注意** は必ず取り付けに反映させて作業を行なってください。

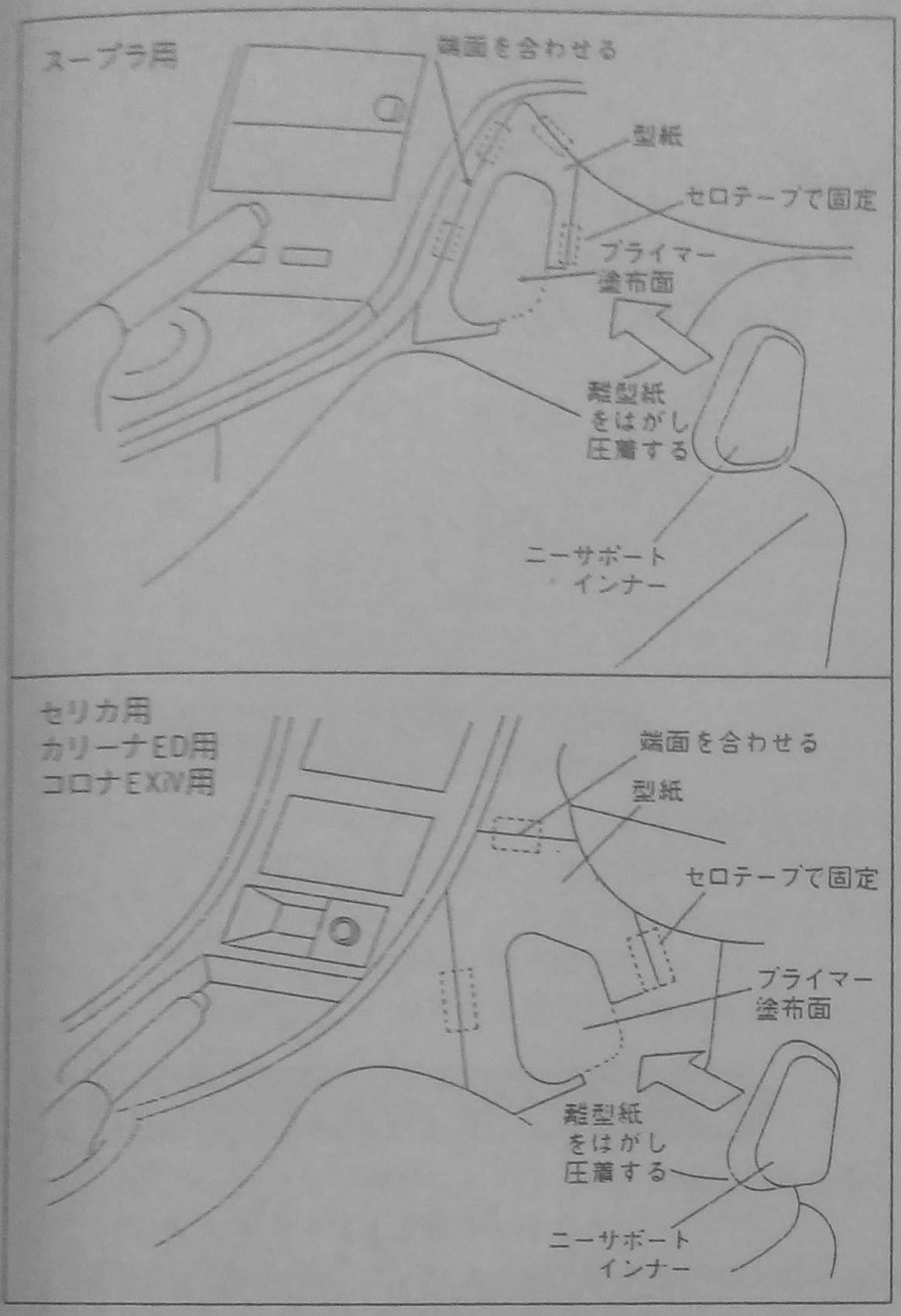
取り付け概要



取り付けに必要な工具等

ボ、セロテープ、反応型合成ゴム系プライマー（参考：トヨタ品番90999-91048、トルエン90-
サイドバイザーで使用のものと同じです）

取り付け要領



1.ニーサポートインナーの取り付け

(1)付属の型紙をカットする。

(2)型紙を取り付け部位に合わせセロテープで固定する。

(3)取り付け部位の汚れをふきとり、プライマーをニーサポートの取り付け部位全面に筆で塗布する。

注意

- プライマーは皮ふにふれないようにし、取扱い後は、手洗いを十分行なってください。
- プライマーは火気厳禁です。
- 乾燥(約3分指に付かない程度)してから取付作業を行なってください。
- プライマー塗布作業は換気のよい所で行なってください。
- 有機溶剤が含まれています。故意に吸引しないでください。

(4)ニーサポートの離型紙をはがし、浮きのないように全面を強く圧着する。

注意

- 接着力を保持するため圧着後24時間以内は引っ張ったり無理な荷重をかけないでください。

(5)型紙を取りはずす。

取り付け完了後の点検

1. フロントシートのスライド時ニーサポートに干渉しないか確認すること。

取扱上の注意事項

1. ニーサポートに足を掛けたり必要以上の力を加えないでください。
はがれの原因となります。

2. ベンジン、シンナー等、揮発性のものは樹脂本体を侵したり、接着はがれの原因となりますので絶対に使用しないでください。

インパネ・コンソールフロント合せ端末線

テープ

インパネロア合せ端末線

キリトリ線

上

テープ

キリトリ線

プライマー塗布面

ニーサポート外形線

トヨタ純正 リヤ サン シェード

プリントストライプ

取付要領書

このたびはトヨタ純正リヤサンシェードをお買いあげいただきありがとうございます。
本書はＥＸｉＶにリヤサンシェードを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番および適用車種

品　　番	適　　用　　車　　種	年　　式
08619-20180	ＥＸｉＶ	1993年10月以降
08619-20190	ＥＸｉＶ（ワイパー付）	

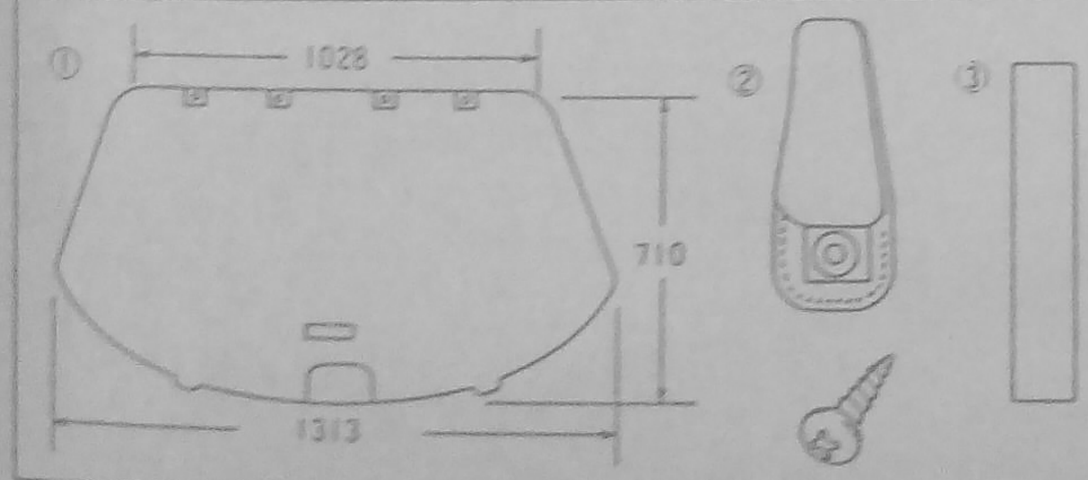
取り付け上の注意事項

(1) 無理な力を加えはめ込むと、割れることがあるので充分注意すること。
(2) リテーナーは所定の位置に確実に差し込み、熱線プリントに干渉させないこと。
(3) 特に寒冷・多湿期はリヤウインドガラスの室内側の結露はよく拭き取ること。
(4) リヤサンシェードを局部的に折り曲げないこと。
(5) 指紋等の付着防止のため手袋を着用して取付けること。

取扱上の注意事項

(1) リヤサンシェードの清掃には、うすめた中性洗剤を使用し、柔らかい布で軽く拭き清掃し、後で洗剤分を水で完全に拭きとり、乾いた柔らかい布で空拭きすること。
(2) 清掃にはシンナー、ベンジン、ガラスクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないこと。
(3) 車内側の荷物等がリヤサンシェードに触れると、キズの原因になるので触れさせないこと。
(4) 落としたり、強い衝撃を与えたり、小さく強く折り曲げたりしないこと。

構成部品



図番	品　　名	品　　番	数量
①	リヤサンシェード	————	1
②	クリップ＋タッピングビス	08622-00280	4
③	プロテクトシール(白)	————	2

取り付けに必要な工具等

- 手袋　●柔らかい布　●ハサミ、カッター等
- マイナスドライバー（取りはずし時に使用、先端に傷付防止のテープ等を貼った物）
- 一般工具

取り付け時間

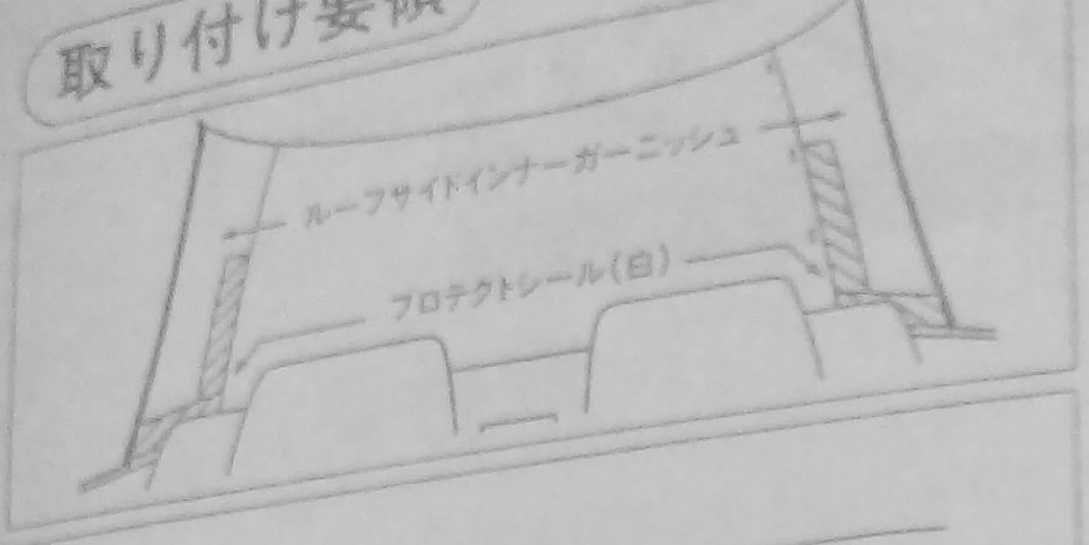
0.3H

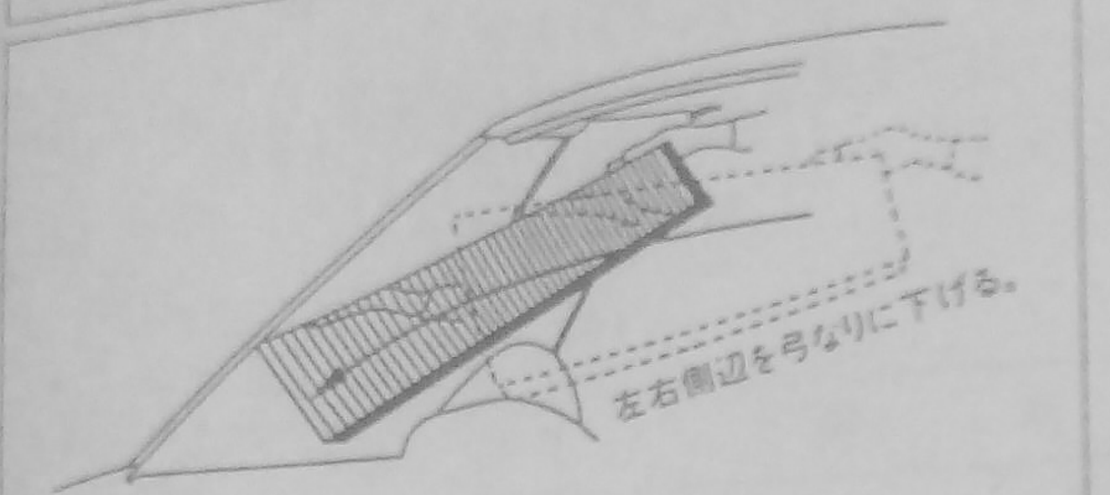
取扱店殿へのお願い

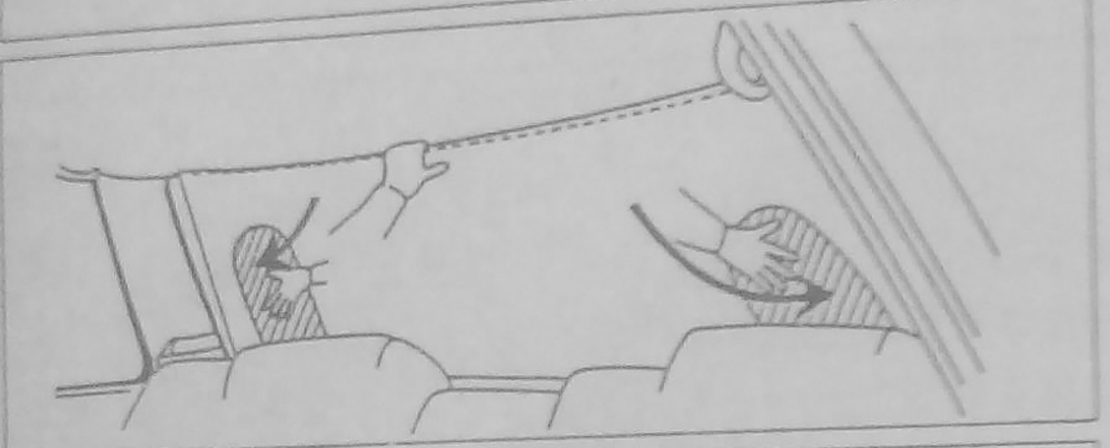
- 取扱上の注意をお客様にご説明ください。
- この取付要領書は必ずお客様の車に添付ください。
  （取外し要領が記載されております。）

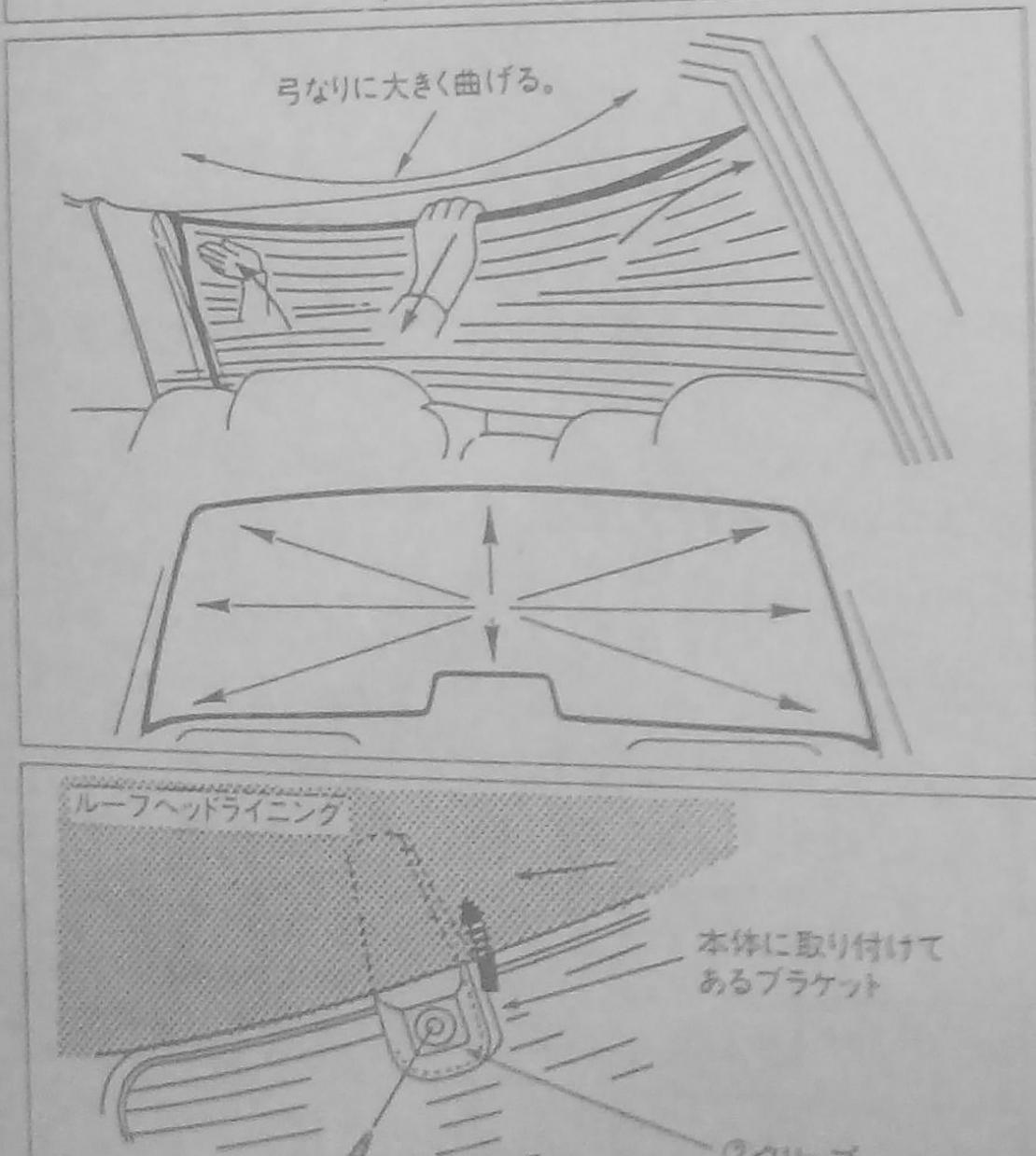
トヨタ自動車株式会社

取り付け要領









取り外し要領

テクトシール（白）を半分に切り貼り付け

(2)図のようにリヤサンシェードを両手で持ち、辺を弓なりに下げながら、下辺よりリヤウインドに突き当てる。

(3)リヤサンシェードを左右均等にリヤウインドに向かって押し下げる。

(4)リヤサンシェード下辺両端をパッケージトリムとリヤウインドウの間へ押し込む。

(5)ルーフサイドインナーガーニッシュとリヤウインっとの間へリヤサンシェードを下辺より上方へ押し込む。

(6)リヤサンシェード上辺中央を軽く手前に引き弓なりに大きく曲げて上辺左右を交互にルーフドライニングとリヤウインドウの間へ差し込み辺全体をリヤウインドウに押し込む。

(7)中央部から各端部の方向へ、ガラス面に沿全体のフイットを確認する。

(8)リヤサンシェードに取り付けてあるブラケットに合わせて、クリップの先をリヤウインドフヘッドライニングの間へ差し込み、タッピスで固定する。

(9) (1)で貼ったプロテクトシールを剥がす。

(1)タッピングビス及びクリップを取り外す。
(2)マイナスドライバー（傷付き防止のテープ物）をリヤサンシェード上辺中央より差しヤサンシェードを手前に引き出す。
(3)取り付け要領 (5) の逆の要領で上辺両端き出す。
(4)リヤサンシェード側辺上方のスキに手を側辺の中央あたりまで外す。
(5)リヤサンシェードを 5～10cmぐらい上方って引き上げる。

トー
品番
取り
取り

トヨタ純正　1DINマルチボックス
取付要領書

このたびはトヨタ純正1DINマルチボックスをお買いあげいただきありがとうございました。
本書は1DINマルチボックスを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

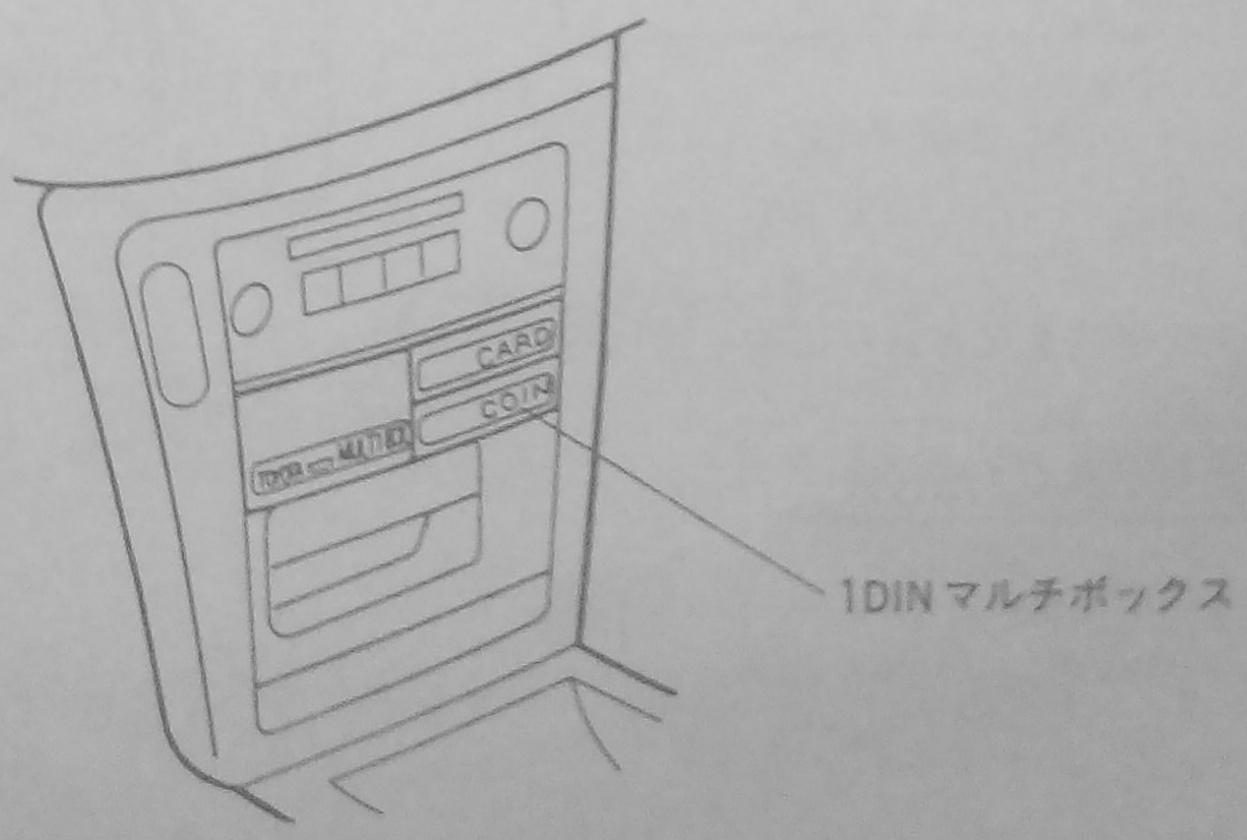
品番

品　　番
08171 － 00020

取り付け上の注意事項

1. 本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
　もし、**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
2. 1DINマルチボックスは、オーディオ取り付けのブラケットの穴を使用します。
　1DINマルチボックス単体のみでは固定はできません。上または下にオーディオ等があり、ラジオブラケットを固定できる場合に取り付けられます。

取り付け概要



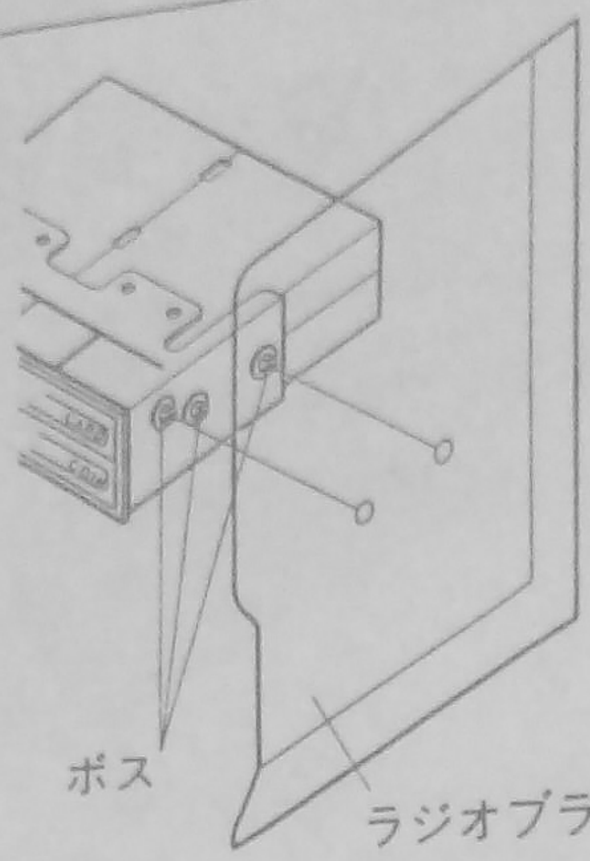
取り付けに必要な工具等

一般工具

トヨタ自動車株式会社

取り付け要領

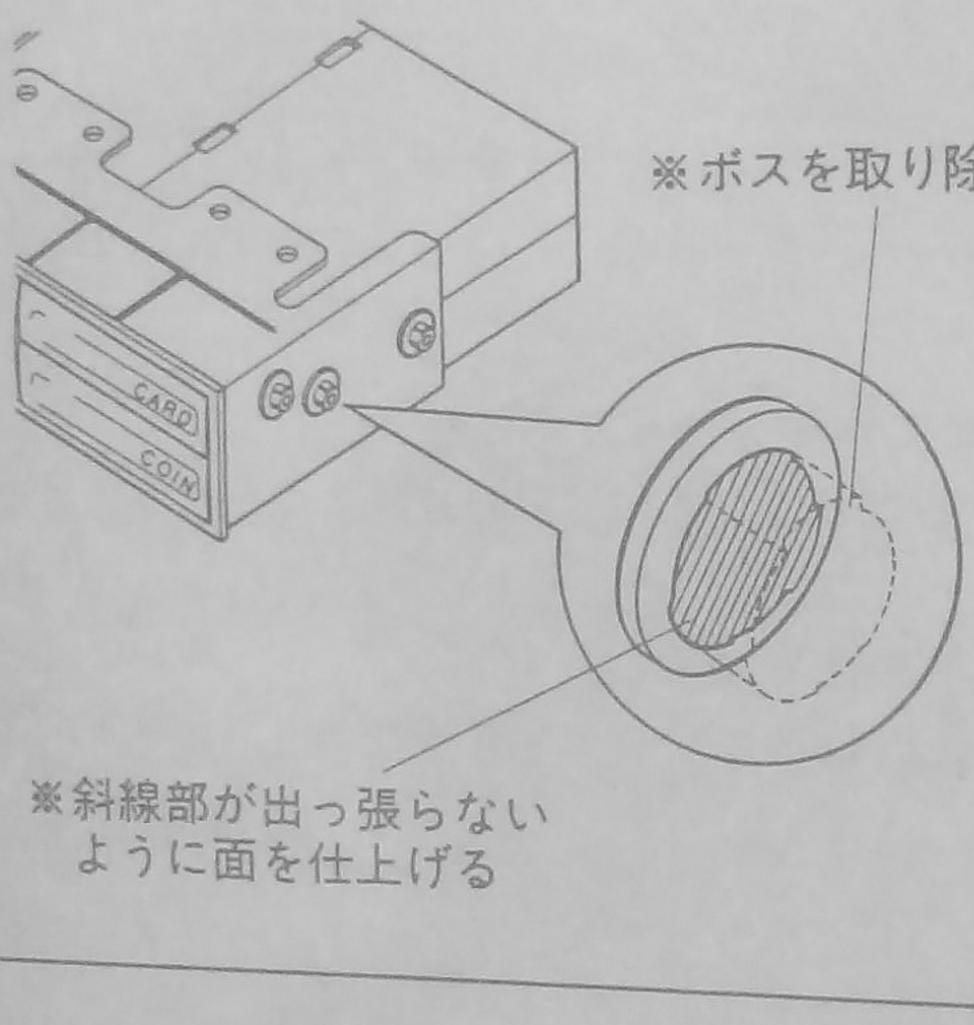
図1



2 1DINマルチボックスの取り付け

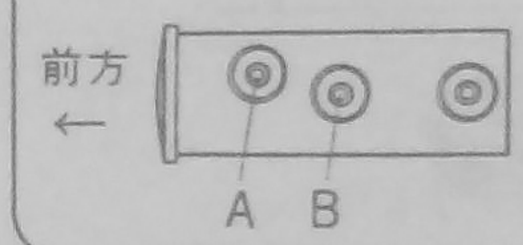
(1) 車両によってラジオブラケットの形状が異なるため、ラジオブラケット取り付け穴と1DINマルチボックスのボスとの合わせを行う。(図1)

図2



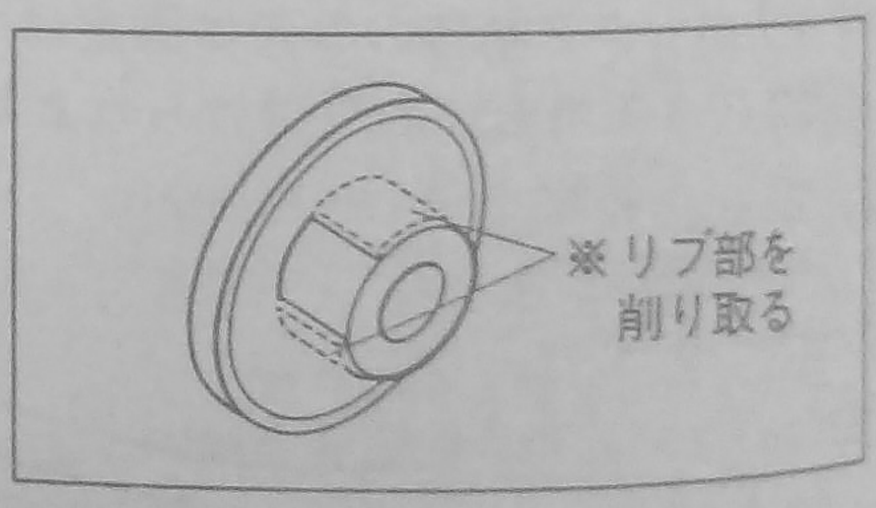
(2) ラジオブラケットにボス取り付けの穴がない場合には、ボスを根元より取り除き、面が出っ張らないように仕上げる。(図2)

注意



取り除くボスは、AまたはBのいずれか一方となります。
(左右各1ケ所)

(3) ラジオブラケットの取り付け穴には2種類があるので、入らない場合はボスのリブ部を削り取り、穴径に合わせる。



復元作業

取りはずした車両部品を元どおりに取り付ける。

取り付け完了後の点検

1 取り付けの確認

1DINマルチボックスがガタなく取り付けられているか点検すること。

2 作動確認

取扱書に従い、カードケース、コインケース、マルチボックスが他の部品に干渉なく作動することを確認する。

注意

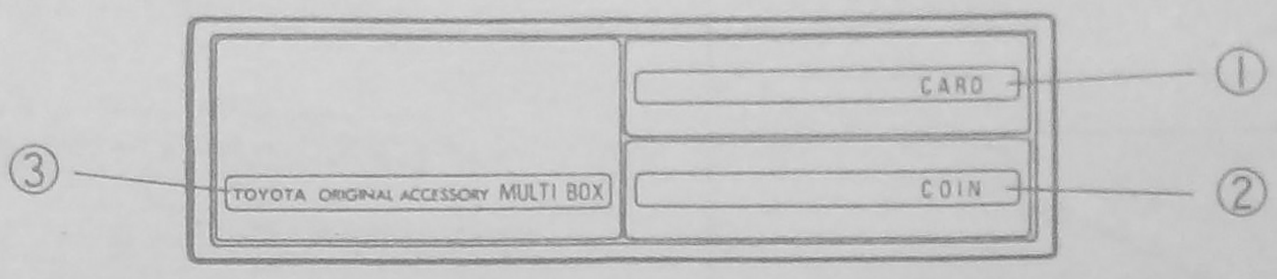
作動が不十分（ケースが出てこない等）な場合は、ラジオブラケットの組み付け位置をずらす（必要であればラジオブラケットを加工する等）、またはハーネス等の干渉をなくすよう調整をして（だ

お客様用

トヨタ純正 1DIN マルチボックス 取扱書

このたびはトヨタ純正1DINマルチボックスをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの取扱書をお読みいただき、正しい取り扱い方法により長くご愛用くださるようお願い申しあげます。

機能説明

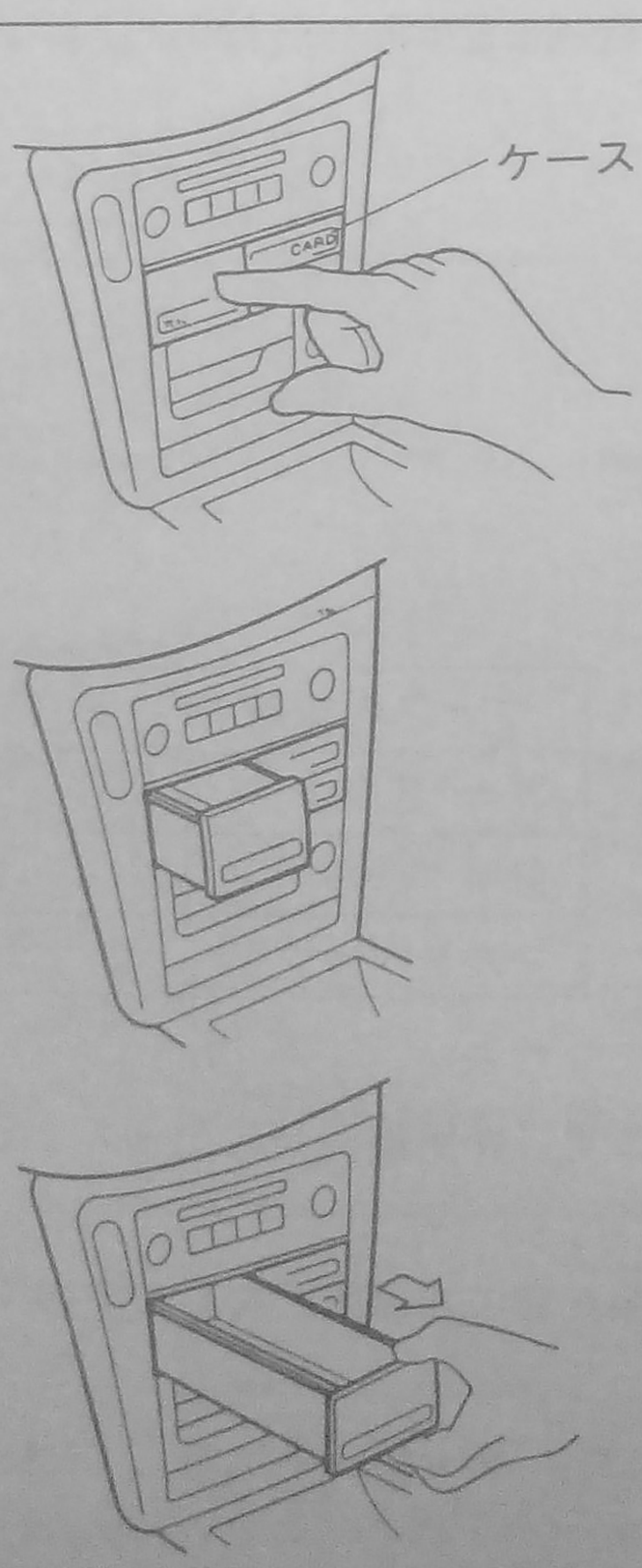


①	カードケース	免許証、高速道路チケット、各種カードを収納することができます。
②	コインケース	硬貨を収納することができます。
③	マルチボックス	カセットテープ(ケースなし)、タバコ等小物を収納することができます。

ワンポイントアドバイス

①カードケースと②コインケースは使用頻度により位置を入れかえて使用することもできます。

操作要領



1 使用方法

(1) ケースの引き出し方法

① ケース前面の中央部を指先で軽く押すとケースが手前にでます。

② ケース底面の手掛け部を持ち、ストッパーがかかるまで手前に軽く引き出します。

(2) ケースの戻し方法

指先でロックが掛かるまで軽く押し込んでください。

(3) ケースの取りはずし方法

ケースは引き出し状態からさらに手前に引き出すと取りはずすことができます。

注意

○ケースは必ず中央部を押してください。端部を押すとケースが出てこなかったり、戻せない場合があります。

○ケースを取りはずしたり、戻したりする場合には、こじたりしないでください。破損の原因となります。

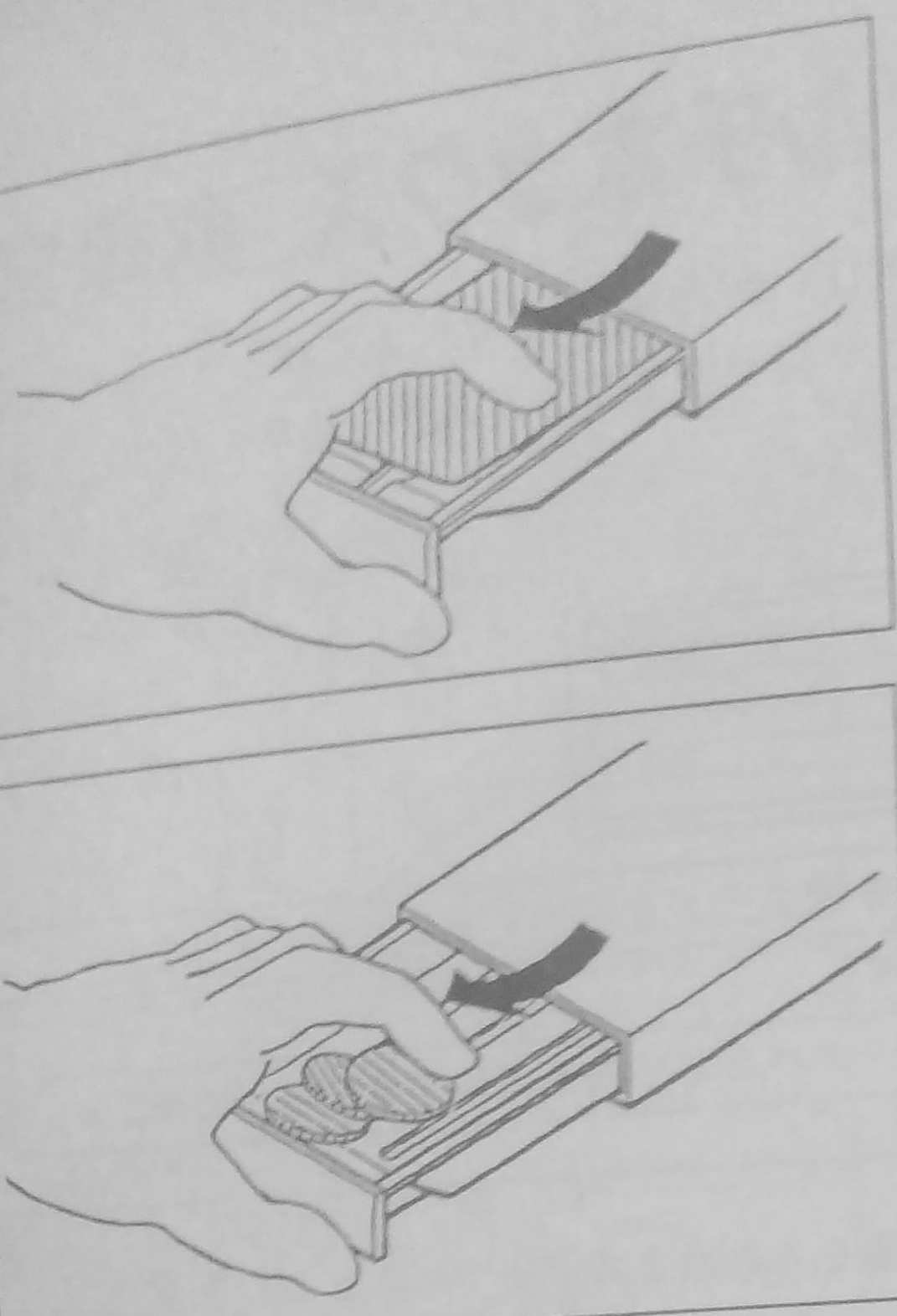
○ケースの取りはずしは、シフトレバーを邪魔にならない位置にしてから行ってください。

トヨタ自動車株式会社

2 使用例

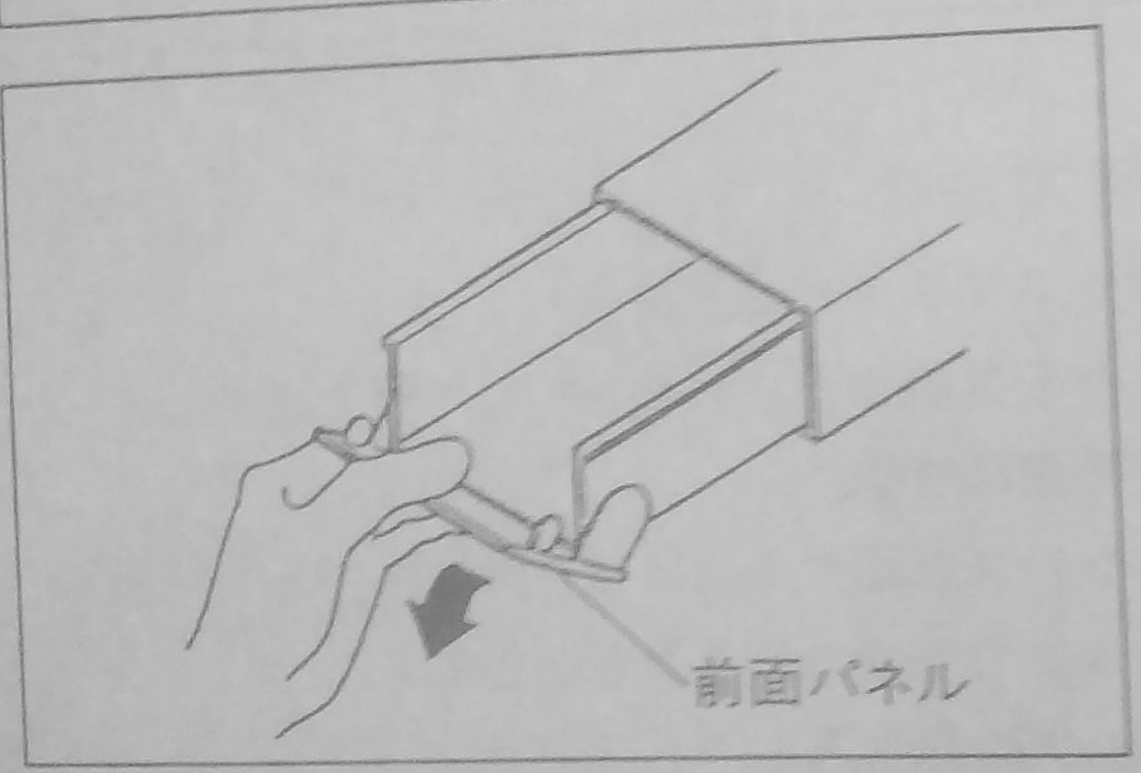
(1) カードケースからのカードの取り出し方

カードを指先で軽く押さえて手前に引き出してください。



(2) コインケースからの硬貨の取り出し方

硬貨を指先で引っ掛け、手前にすべらせて取り出してください。



(3) マルチボックスの前面パネルの開け方

前面パネルに手をそえて手前に倒して(

小物類を収納または取り出す際に便利な

取扱上の注意事項

1. 右記収納高さ以上に品物を収納し、無理に押し込みますと、ケースが引き出せなくなりますのでご注意ください。

ケースの種類	収納高
カードケース	15
コインケース	17
マルチボックス	35

2. マルチボックスの前面パネル部は使用後は必ず元に戻してください。
3. ケースを開けたままの走行は、異音、脱落の原因となります。使用後は必ずケースを元
ください。
4. 有機溶剤(シンナー、芳香剤等)の付着は、変色および亀裂を起こす原因となりますの
にならないでください。
5. マルチボックスには熱変形のおそれがあるもの「おかし(アメ、チョコレート類)、メガ

トヨタ純正 ゴールドエンブレム

取付要領書

このたびはトヨタ純正ゴールドエンブレムをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はゴールドエンブレムを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

取り付けに必要な工具等

・ドライヤー又は赤外線ランプ　・ホワイトガソリン　・ウエス
・モールディングリムーバー(トヨタ品番09070－20010)　・布地テープなど(ボデー保護用・マスキング用)

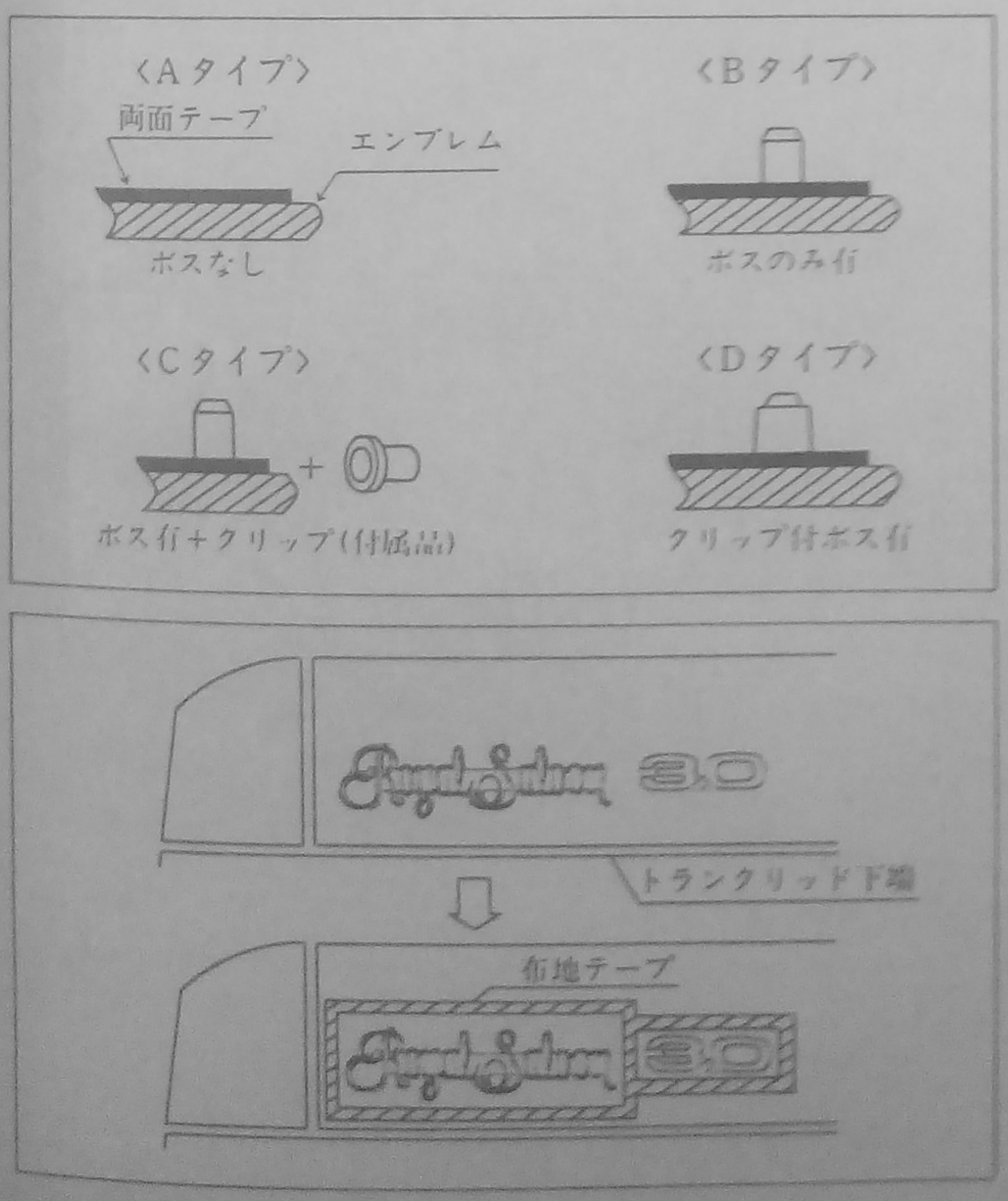
取り付け時間

0.2H

取り付け上の注意事項

・温度が低いと接着力が低下しますので、エンブレムを暖めてから取り付けてください。
・ボデーのモールディングリムーバーが当たる部分に、布地テープなどを貼りつけてキズがつかないよう保護してください。
・必ず標準装備のエンブレムと同位置に取り付けてください。
・取り付け後、24時間は水や雨で濡らさないでください。

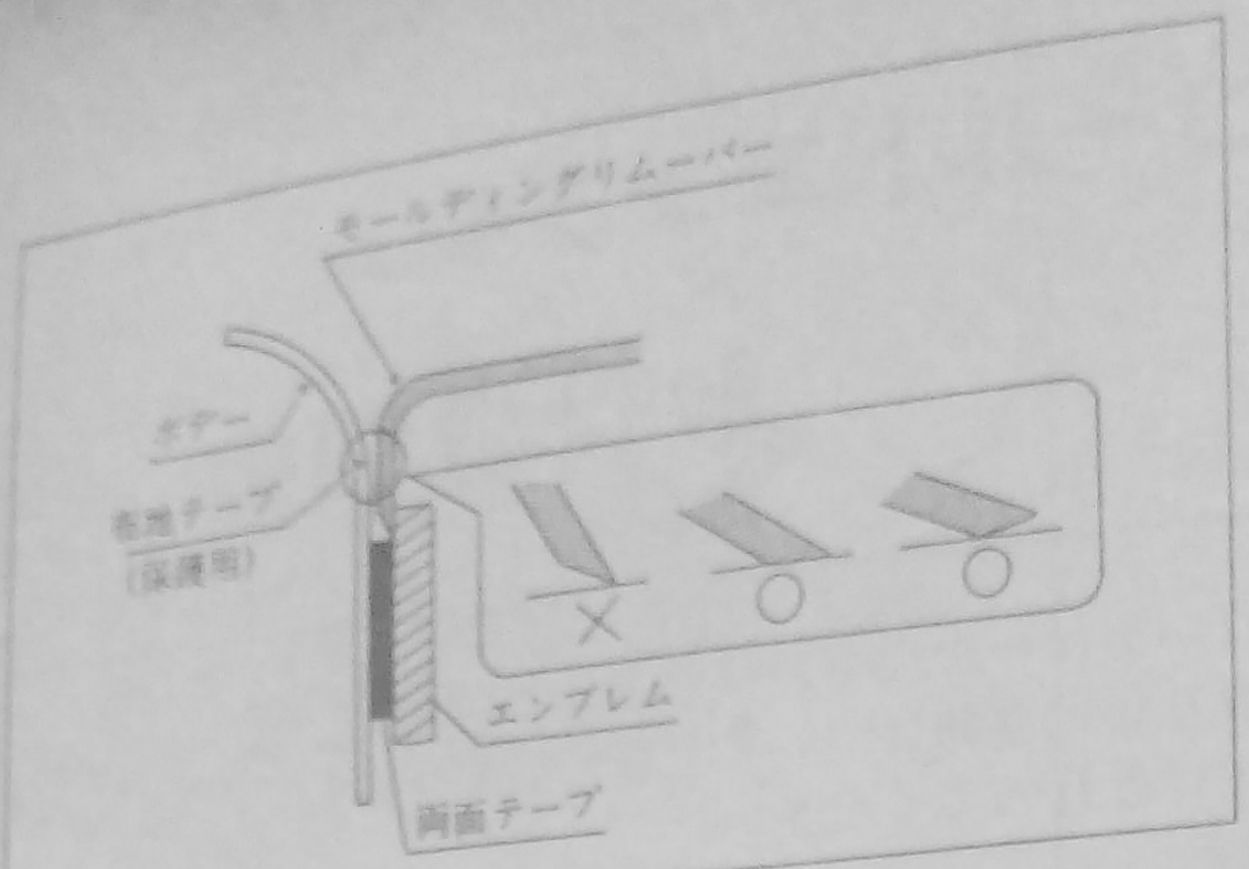
取り付け要領



1　ゴールドエンブレムの裏面形状を確認し、左図のどのタイプに該当するか調べる。

2　エンブレムを取り外す
(1)Aタイプの場合のみ、図の様に布地テープなどで位置決めを行う。
(図はクラウン3000ロイヤルサルーン、他のエンブレムもこれに準じて行って下さい。)

トヨタ自[illegible]株式会社



(2)ドライヤーヌは、赤外線ランプ等で
準装備のエンブレムを暖め、取り付
してモールディングリムーバーを
デーに傷をつけないように充分注意
取り外す。(全タイプ共同一)

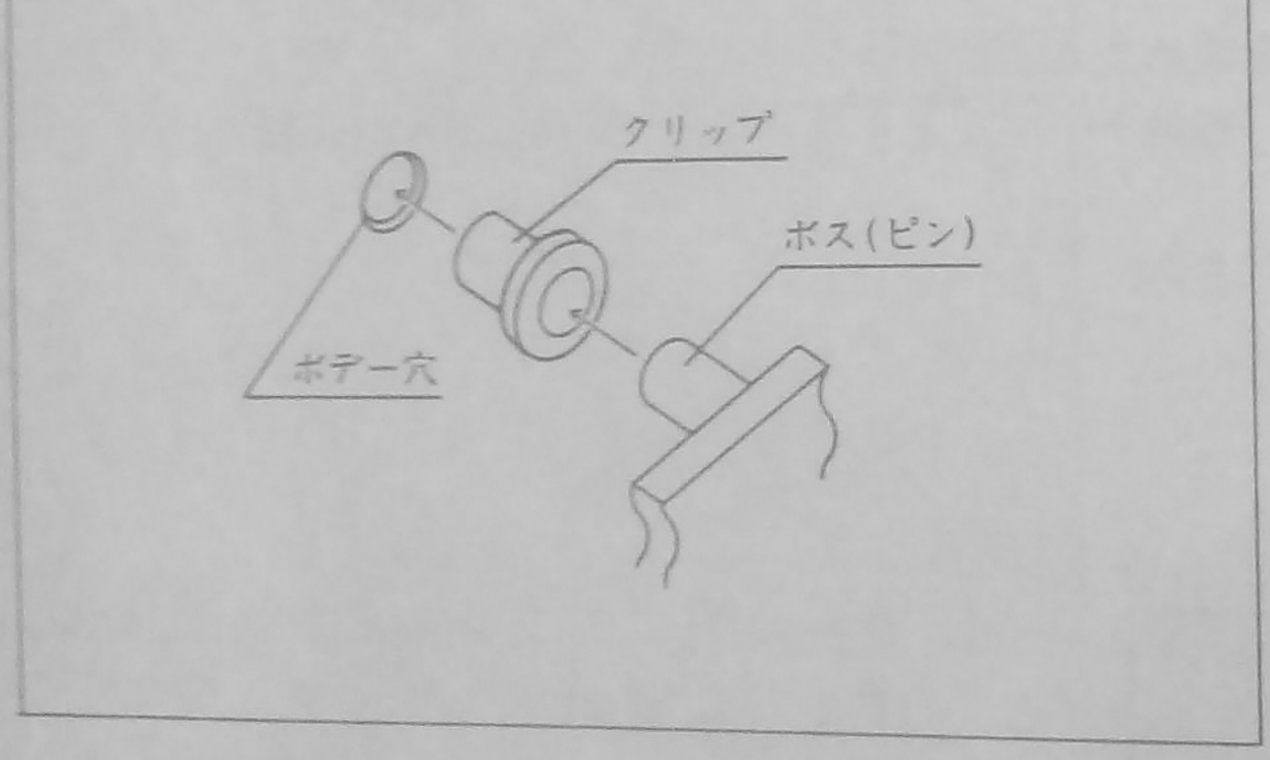
注意

・B・C・Dタイプのエンブレムは、ボデ
いように気をつけて外してください。
・モールディングリムーバーの尾先は、
ける恐れがありますので、ボデー面に
ように作業を行ってください。

(3)油、水分、汚れ等をホワイトガソリ
にふきとる。

注意

シンナーやはくり剤等ボデー塗装に影響
ものは、絶対に使用しないでください。



3 エンブレムの取り付け

(1)C・Dタイプの場合は取り外した穴に
が残っていないのを確認する。
(2)Cタイプの場合は図のように取り外
クリップを先に手で押し込む。
(3)ゴールドエンブレムの離型紙をはが
する。B・C・Dタイプの場合はボス
穴に合わせて圧着する。

トヨタ純正

サイドバイザ 取付要領書

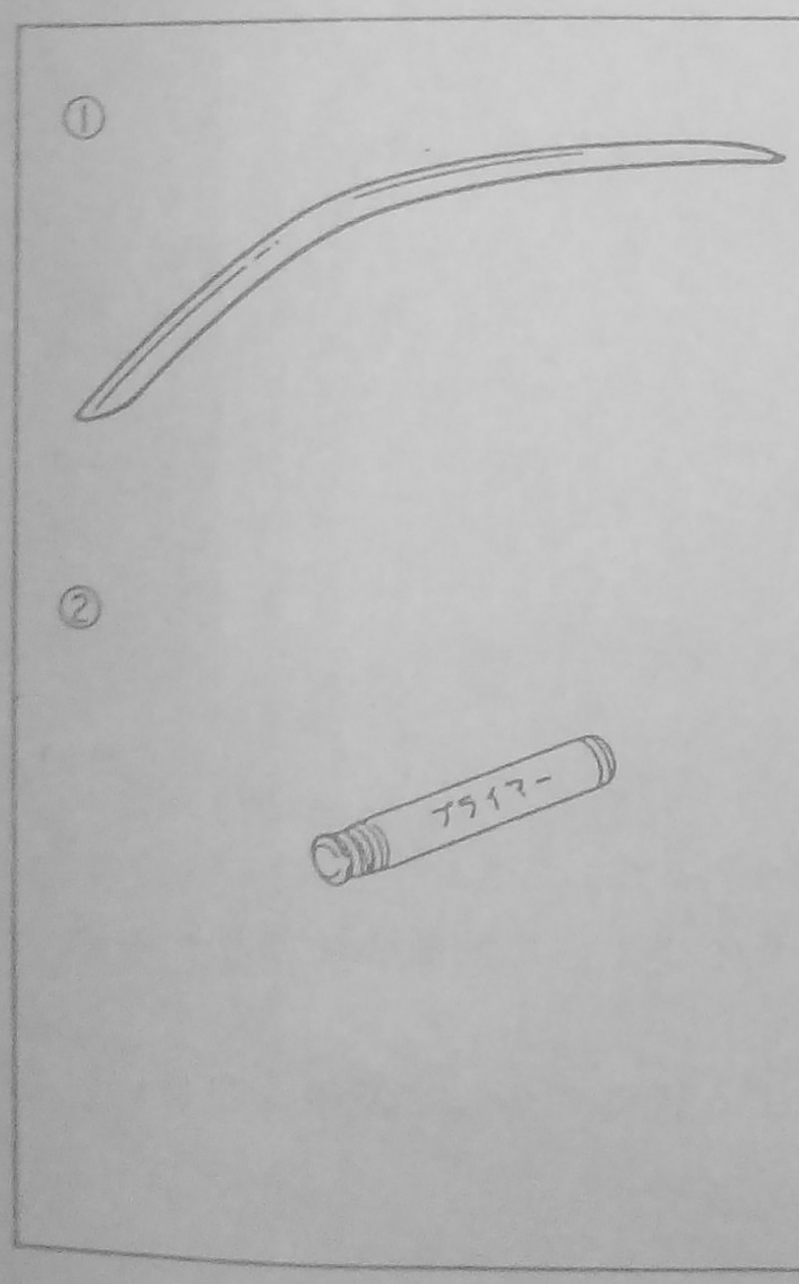
LL26

このたびはトヨタ純正**サイドバイザ**をお買いあげいただきありがとうございました。
本書はトヨタ カリーナED・コロナExiv に**サイドバイザ**を取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番および適用車種

品番	適用車種	年式
08613−20160	カリーナED・コロナExiv	1993年10月以降

構成部品



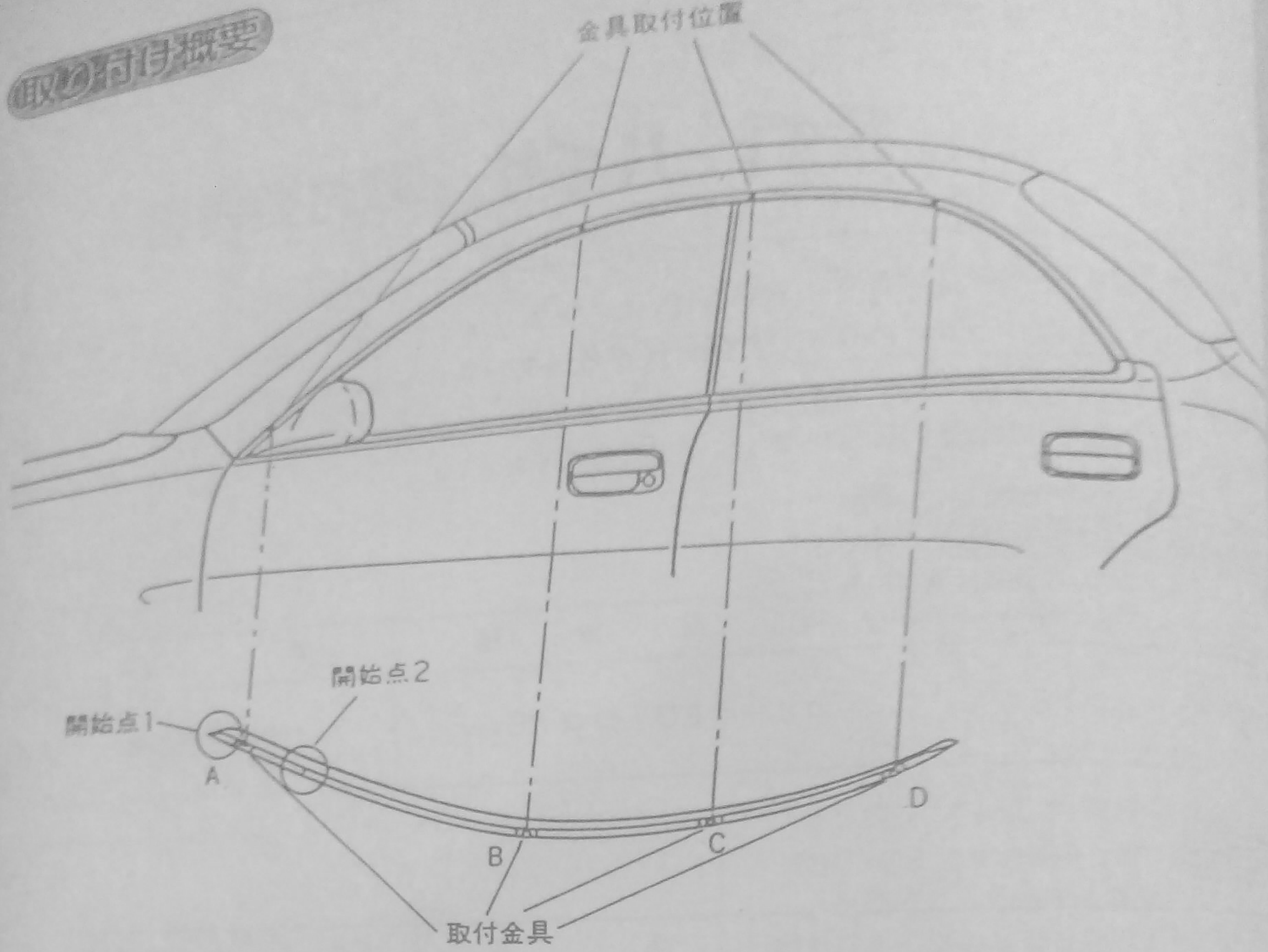
No.	品名	品番	個数
①	バイザ本体	————	左右各1
②	プライマー	————	1

取り付け時間

0.3H

トヨタ自動車株式会社

取り付け概要



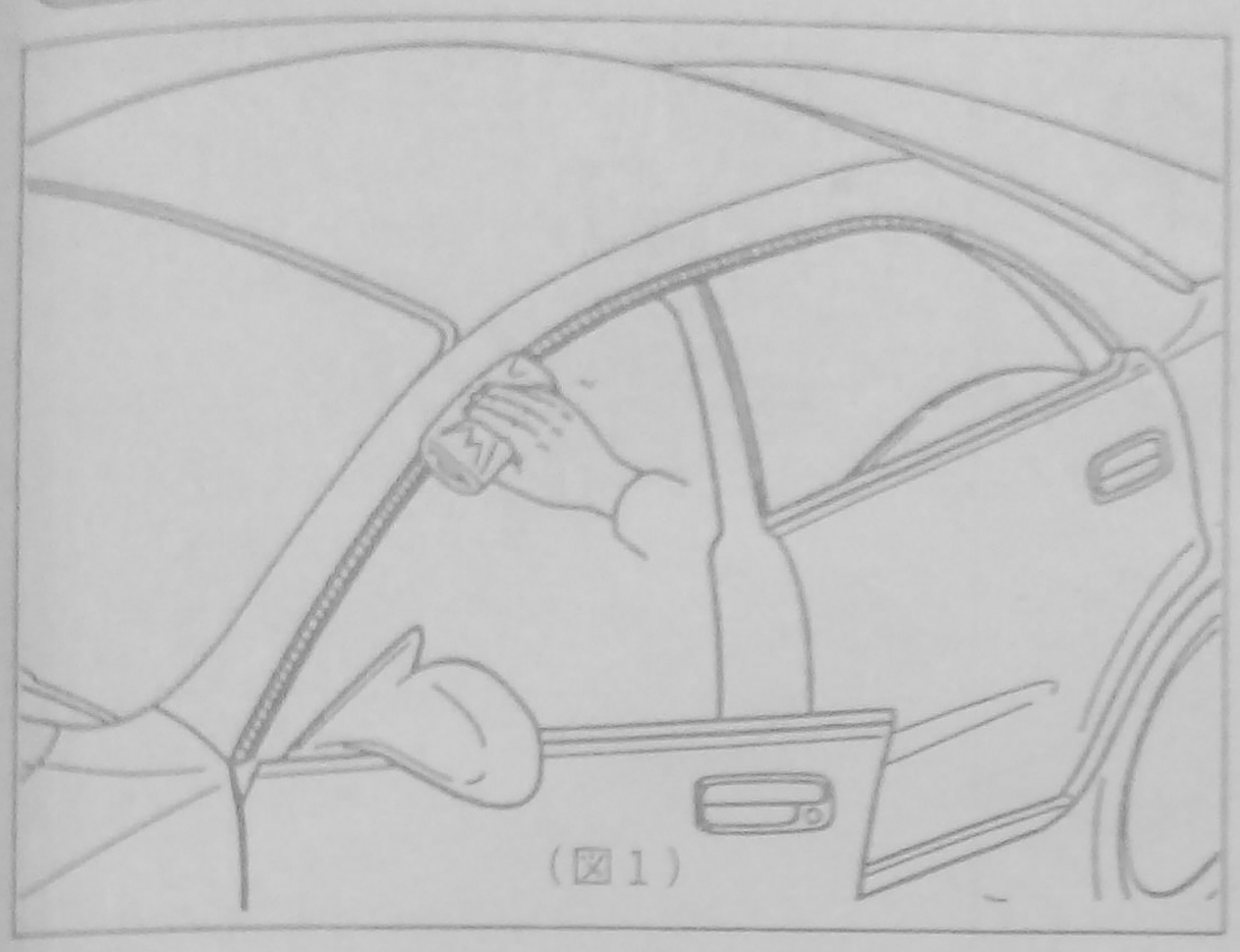
取り付けに必要な工具等

ウエス等

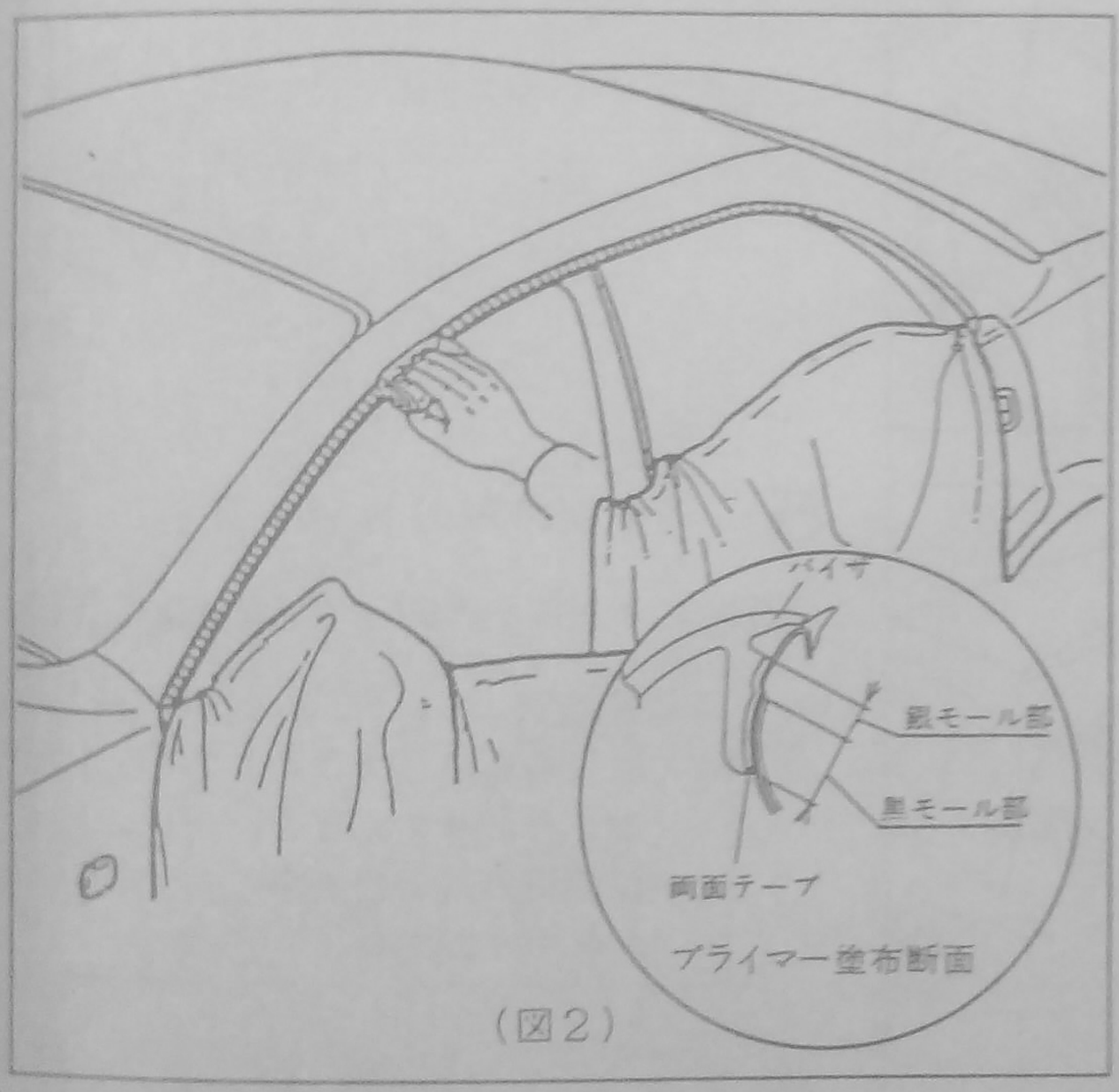
取り付け上の注意事項

本文中の取り付け上の**注意**は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、**注意**を無視して取り付けると、製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながれがあります。
プライマーご使用にあたっては容器に記載されている注意事項をよく読んでからご使用くだ

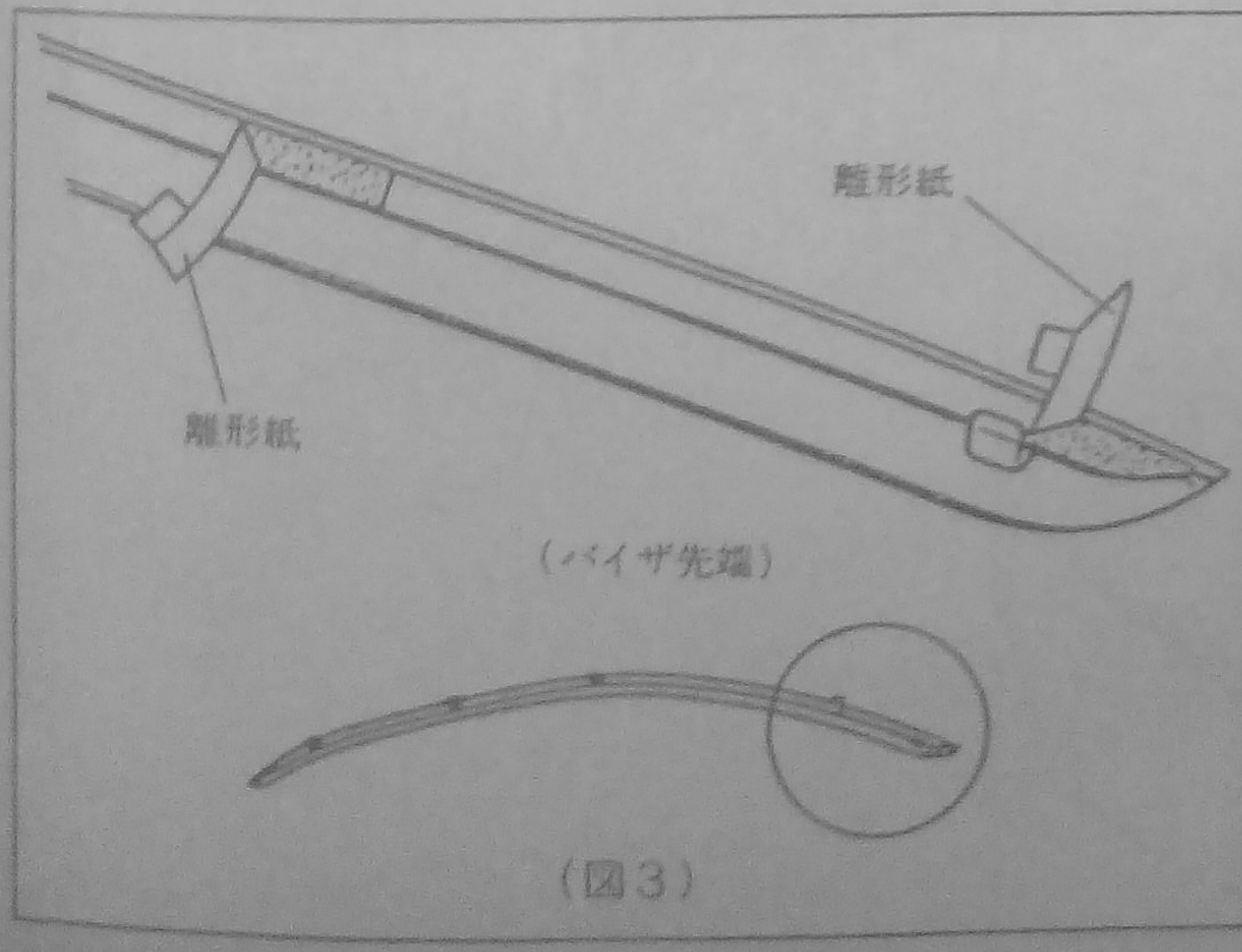
取り付け要領



（図1）



（図2）



（図3）

1 …取り付け面のふき取り

①バイザ取り付け面（ルーフドリップモール▨部）の汚れや油分をきれいなウエス等でふき取る。（図1）

注意

プライマー処理後両面テープでバイザを取り付けるので、取付面は必ずきれいにしてください。

2 …プライマー処理（ルーフドリップモール）

①(図2)の様に布などをボデーにかけプライマーをルーフドリップモールに塗布する。プライマー塗布断面を参考に、銀モール部、黒モール部へ塗布してください。

注意

- ボデー塗面保護の為必ず布をボデーにかけて塗布作業をしてください。
- プライマーは必ず２回塗りをしてください。
- 乾燥(約３分指に付かない程度)してから取付作業を行ってください。
- プライマー塗布作業は換気のよい所で行ってください。
- サイドバイザの取付以外には使用しないでください。
- 火気のある所では使用しないでください。
- 有機溶剤が含まれています。故意に吸引しないでください。
- プライマーが顔や手に付着した時は洗剤にて洗い流してください。
- プライマーは必ずガーゼにしみ込ませて塗布してください。

3 …取り付け前の準備（バイザ）

①バイザ先端（開始点１）の両面テープ離形紙を上に約３cm折り曲げる。

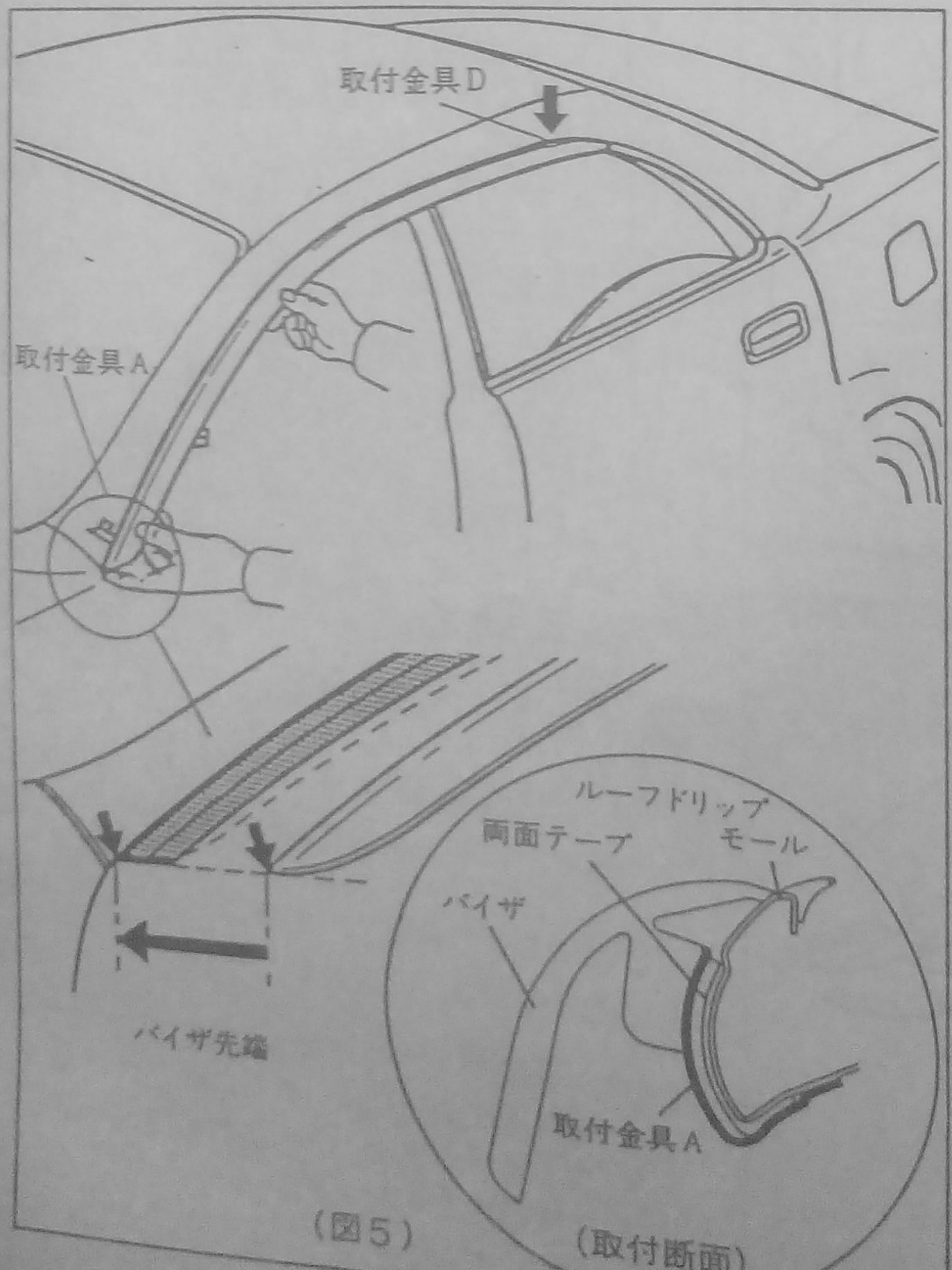
②開始点２の両面テープ離形紙を下に約３cm折り曲げる。（図3）

注意

環境温度が15℃以下の時に取り付ける場合は、"ドライヤー" 等で両面テープを暖めてください。



(図4)



(図5)

①取付金具Dを、ルーフドリップ
り付ける。(図4)

注意

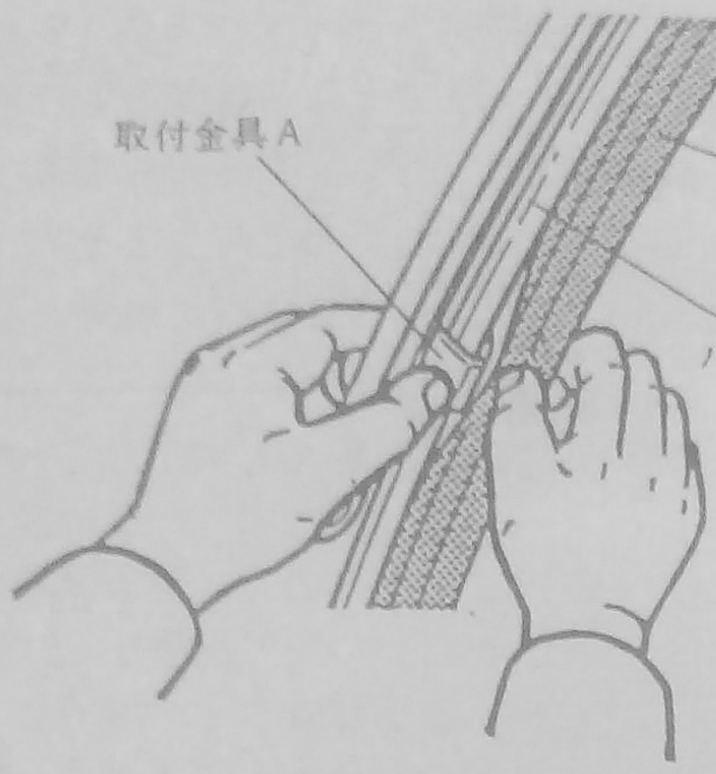
ルーフキャリー取付用フック
取り付けてください。

5…バイザの取り付け-2

①バイザ先端を、図5の様な位置に

注意

・取付金具Dをスライドさせ
端を合わせてください。
・位置決めになりますので、
わせてください。



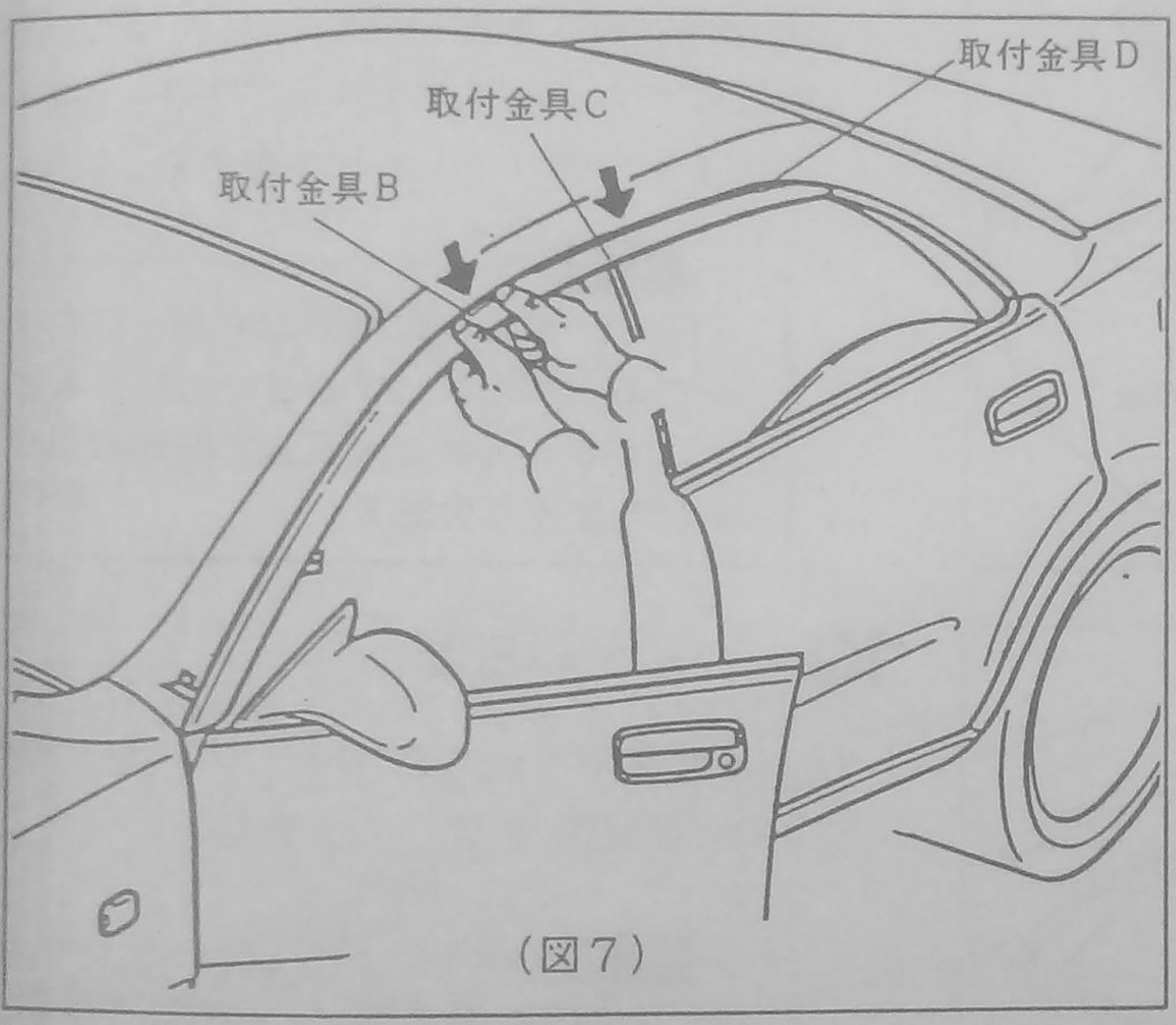
（図6）

6…バイザの取り付け－3

①取付金具Aを（図6）の様に、ルーフドリップモールとガラスランの間に差し込む。

注意

金具形状と、ルーフドリップモール形状が合っていることを確認してください。



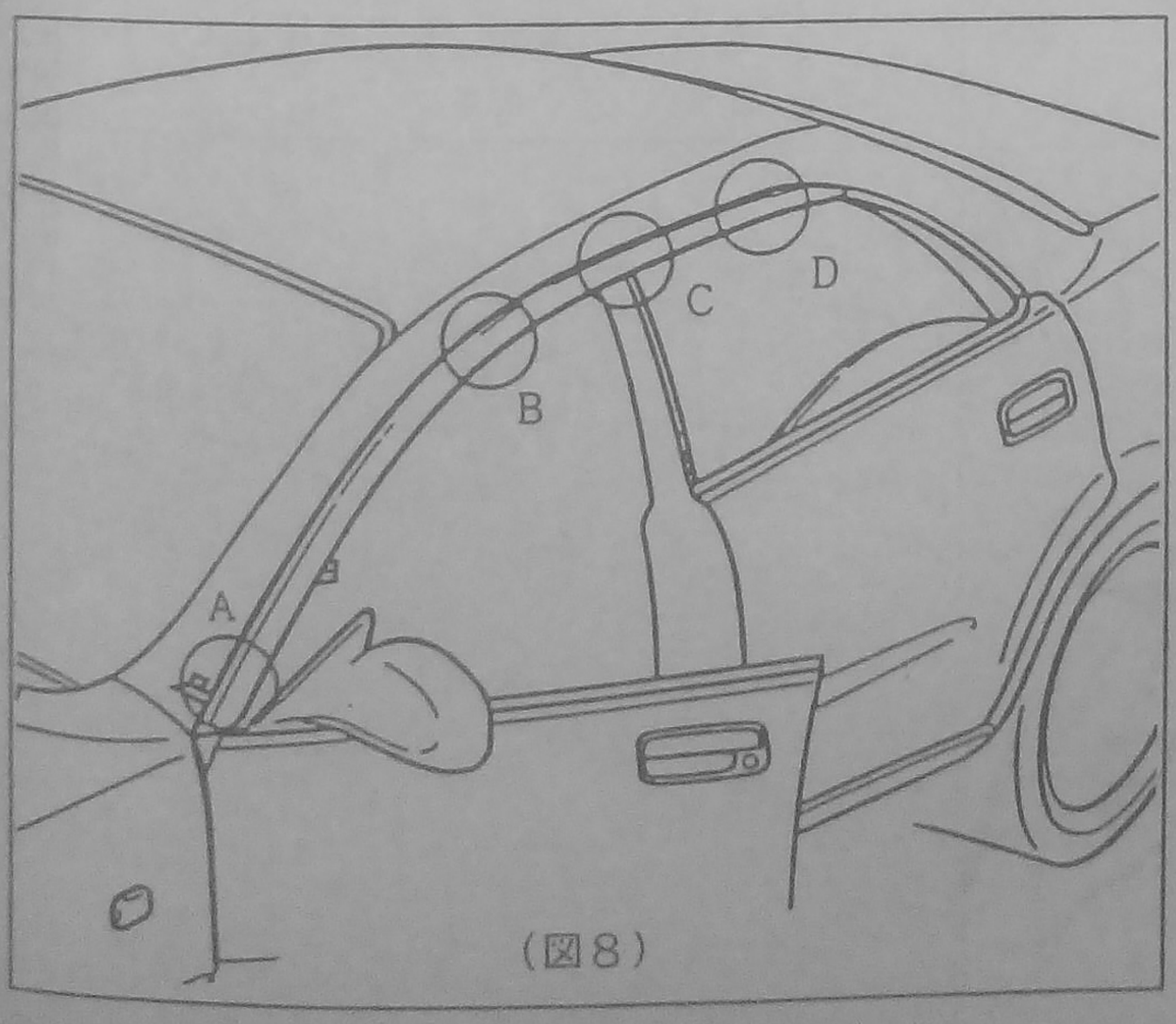
（図7）

7…バイザの取り付け－4

①取付金具B、Cを取付金具Dと同じ要領でルーフドリップモールに取り付ける。
（図7）

注意

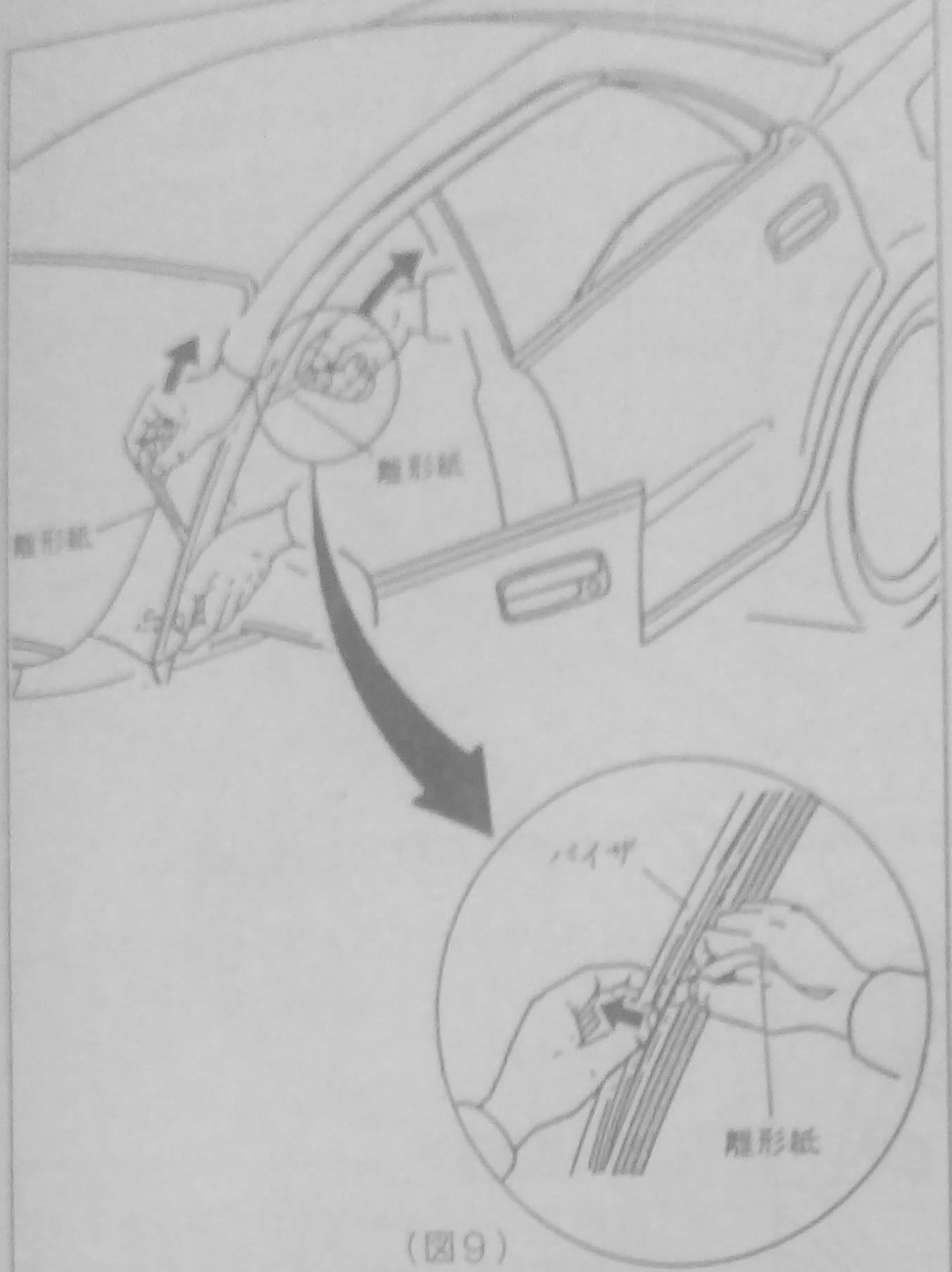
取り付けにくい場合は、取付金具Dをはずし、B→C→Dの順に取り付けてください。



（図8）

8…バイザの取り付け－5

①取付金具A、B、C、Dが、ルーフドリップモールに取り付いていることを確認する。
（図8）



（図9）

（図10）

し、バイザ先端部（開始点1）の
プ離形紙を（図8）の矢印の方向
にねじれないようにはがしながら
をルーフドリップモールに接着す

注意

・常に離形紙の根元の方をし
っくりとはがしてください。
・離形紙のねじれは、離形紙の
因になりますので注意して
・万が一離形紙が切れた場合は
ザ後端からはがしてくださ

②開始点2の両面テープ離形紙を
矢印の方向（下側）にねじれな
がしながら、バイザをルーフド
ル、クォーターモールに接着する。

注意

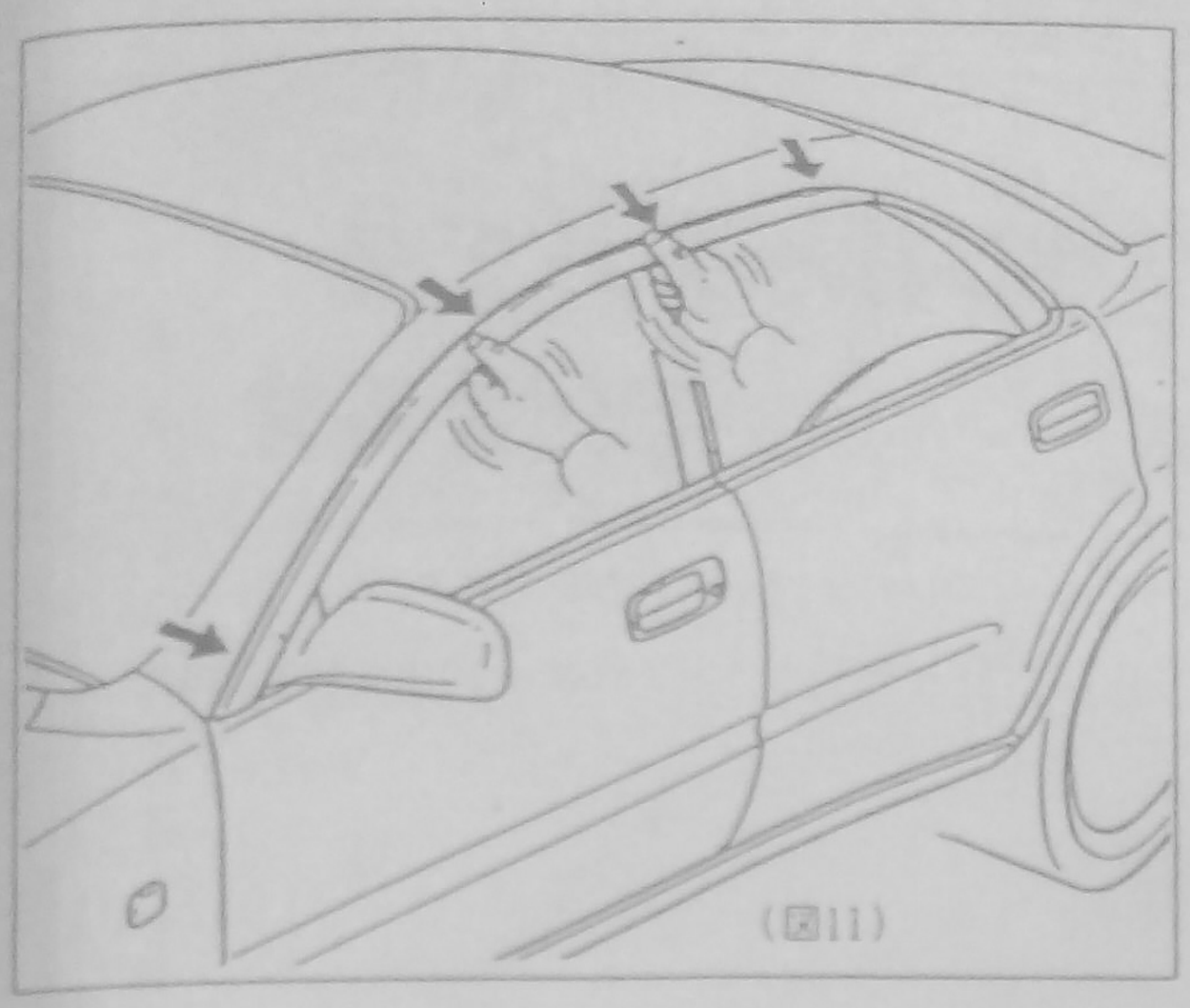
（図9）のように離形紙とルー
ップモールの間にすきまをもた
うにすると（特に金具部）離形
がしやすくなります。

10…バイザの圧着

①バイザ接着面全体を、ルーフド
ルへ（図10）のように圧着する。

注意

特に先端部と後端部は、はがれ
音発生の原因になりますので、
圧着してください。



（図11）

11 …取り付け後の確認

①バイザを軽く手前に引き、確実に取り付いていることを確かめる。（図11）

注意

・バイザ接着部を矢印の方向に見て、接着面の浮きのないことを確認してください。
・一部分ではなく、バイザ全体を確かめてください。
・取付後24時間は、雨・水等でぬれないように注意して自然放置してください。

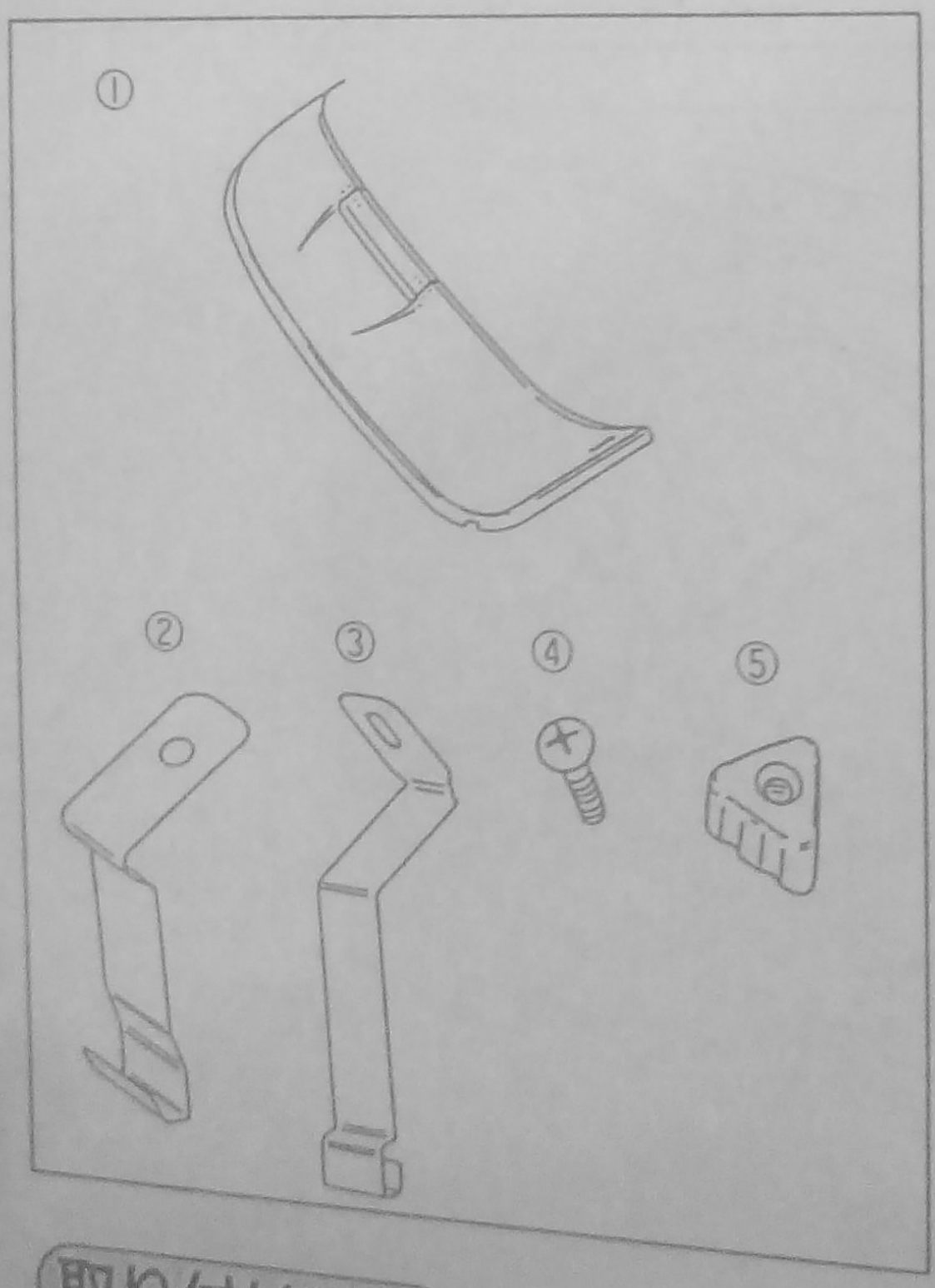
トヨタ純正 サンルーフ バイザ 取付要領書

このたびはトヨタ純正 **サンルーフ バイザ** をお買いあげいただきありがとうございました。
本書はトヨタ コロナExiv カリーナED に **サンルーフ バイザ** を取り付ける場合の取り付け方法について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番および適用車種

品番	適用車種	年式
08616-20210 08616-20230	コロナ Exiv カリーナ ED	1993年10月以降

構成部品

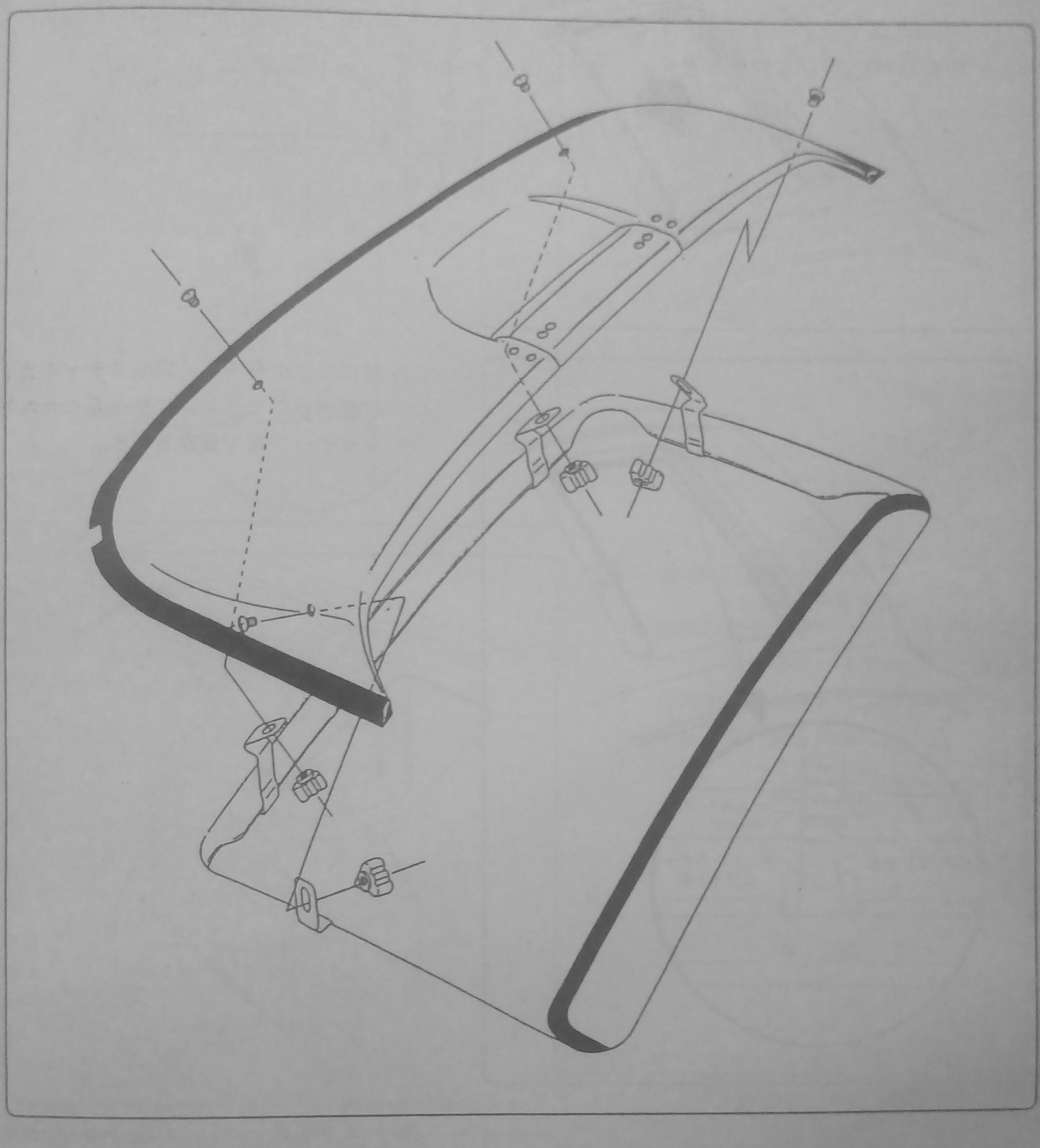


No.	品名	品番	備考
①	本体	————	1
②	前部取付金具	————	2
③	側部取付金具	————	2
④	ビス（M4×15）	————	4
⑤	樹脂ナット	————	4

取り付け時間

0.3H

取り付け概要

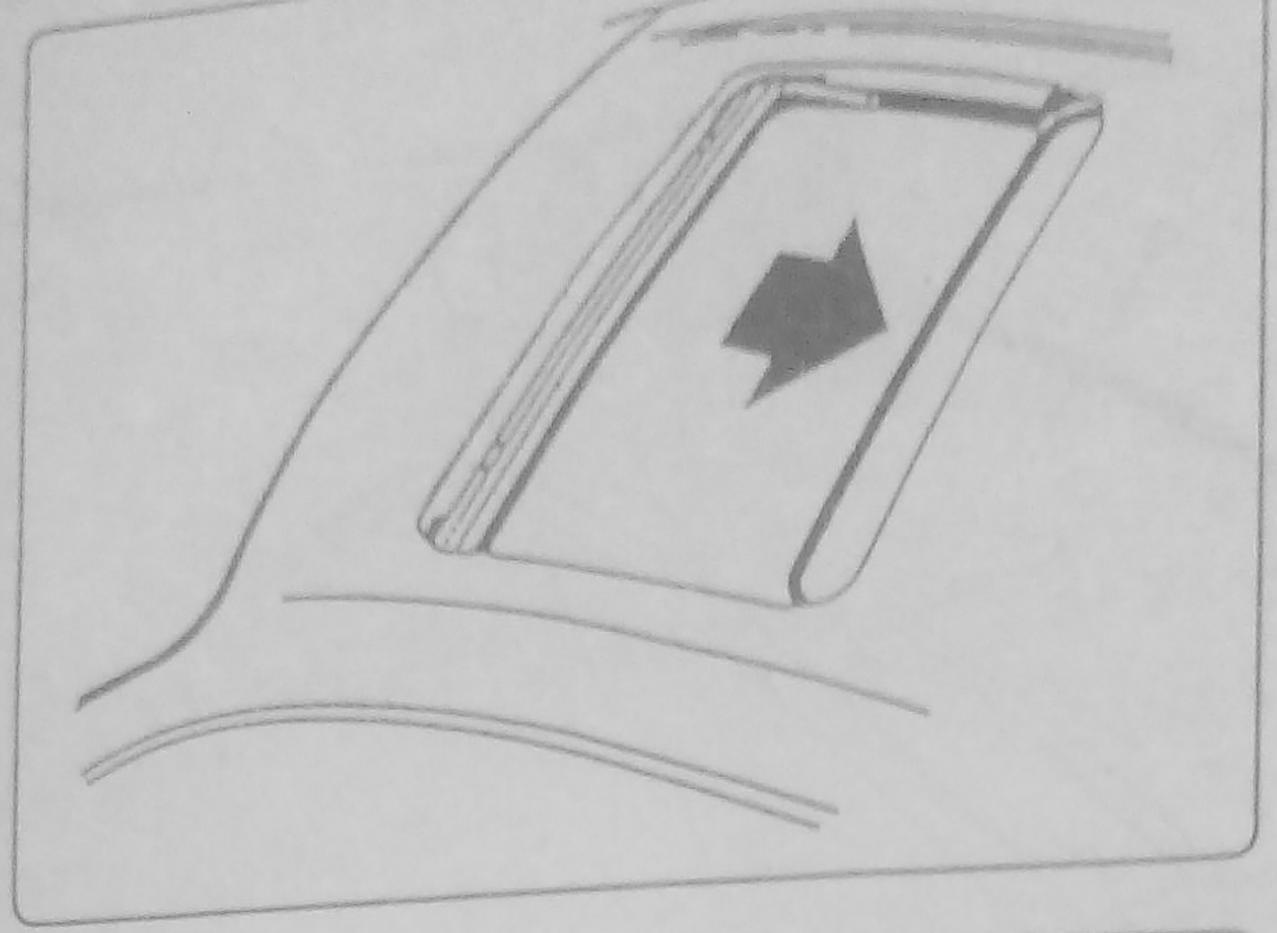


取り付けに必要な工具等

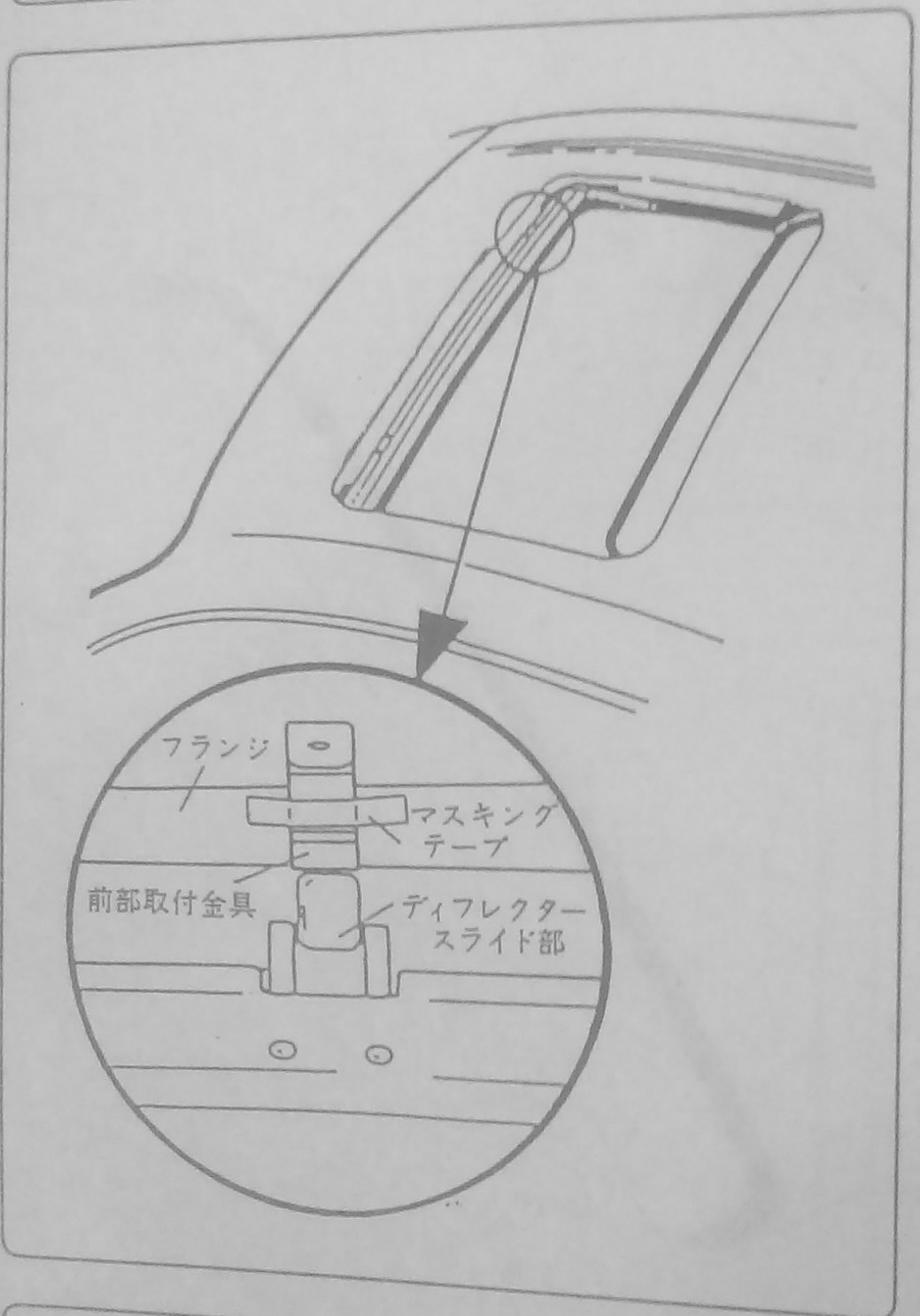
スケール、マスキングテープ、一般工具

取り付け上の注意事項

本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、**注意** を無視して取り付けると、製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。



(1) サンルーフを全開にする。

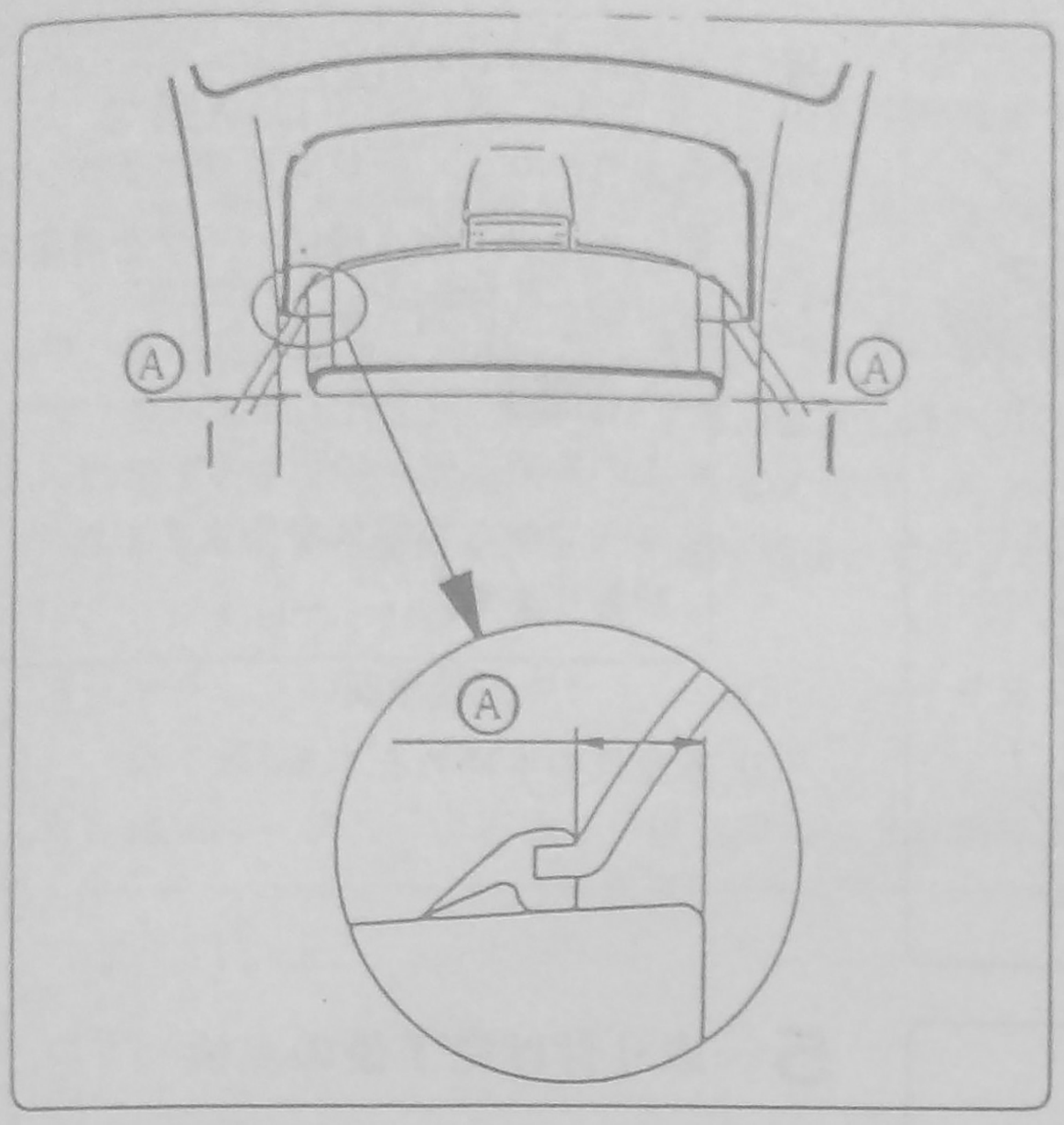


(2) 前部取付金具をディフレクタースライド部付近のフランジに引っ掛けマスキングテープ等で固定させる。

(3) バイザを乗せ、バイザ取付穴と金具取付穴を合わせビス（M4×15）と樹脂ナットで仮止めをする。

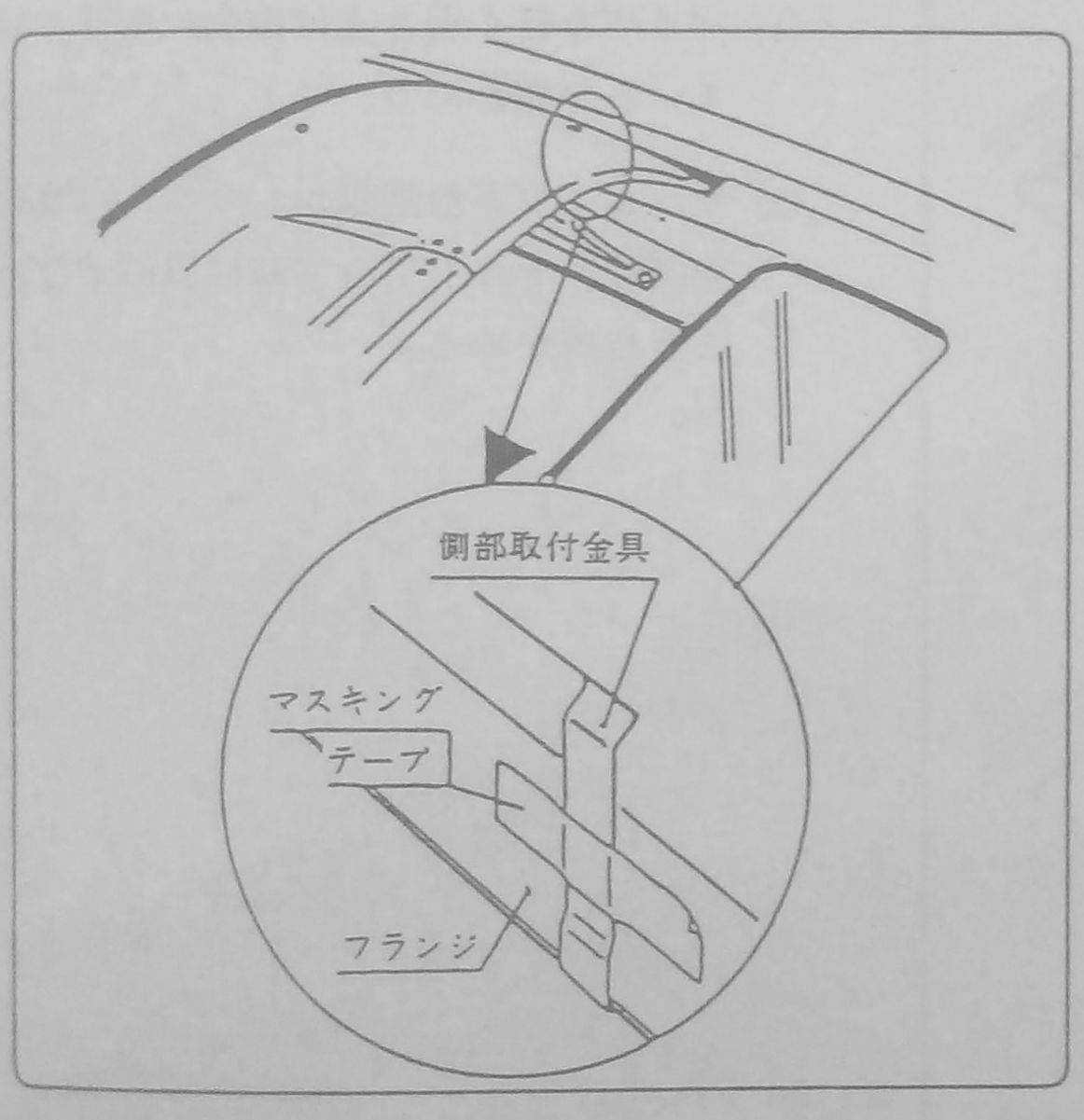
(4) 反対側は金具を引っ掛けバイザ取付穴と金具取付穴を合わせマスキングテープ等で固定させビス（M4×15）と樹脂ナットで仮止めする。

(5) マスキングテープをはがす。



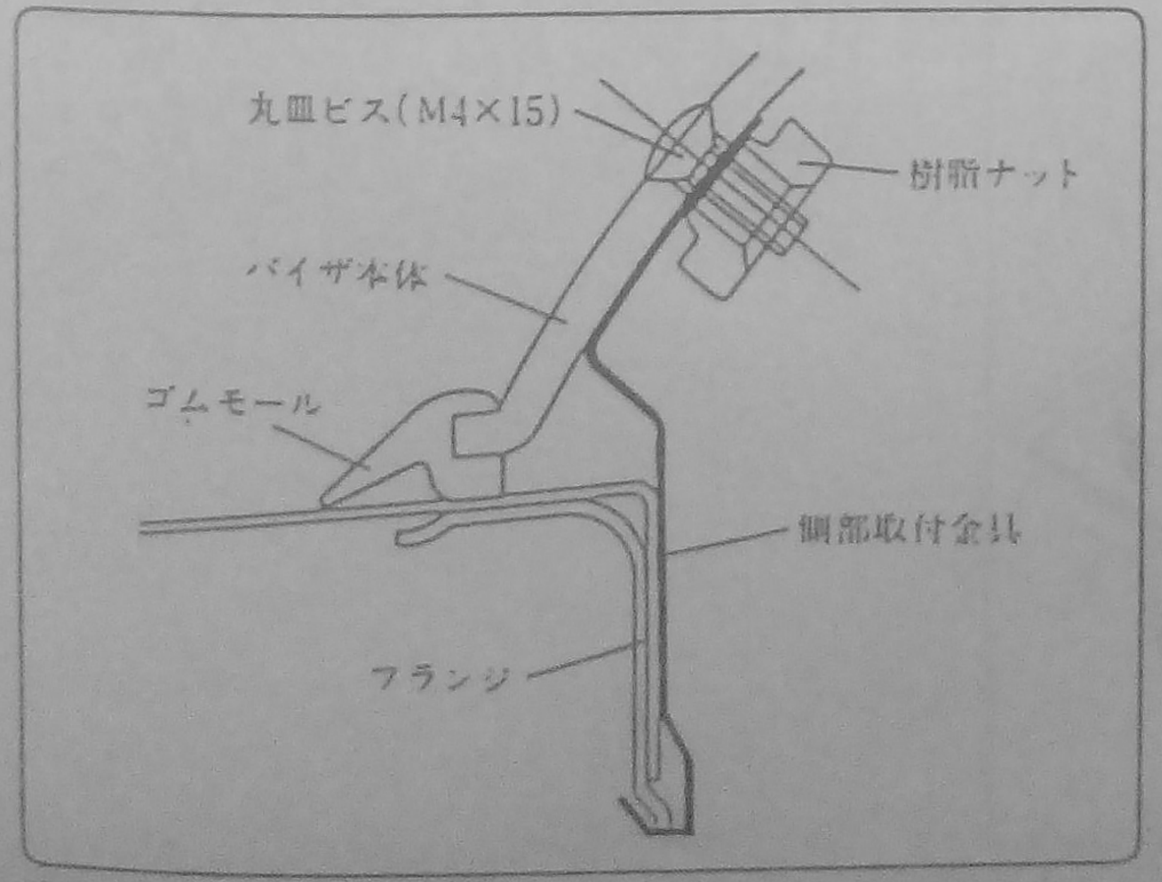
2 …本体の取り付け－2

(1) スケールを使い図中Ａ寸法が同じになる様バイザを左右に動かし調節する。



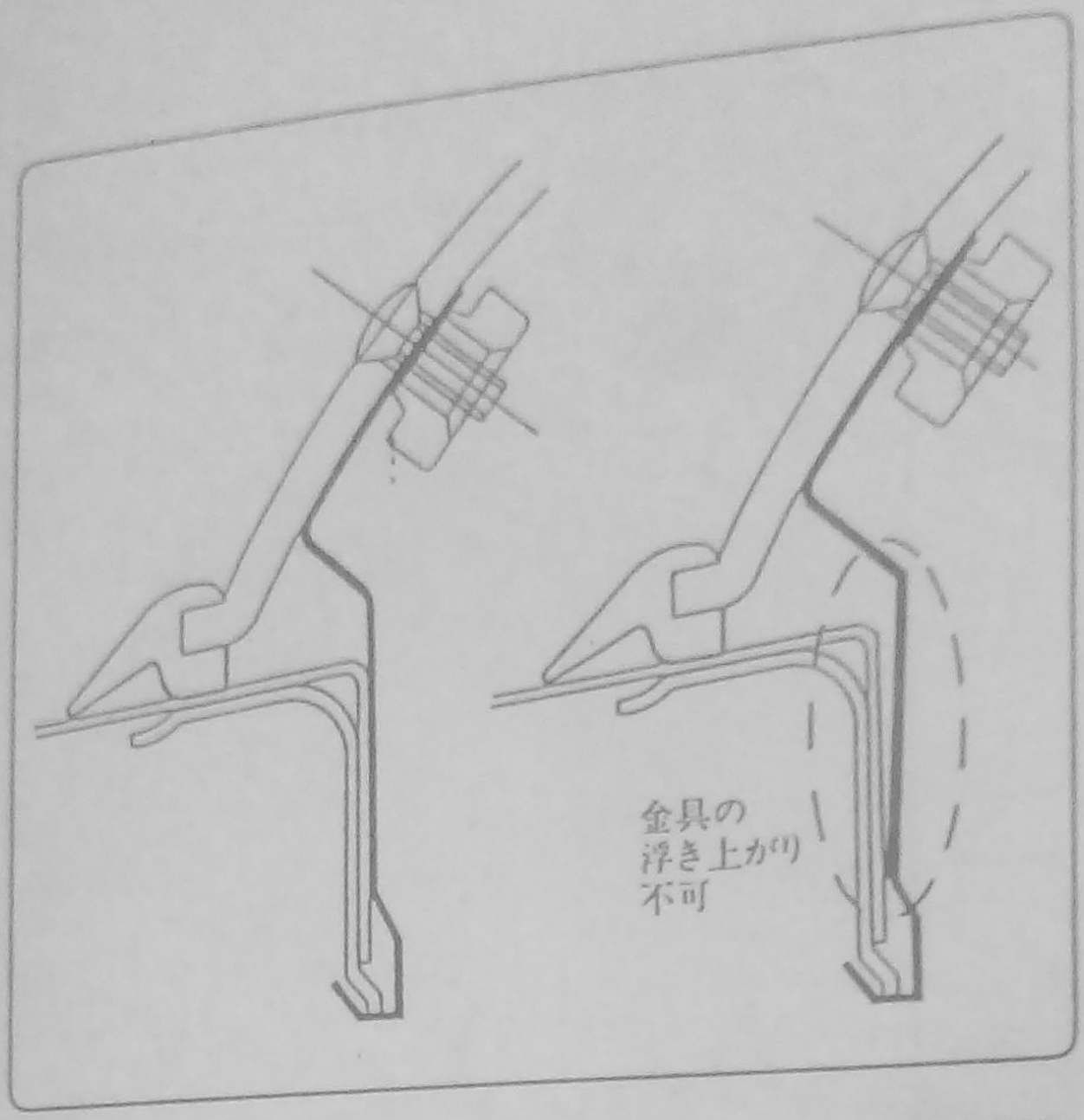
3 …本体の取り付け－3

(1) 側部取付金具をサンルーフの開口側部フランジに掛けバイザ取付穴と金具取付穴を合わせマスキングテープで固定する。反対側も同様に行う。



(2) ビス（４×15）と樹脂ナットで仮止めをする。

(3) マスキングテープをはがす。



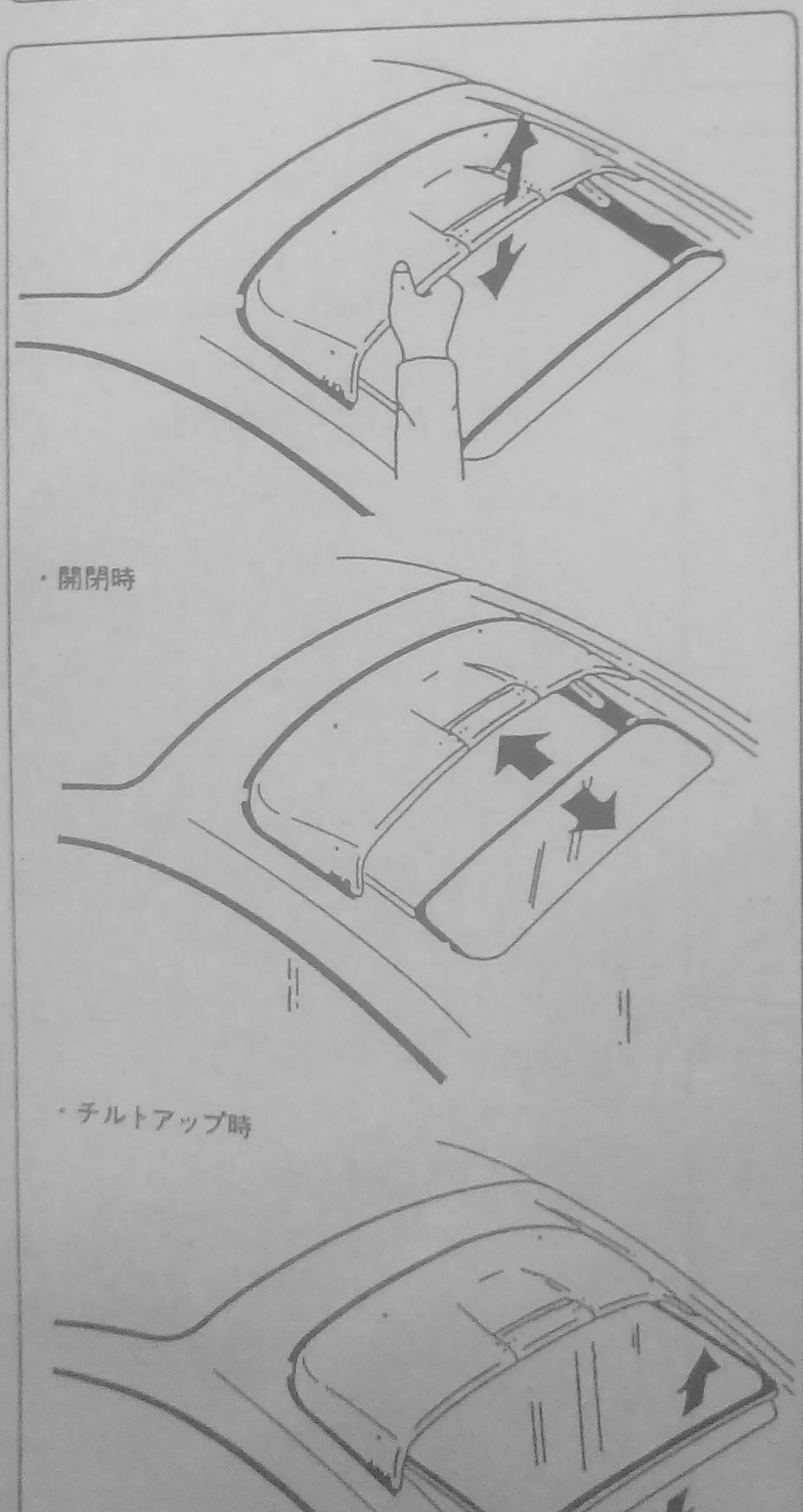
4 …本体の取り付け－4

(1) 各金具がサンルーフ開口部のフランジ面にピッタリ合う様にバイザを前後左右に動かし調整する。

注意

この作業を確実に行わないとサンルーフから雨漏れが発生するおそれがあります。

(2) 各金具の本締めをする。



5 …取り付け完了後の点検

(1) バイザを軽く引き上げ確実に取りついているか確かめる。

(2) サンルーフを数回動かしサンルーフの開閉時、チルトアップ時に支障がないことを確かめる。

ご使用上の注意　お客様にこの取付要領書を渡し注意事項をよく説明してください。

1. バイザのコーナー部に水が溜っている場合は水をとり除いてからサンルーフを開けてください。水が溜ったまま開けますと室内に水が入る恐れがあります。
2. 自動洗車機をご使用になるときはバイザの傷付き防止のため取り外して洗車してください。
3. 風を取り入れる時はフラップを回転させ室内に入るよう調整してください。
4. 風入れの不要の時はフラップを元の位置にもどしてください。
   チルトＵＰ機構付サンルーフ車の場合、フラップが元の位置にあることを必ず確認し、チルトＵＰさせてください。
5. フラップの回転抵抗がなくなったら、バイザ裏側のフラップ軸受けのビスをドライバーで締めて調整してください。
6. 純正ルーフラックを取り付ける際に、サンルーフバイザを取りはずしてください。

SR31

字光式ナンバープレート用ブラケット 取付要領書

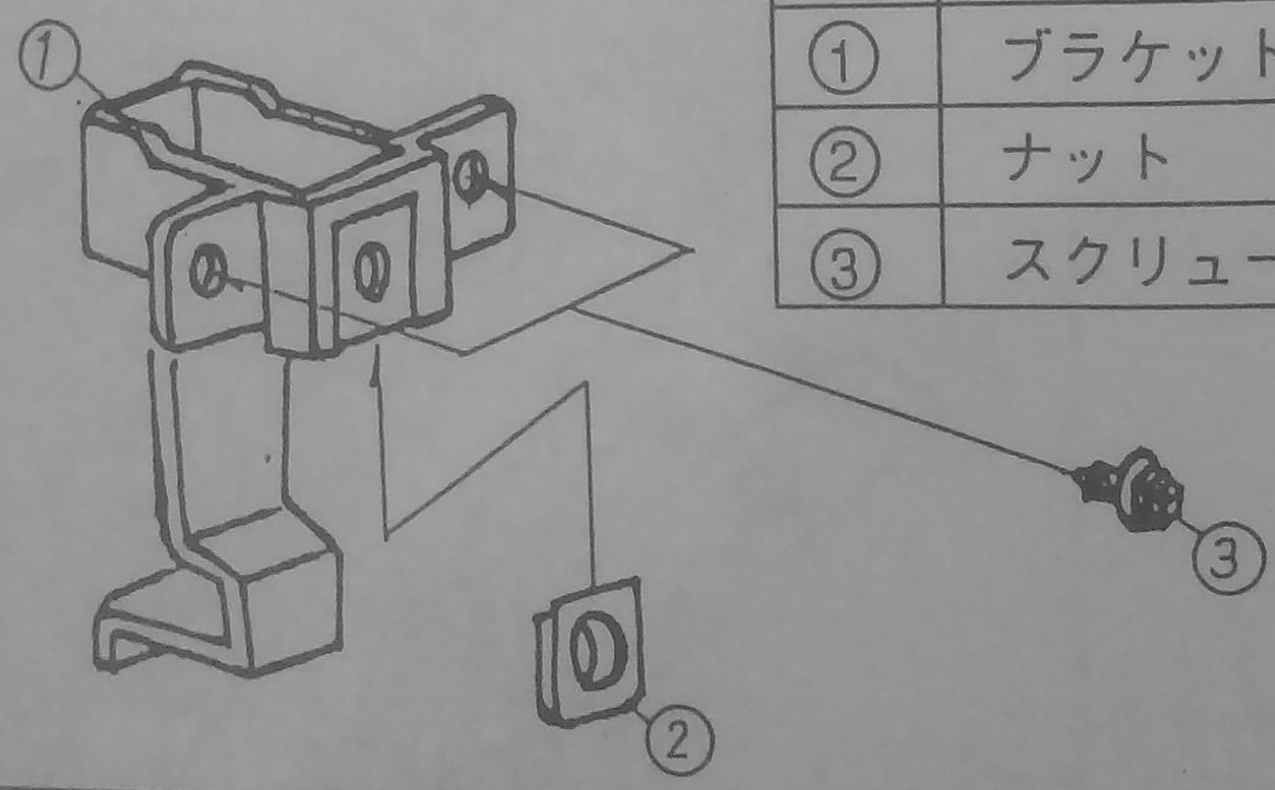
トヨタ純正

このたびはトヨタ純正字光式ナンバープレート用ブラケットをお買い上げいただきありがとうございました。本書はカリーナEDコロナEXIV に字光式ナンバープレート用ブラケットを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番および適用車種

品番	適用車種	年式
52102-20080	カリーナEDコロナEXIV	1993年10月以降

構成部品

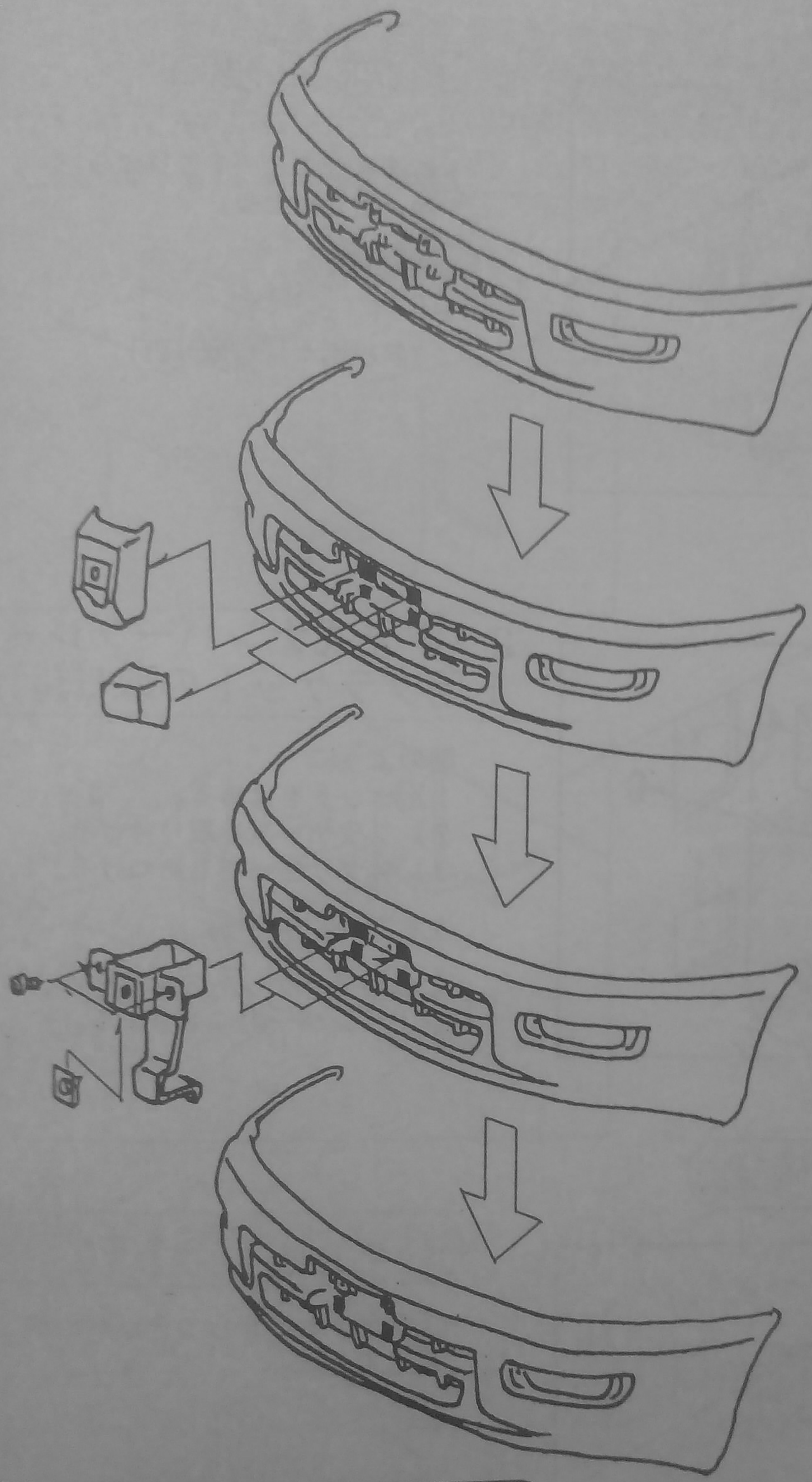


No	品名	品番	個数
①	ブラケット	52121-20130	2
②	ナット	90179-06127	2
③	スクリュー	90159-60431	4

取り付け時間

0.3H

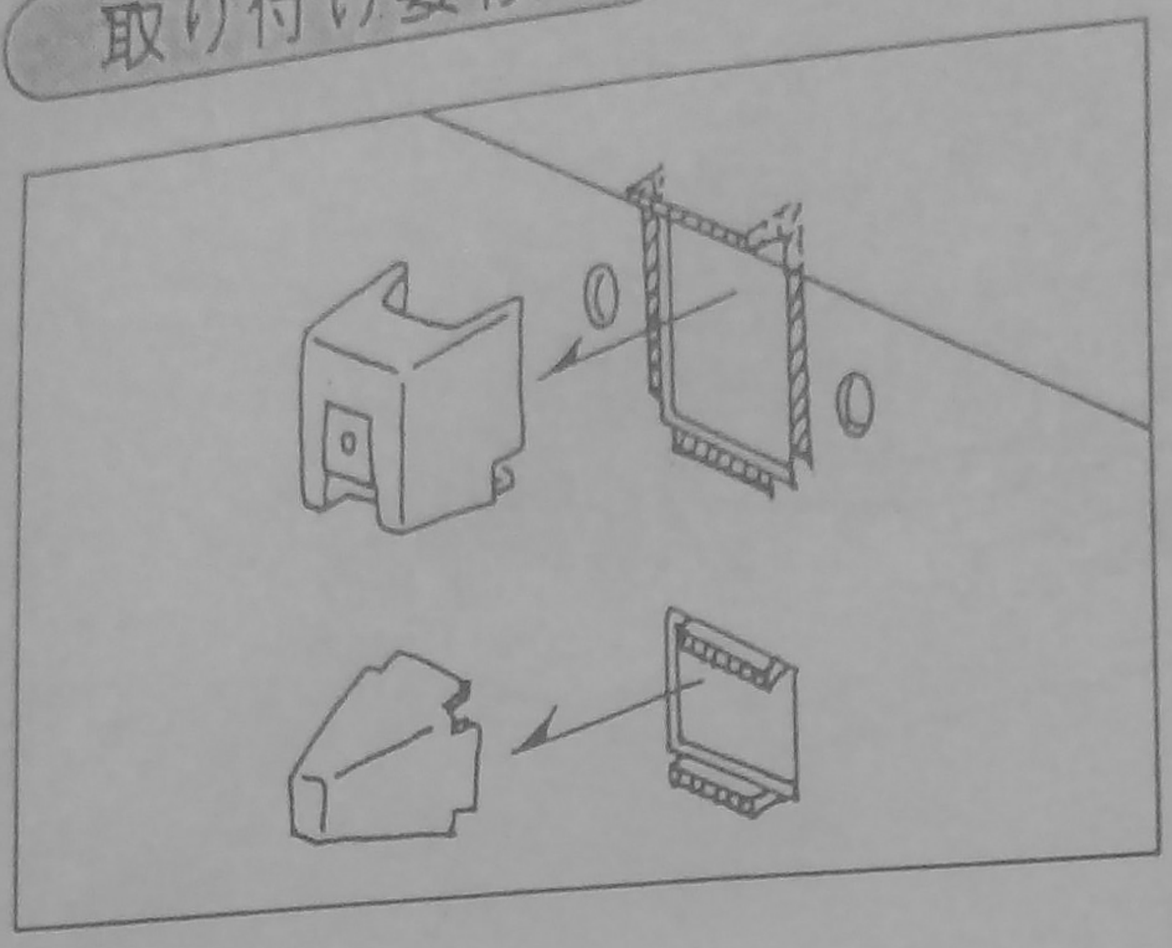
取付け概要



取付けに必要な工具等

一般工具（⊕ドライバー）金のこ（またはニッパー）

取り付け要領



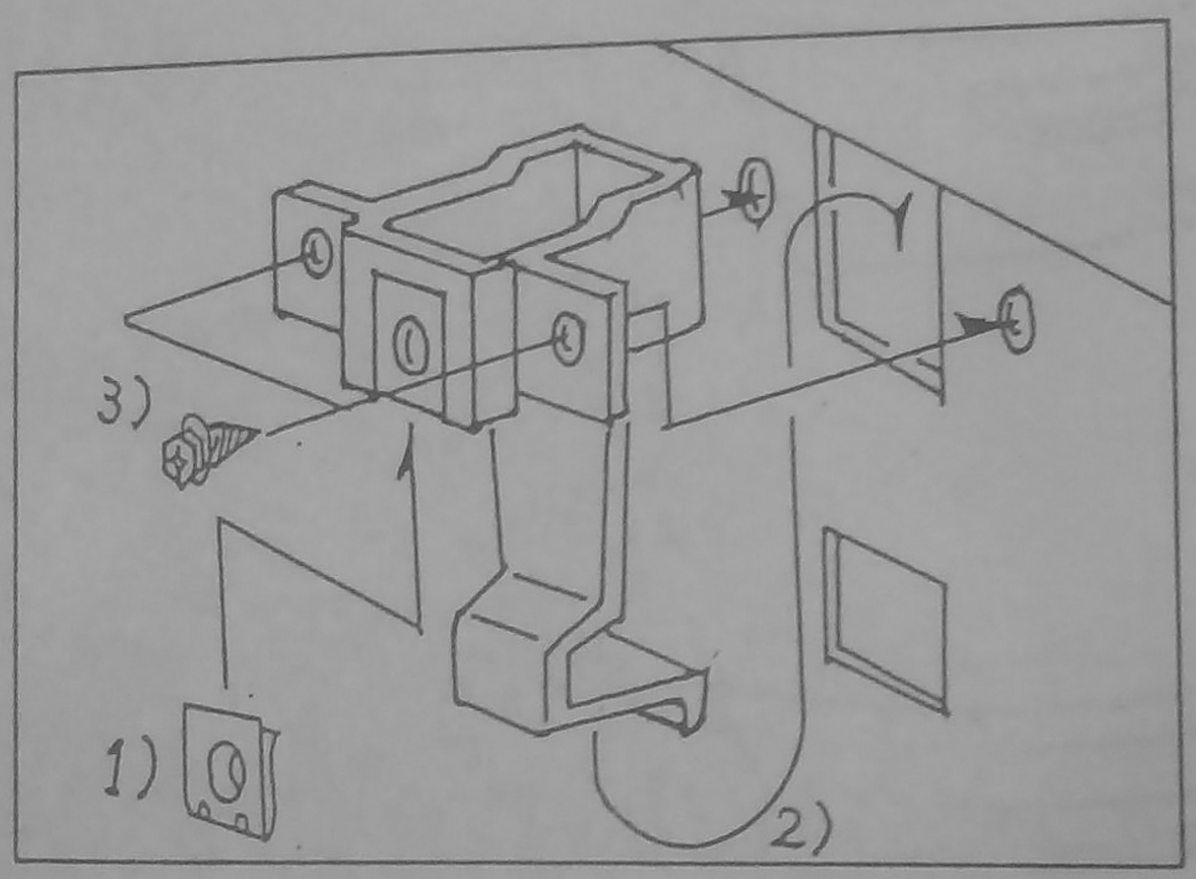
1　車両部品の加工

フロントバンパーのナンバープレート座面を金のこ（またはニッパー）を用いてきりとる。

左右2ケ所

（斜線部：切り取り部）

2　字光式ナンバープレート用ブラケットの取り付け

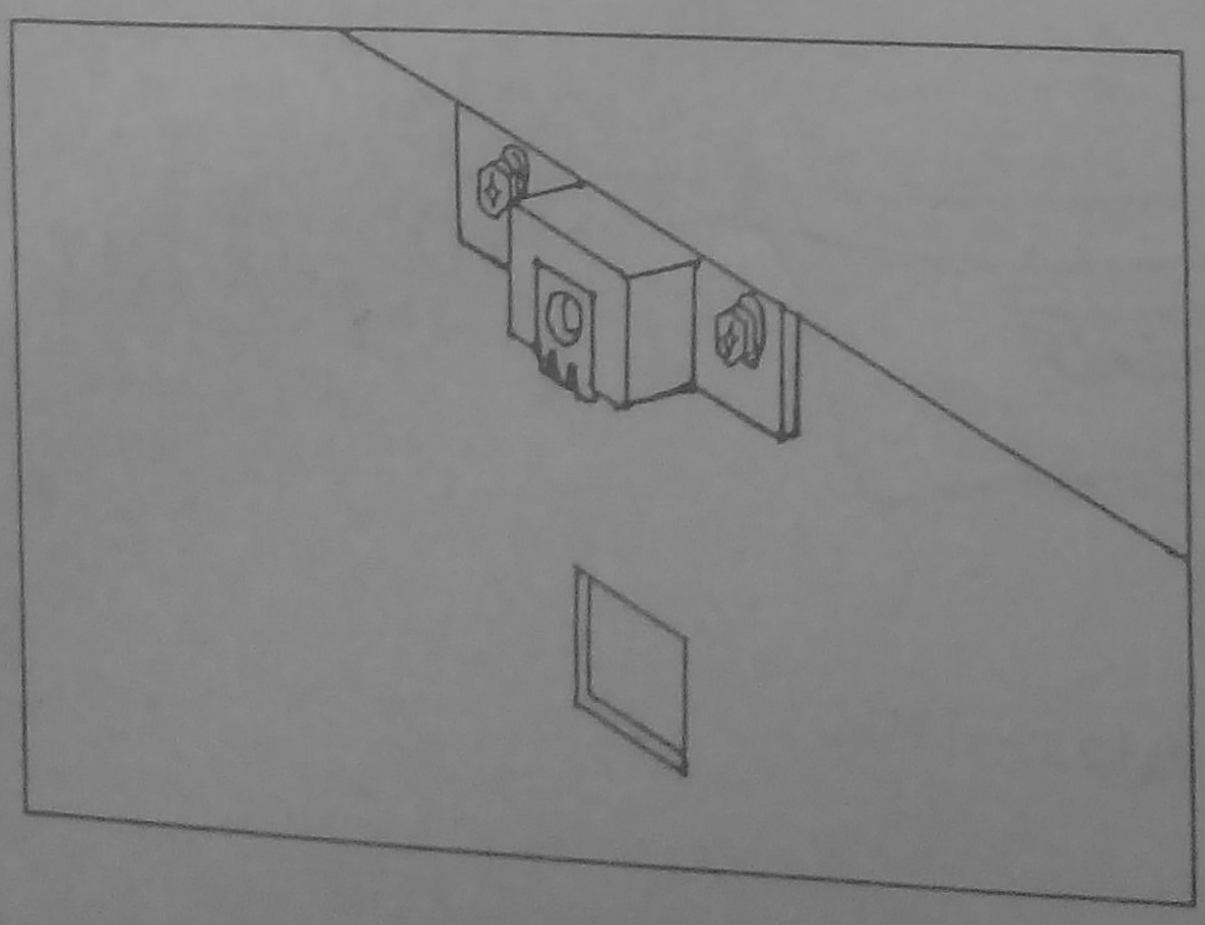


図のように
1）ナットをはめる。
2）ブラケットを取り付ける。
3）スクリューでしめつける。

左右2ケ所

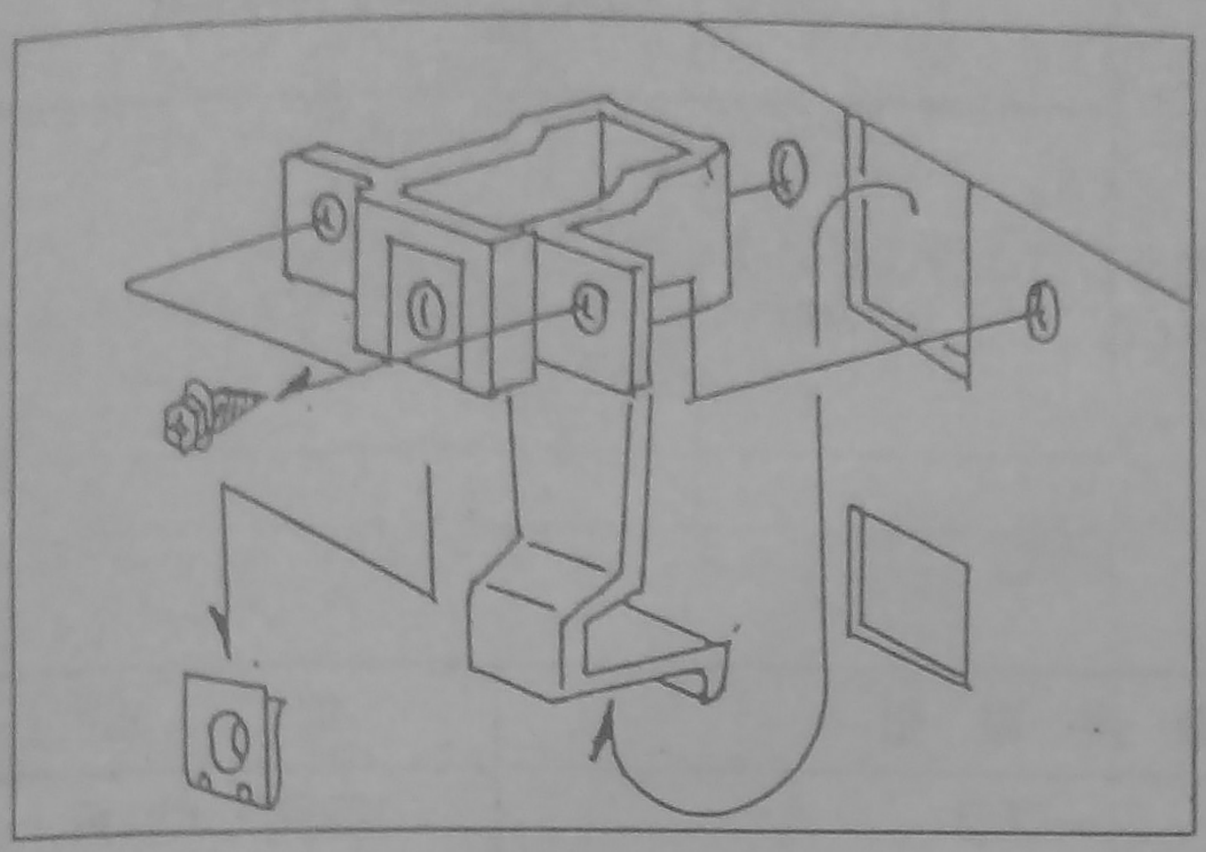
（この時ブラケットの大部分はフロントバンパー内におさまる。

取り付け完了後の確認



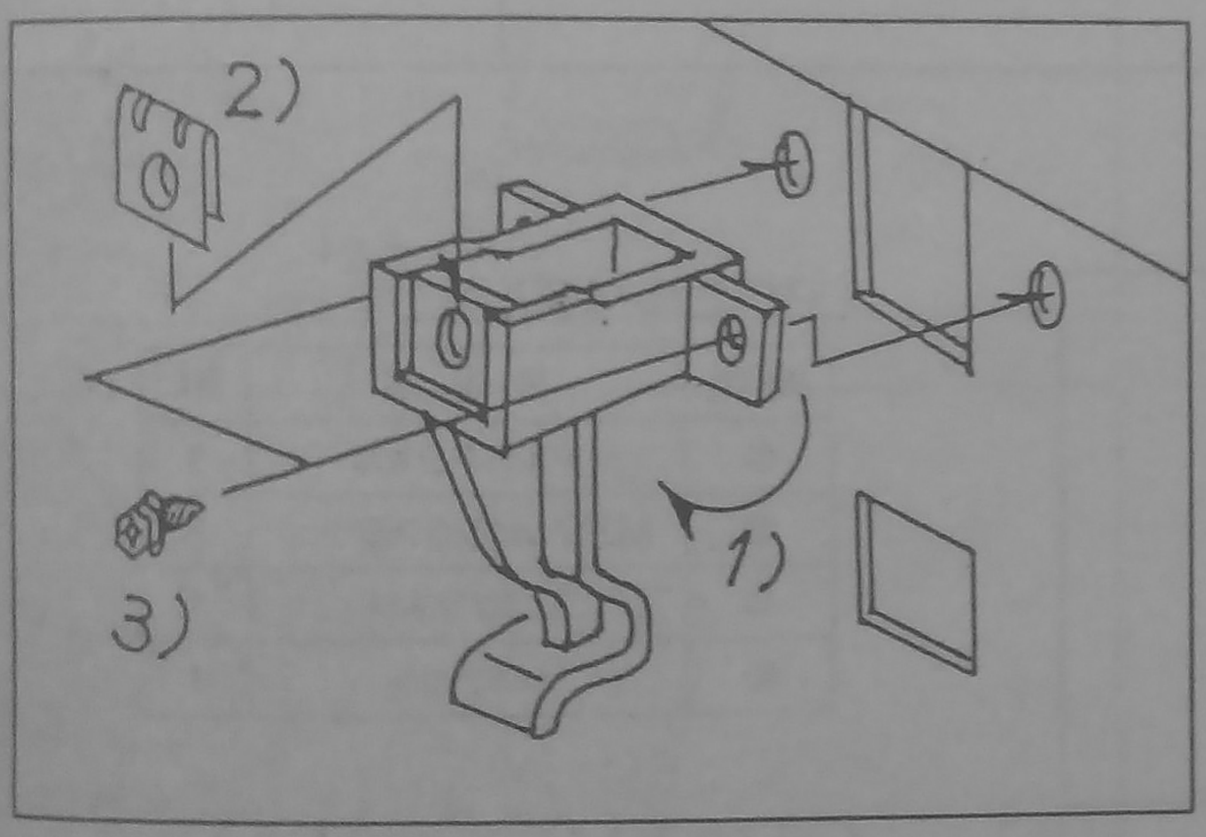
ブラケットにぐらつきがないか確認する。

2次ユーザーが通常のナンバープレートを取り付けた場合の対応方法



1　ブラケットの取り外し

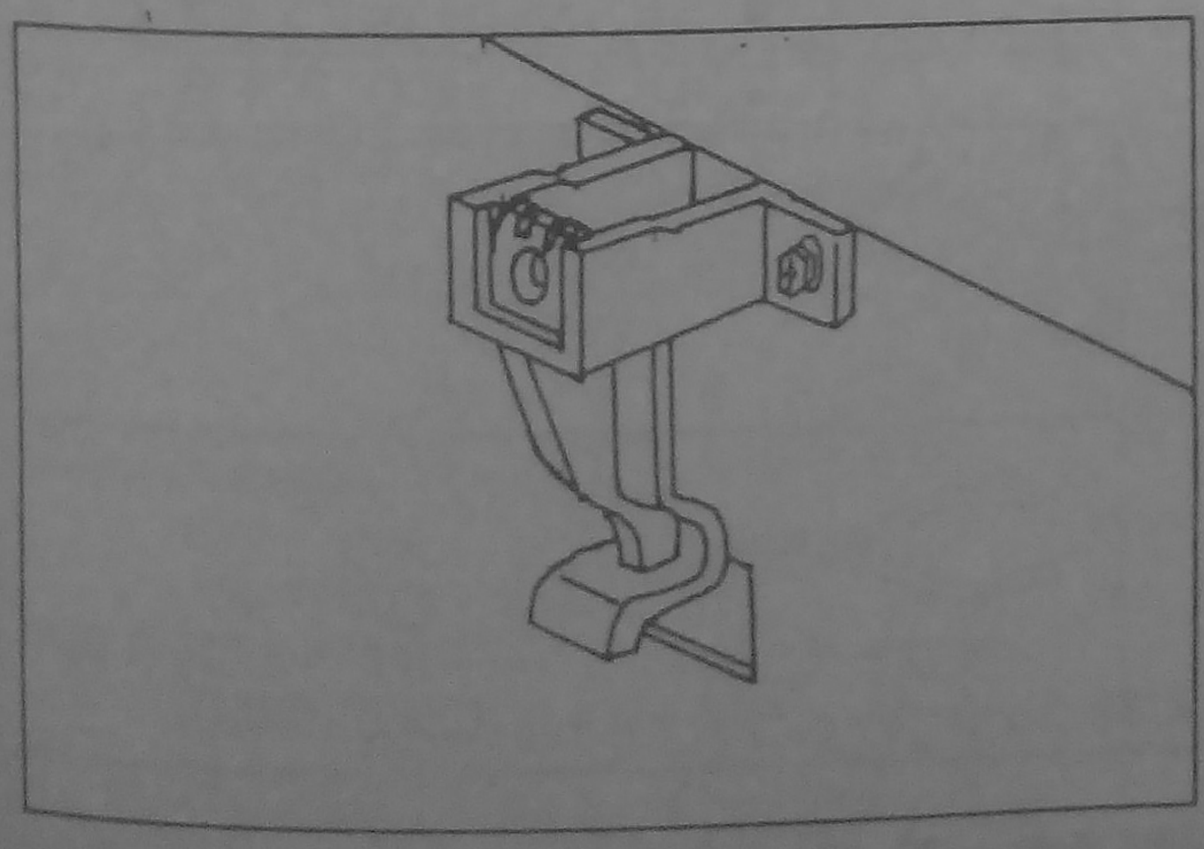
図のように
1）スクリュー（左右各々2ヵ所）をはずす。
2）ブラケットを取り外す。
3）ナットを取り外す。
　左右2ヵ所



2　ブラケットの取り付け

図のように
1）ブラケットを反転させる。
2）ナットをはめる。
3）スクリュー（左右各々2ヵ所）でしめつける。
　左右2ヵ所

取り付け完了後の確認



ブラケットにぐらつきがないか確認する。

トヨタ純正

アルミペダルセット

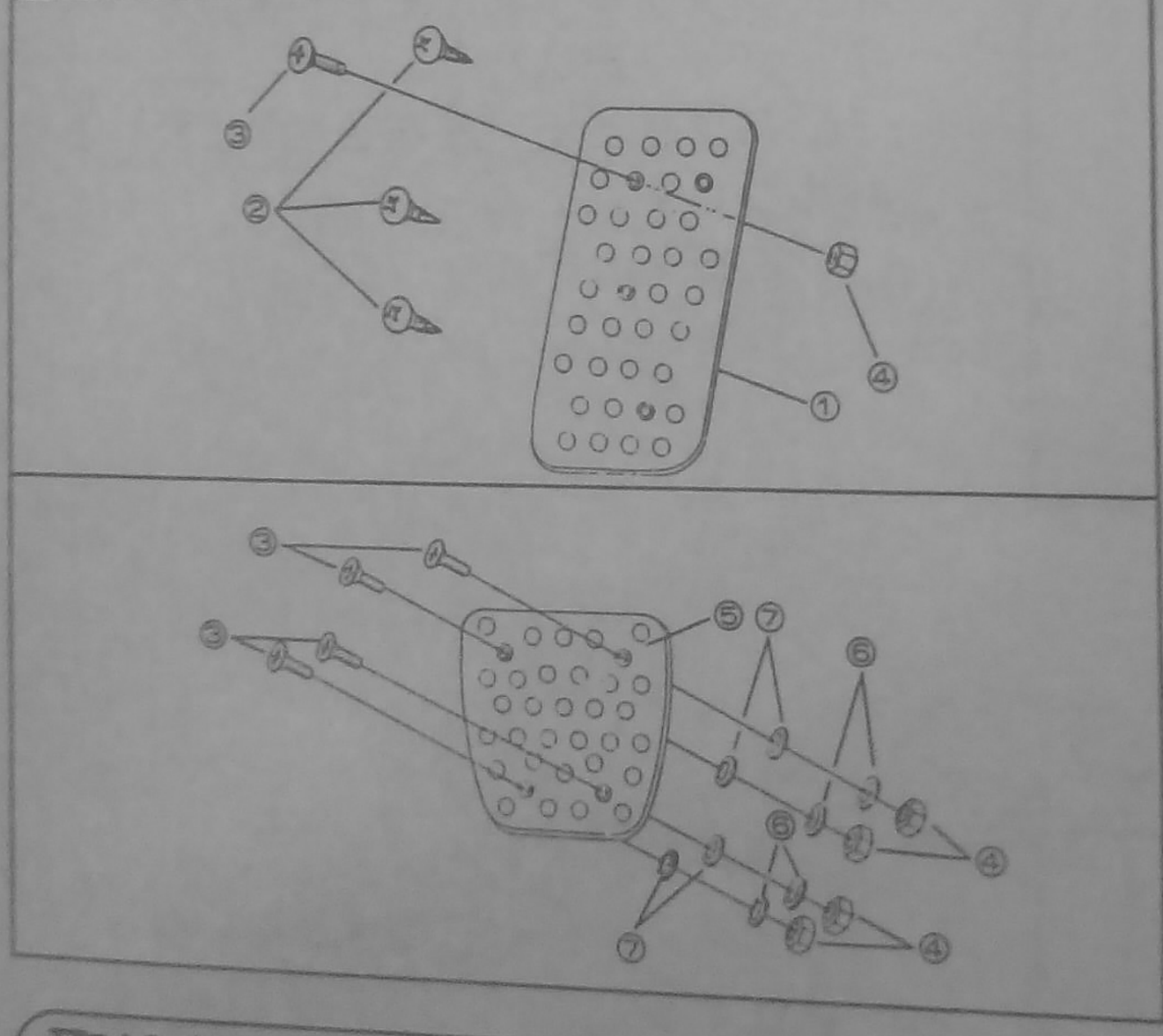
取付要領書

このたびは、トヨタ純正用品をお買い上げ頂きありがとうございました。
取付けは、この要領書に従って行なってください。
本取付要領書は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

品番	適用車種	年式
08487-14001	スープラ	1993年5月以降
	セリカ・カリーナED・コロナEXIV	1993年9月以降

構成部品



〈アクセルペダル〉

図中No.	部品名	個数
①	アルミアクセル	1
②	M3タッピングスクリュ	3
③	M3サラネジ	1
④	M3ナット	1

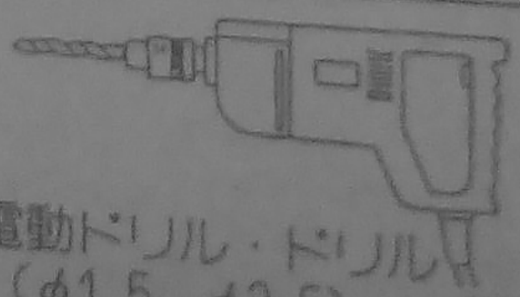
〈ブレーキ・クラッチペダル〉

⑤	アルミペダル	2
③	M3サラネジ	8
④	M3ナット	8
⑥	ワッシャ(小)	8
⑦	ワッシャ(大)	8

取り付けに必要な工具等



・ドライバー
(電動ドライバー使用不可)

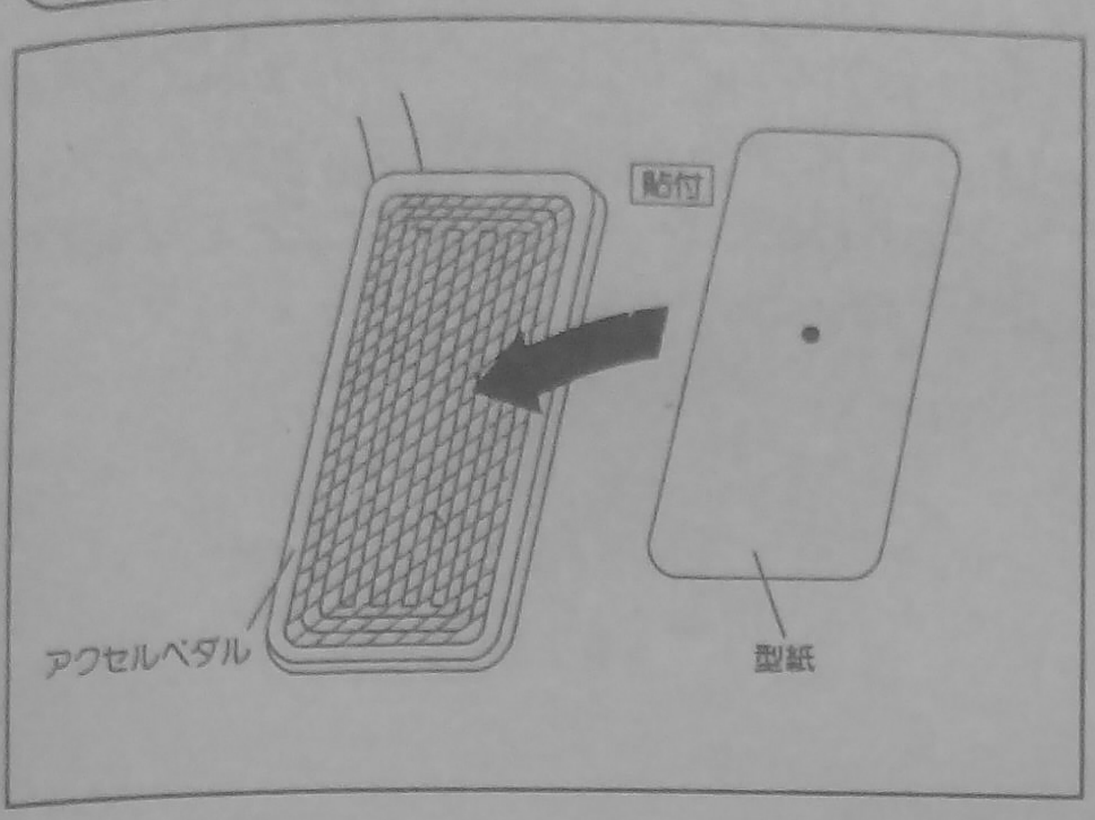


・電動ドリル・ドリル
(φ1.5、φ3.5)



・ラジオペンチ
・ハサミ
・のり
・白マジック
・アドヘシブ(ネジ
(又は5.5ソケット&ラチェット)(08833-00070)

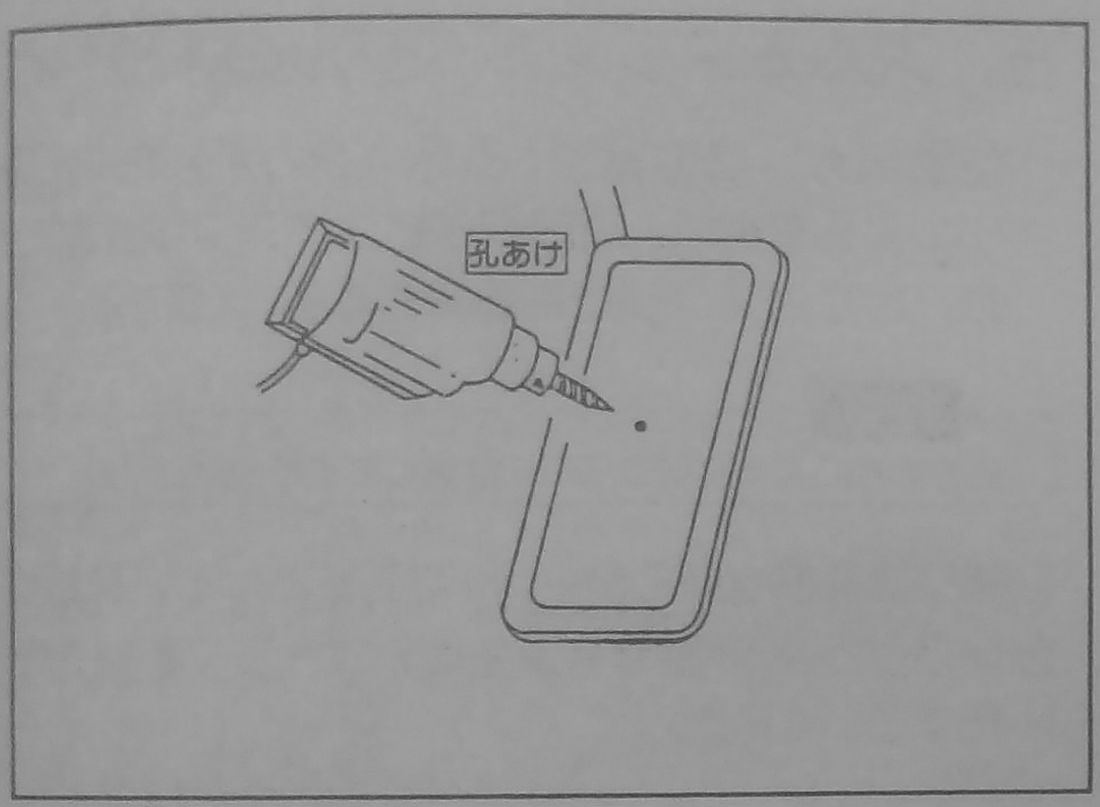
取り付け要領



〔1〕アクセルペダルの取付け

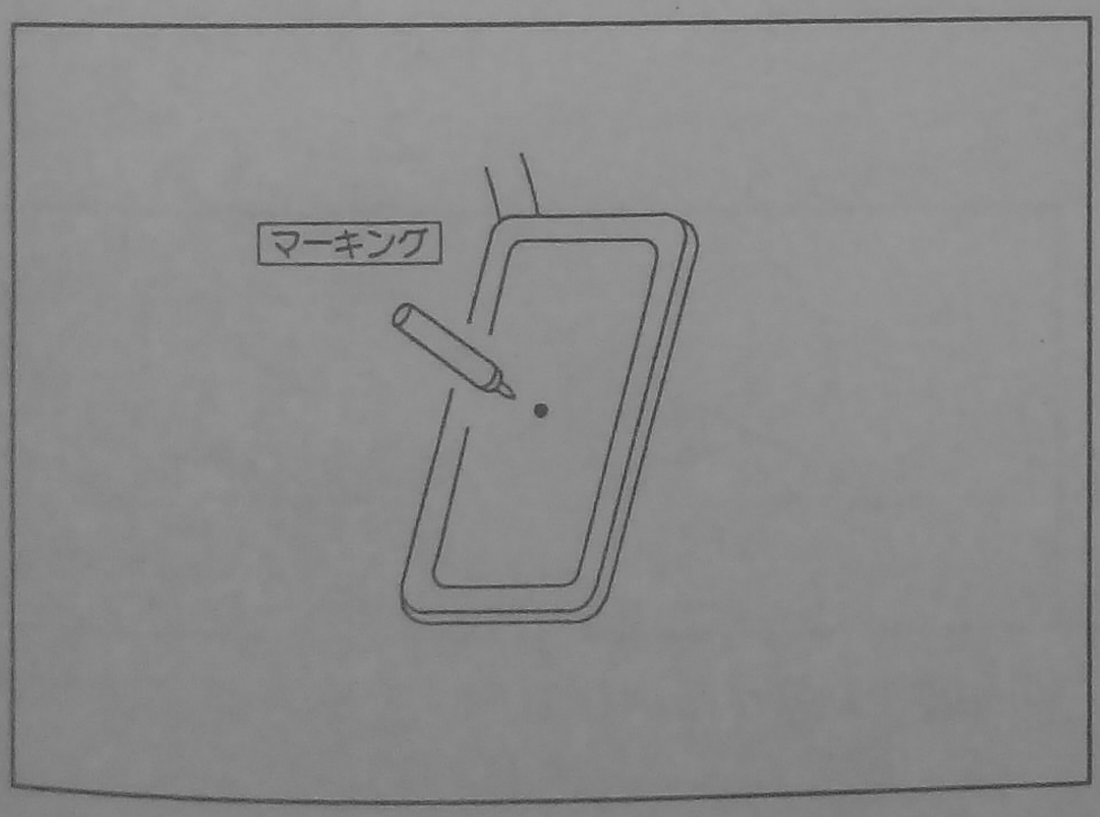
1．型紙の貼付

取付要領書の5/5ページにあるアクセル用型紙を切り取り、のり付けする。
これを図に示したアクセル斜線部（すべり止め部）の枠に合わせて貼り付ける。

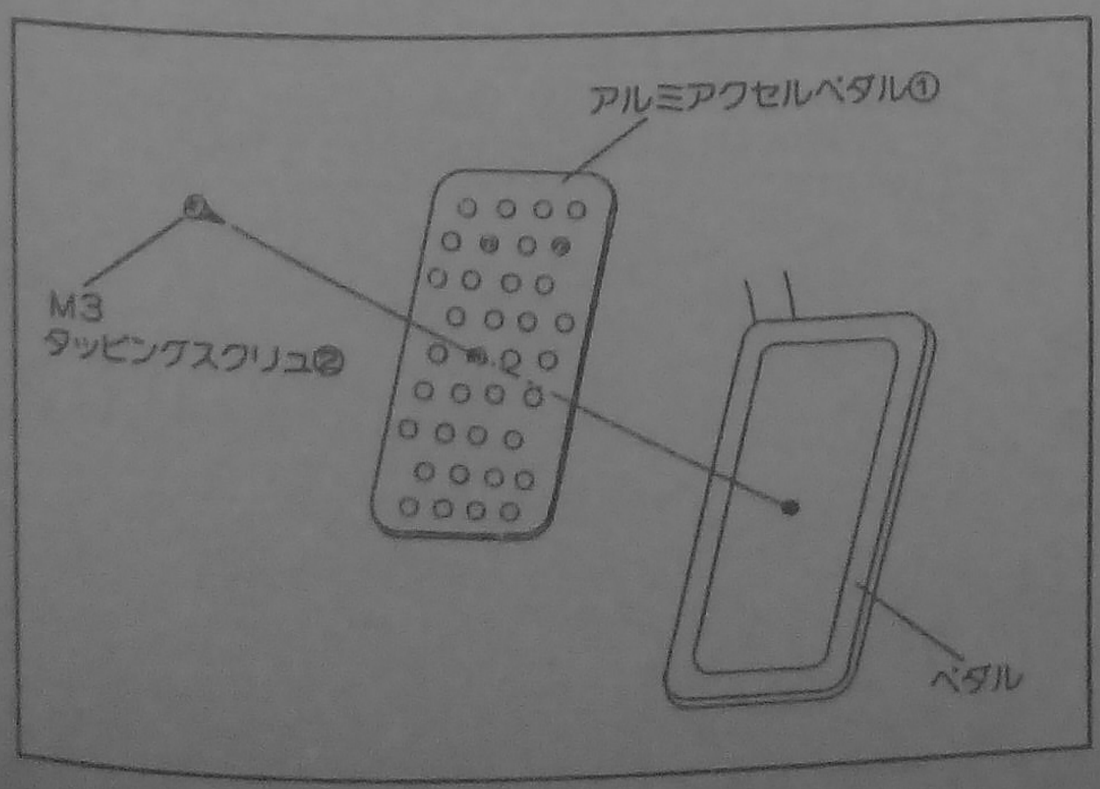


2．位置決め用下孔あけ

(1)型紙マーキング部にφ1.5ドリルで孔をあけ、型紙をはがす。

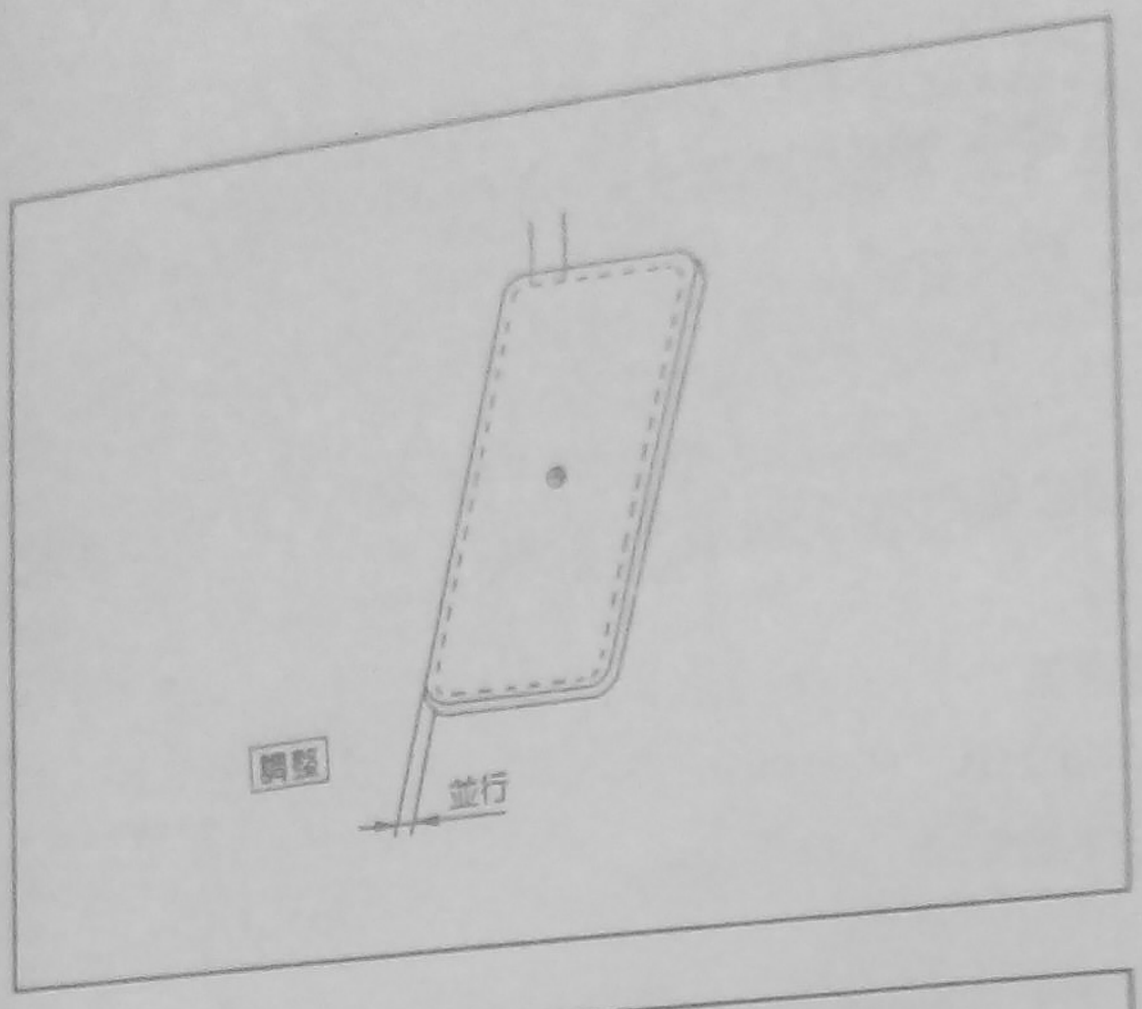


(2)2−(1)であけた下孔に白マジックでマーキングする。



3．アルミアクセルペダルの取付け

2.であけた下孔に、アルミアクセルペダル①を図のように、M3タッピングスクリュ②で仮締めする。



4. アルミアクセルペダルの位置

取付けたスクリュを基準に、アルミアクセル
①ガ車両側アクセルペダル形状と並行とな
度を調整する。

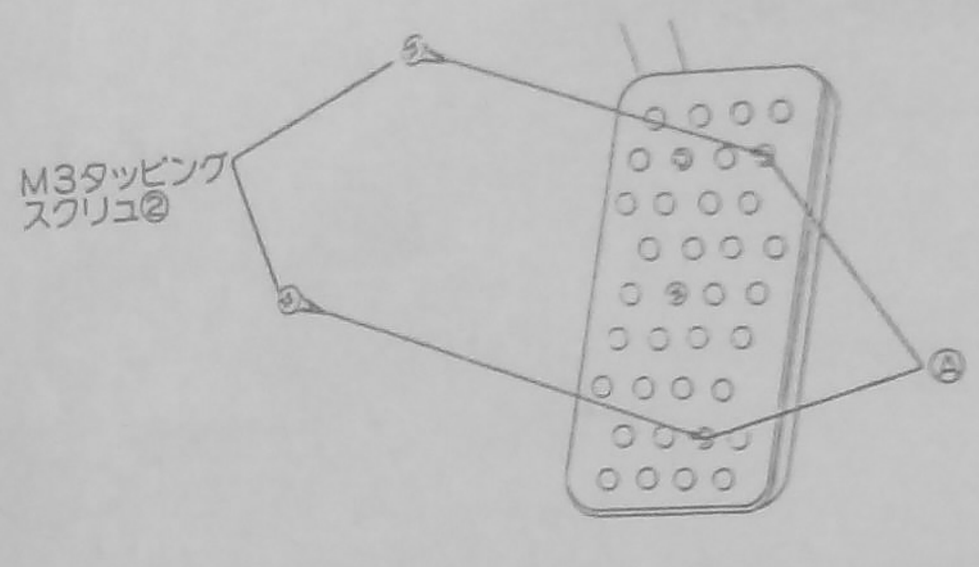


図1

5. アルミアクセルペダルの本取

(1)位置決めした位置で、孔Ⓐ（2カ所）を
リルで孔をあけ、M3タッピングスクリュ
め、全てのスクリュを本締めする。(図1)

注意

締めすぎによるネジつぶれに注意してください。

(2)残りの孔Ⓑをϕ3.5ドリルで孔をあける。(図
(3)M3サラネジ③のネジ部にアドヘシブを
布する。（下図）

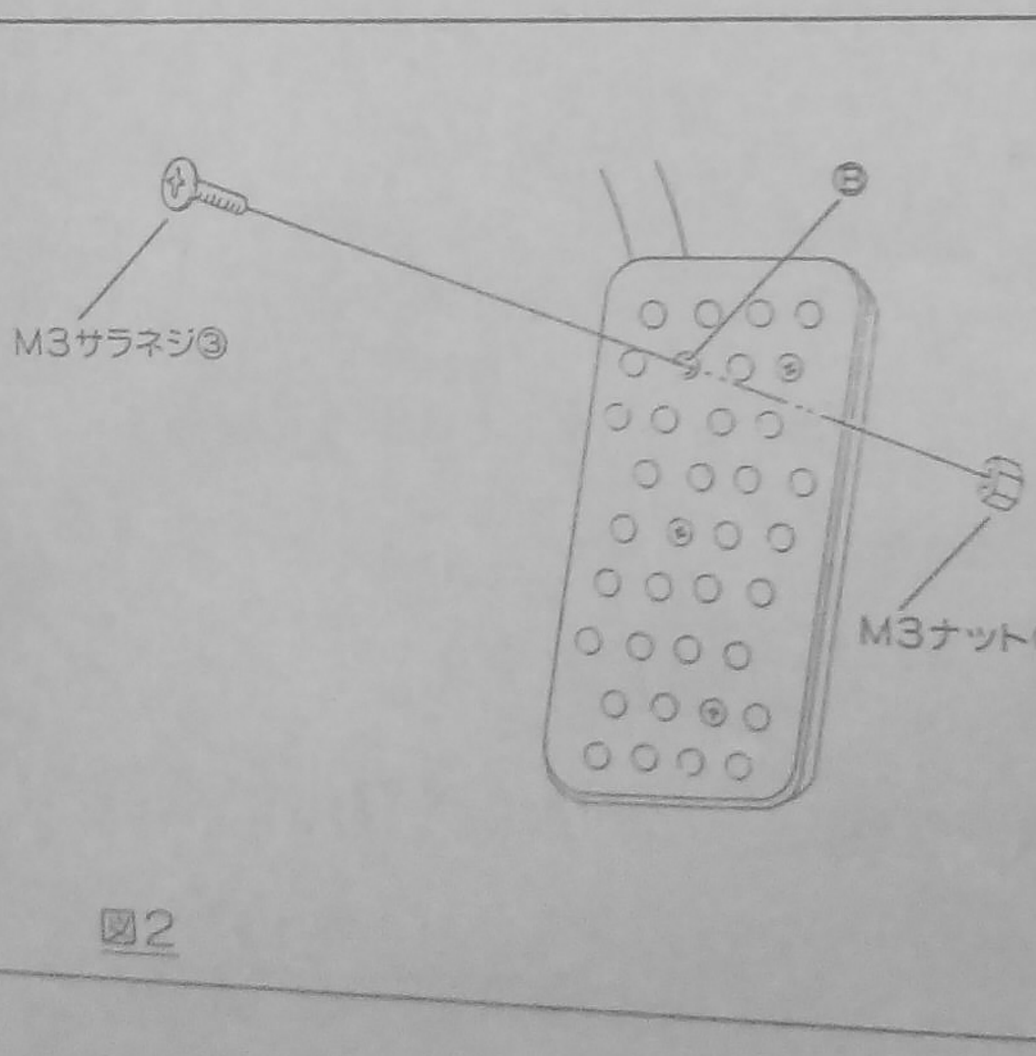
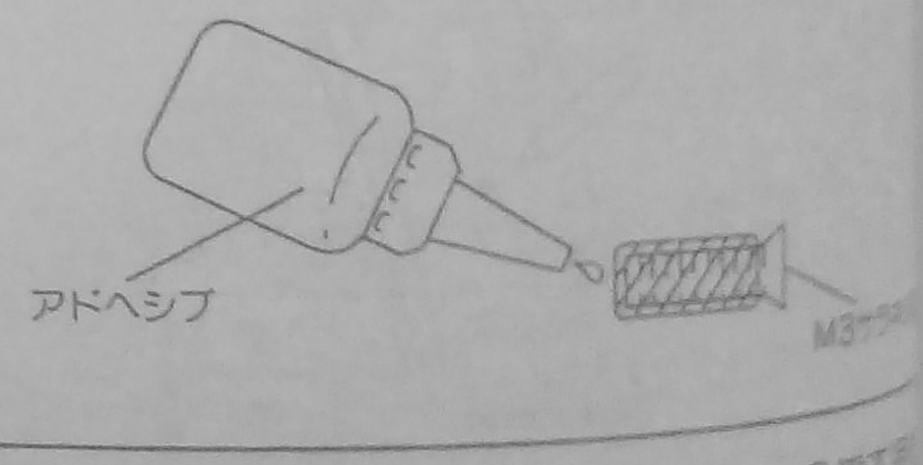
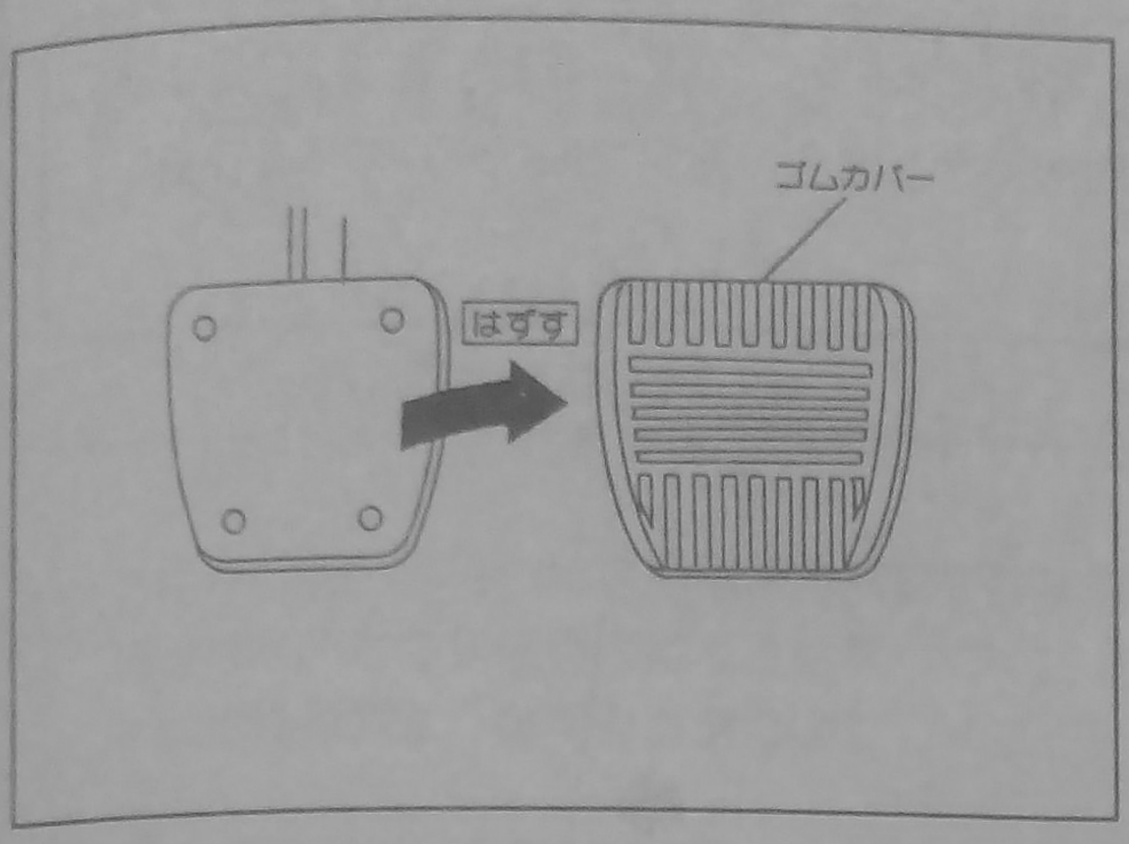


図2



(4)孔ⒷをM3サラネジ③、M3ナット
る。（図2）

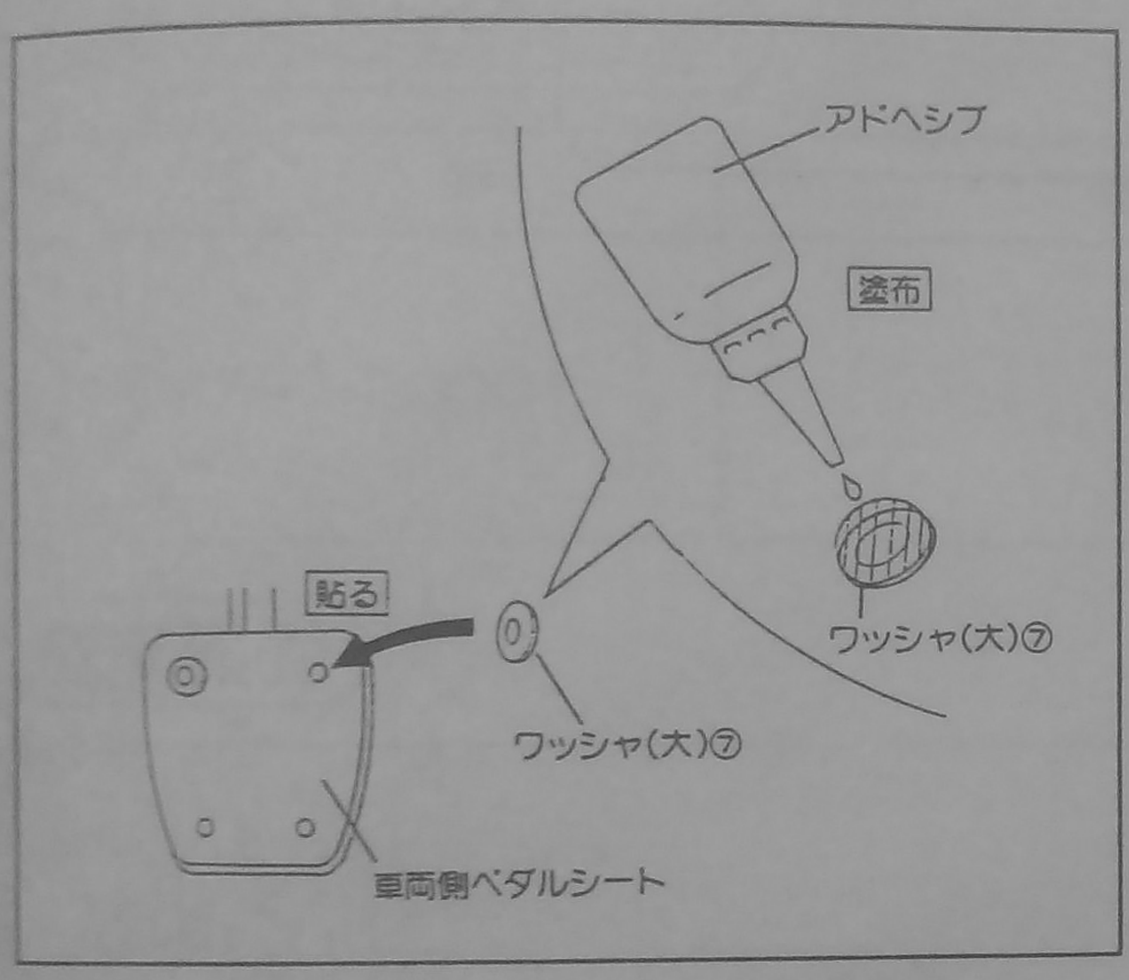
M3サラネジ③を締付け時、裏面のM3ナット④
ペンチにより、保持するとうまく取付けられます。



〔2〕ブレーキ、クラッチペダルの取付け

1．ゴムカバーの取りはずし

ブレーキペダルとクラッチペダルのゴムカバーをペダルシートから取りはずす。

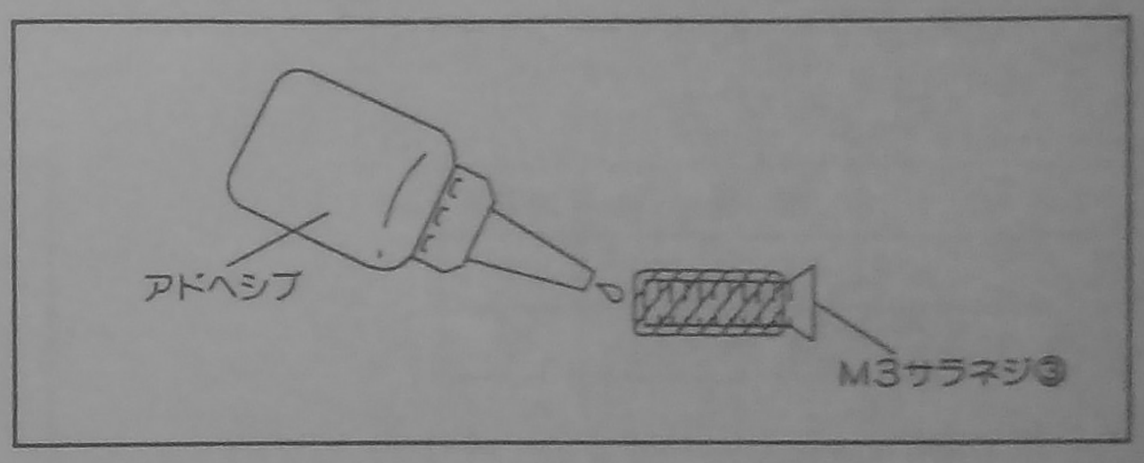


2．アルミペダルの取付け

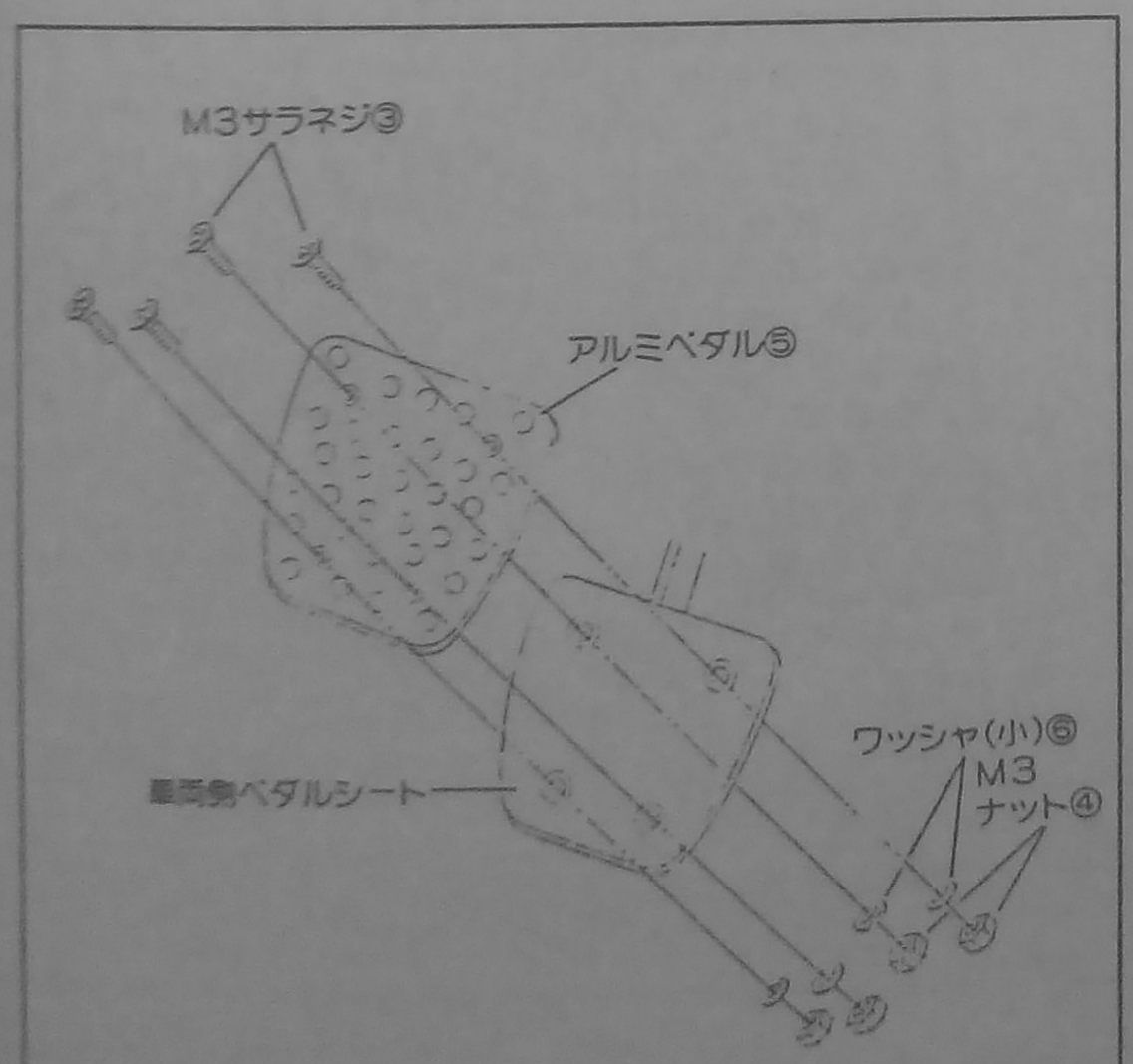
⑴ワッシャ(大)⑦（4個）の車両ペダルシート側の既設孔もしくはアルミペダルの孔に合わせる。

この際、ワッシャ(大)⑦の片面にアドヘシブを塗布して、左図のように貼付けると取付けやすい。

⑵M3サラネジ③(4個)のネジ部にアドヘシブを充分に塗布する。



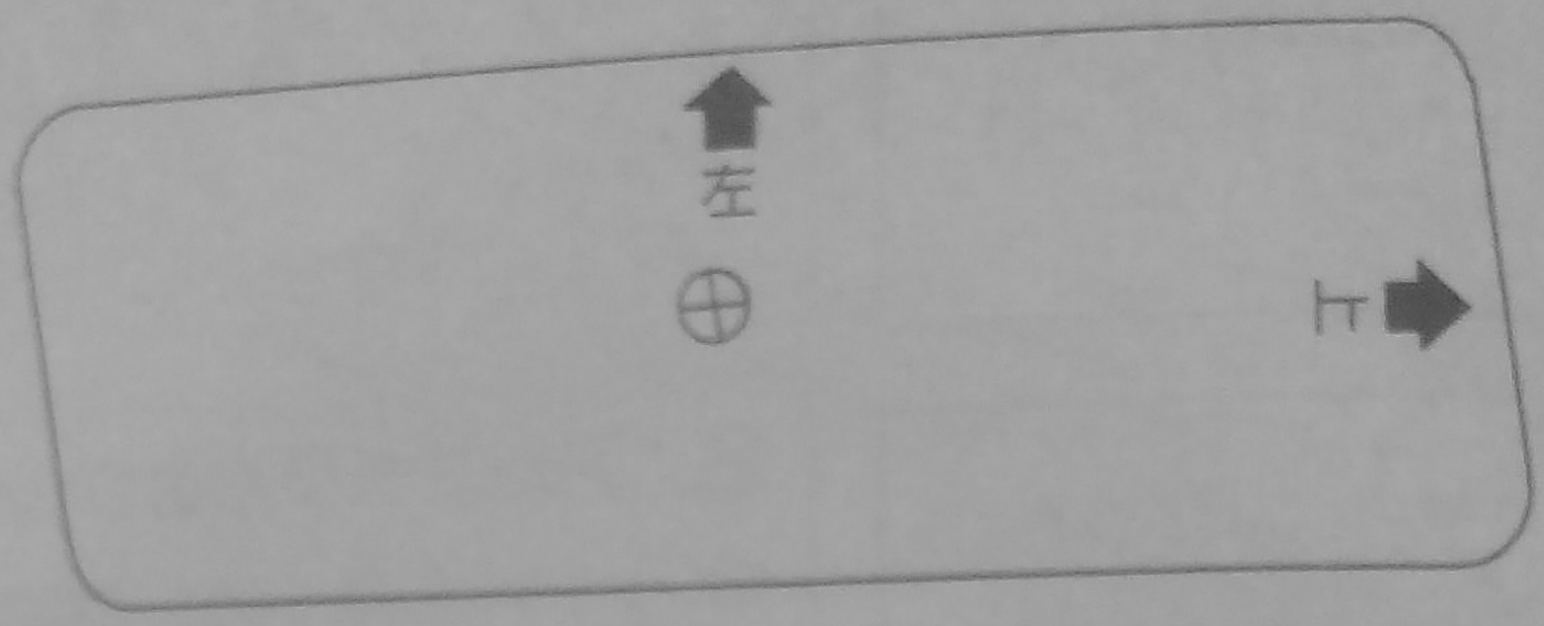
⑶車両側ペダルシートの既設孔にアルミペダル⑤をM3サラネジ③、ワッシャ(小)⑥、M3ナット④により取付ける。



M3サラネジ③を締付け時、裏面のM3ナット④をラジオペンチ又は、5.5ソケット＆ラチェットにより保持するとうまく取付けられます。

使用上の注意事項

・乗車時には、靴に付着した雪や泥水などをよく落としてください。
・アクセルペダルは、1度取付けたものをはずして再度取付ける場合、アクセルペダル本体を交換してください。



アクセル用型紙

トヨタ純正　アルミフットレスト

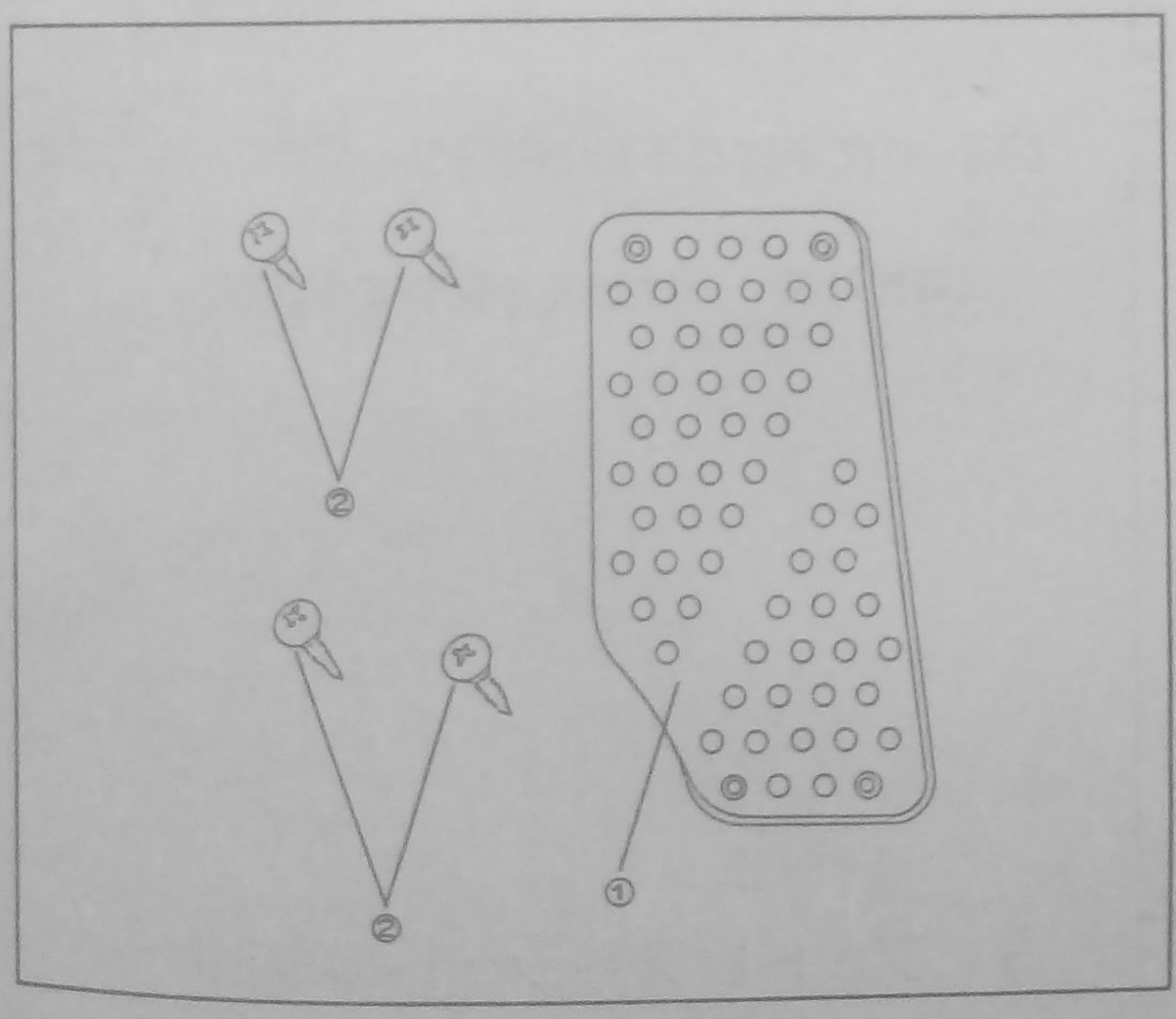
取付要領書

このたびは、トヨタ純正用品をお買い上げ頂きありがとうございました。
取付けは、この要領書に従って行なってください。
本取付要領書は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

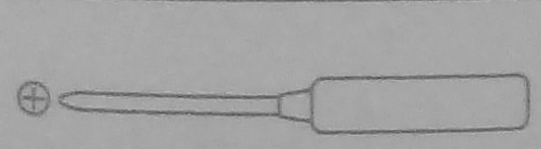
品　　番	適 用 車 種	年　　式
08790-20001	セリカ カリーナED コロナEXIV	1993年9月以降

構成部品

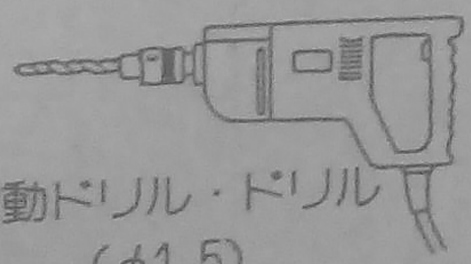


図中No	部 品 名	個数
①	フットレストシート	1
②	M3タッピングスクリュ	4

取り付けに必要な工具等



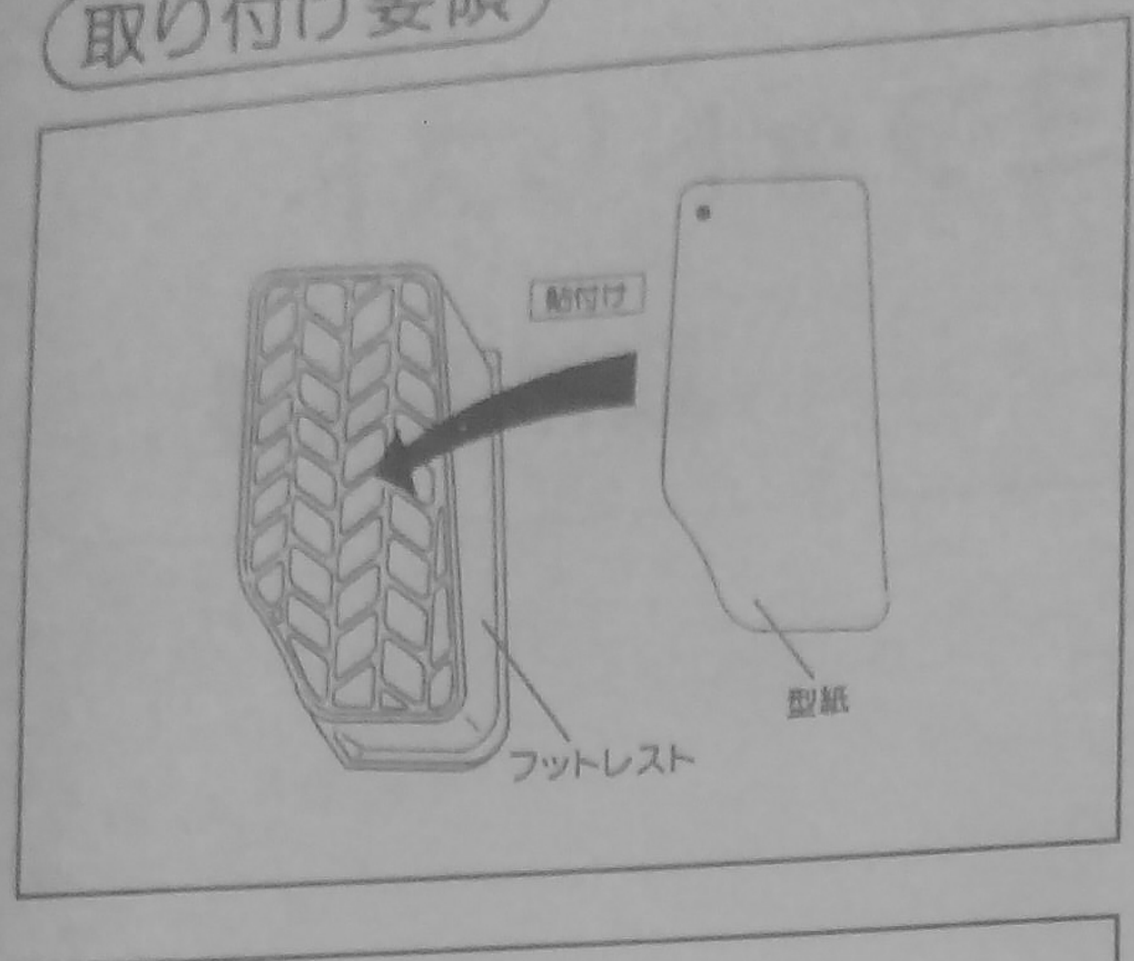
・ドライバー
（電動ドライバー使用不可）

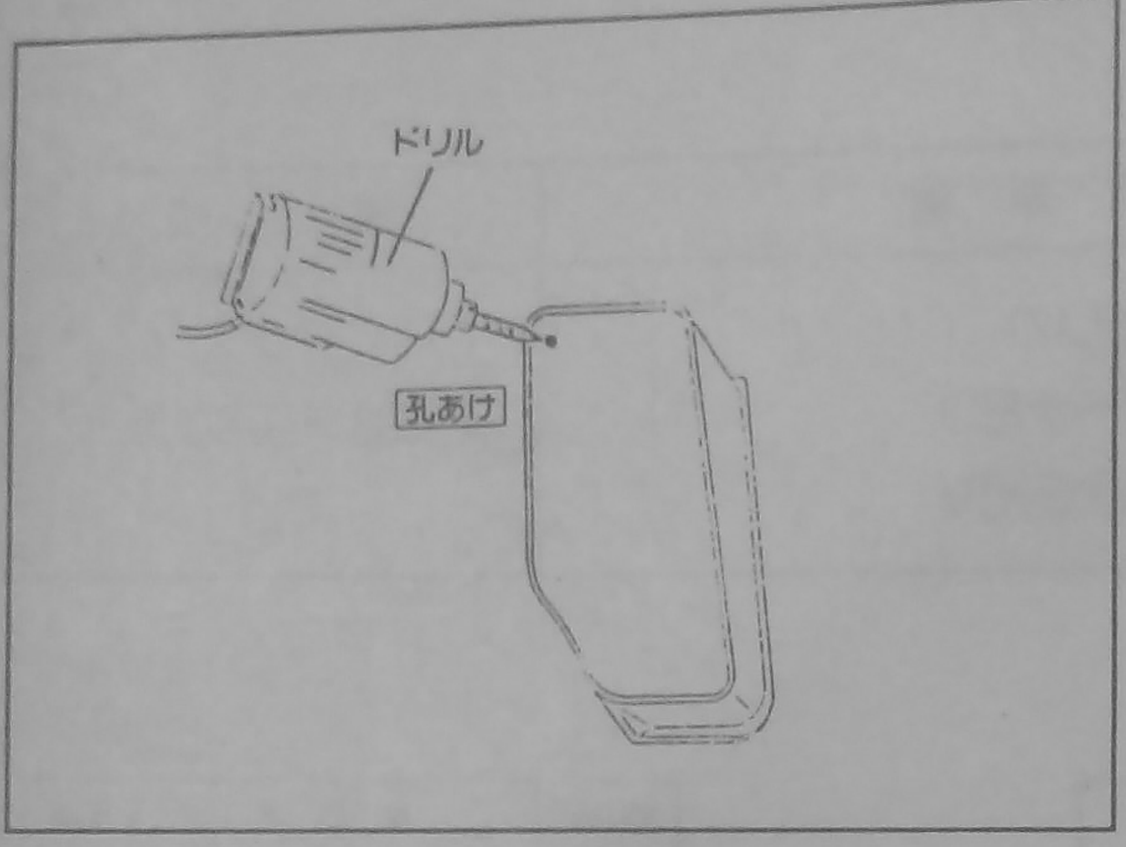


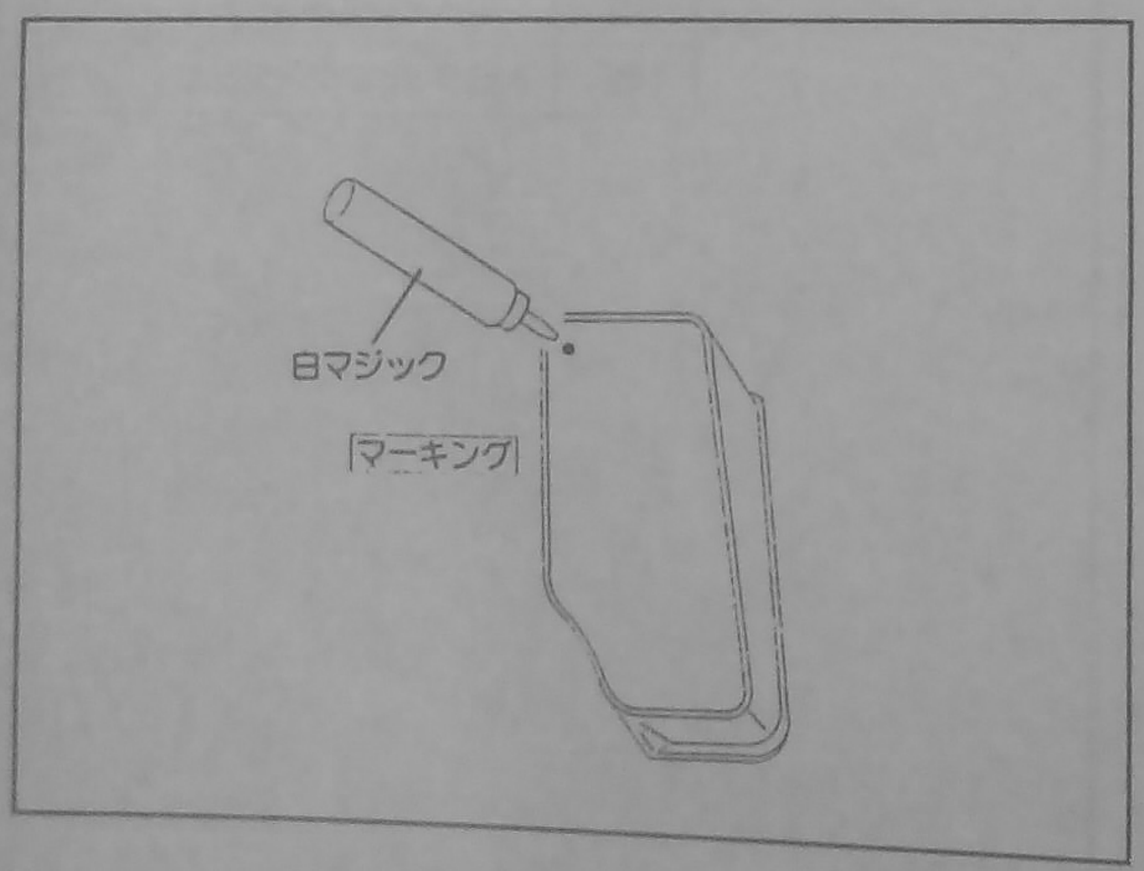
・電動ドリル・ドリル
（φ1.5）

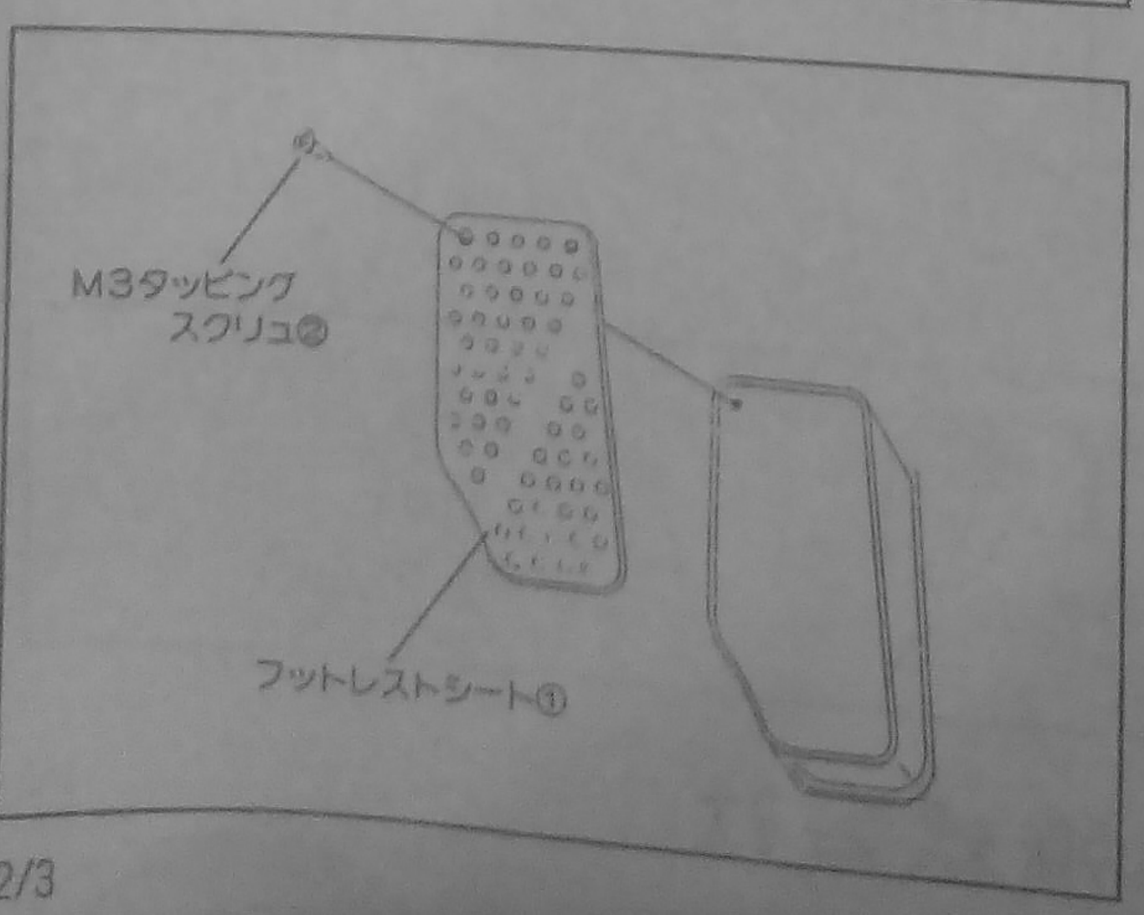
・のり
・ハサミ
・白マジック

取り付け要領









〔1〕フットレストシートの取付け

1. 型紙の貼付

取付要領書の3/3ページにあるフットレスト
を切り取り、のり付けする。
これを図に示したフットレストすべり止め
合わせて貼り付ける。

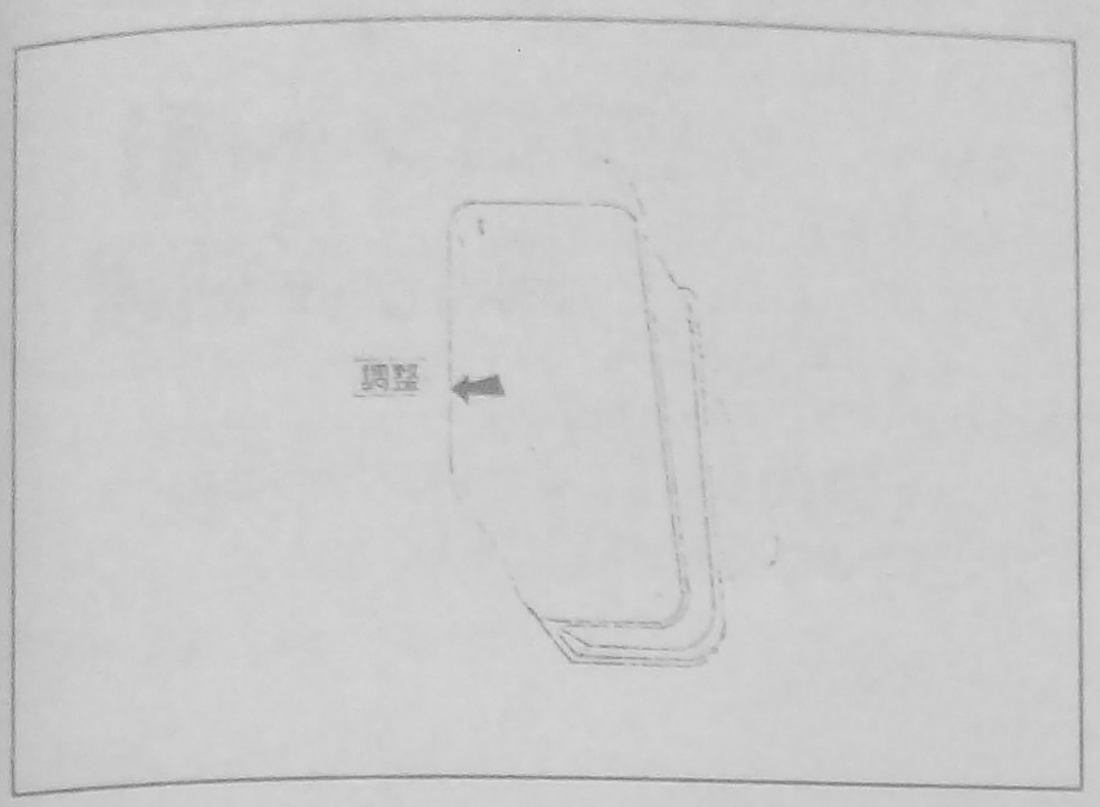
2. 位置決め用下孔あけ

(1)型紙マーキング部にφ1.5ドリルで孔を
紙をはがす。

(2)2−(1)であけた下孔に白マジックでマーキ
る。
（締付け時、あけた孔を見やすくする）

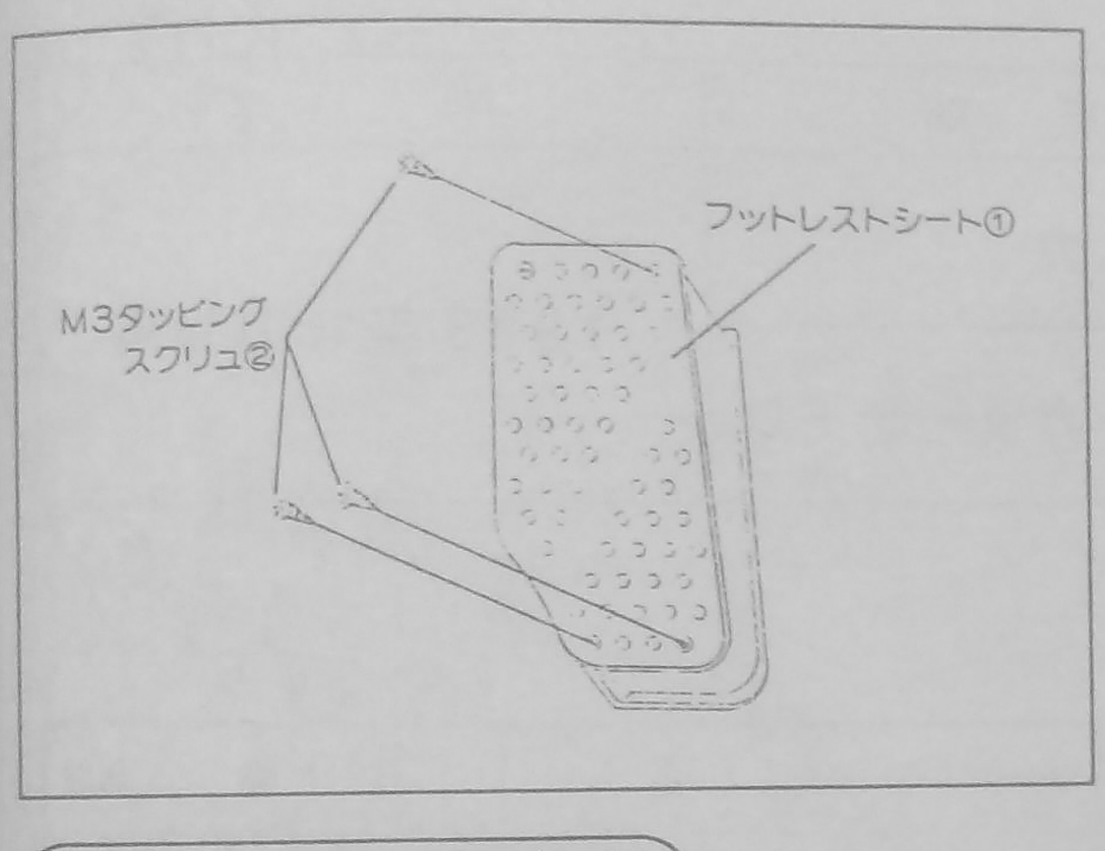
3. フットレストシートの取付け

2.であけた下孔に、フットレストシート①を
うに、M3タッピングスクリュ②で仮締めする



4. フットレストシートの位置決め

3.で取付けたネジを基準にフットレストシート①が車両側フットレスト本体に沿うような位置に調整する。



5. フットレストシートの本取付け

位置決めした位置で、残りの取付孔（3ケ所）にもφ1.5のドリルで孔をあけ、M3タッピングスクリュ②で止め、全てのスクリュを本締めする。

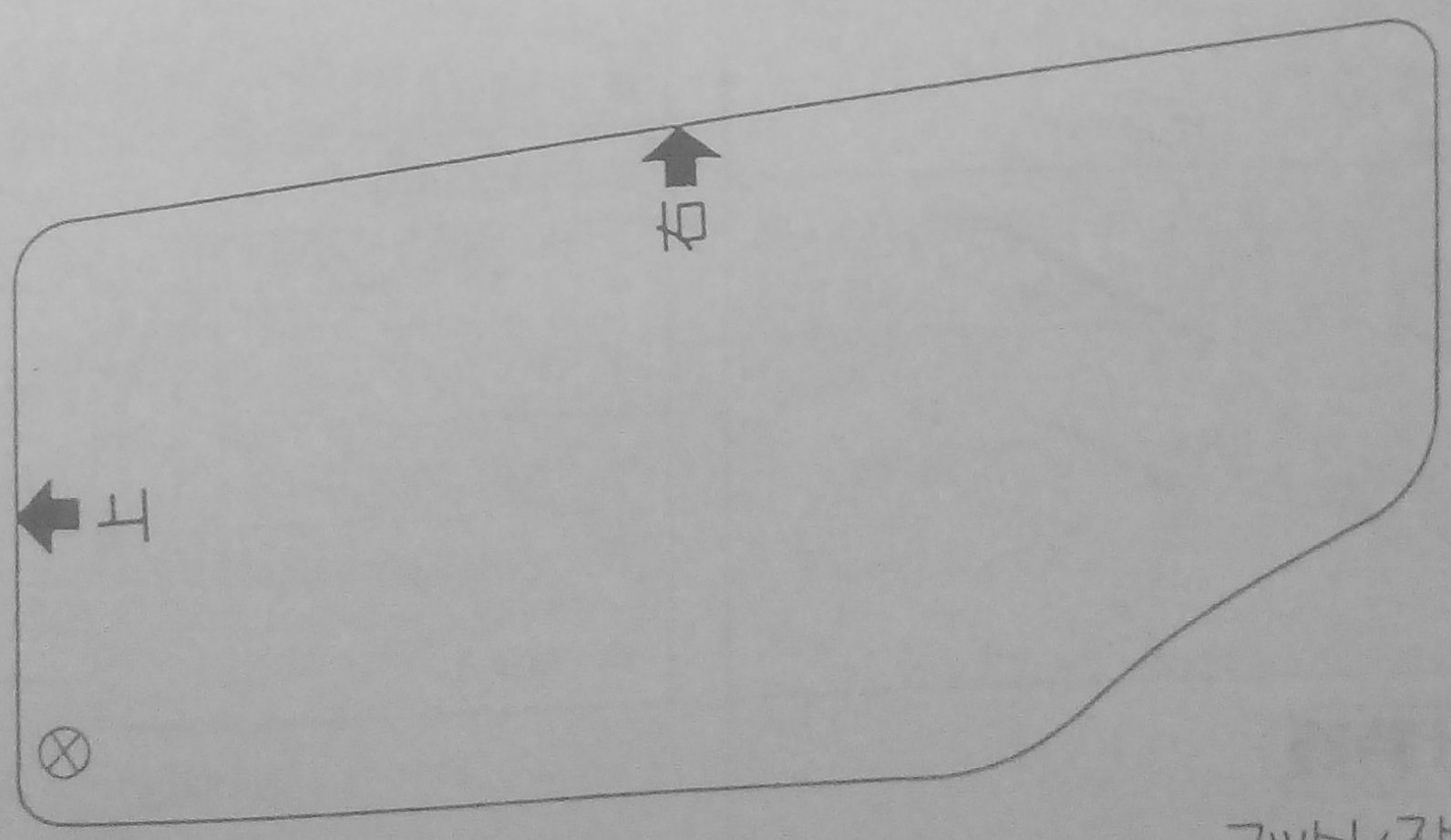
注意

締めすぎによるネジつぶれに注意してください。

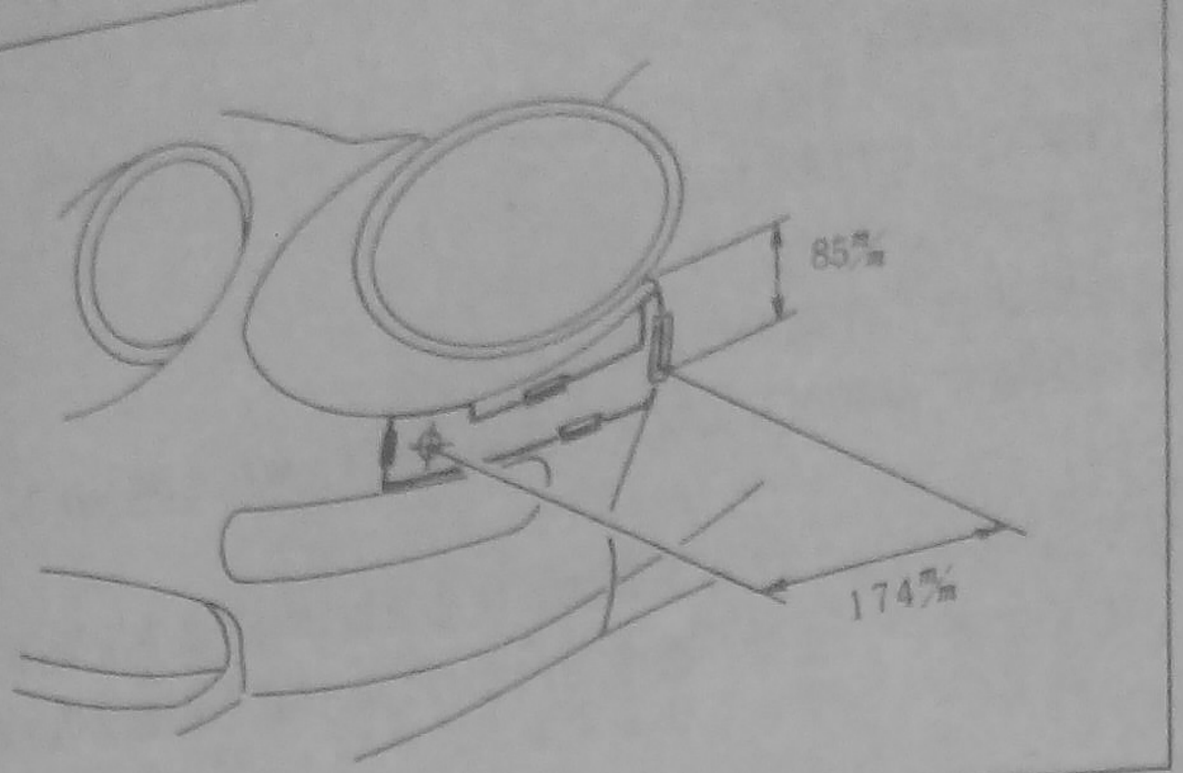
使用上の注意事項

・乗車時には、靴に付着した雪や泥水などをよく落としてください。

・1度取付けたものを、はずして再度取付ける場合は、フットレスト本体を交換してください。



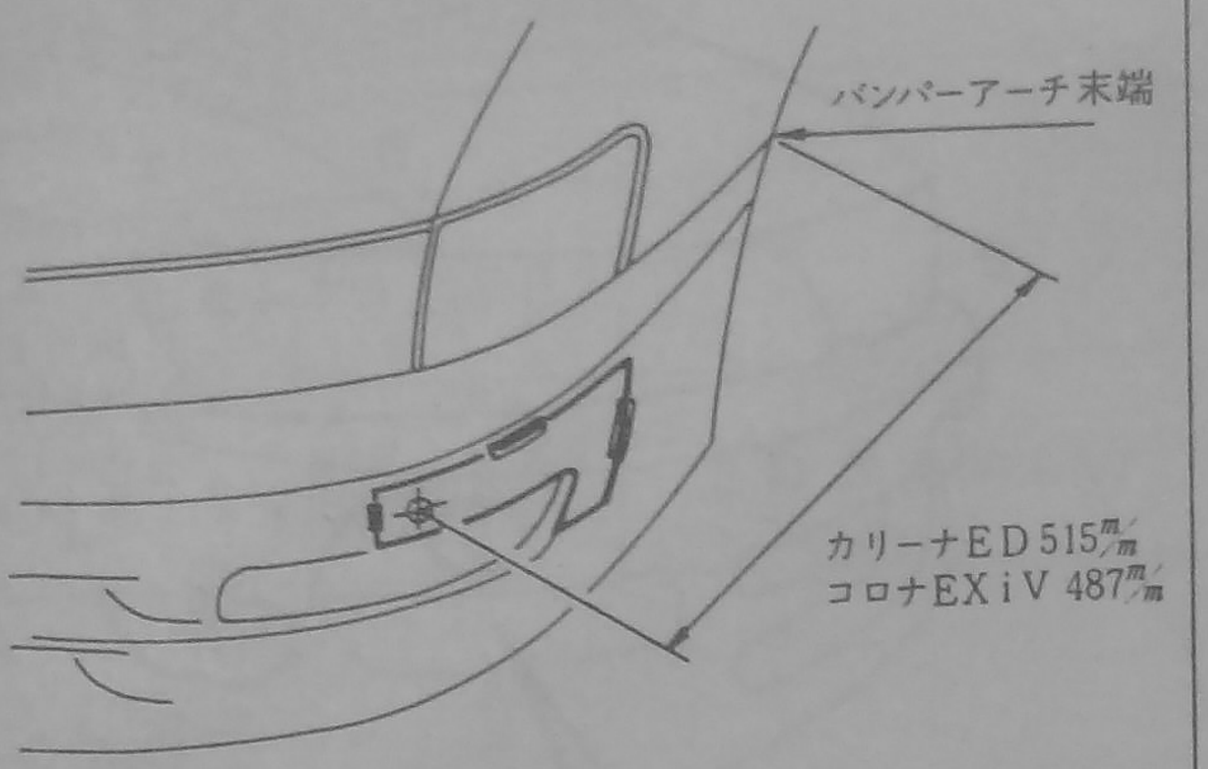
フットレスト用型紙



① 巻末の型紙を切り抜く。
② バンパーアーチとヘッドランプ下端部に型紙
ずれないように接着テープにて固定する。

注意

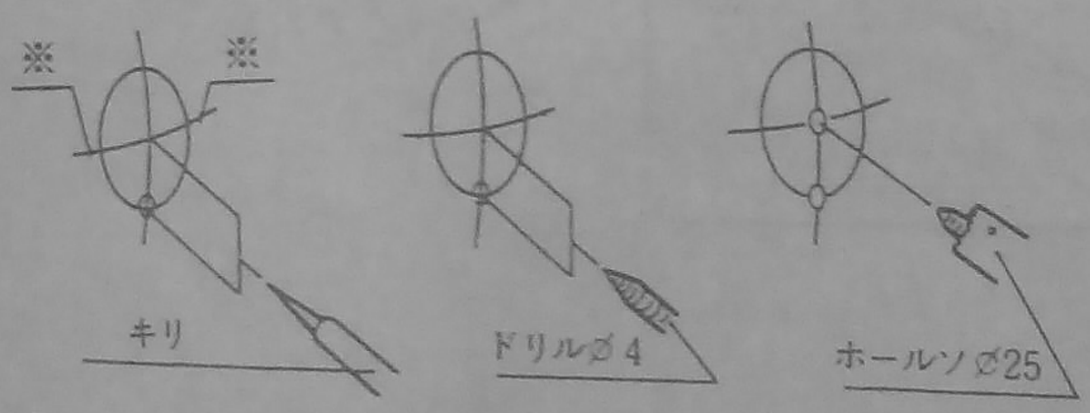
寸法を測る場合はバンパー形状に合わせてコン
スをあてがってください。



<コロナEXiV，カリーナEDの場合>
① 巻末の型紙を切り抜く。
② 左図のようにターンシグナルランプ開口
を合せ，ずれないように接着テープにて

注意

寸法を測る場合はバンパー形状に合わせてコンペ
スをあてがってください。



(3) 穴あけ作業
① ※印位置に2ケ所キリで印を付ける。

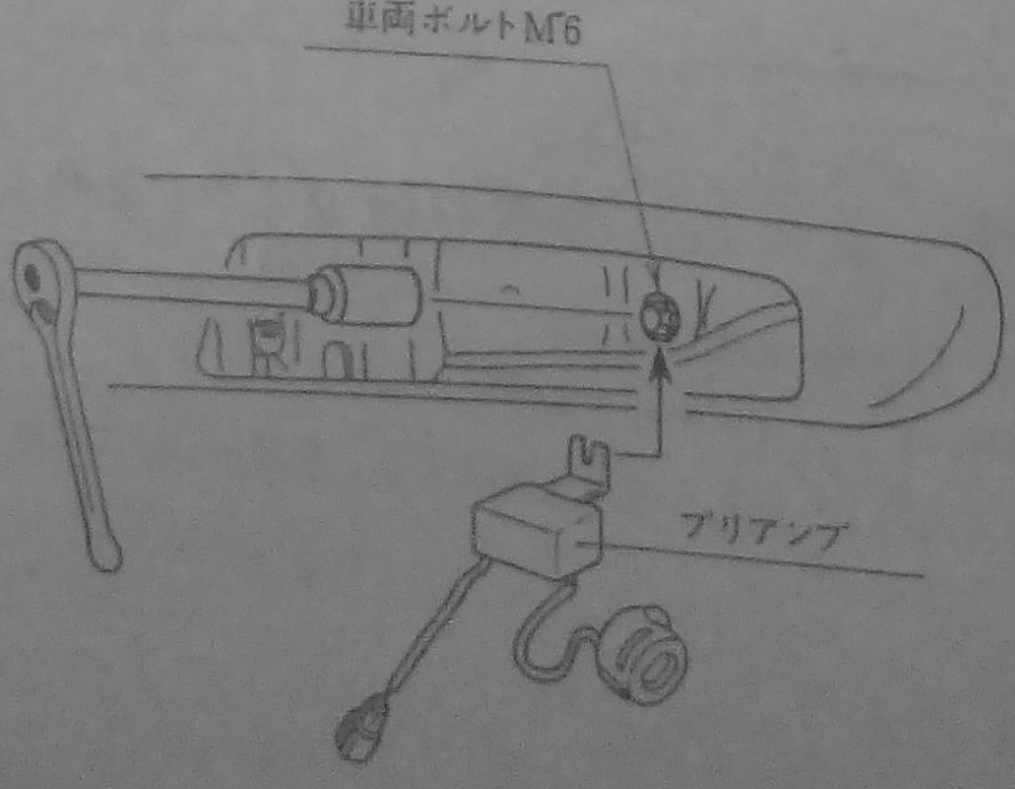
注意

タッピングスクリュ（⊂2）用なので大きな穴を
ないでください。

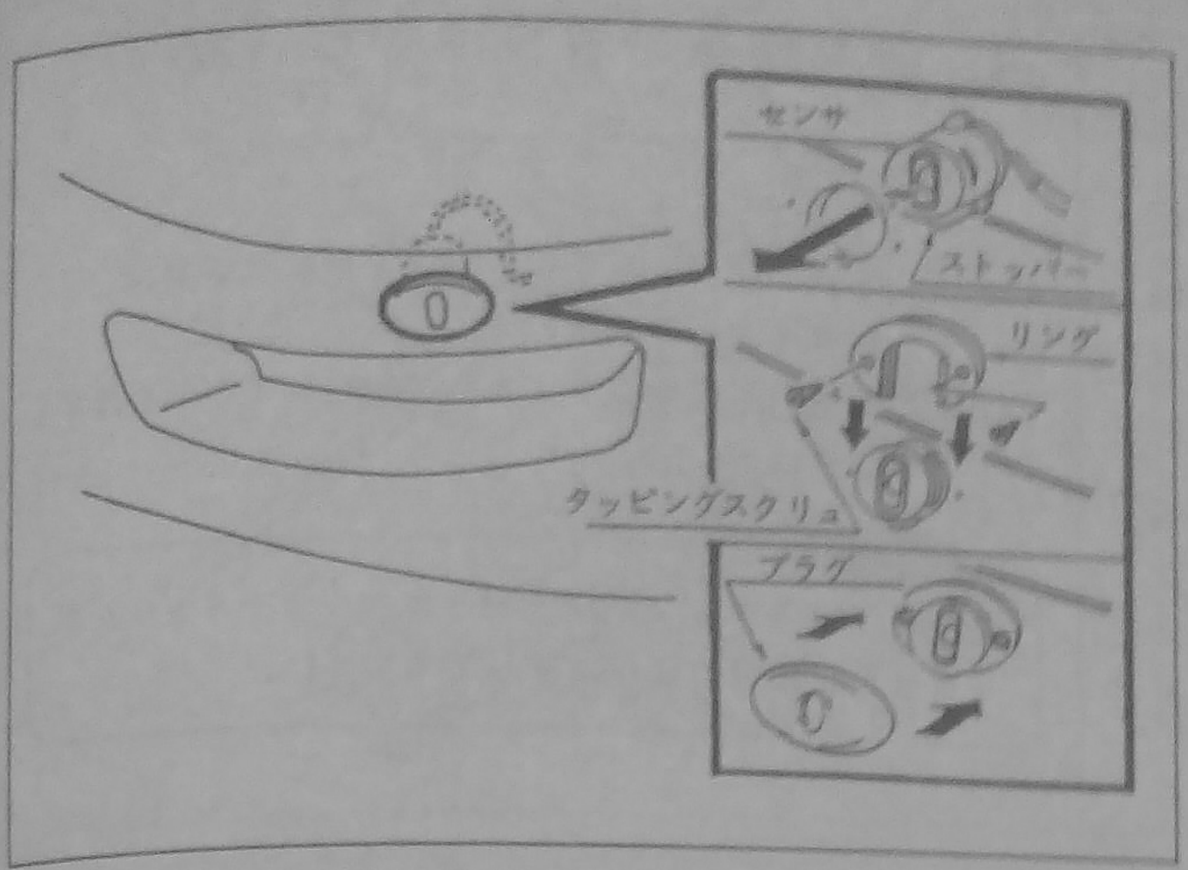
② 左図のようにØ25とØ4の中心にキリで穴を
③ 型紙を取りはずしØ4のドリルで左図のよう
あけた後にØ25のホールソで穴をあける。

注意

① バンパカバーにホールソ⊂25を路面と水平に
がい穴をあけてください。
② セリカの場合アブソーバーがありますので
ソをそのまま貫通させ，センサーが入るよう
ッターでくり抜いてください。



(4) ブリアンプの取り付け
① 左図の位置にあるターンシグナルランプ裏の
ルトをゆるめ，アンプブラケットを共締め

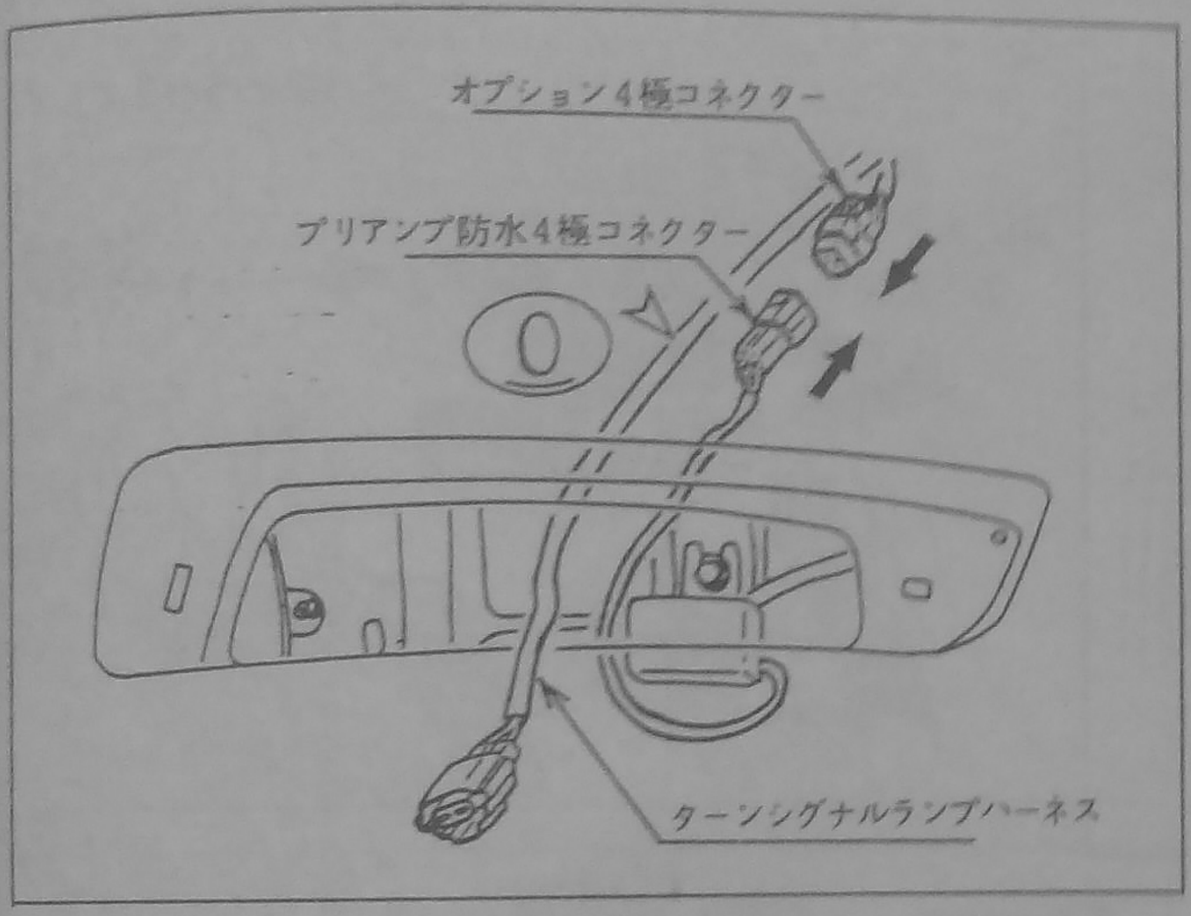


(5) センサーの取り付け

① フロントバンパーカバー裏側よりセンサーのストッパと4の穴が合う位置で入れる。

② リング裏のハクリ紙をはがし，センサーの溝に左図のように差し込みタッピングスクリュ（2×8）でリングを固定する。

③ プラグ裏面の ⇨ を上にしてプラグをリングにはめる。



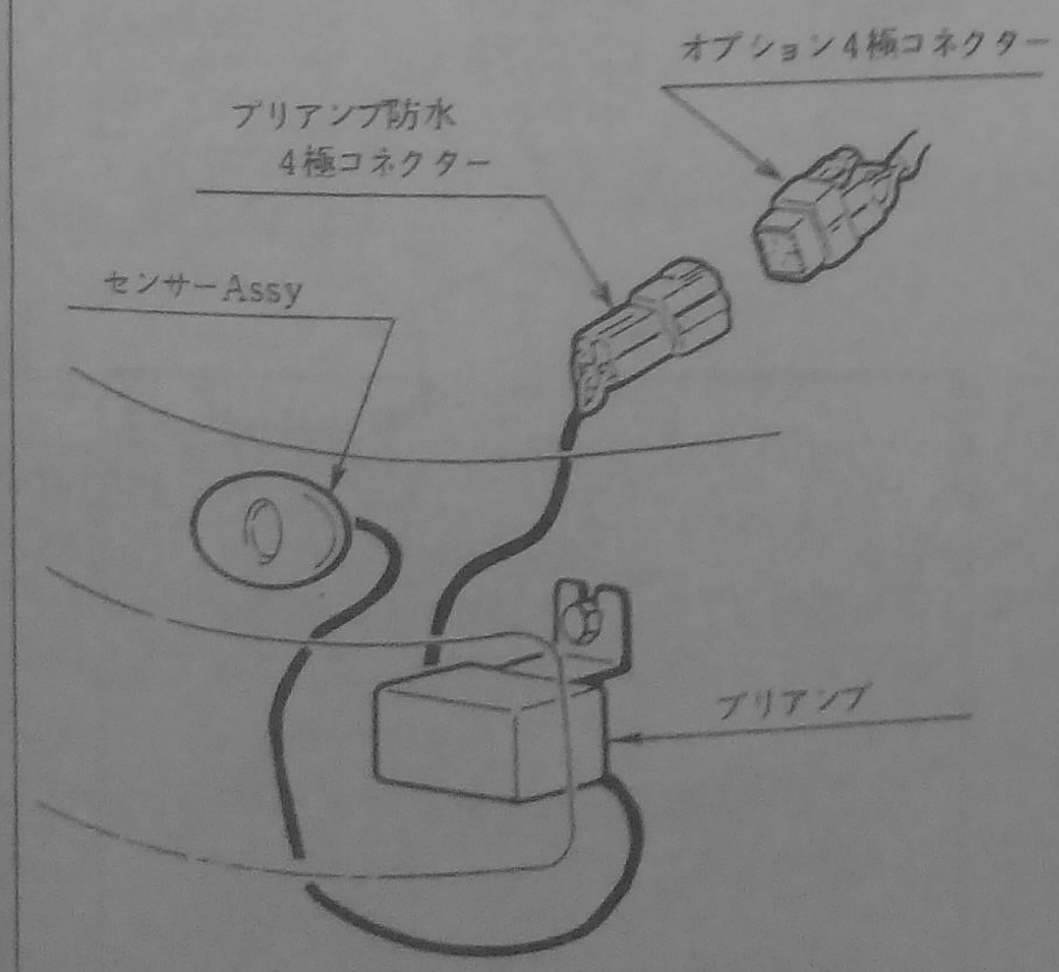
2 配線作業（室外）

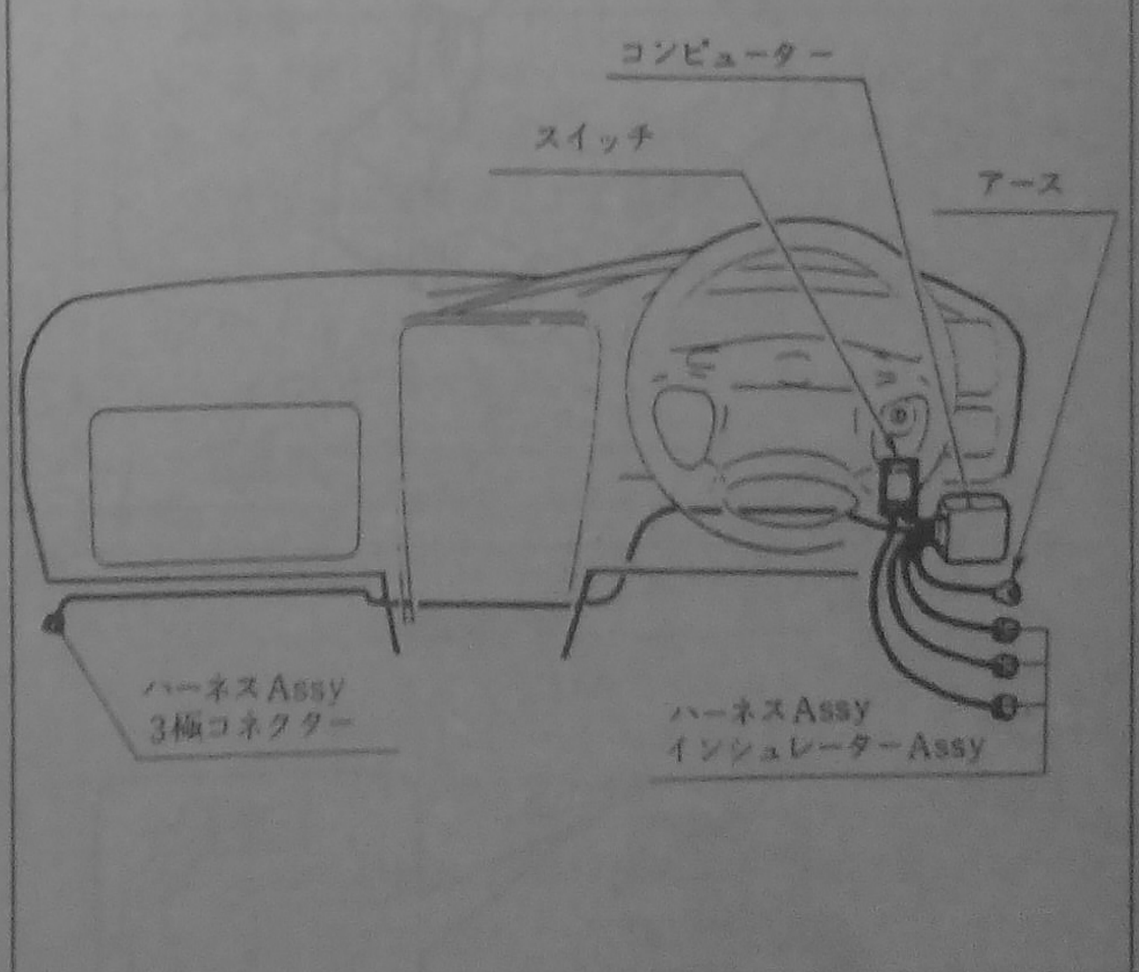
(1) プリアンプとオプションコネクターとの接続

① プリアンプ防水4極コネクターと車両ターンシグナルランプハーネスの付け根にあるオプション4極コネクターを接続する。

② 左図のように車両ハーネスに沿わせてクランプ大（ ⊃ ）にて固定する。

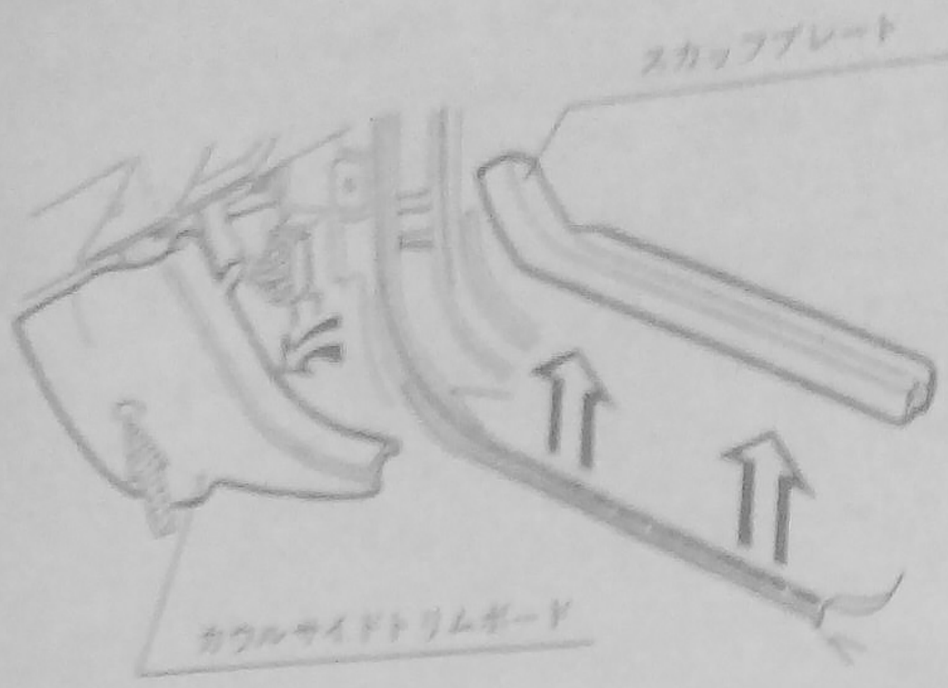
配線系統図





注意

コーナーセンサーハーネスは、車両ハーネスに沿わせて配線し、ハーネスのたれ下がりやかみ込み、すれ合いなどがないように車両ハーネスと一緒にバンドで固定し、プロテクターのある部分は必ずプロテクター内を配線しコネクターは相手側へ確実に差し込んでください。また、車両ハーネスを移動した場合は、必ず元どおりにして、他の部品に接触させないでください。



下記部品を取りはずす。

(1) スカッフプレート

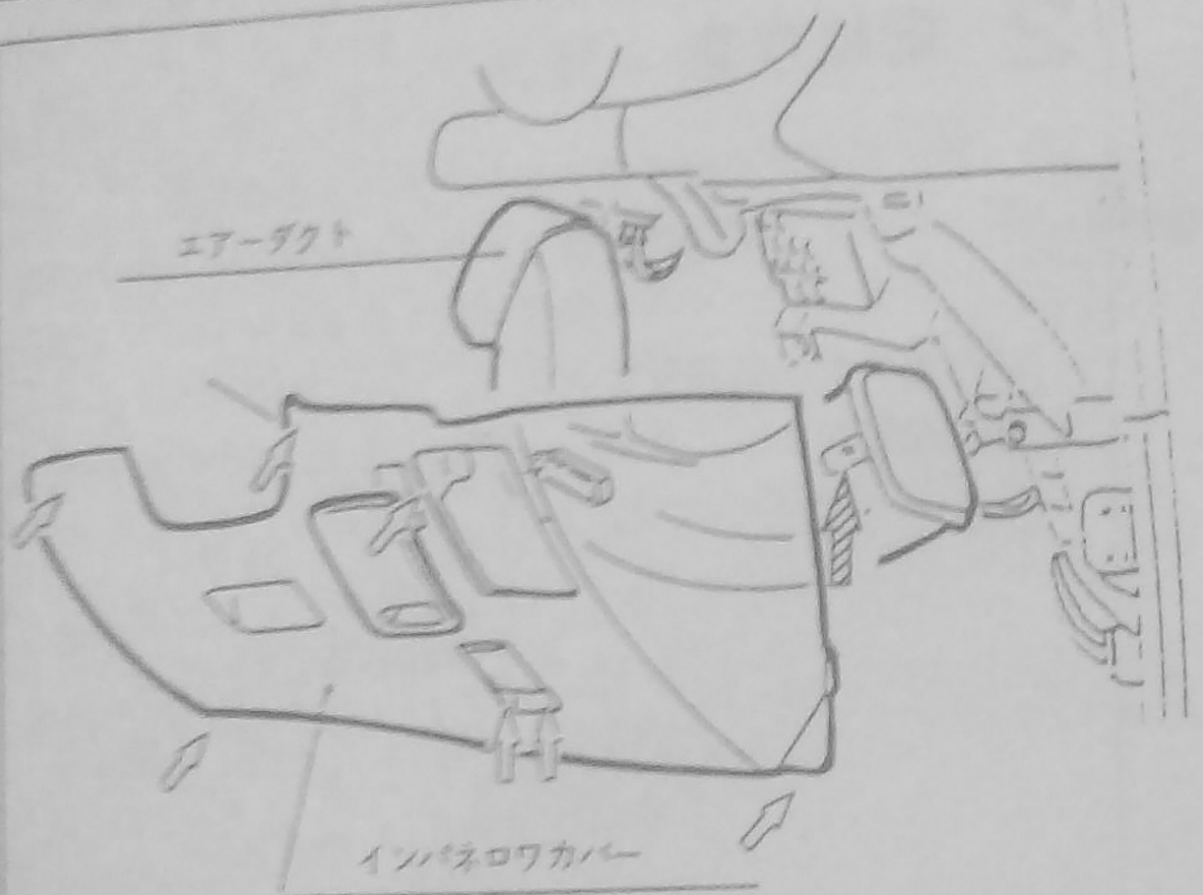
① スカッフプレートを引き上げて取りはずす。

(2) カウルサイドトリムボード

① 左図に示した樹脂ナット（➡）1ヶ所をはずして取りはずす。

注意

助手席側のスカッフプレートとカウルサイドトリムボードも上記要領で取りはずしてください。

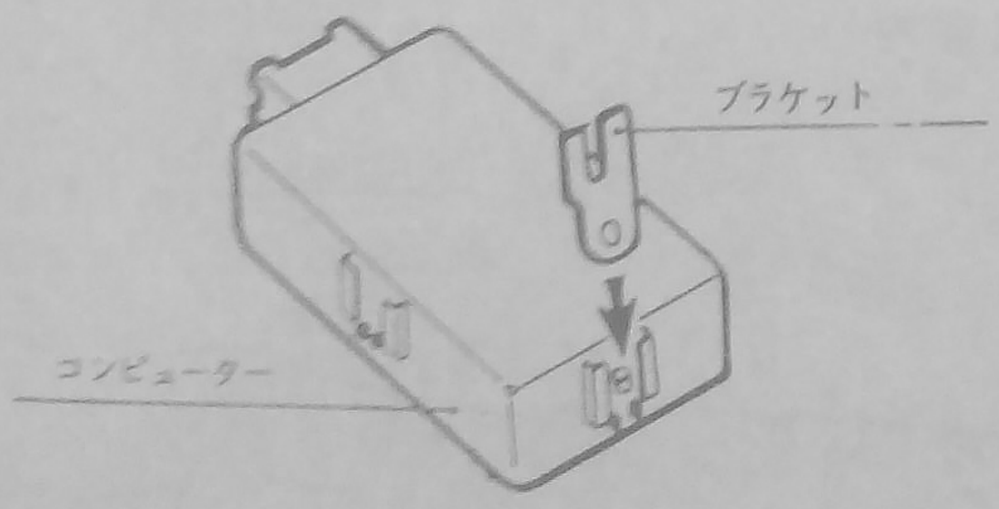


(3) インパネロワカバー

① 左図に示したスクリュ（⇨）1ヶ所をはずして取りはずす。

(4) エアーダクト

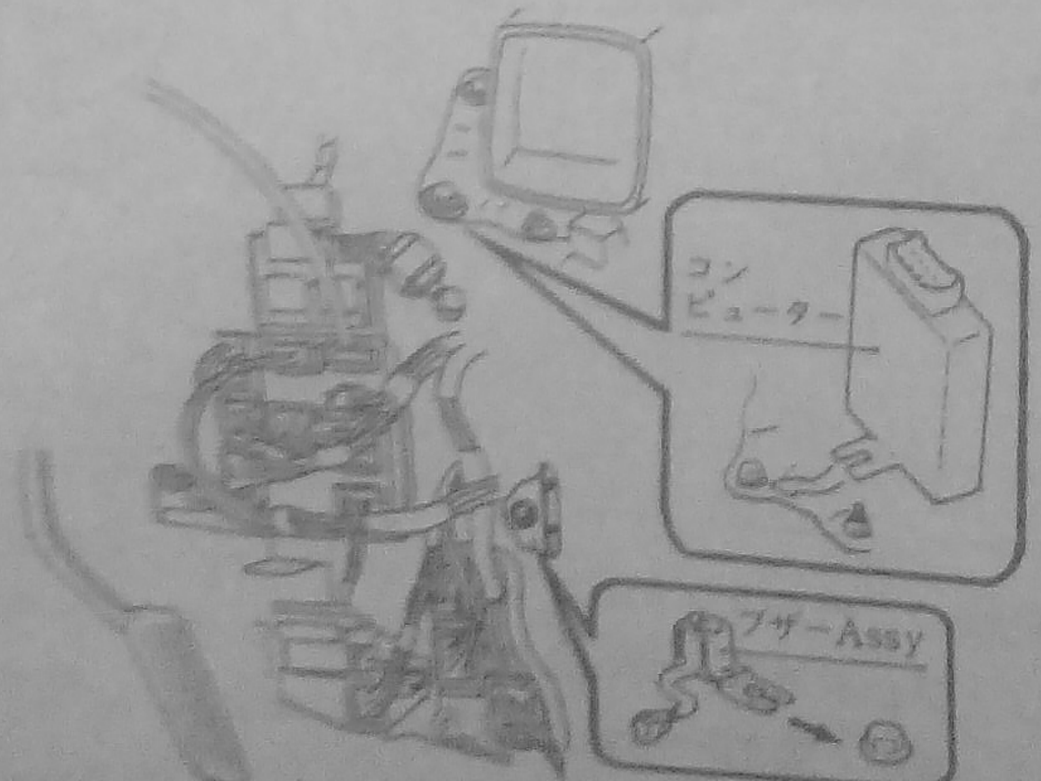
① 左図に示した樹脂クリップ（▰）1ヶ所をはずして取りはずす。



4 配線作業（室内）

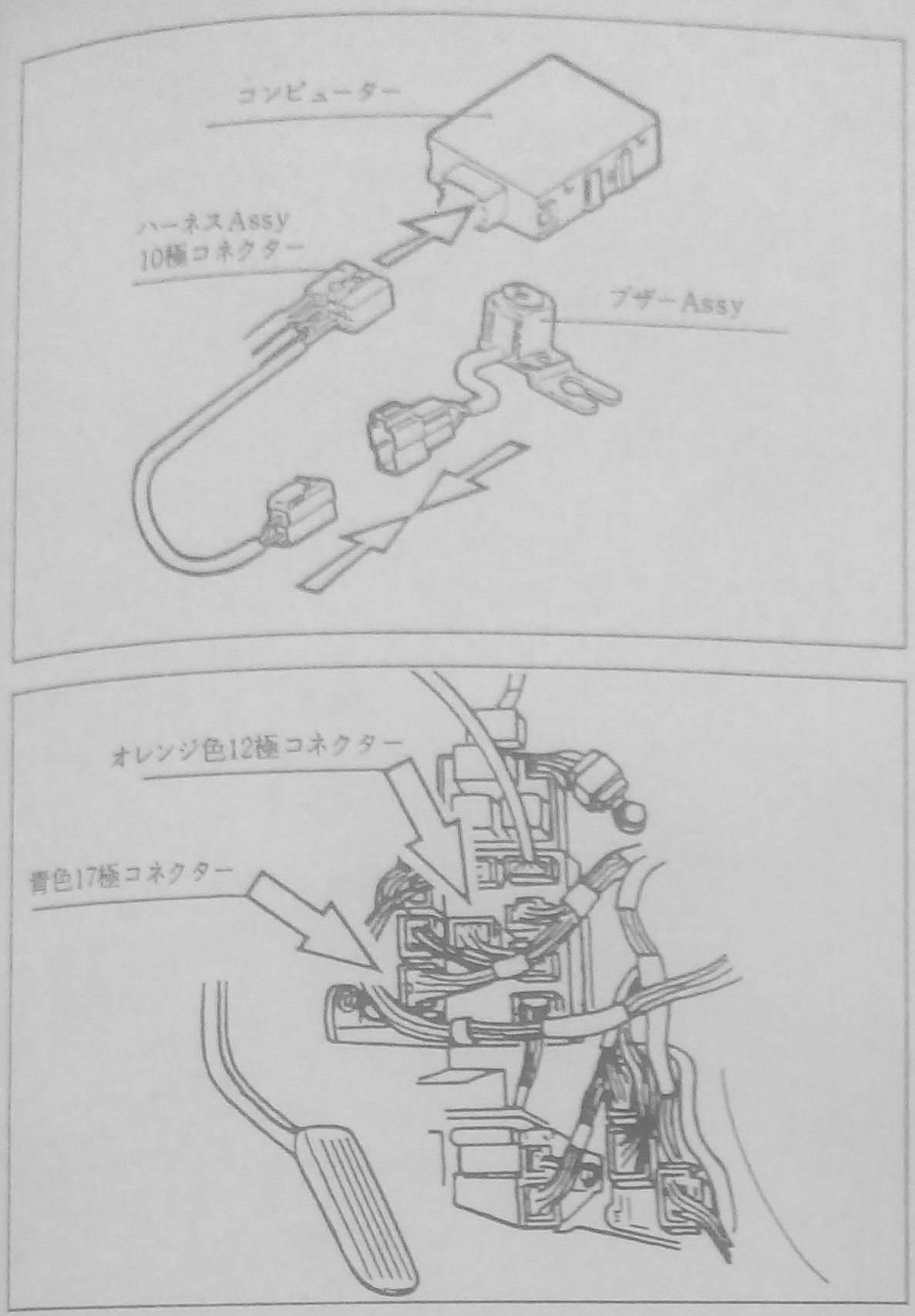
(1) コンピューターとブザーの取り付け

① コンピューターに左図のようにブラケットを組む。



② 運転席側 J/B 上、左図の位置にあるエアーダクト横にあるボルトをゆるめ、コンピューターを仮締めする。

③ J/B 右の左図の位置にあるボルトにブザーAssy を共締めする。



④ ハーネス Assy の10極コネクターをコンピューターに接続する。

⑤ ブザー Assy の2極コネクターとハーネス Assy の2極コネクターを接続する。

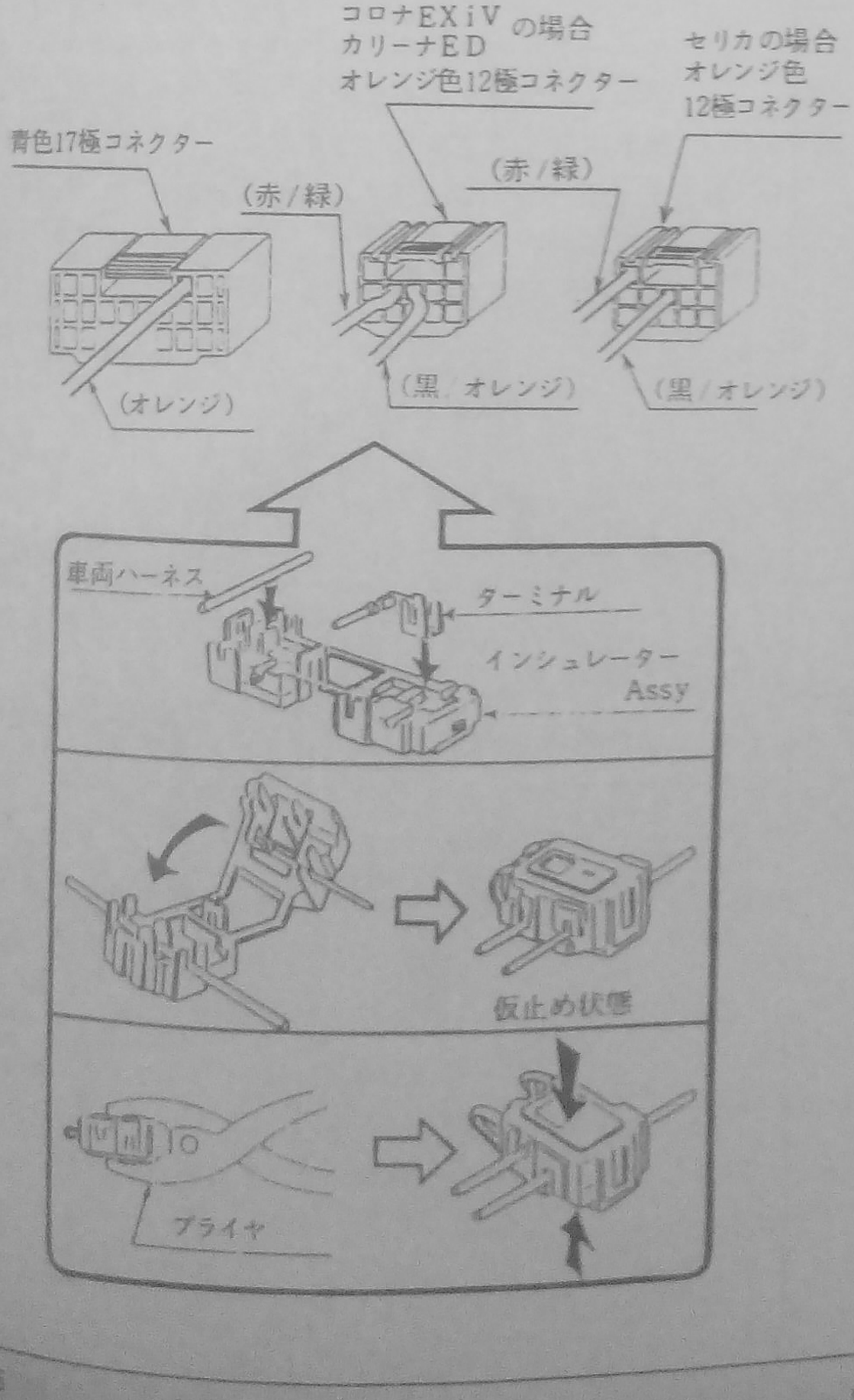
⑵ インシュレーターAssy による結線

① 左図の矢印（ ⋗ ）のところにあるオレンジ色12極コネクターと青色17極コネクターをはずす。

② 青色17極コネクターをハーネス側から見た場合，左図の位置にあるオレンジ色ハーネスにオレンジ色ハーネスのインシュレーターAssy をセットする。

③ オレンジ色12極コネクターをハーネス側から見た場合，左図の位置にある黒/オレンジ色ハーネスに黒/オレンジ色ハーネスのインシュレーター Assy をセットする。

④ オレンジ色12極コネクターをハーネス側から見た場合，左図の位置にある赤/緑色ハーネスに赤/緑色ハーネスのインシュレーターAssy をセットする。



注意

① 必ず同じ色同士のハーネスをセットしてください。

② セリカとコロナEXiV，カリーナEDとでは④の取り出し位置が違うので注意してください。

⑤ インシュレーター Assy を左図のように折り返し仮止めの状態にする。

注意

仮止めロックは片側にしか付いていない為，本止めのロックが上下合わさる所で止めてください。

⑥ プライヤ等で左図のようにロックがかかるまではさみ込む。

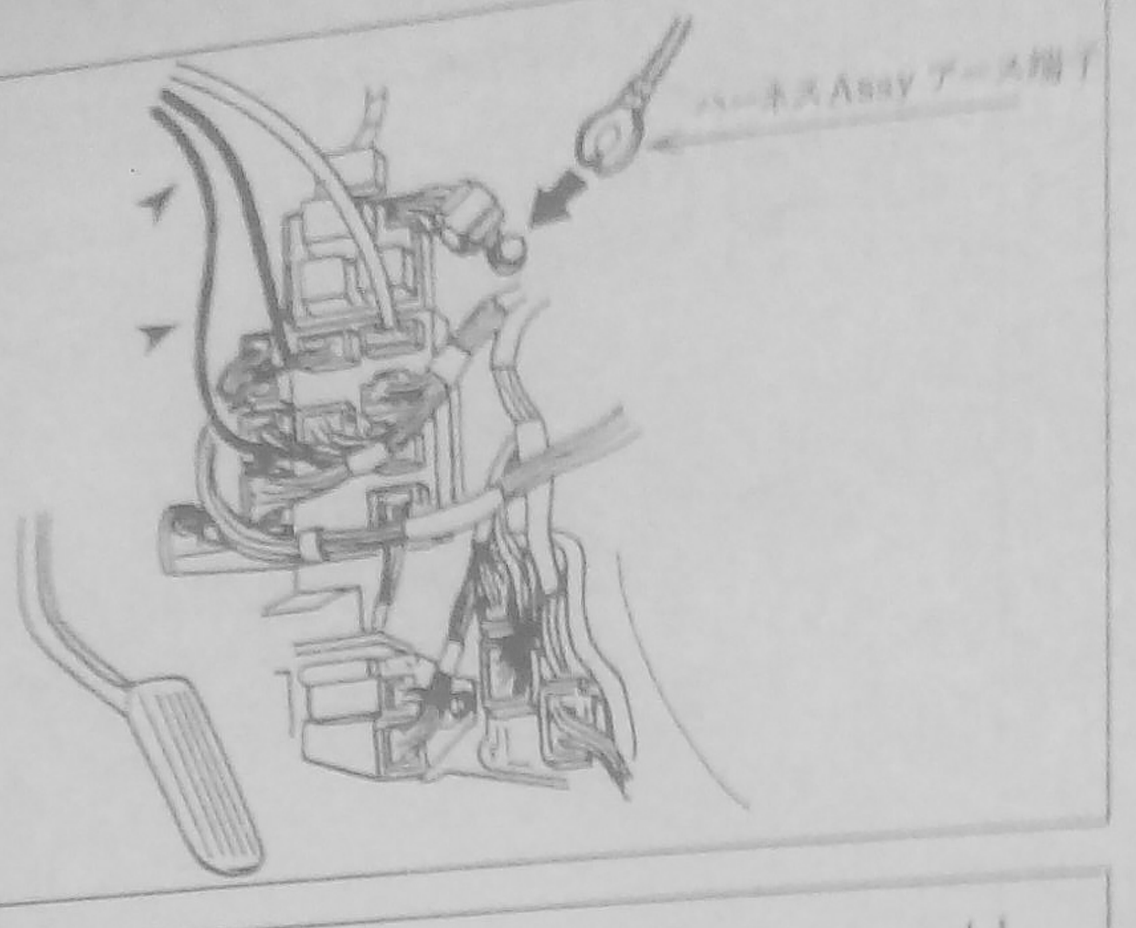
注意

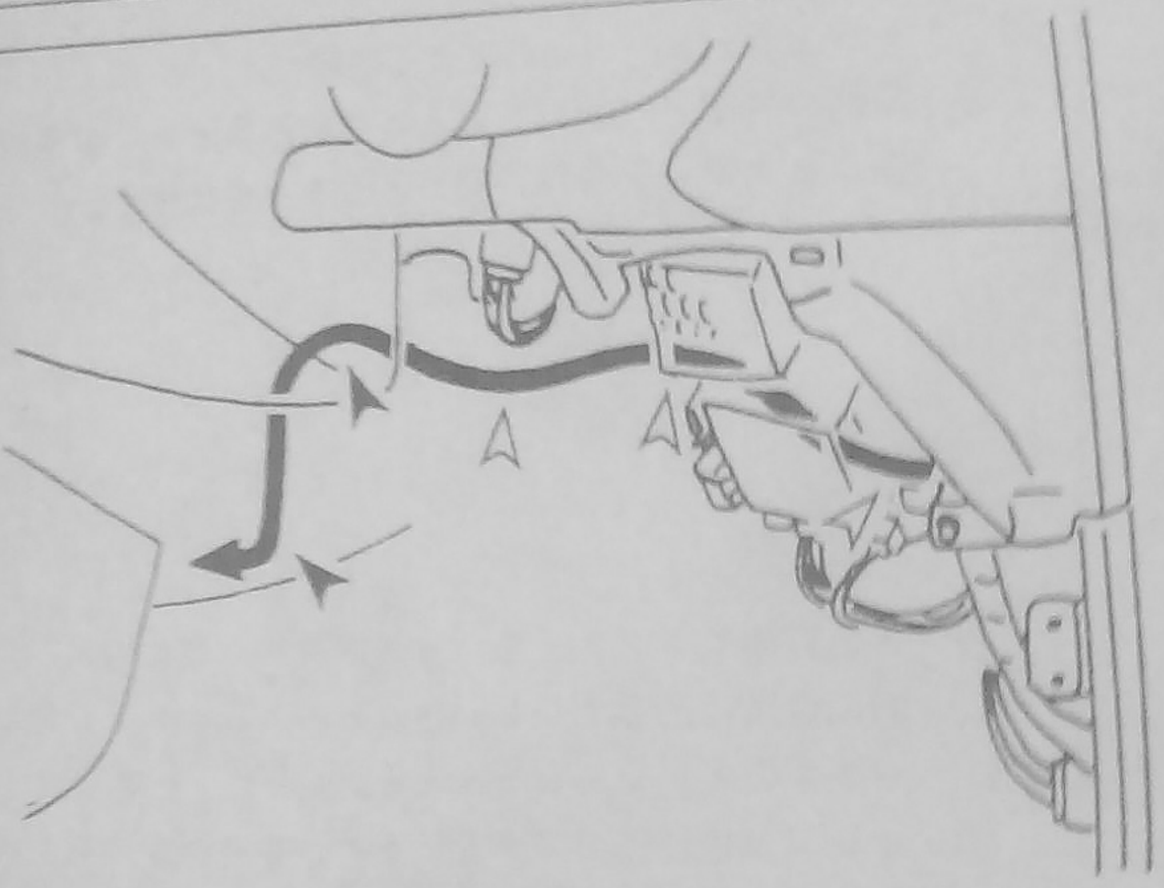
① ヒンジが折れた場合でも性能に影響がない為，使用してください。

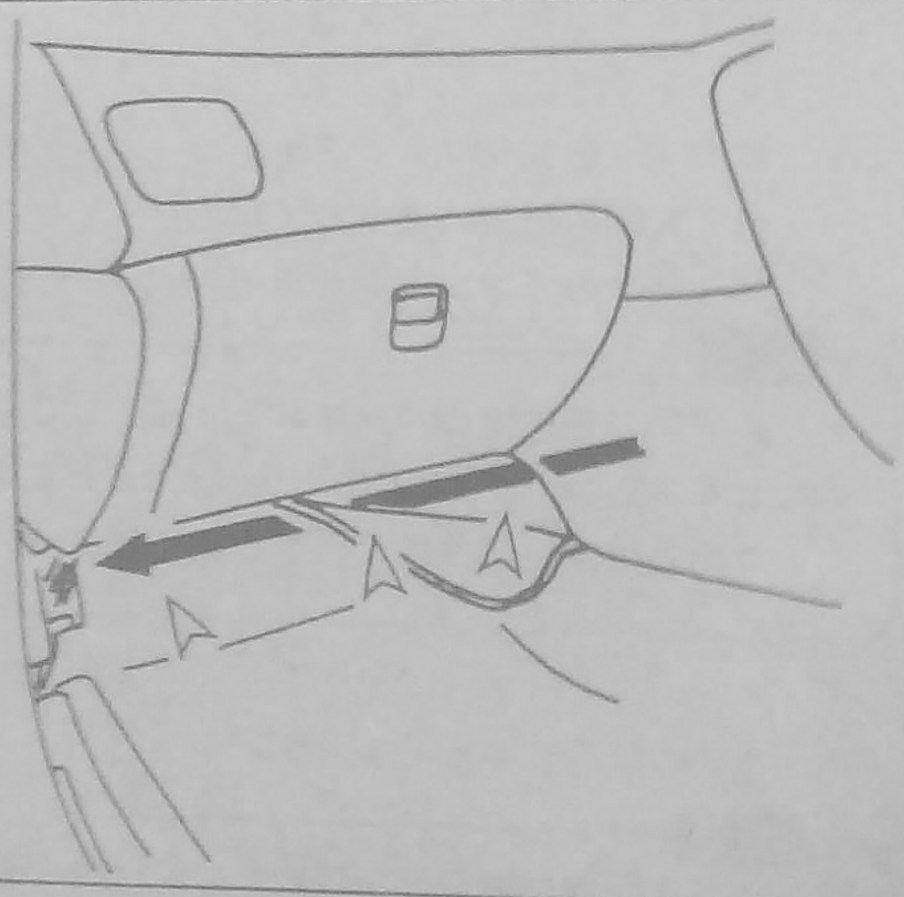
② 一度使用したものは再使用しないでください。

③ 取りはずす場合はインシュレーター Assy を付けたまま用品側ハーネスを30mm残して切りはなし，テープ等で絶縁してください。

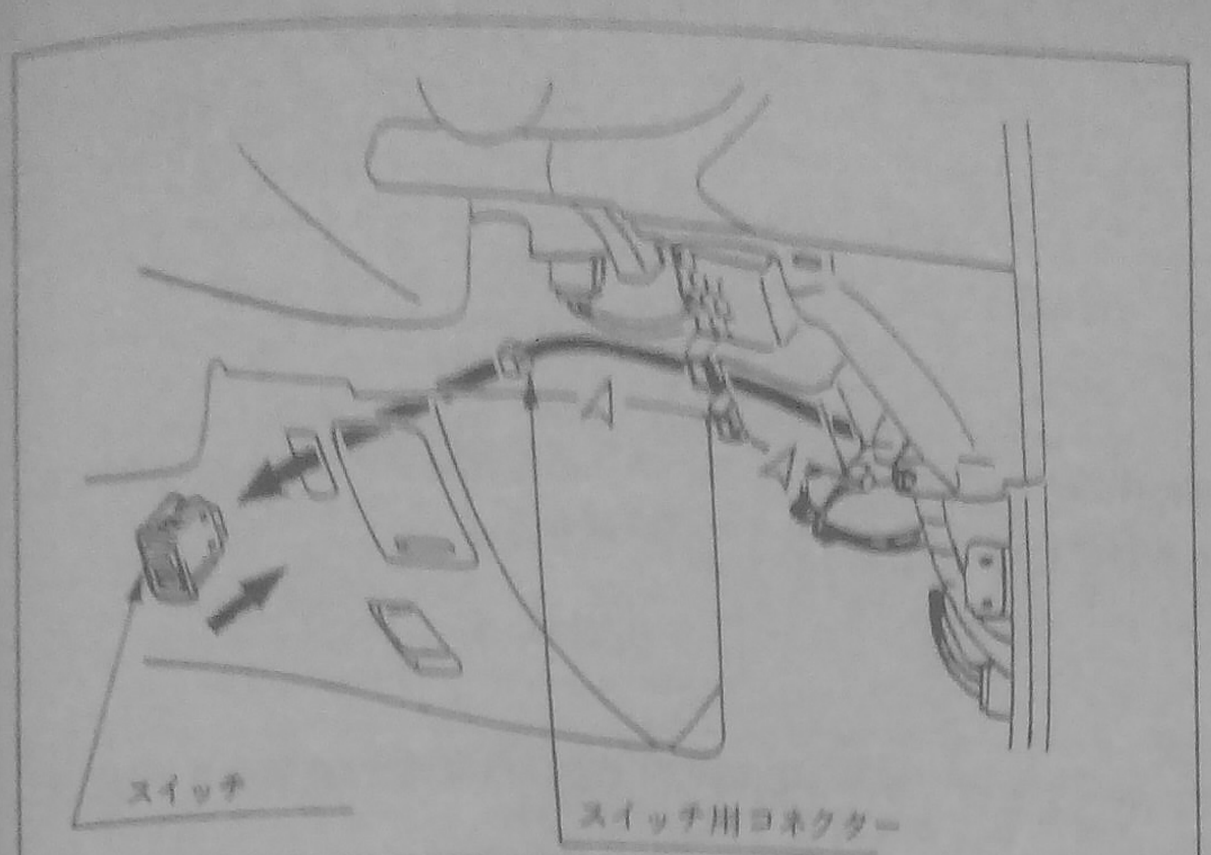
⑦ インシュレーター Assy をビニールテープにてテーピングする。


ハーネスAssy アース端子





オプション
3極コネクター
ハーネスAssy 3極コネクター



5 スイッチの取り付け

(1) 右側のスペアホールに取り付ける。

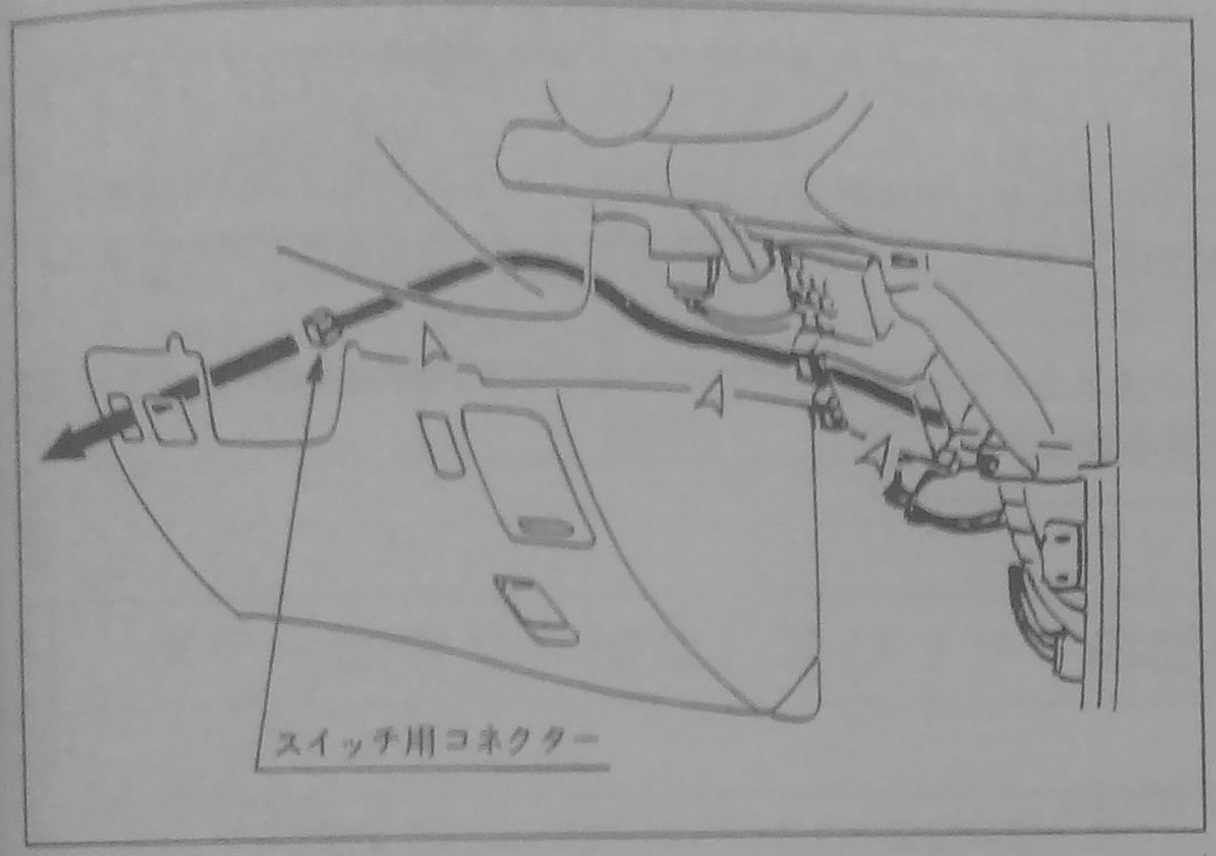
① エアーダクトを復元する。

② 左図のように車両ハーネスに沿わせてクランプ大（ ⊃ ）にて固定する。

③ スペアホールからハーネス Assy のスイッチ用コネクタを出しながら，インパネロワカバーを復元する。

④ スイッチとハーネス Assy のスイッチ用コネクターを接続する。

⑤ スイッチをスペアホールに収める。

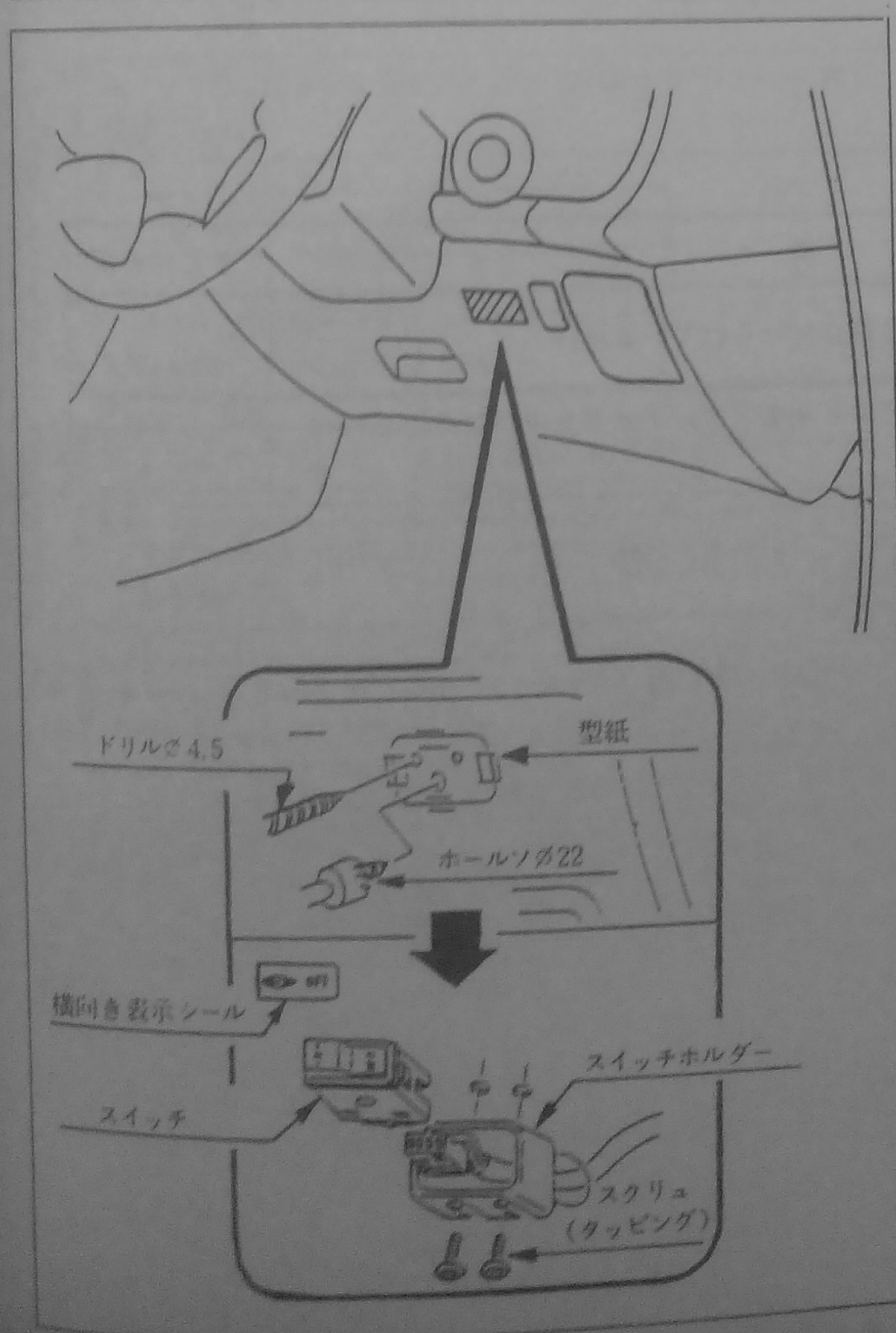


(2) 右側のスペアホールが塞がっている場合は左側のスペアアホールに取り付ける。

① エアーダクトを復元する。

② 左図のように車両ハーネスに沿わせてクランプ大（ ⊃ ）にて固定する。

③ 5 -(1)-③，④，⑤と同じ要領で作業する。



(3) すべてのスイッチスペアホールが塞がっている場合は別売のスイッチホルダー（08595-00290）を使用する。

① インパネロワカバーの左図斜線部分に型紙を貼り中心をキリにてマーキングする。

② 型紙をはずし，ドリルφ4.5とホールソφ22で穴を開ける。

③ スイッチ用コネクターをφ22の穴より出しスイッチホルダーに通す。

④ スイッチホルダーをスクリュ（タッピング）5×20にて固定する。

⑤ スイッチをスイッチホルダーに取り付ける。

⑥ 横向き表示シールを貼る。

取り付け完了後の点検

1　取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。
(2) 特に車両ハーネス及びコーナーセンサーハーネスを無理に押したり，引っ張ったり，かみ込んだりしていないか点検すること。また，クランプおよびバンドのはずれや部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2　作　動　確　認

バッテリーの⊖端子を取り付け，エンジンを始動した状態で，コーナーセンサーが別冊の「取扱書」の操作要領通りに作動するか確認する。

(1) スイッチをＯＮにした時，システムが正常であることを示す，ピーという連続音を確認する。
(2) スイッチをＯＮにした時，全くブザー音が聞こえない場合は，システムの電源系統のハーネスが接続不良となっているとが考えられるので，再度接続状態を確認する。
(3) 一人で点検する場合は，平坦地で車止めを使用し，パーキングブレーキは解除，ＡＴ車はＰレンジでエンジンを停止しイグニッションキーはＯＮの状態で車両の窓を開け，感知エリア内に立ったり，手を感知エリア内に入れてブザー音により感知機能が正常であることを確認する。
(4) 感知範囲内に障害物がないにもかかわらずブザーが感知の表示をする場合は，バンパーなどの車両部品を感知しているとがあるので，センサーAssy や車両部品の取り付け状態を調整する。

復元作業

「作動確認」完了後，取りはずした部品を元通りに取り付ける。

最終確認

	確　　認　　項　　目	チェック欄
1	取り付けに際して，取りはずした部品は元通り取り付けられているか。	
	ヘッドランプ，ターンシグナルランプ，クリアランスランプ，フォグランプは点灯及び作動するか。	

トラブルシュート

1 スイッチを入れても全く作動しない

エンジンを始動する（イグニッションスイッチONのみでは不可）

↓

パーキングブレーキを解除する

↓

コンピューターに接続したハーネスの10極コネクターを外しサーキットテスターにて図1の端子位置をチェックする（テスター棒の㊀側をボディーアースのこと）

↓

ブザーを外し，ブザーの2極コネクターに12Vを図2のように接続し連続に鳴るか

↓NO → ブザー不良

↓

各ハーネスの接続は間違いないか（特にギボシの線色に注意）

↓YES → コンピューター不良

図1

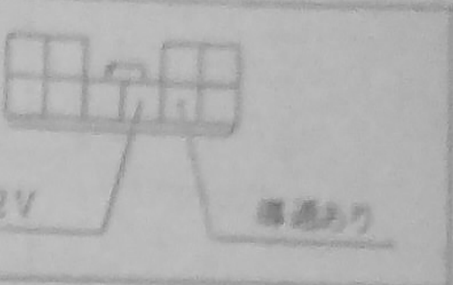
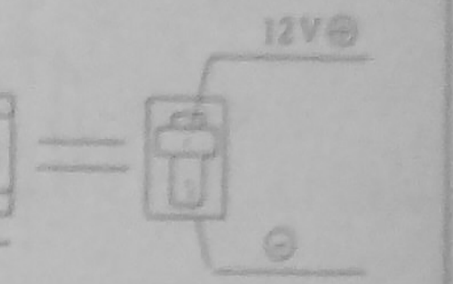


図2



2 ブザーの鳴りっぱなし及びブザーの断続音

センサーを取り付けるためのバンパー穴あけ位置は型紙通りか → NO → センサー取り付け不良

↓

センサーは，図3のように上下を正しい向きでバンパーに取り付けてあるか → NO → センサー取り付け不良

↓

センサーは，下向きに取り付いていないか → NO → センサー取り付け不良

↓

リングは，図4のように正しい向きからセンサーに取り付けてあるか → NO → リング取り付け不良

↓

プラグはリングにしっかりとはめてあるか → NO → プラグ取り付け不良

↓

プラグのセンサー用開口部とセンサーの黒いゴムは正しくはめてあるか → NO → センサー取り付け不良

↓

センサー後部からのコード（シールド線）は，引っぱられたり突っぱったりしていないか → NO → センサー取り付け不良

↓YES

センサー不良

図3

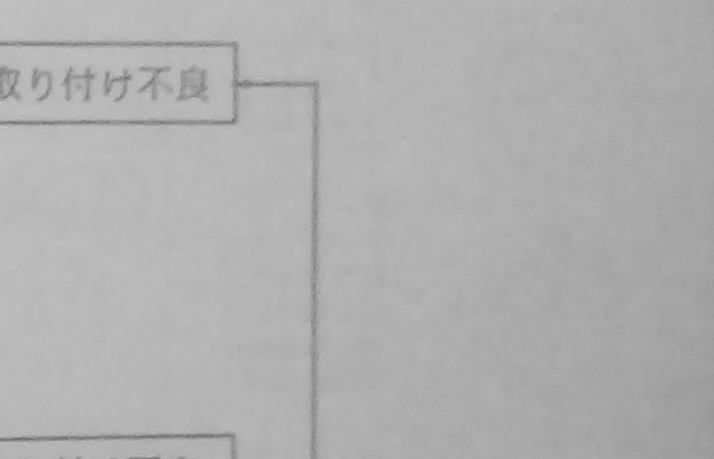
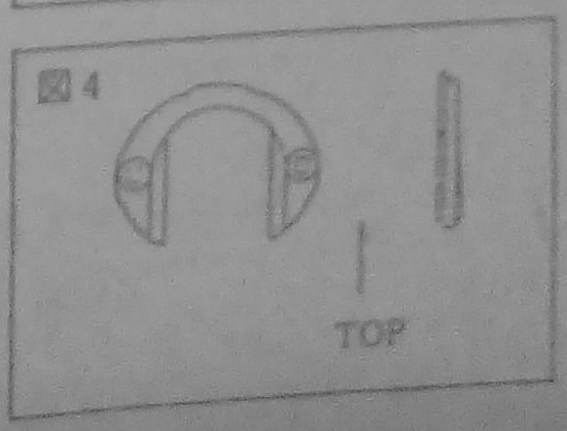
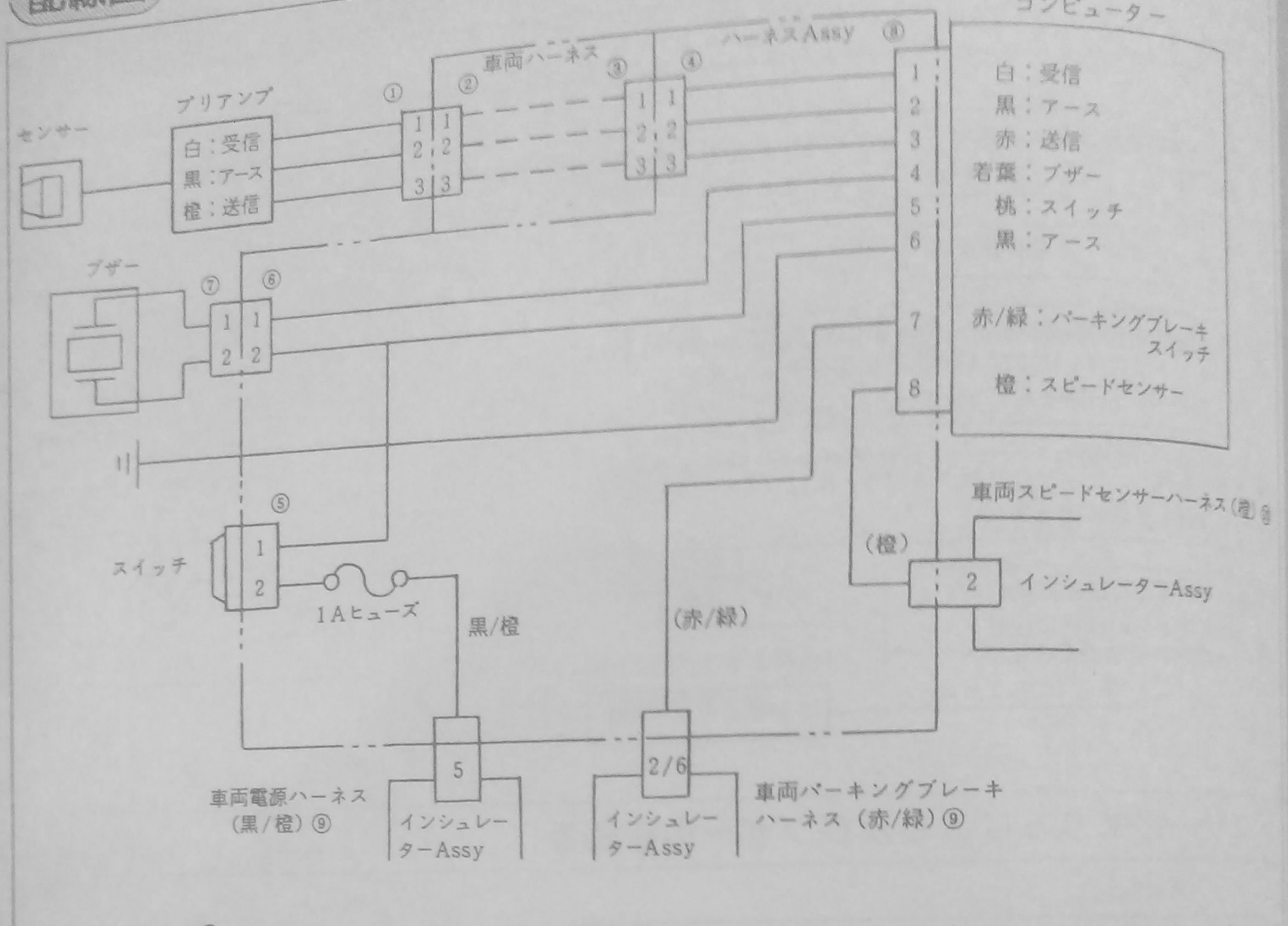
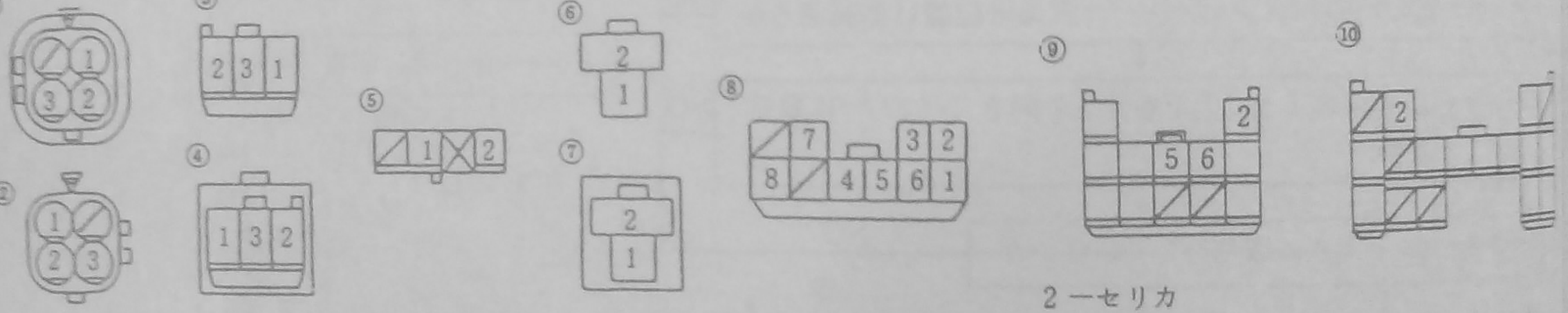


図4



配線図





※ 上記コネクター略図はコネクター接続側を示しています。

仕様

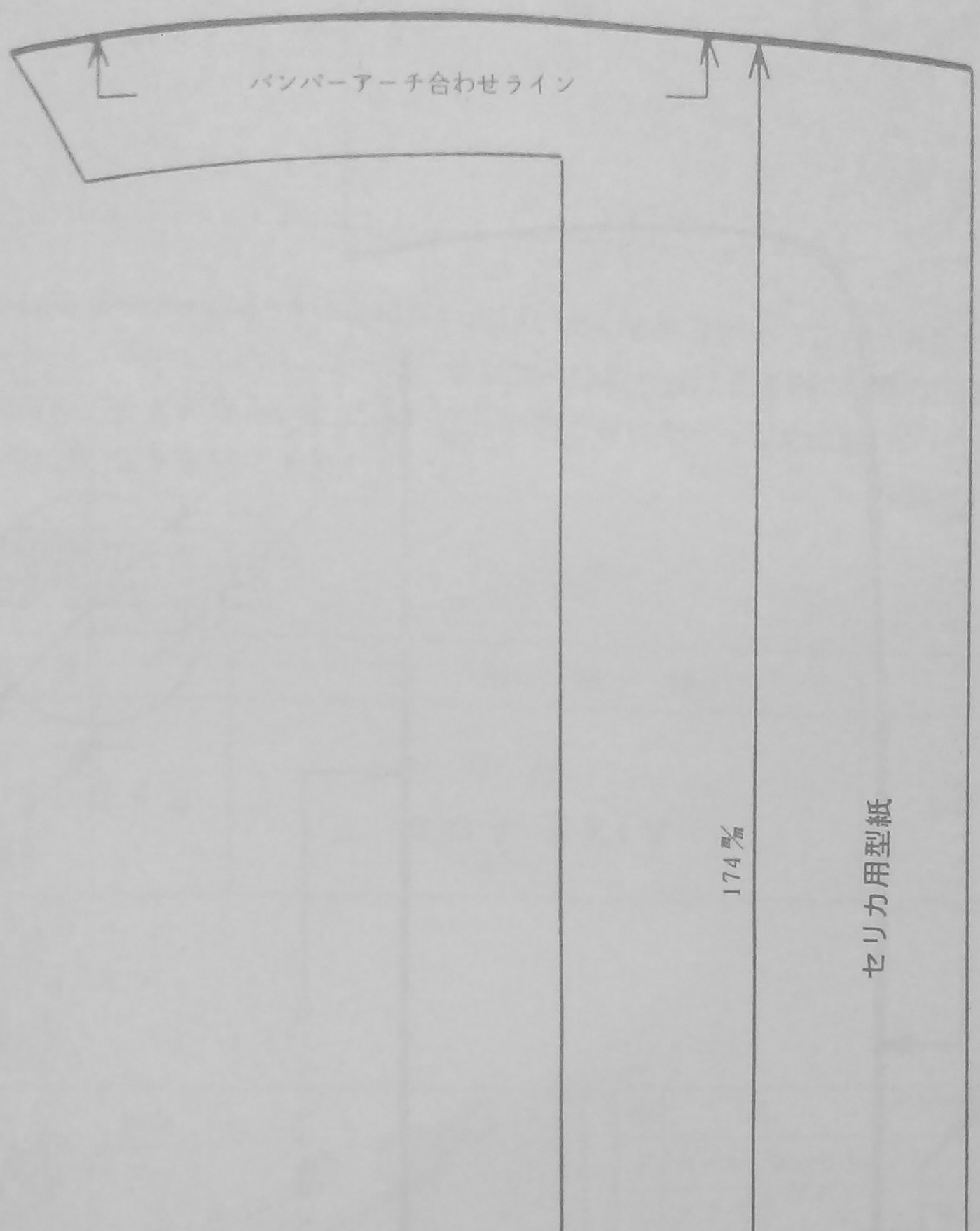
項目	仕様
定格電圧	DC12.0V
使用電圧範囲	10V～16V
消費電力	1.2W
使用温度範囲	－20℃～50℃
保存温度範囲	－30℃～80℃
送受信周波数	40±1KHz
重量（センサーAssy＋コンピューター）	150±10g

注：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

取り付け店舗へのお願い

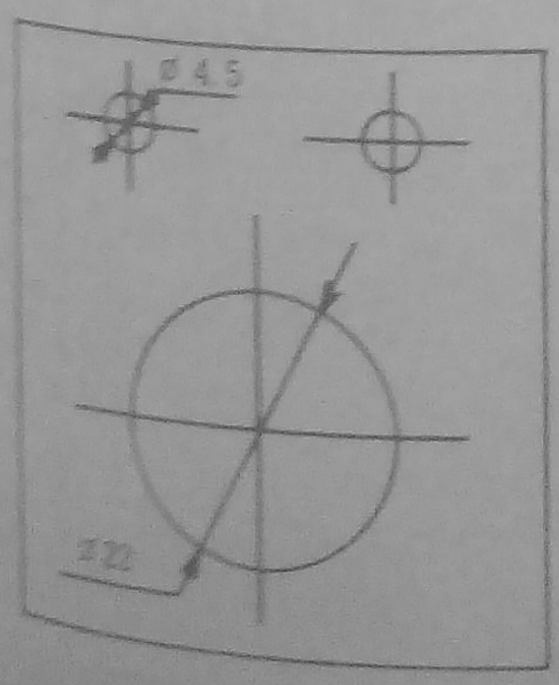
・必ずお客様に操作要領を説明してください。
・別冊（別紙）の「取扱書」は

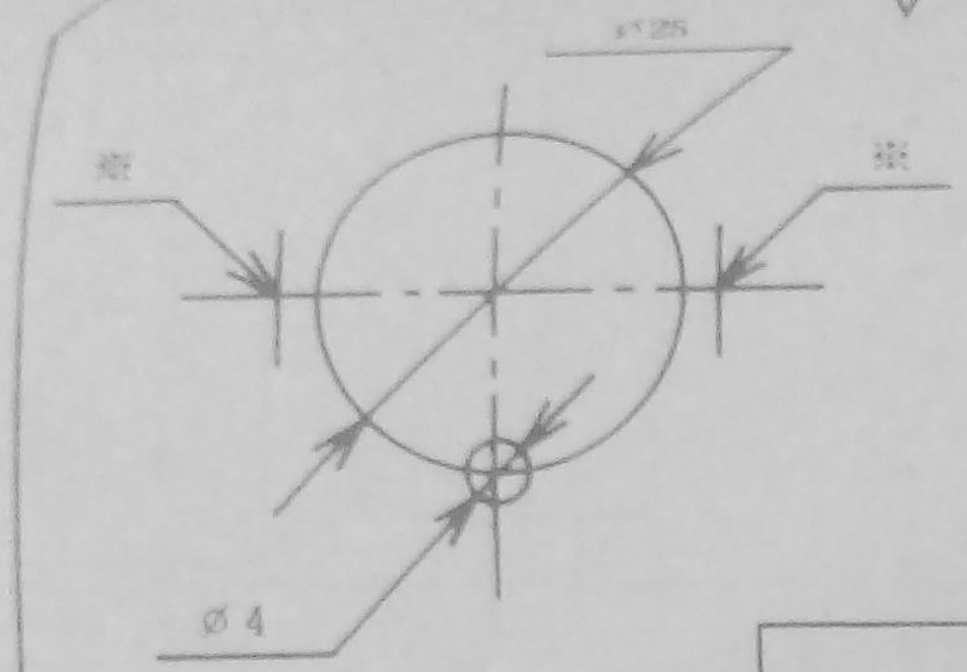
型紙



スイッチホルダー用型紙

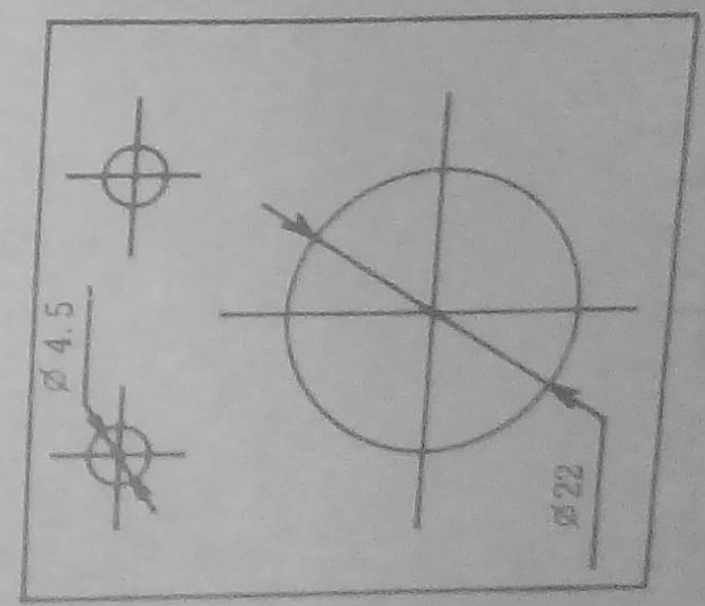
（別売スイッチホルダー品番 08595－00290）



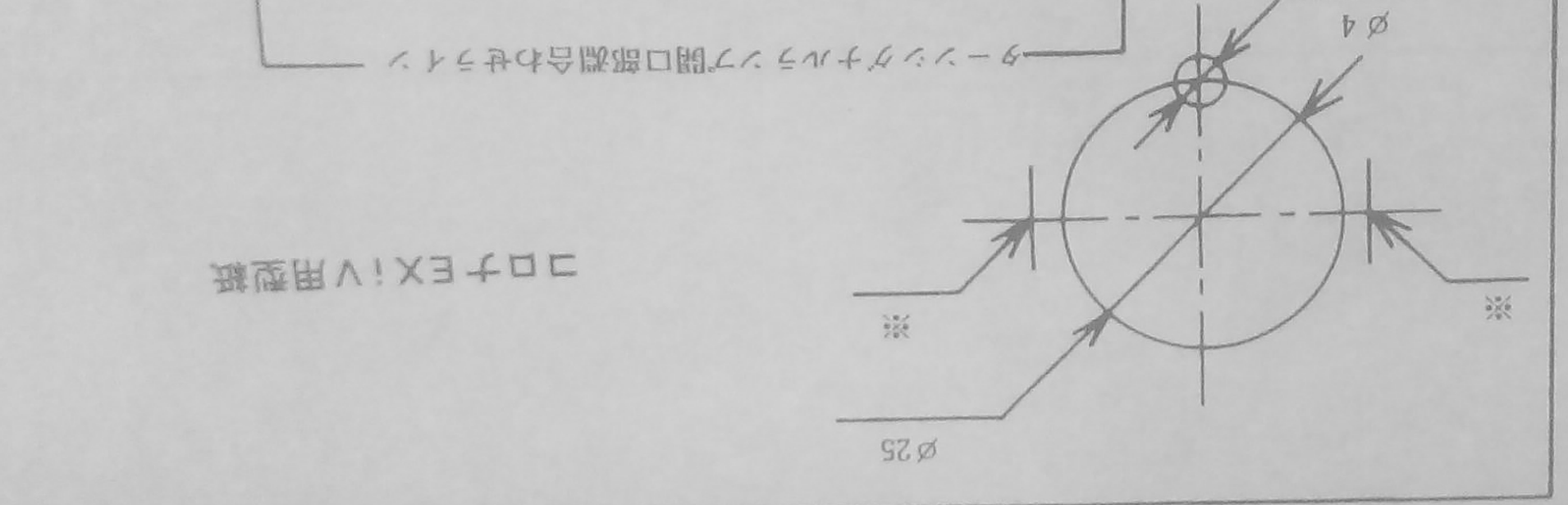


カリーナＥＤ用型紙

ターンシグナルランプ開口部溜合わせライン



スイッチホルダー用型紙
（別売スイッチホルダー
品番 08595－00290）



コロナＥＸｉＶ用型紙

ターンシグナルランプ開口部溜合わせライン

トヨタ純正 コーナーセンサー
(リヤ用)
取付要領書

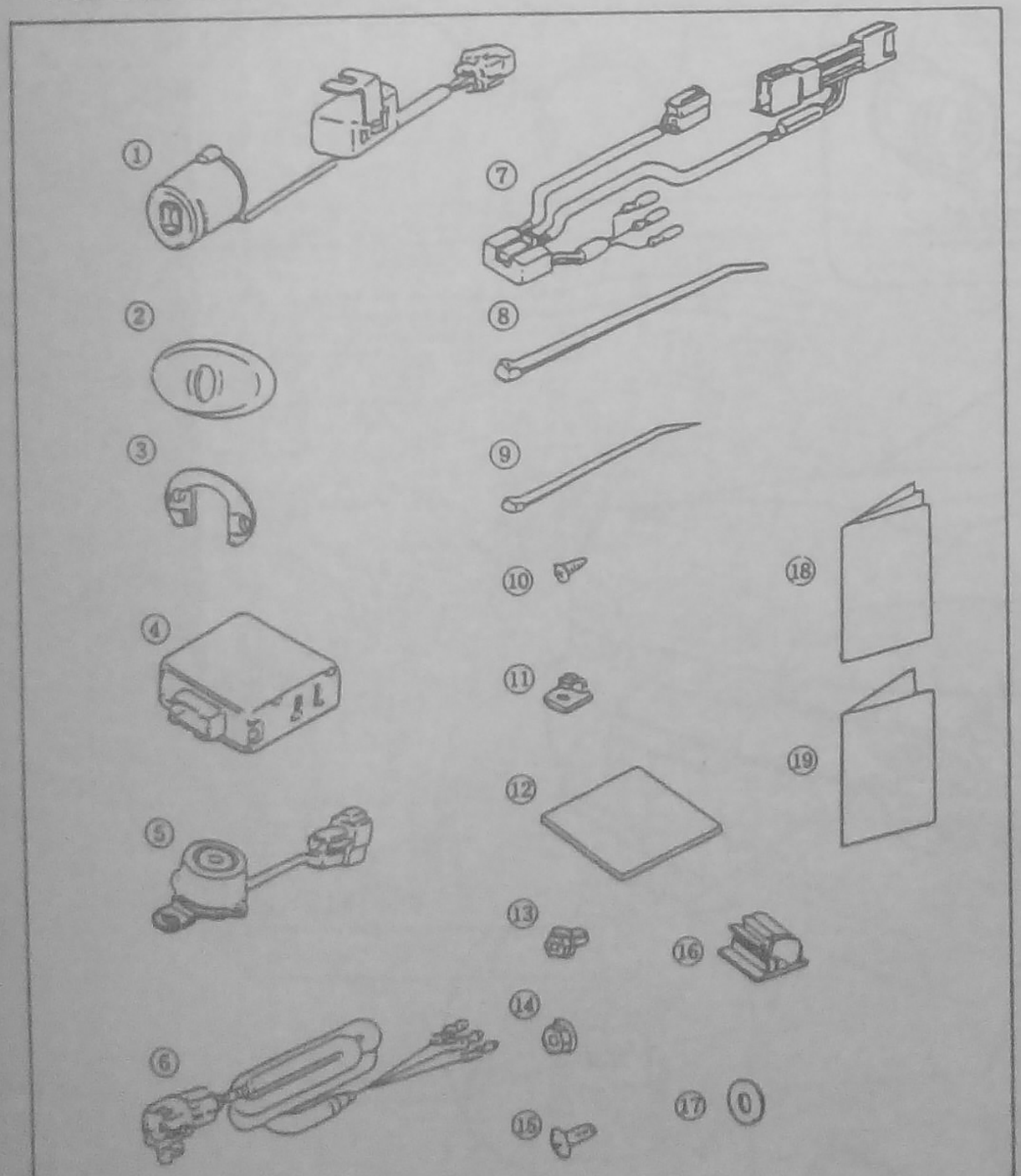
このたびはトヨタ純正コーナーセンサーをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はトヨタセリカ、コロナEXiVにコーナーセンサーを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

(9310)

品　　番	適　用　車　種	年　　式
08529－20240	セリカ コロナ EXiV	1993年10月以降

構成部品



No.	品　　名	品　　番	個数
1	センサーAssyウルトラソニック	08511－20110	1
2	プラグ ホワイト グレー	08513－00090－AO 00090－BO	各1
3	リング	――――	1
4	コンピューター クリアランスウォーニング	08503－22010	1
5	ブザーAssy	――――	1
6	ハーネスNo.1	――――	1
7	ハーネスNo.2	――――	1
8	クランプ（大）	――――	5
9	クランプ（小）	――――	5
10	スクリュ（2×8）タッピング	――――	2
11	シェルクリップ（小）	――――	3
12	両面接着シート	――――	1
13	ボルト（M6×12）	――――	1
14	ナット（M6）フランジ	――――	2
15	スクリュ（M6×15）	――――	1
16	シェルクリップ（大）	――――	3
17	ワッシャ	――――	1
18	取扱書	――――	1
19	型紙	――――	1

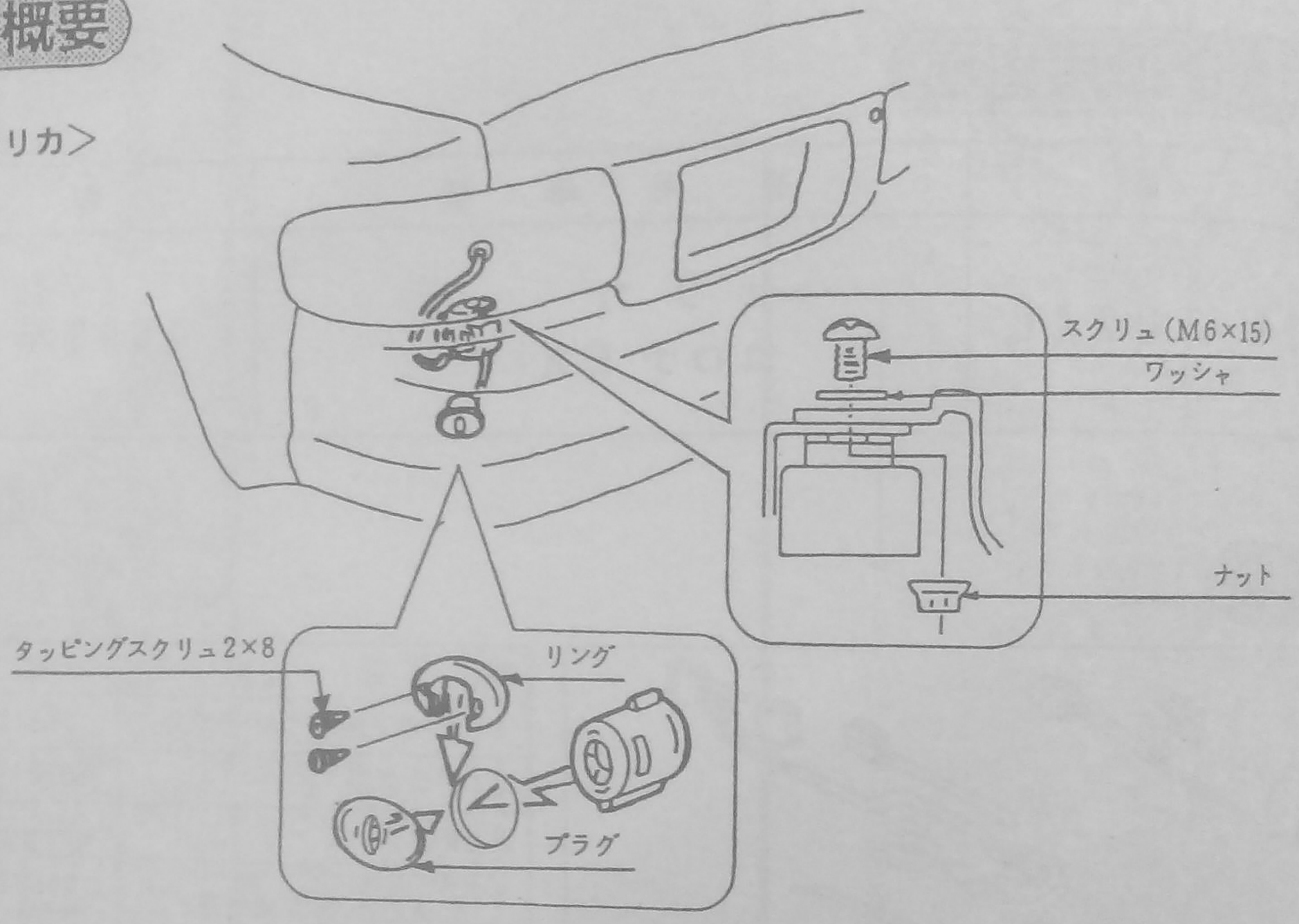
取り付け時間

1.0H

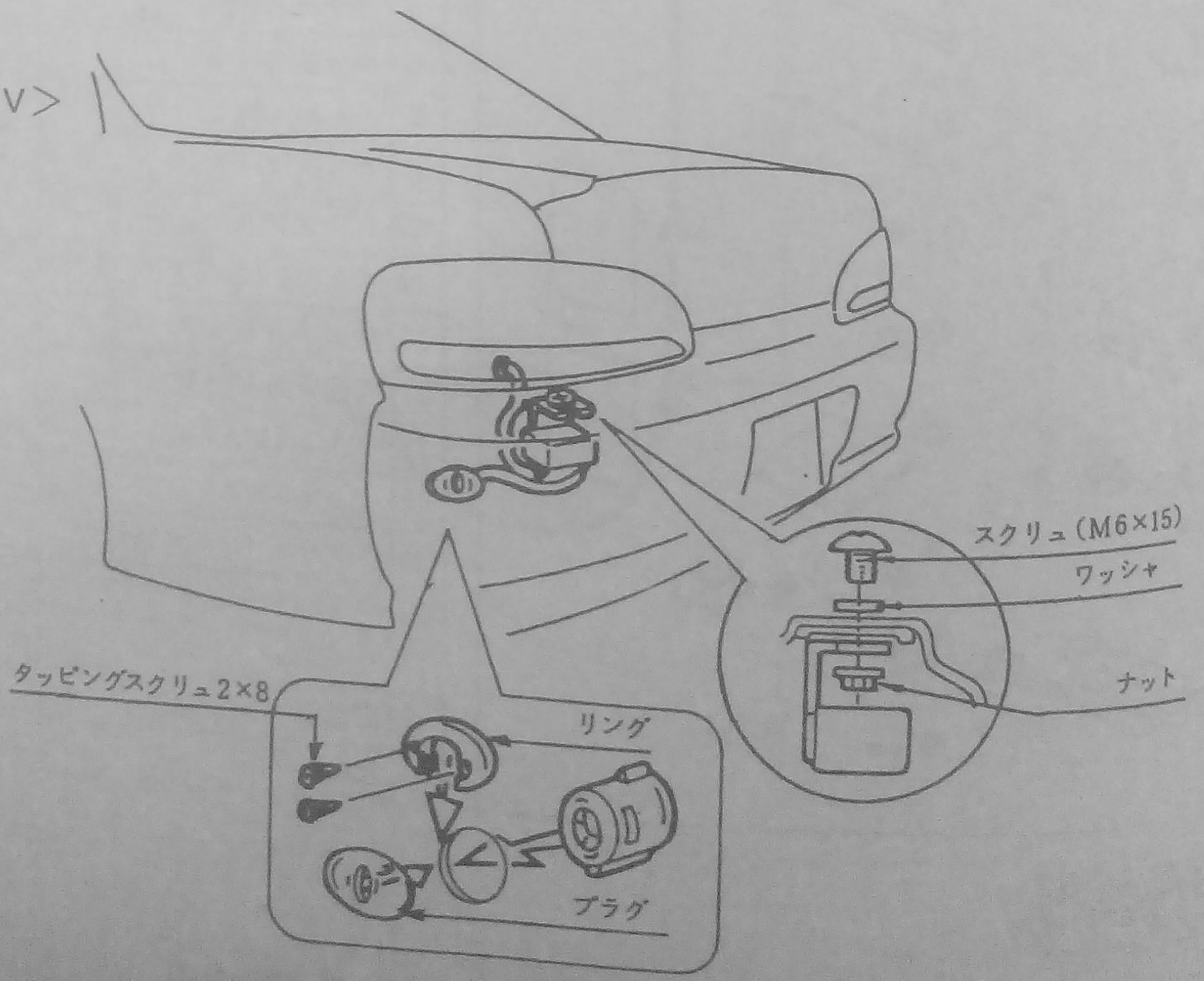
1．取り付ける前にバッテリーの（−）側ケーブルをはずしてください。
2．取り付ける前にボディー保護のカバーを付けてください。
3．本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
4．車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
5．本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

取り付け概要

<セリカ>



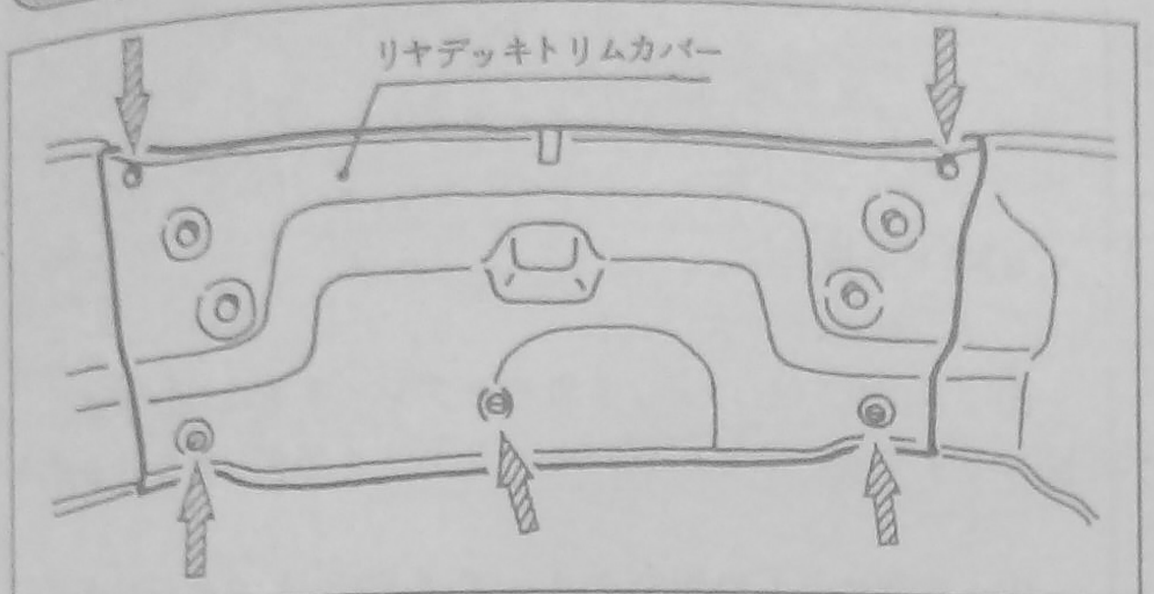
<コロナEXiV>



取り付けに必要な工具等

一般工具，カッターナイフ，針金，キリ，ドリル（φ4），ホールソ（φ25），電動ドリル，ビニールテープ，接着テープ，ブチルテープ，ハサミ，ニッパ，クリップリムーバ

取り付け要領

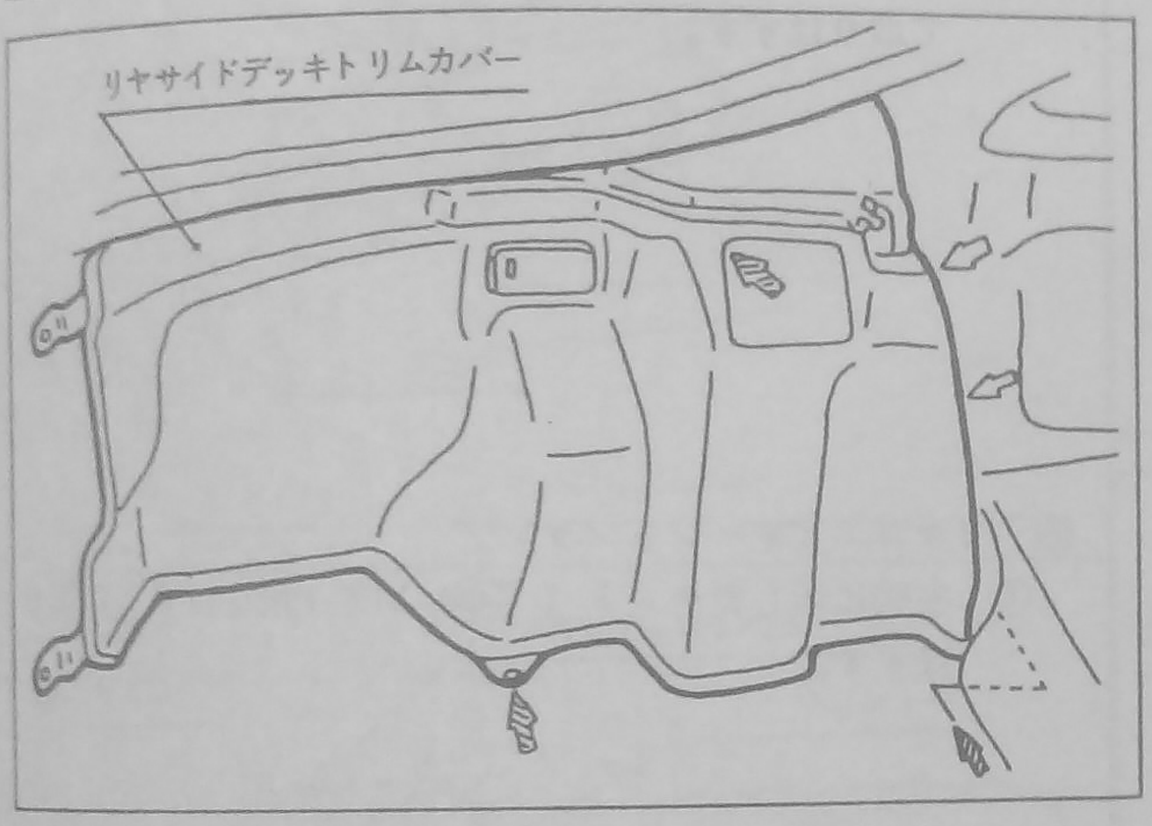


1 車両部品の取りはずし

＜セリカの場合＞

(1) リヤデッキトリムカバー

① 左図に示した樹脂クリップ（⇒）5ケ所をはずして取りはずす。



(2) リヤサイドデッキトリムカバー

① 左図に示した樹脂クリップ（⇒）3ケ所とスクリュ（⇨）2ケ所をはずして取りはずす。

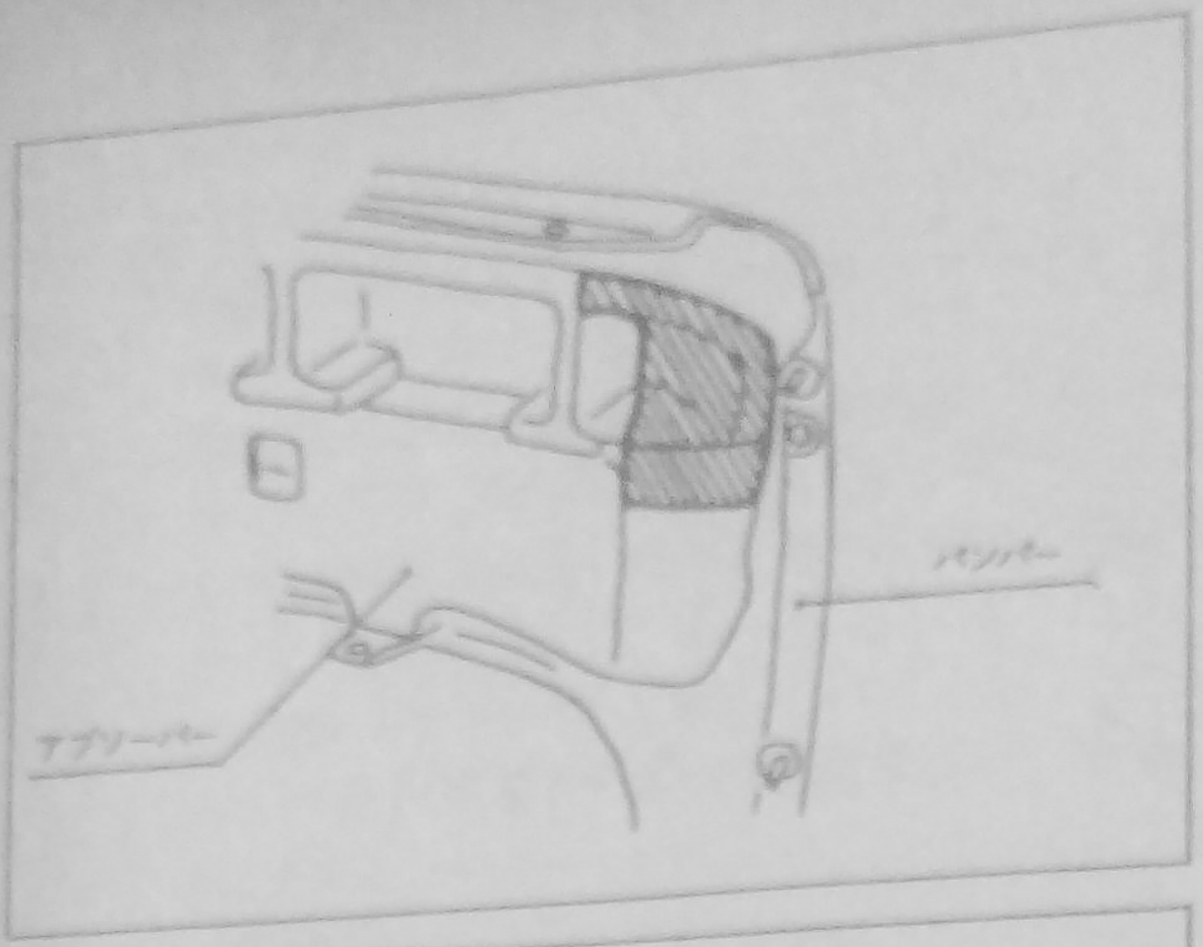


(3) リヤコンビネーションランプ

① 左図に示したナット（⇨）3ケ所をはずして取りはずす。

(4) リヤバンパー

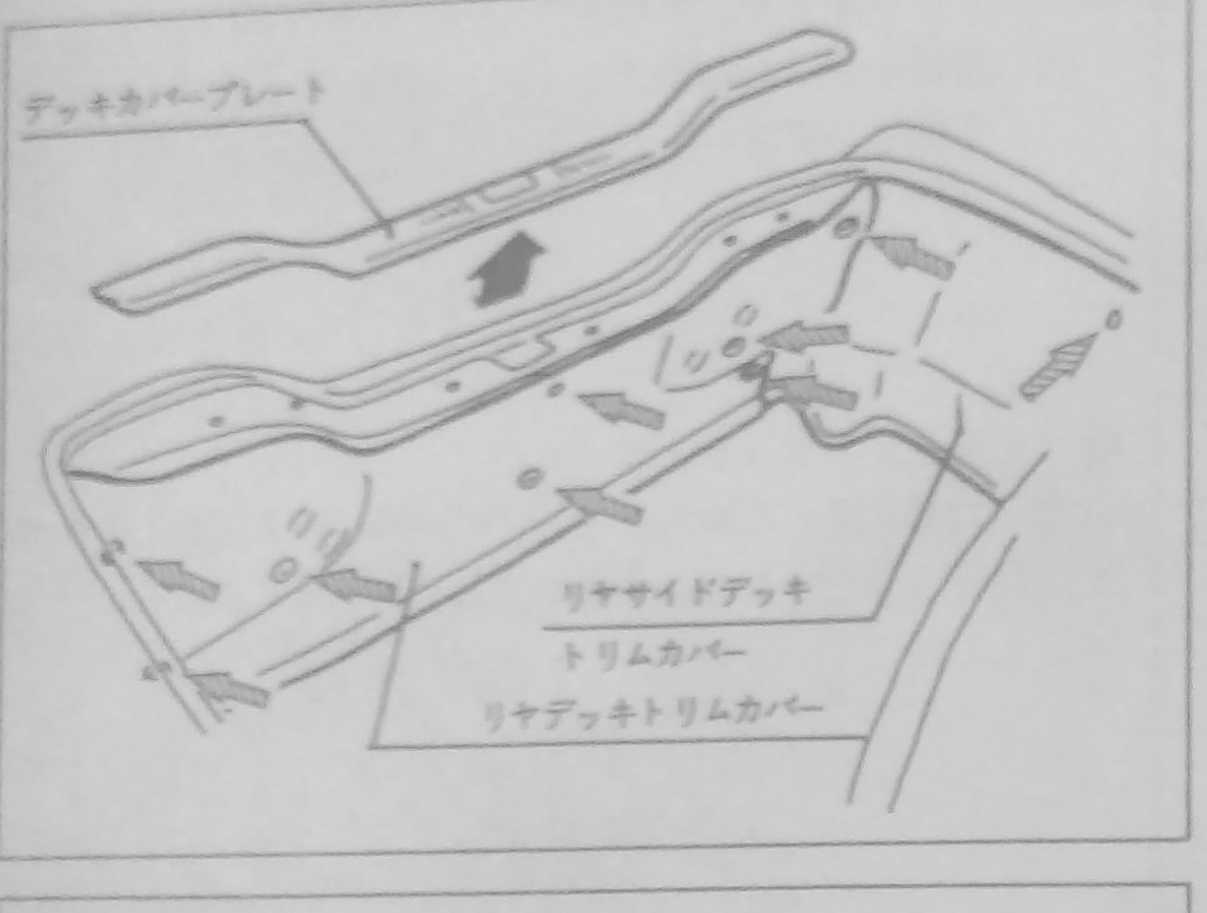
① 左図に示したボルト（➡）7ケ所，ナット（⇨）7ケ所，樹脂クリップ（⇒）4ケ所をはずして，取りはずす。



(5) アブソーバーのカット

① 左図に示した ▨ 部をカッターナイフでカットする。

② アブソーバーをカットしたら、バンパーを仮組み状態にして取り付ける。



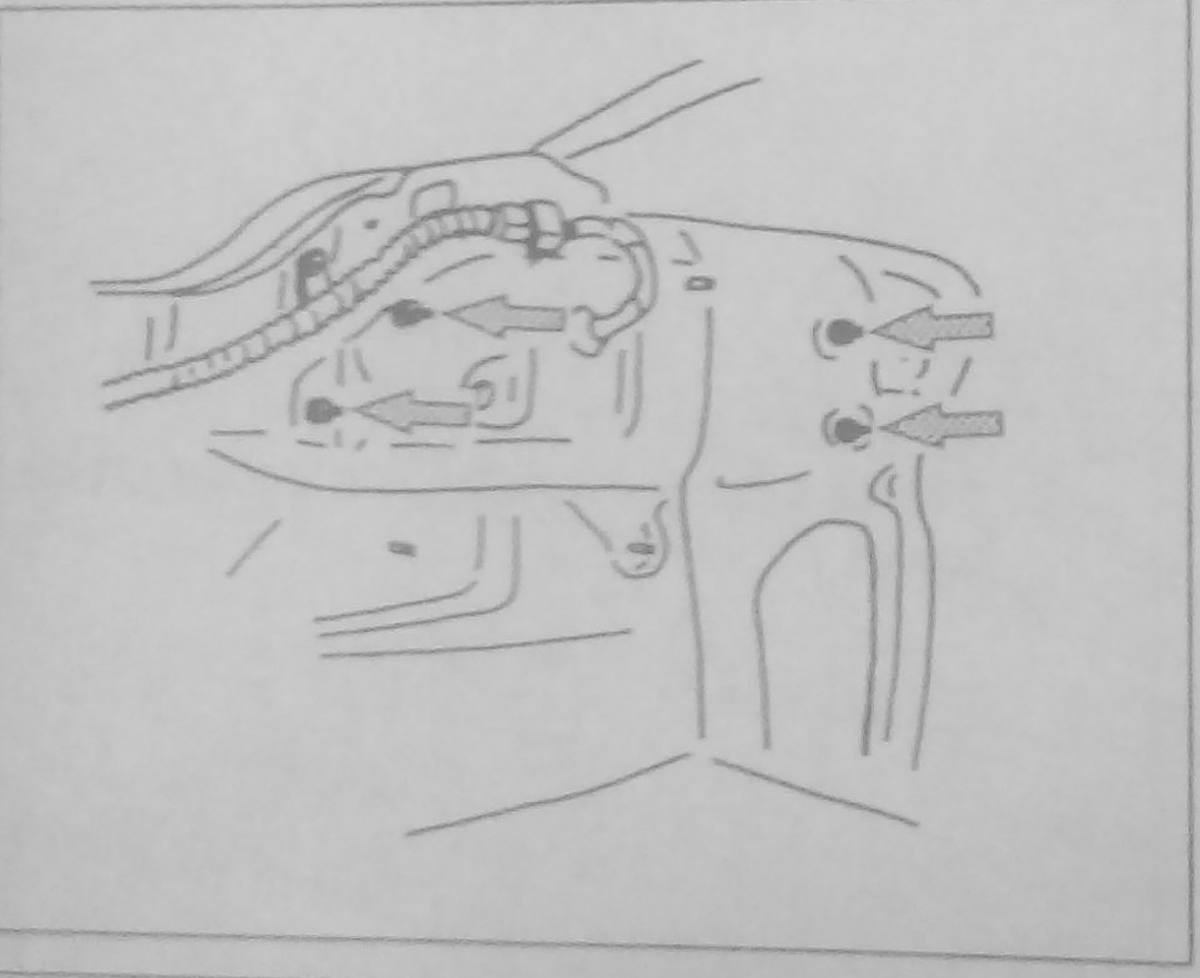
＜EXiVの場合＞

(1) デッキカバープレート

① 左図に示したデッキカバープレートを取りはずす。

(2) リヤデッキトリムカバー、リヤサイドデッキトリムカバー

① 左図に示した樹脂クリップ（⇨）9ケ所をはずして取りはずす。



(3) リヤコンビネーションランプ

① 左図に示したナット（⇨）4ケ所をはずして取りはずす。

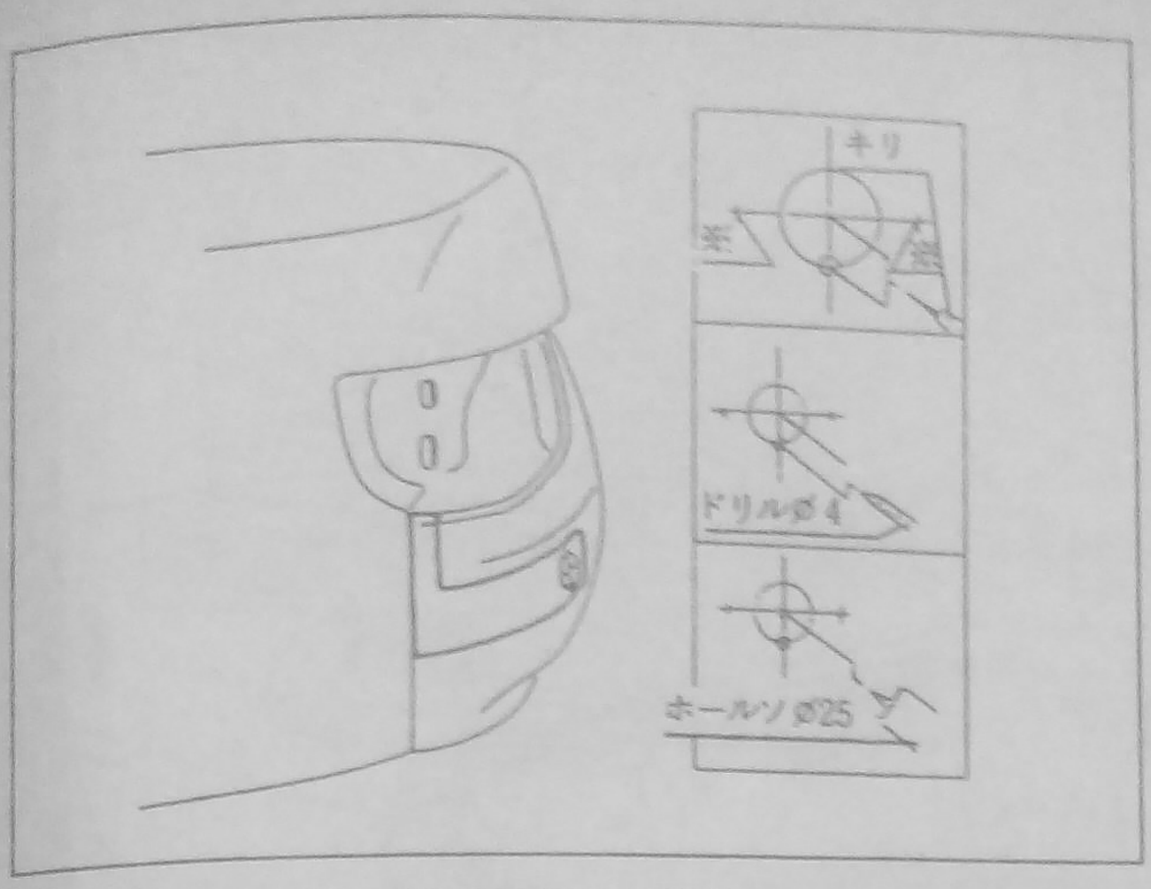
2 センサーの取り付け

(1) 型紙の貼り付け

① 左図に示した要領で型紙を接着テープで貼り付ける。

注意

型紙はセリカ用と、コロナEXiV用がありますので間違わないようにしてください。



(2) 穴あけ作業

① 塗印2ケ所にキリで印を付ける。

注意

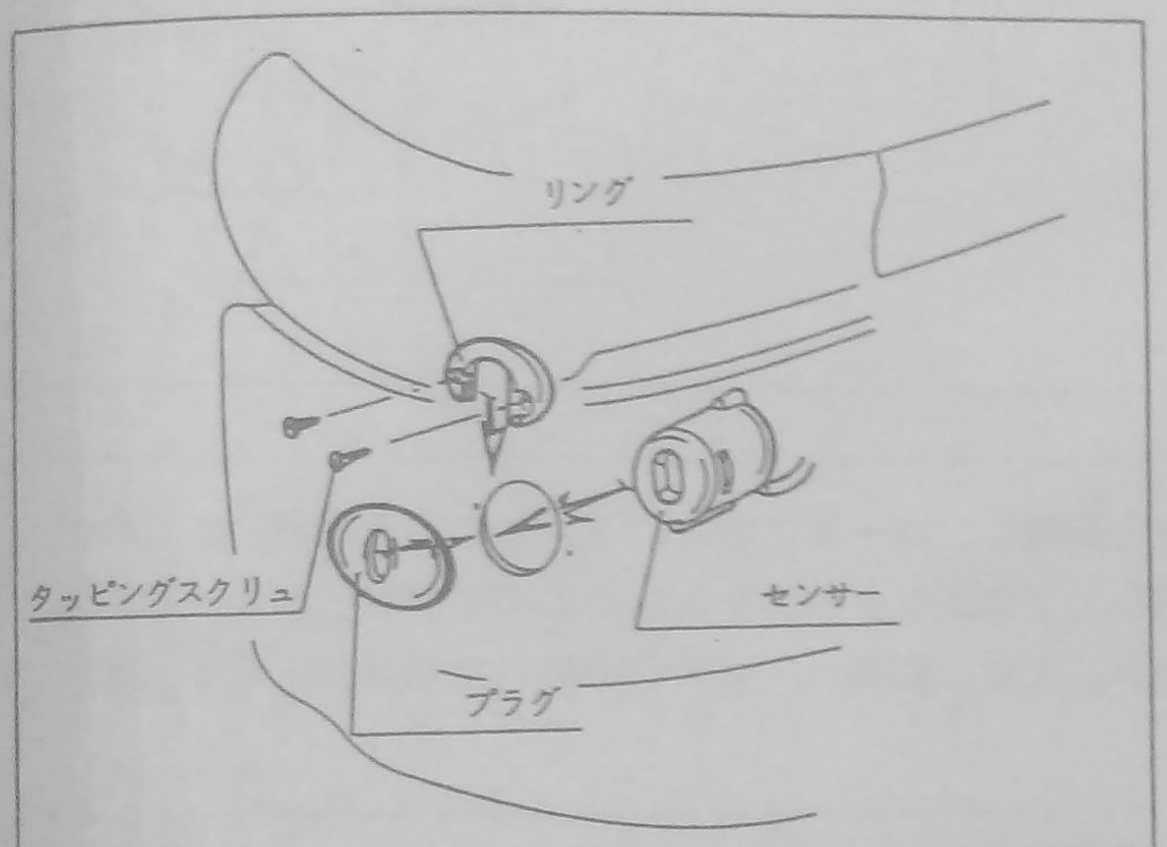
タッピングスクリュ（2㎜）用なので大きな穴をあけないようにしてください。

② 左図のようにφ25とφ4の中心にキリで穴をあける。

③ 型紙を取り外し，φ4のドリルで左図のように穴をあけた後にφ25のホールソで穴をあける。

注意

バンパーカバーにホールソーφ25を路面と水平にあてがい穴をあけてください。

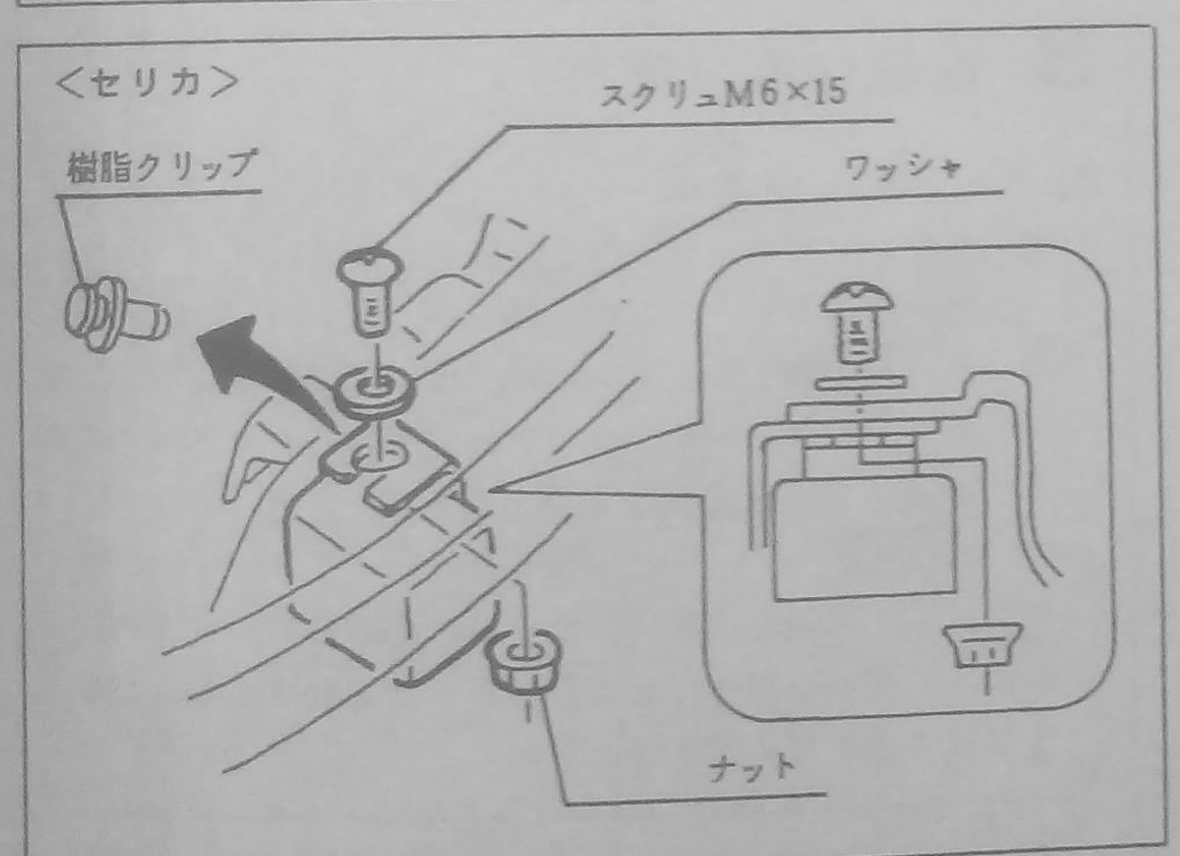


(3) センサーの取り付け

① リヤバンパーカバー裏側よりセンサーのストッパとφ4の穴が合う位置で入れる。

② リング裏の離型紙をはがし，センサー溝に左図のように差し込み，タッピングスクリュ（2×8）でリングを固定する。

③ プラグ裏面の矢印を上にしてプラグをリングにはめる。



(4) プリアンプの取り付け

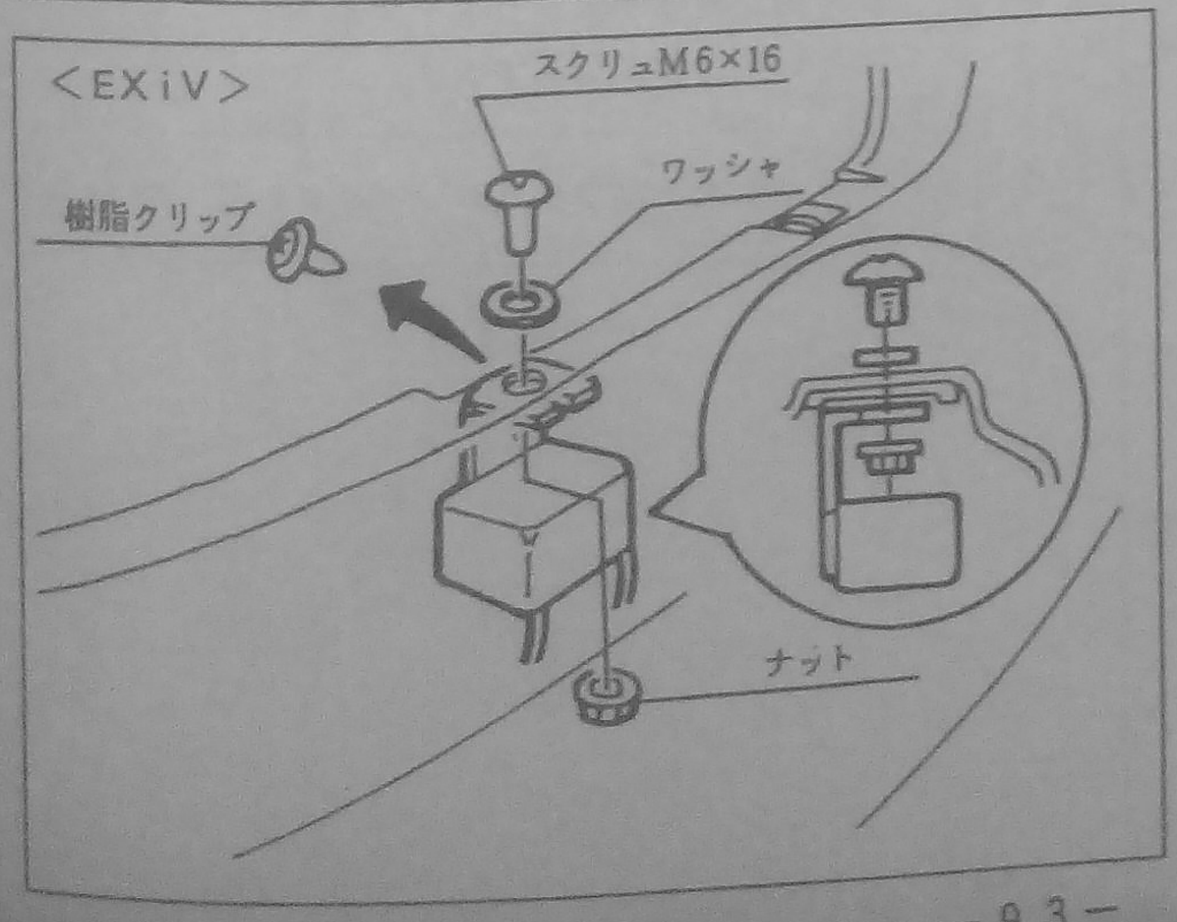
① 左図の車両の樹脂クリップ1本を取りはずす。

② 添付のスクリュM6×15とワッシャを介してアンプブラケットをアッパリテーナ下に入れ，ナットM6（フランジ）にてアンプブラケットを固定する。

注意

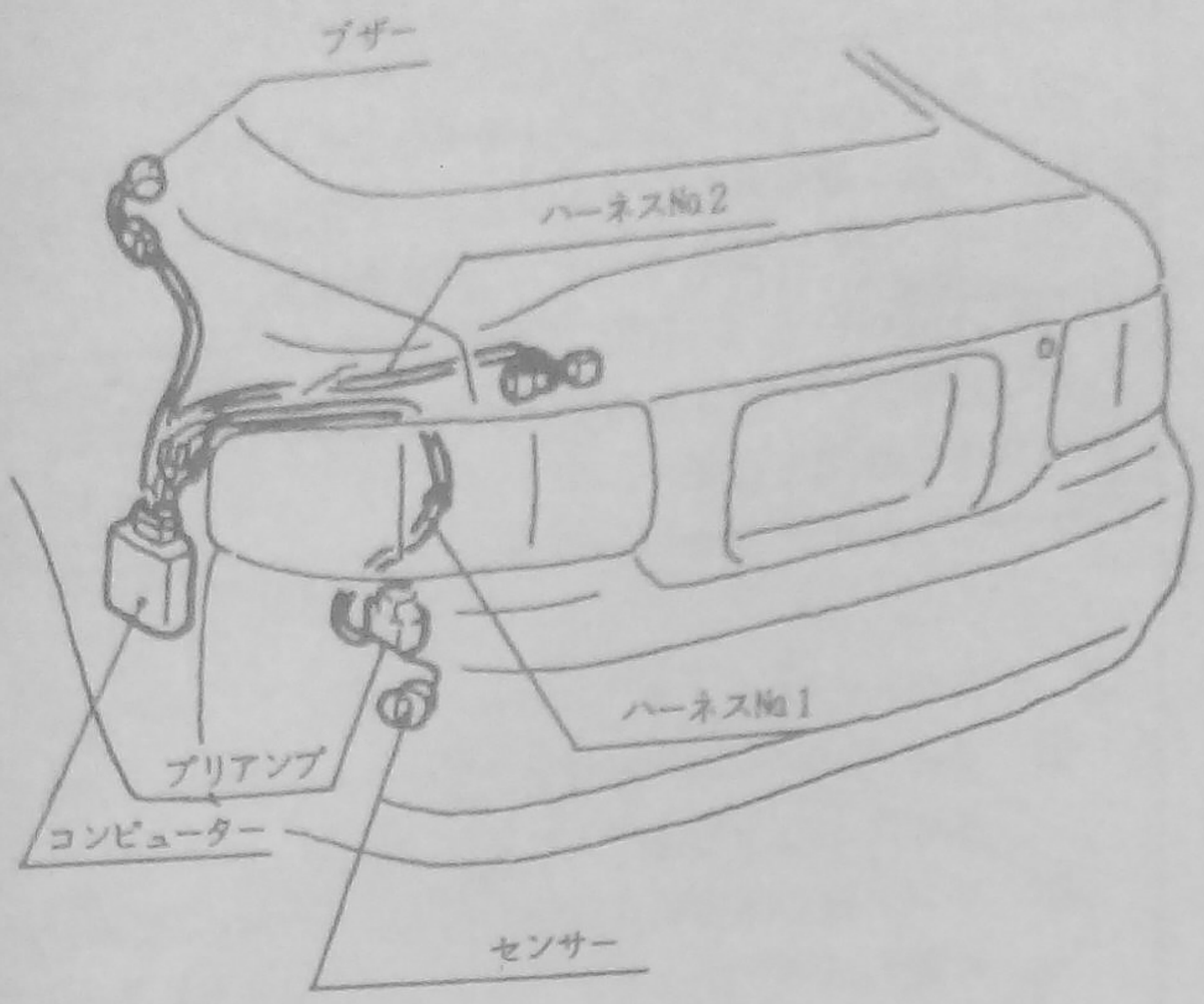
① セリカとコロナEXiVとでは取り付け方法が違いますので注意してください。

② ナットをアンプブラケットの下にガムテープで固定してから，スクリュM6×15でしめつけると作業がしやすくなります。

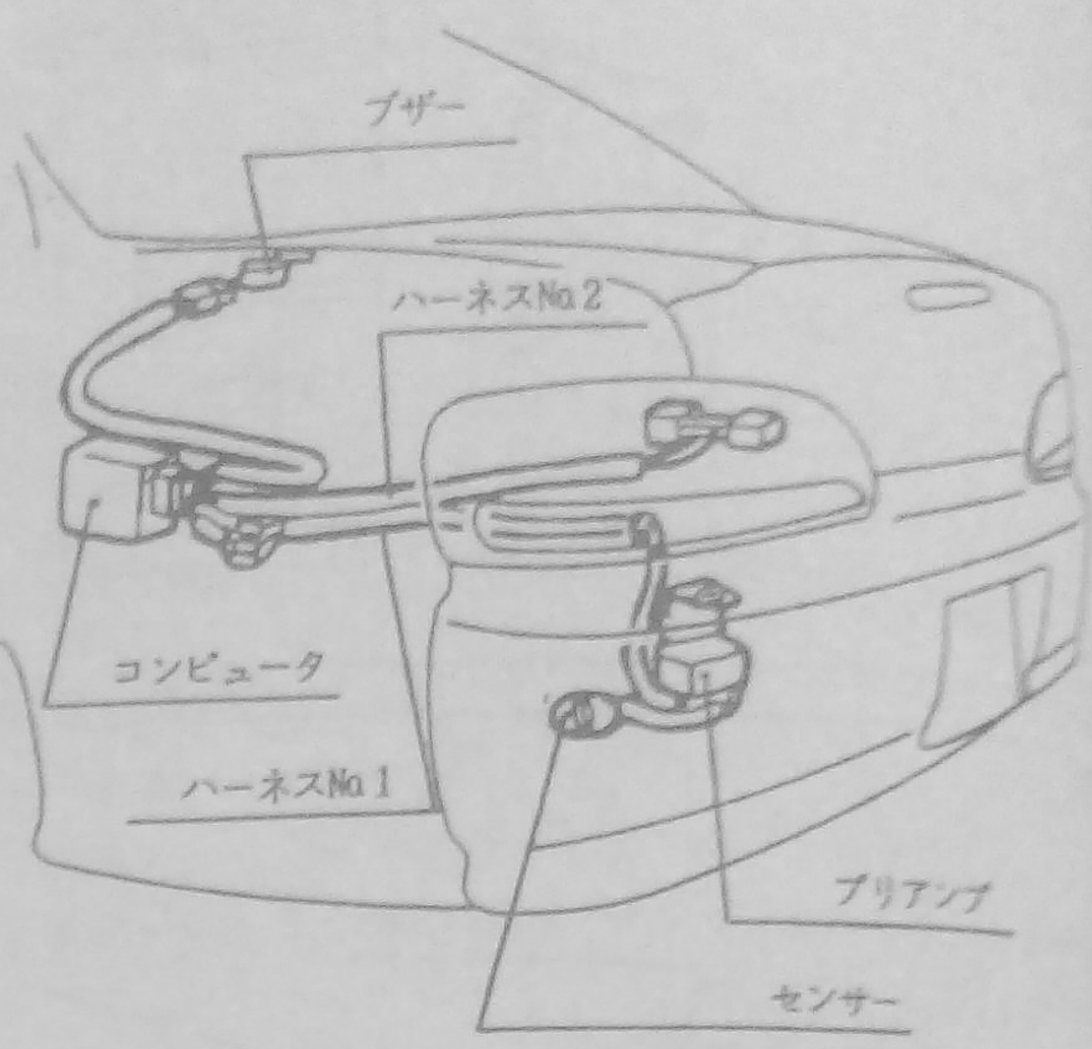


配線系統図

<セリカ>

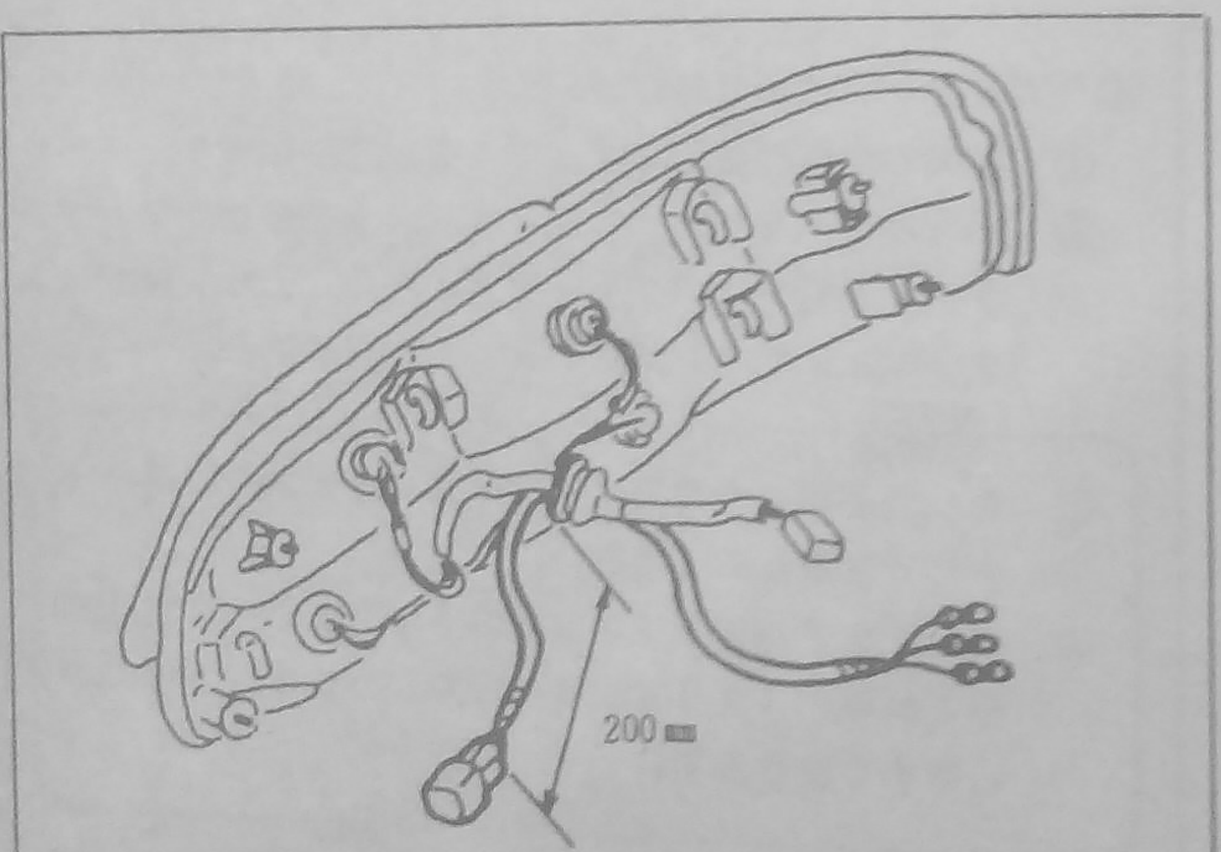


<EXiV>

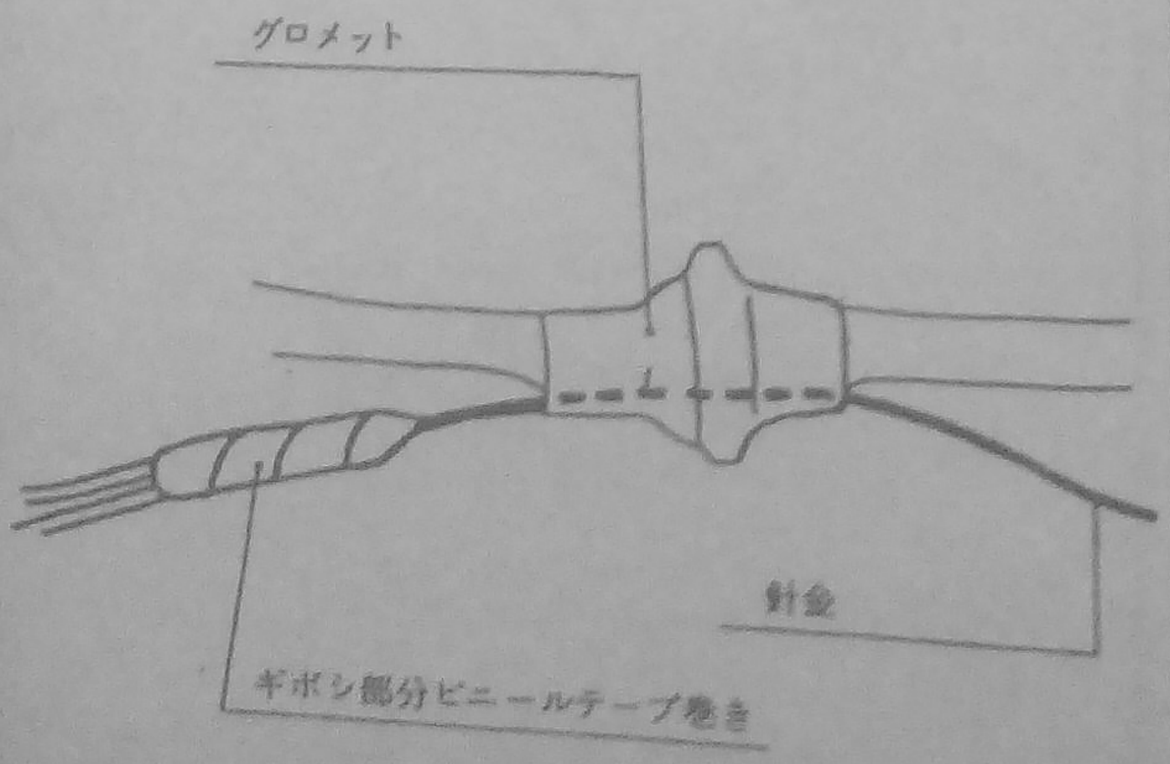


注意

コーナーセンサーハーネスは、車両ハーネスに沿わせて配線し、ハーネスのたれ下がりやかみ込み、すれ合いなどがないように車両ハーネスと一緒にバンドで固定し、プロテクターのある部分は必ずプロテクター内を配線し、コネクターは相手側へ確実に差し込んでください。また、車両ハーネスを移動した場合は、必ず元どおりにして、他の部品に接触させないでください。



参考図



3 配線作業（室外）

(1) ハーネスNo.1の配線

① リヤコンビネーションランプハーネスのグロメットに巻いてあるテープを取り除く。

② ハーネスNo.1のギボシ端子（オス）に針金を巻き、リヤコンビネーションランプハーネスのグロメットの穴を通し200㎜程残して引っ張る。

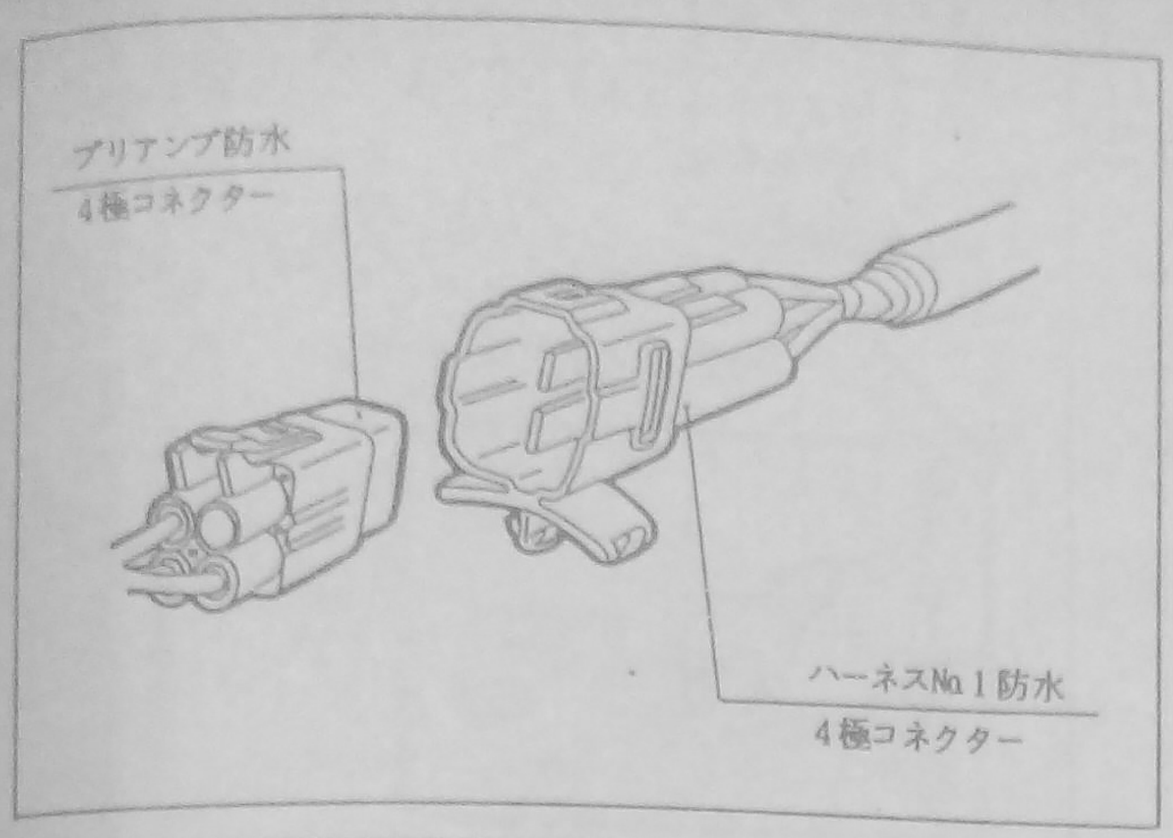
注意

グロメット貫通の作業は，ハーネス保護のために参考図のようにギボシ部分にビニールテープを巻き，石ケン水をつけて通してください。

③ ハーネスNo.1とリヤコンビネーションランプのハーネスをまとめてテーピングする。

注意

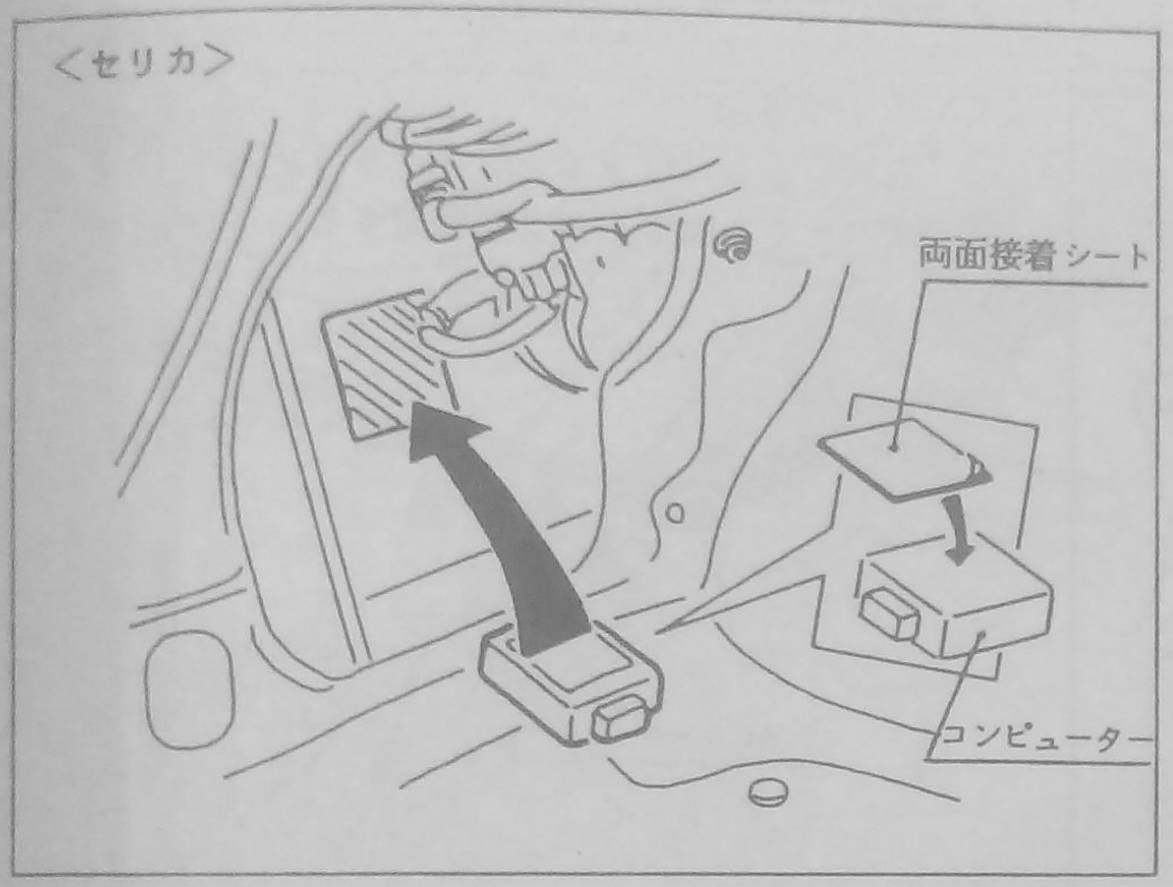
グロメットには防水の為ブチルテープを巻いてください



(2) ハーネスNo.1の接続

① プリアンプの防水4極コネクターとハーネスNo.1の防水4極コネクターを接続する。

② リヤコンビネーションランプのハーネスグロメットを車両の穴にはめ込み，リヤコンビネーションランプを元通り取り付ける。



4 配線作業（室内）

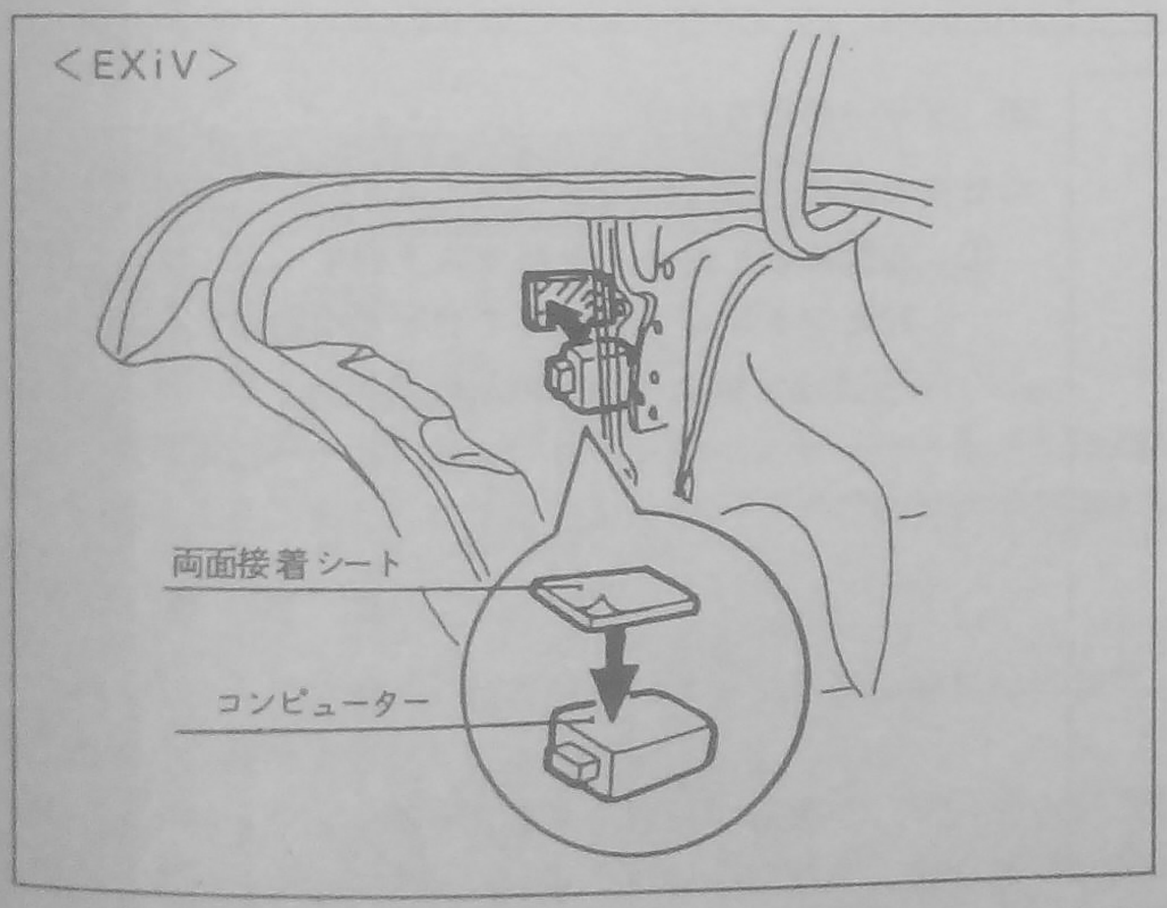
(1) コンピューターの取り付け

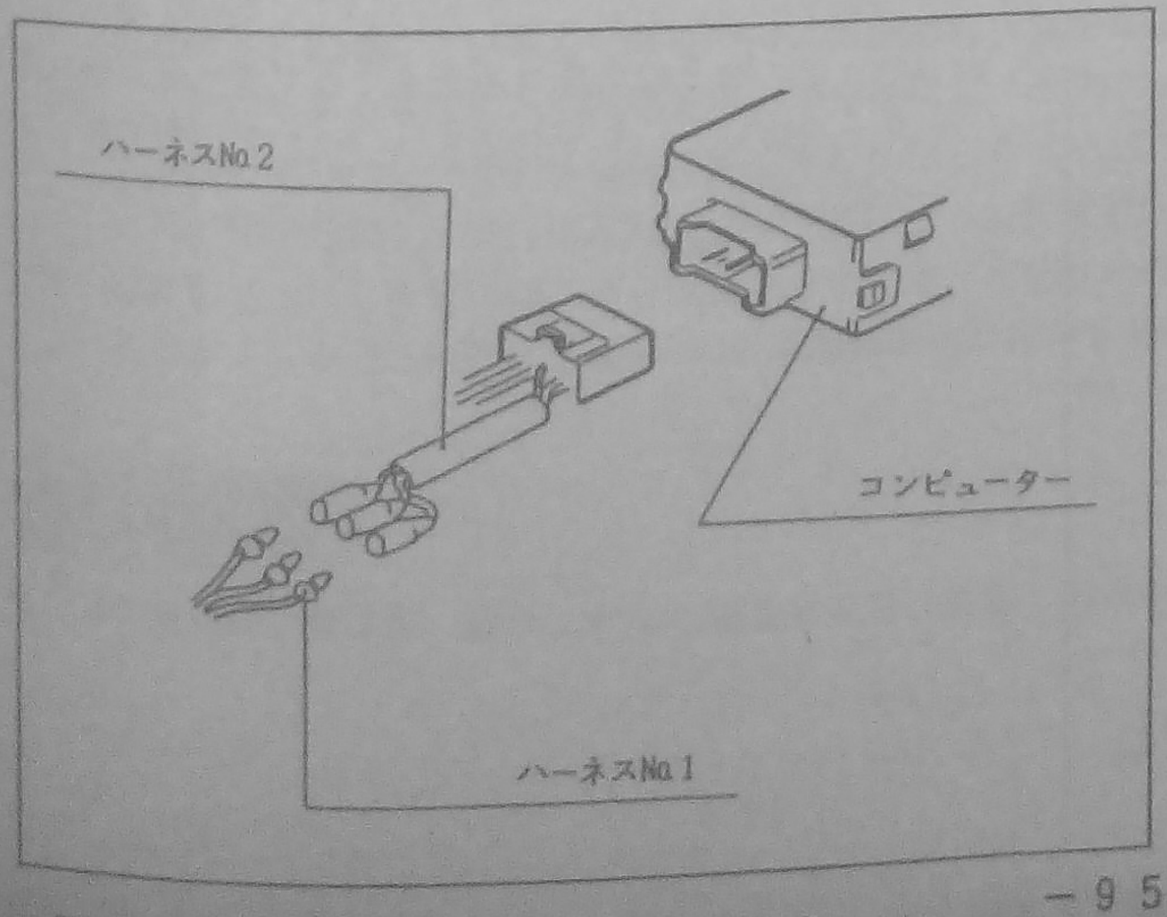
① コンピューターに両面接着シートを貼り付ける。

② 左図斜線で示した部分 ▨ にコンピューターを貼り付ける。

注意

セリカとコロナEXiVとでは貼り付け位置が違うので注意してください。





(2) ハーネスNo.2の接続

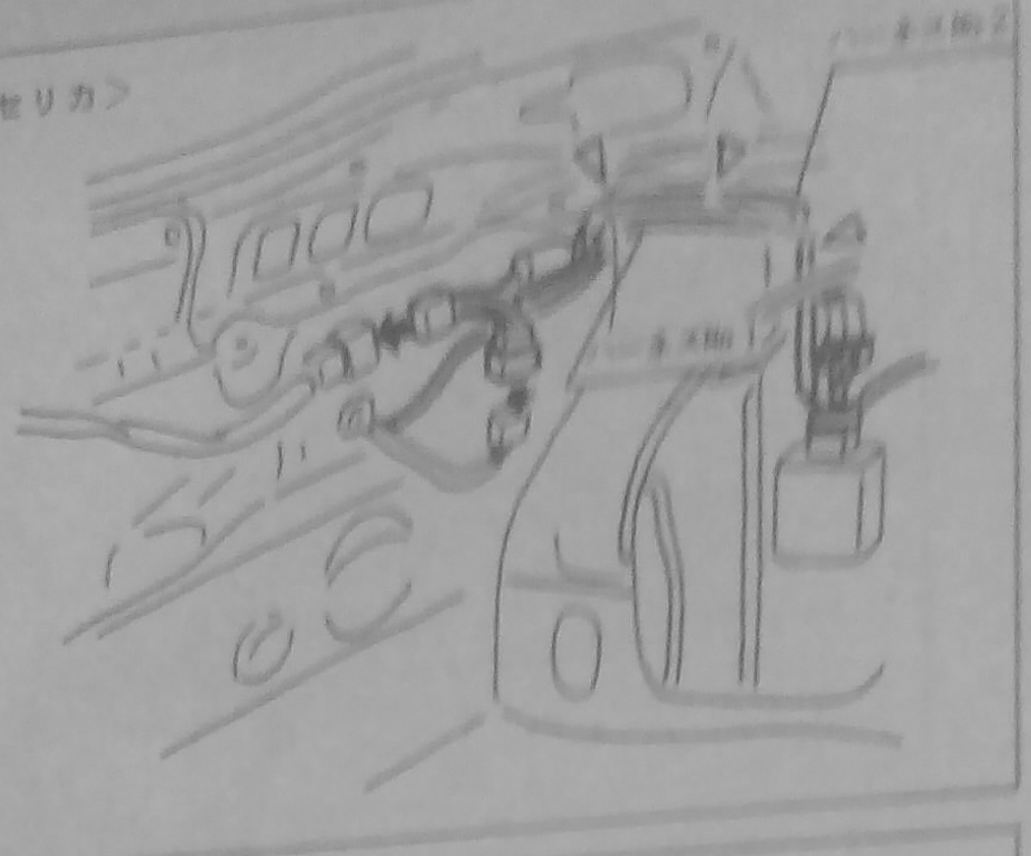
① ハーネスNo.1のオスギボシ3本とハーネスNo.2のメスギボシ3本を同色同士接続する。

注意

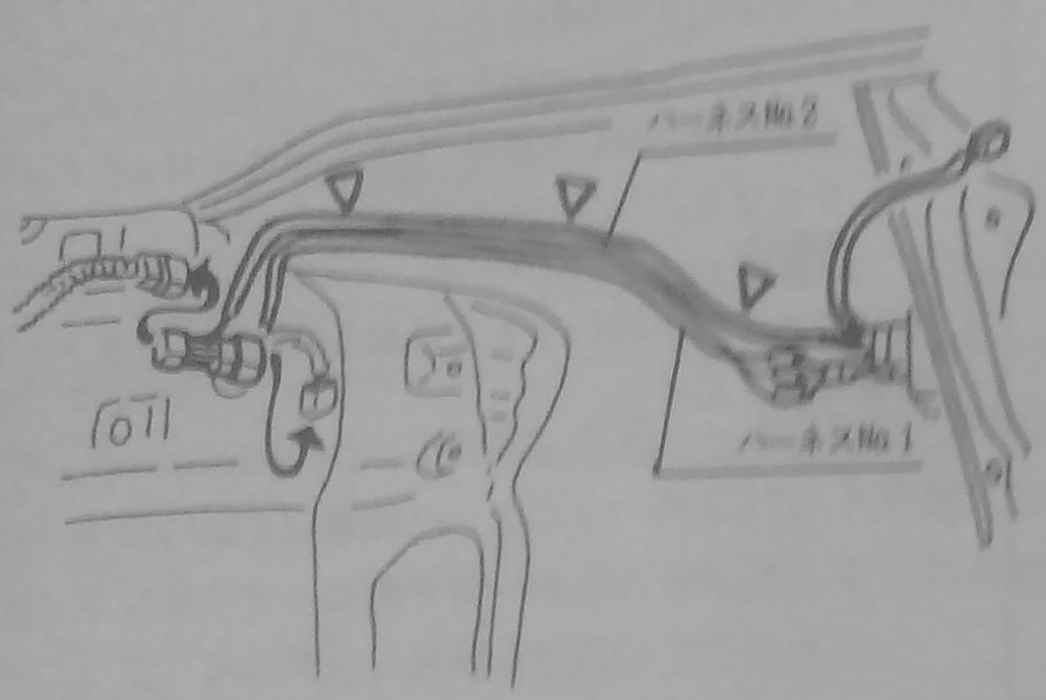
接続の際，配線色を間違わないように注意してください。

② ハーネスNo.2の10極コネクターをコンピューターに接続する。

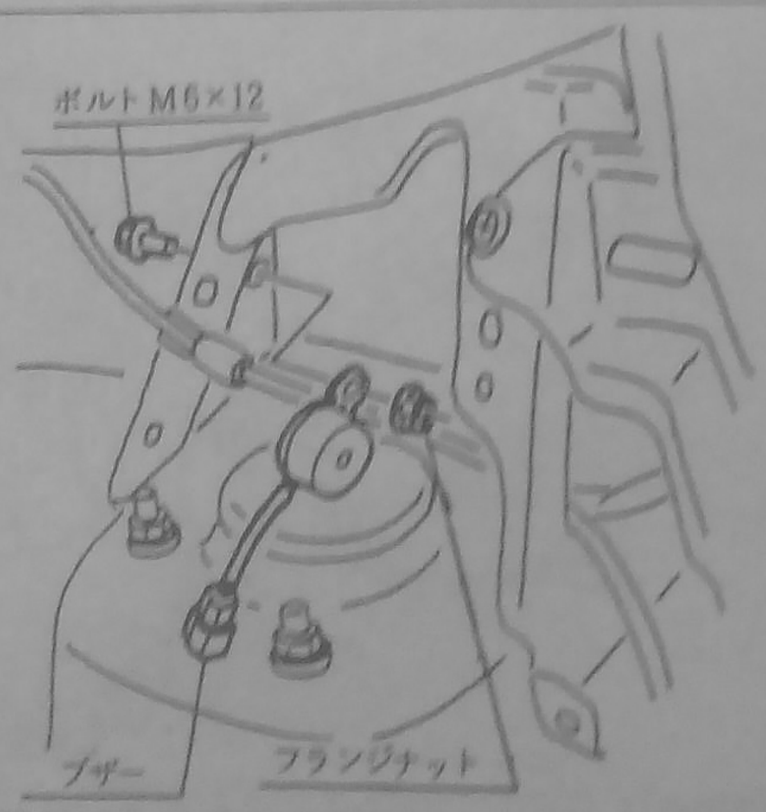
<セリカ>



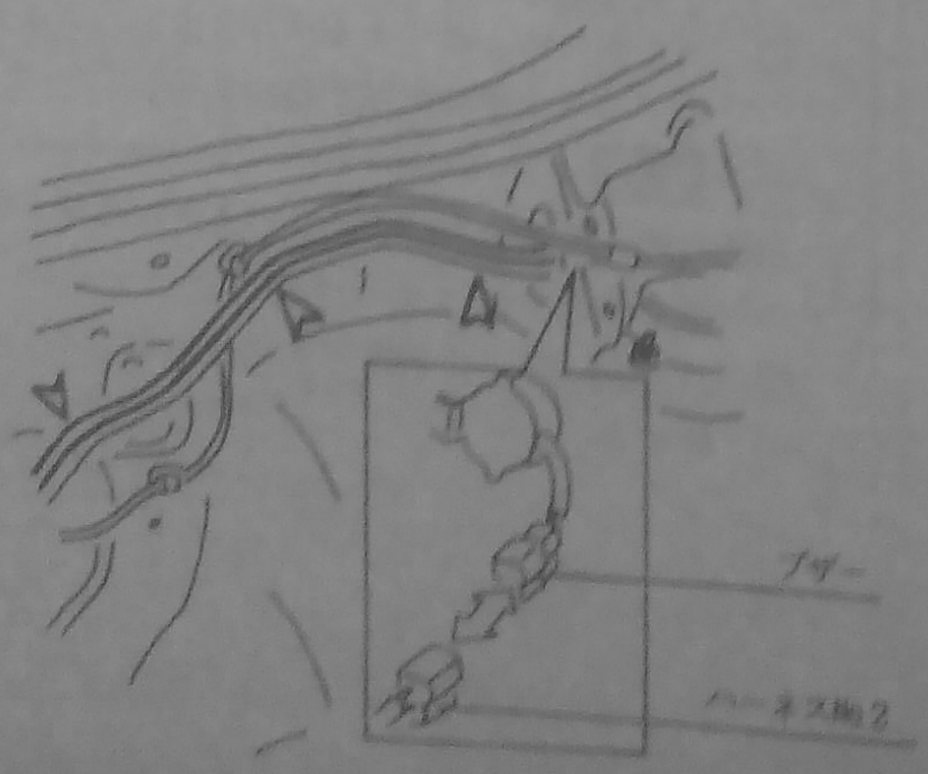
<EXiV>



<セリカ>



<セリカ>



(3) ハーネスの固定

<セリカの場合>

① 左図で示した位置でシェルクリップ大（▷）1ヶ所でハーネスNo.1，No.2を固定する。

<EXiVの場合>

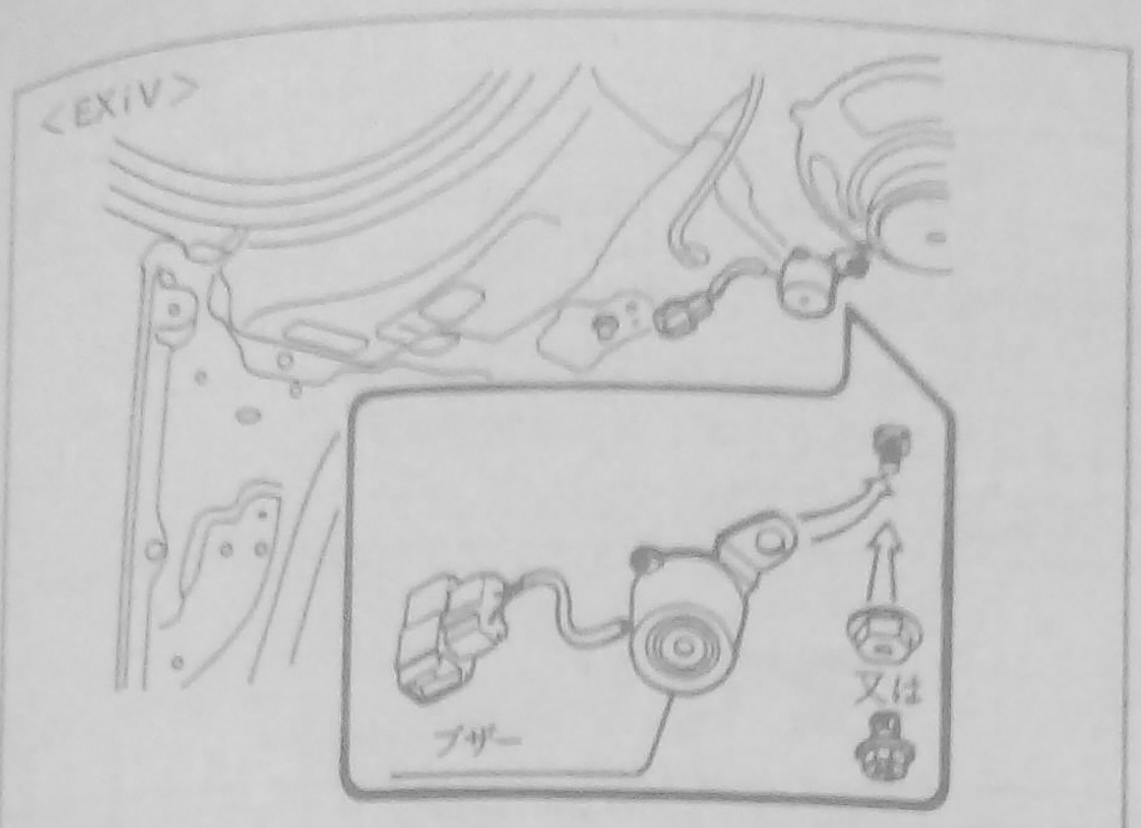
① 左図の示した位置でシェルクリップ大（▷）1ヶ所でハーネスNo.1，No.2を固定する。

(4) ブザーの取り付け

<セリカの場合>

① 左図に示したクイヤハウス上部すて穴にボルト12とフランジナットにてブザーを固定する。

② ハーネスNo.2の2極コネクターとブザーの2極コネクターを接続し，クランプ大（▷）3ヶ所でハーネスを固定する。



(4) ブザーの取り付け

＜EXiVの場合＞

① 左図に示したリヤスピーカー固定ボルトにフランジナットにてブザーを固定する。

注意

リヤスピーカー無し車の場合は，ボルトM6×12にてブザーを固定してください。



② ハーネスNo.2の2極コネクターとブザーの2極コネクターを接続し，シェルクリップ小（▶）でハーネスを固定する。

注意

クランプの数は多めに入っておりますので，適宜御使用ください。

取り付け完了後の点検

1 取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。

(2) 特に車両ハーネスおよびコーナーセンサーハーネスを無理に押したり，引っ張ったり，かみ込んだりしていないか点検すること。また，クランプおよびバンドのはずれや部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2 作 動 確 認

バッテリーの㊀端子を取り付け，エンジンを始動した状態で，コーナーセンサーが別冊の「取扱書」の操作要領通りに作動するか確認する。

(1) イグニッションキースイッチＯＮの状態で，システムが正常であることを示す，ピーという連続音を確認する。

(2) イグニッションキースイッチＯＮの状態で，全くブザー音が聞こえない場合は，システムの電源系統ハーネスが接続不良となっていることが考えられるので，再度接続状態を確認する。

(3) 一人で点検する場合は，平坦地で車止めを使用し，イグニッションスイッチＯＮの状態でＲ（リバース）レンジに入れ，ＡＴ車の場合は，シフトロック解除を押しながらＲ（リバース）レンジに入れ，車両の窓を開け，感知エリア内に立ったり，手を感知エリア内に入れてブザー音により感知機能が正常であることを確認する。

(4) 感知範囲内に障害物がないにもかかわらずブザーが感知の表示をする場合は，バンパーなどの車両部品を感知していることがあるので，センサーAssyや車両部品の取り付け状態を調整する。

復元作業

「作動確認」完了後，取りはずした部品を元通りに取り付ける。

最終確認

	確　認　項　目	チェック欄
1	取り付けに際して、取りはずした部品は元通り取り付けられているか。	
2	バックアップランプ、ターンシグナルランプ、クリアランスランプ、ストップランプは点灯及び作動するか。	

トラブルシュート

1　障害物があるのに全く作動しない

イグニッションスイッチ　ON

↓

R（リバース）レンジにシフトする

↓

コンピューターに接続したハーネスの10極コネクターを外し，サーキットテスターにて図1の端子位置をチェックする（テスター棒の㊀端子をボディーアースのこと）

NO → アース不良

↓

ブザーを外し，ブザーの2極コネクターに12Vを図2のように接続し連続に鳴るか

NO → ブザー不良

↓

名ハーネスの接続は間違いないか（特にギボシの線色に注意）

YES → コンピューター不良

図1

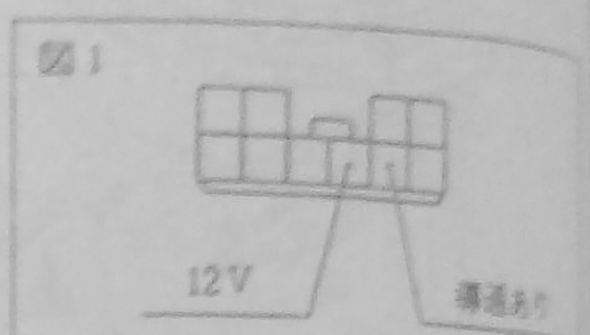
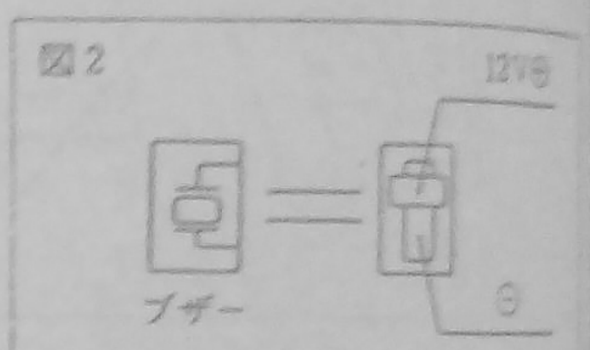


図2



2　ブザーの鳴りっぱなし及びブザーの断続音

センサーを取り付けるためのバンパー穴あけ位置は型紙通りか

NO → センサー取り付け不良

↓

センサーは，図3のように上下を正しい向きでバンパーに取り付けてあるか

NO → センサー取り付け不良

↓

センサーは，下向きに取り付いていないか

NO → センサー取り付け不良

↓

リングは，図4のように正しい向きからセンサーに取り付けてあるか

NO → リング取り付け不良

↓

プラグはリングにしっかりとはめてあるか

NO → プラグ取り付け不良

↓

プラグのセンサー用開口部とセンサーの黒いゴムは正しくはめてあるか

NO → センサー取り付け不良

↓

センサー後部からのコード（シールド線）は，引っぱられたり突っぱったりしていないか

YES → センサー不良

図3

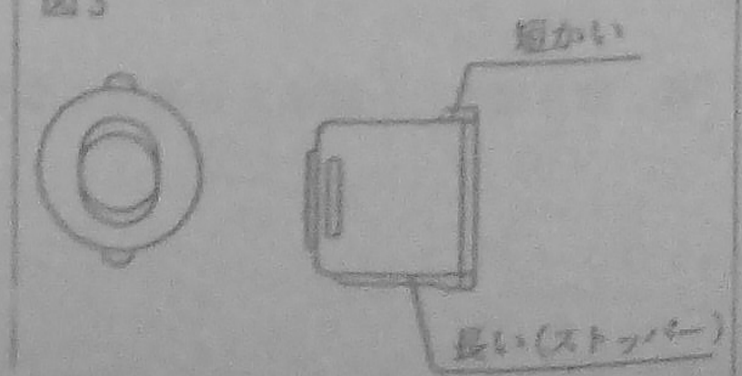
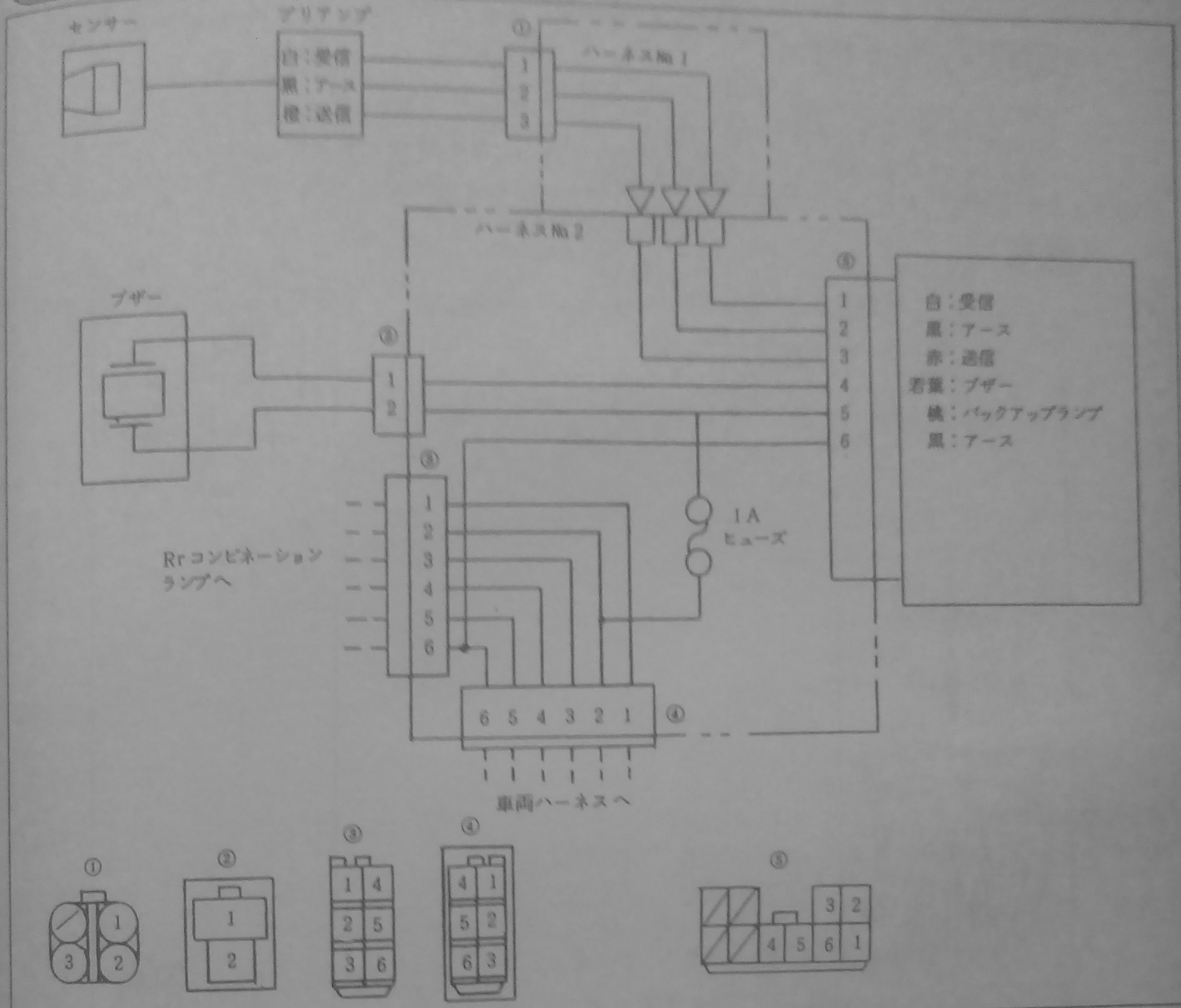


図4



配線図



仕様

項目	仕様
定格電圧	12 V
使用電圧範囲	10 V ～ 16 V
使用電力	1.2 W
使用温度範囲	－20℃～50℃
保存温度範囲	－30℃～80℃
送受信周波数	40±1 KHz
重量（アンプAssy＋コンピューター）	150 ± 10 g

注：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

取り付け店殿へのお願い

・必ずお客様に操作要領を説明してください。
・別冊（別紙）の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

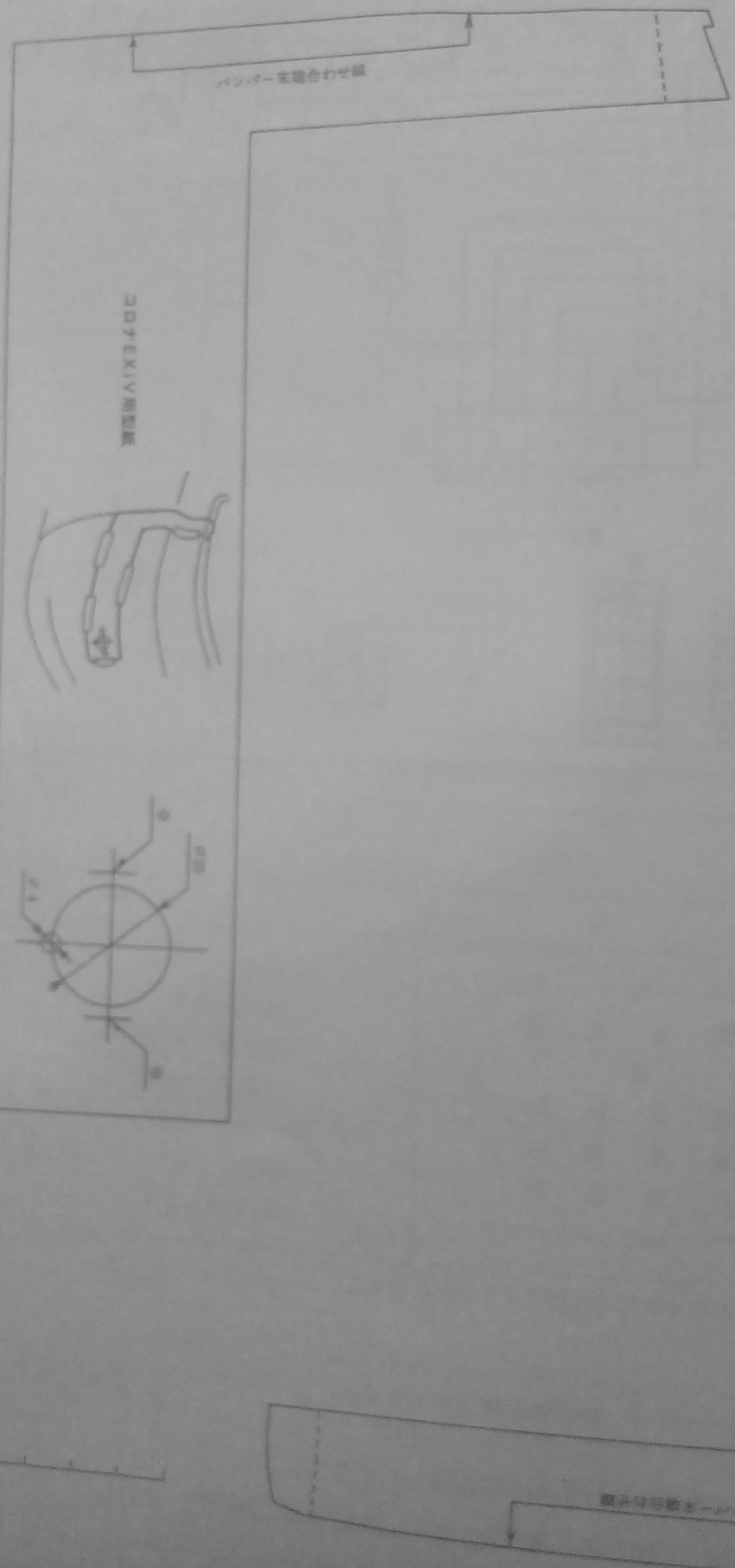
コーナーセンサー(リヤ用)

品番および適用車種

(9310)

品番	適用車種	年式
08529-20240	セリカ コロナ EXiV	1993年10月以降

型紙



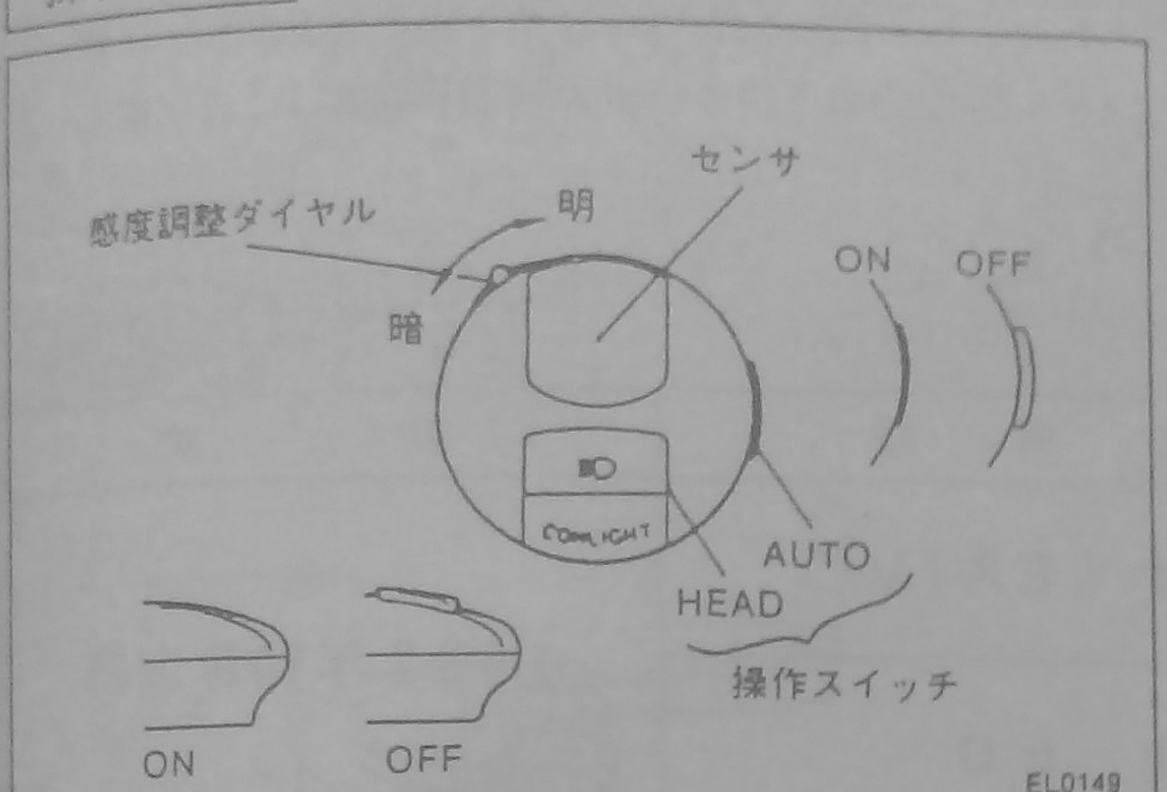
お客様用　（本書は、お客様に必ずお渡ししてください。）

EAZUL-02

トヨタ純正 コンライト 取扱説明書

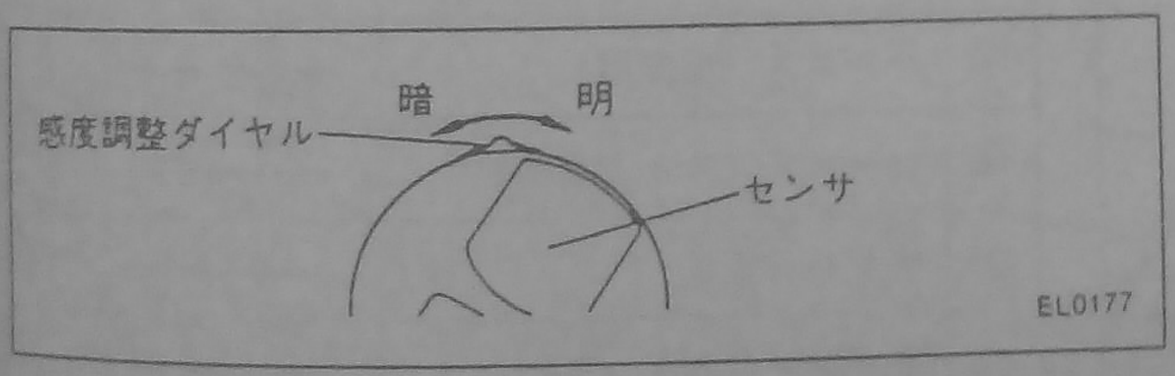
このたびは、トヨタ純正コンライトをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの説明書をお読みいただき、正しい取り扱い方法により、長くご愛用くださるようお願いします。

操作要領



操作スイッチの状態		オート作動ランプ	
AUTO	HEAD	テールランプ	ヘッドランプ
ON	OFF	○	
ON	ON	○	○
OFF	ON		

○印のランプが自動的に点灯、消灯します。



点灯作動	調整方法
暗くなってから点灯させたい	感度調整ダイヤルを暗方向に回す
明るいうちに点灯させたい	感度調整ダイヤルを明方向に回す

■　オート作動

（1）車両のライト　コントロール　スイッチが「ＯＦＦ」の位置にあることを確認します。

（2）車両のイグニッション　スイッチを「ＯＮ」の位置にします。

（3）操作スイッチを下表の状態にすることにより、周囲の明るさに応じて○印のランプが自動的に点灯・消灯を行います。

※　オート作動でご使用中はイグニッション　スイッチの「ＯＮ」「ＯＦＦ」でランプを点灯・消灯することができます。

---注　意---

・操作スイッチの「ＨＥＡＤ」のみをＯＮにしても、オート作動はしません。

・操作スイッチの「ＡＵＴＯ」がＯＮの状態でも車両のライト　コントロール　スイッチでランプを点灯することはできます。

・ヘッド　ランプのロー　ビーム、ハイ　ビームの切り替えは、手動で行います。

■　点灯感度調整

（1）感度調整ダイヤルを最も暗側の位置まで回します。

（2）夕方、希望の明るさになったら操作スイッチの「ＡＵＴＯ」をＯＮにし、感度調整ダイヤルをゆっくり明側に回して、希望するランプ（テールまたはヘッド）が点灯したところで、ダイヤルから手を離します。

---注　意---

・テール　ランプ、ヘッド　ランプは別々に調整することはできません。

・再調整する場合は、いったん操作スイッチの「ＡＵＴＯ」をＯＦＦにしてから上記（１）、（２）を繰り返します。

取り扱い上のご注意

・コンライト本体の上および周囲に物を置かないでください。

トヨタ自動車株式会社
日本電装株式会社

10M 2000 I

トヨタ純正 電動リモコンフェンダーランプ (フロント用) 取付要領書

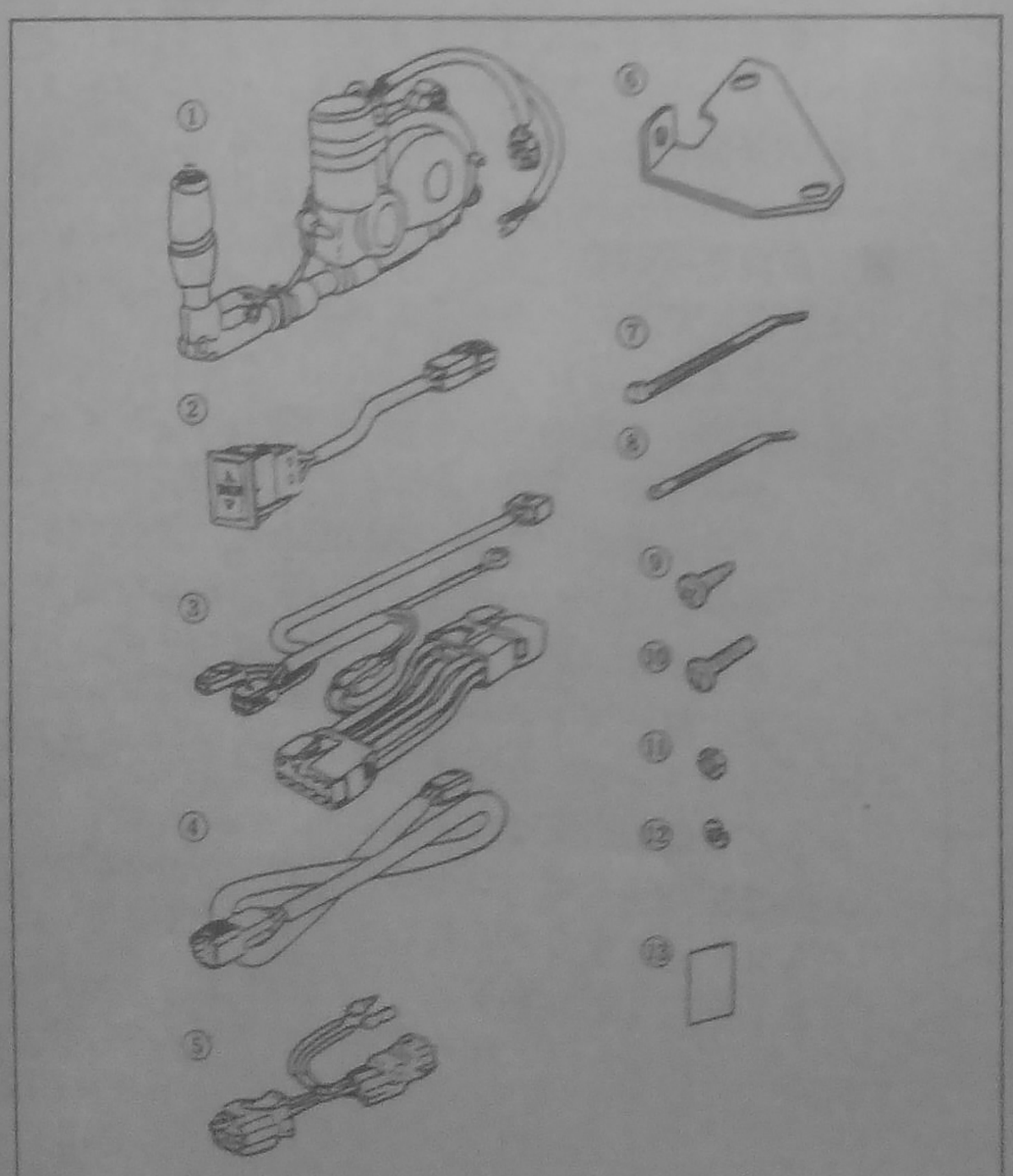
このたびはトヨタ純正電動リモコンフェンダーランプをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はトヨタコロナEXiV、カリーナEDに電動リモコンフェンダーランプを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

(9310)

品番	適用車種	年式
08519-20160	コロナ EXiV	1993年10月以降
08519-20170	カリーナ ED	

構成部品



No.	品名	品番	数
①	電動リモコン フェンダーランプAssy	———	1
②	スイッチ，フェンダーランプ	08595-00231	1
③	ハーネス（電源用）	———	1
④	ハーネス（スイッチ用）	———	1
⑤	サブハーネス	———	1
⑥	モーターブラケット	———	1
⑦	クランプ（大）	———	7
⑧	クランプ（小）	———	5
⑨	スクリュ(5×16)タッピング	———	1
⑩	スクリュ(M5×20)	———	1
⑪	ナット（M5）	———	1
⑫	ワッシャ（スプリング）	———	1
⑬	取扱書	———	1

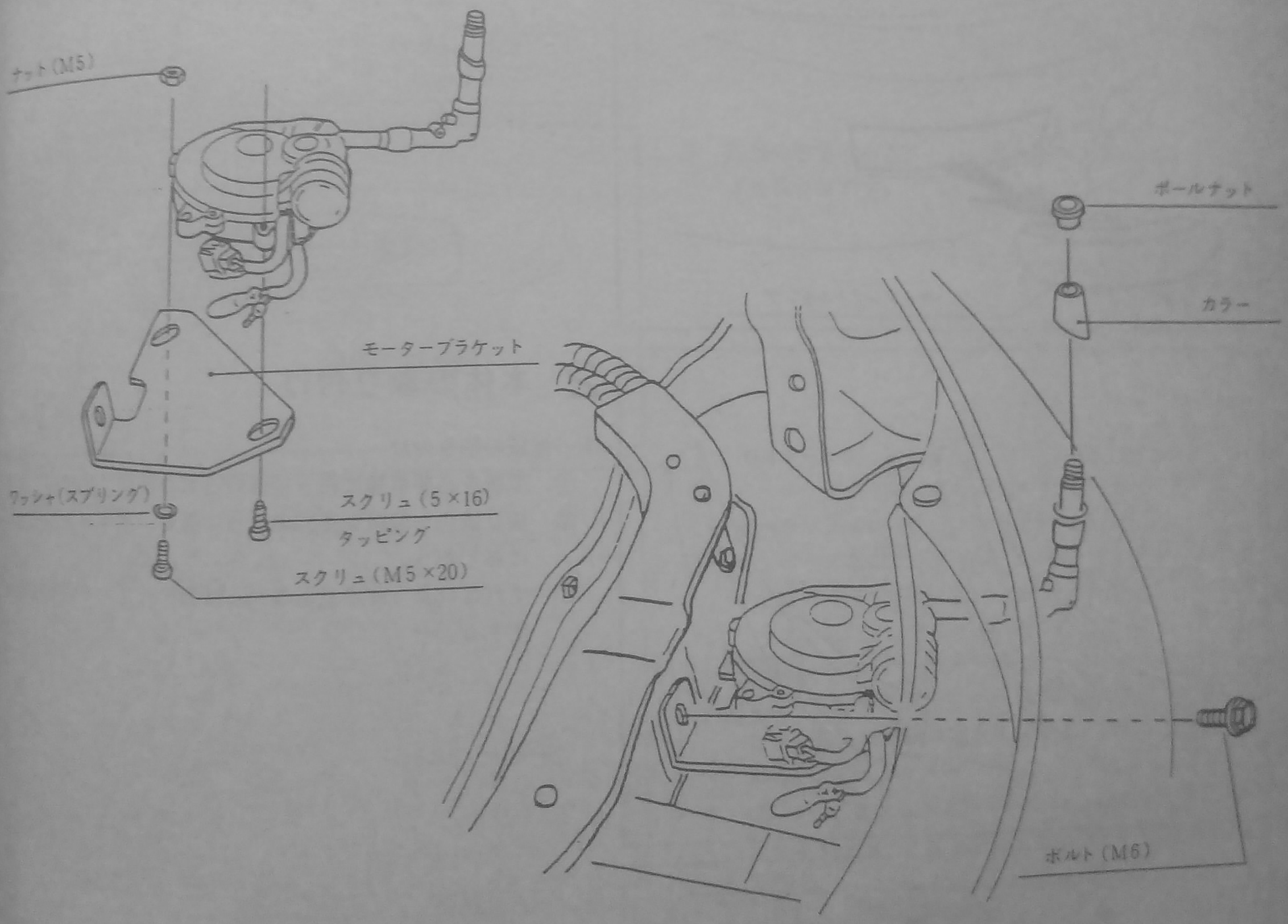
取り付け時間

1.0 H

取り付け上の注意事項

1. 取り付ける前にバッテリーの（－）側ケーブルをはずしてください。
2. 取り付ける前にボディー保護のカバーを付けてください。
3. 本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
   もし、**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
4. 車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
5. 本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

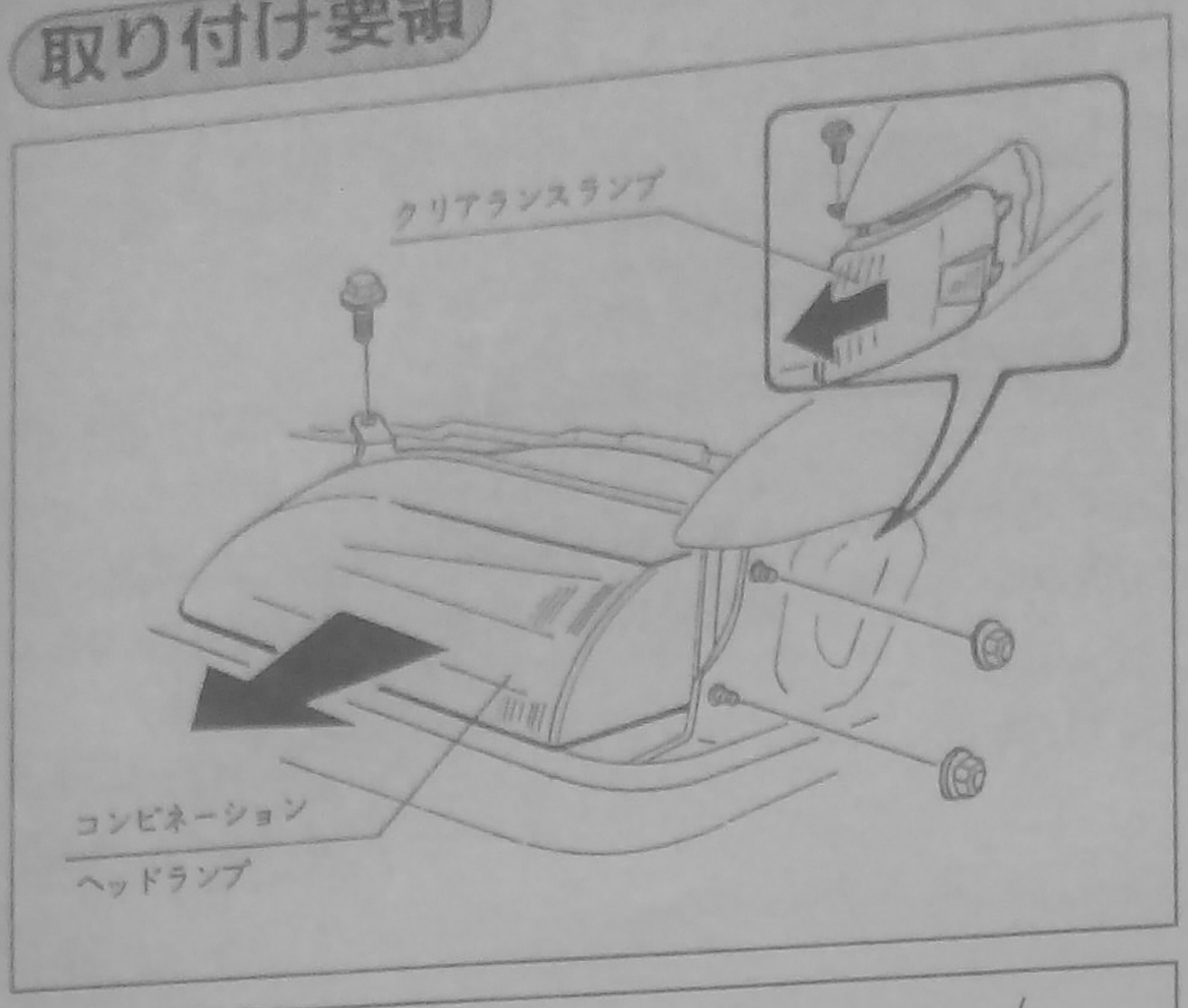
取り付け概要

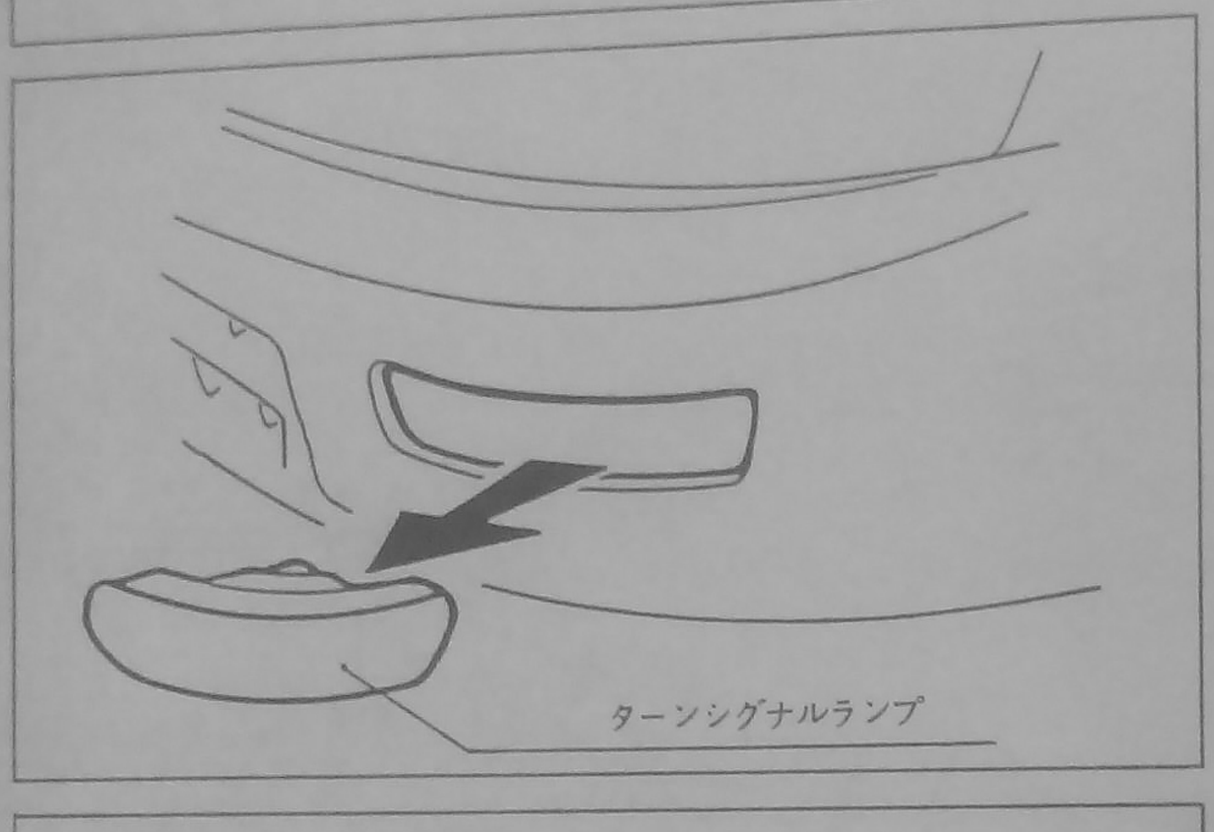


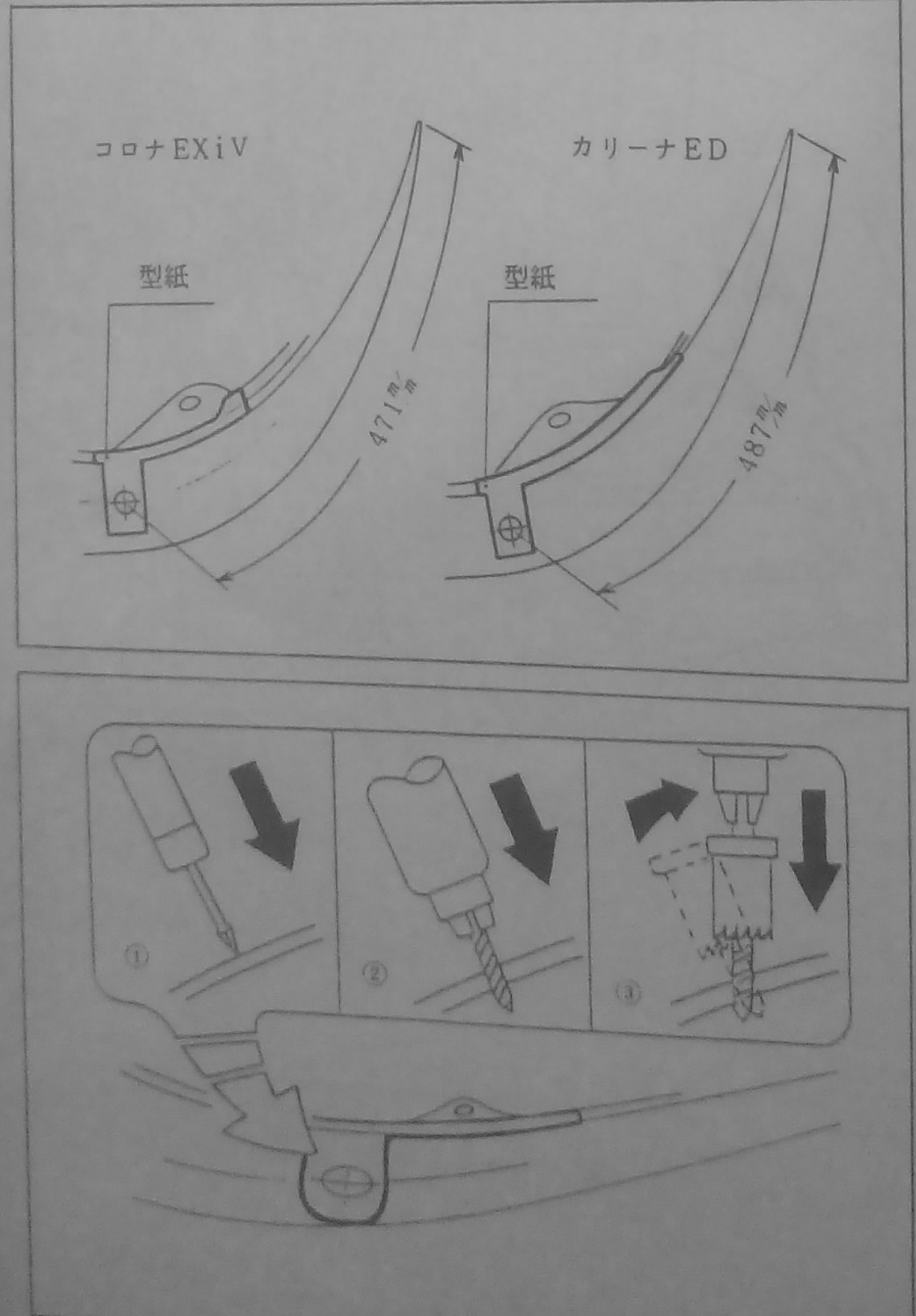
取り付けに必要な工具等

一般工具、ホールソ(φ21)、ドリル(φ3)、電動ドリル、キリ、スナップリングプライヤ、ハサミ、接着テープ、クリップリムーバ、コンベックス

取り付け要領







1 車両部品の取りはずし（室外）

下記部品を取りはずす。

(1) クリアランスランプ（左側）

① 左図枠内で示したように，クッピングスクリュをはずし，手前に引いて取りはずす。

(2) コンビネーションヘッドランプ（左側）

① 左図に示したボルトとナットをはずして取りはずす。

(3) ターンシグナルランプ（左側）

① タッピングスクリュをはずし，手前に引いて取りはずす。

2 本体の取り付け

(1) 型紙の貼り付け

① 型紙を必要車種に従って線のとおりに切り抜く。

② 切り抜いた型紙を左図のように乗せ，左コーナー上部にあてがう。

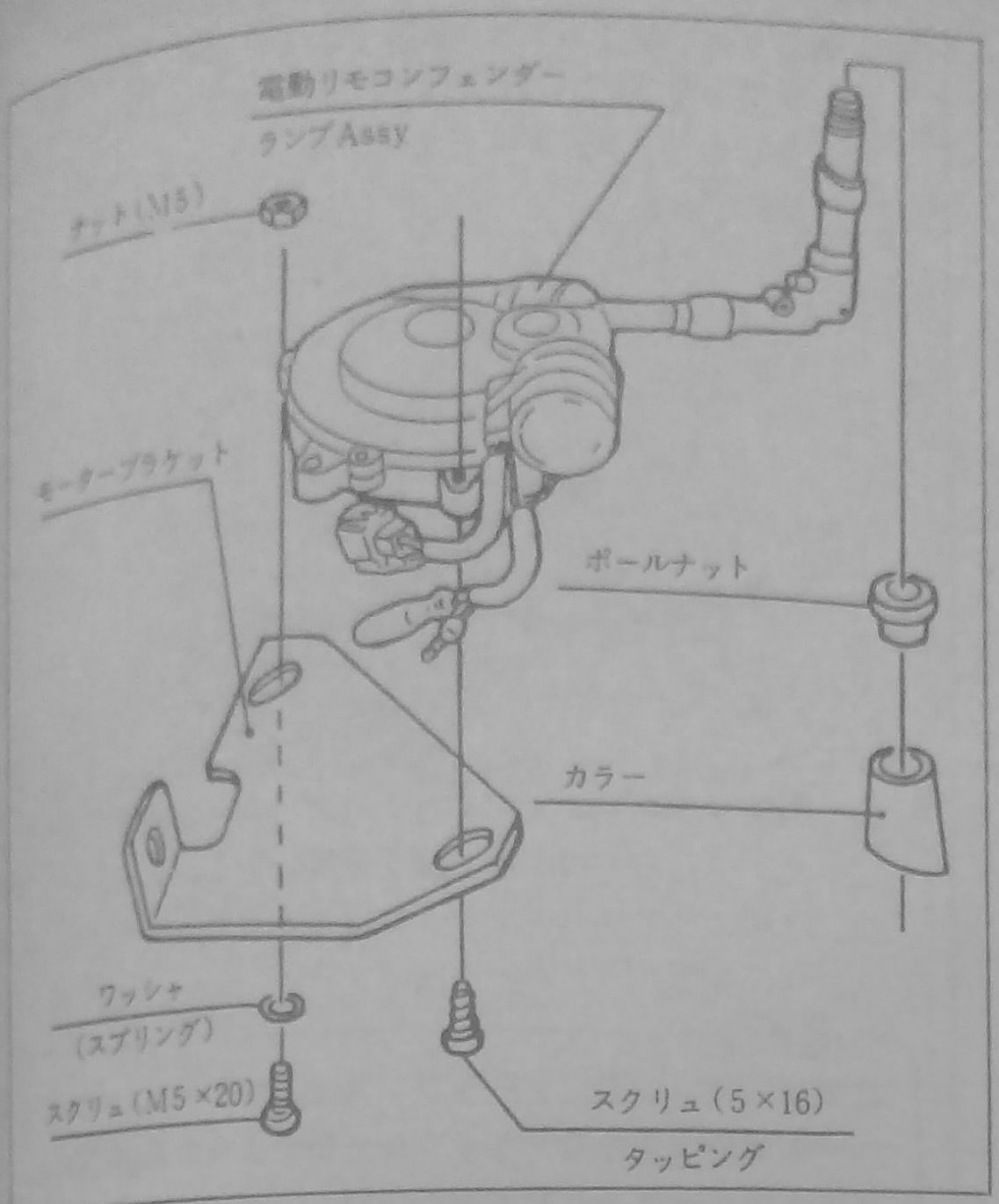
③ ずれないように注意しながら接着テープにて型紙を固定する。

(2) 穴あけ作業

① 穴あけ中心を型紙の上からキリにてマーキングする。

② 型紙をはがし，マーキング位置にφ3のドリルでガーニのR上面をすべらないよう，面直方向に下穴をあける。

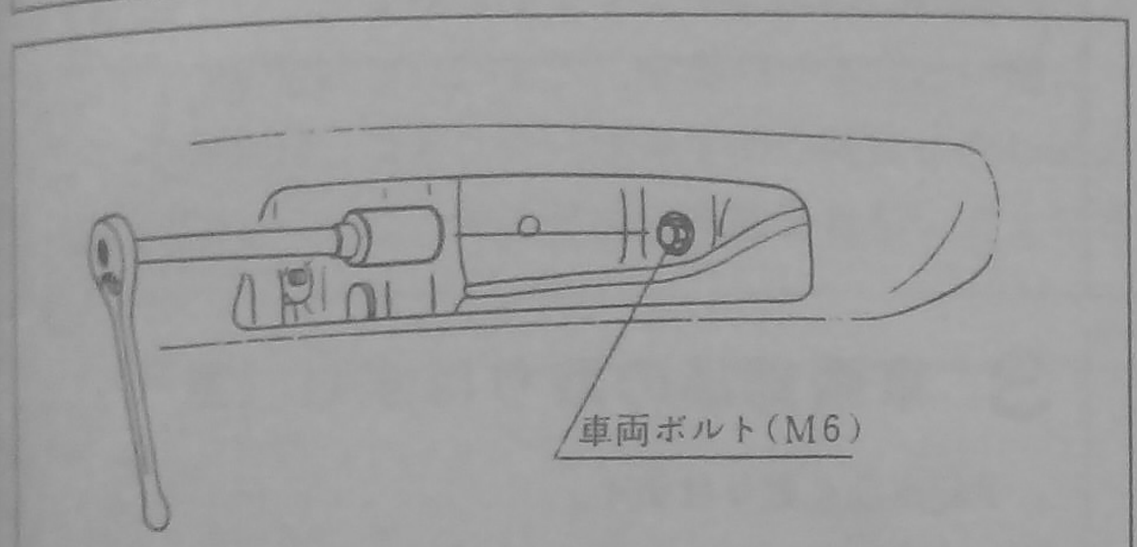
③ 下穴にφ21のホールソ先端のドリル部を面直方向にあてがい（点線）ドリル部分が貫通した後ホールソを面直方向へ引き起し（実線）穴を開ける。



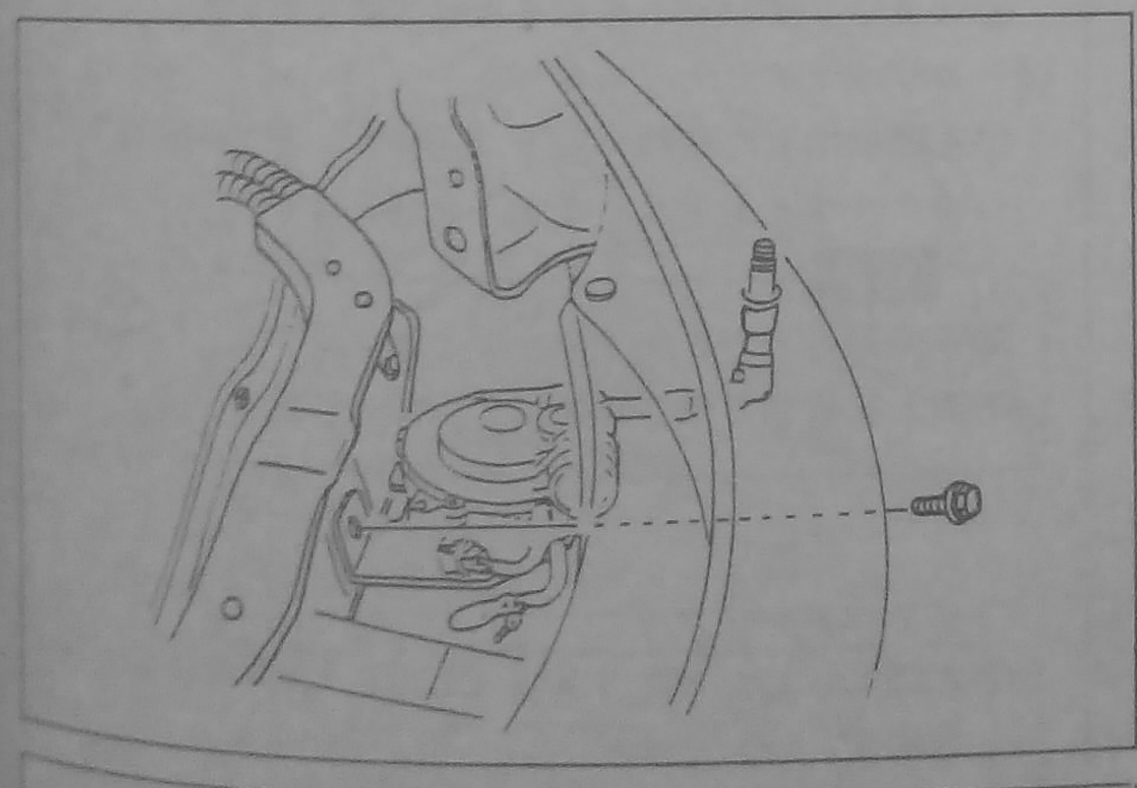
(3) 電動リモコンフェンダーランプ Assy のモーターブラケットと車両への取り付け

① 左図のように電動リモコンフェンダーランプ Assy をモーターブラケットにスクリュ、ワッシャ、ナットにて固定する。

② 左図のように電動リモコンフェンダーランプ Assy のボールナット、カラーを取りはずす。



③ 左図の位置にあるターンシグナルランプ奥の車両ボルトを取りはずす。



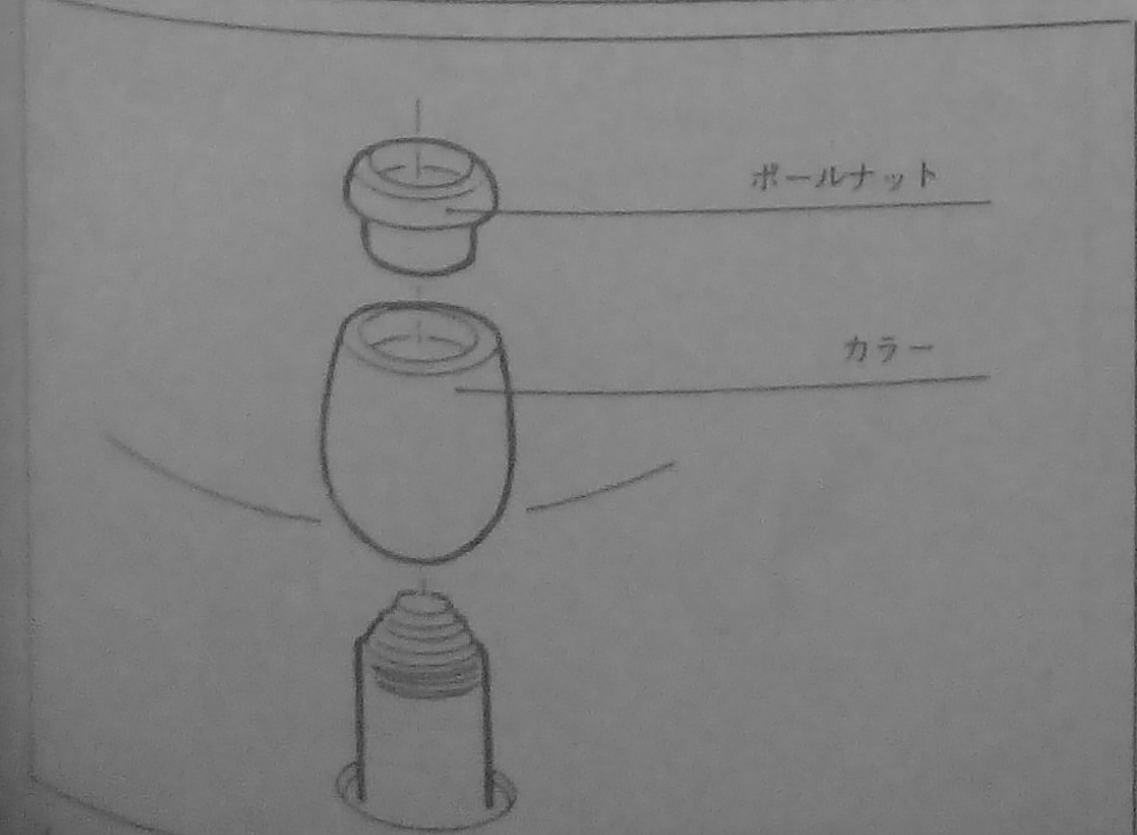
④ モーターブラケットに組み付けた電動リモコンフェンダーランプ Assy をバンパー上側から入れる。

⑤ バンパーにあけた穴からボールの先端を出し、③ではずしたボルトで左図のようにモーターブラケットを固定する。

注意

① EXiVの場合はバンパーに傾斜がありますので、カラーを入れる前に組ヤスリで上下方向を削ってください。

② モーターブラケットは水平につかなくても問題ありませんので、多少回して固定しても差しつかえありません。

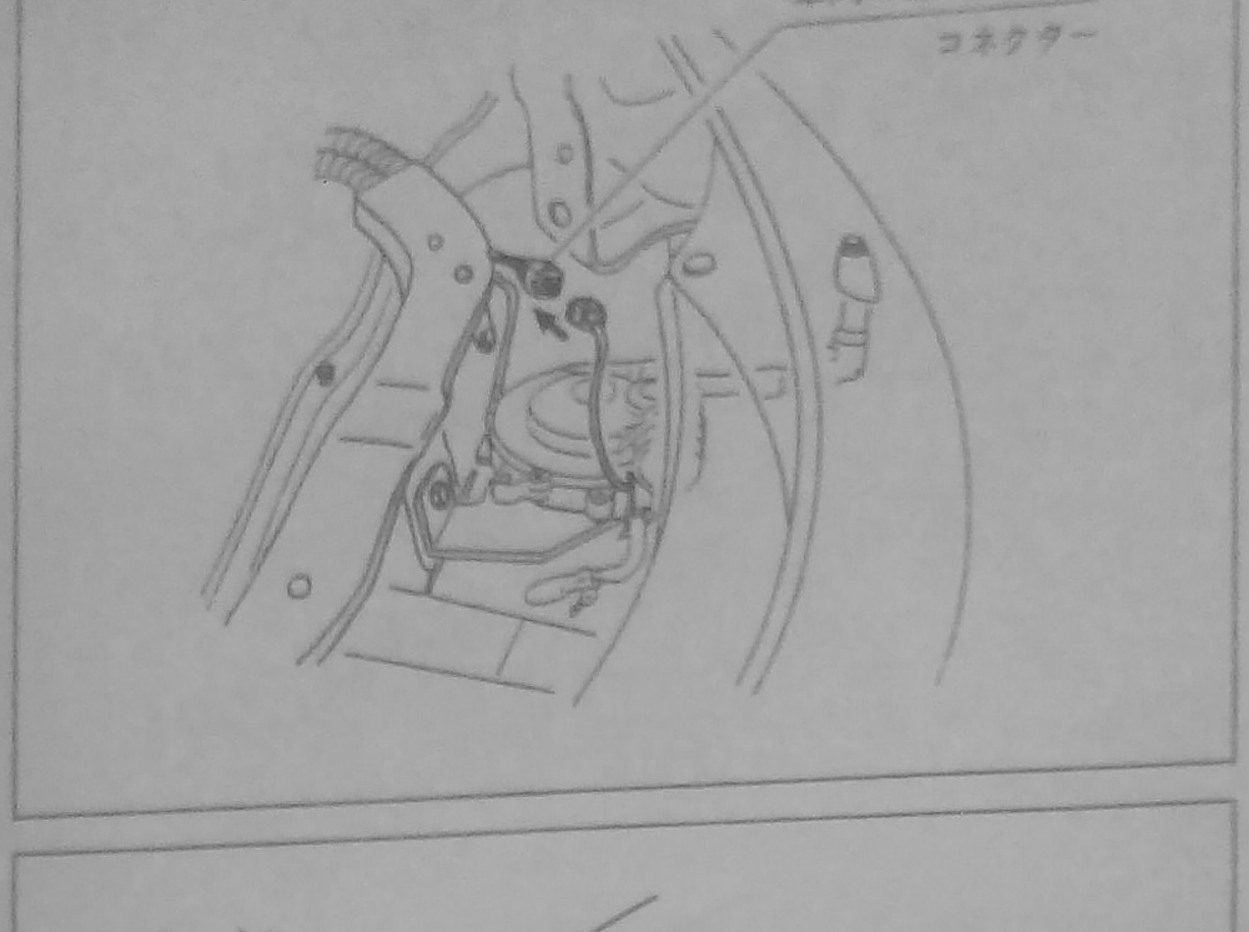


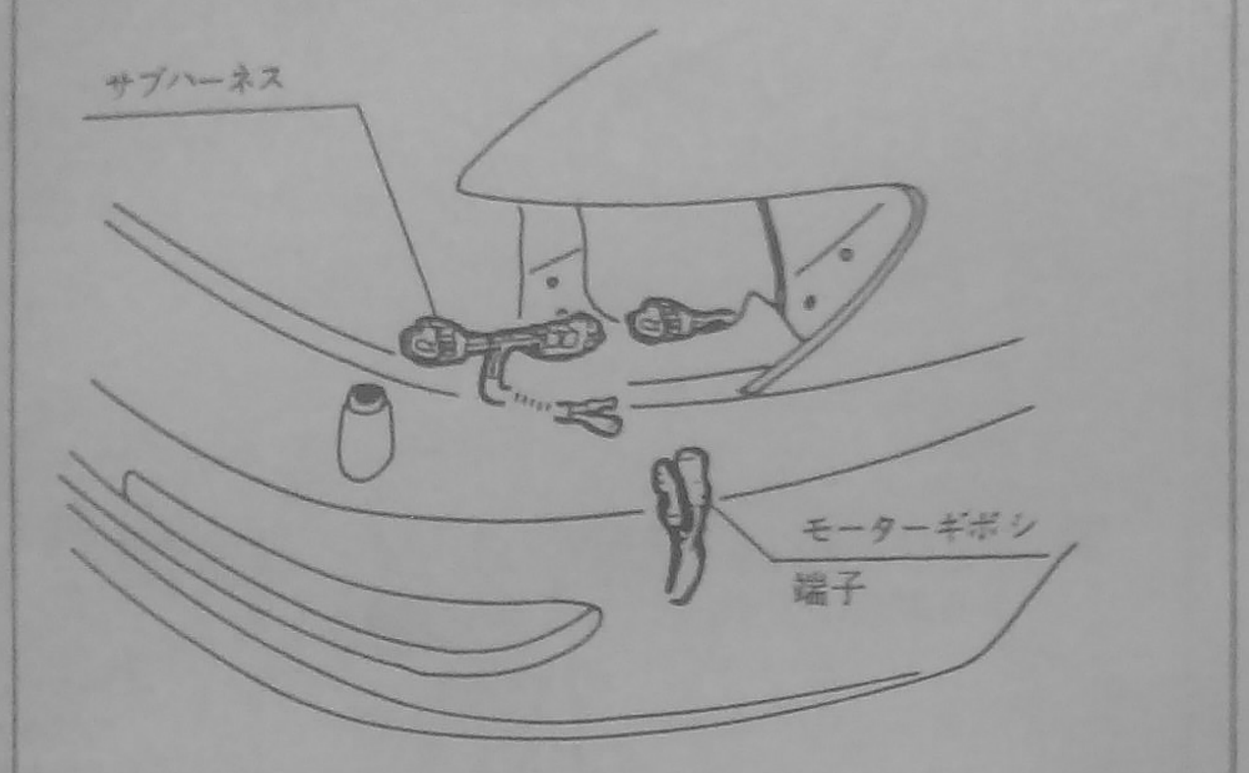
(4) ボールナット、カラーの仮止め

① バンパーカバーより突き出たボール部にカラーを入れ、ボールナットを仮止めする。

注意

カラーはバンパーカバーの傾斜に合うように左右に回して調整してください。





(5) 電動リモコンフェンダーランプAssy とハーネスの接続

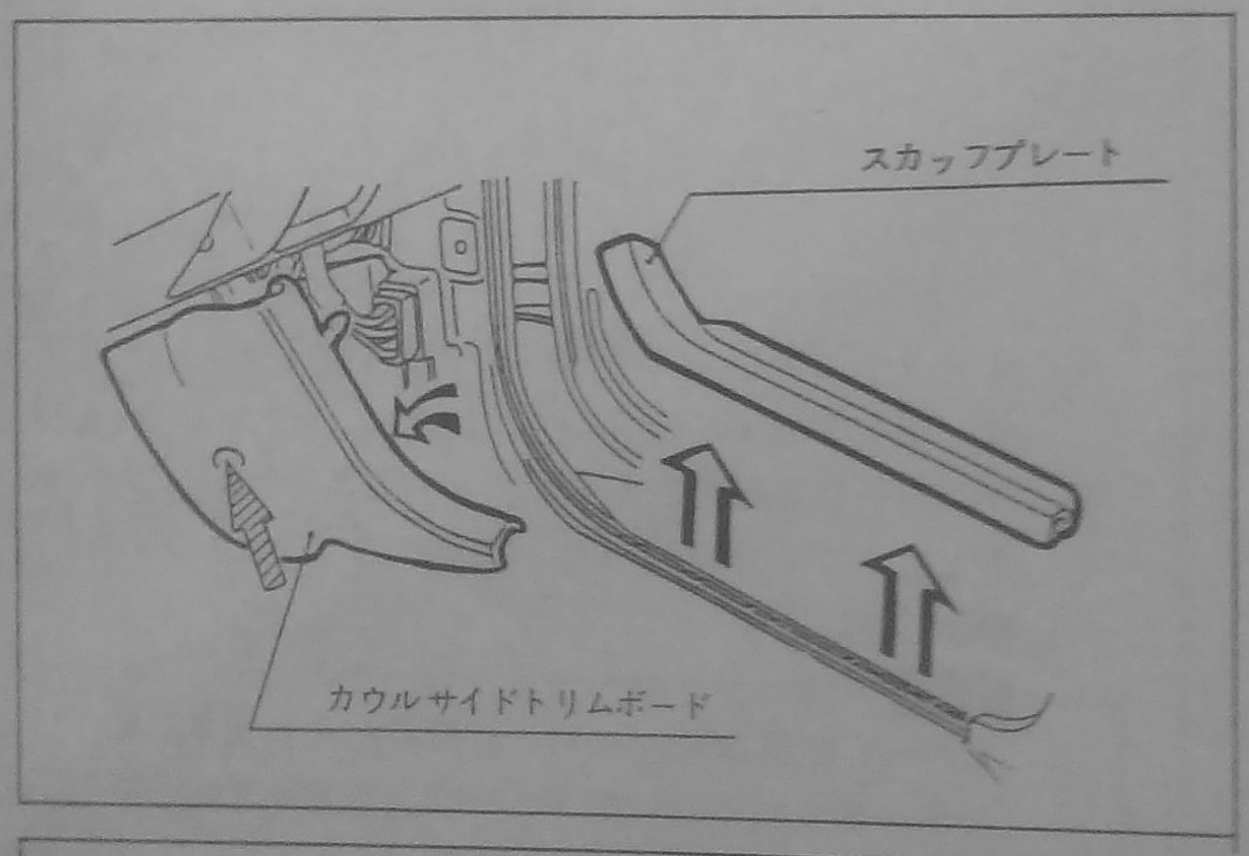
① 左図の位置にある車両4極オプションコネクターと電動リモコンフェンダーランプAssy の4極コネクターを接続する。

② 電動リモコンフェンダーランプ Assy のギボシ端子とサブハーネスのギボシ端子を接続する。

③ 車両クリアランスランプ3極コネクターとサブハーネスの3極コネクターを接続する。

注意

電動リモコンフェンダーランプAssy のハーネスやサブハーネスが余ったら，ブラブラしないように束ねて車両ハーネスにクランプしてください。



3 車両部品の取りはずし（室内）

下記部品を取りはずす。

(1) スカッフプレート

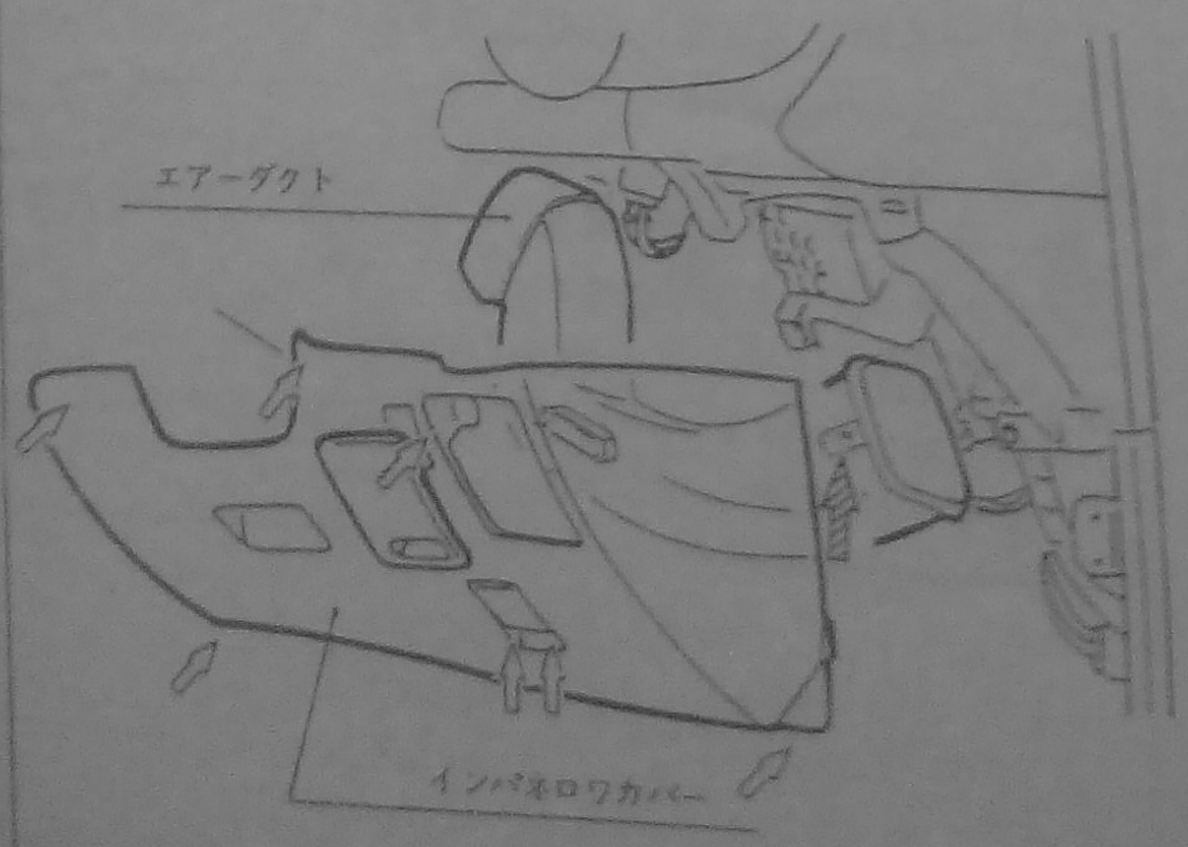
① スカッフプレートを引き上げて取りはずす。

(2) カウルサイドトリムボード

① 左図に示した樹脂ナット（ ⇨ ）1ケ所をはずして，カウルサイドトリムボードを取りはずす。

注意

助手席側のスカッフプレートとカウルサイドトリムボードも上記要領で取りはずしてください。



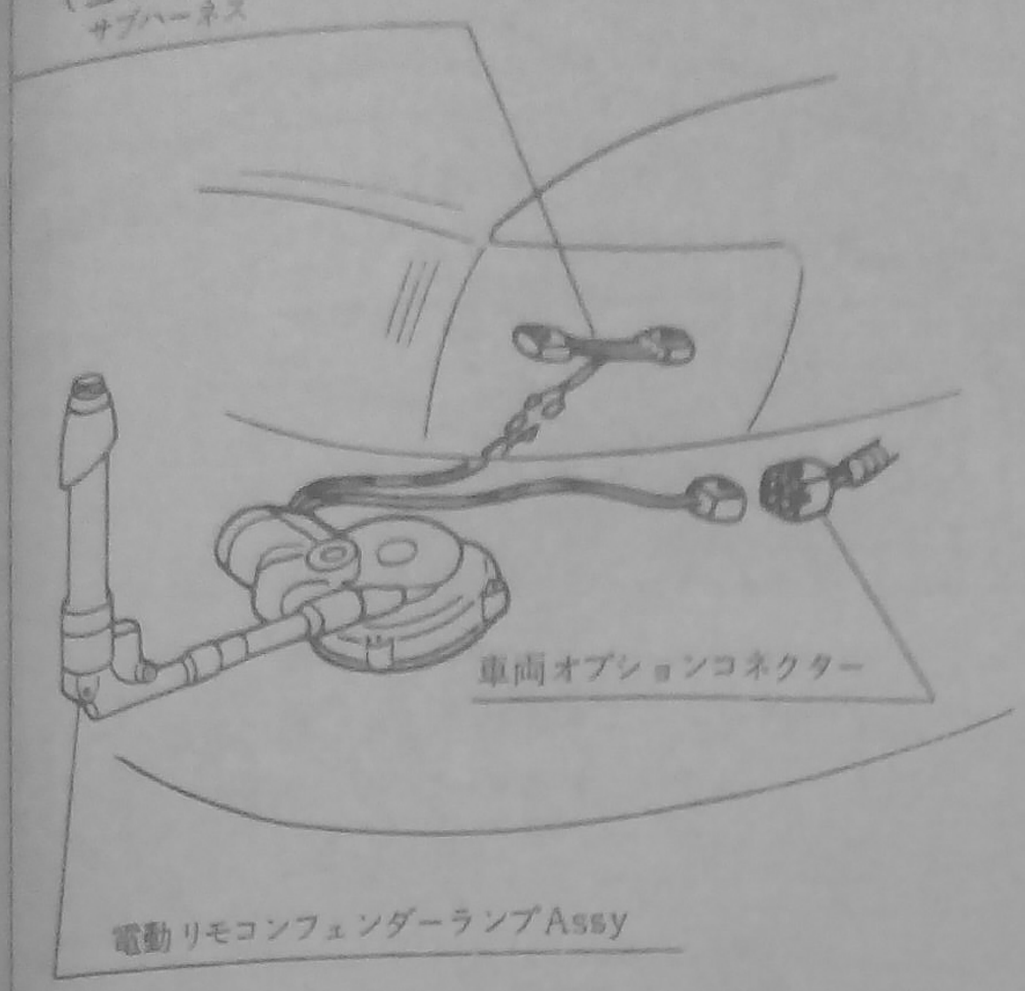
(3) インパネロワカバー

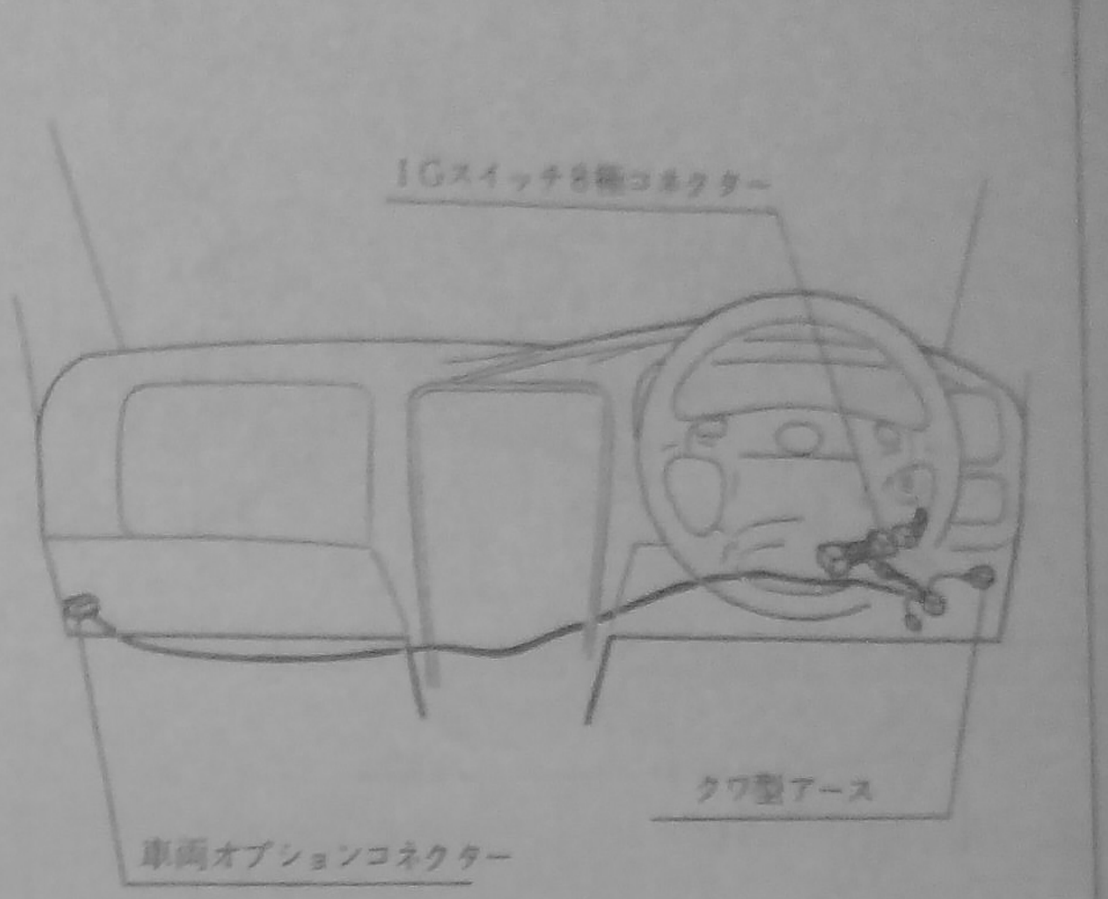
① 左図に示したスクリュ（ ⇨ ）7ケ所をはずしてはずす。

(4) エアーダクト

① 左図に示した樹脂クリップ（ ⇨ ）1ケ所をはずして取りはずす。

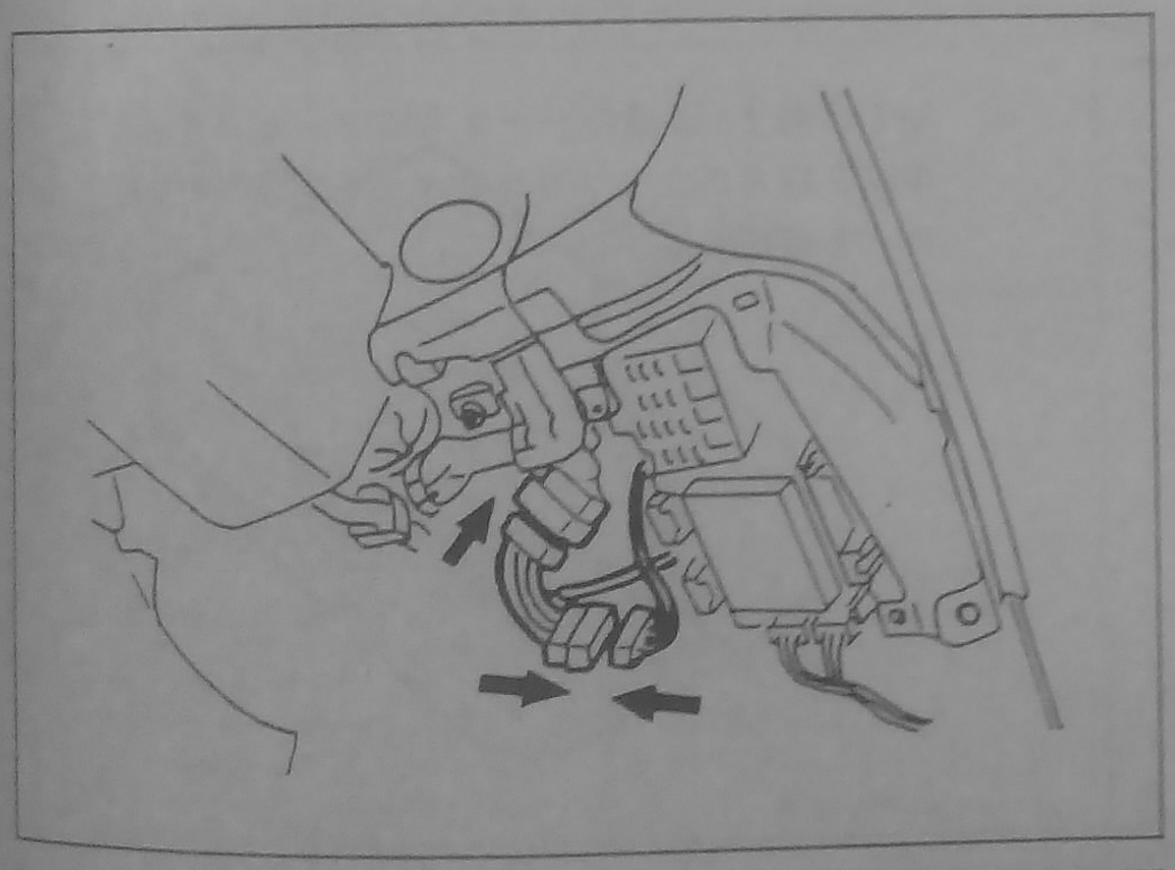
配線系統図

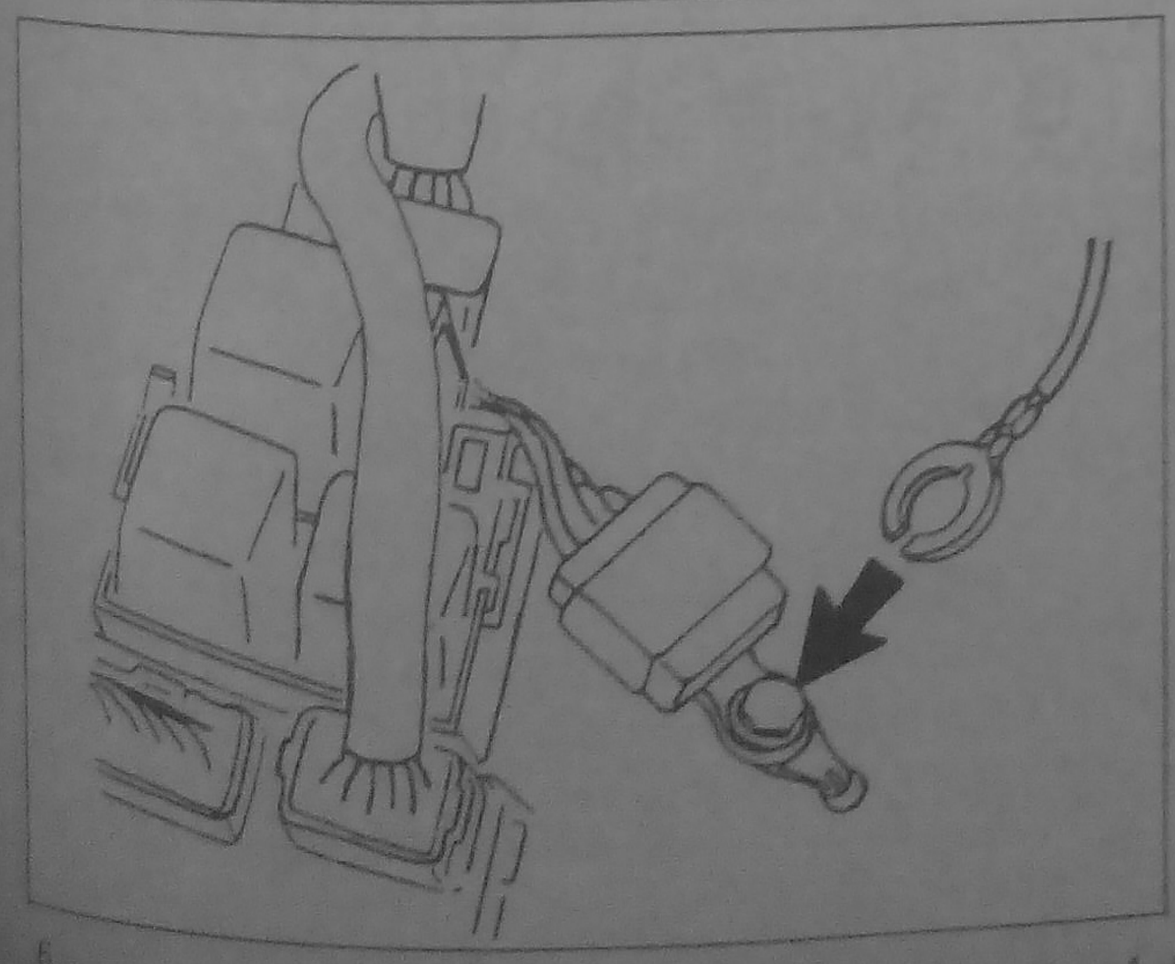




注意

電動リモコンフェンダーランプハーネスは、車両ハーネスに沿わせて配線し、ハーネスのたれ下がりやかみ込み、すれ合いなどがないように車両ハーネスと一緒にバンドで固定し、プロテクターのある部分は必ずプロテクター内を配線しコネクターは相手側へ確実に差し込んでください。また、車両ハーネスを移動した場合は、必ず元どおりにして、他の部品に接触させないでください。



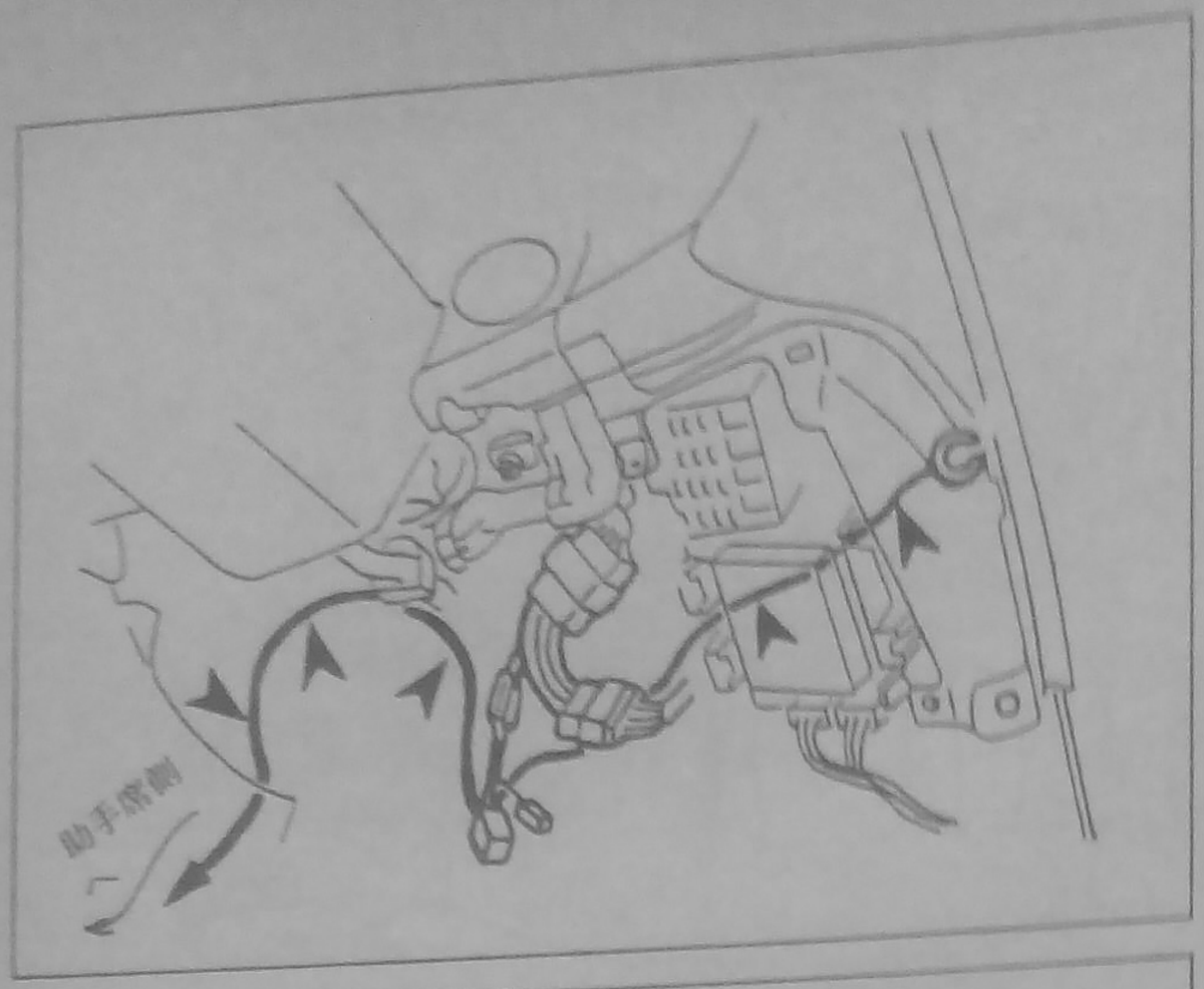


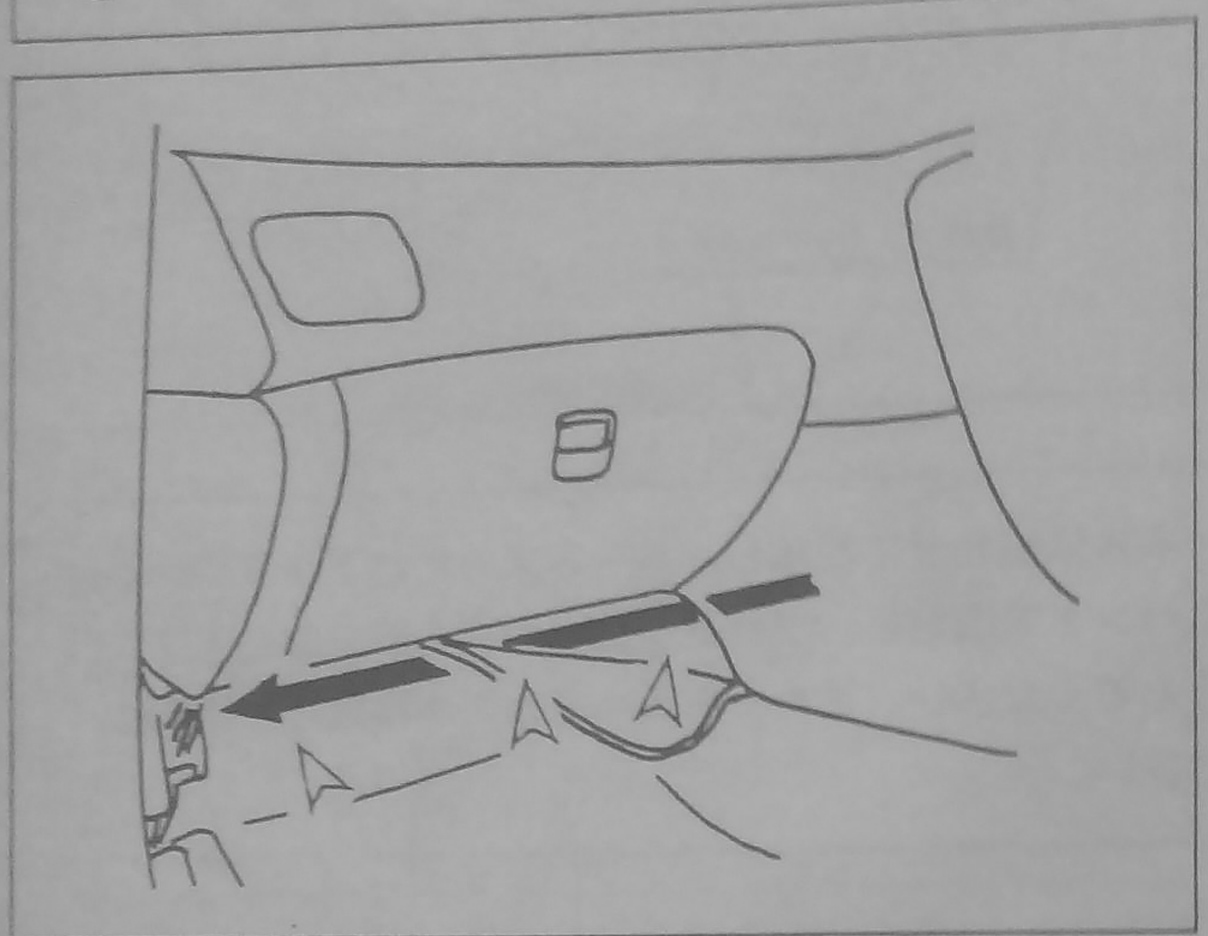
4 配線作業（室内）

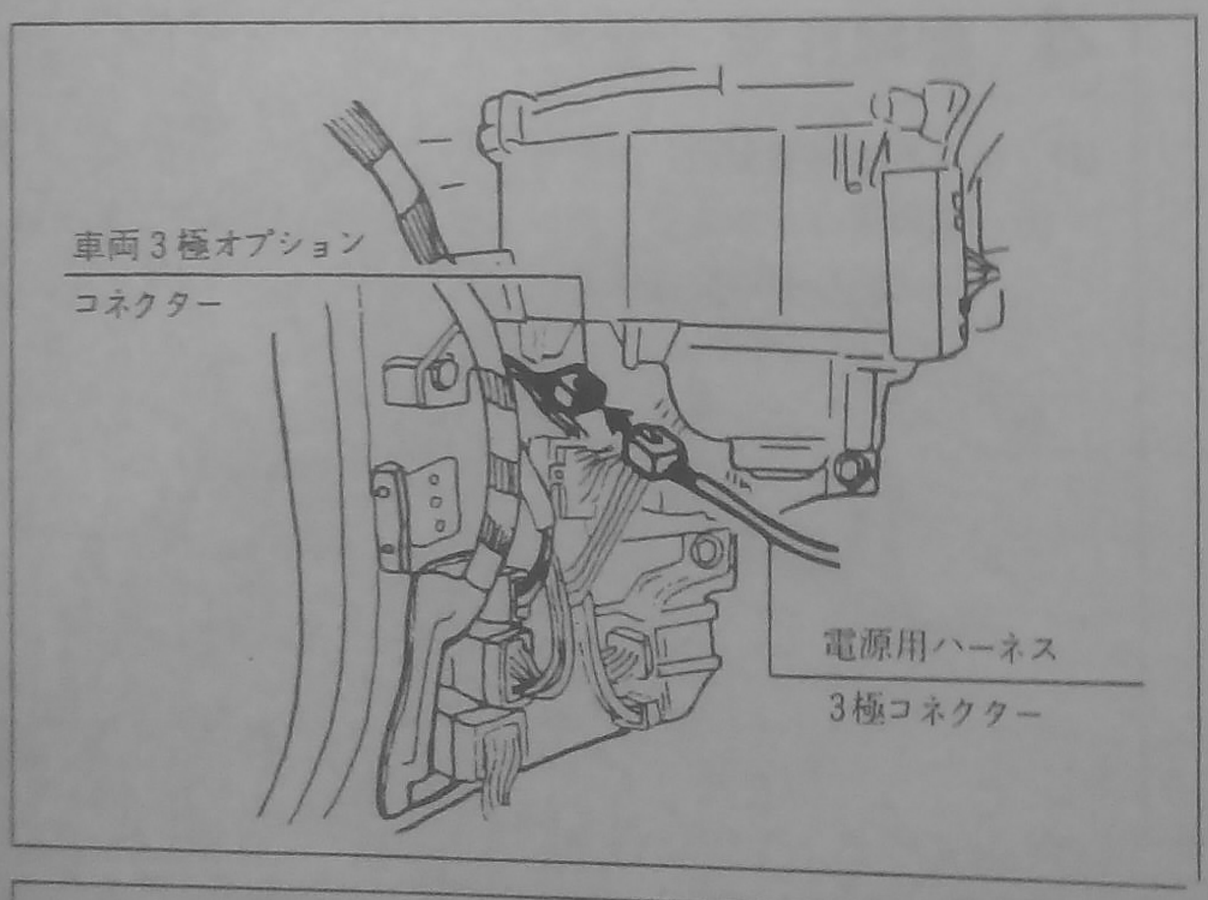
(1) ハーネス（電源用）の取りまわし

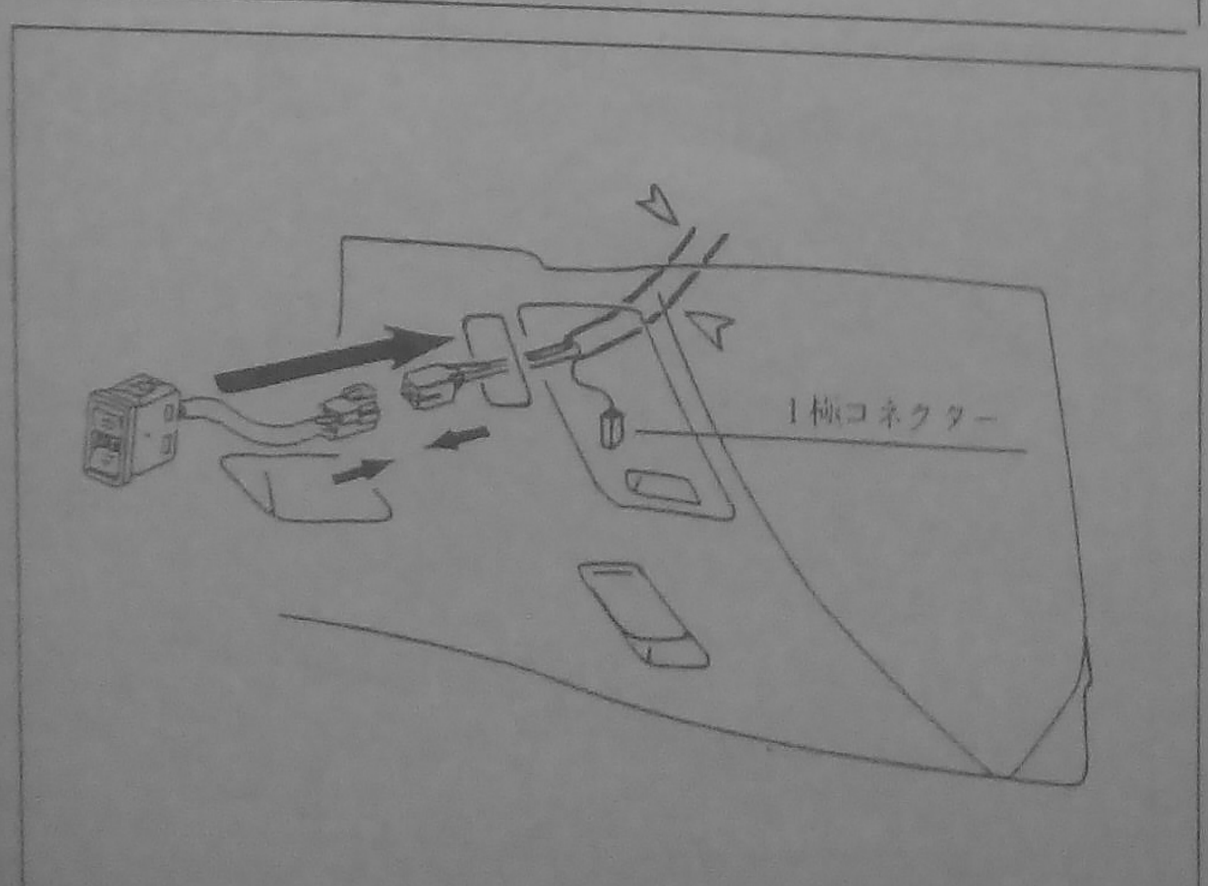
① 電源用ハーネスの8極コネクターをIGキーコネクターに割り込み配線する。

② 運転席側J/B上、左図の位置にある車両アースボルトに電源用ハーネスのクワ型アース端子を共締めする。









③ クワ型アース端子ハーネスは車両ハーネスに合わせてクランプ（小）2ケ所 ➤ にて固定する。

④ 電源用ハーネスの3極コネクターは車両ハーネスに合わせてクランプ（小）3ケ所 ➤ にて固定し、シート下側から助手席側へ導く。

注意

垂れ下がってアクセルペダルやブレーキペダルに干渉しないようにしてください。

⑤ 助手席側カーペットをめくると、奥に車両ハーネスが通っているので、車両ハーネスに沿わせてクランプ（大）3カ所 ➤ にて固定する。

⑥ 助手席側J/B奥のハーネスにテーピングされている車両3極オプションコネクターと電源用の3極コネクターを接続する。

5 スイッチの取り付け

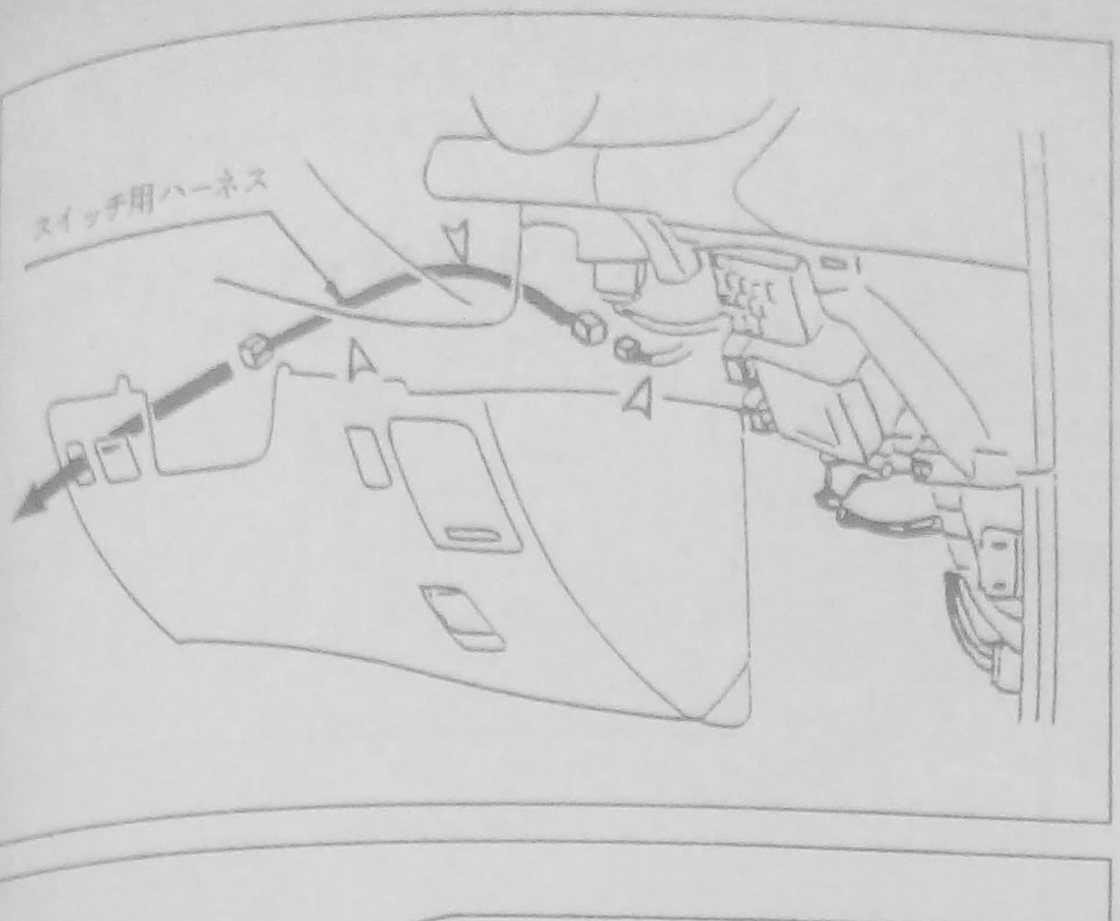
(1) ロワカバー右側のスペアホールカバーをはずし、電源用ハーネスの1極コネクターをスペアホールより引出す。

(2) スイッチの1極コネクターと接続し、スイッチをスペアホールに取り付ける。

(3) 車両ハーネスに沿わせてクランプ（大）2カ所 ➤ にて固定する。

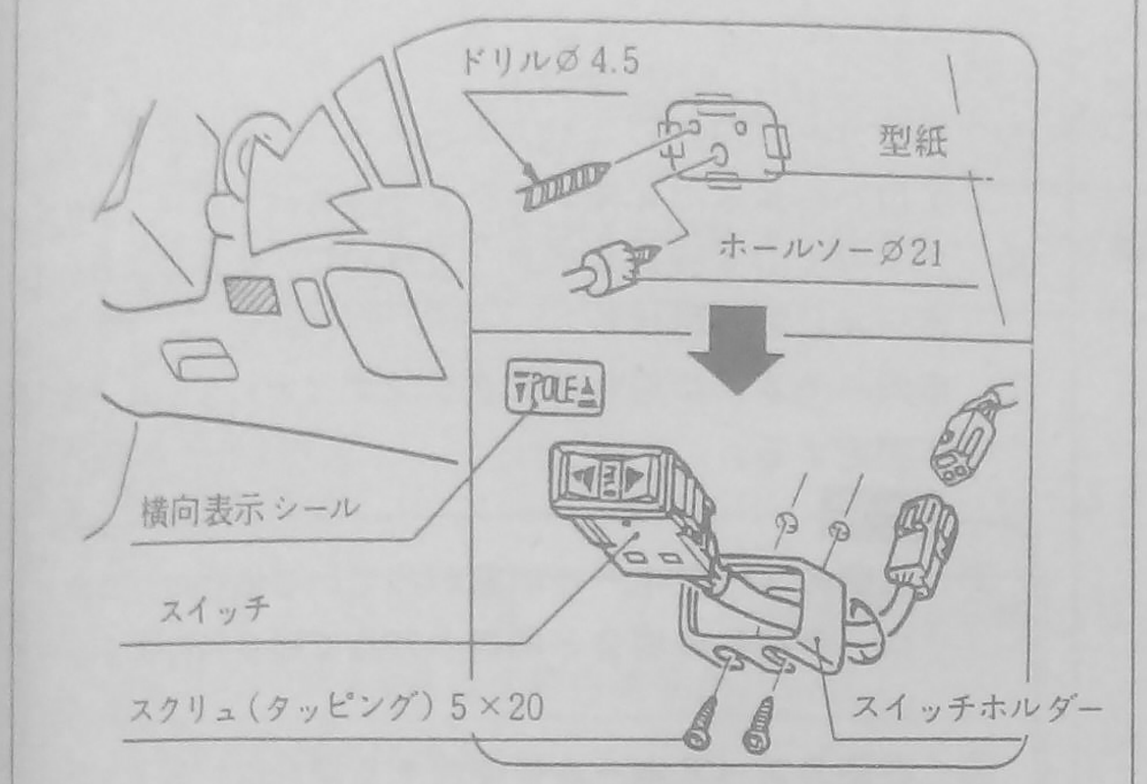
注意

電源用ハーネスの1極コネクターは別売のコントローラを取り付ける場合のみ使用しますので、不要の場合はテーピングしてください。



(4) 右側のスペアホールが他のスイッチで塞がっている場合は，左図のようにスイッチ用ハーネスを中間に割り込ませ，左側のスペアホールを利用して，スイッチを取り付ける。

(5) 車両ハーネスに沿わせてクランプ（大）3ケ所 ⊳ にて固定する。



(6) スイッチスペアホールが全て使用されている場合は，別売のスイッチホルダー（08595－00290）を使用して下記要領で取り付ける。

① インパネロアカバーの左図斜線部分に型紙を貼り，中心をキリにてマーキングする。

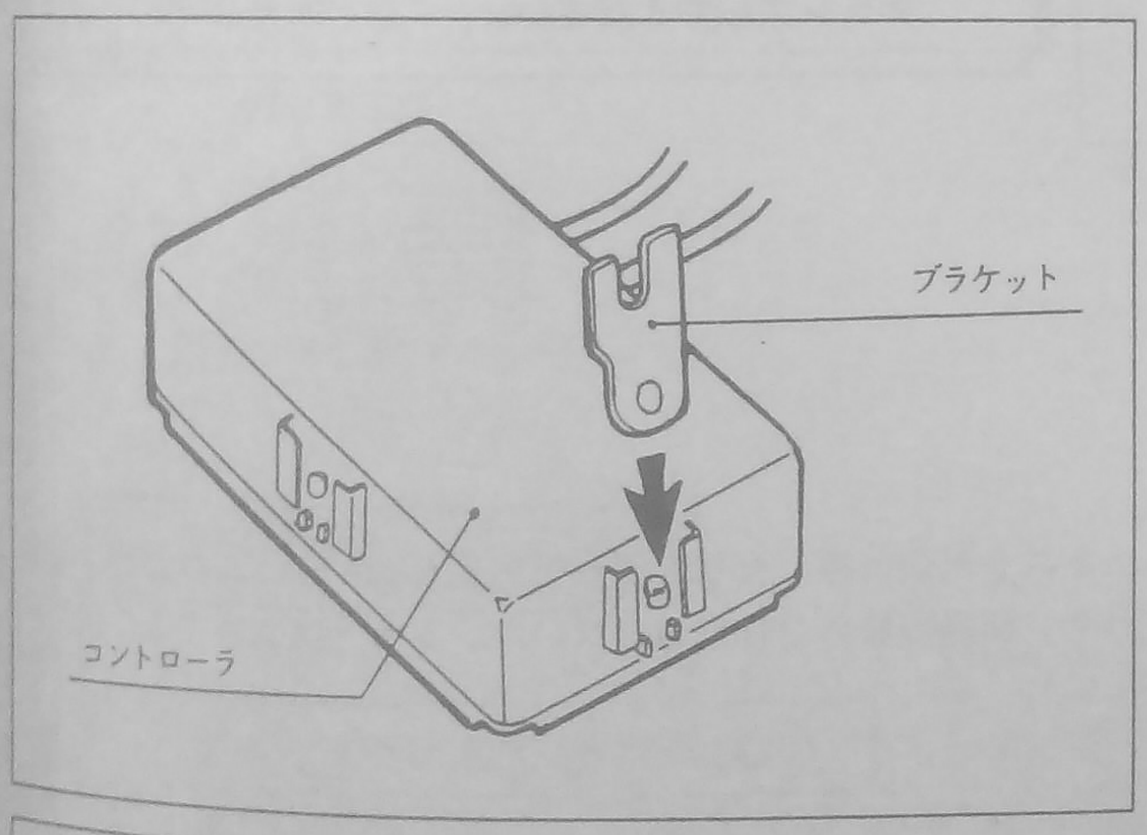
② 型紙をはずし，ドリルØ4.5とホールソØ21で穴を開ける。

③ スイッチ用ハーネスの4極コネクターをØ21の穴より出しスイッチホルダーに通す。

④ スイッチホルダーをスクリュ（タッピング）5×20にて固定する。

⑤ スイッチをスイッチホルダーに取り付ける。

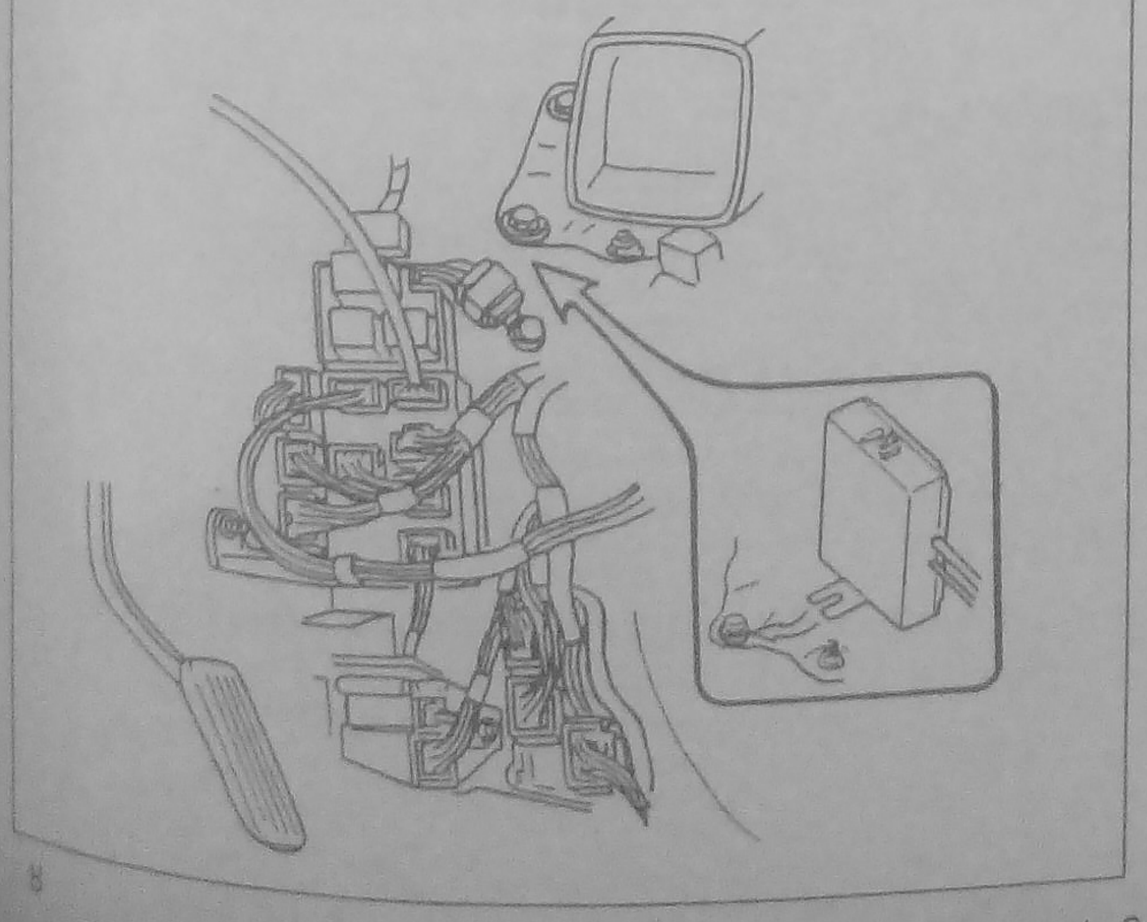
⑥ 横向き表示シールを貼る。



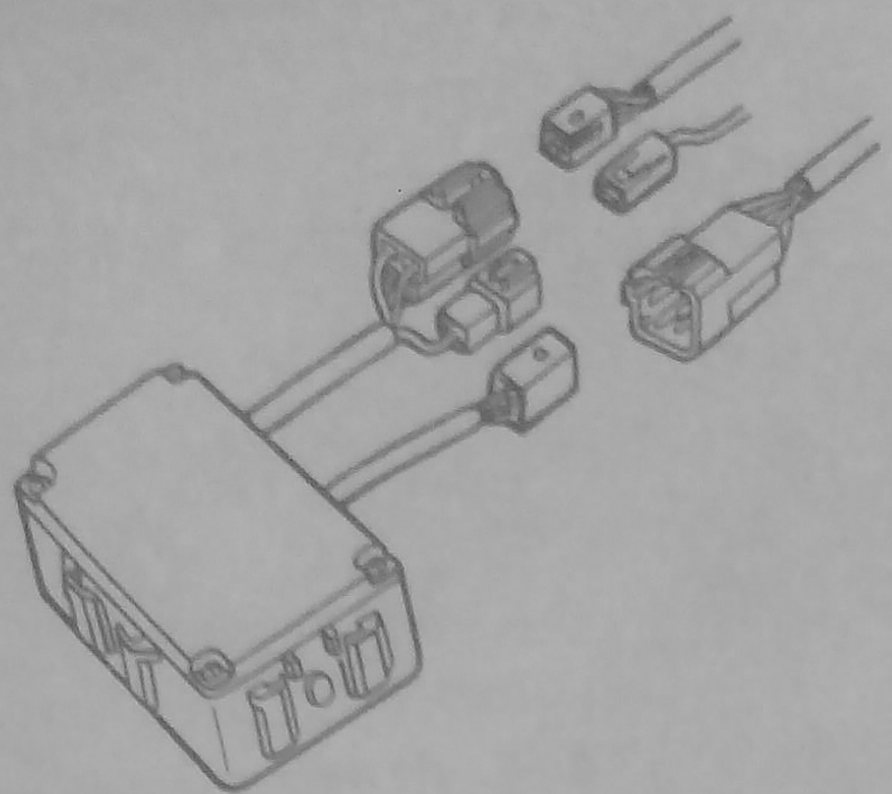
≪コントローラを使用する場合≫

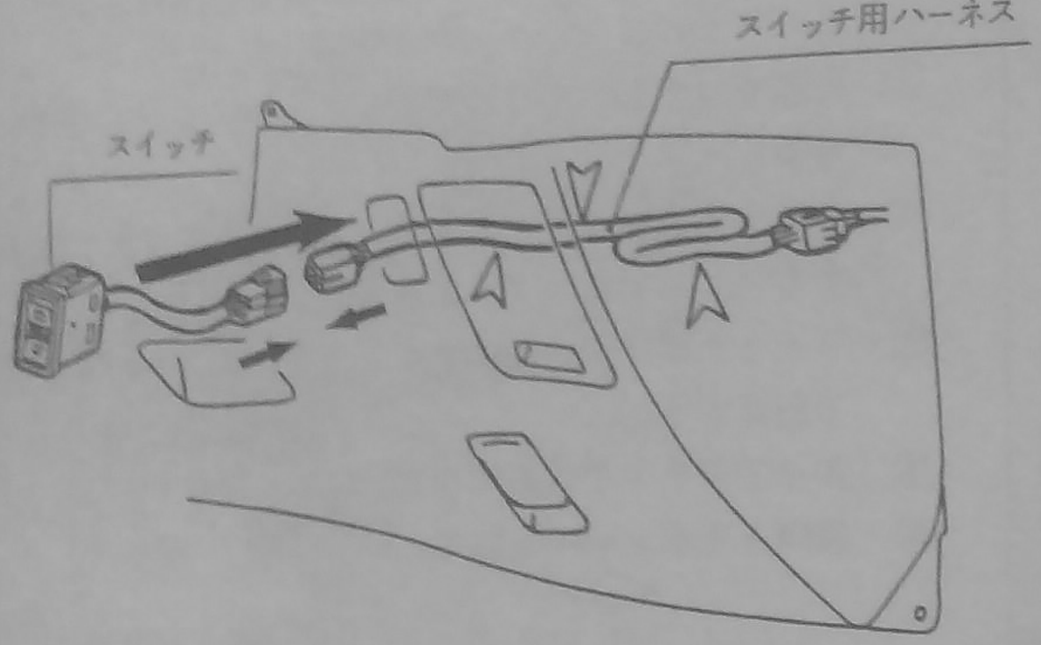
※ 別売コントローラ品番 08519－00010

(1) 左図のようにコントローラにブラケットを差し込む。



(2) 運転席側J/B上，左図の位置にあるエアーダクト横のボルトをゆるめ，コントローラを共締めする。





(3) コントローラから出ている4極と1極コネクター…
源用ハーネスの4極と1極コネクターをそれぞれ…
る。
(4) コントローラから出ている4極コネクターと，ス…
用ハーネスの4極コネクターを接続する。

(5) ロワカバー右側のスペアホールカバーをはずし，スイ…
チ用ハーネスの4極コネクターをスペアホールより…
(6) スイッチの4極コネクターと接続し，スイッチをス…
ホールに取り付ける。
(7) 車両ハーネスに沿わせてクランプ（大）3ヶ所…
て固定する。

注意

① 右側のスペアホールが塞がっている場合は，コントローラなしの場合と同様の方法で取り付けてください。
② 右側のスペアホールを使用する場合は，スイッチ用ハーネスが多少余りますので，左図のように束ねてクランプしてください。

取り付け完了後の点検

1．取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。
(2) 特に車両ハーネス及び電動リモコンフェンダーランプハーネスを無理に押したり，引っ張ったり，かみ込んだりしていないか点検すること。また，クランプおよびバンドのはずれや，部品の締め付け忘れはないか，もう一度確認すること。

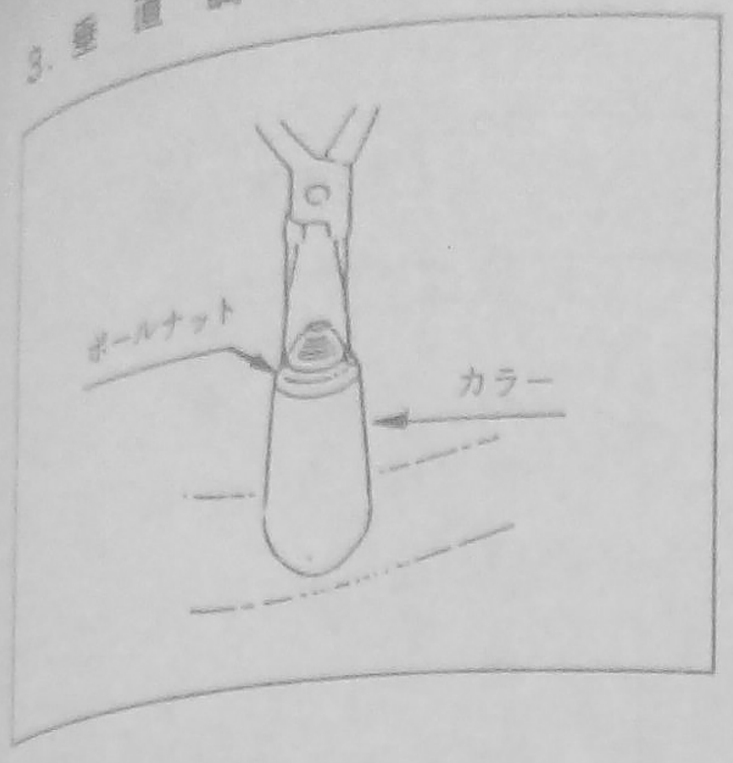
2．作 動 確 認

(1) バッテリー㊀端子を接続する。
(2) エンジンを始動し，スイッチの▲側を押すとポールが上昇し，クリアランスランプを点灯させて先端の照明が点灯することを確認する。
(3) スイッチの▼側を押すとポールが下降し，格納することを確認する。
(4) スイッチで上昇と下降を2～3度繰返してポールの作動を確認する。

※ 別売コントローラを取り付けた場合の作動確認

(1) バッテリー㊀端子を接続する。このとき，スイッチを押さないのにポールが自然に上昇してしまうことがあります。その場合は，スイッチの▼側を押してポールを下降させてください。
(2) スイッチの▲側を押してポールを上昇させる。
(3) スイッチの▼側を押すとポールが下降し，格納することを確認する。
(4) スイッチの▲側を押してポールを上昇させ，イグニッションスイッチをOFFの位置の回してエンジンを停止させる。このとき，自動的にポールが下降し，収納することを確認する。

3. 垂直調整



(1) バッテリー㊀端子を接続する。
(2) 右表操作方法にてボールを上昇させ，垂直度の調整をする。
(3) 調整方法はカラーを回して行い，ボールが垂直になったら，ボールナットをスナップリングプライヤで確実に固定する。

	電動リモコン用スイッチ	ボール作動
イグニッションキー ON	▲	上昇
	▼	下降

復元作業

「作動確認」完了後，取りはずした部品を元通りに取り付ける。

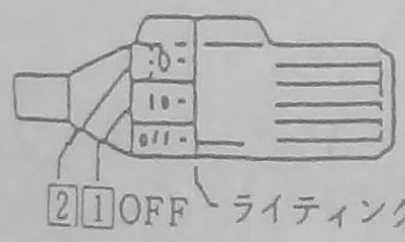
コンビネーションヘッドランプ復元後は，必ずエーミング調整（光軸調整）を行なってください。

最終確認

	確認項目	チェック欄
1	ターミナル，コネクタの接続は確実か。	
2	クランプの固定は確実か。	
3	コードがブラブラしていないか。	
4	ランプは確実に取り付けられているか。	

(1) フォグランプ，ターンシグナルランプ，クリアランスランプは，点灯及び作動するか。
(2) フェンダーランプは点灯するか。
フェンダーランプは左図点灯方法にて，ボールが上昇すると点灯し，下降すると消灯する。

〈点灯方法〉



ライティングスイッチ 1 および 2 の位置にて点灯する。

トラブルシュート

スイッチを入れても作動しない

↓

イグニッションスイッチ　ON

↓

コネクターは確実に接続されており，ヒューズは正常ですか。 —NO→ コネクターを確実に接続し，ヒューズを確認してください。

↓ YES

電動リモコンフェンダーランプ Assy のコネクターを外し，黄色線にプラスコードを，青色線にマイナスコードを接続して12Vを印加するとボールが上昇しますか。 —↓ NO→ 電動リモコンフェンダーランプ Assy 不良

↓ YES

コントローラー　不良

点灯しない

点灯用サブハーネスは確実に接続されていますか。

NO → 点灯用サブハーネスを確実に接続してください。

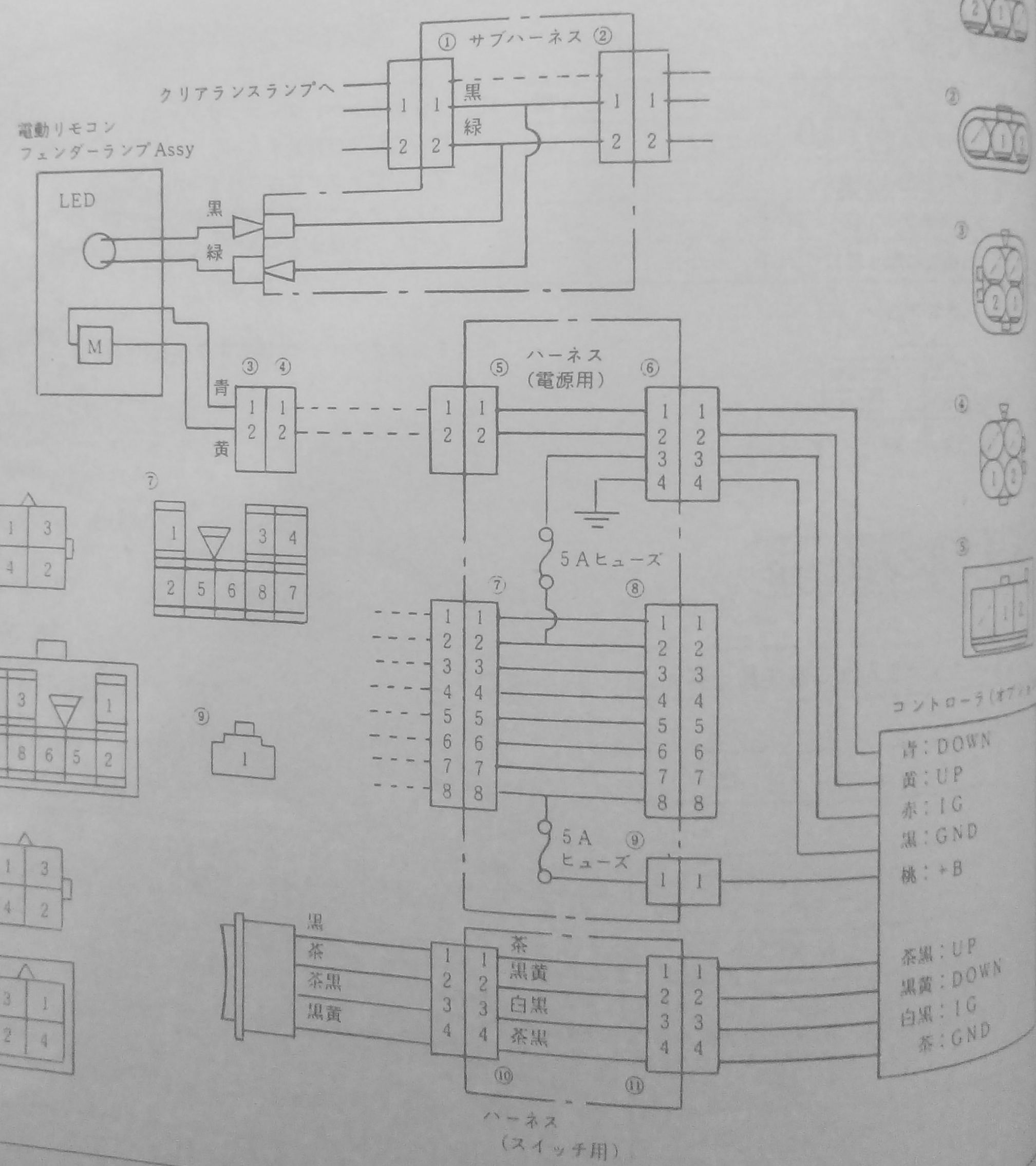
↓YES

ポール上昇時に点灯しない。

↓YES

電動リモコンフェンダーランプAssy不良

配線図

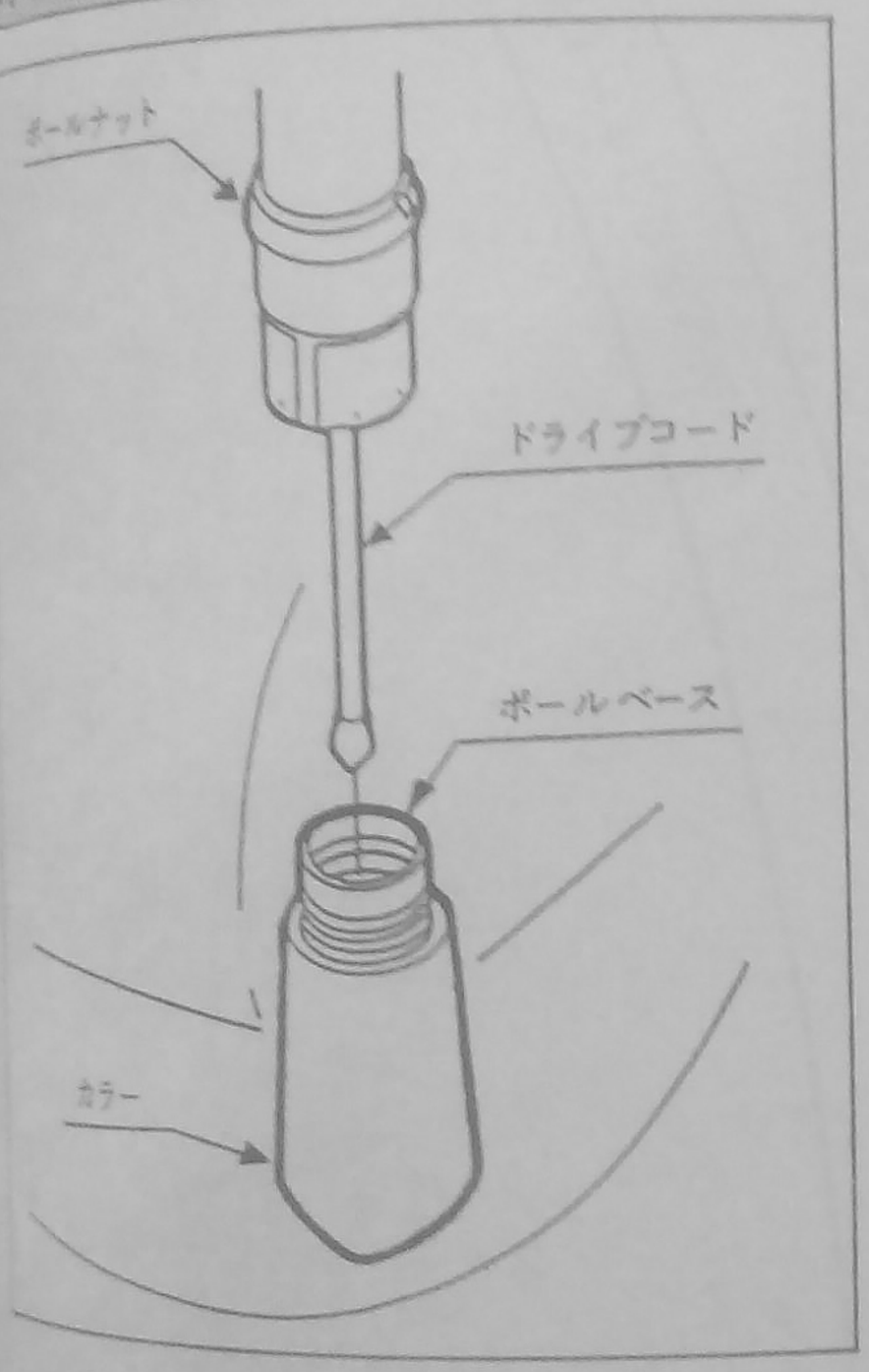


仕様

項目			仕様
主な使用条件	格納電圧		DC 12.0 V
	格納電力		30 W（MAX時）
	使用電圧	範囲	DC 10.0 V～16 V
	使用温度	範囲	－30 ℃～＋80 ℃（凍結解除後）
重量			385 g（電動リモコンフェンダーランプAssy 単体重量）
光源			LED

※：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

ポールの交換作業について



◉万一，ポールが曲がったら（ポールの交換方法）作業は２名で行なう。

補給品番　08511－30060 ポールサブAssy

08516－12010 ポールナット

コントローラーを接続してある車両は下記作業を先に行う。

・コントローラーに接続してある，ハーネスNo２の４極コネクター（メス）とハーネスNo３の４極コネクター（オス）をコントローラーからはずす。

・外した各ハーネスの４極コネクター（オス，メス）を接続する。

① ポールナットを取りはずす。

② スイッチ▲を押す。

③ ポールが上昇してきたら，素早く持ち，軽く引き気味にしながらポールのドライブコードを本体より引き抜く。

④※もし，途中で引っかかったりした場合は，無理に引き抜かず，一度スイッチを▼に押し，③の作業を再度行なう。

④ 新しいポールのドライブコードを，ポールベース内部に約150㎜差し込む。

⑤ スイッチを▼に押しながら，さらにドライブコードを押し込む。

※この作業では絶対に▲スイッチを押さないこと。

⑥ ドライブコードを巻き込み始めたら，ポール最下部のスリーブをポールベースに差し込み，ポールナットを固定する。

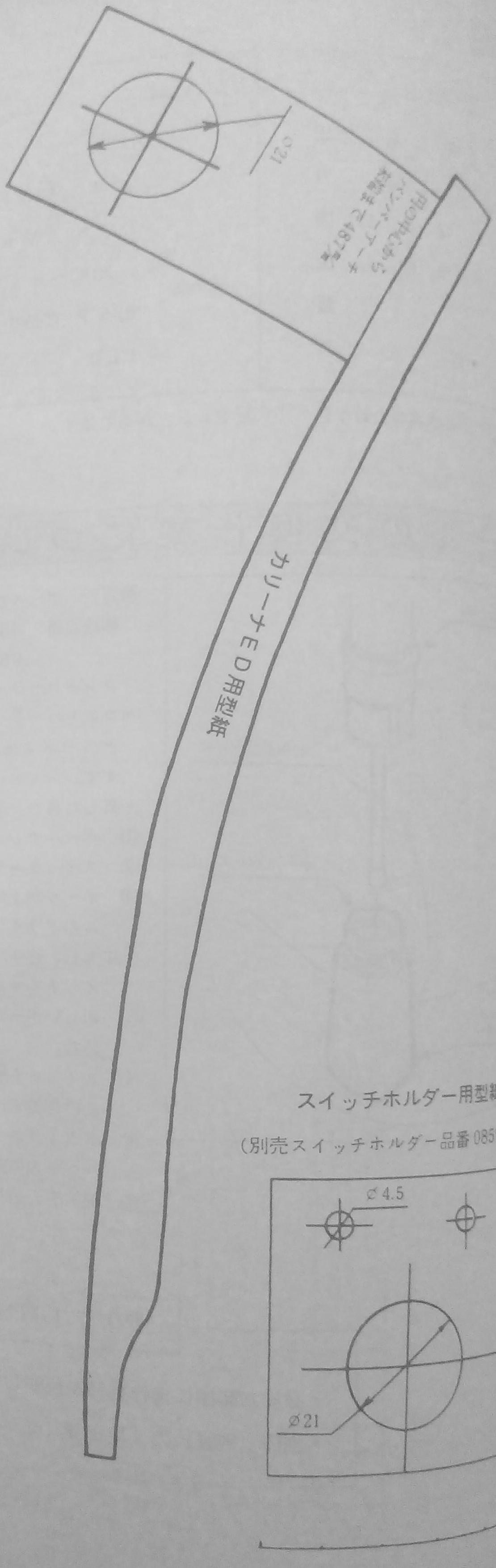
⑦ 配線を元通りに接続し，▲▼の確認をする。

取り付け店舗へのお願い

・必ずお客様に操作要領を説明してください。

・別冊（別紙）の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

型紙



スイッチホルダー用型紙

（別売スイッチホルダー品番 08595-00[illegible]

トヨタ純正

(11405)

ドアオープニングブライト

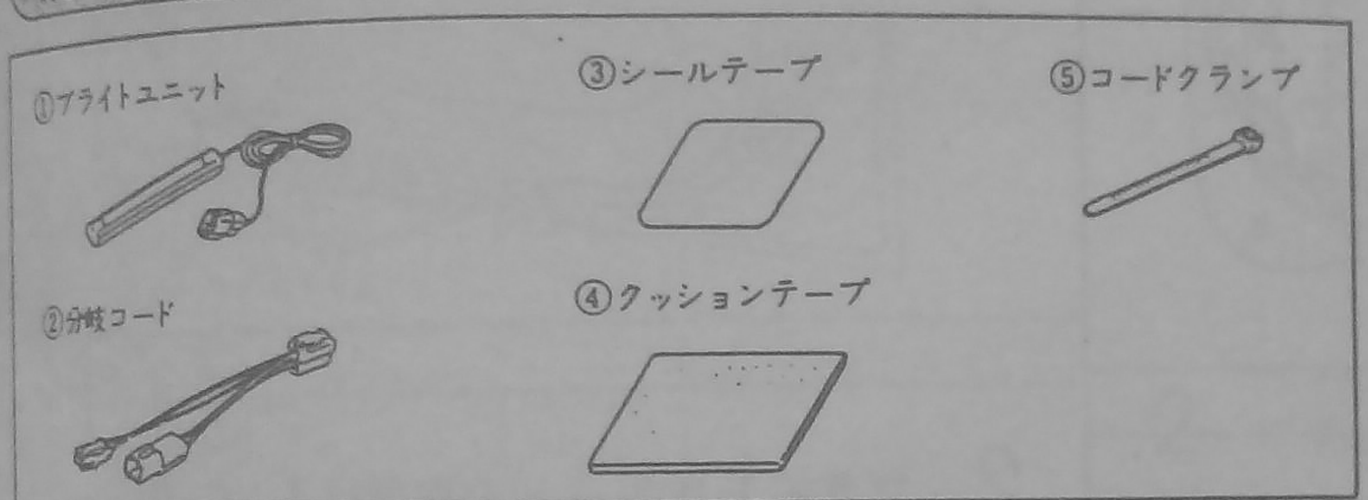
取付要領書

このたびはトヨタ純正ドアオープニングブライトをお買い上げいただきありがとうございました。
本書はセリカ，カリーナＥＤ，コロナＥｘｉｖにドアオープニングブライトを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき，正しい取り付けを行なってください。

品番および適用車種

品　　番	適　　用　　車　　種	年　　式
08525－20040	セリカ，カリーナＥＤ，コロナＥｘｉｖ	１９９３年１０月以降

構成部品



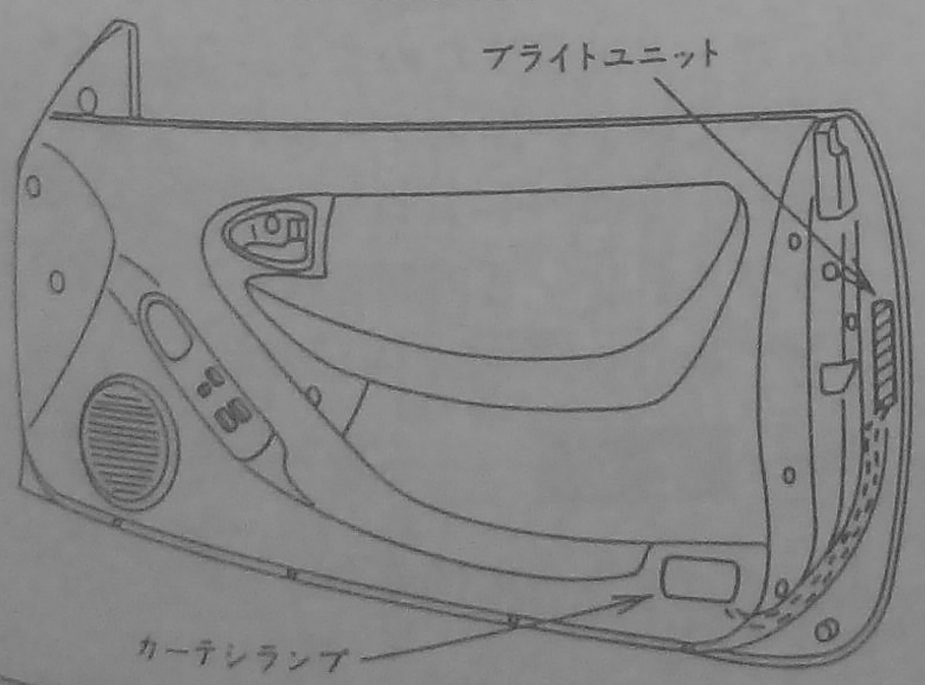
No.	名　　称	数量
①	ブライトユニット	2本
②	分岐コード	2本
③	シールテープ	10枚
④	クッションテープ	2枚
⑤	コードクランプ	2本

取り付け時間

0.6H

取り付け概要

セリカ



カリーナＥＤ，コロナＥｘｉｖ



取り付けに必要な工具等

・一般工具

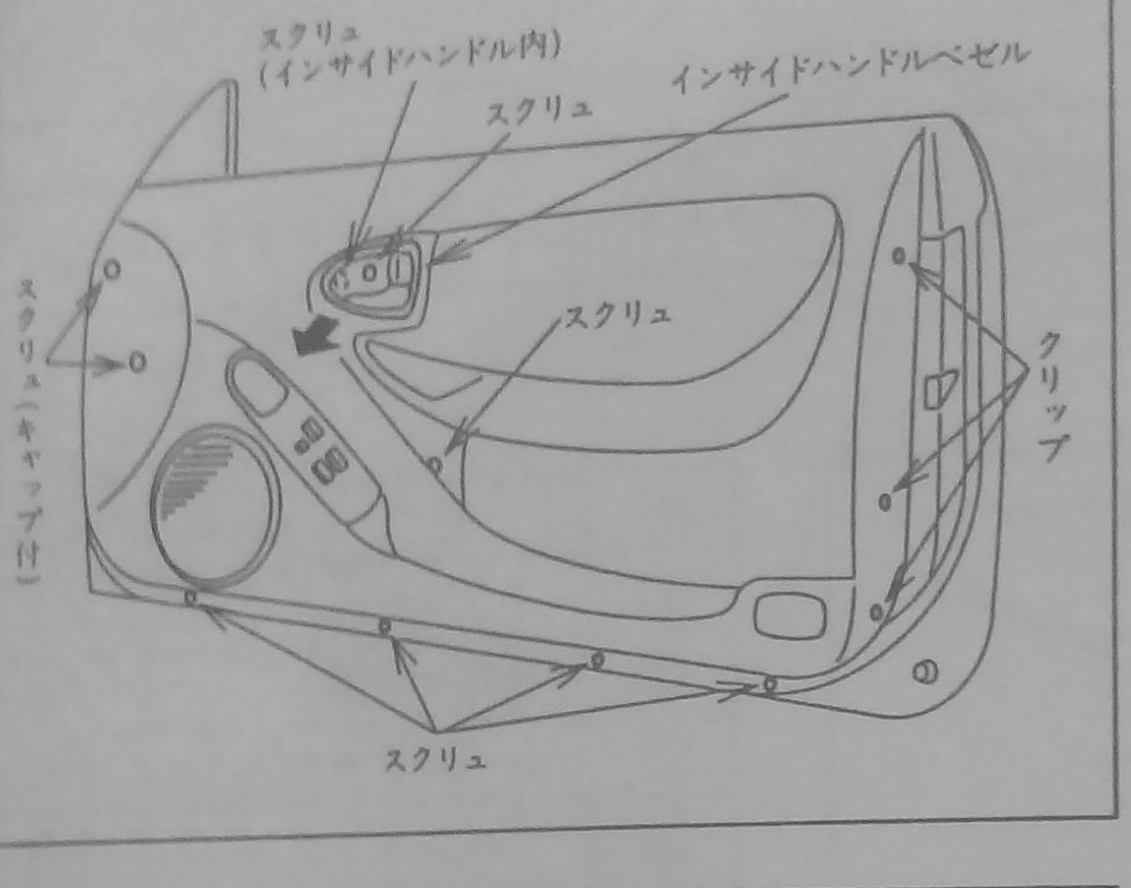
トヨタ自動車株式会社

取り付け上の注意事項

1．本文中の取り付け上の **注意** は，必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし，**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく，車両故障につながる
があります。
2．車両部品の取りはずしに際して，タッピングスクリュやボルト，ナット類の紛失や混乱がないよう
品ごとに整理して，復元する際に間違えないよう配慮してください。また，傷を付けたりしないよ
取り扱いに注意して作業を行ってください。
3．本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

取り付け要領

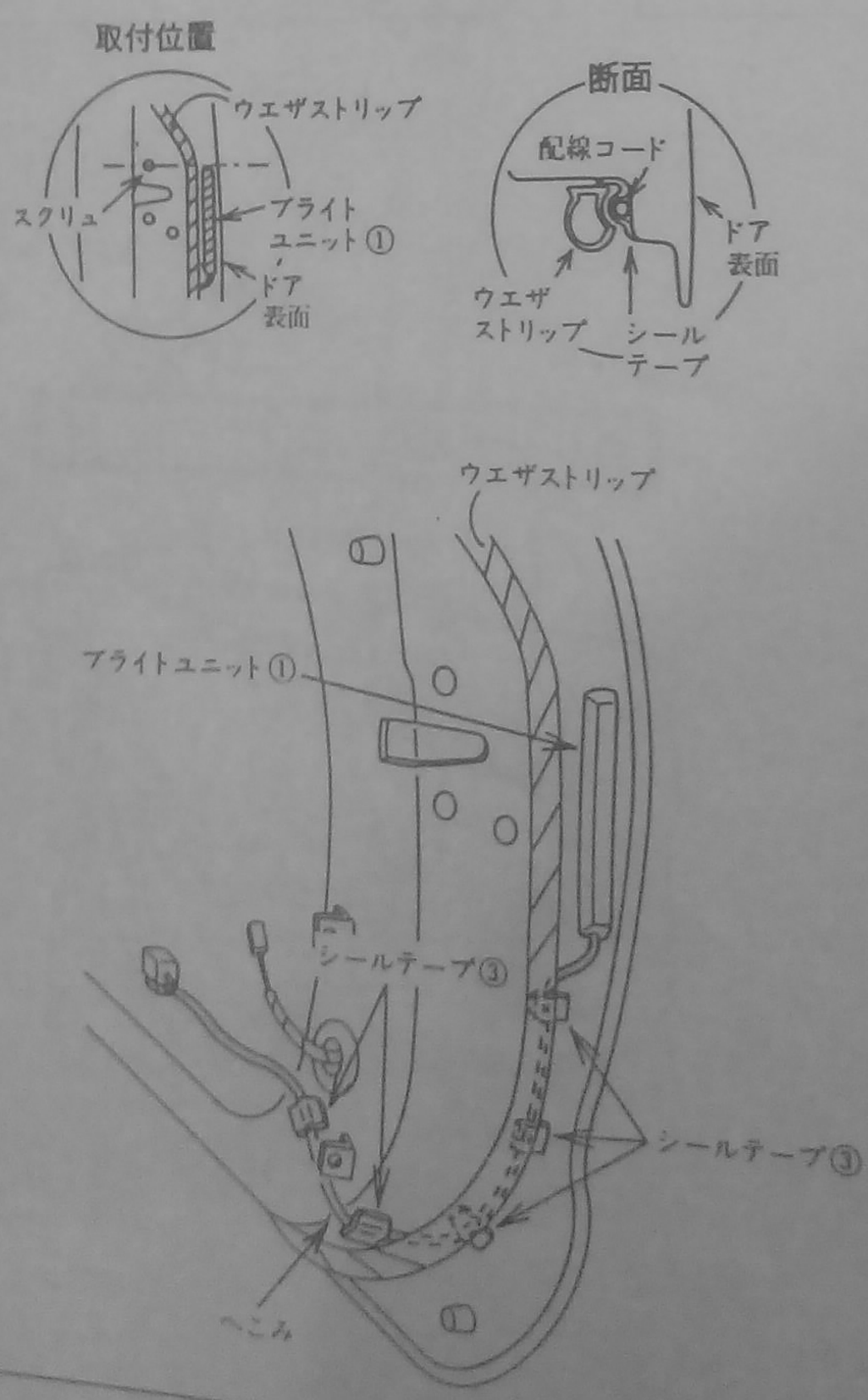
セリカ



1 ドアトリムのかん合はずし。

(1) インサイドハンドルベゼルをはずす。
(スクリュ１ヶ所)

(2) その他のスクリュ８ヶ所（内１ヶ所はインサイドハンドル内）及び，クリップ3ヶ所をはずす。



2 ブライトユニットを取付ける。

(1) 左図のようにブライトユニット①を接着する。

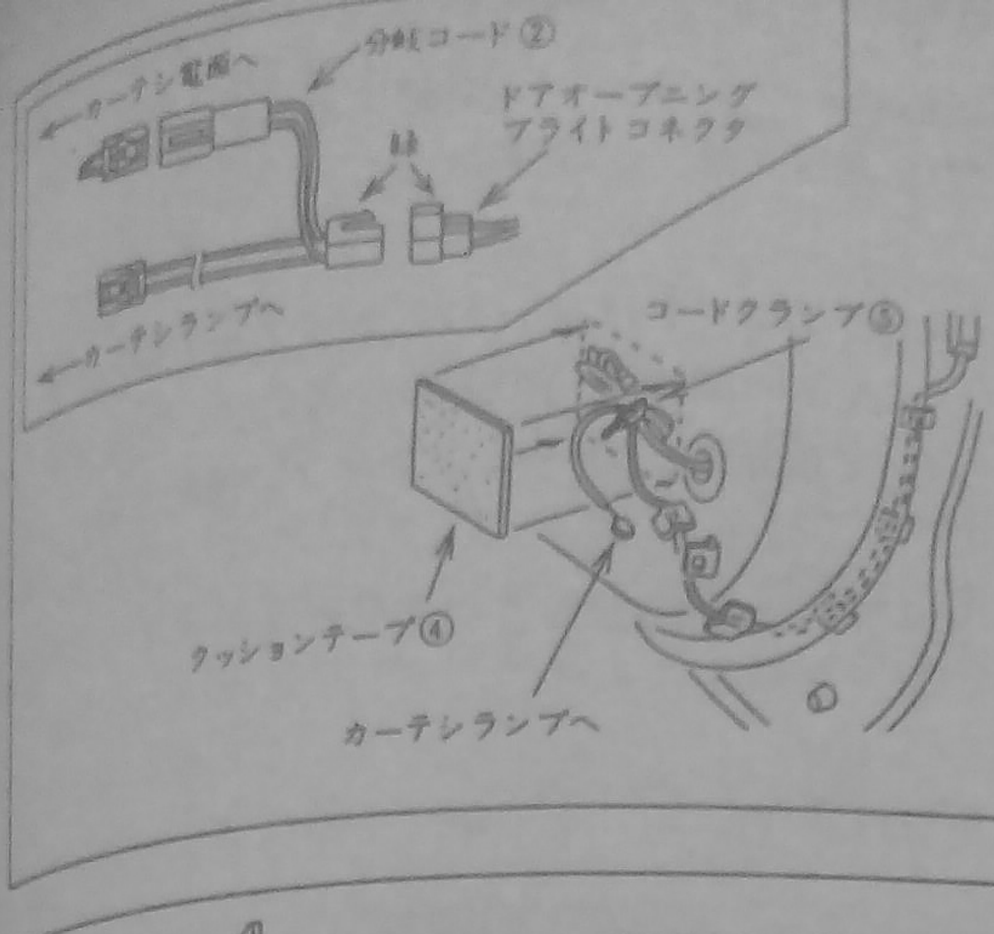
注 意

接着させる面はきれいに拭いてください。
ブライトユニットは一度接着すると取り外し困難なため，位置決めは充分注意してください。

(2) コードは目立たぬようにウエザストリップに沿ってボデー面にシールテープ③でしっかり固定し，下部のドアトリム側のへこみ部分からウエザストリップ内側を経てコードを取り回しシールテープ③で固定する。

注 意

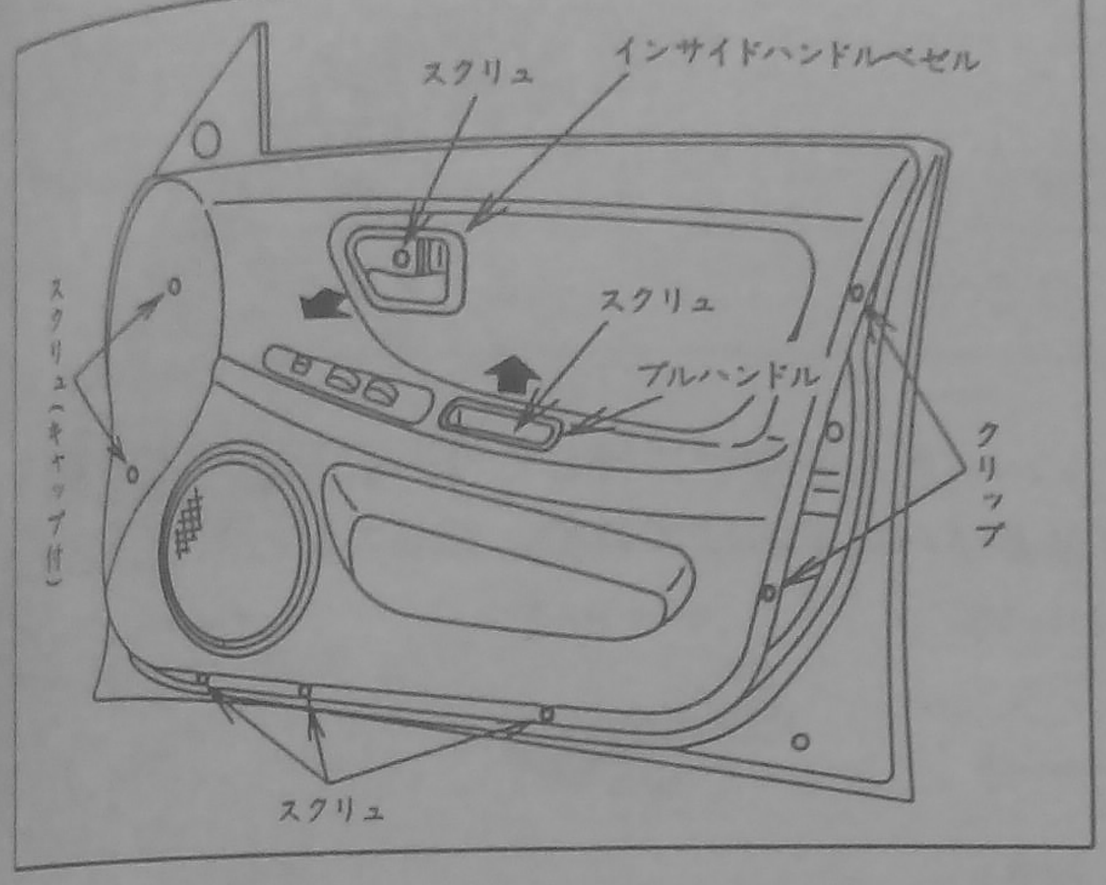
1．シールテープ接着面もきれいに拭いてください。
2．配線コードのたるみがないか再度確認してください。



3 既設カーテシランプの配線コネクタに分岐コード②を左図のように配線する。

4 分岐したコードはコードクランプ⑤で束ね，ドアトリムとの間の余裕のある位置にクッションテープ④で固定し，カーテシランプに接続する。

5 ドアトリムを元どおりに復元する。



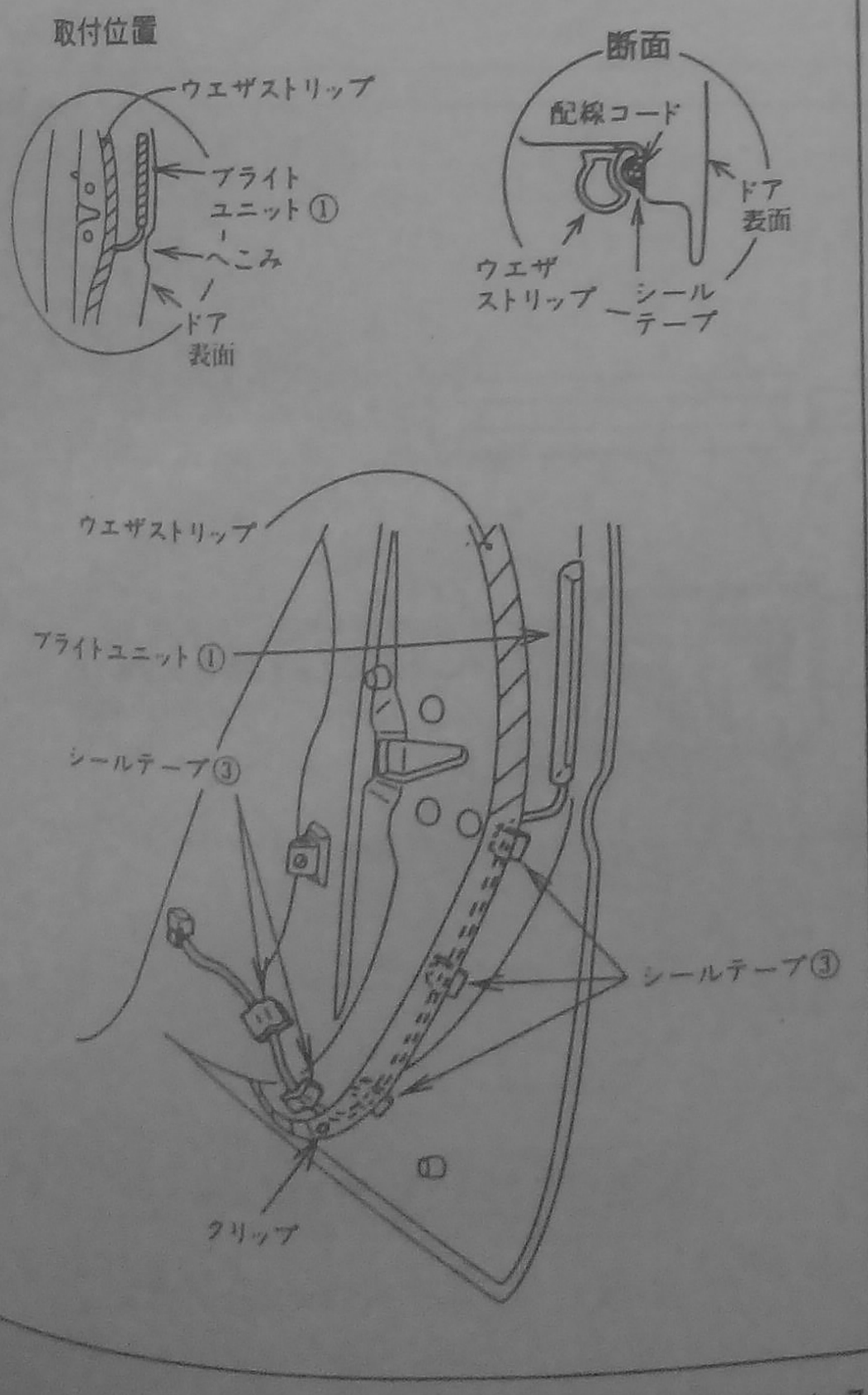
カリーナED，コロナExiv

1 ドアトリムのかん合はずし。

(1) インサイドハンドルベゼルをはずす。
(スクリュ1ヶ所)

(2) プルハンドルをはずす。
(スクリュ1ヶ所)

(3) その他のスクリュ5ヶ所及び，クリップ2ヶ所をはずす。



2 ブライトユニットを取付ける。

(1) 左図のようにブライトユニット①を接着する。

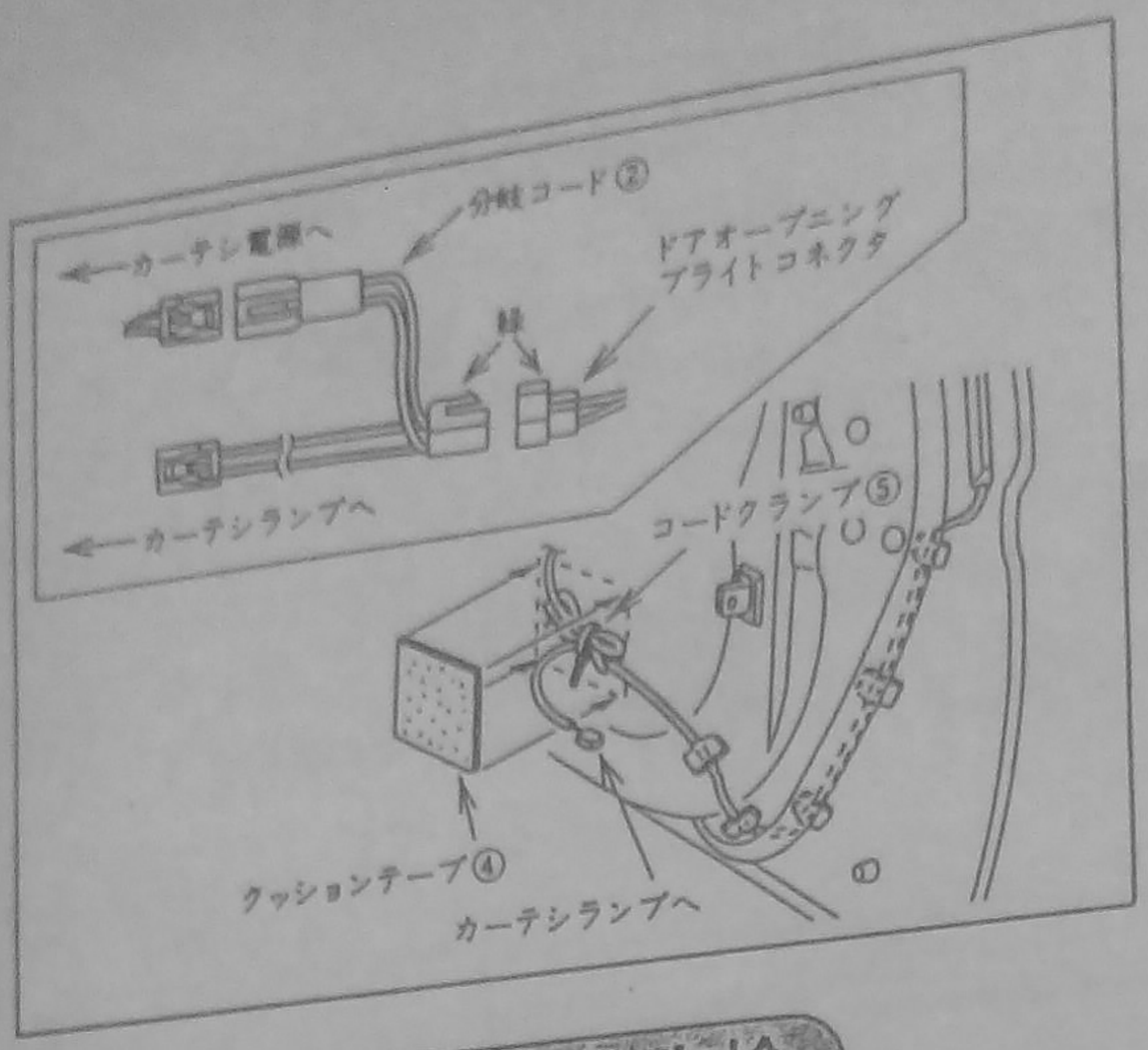
注意

接着させる面はきれいに拭いてください。
ブライトユニットは一度接着すると取り外し困難なため，位置決めは充分注意してください。

(2) コードは目立たぬようにウエザストリップに沿ってボデー面にシールテープ③でしっかり固定し，下部のクリップ手前からウエザストリップ内側を経てドアトリム側に出し，指示のようにシールテープ③で固定する。

注意

1．シールテープ接着面もきれいに拭いてください。
2．配線コードのたるみがないか再度確認ください。



3　既設カーテシランプの配線コネクタに分岐コード②を左図のように配線する。

4　分岐したコードはコードクランプ⑤でドアトリムとの間の余裕のある位置にクッションテープ④で固定し，カーテシランプに接続する。

5　ドアトリムを元どおりに復元する。

取り付け完了後の点検

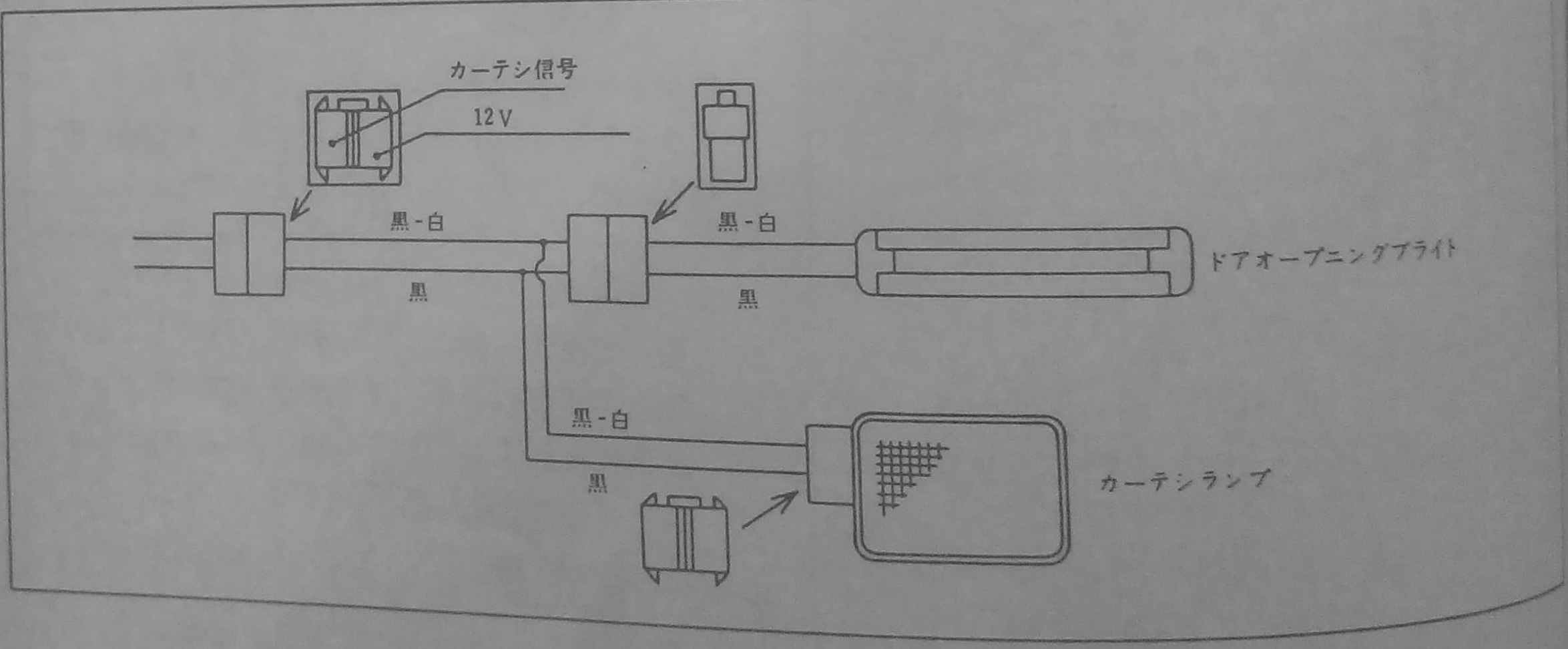
1　取り付けの確認

(1)　配線や取り付けに異常がないか点検すること。
(2)　特に車両ハーネスおよびドアオープニングブライトハーネスを無理に押したり，引っ張ったり，かみ込んだりしていないか点検すること。またクランプおよびバンドのはずれや，部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2　作動確認

ドアの開閉に連動して点灯，消灯するか確認してください。

配線図



トヨタ純正

ドアオープニングブライト（トランク用）

取付要領書

このたびはトヨタ純正ドアオープニングブライトをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はカリーナＥＤ、コロナＥｘｉｖにドアオープニングブライトを取付ける場合の取付け要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき，正しい取付けを行なってください。

品番および適用車種

品　　番	適　　用　　車　　種	年　　式
08525－20050	カリーナＥＤ，コロナＥｘｉｖ	１９９３年　１０月以降

構成部品

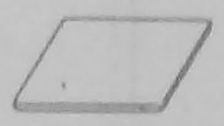
①ブライトユニット



②分岐コード



③クッションテープ



④シールテープ



⑤コードクランプ大



⑥コードクランプ小



⑦コルゲートチューブ



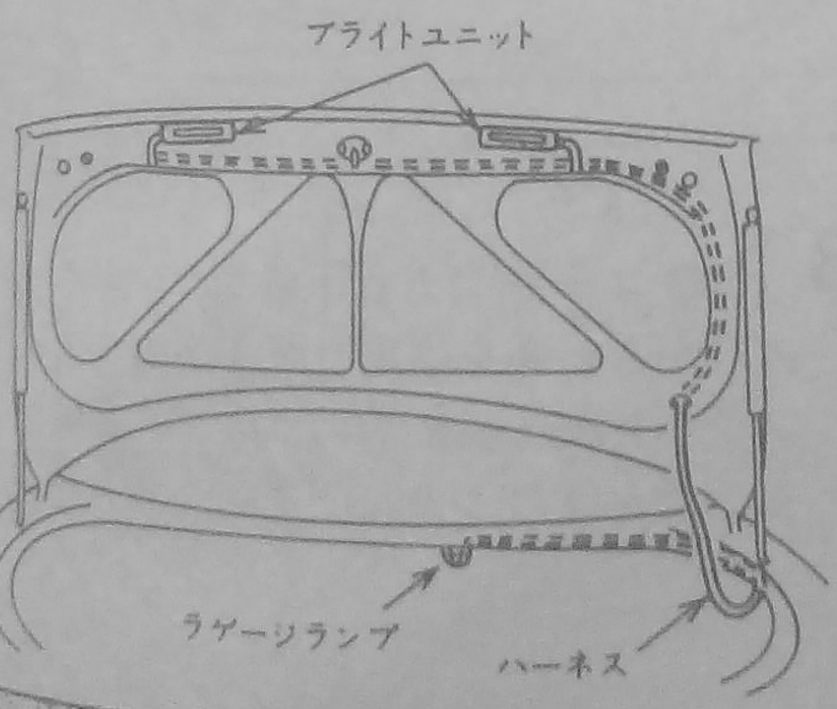
No.	名　　称	数量
①	ブライトユニット	2本
②	分岐コード	1本
③	クッションテープ	11枚
④	シールテープ	2枚
⑤	コードクランプ大	1本
⑥	コードクランプ小	4本
⑦	コルゲートチューブ	1本

取り付け時間

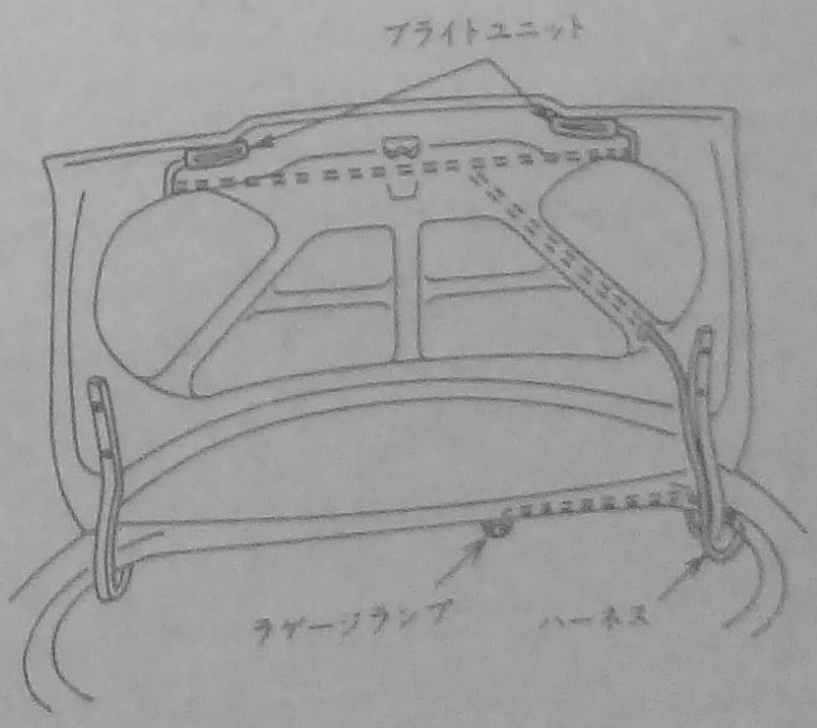
0.4Ｈ

取り付け概要

カリーナＥＤ



コロナＥｘｉｖ



取り付けに必要な工具等

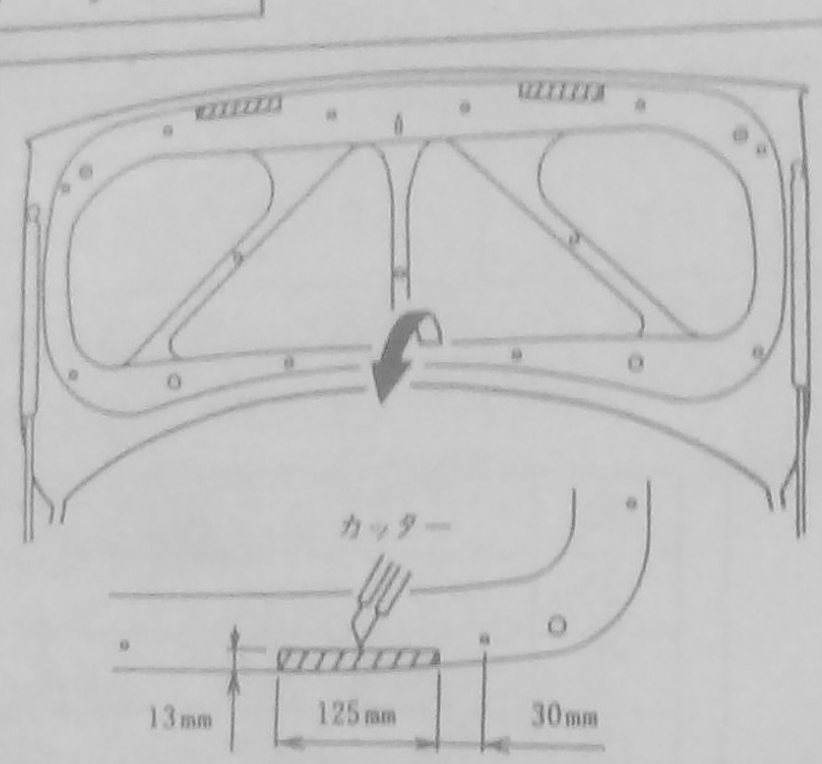
・一般工具　・カッター　・針金　・中性洗剤

取り付け上の注意事項

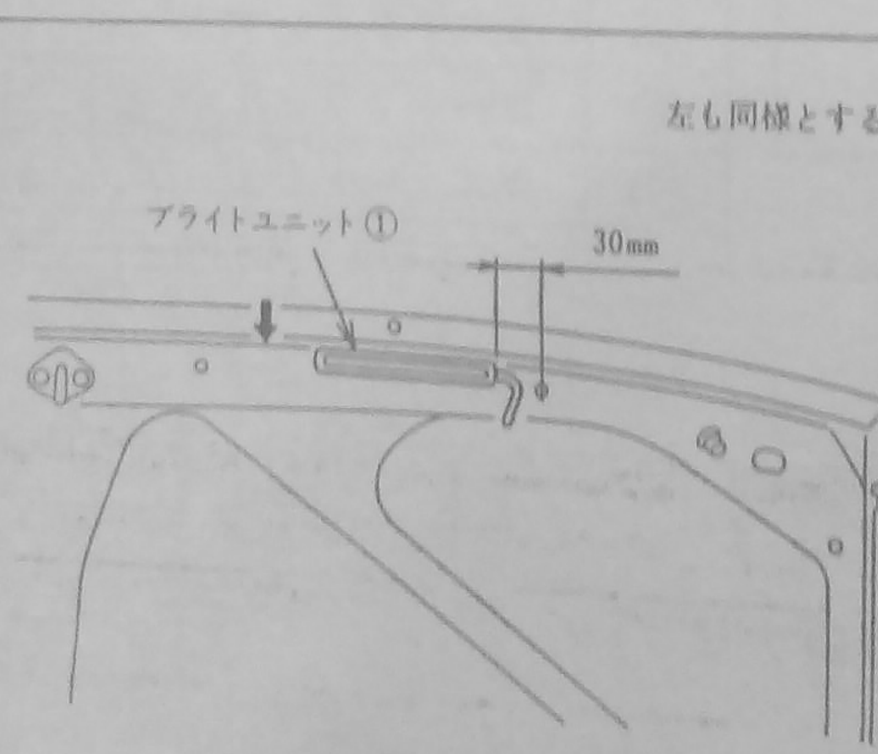
1．本文中の取り付け上の **注意** は，必ず取り付けに反映させて作業を行なってください。
もし，**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく，車両故障につながる恐れがあります。
2．車両部品の取りはずしに際して，タッピングスクリュ，ボルト，ナット類の紛失や混乱がないよう種品ごとに整理して，復元する際に間違えないよう配慮してください。また，傷を付けたりしないよう注取り扱いに注意して作業を行なってください。
3．本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。

取り付け要領

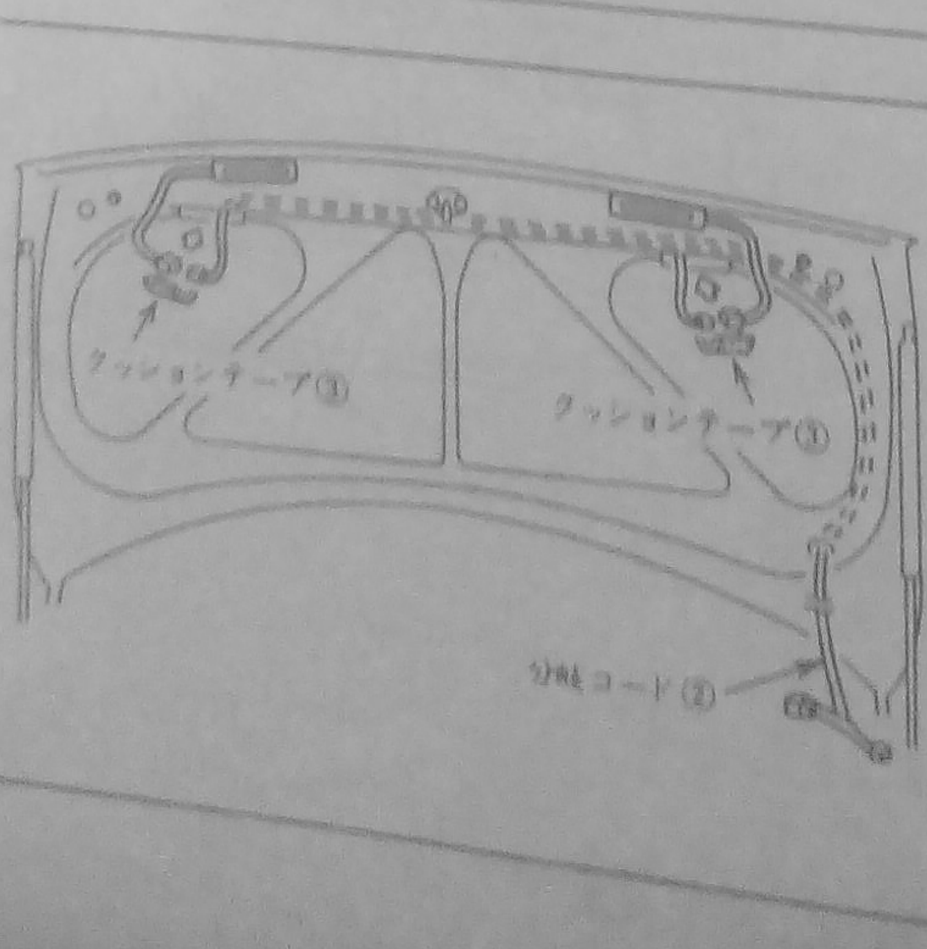
カリーナED



左も同様とする



左も同様とする



1　カバー切欠き（寒冷地仕様車のみ）

(1)　ラゲージドアカバーをはずす。

(2)　左図斜線部を指示した寸法どおりに鉛筆等でけがき，カッターで切り落とす。

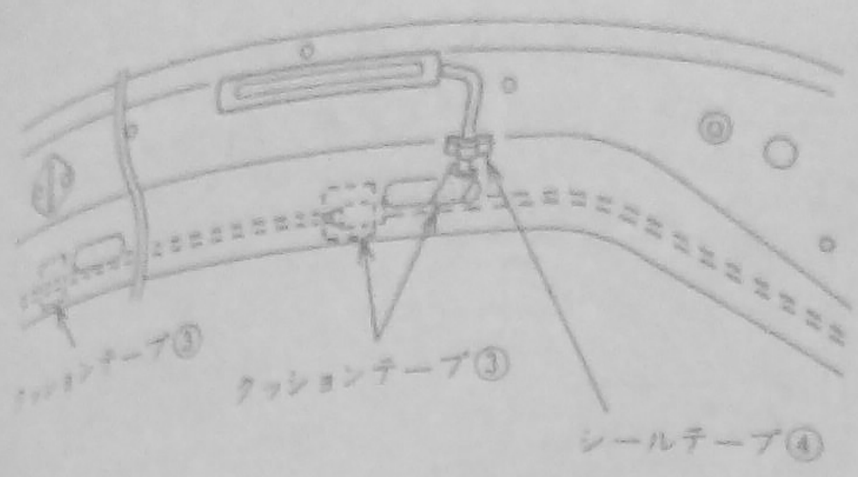
2　ハーネスを車両外側に向けてブライトユニット①を指示した位置に貼る。

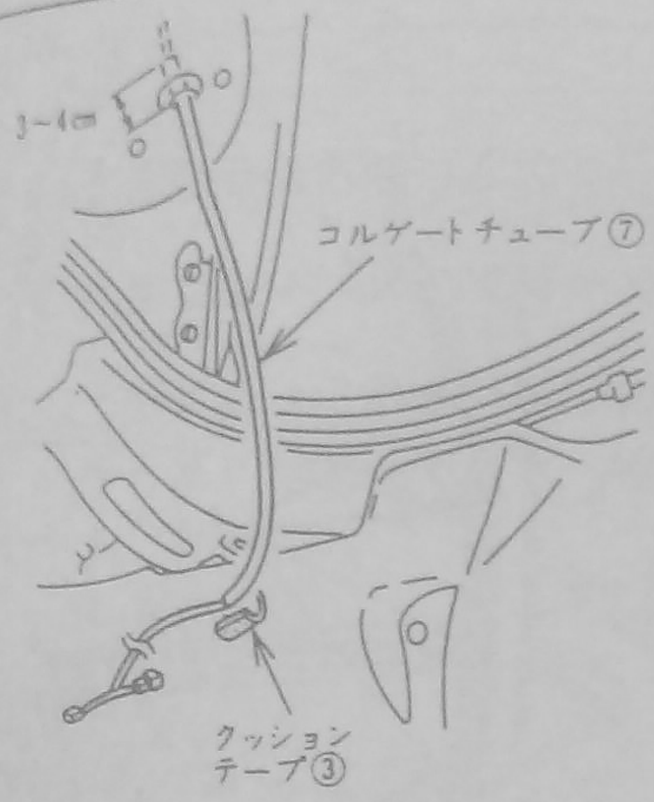
注 意

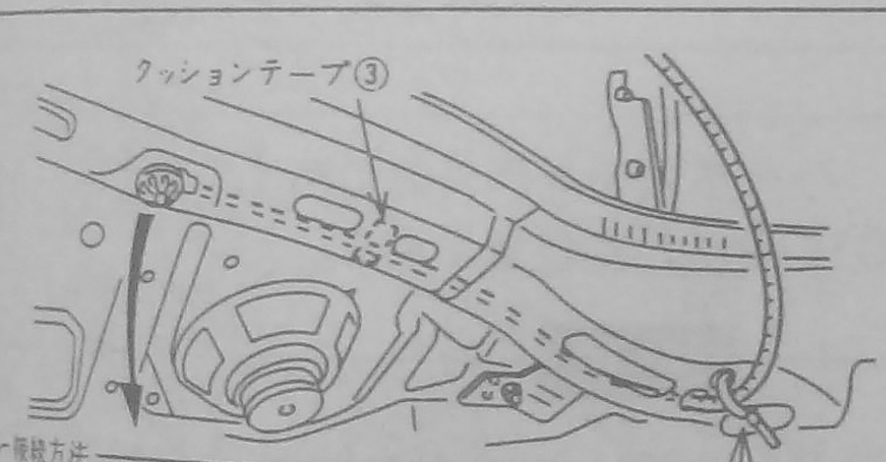
貼り付け面はきれいに拭いてください。
ブライトユニットは一度貼り付けると取り外し困難なため位置決めは充分注意してください。

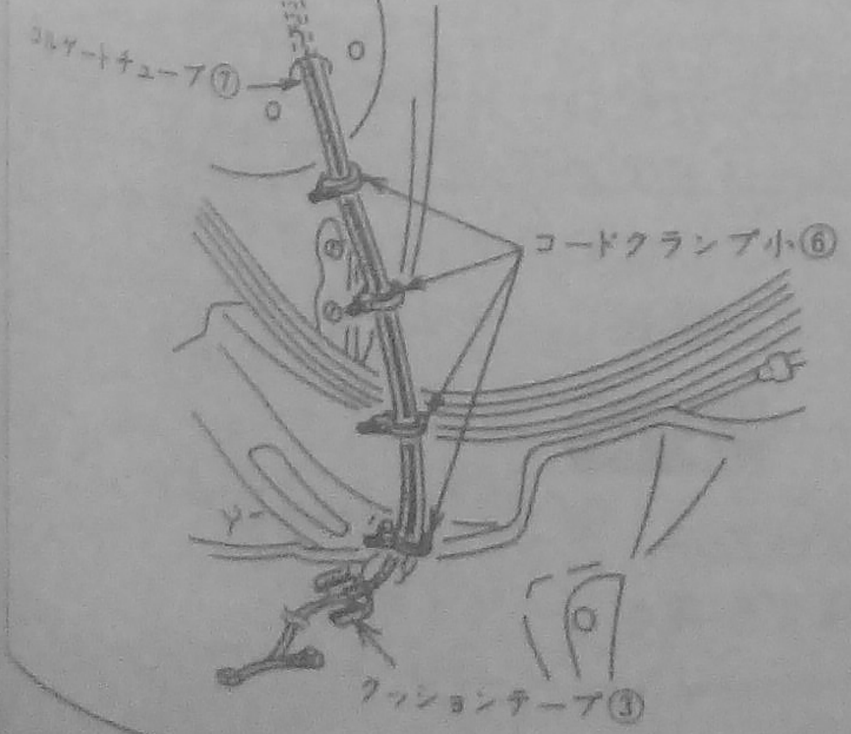
3　分岐コード②を右下のラゲージドア右下のカス穴から針金を使用して左図のように取り回しブライトユニット①のコネクタと接続し，クッションテープ③を巻く。

左も同様とする









4 ブライトユニット①のハーネスを左図のように取り回してシールテープ④で固定し，プレス穴のエッジにあたるハーネス部にクッションテープ③を巻きつけ，プレス穴内でクッションテープ③でハーネスを固定する。

注 意

1．シールテープ接着面もきれいに拭いてください。
2．配線コードのたるみがないか再度確認ください。

ストップランプ付スポイラー未装着車の場合

5～6

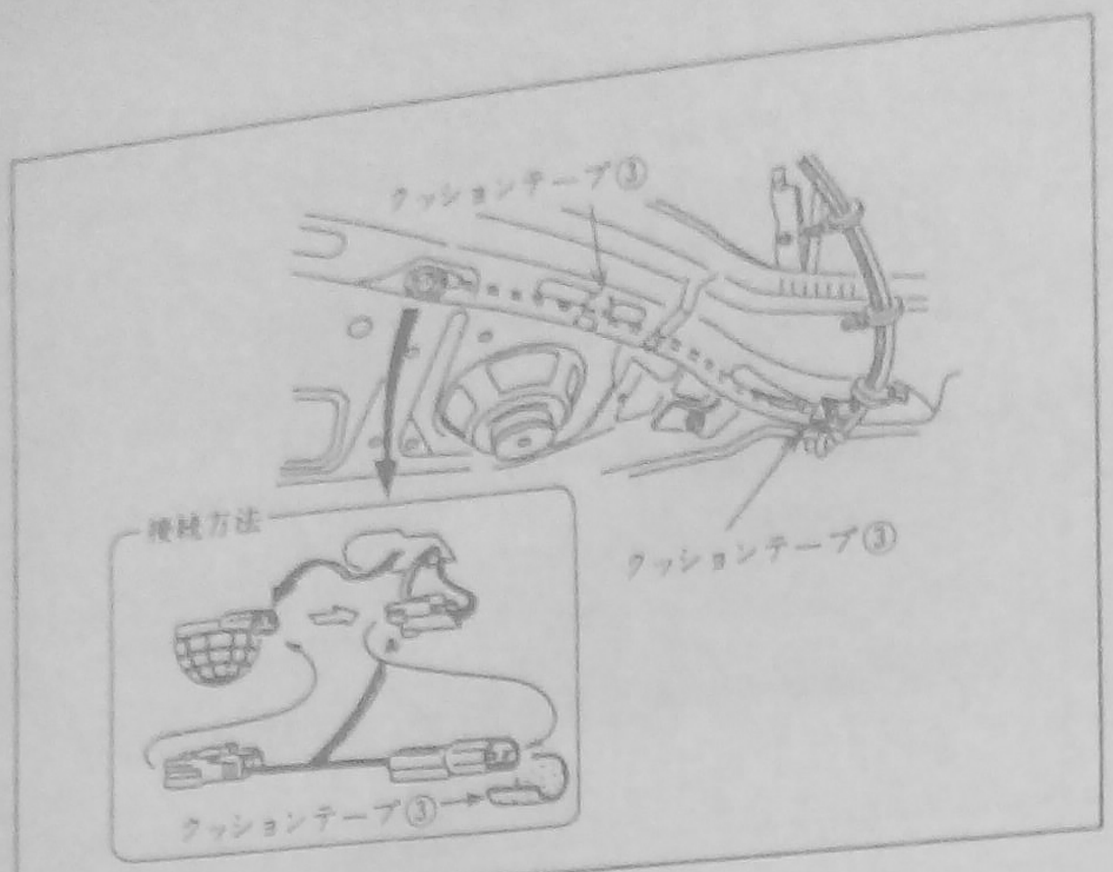
5 左図のように分岐コード②にコルゲートチューブ⑦をプレス穴の3～4㎝奥よりかぶせ，クッションテープ③で端をハーネスと固定する。

6 ラゲージランプをボデーから取り外し左図のようにプレス穴から分岐コード②を取り回して接続し，コネクタ部にクッションテープ③を巻き，プレス穴部はコードクランプ大⑤でハーネスを固定する。

ストップランプ付スポイラー装着車の場合

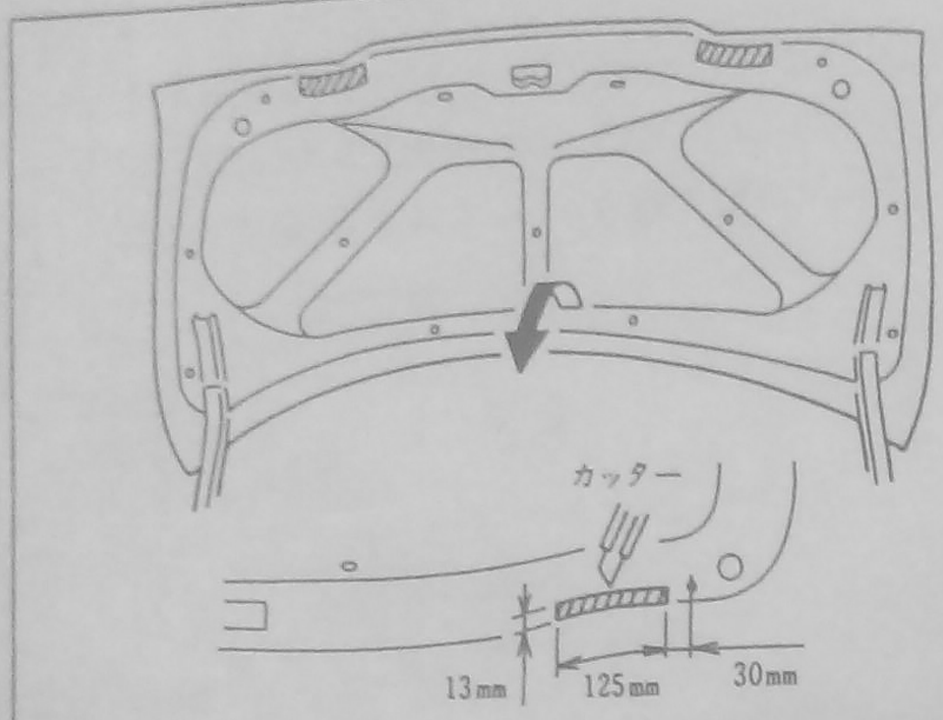
5～6

5 左図のように分岐コード②にコルゲートチューブ⑦をプレス穴の3～4㎝奥よりかぶせ，クッションテープ③で端をハーネスと固定し，既設ハーネスにコードクランプ小⑥で共締めする。



6 ラゲージランプをボデーから取り外し、左図のようにプレス穴から分岐コード②を取り回して接続し、コネクタ部および、プレス穴のエッジにあたるハーネス部にクッションテープ③を巻く。

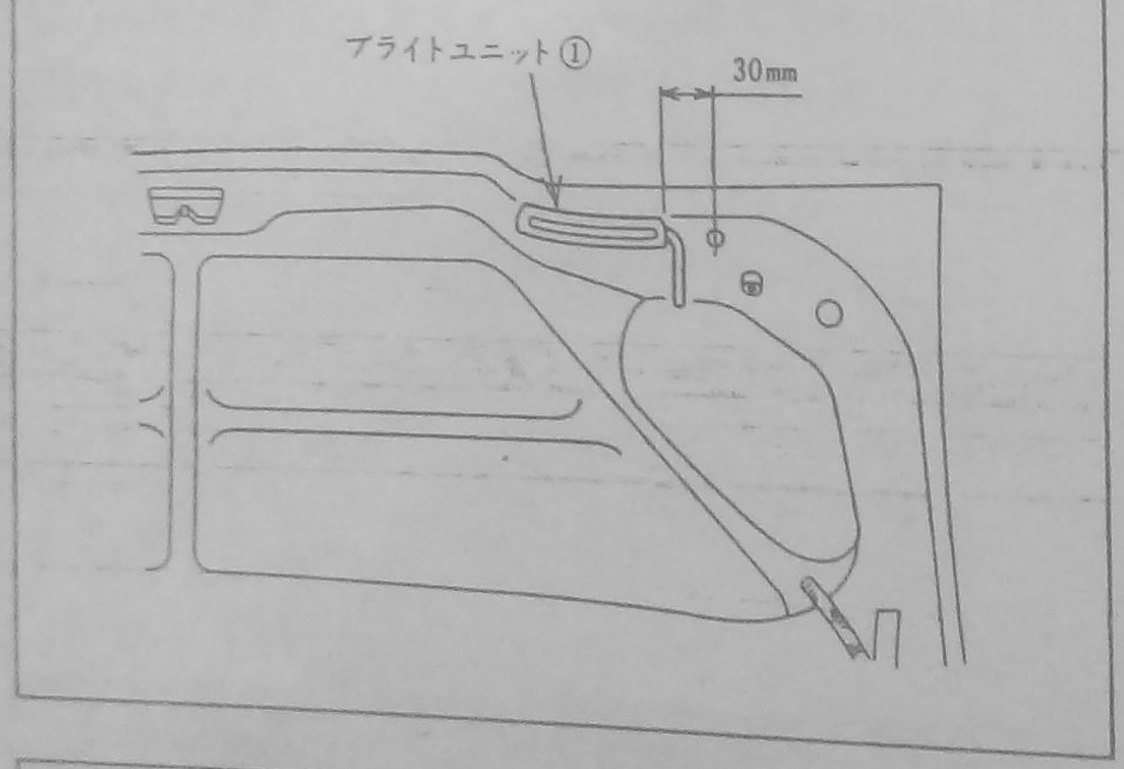
コロナExiv



1 カバー切欠き（寒冷地仕様車のみ）

(1) ラゲージドアカバーをはずす。

(2) 左図斜線部を指示した寸法どおりに鉛筆等でけがき，カッターで切り落とす。



2 ハーネスを車両外側に向けてブライトユニット①を指示した位置に貼る。

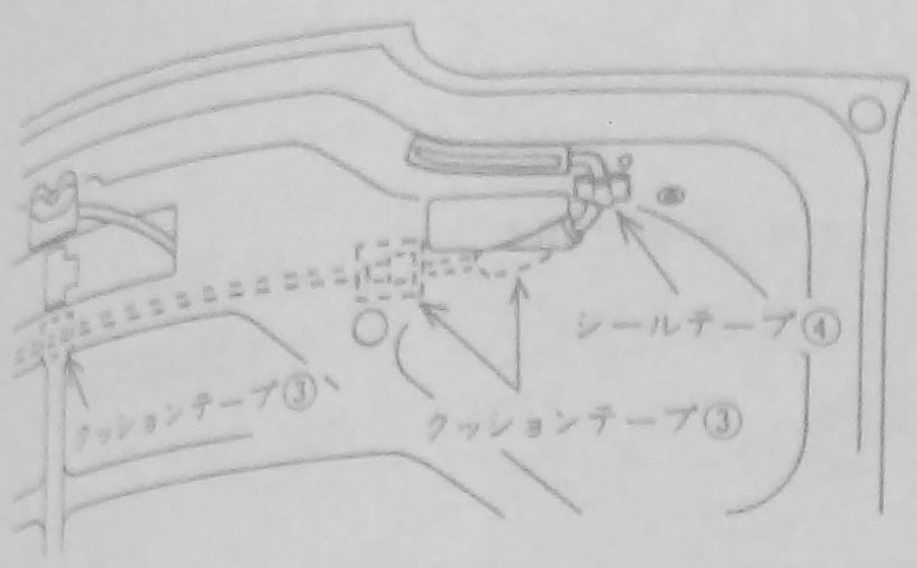
注 意

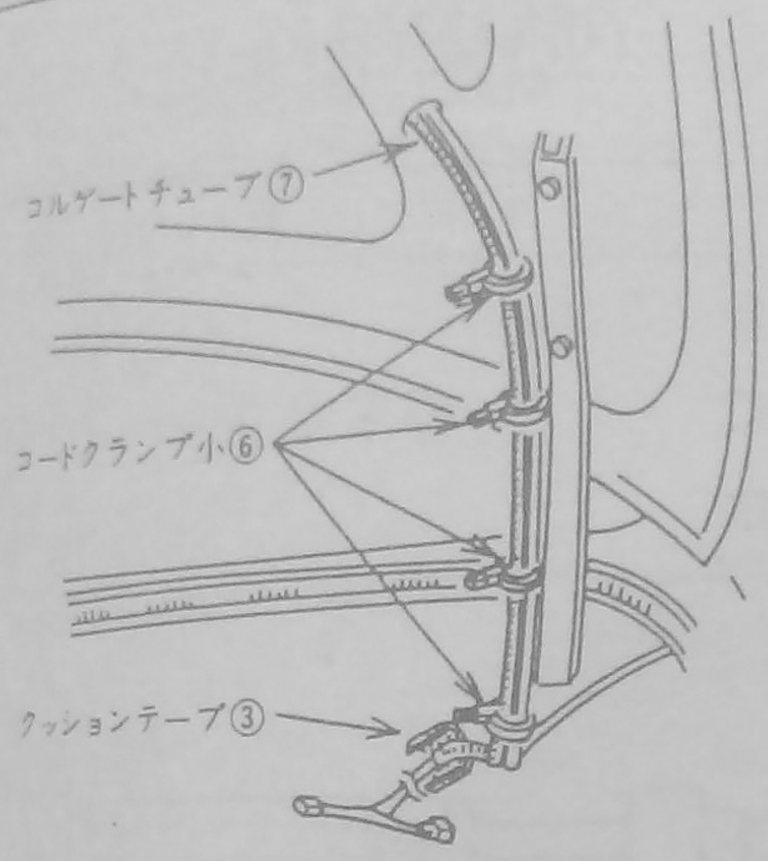
貼り付け面はきれいに拭いてください。
ブライトユニットは一度貼り付けると取り外し困難なため位置決めは充分注意してください。

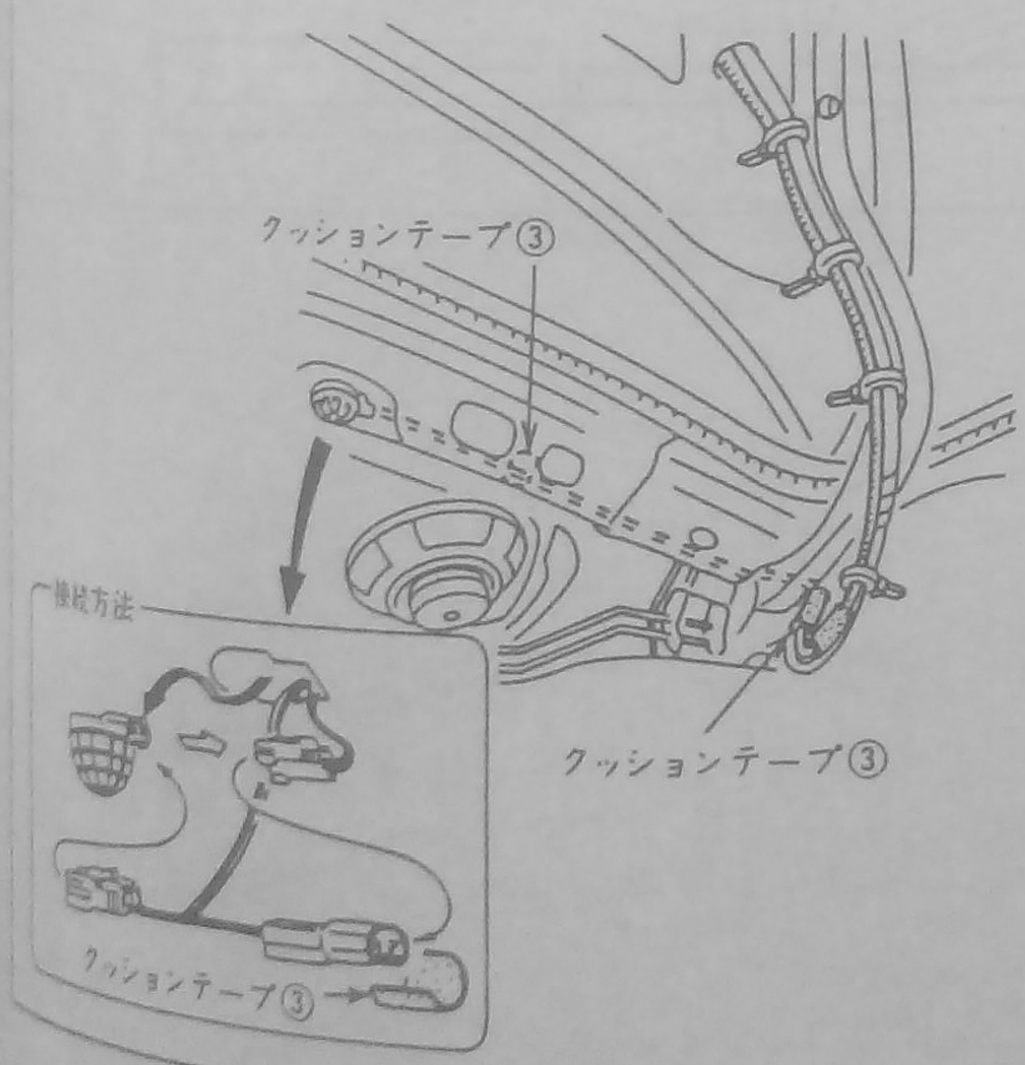
3 針金に分岐コード②を引っ掛けテーピングしラゲージドア右下のプレス穴から針金を使用して左図のように取り回し，ブライトユニット①のコネクタと接続し，クッションテープ③を巻く。

注 意

針金の先端，テーピング箇所に中性洗剤を塗った後で作業を行ってください。







4 ブライトユニット①のハーネスを左図のように取り回してシールテープ④で固定し，プレス穴のエッジにあたるハーネス部にクッションテープ③を巻きつけ，プレス穴内でクッションテープ③でハーネスを固定する。

注意

1．シールテープ接着面もきれいに拭いてください。
2．配線コードのたるみがないか再度確認ください。

5 左図のように分岐コード②にコルゲートチューブ⑦をプレス穴の3～4 cm奥よりかぶせ，クッションテープ③で端をハーネスと固定し，既設ハーネスにコードクランプ小⑥で共締めする。

6 ラゲージランプをボデーから取り外し，左図のようにプレス穴から分岐コード②を取り回して接続し，コネクタ部および，プレス穴のエッジにあたるハーネス部にクッションテープ③を巻く。

復元作業

ラゲージドアカバー（取付車のみ）を元通りに復元してください。

取り付け完了後の点検

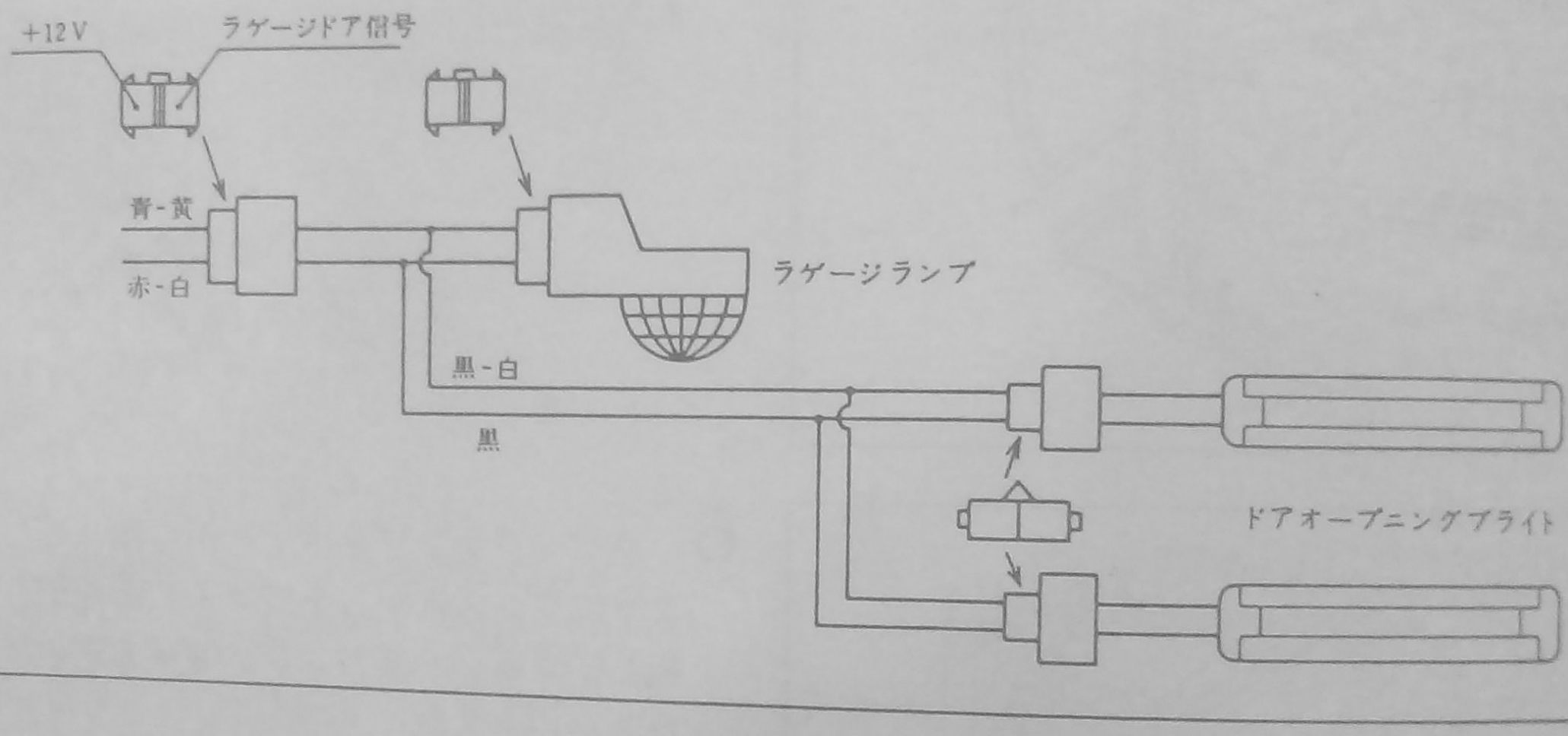
1　取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。
(2) 特に車両ハーネスおよびドアオープニングブライトハーネスを無理に押したり，引っ張ったり，かんだりしていないかトランクの開閉を行い，点検すること。またクランプおよびバンドのはずれや，脱線の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2　作動確認

トランクの開閉に連動して点灯，消灯するか確認してください。

配線図



トヨタ純正 フットランプ

取付要領書

このたびはトヨタ純正フットランプをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はトヨタセリカ、コロナEXiV、カリーナEDにフットランプを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
なお、本書は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

(9310)

品　　番	適　用　車　種	年　　式
08527-20030	セリカ コロナEXiV カリーナED	1993年10月以降

構成部品

No	品　　名	品　番	個数
1	ランプ，アッセンブリ	————	1
2	両面接着シート	————	2
3	クランプ（大）	————	7
4	クランプ（小）	————	7
5	ビニールバンド	————	2
6	ブラケット	————	1
7	取扱書	————	1

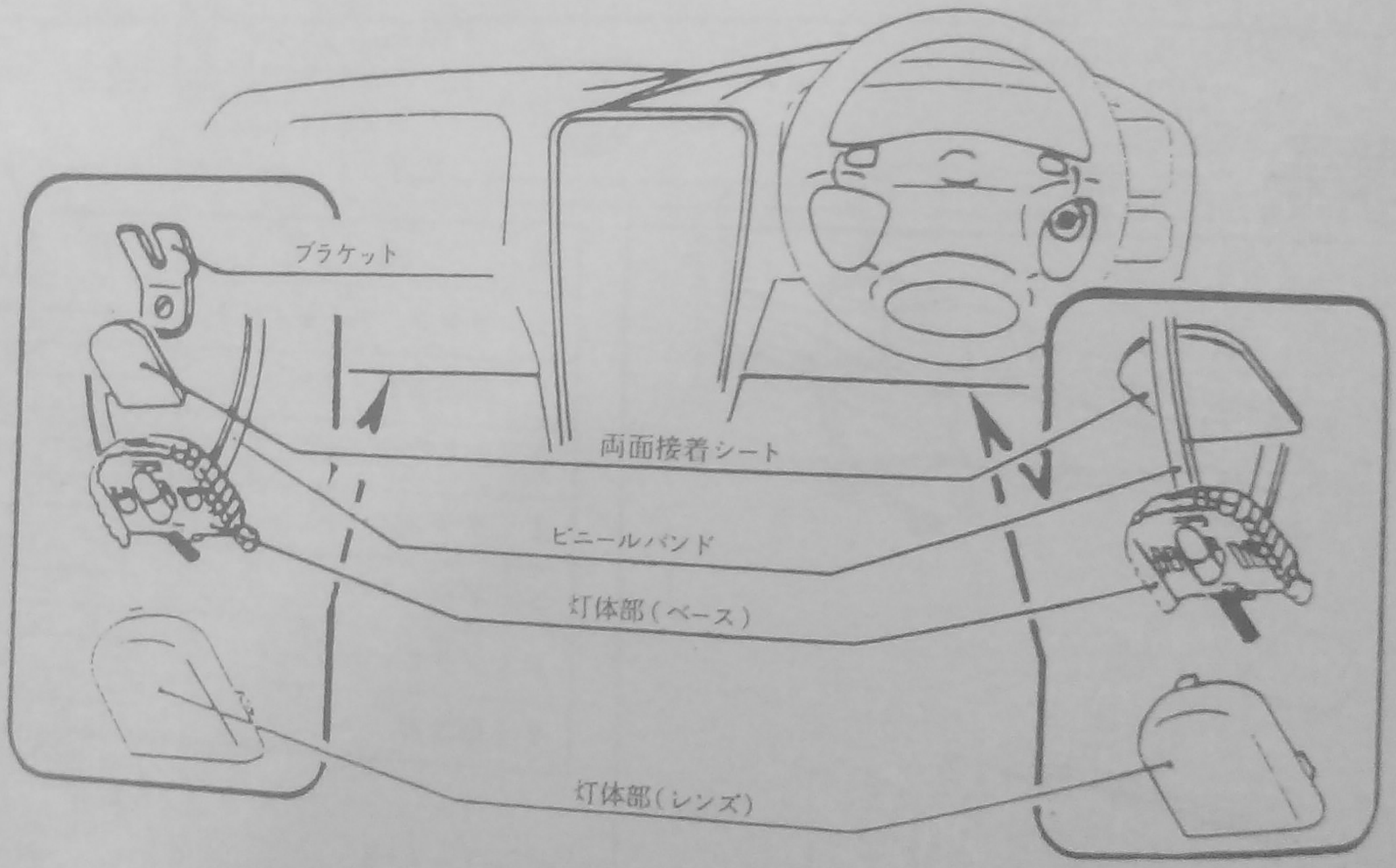
取り付け時間

0.6 H

取り付け上の注意事項

1．取り付ける前にバッテリーの（−）側ケーブルをはずしてください
2．取り付ける前にボディー保護のカバーを付けてください。
3．本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
4．車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように整理ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
5．本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

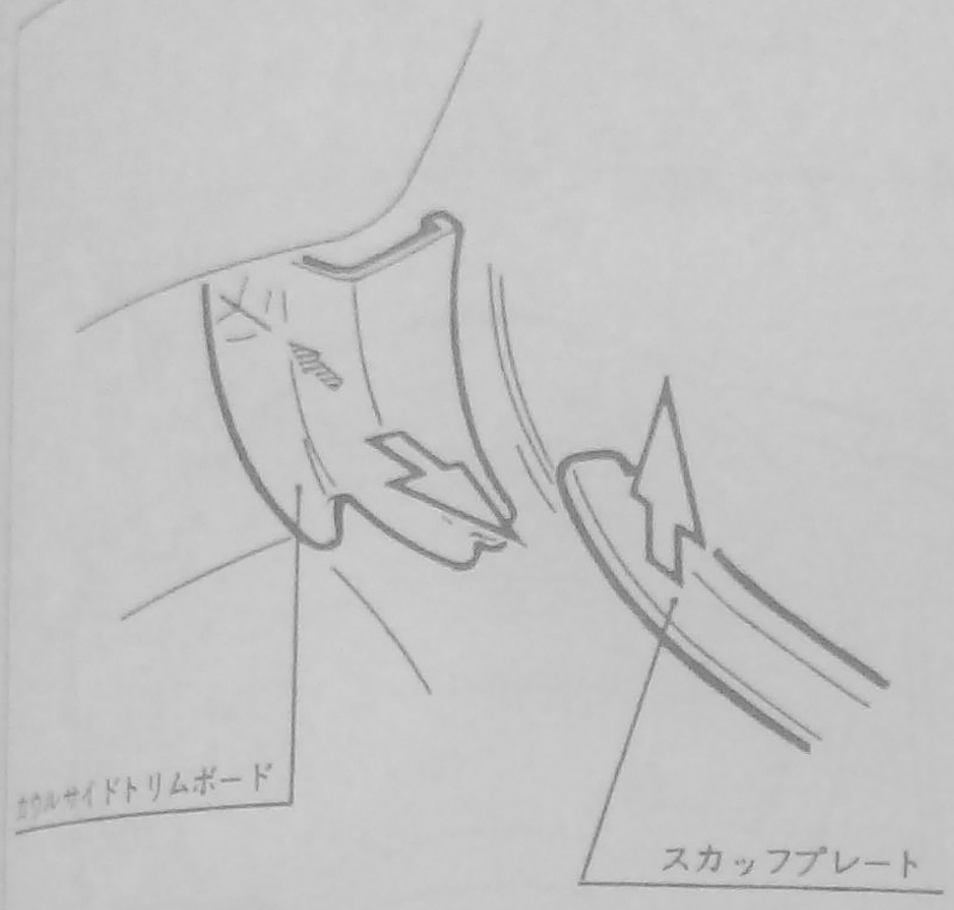
取り付け概要

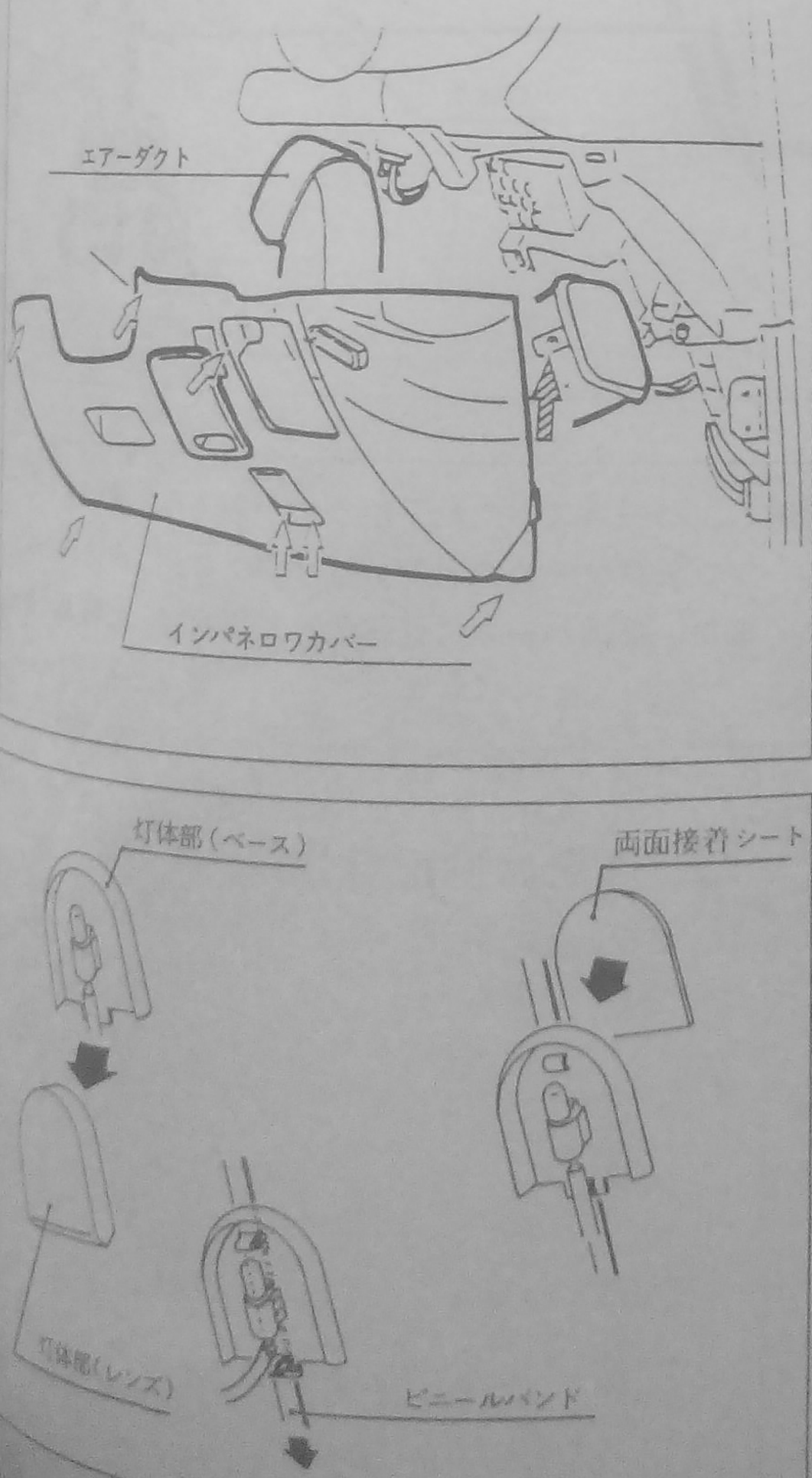


取り付けに必要な工具等

ドライバー，ラチェットハンドル，ソケット(10㎜)，ハサミ，ニッパ

取り付け要領





1 車両部品の取りはずし

(1) スカッフプレート

① 左図に示したスカッフプレートを取りはずす。

(2) カウルサイドトリムボード

① 左図に示した樹脂クリップ（ ⇨ ）1ヶ所をはずして取りはずす。

(3) インパネロワカバー

① 左図に示したスクリュ（ ⇨ ）7ヶ所をはずして取りはずす。

(4) エアーダクト

① 左図に示した樹脂クリップ（ ⇨ ）1ヶ所をはずして取りはずす。

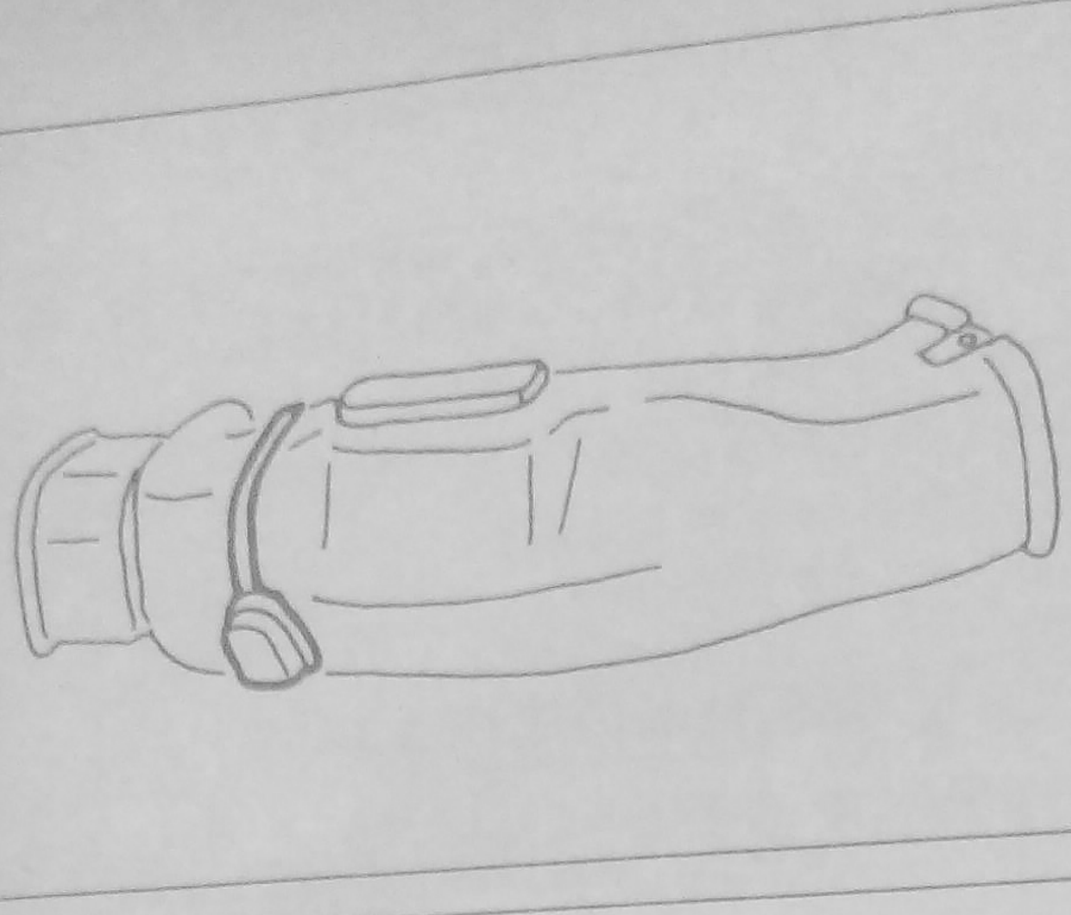
2 運転席側本体の取り付け

(1) 灯体部の固定

① ランプアッセンブリの短い側のコードに付いているレンズを外し、左図のように添付のビニールバンドをベースの角穴に通す。

② 両面接着シートの片面離型紙をはがし、ベース裏面に貼る。

③ レンズを元通り組み付ける。



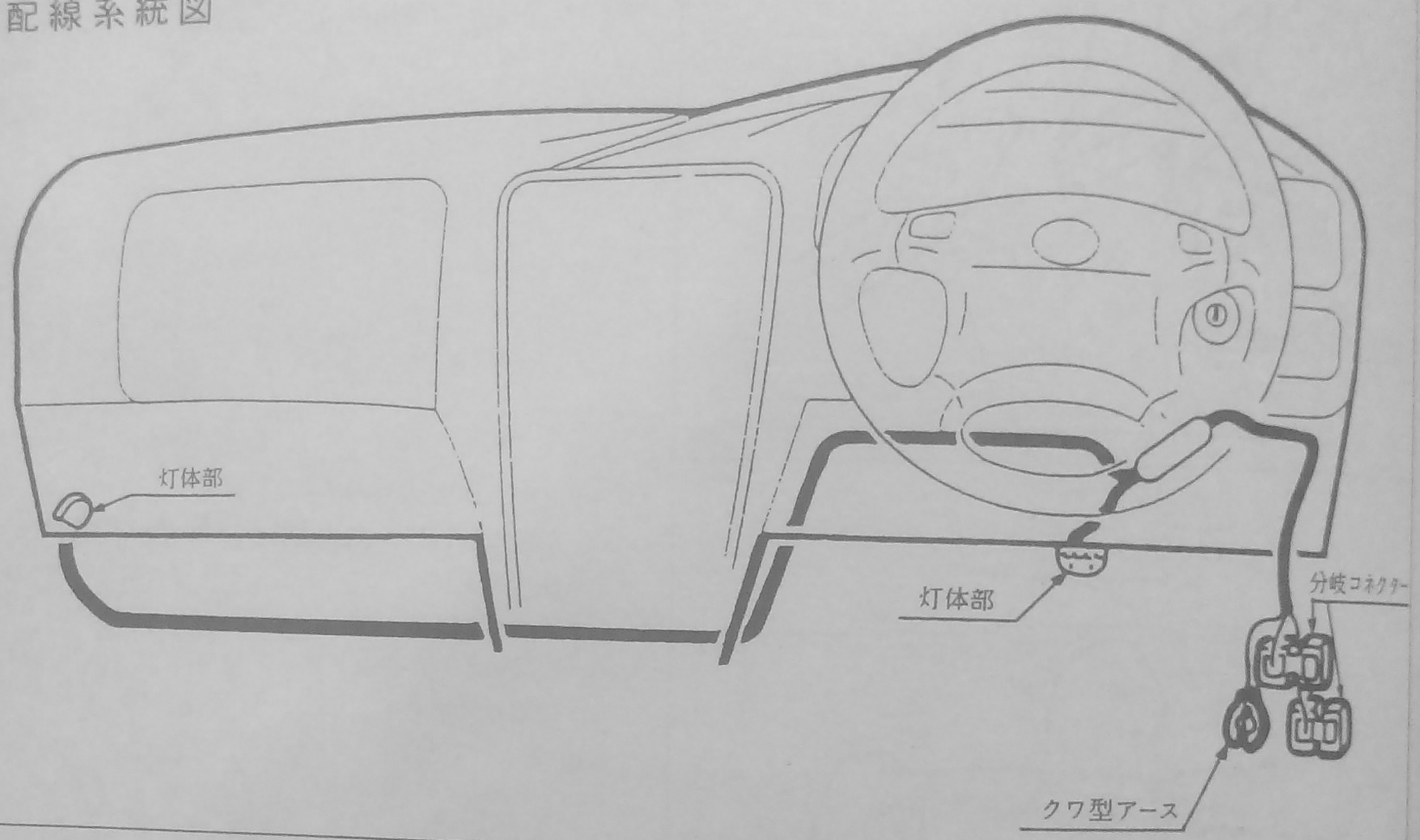
④ ベース裏側に貼った両面接着シートの片面離型紙をはがす。

⑤ 左図のようにビニールバンドをエアーダクトに巻いてダクト上部でよじり，灯体部を固定する。

注意

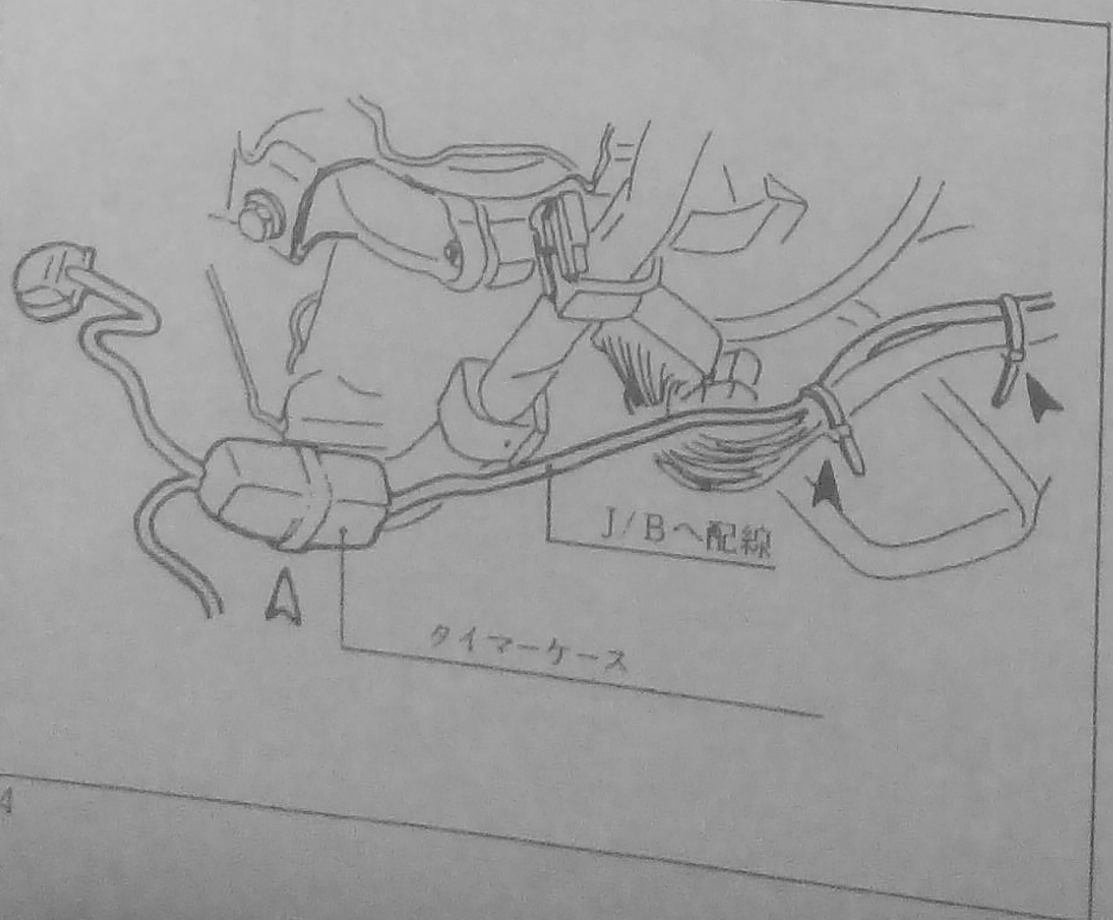
エアダクトに汚れがある場合は，白ガソリン等で拭いてから貼り付けてください。

配線系統図



注意

フットランプのハーネスは、車両ハーネスに沿わせて配線し、ハーネスのたれ下がりやかみ込み、すれ合いなどがないように車両ハーネスと一緒にバンドで固定し、プロテクターのある部分は必ずプロテクター内を配線しコネクターは相手側へ確実に差し込んでください。また、車両ハーネスを移動した場合は、必ず元どおりにして、他の部品に接触させないでください。

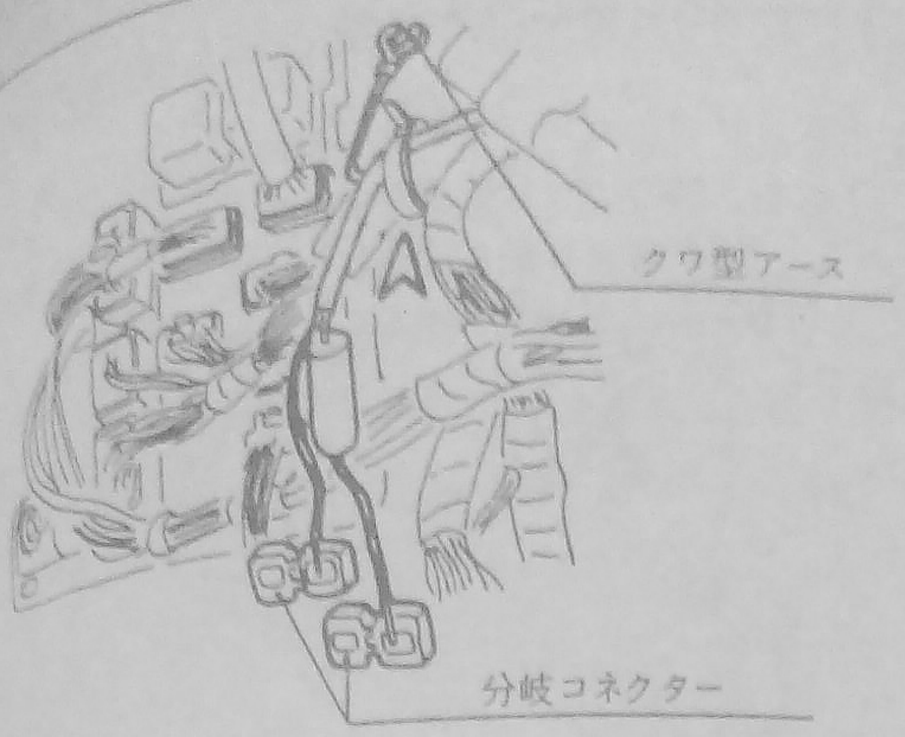


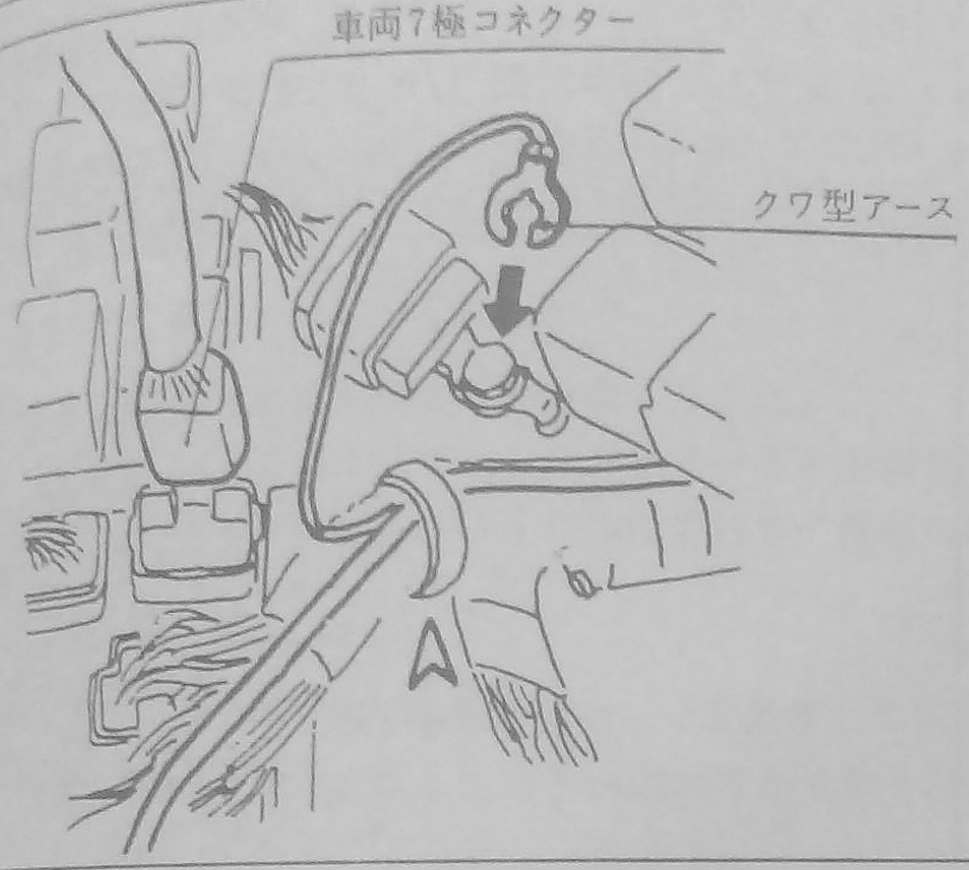
3 運転席側配線作業

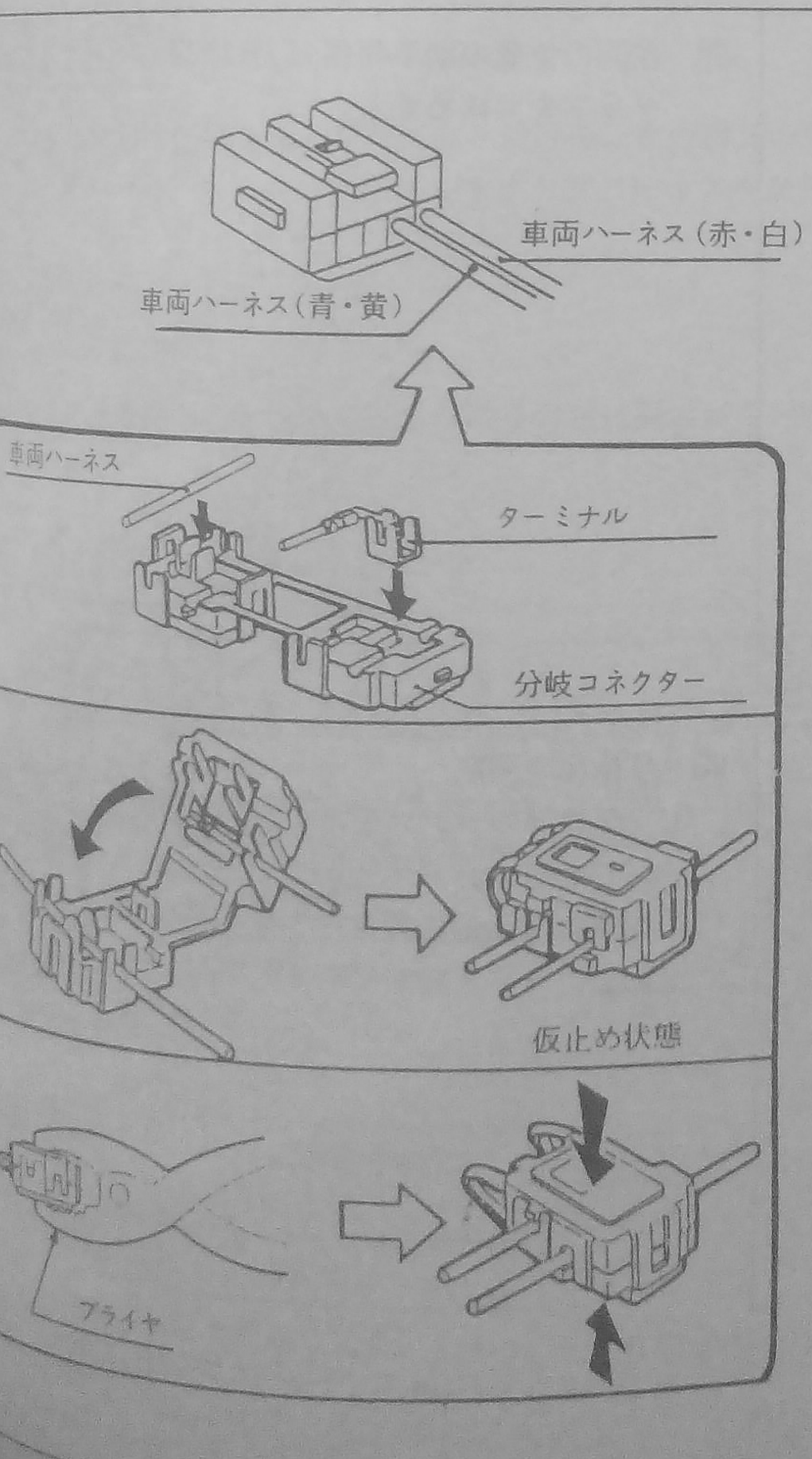
(1) 左図の位置の車両ハーネスにタイマーケースを沿わせてクランプする。

➢……クランプ（大）１ケ所

➤……クランプ（小）２ケ所







(2) 左図の位置の車両ハーネスにクランプする。
▷……クランプ（大）1ヶ所

(3) 左図に示したJ/B横のボルト（ ➡ ）をゆるめ，クワ型アースを共締めする。

(4) 左図に示したJ/B内右上の車両7極コネクターをはずし，車両ハーネスが70㎜程露出するようにビニールチューブをカットする。

(5) 分岐コネクターを使って，左図の位置にある車両ハーネス（赤・白）にランプアッセンブリの（赤・白）ハーネスを，車両ハーネス（青・黄）にランプアッセンブリの（赤）ハーネスをセットする。

(6) 分岐コネクターを左図のように折り返し，仮止めの状態にする。

注意

仮止めロックは片側にしか付いていない為，本止めのロックが上下合わさる所で止めてください。

(7) プライヤ等で左図のようにロックがかかるまではさみ込む。

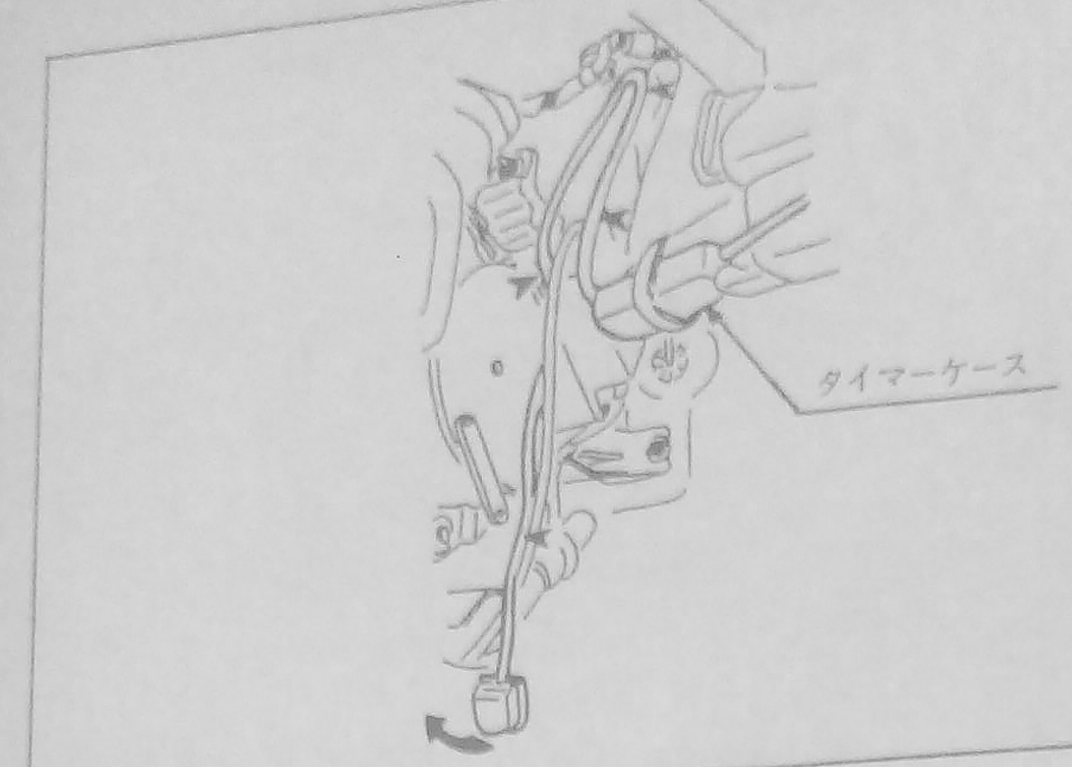
注意

① ヒンジが折れた場合でも性能に影響がない為，使用してください。
② 一度使用したものは再使用しないでください。
③ 取りはずす場合は，分岐コネクターを付けたまま用品側ハーネスを30㎜残して切りはなし，テープ等で絶縁してください。

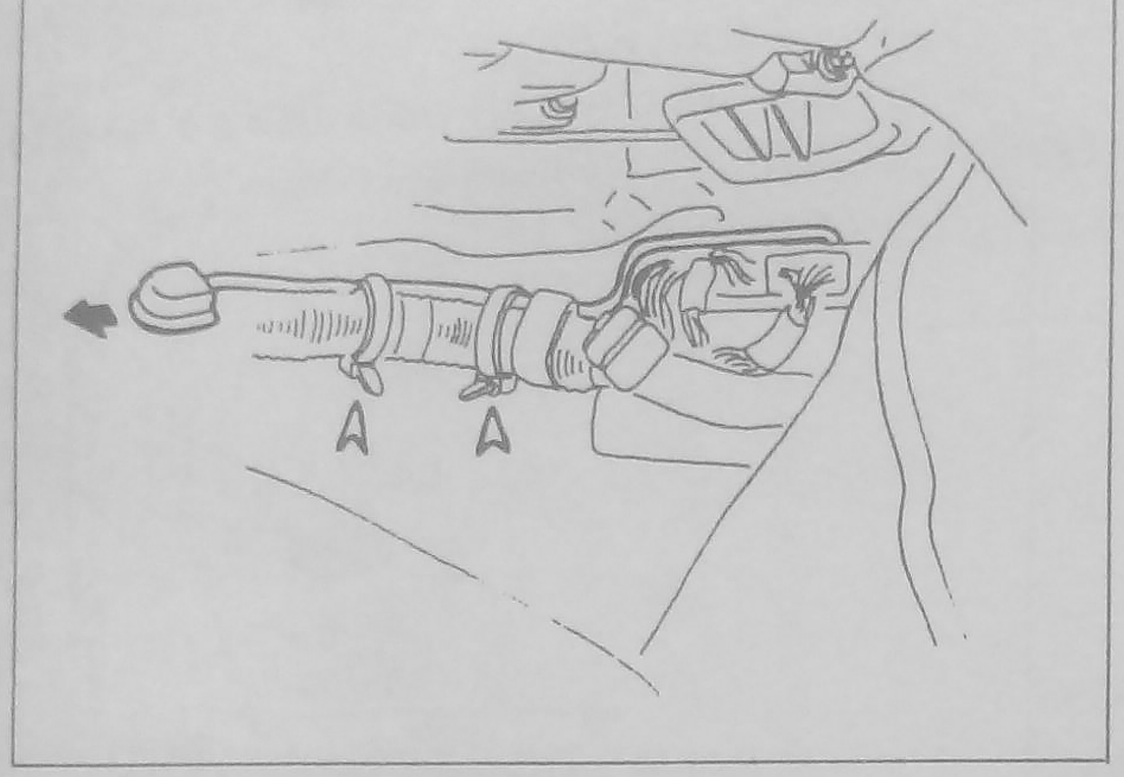
(8) 分岐コネクターをビニールテープにてテーピングする。

4 助手席側配線作業と本体の取り付け

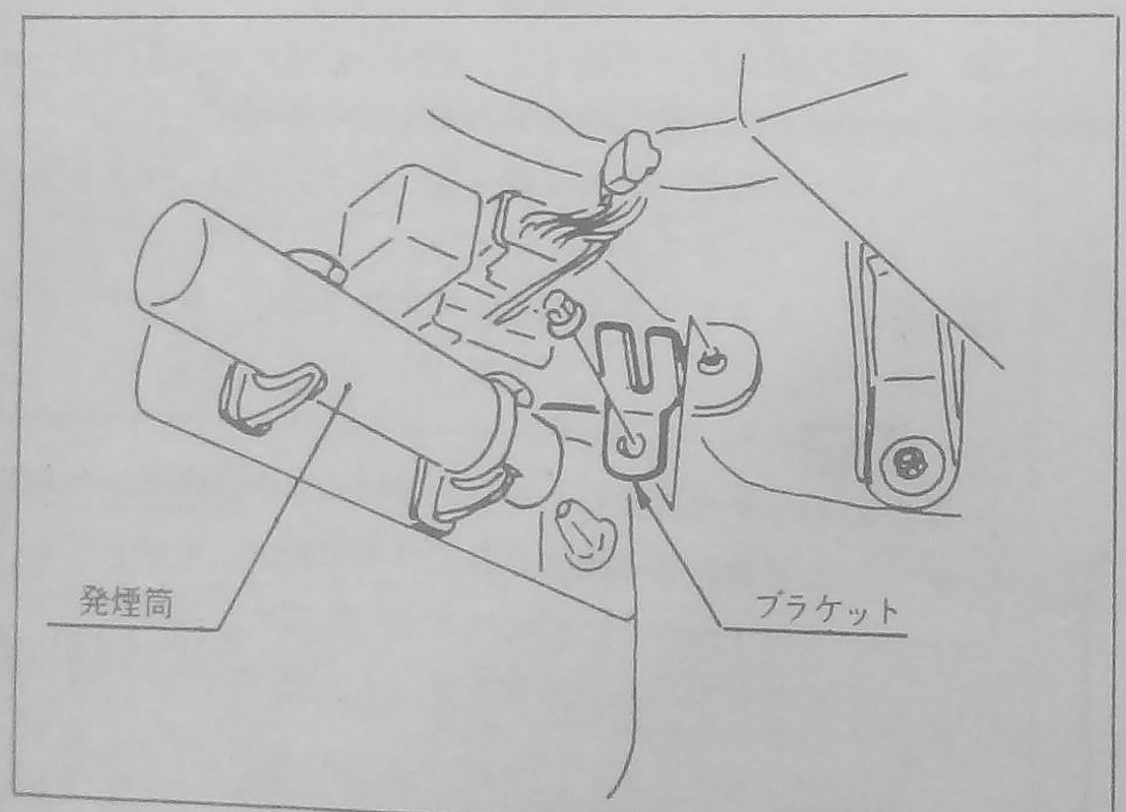
(1) ランプアッセンブリの長い側のコードについている白色部を，図のように配線し，センタークラスター裏側を通し，助手席まで配線する。
➤……クランプ（小）4ケ所



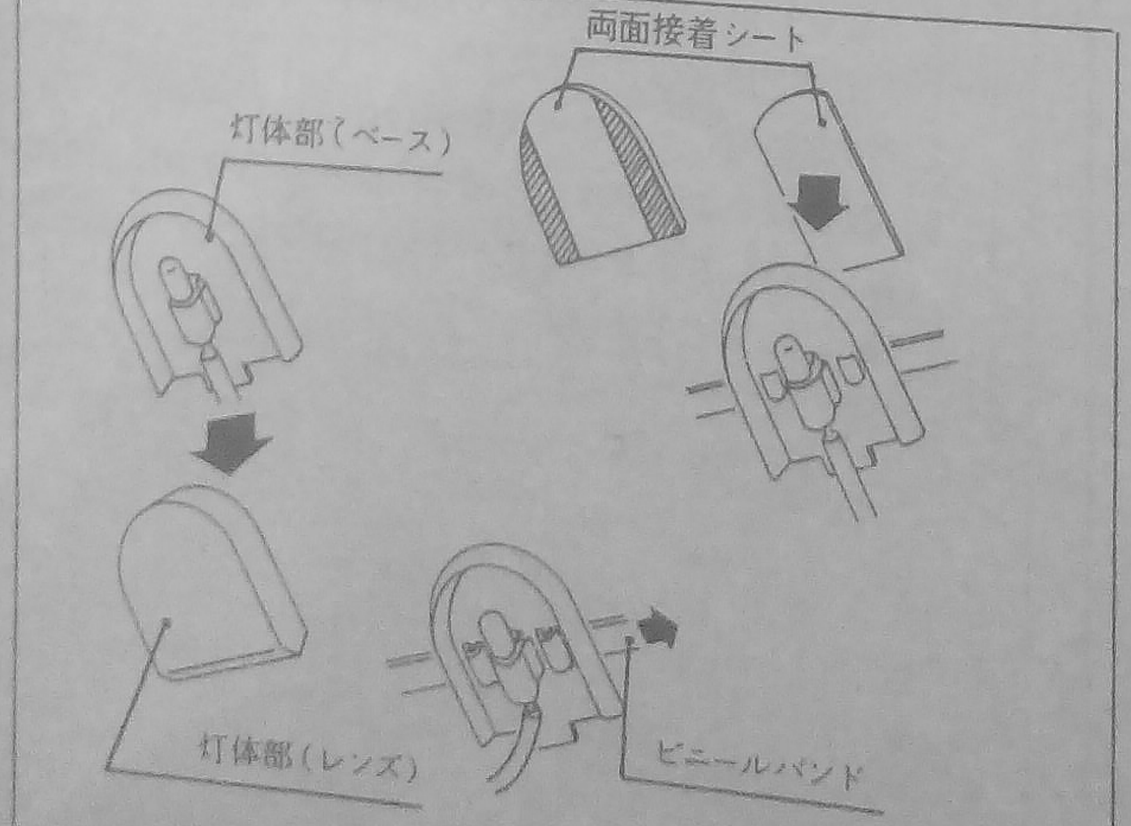
(2) フロアカーペットをめくり，車両ハーネスに沿わせクランプし，助手席側 J/B まで配線する。
➤……クランプ（大）2ケ所

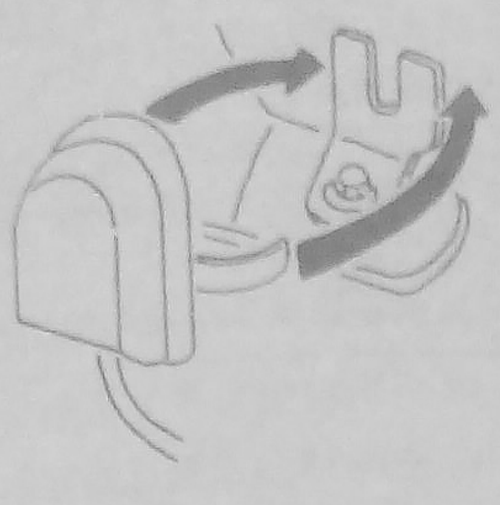


(3) 左図の位置の助手席側 J/B 固定ナットをはずし，ブラケットを共締めする。



(4) 灯体部の固定
① 灯体部のレンズをはずし，左図のようにビニールバンドを通す。
② 添付の両面接着シートを左図の形状にハサミでカットし，ベース裏面に貼る。





(5) ブラケットに左図のように灯体部を固定する。

注意

灯体部固定後、あまったビニールバンドはカットしてください。

取り付け完了後の点検

1 取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。
(2) 特に車両ハーネスおよびフットランプハーネスを無理に押したり，引っ張ったり，かみ込んだりしていないか点検すること。またクランプおよびバンドのはずれや，部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2 作 動 確 認

(1) バッテリーの（－）端子を取り付け，「取扱書」の操作要領どうりに作動するか確認すること。
(2) ドアを開けるとすぐ点灯し，ドアを閉めてから約８秒後に消灯する。

復元作業

取りはずした車両部品を元どおりに取り付ける。また復元の際は，下記の点に注意して作業を行うこと。
(1) 復元時に車両ハーネスおよびフットランプハーネスをかみ込んだり，車両部品を損傷させないように注意すること。

最終確認

(1) ハーネスのかみ込み，車両部品の取り付けに異常がないか確認してください。

トラブルシュート

1 点灯しない

ドアは開いていますか。 —NO→ ドアを開けてください。

↓ YES

コネクターは確実に接続されており，ヒューズは正常ですか。 —NO→ コネクターを確実に接続し，ヒューズを確認してください。

↓ YES

アース端子は確実に固定されていますか。 —NO→ アース端子を確実に固定させてください。

↓ YES

バルブ切れだと思われます。
90981－11014（12V－1.4W）のバルブに交換して下さい。 —それでも点灯しない場合→ タイマーケース内での不良だと思われます。フットランプ Assy を交換してください。

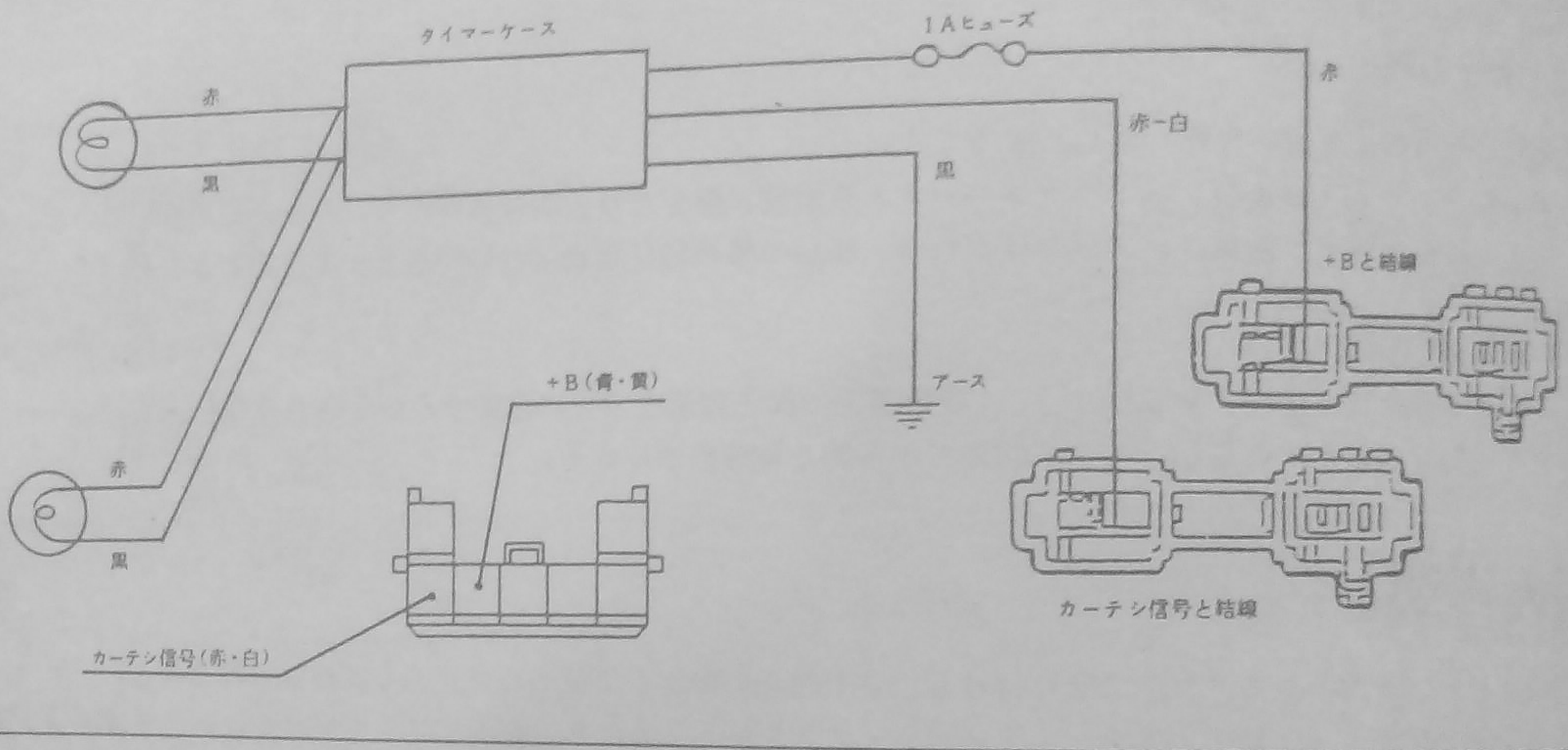
2　消灯しない

全てのドアは確実に閉まっていますか。
- NO → ラゲージドアを含めて全てのドアを確実に閉めてください。約８秒後に消灯。
- ↓ YES

コネクターは確実に接続されていますか。
- NO → 車両側コネクターを確実に接続してください。用品側を確実に接続してください。
- ↓ YES

タイマーケース内での不良だと思われます。フットランプAssy交換してください。

配線図



※上記コネクター略図はコネクター接続側を示しています。

仕様

項　　目	仕　　様
定格電圧	DC12．0V
消費電力	1.4W×2
使用電圧範囲	10V～16V
使用温度範囲	－20℃～60℃
使用バルブ	ウェッジベースバルブ（90981－11014）
重　　量	100g

注：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

取り付け店殿へのお願い

・必ずお客様に操作要領を説明してください。
・別冊（別紙）の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

トヨタ純正 リヤフェンダポール

取付要領書

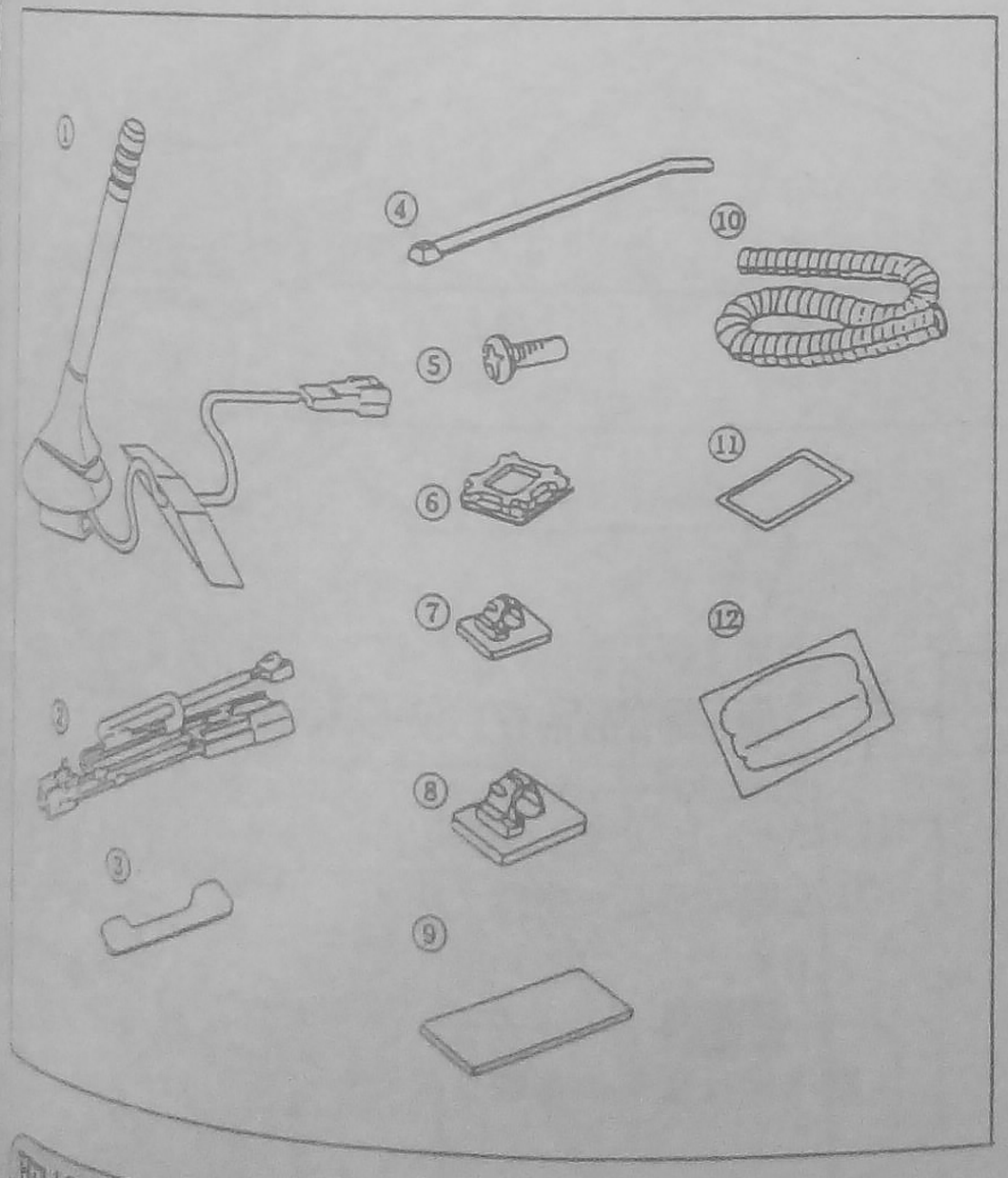
このたびはトヨタ純正リヤフェンダーポールをお買いあげいただきありがとうございました。
本書は下記「適用車種」欄に記載の車両にリヤフェンダーポールを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。取り付ける前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
なお「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

(9310)

品番	適用車種		年式
08514-12090	カローラセレス スプリンターマリノ	除くリヤスポイラー装着車	1992年5月以降
	カローラセダン スプリンターセダン	除くリヤスポイラー装着車	1993年5月以降
	コロナEXiV カリーナED	除くリヤスポイラー装着車	1993年10月以降

構成部品



No.	品名	品番	個数
1	リヤフェンダーポールAssy	————	1
2	サブハーネス	————	1
3	プレート	————	1
4	クランプ	————	4
5	スクリュ	————	2
6	バンドホルダ	————	2
7	シェルクリップ（小）	————	4
8	シェルクリップ（大）	————	1
9	ウレタンフォーム	————	1
10	コルゲートチューブ	————	1
11	両面接着シート	————	1
12	トーメイシール	————	1

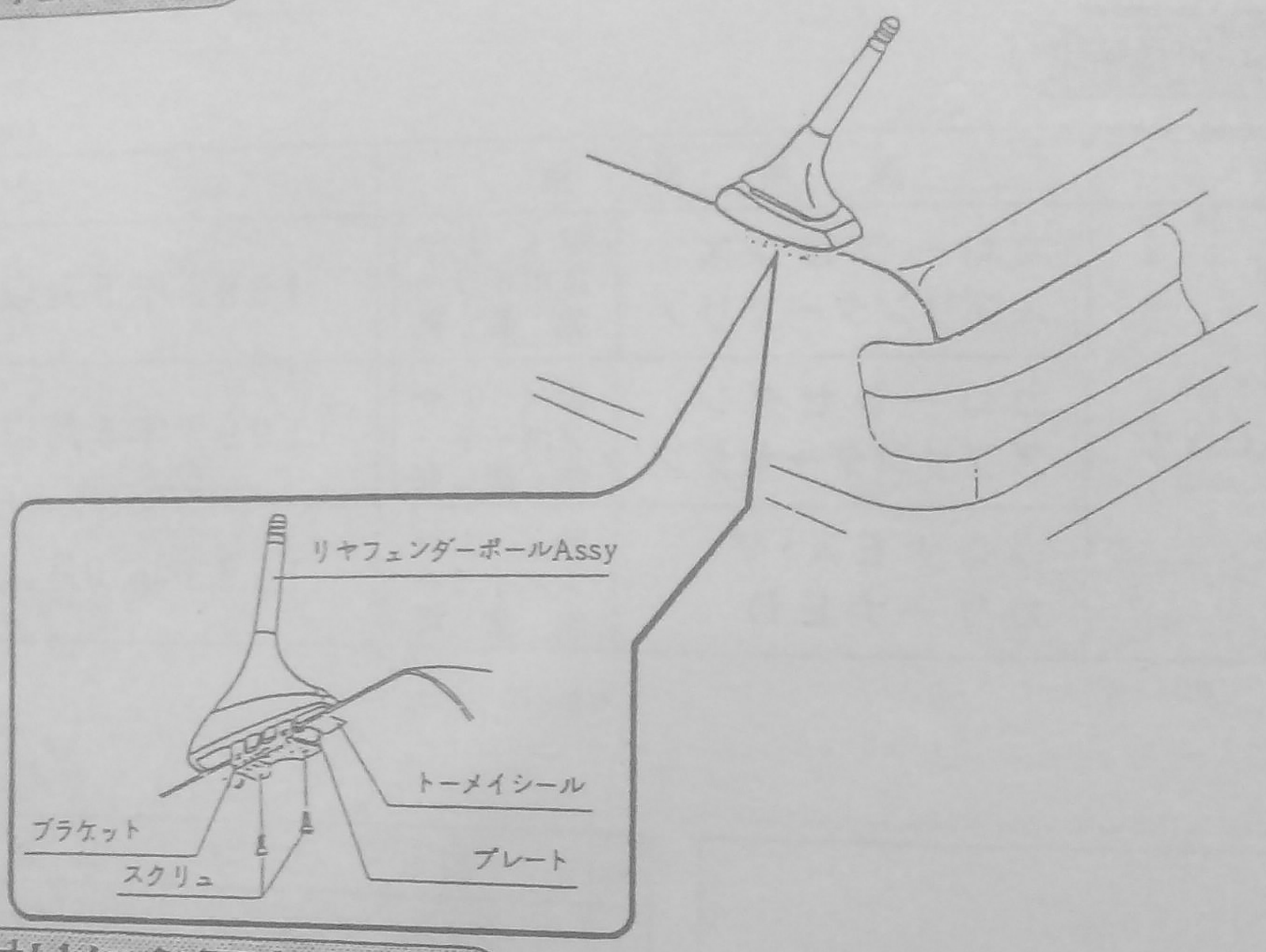
取り付け時間

0.5 H

取り付け上の注意事項

1．取り付ける前にバッテリーの（−）側ケーブルをはずしてください。
2．取り付ける前にボディー保護のカバーを付けてください。
3．本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
4．車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
5．本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

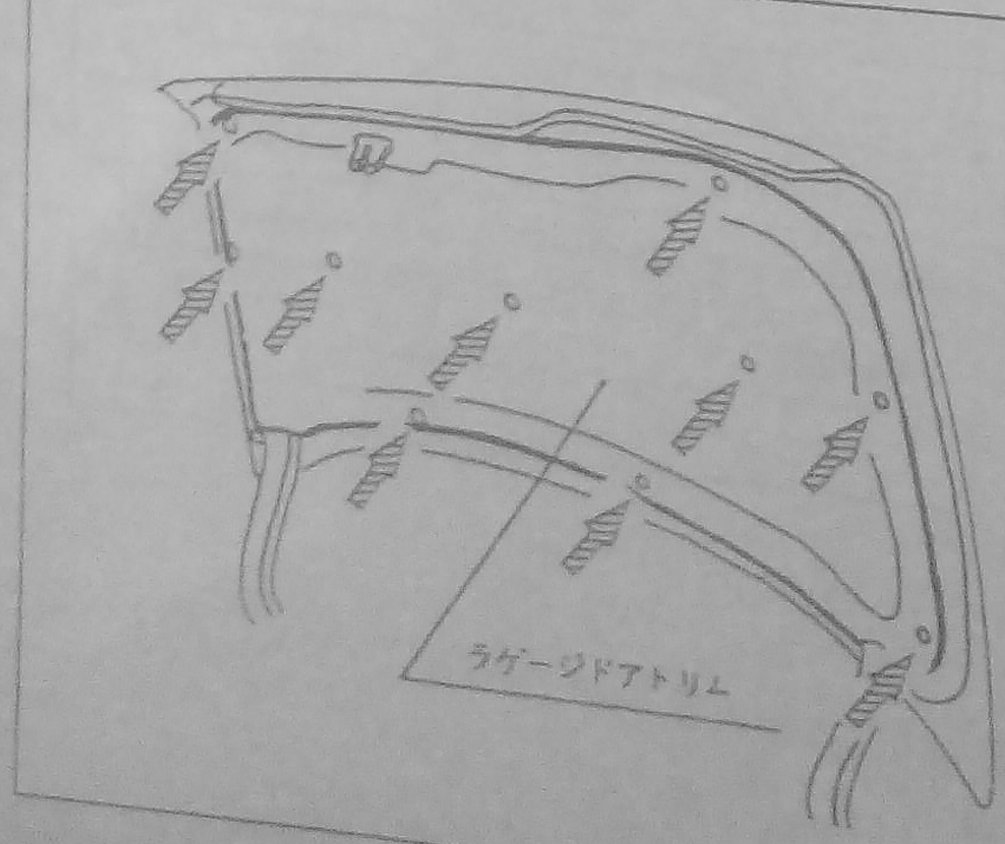
取り付け概要



取り付けに必要な工具等

一般工具

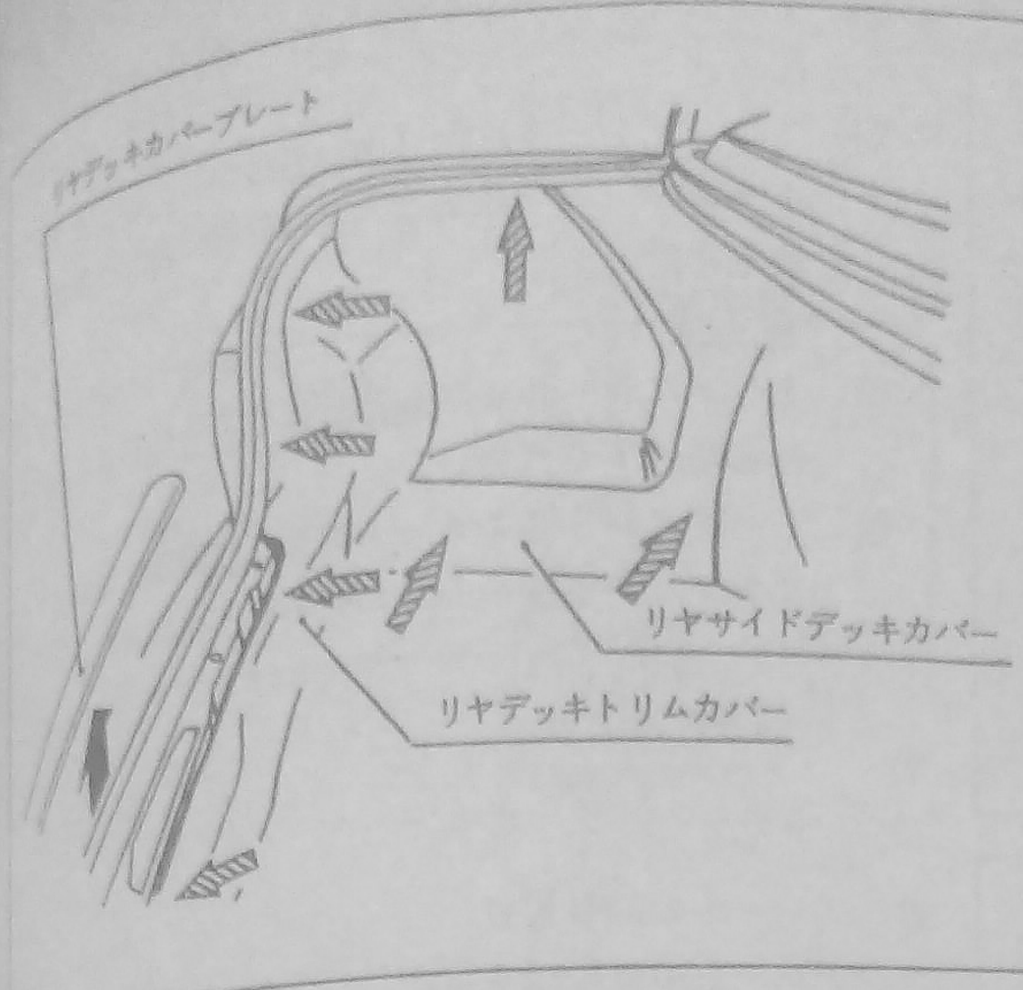
取り付け要領



1　車両部品の取りはずし

(1)　ラゲージドアトリム
① 左図に示した樹脂クリップ（⇒）をはずして取りはずす。

注意
寒冷地仕様車のみ取りはずしてください。



<カローラ・スプリンター系の場合>

(2) リヤデッキカバープレート

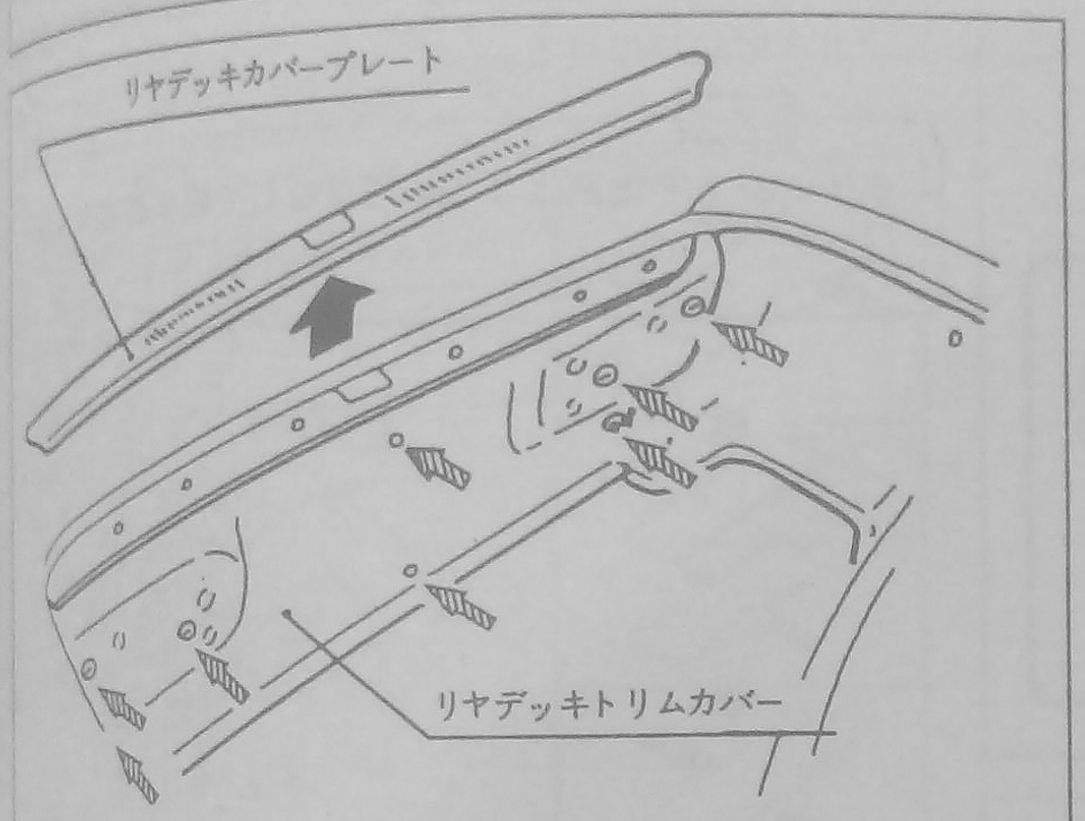
① 左図に示したリヤデッキカバープレートをはずして取りはずす。

(3) リヤデッキトリムカバー

① 左図に示した樹脂クリップ（⇒）4ヶ所をはずして取りはずす。

(4) リヤサイドデッキカバー

① 左図に示した樹脂クリップ（⇒）3ヶ所をはずして取りはずす。



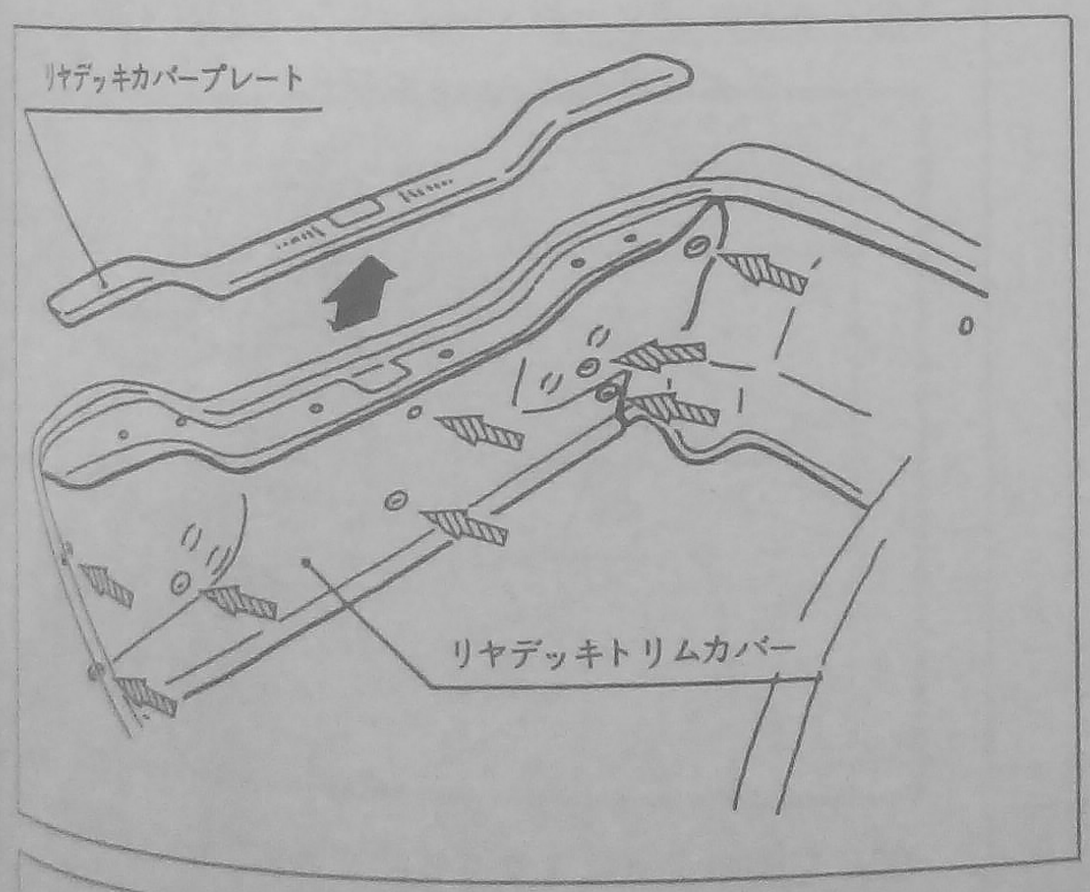
<ＥＤの場合>

(2) リヤデッキカバープレート

① 左図に示したリヤデッキカバープレートを取りはずす。

(3) リヤデッキトリムカバー

① 左図に示した樹脂クリップ（⇒）8ヶ所をはずして取りはずす。



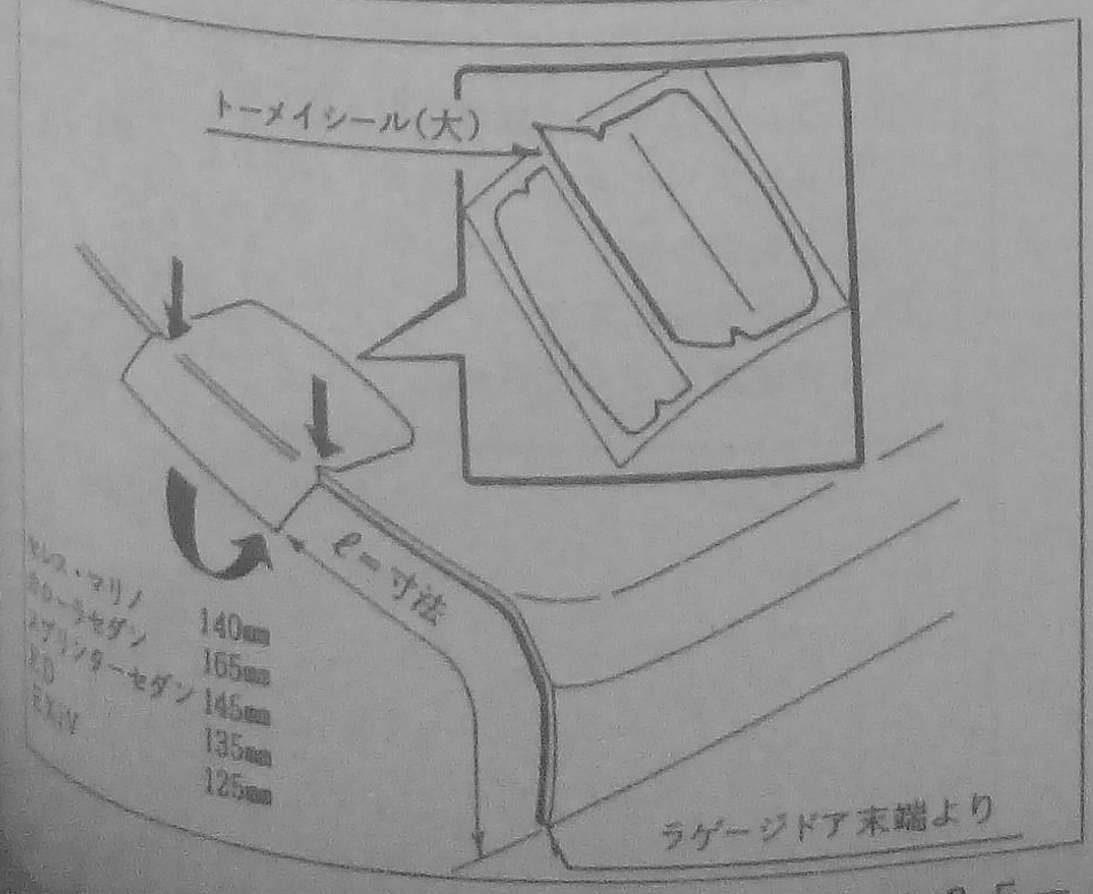
<ＥＸｉＶの場合>

(2) リヤデッキカバープレート

① 左図に示したリヤデッキカバープレートを取りはずす。

(3) リヤデッキトリムカバー

① 左図に示した樹脂クリップ（⇒）8ヶ所をはずして取りはずす。



2 本体の取り付け

(1) トーメイシールの貼り付け

① 添付のトーメイシール片側（大）をはがし、左図寸法を基準にラゲージドア表面にトーメイシールを貼る。

注意

① トーメイシールを貼る部分はウエス等でよく拭いてから貼ってください。

② トーメイシールのカット部分（左図黒矢印位置）をラゲージドアのふちに合わせてください。

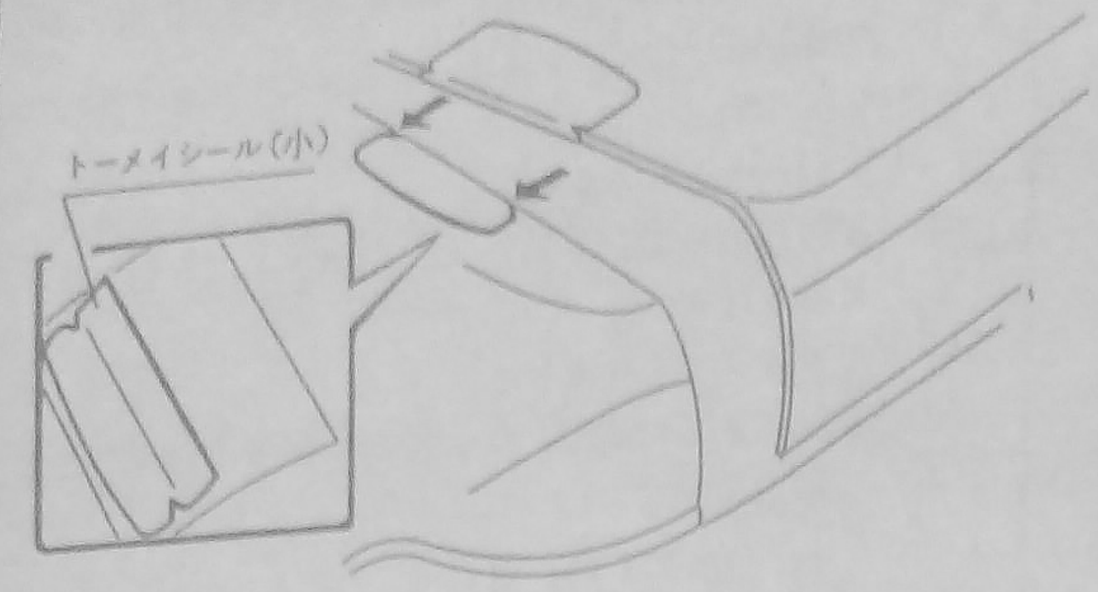
② トーメイシールをラゲージドア裏側にまわり込ませて貼る。

③ トーメイシール片側（小）をはがし，①，②で貼ったトーメイシール片側（大）の位置に合わせ車両ボディ表面に貼る。

注意

① トーメイシールを貼る部分はウエス等でよく拭いてから貼ってください。

② トーメイシールのカット部分（左図黒矢印位置）をリヤクォーターのふちに合わせてください。

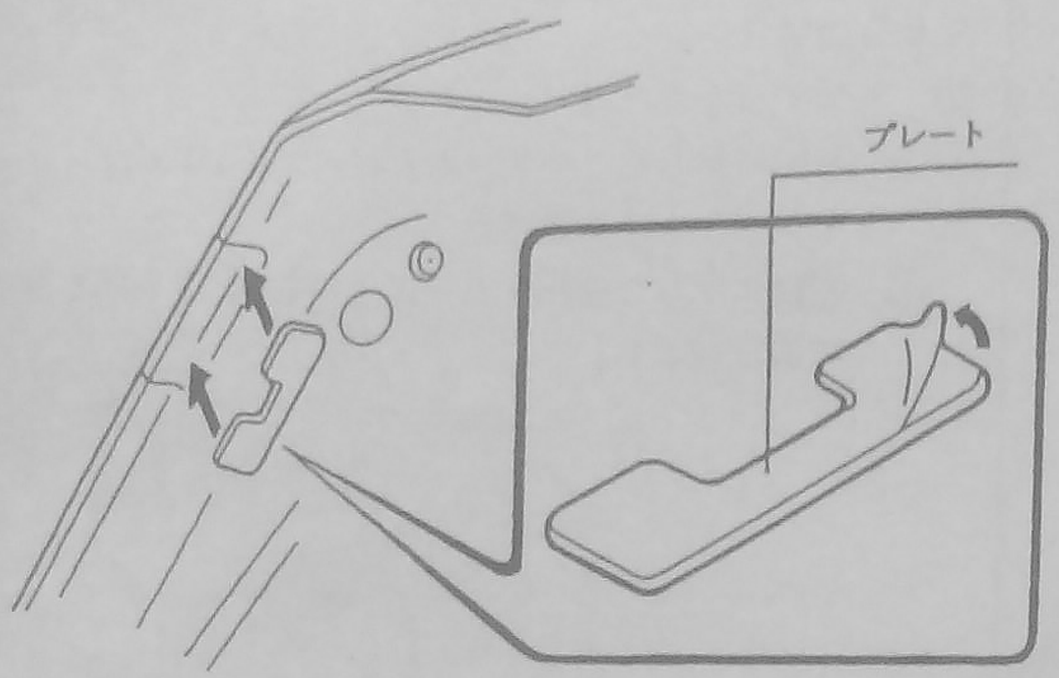


(2) プレートの貼り付け

プレートの離型紙をはがし，ラゲージドア裏側に左図のように貼り付ける。

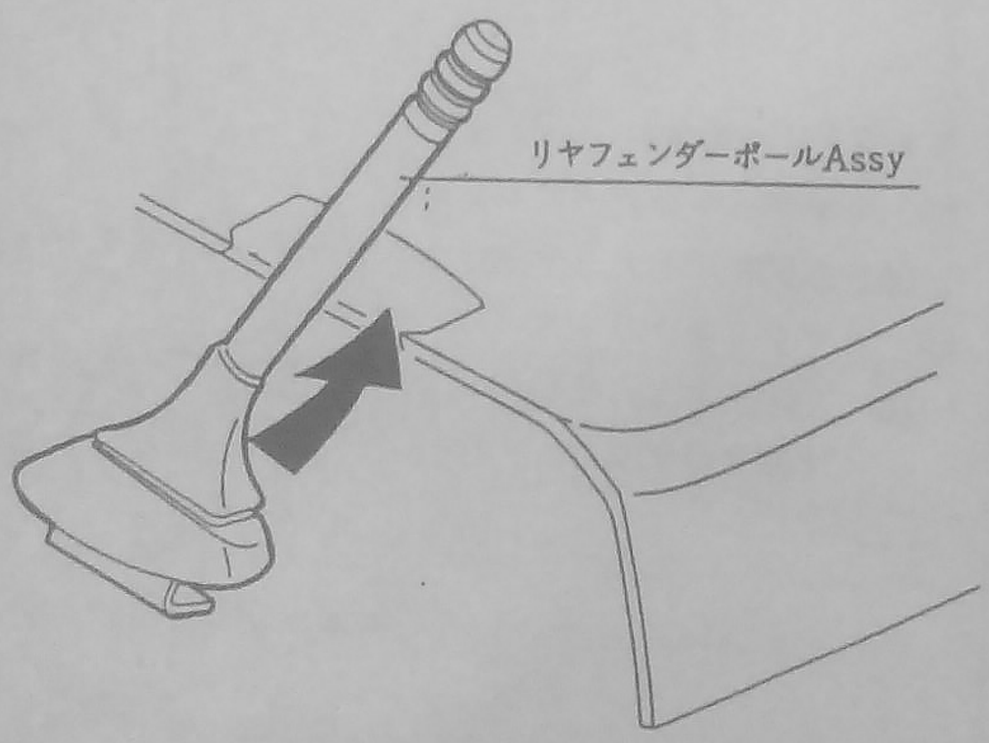
注意

ラゲージドア端面より 3 ㎜程はなして貼り付けてください。



(3) リヤフェンダーポールAssy の固定

① ラゲージドアのトーメイシールを貼った部分にリヤフェンダーポールAssy を乗せる。

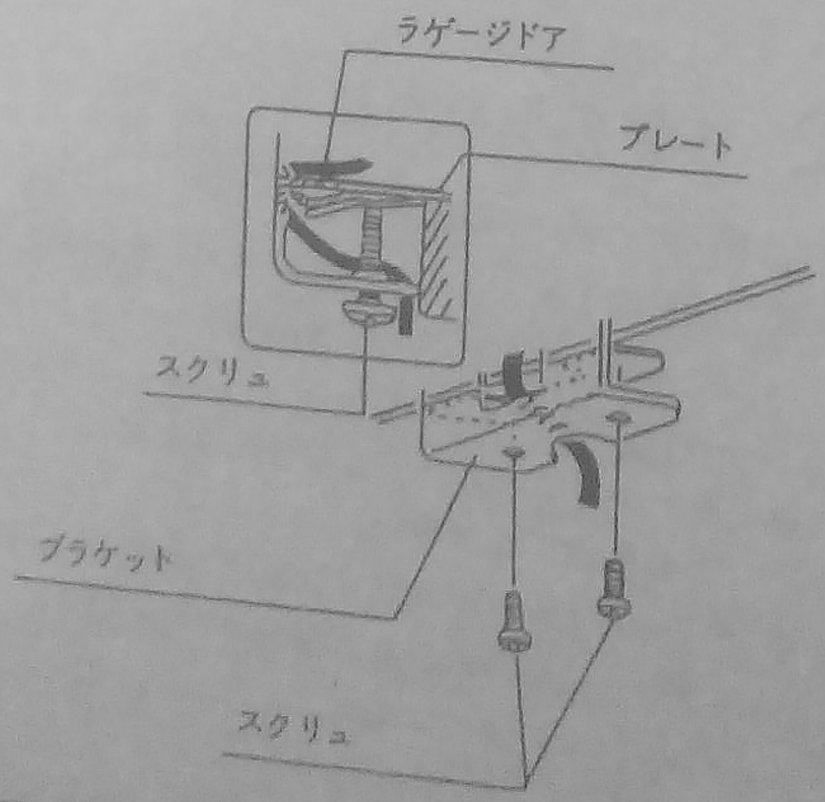


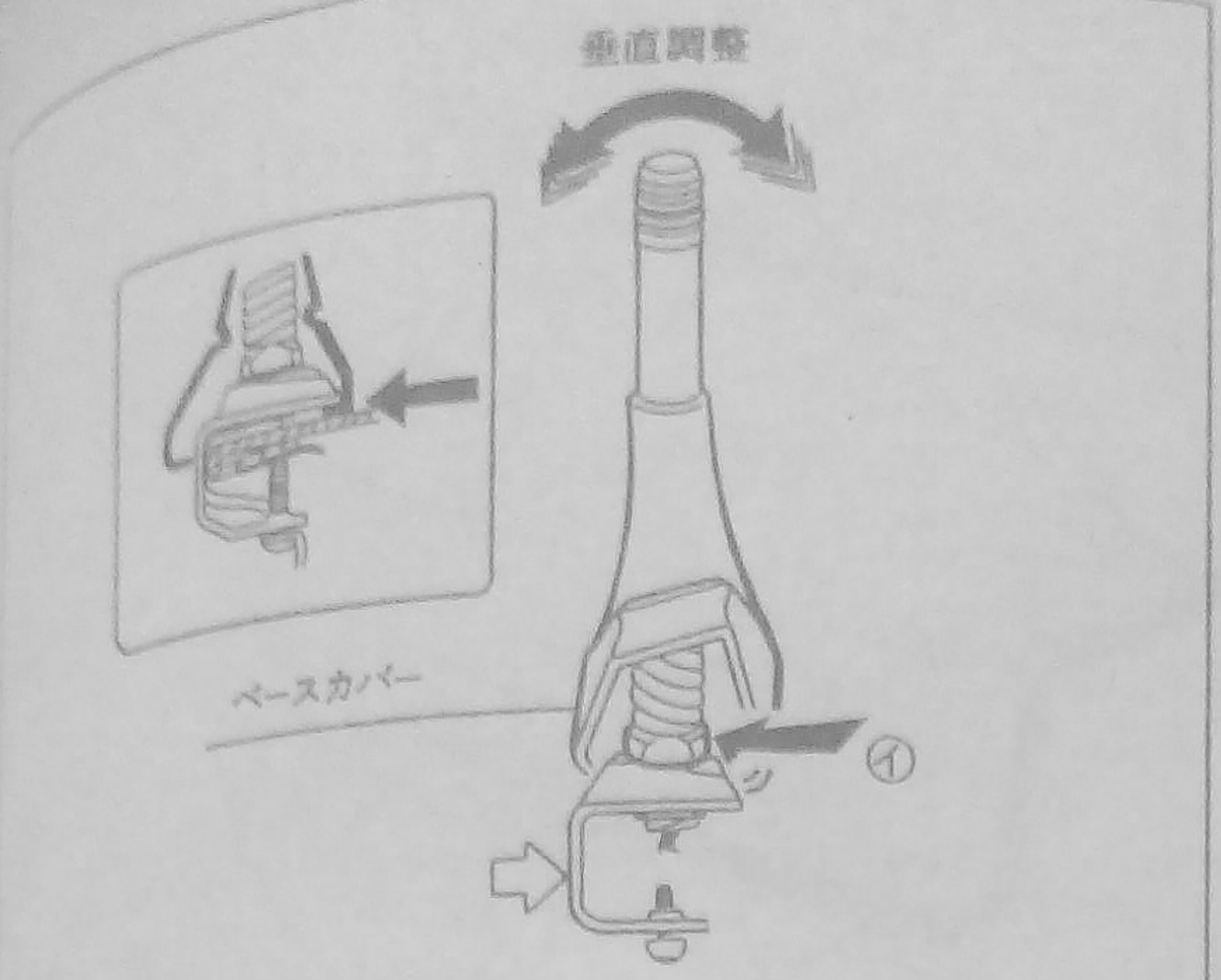
② 左図のようにスクリュにてブラケットを仮固定する。

注意

① ランプコードは無理に引っ張らないようにラゲージドアふちにまわり込ませ，左図のようにランプコードを取り廻してください。

② スクリュにてランプコードをはさみ込まないよう十分注意してください。



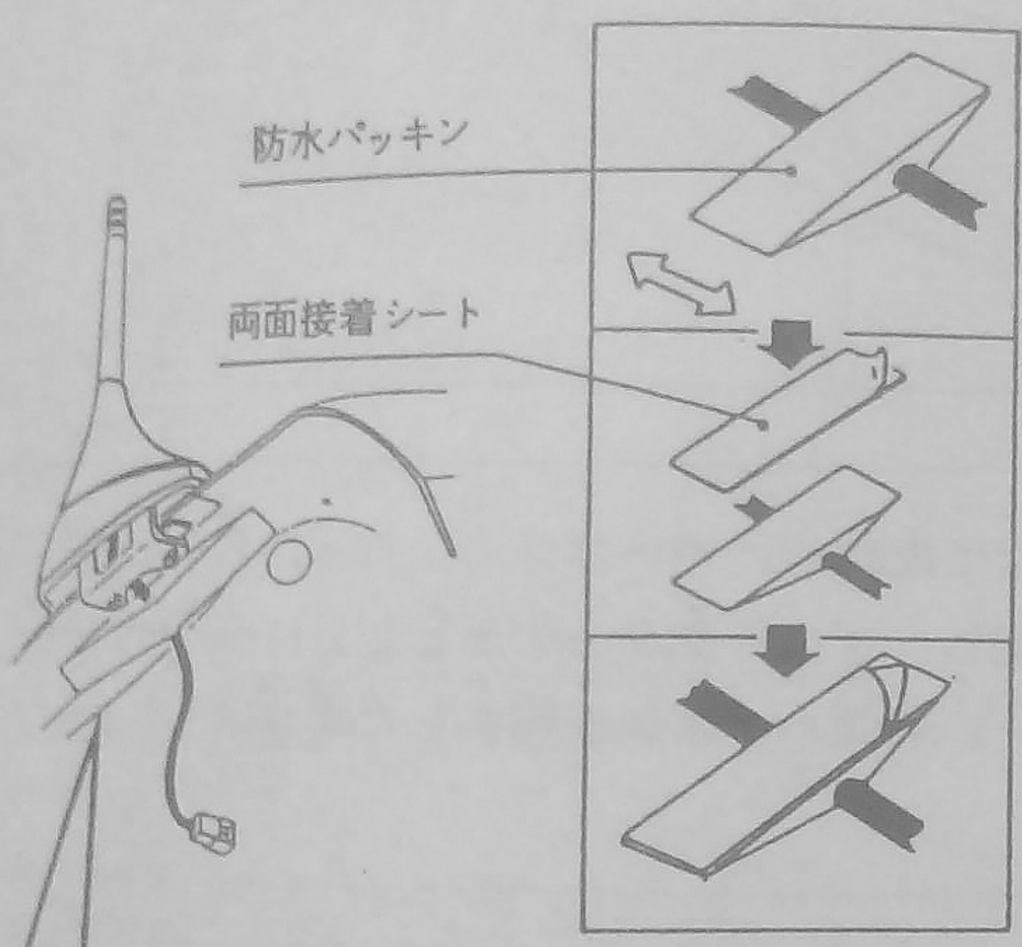


③ リヤフェンダーポール Assy のベースカバー部分をめくり，左図の①ナットをスパナ（14）にてゆるめ，ポールが垂直に立つように調整して再びスパナ（14）にてしっかりと固定する。

④ 仮固定したスクリュをゆるめ，ブラケットをラゲージドアからはずす。

⑤ ベースカバーを元通りかぶせる。この際，左図断面図のように，ふちをブラケット裏に確実に引っ掛けること。

⑥ ブラケットをラゲージドア中心方向にしっかりと押し付けながらスクリュにて固定する。



(4) 防水パッキンの貼り付け

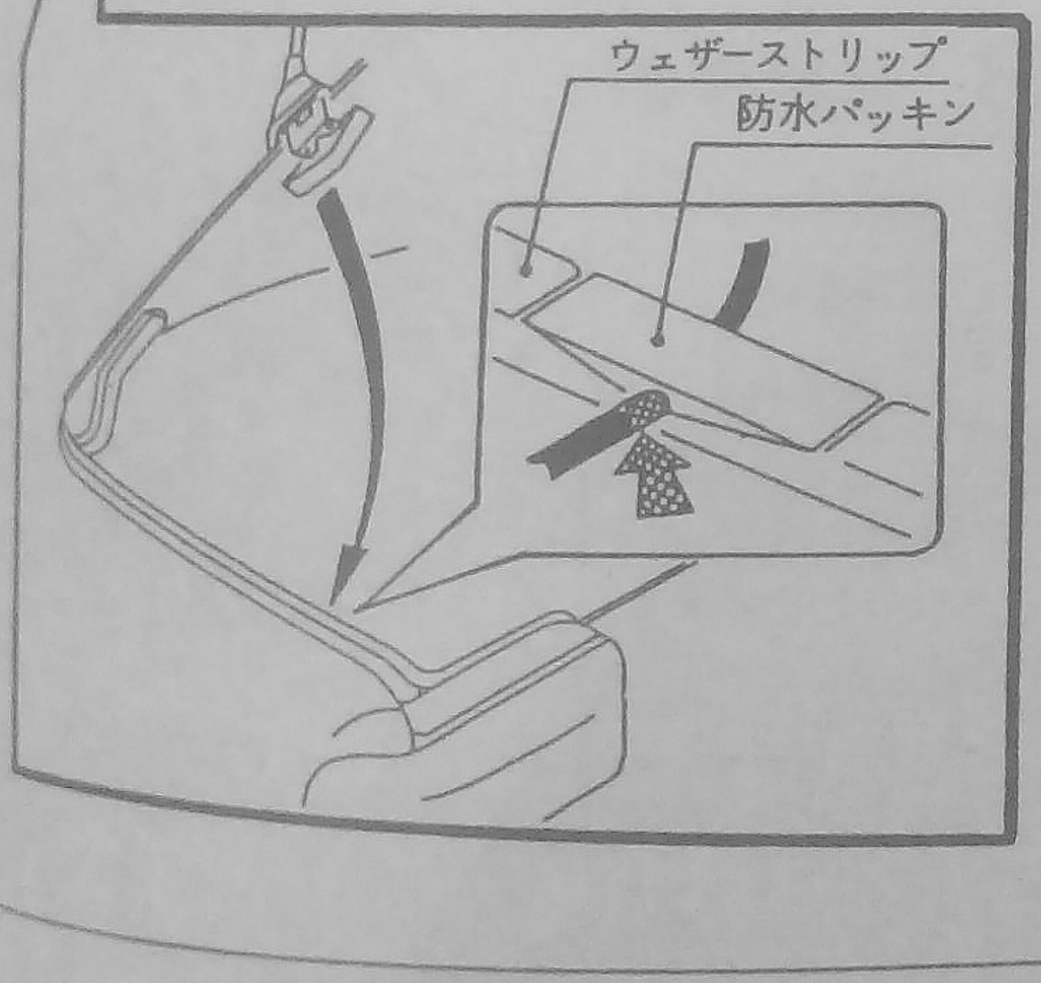
① ランプコードに付いている防水パッキンをスライドさせ，車両ウェザーストリップに当たる位置を確認する。

② 防水パッキンに両面接着シートを貼り，離型紙をはがしてラゲージドア裏側に貼り付ける。

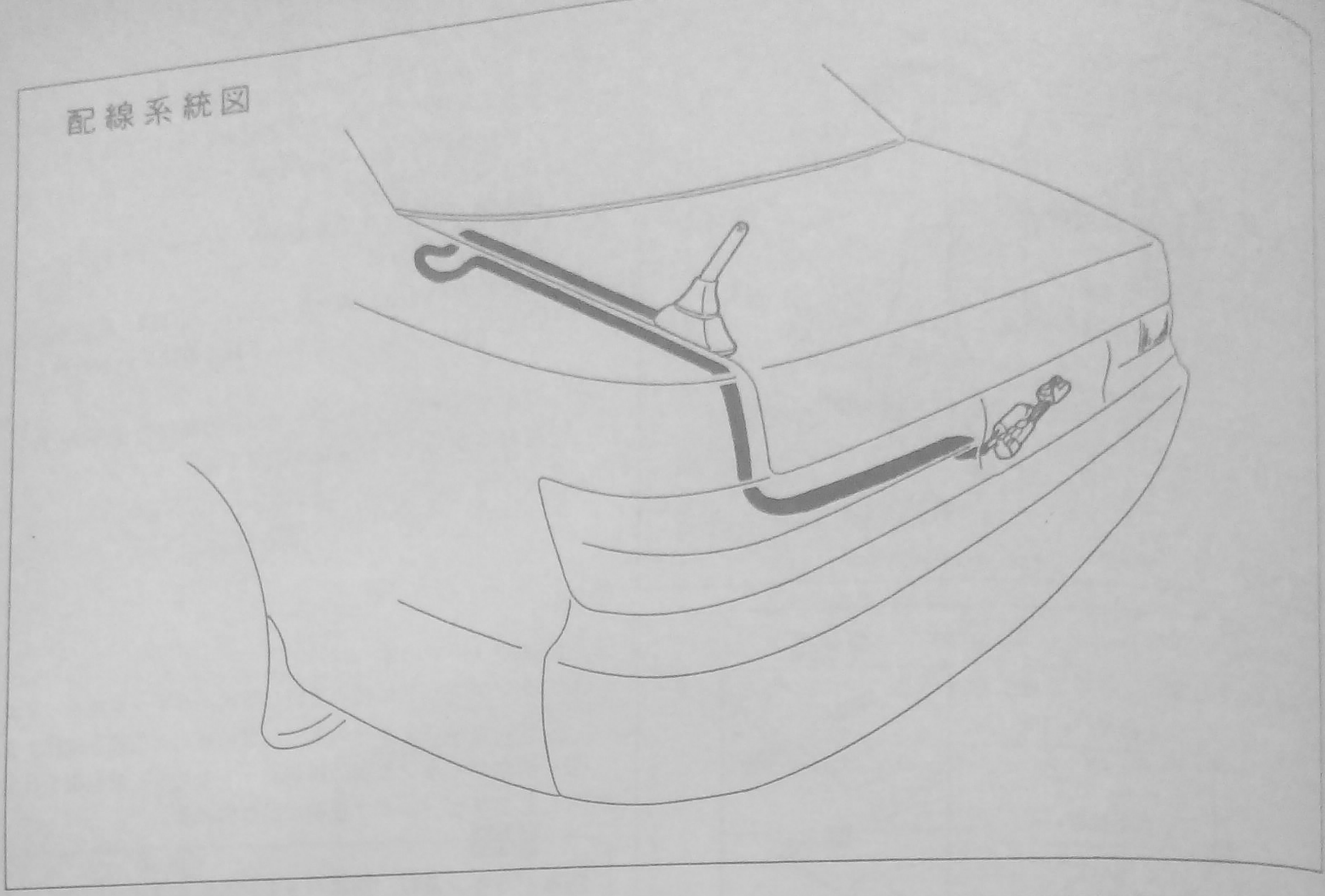
注意

防水パッキン及び，防水パッキンを貼るラゲージドア側は汚れ，油分を必ず拭きとってください。

③ 左下図矢印の部分は防水処理の為ブチルテープを巻くこと。

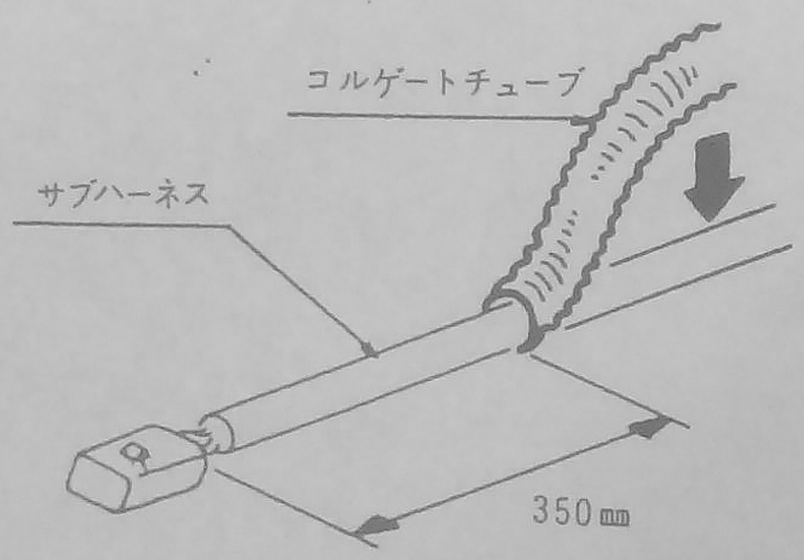


配線系統図



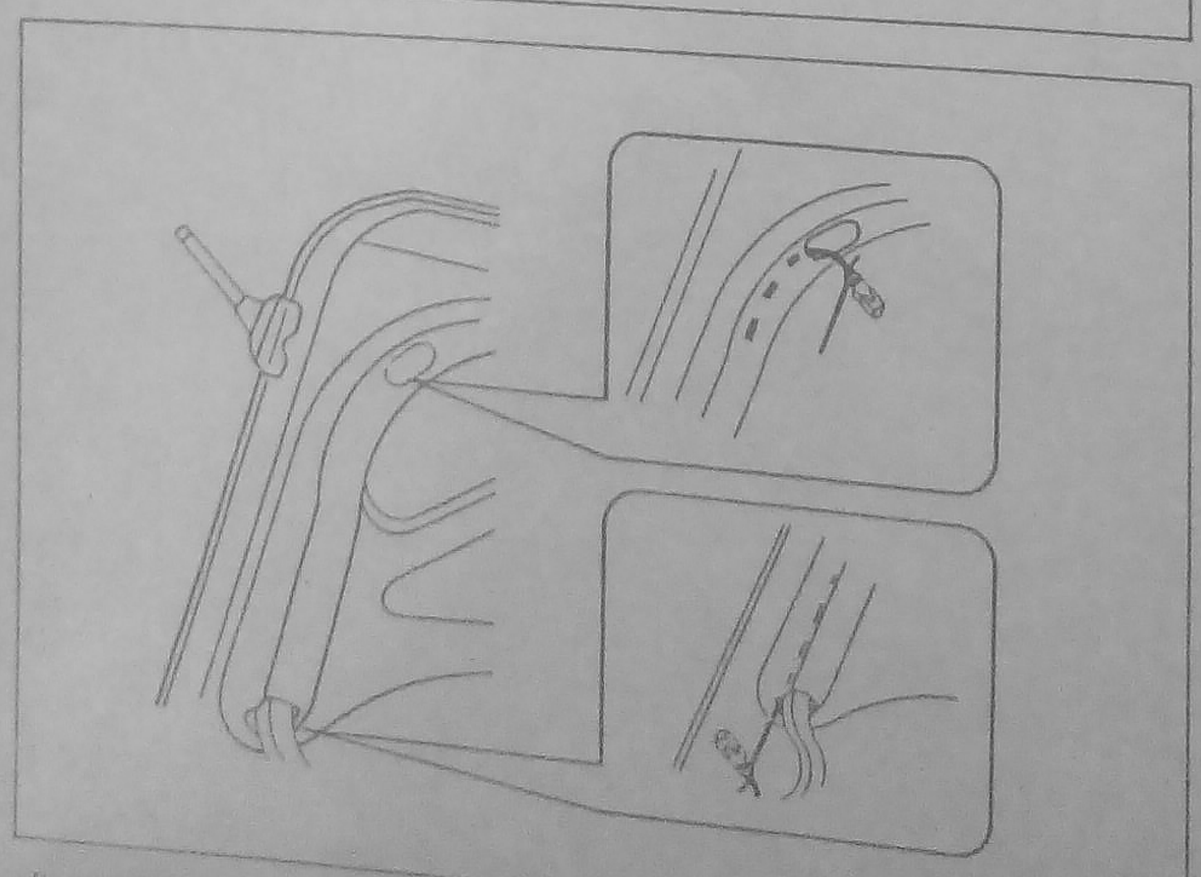
注意

リヤフェンダーポールのハーネスは、車両ハーネスに沿わせて配線し、ハーネスのたれ下がりやかみ込み、すれ合いなどがないように車両ハーネスと一緒にバンドで固定し、プロテクターのある部分は必ずプロテクター内を配線しコネクターは相手側へ確実に差し込んでください。車両ハーネスを移動した場合は、必ず元どおりにして、他の部品に接触させないようにしてください。



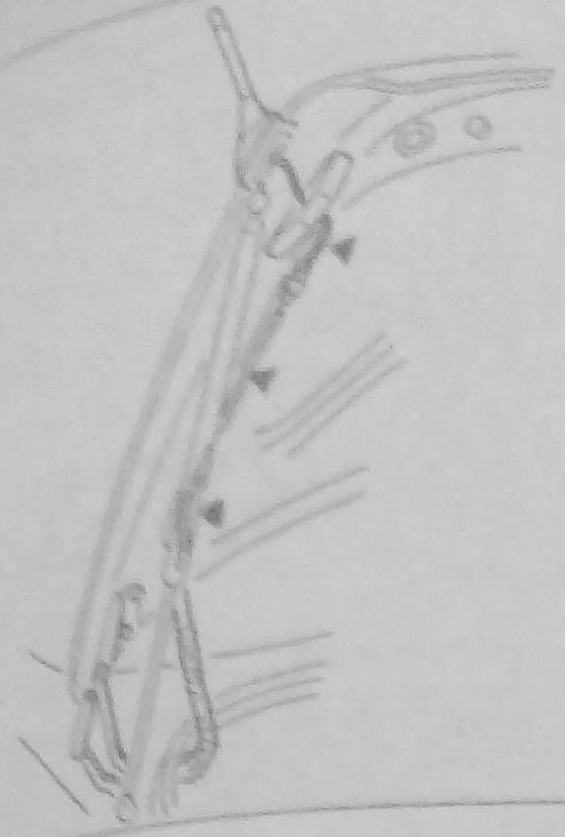
3 配線作業

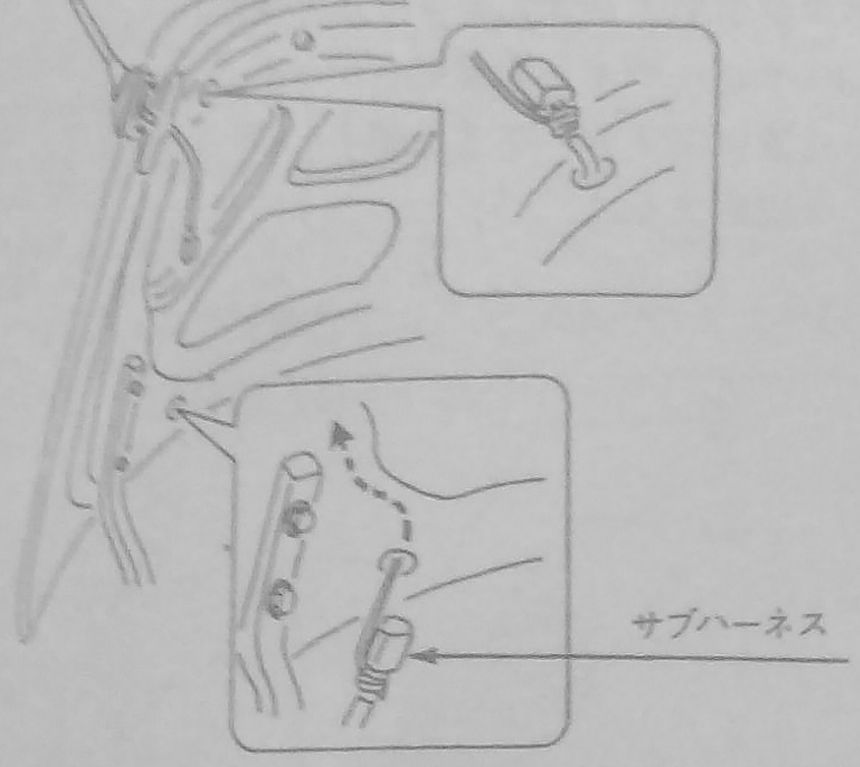
(1) 左図のようにサブハーネスにコルゲートチューブを取り付ける。

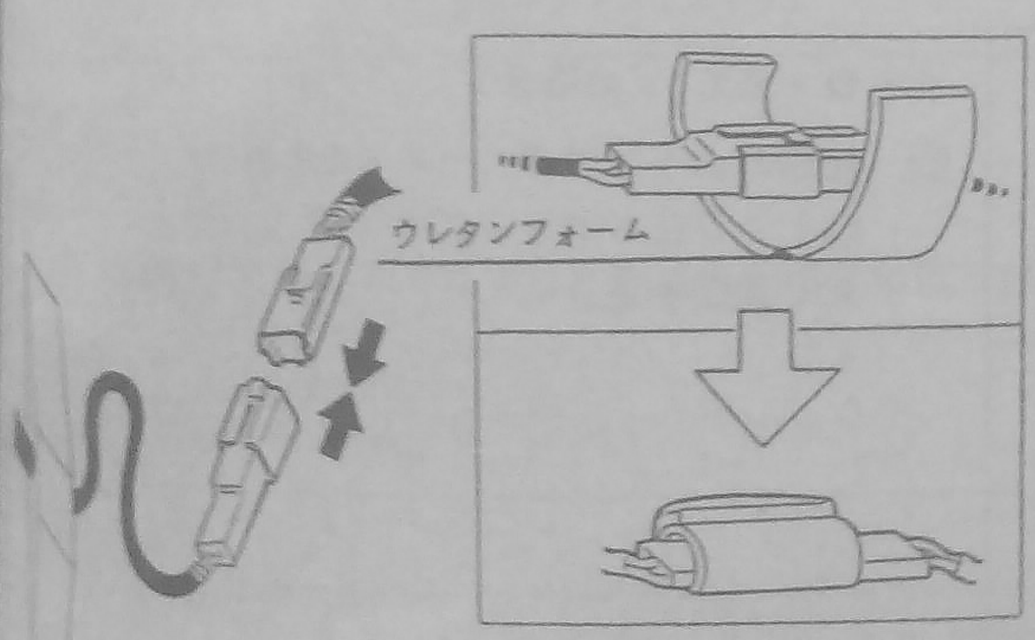


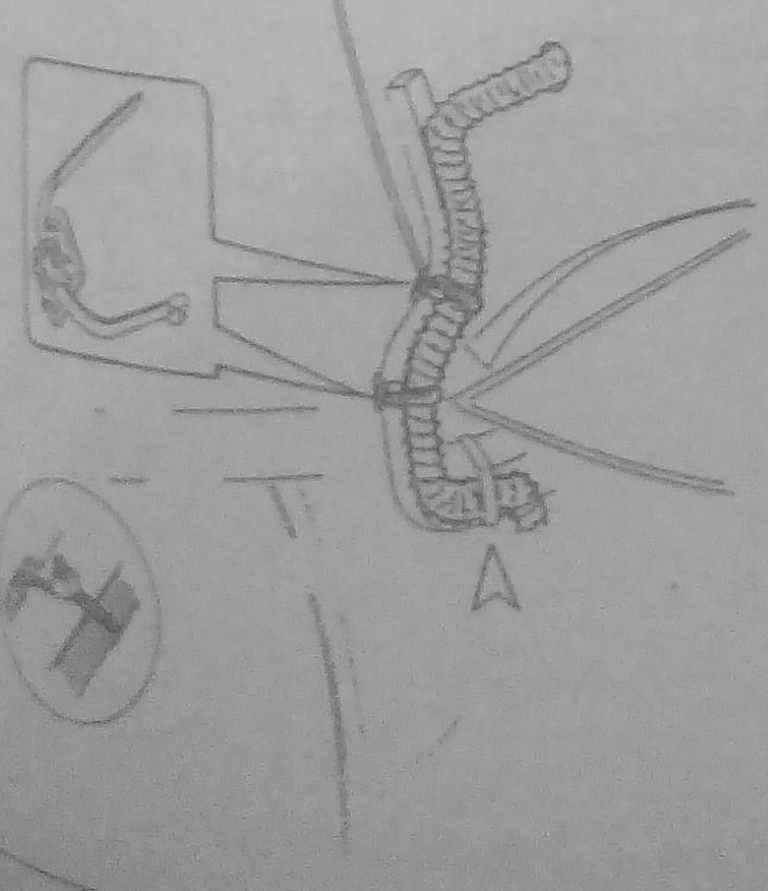
＜カローラ・スプリンター系の場合＞

(2) サブハーネス２極コネクタ根本部分に針金を巻き，ラゲージドアヒンジから左図穴位置までラゲージドア内を通す。









<ＥＯの場合>

(2) サブハーネスをラゲージドアに沿わせ，シェルチェック小（▼）にて固定する。

<ＥＸｉＶの場合>

(2) サブハーネスの２極コネクタ根本部分に針金を巻き，ラゲージドアヒンジから左図穴位置までラゲージドア内を通す。

(3) サブハーネスの２極コネクタとランプコードの２極コネクタを接続させる。

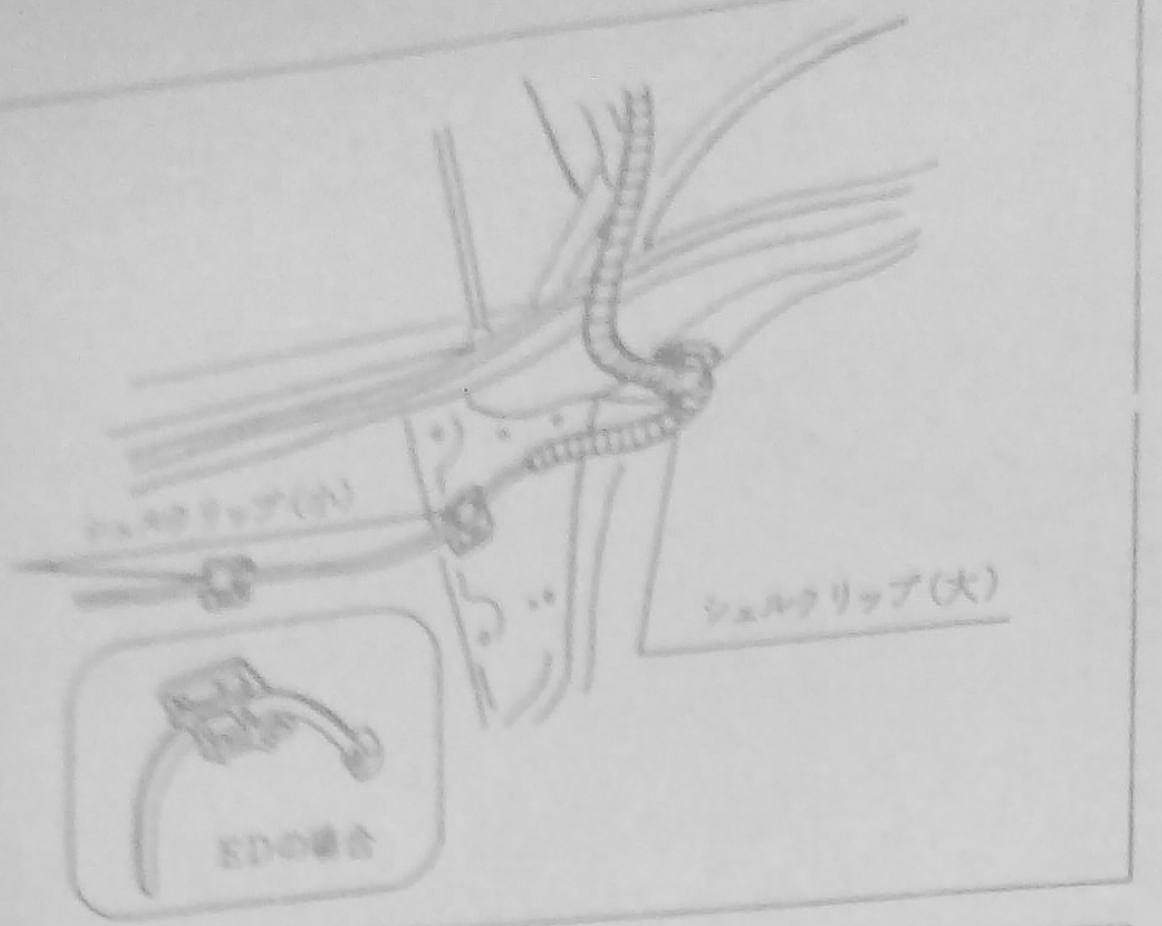
(4) ウレタンフォームの離型紙をはがし，コネクターに巻く。

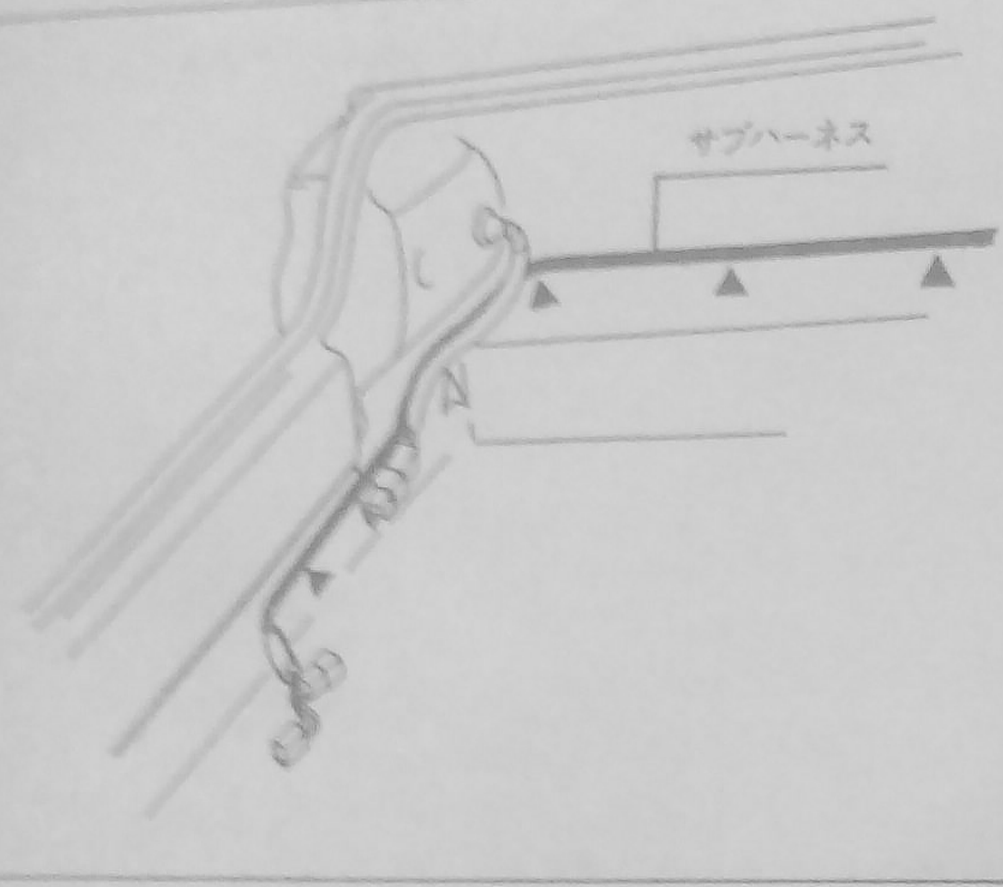
<カローラ・スプリンター系，ＥｉＸＶの場合>

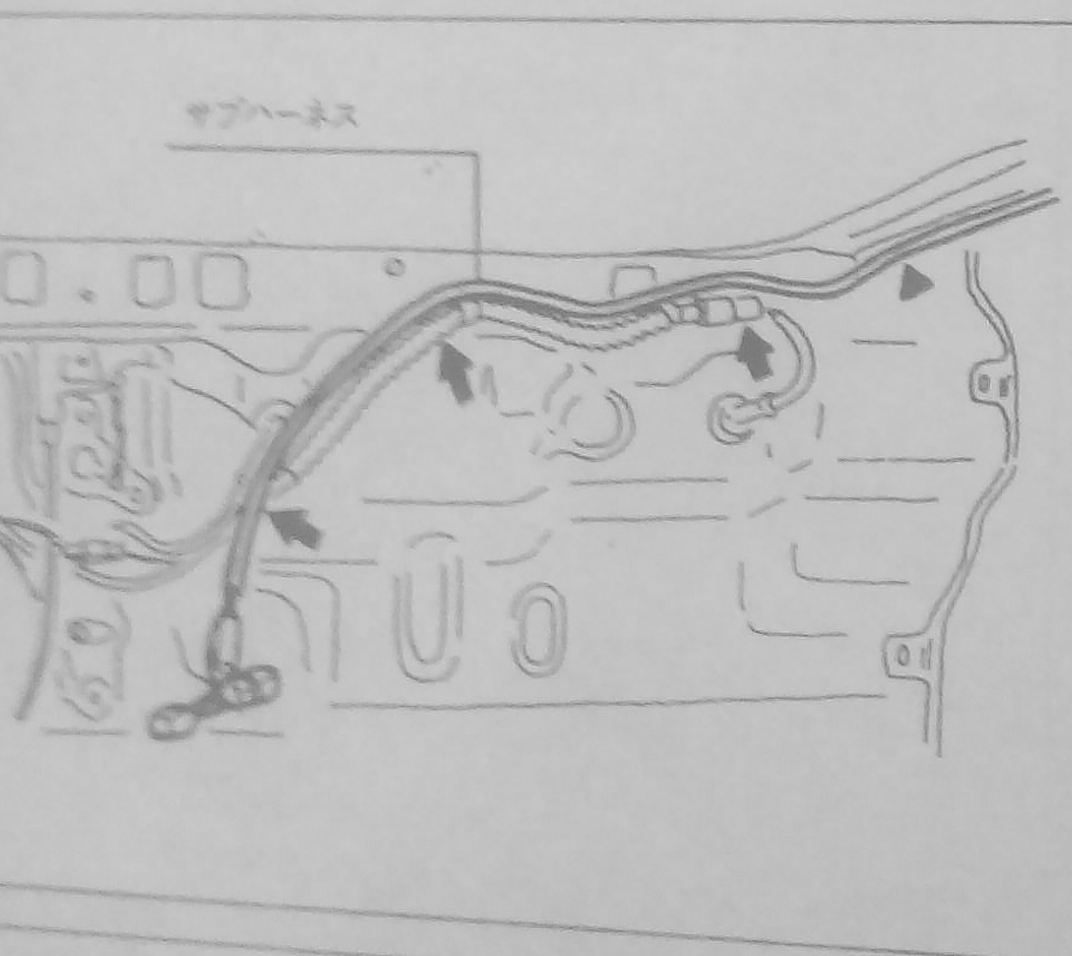
(5) 左図のようにコルゲートチューブがヒンジ部分にくるようにスライドさせ，バンドホルダーとクランプ（▷）にて左図のように固定する。

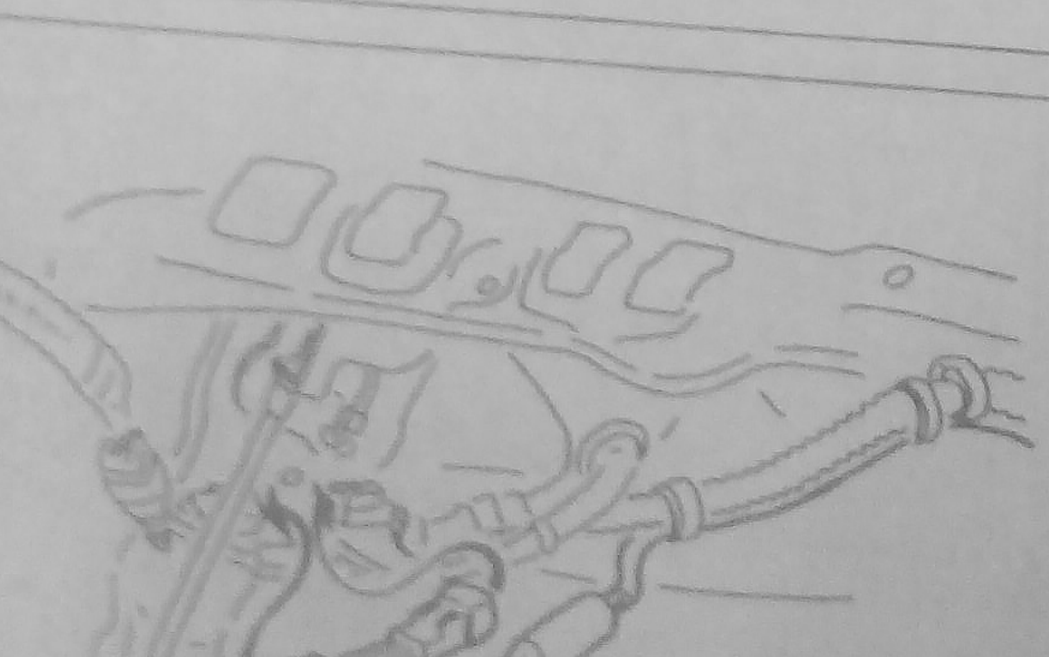
注意

① ハーネスAssyを無理に引っ張らないでください。
② クランプ固定後，クランプの切り口がウェザーストリップに干渉しないようにしてください。









＜EXiV，EDの場合＞

(5) EXiVの場合は，左図のようにラゲージルーム内に入れたサブハーネスを，シェルクリップ（大）1ケ所とシェルクリップ（小）2ケ所にて固定する。
EDの場合は，シェルクリップ（小）の位置でパッドホルダとクランプを使用して固定する。（詳細図参照）

注意

シェルクリップ大（▽）で固定する時にラゲージルームを全開にし，サブハーネスがすこしたるむぐらいで調整してください。

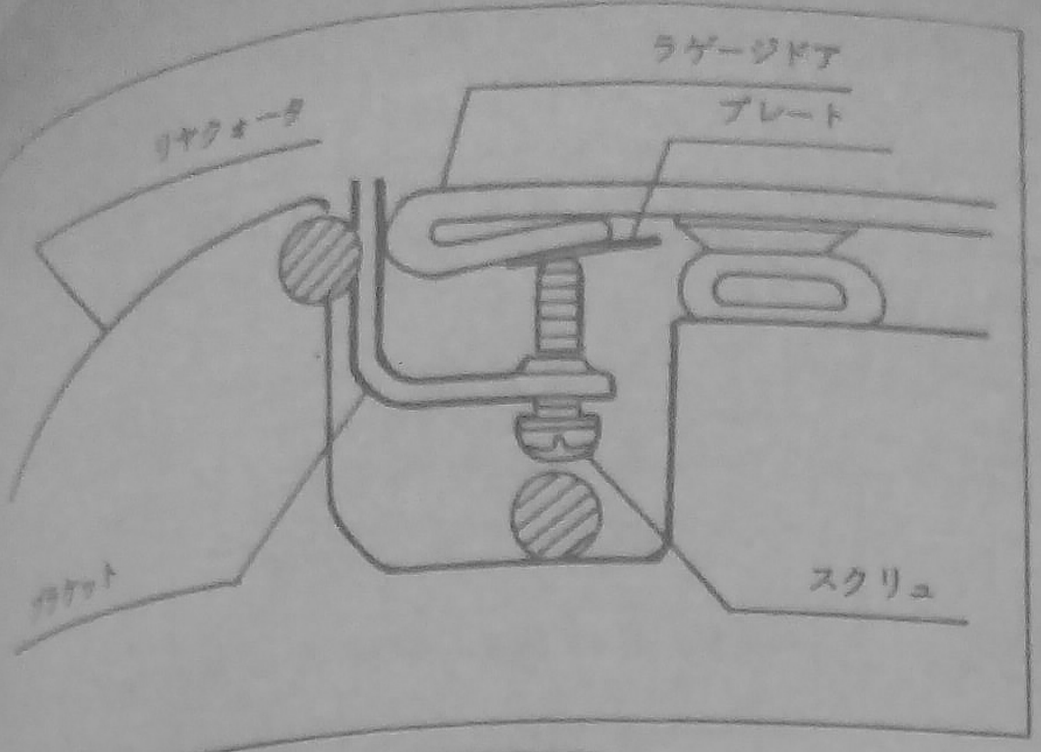
＜カローラ・スプリンター系の場合＞

(5) サブハーネスをラゲージルーム内側面に沿わせ，左図位置にてシェルクリップ小（▼）とクランプ（△）で固定する。

＜ED・EXiVの場合＞

(6) 左図のようにサブハーネスを車両ハーネスに沿わせて配線し，シェルクリップ小（▼）とテーピング（⬅）にて固定する。

(7) 左図のようにライセンスプレートランプ2極コネクタを外し，サブハーネスを割り込み配線する。



(8) ラゲージドアの開閉をゆっくりと行い，左図▨印の位置に干渉していないかを確認する。
※干渉する場合はラゲージドアが左に寄りすぎているので，ラゲージドアの組み付け調整を行なう。

取り付け完了後の点検

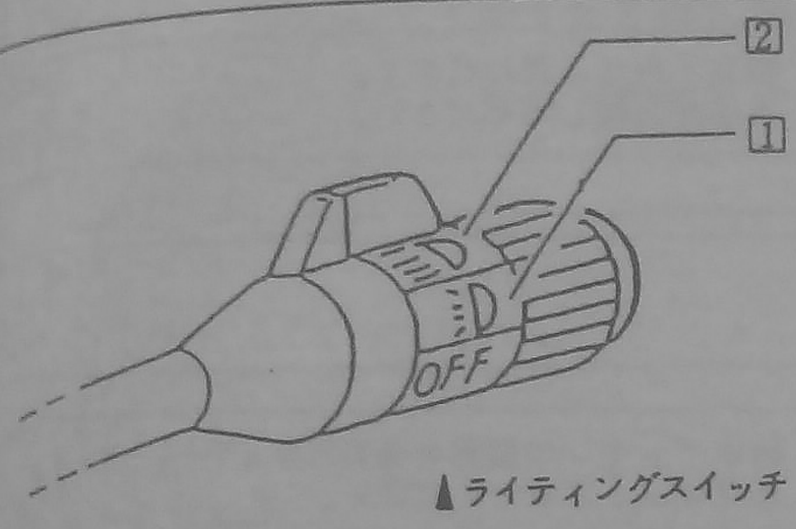
1 取り付けの確認

① 配線や取り付けに異常がないか点検すること。

② 特に車両ハーネスおよびリヤフェンダーポールハーネスを無理に押したり，引っ張ったり，かみ込んだりしていないか点検すること。また，クランプおよびバンドのはずれや，部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2 点 灯 確 認

バッテリーの⊖端子接続後，下記点灯方法により確認する。



▲ライティングスイッチ

ライティングスイッチ[1]および[2]位置にてリヤフェンダーランプが点灯するか確認すること。

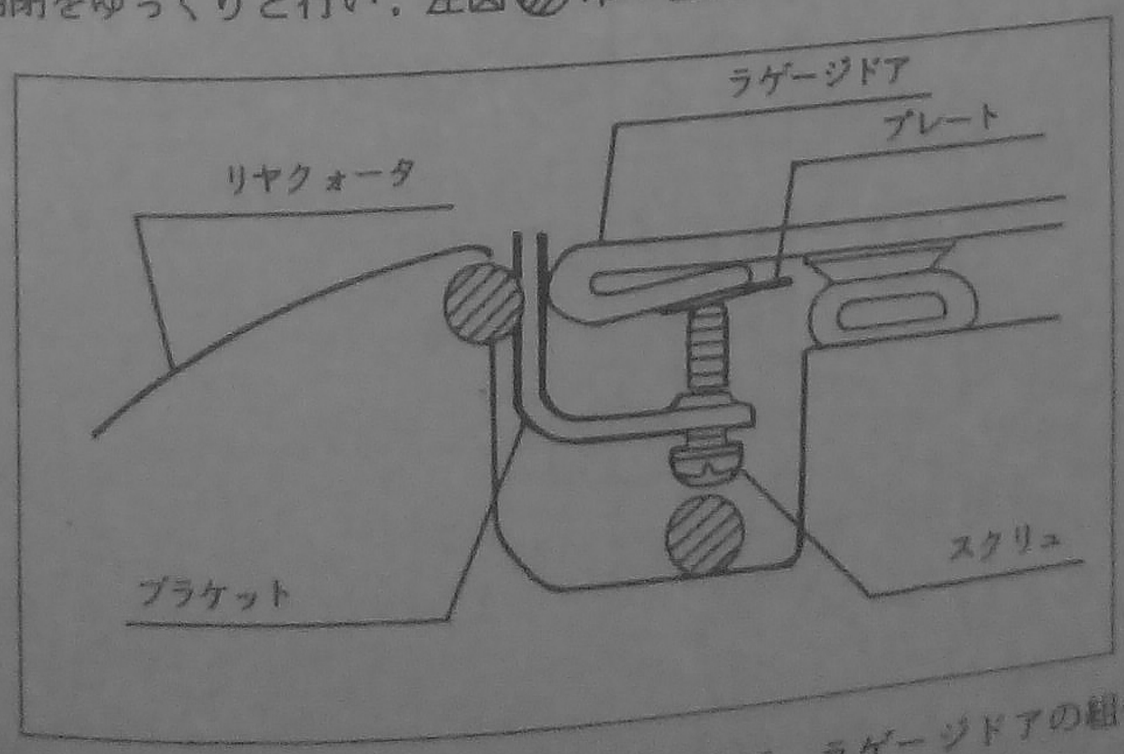
復元作業

「作動確認」完了後，取りはずした部品を元通りに取り付ける。

最終確認

		チェック欄
1	取りはずした部品は元通り取り付けられているか。	
2	リヤコンビネーションランプは点灯するか。	

ラゲージドアの開閉をゆっくりと行い，左図▨印の位置に干渉していないかを確認する。



※干渉する場合はラゲージドアが左に寄りすぎているので，ラゲージドアの組付け調整を行なう。

トラブルシュート

1 点灯しない

ライティングスイッチはONになっていますか。（クリアランス or ヘッドランプ）
- NO → ライティングスイッチをONにしてください。
- ↓ YES

コネクターは確実に接続されており，ヒューズは正常ですか。
- NO → コネクターを確実に接続し，ヒューズを確認してください。
- ↓ YES

バルブ切れだと思われます。90981-11014（12V－1.4W）のバルブに交換してください。

2 取付けガタ

ブラケット取付けスクリュは確実に締まっていますか。
- NO → バックドアーにプレートを介して確実にブラケットを固定してください。
- ↓ YES

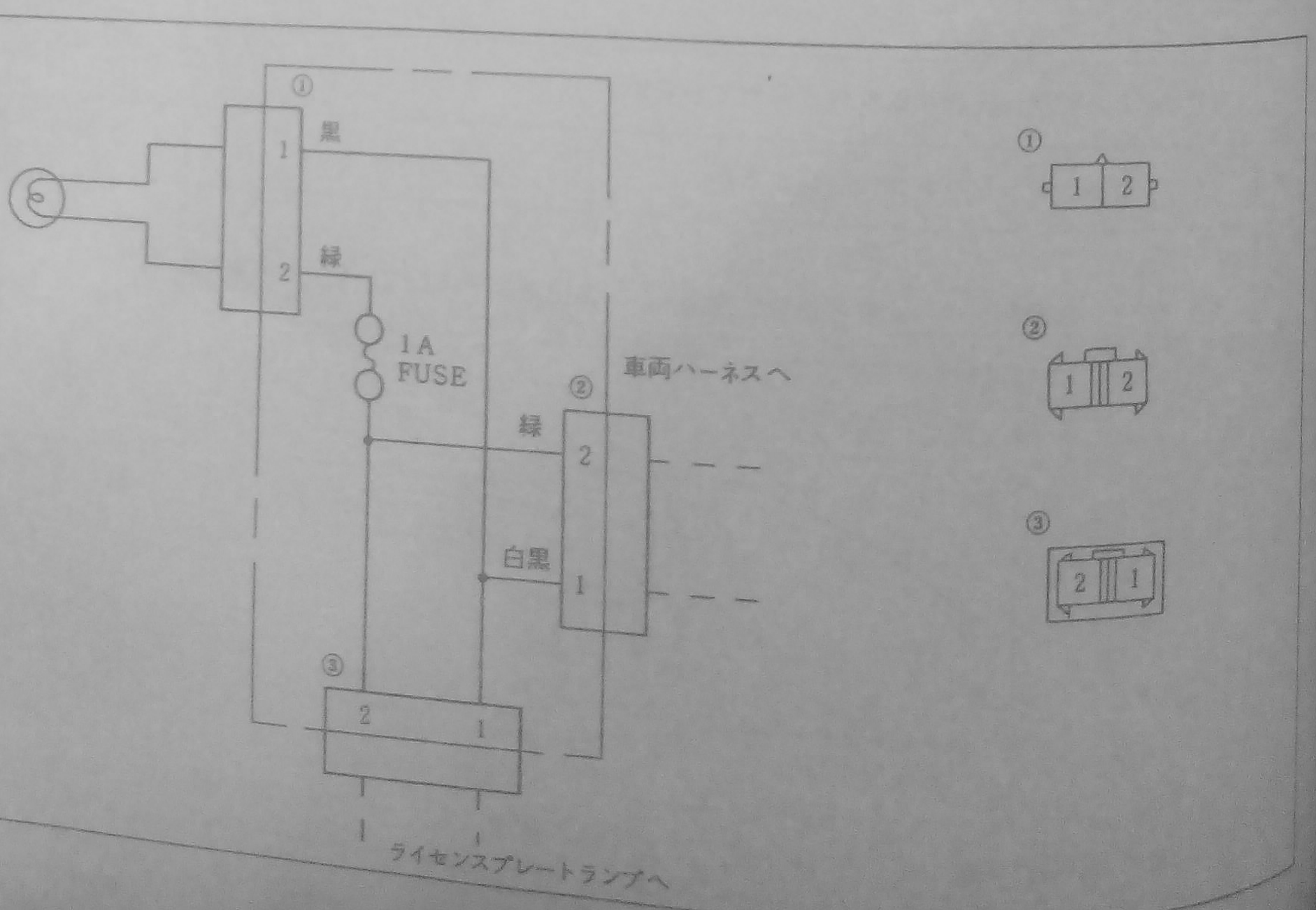
ベース部ナット（14）は確実に締まっていますか。
- YES → 製品不良だと思われます。良品と交換してください。

3 水 漏 れ

防水パッキンの位置はウェザーストリップにフィットしていますか。
- NO → 防水パッキンの位置を確実にウェザーストリップにフィットさせてください。
- ↓ YES

防水パッキンの中を通るハーネスから水が伝わっていないか。
- YES → 防水パッキンを通過するハーネス部分にブチルテープを確実に巻いてください。

配線図



仕様

項目	仕様
定格電圧	DC12V
使用電圧範囲	10V～16V
定格電力	1.4W
使用温度範囲	-20℃～60℃
定格電圧	ウェッジベースバルブ
定格電力	120g（単体重量）
定格電圧	光源
定格電圧	光束

※仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

取り付け店殿へのお願い

- 必ずお客様に操作要領を説明してください。
- 別冊（別紙）の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

トヨタ純正 ワイヤレスドアロック リモートコントロール 取付要領書

このたびはトヨタ純正ワイヤレスドアロックリモートコントロールをお買いあげいただきありがとうございました。本書はトヨタ　セリカ・カリーナED・コロナEXiV にワイヤレスドアロックリモートコントロールを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

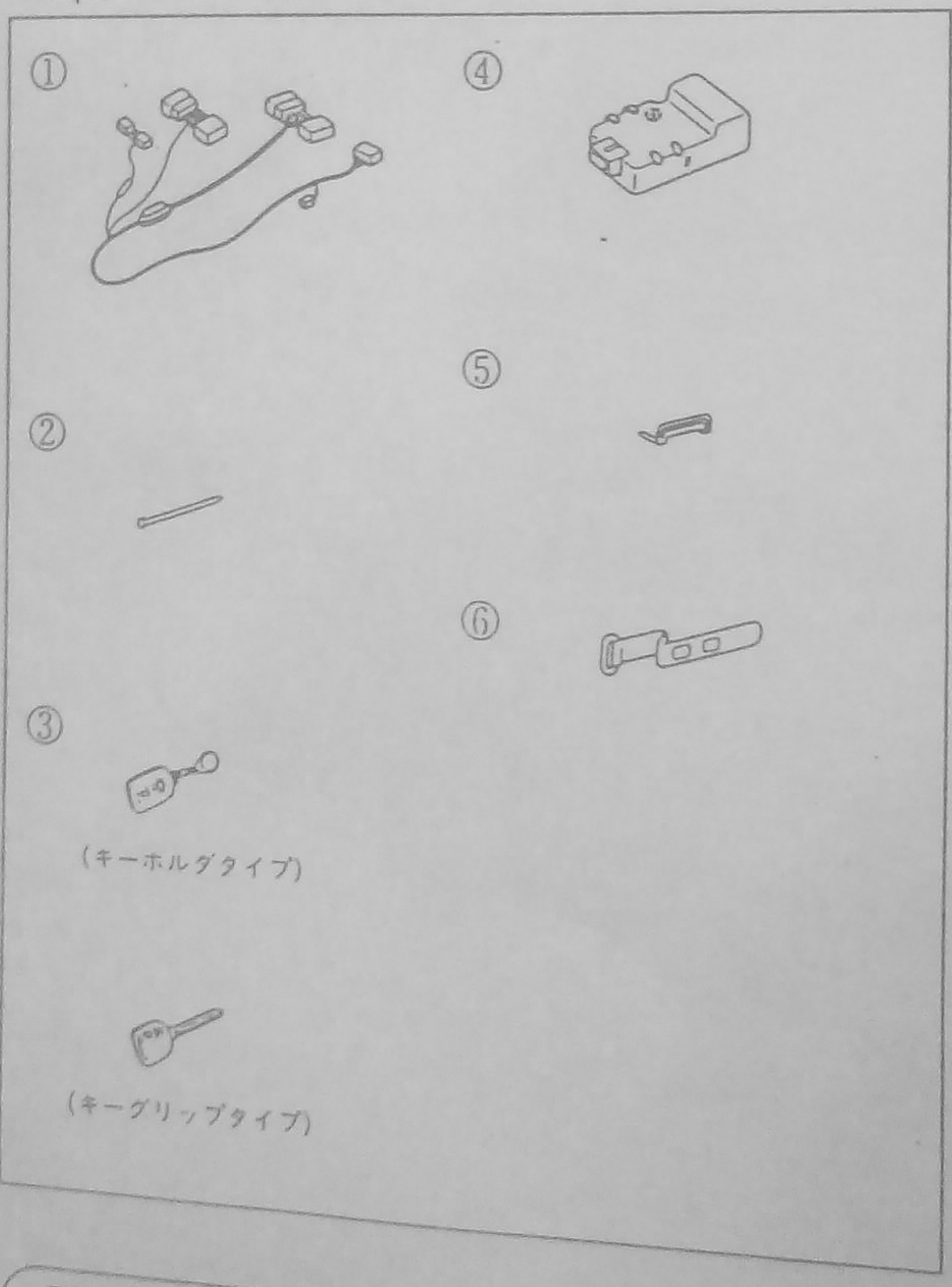
別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

品番		適用車種	年式
本体キット	フィッティングキット	セリカ カリーナED コロナEXiV	1993年10月以降
08190-00140(キーホルダタイプ)	08191-20140		
08190-00160(キーグリップタイプ)			

注 取り付けには、本体キットとフィッティングキットが必要です。

構成部品



No.	品名	品番	個数
①	ワイヤハーネス	———	1
②	クランプ	———	5
③	トランスミッター(キーホルダタイプ) 注1	08192-00080	1
	トランスミッター(キーグリップタイプ) 注1	08192-00110	
④	レシーバー	08192-00090	1
⑤	フック	———	2
⑥	ベルト	———	1

注1.③トランスミッターはキーホルダタイプ、キーグリップタイプのどちらか一方の選択となります。

取り付け時間

0.5H

取り付け上の注意事項

作業中の取り付け上の 注意点 は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
なお、注意点 を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。

- 車両部品の取りはずしに際して、タッピング スクリューやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように注意して作業を行ってください。
- 指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

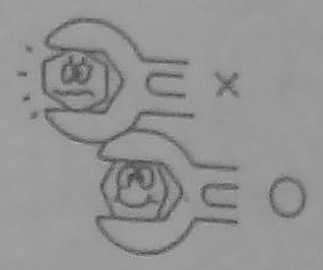
取り付ける前に

●バッテリーの(−)側ケーブルをはずす



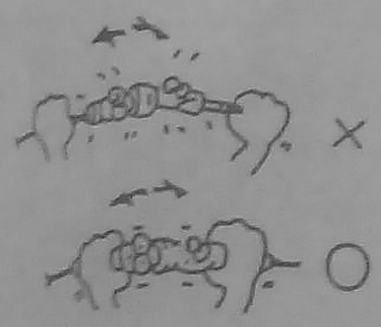
部品の取り付けは

●寸法に合った工具を使う



配線は

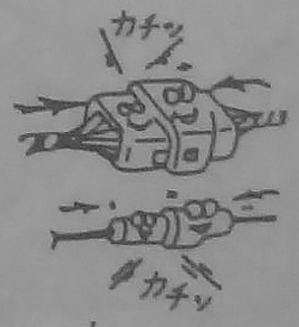
●コネクターは本体を持ってはずす



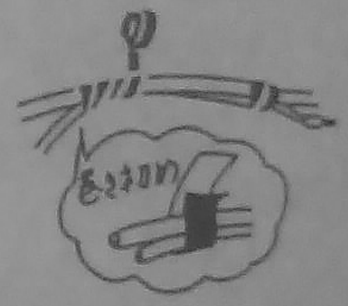
●無理に引っ張らない



●コネクターは確実に接続



●ブラブラさせない



車両のワイヤハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する。

クランプは

●はだか線にはクランプしない

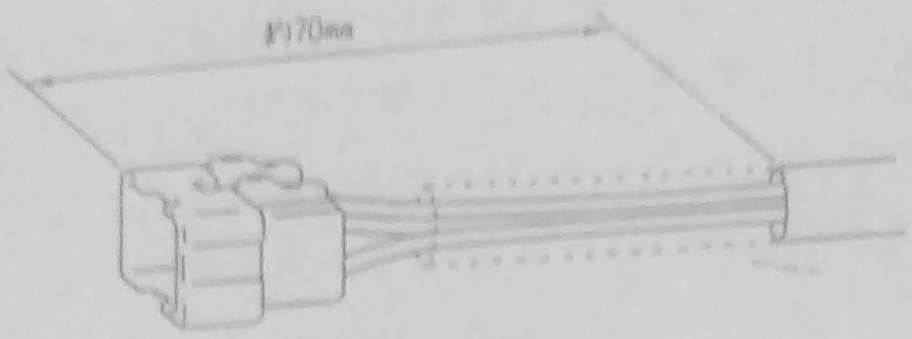
●余った部分をカットする

●カットした端末が他のハーネスと接触しないように注意する

取り付けに必要な工具等

電工具 クリップリムーバー ニッパー カッターナイフ

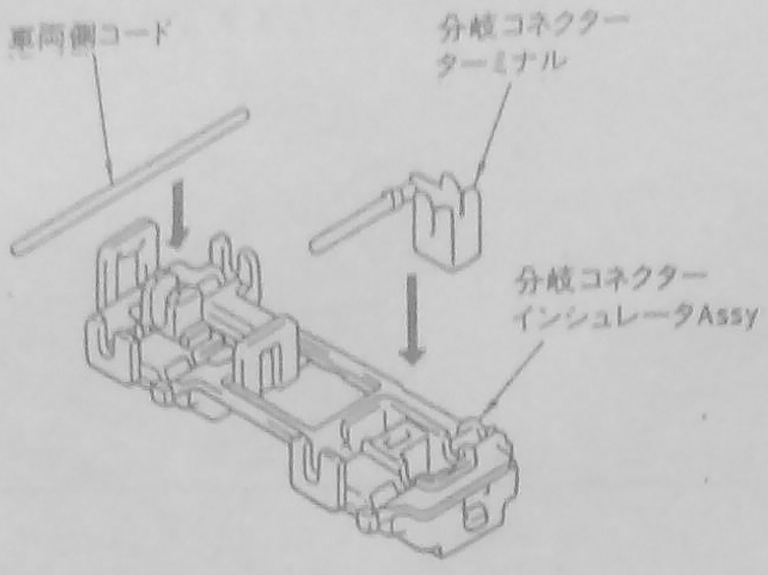
分岐コネクターの接続方法



(1) 接続させたい車両側のハーネスがビニールチューブまたは、ビニールテープで覆われている場合、コネクターから約70mmの位置まで、ビニールチューブまたは、ビニールテープをカットする。

注意

車両ハーネスを傷つけないよう充分注意してください。



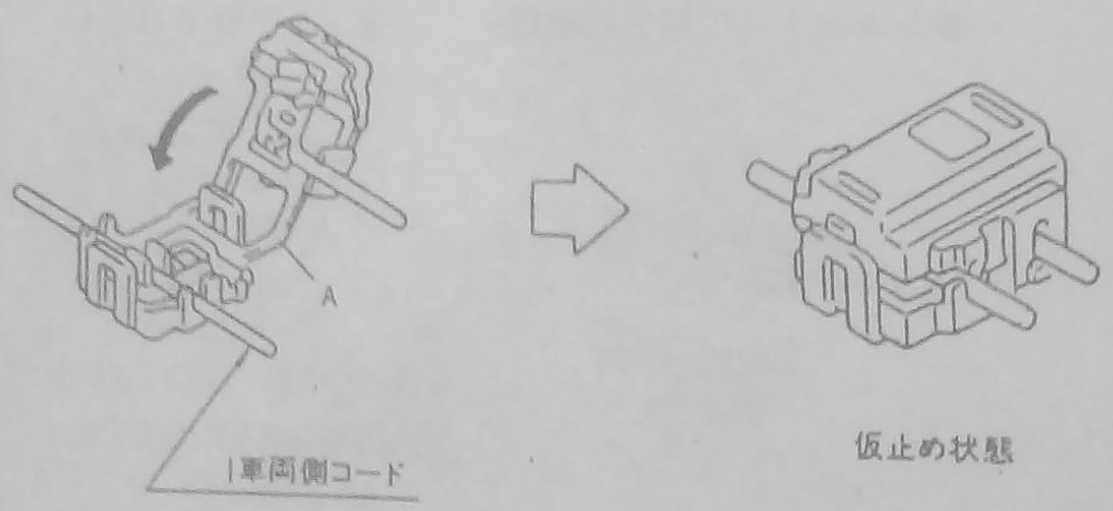
(2) 分岐コネクターターミナルには予め分岐コネクターインシュレータAssyがセットされているが、はずれている場合はセットしなおす。

注意

ターミナルに圧入用の穴があいていますので完全に圧入するまで矢印の方向に押し込んでください。

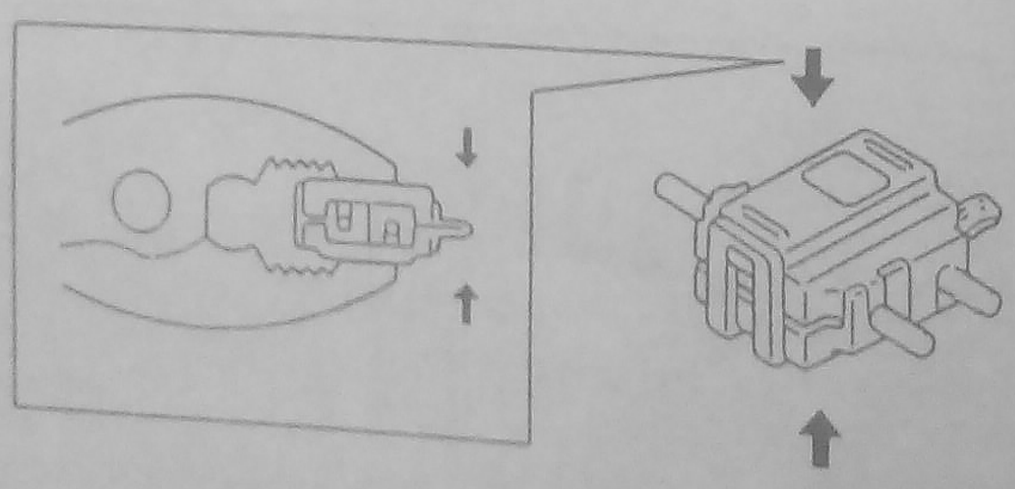
(3) 接続させたい車両側のコードを確実にガイド溝に入れる。

(4) 分岐コネクターのA部を支点にして折り返し、仮止め状態にする。



注意

仮止めのロックは片側にしかついていませんので、本止めのロックが上下合わさるところで止めておいてください。



(5) 仮止めされている分岐コネクターをプライヤ等の工具を用いて、左右のロックがかかるまで、はさみ込む。(クリック音がするまで)

注意

プライヤの口を広くして使用し、分岐コネクターのセンター部分をはさんでください。
ロック音とあわせて目視で2箇所確実にロックしていることを確認してください。

分岐コネクター使用上の注意

1. ヒンジ部が折れた場合でも性能には影響ありませんので、そのまま使用してください。
2. 一度使用したものは再使用しないでください。
   また、取りはずす際は分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま、用品側ハーネスを30mm程度残して切り離し、テープ等で絶縁処理してください。

が ビニールチ
で 覆われてい
の 位置まで、
ールテープを

分注意して

予め分岐コネ
ットされてい
トしなおす。

いますので
押し込んで

確実にガイド

して折り返し、

ていません
さるところ

ーをプライヤ
クがかかるま
がするまで)

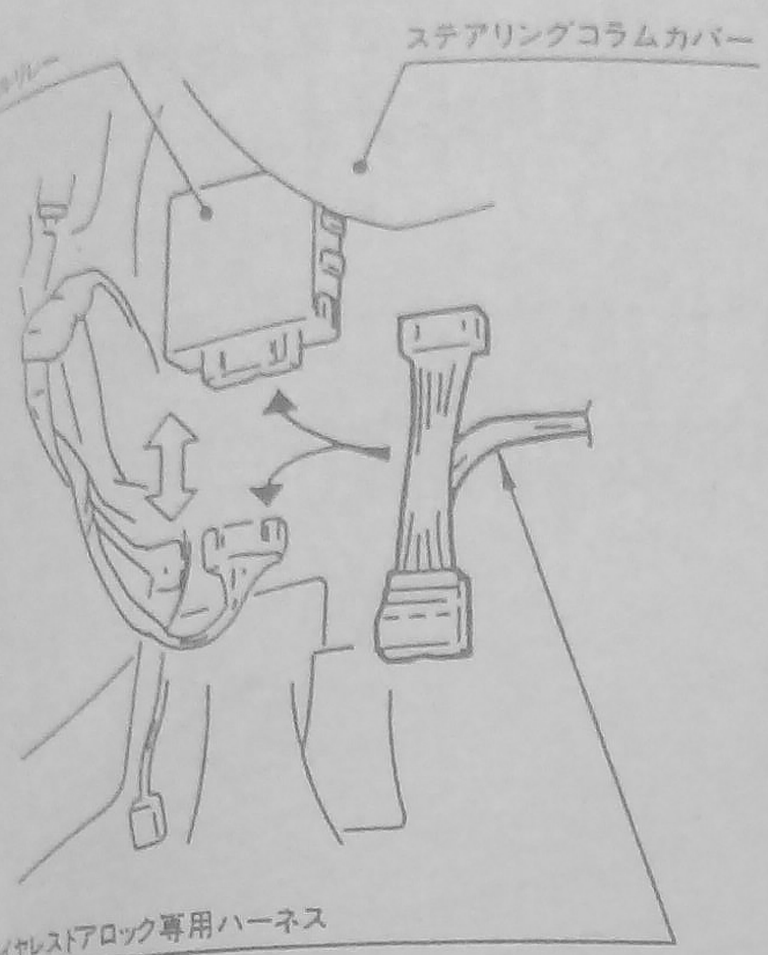
分岐コネク
ださい。
確実にロッ
い。

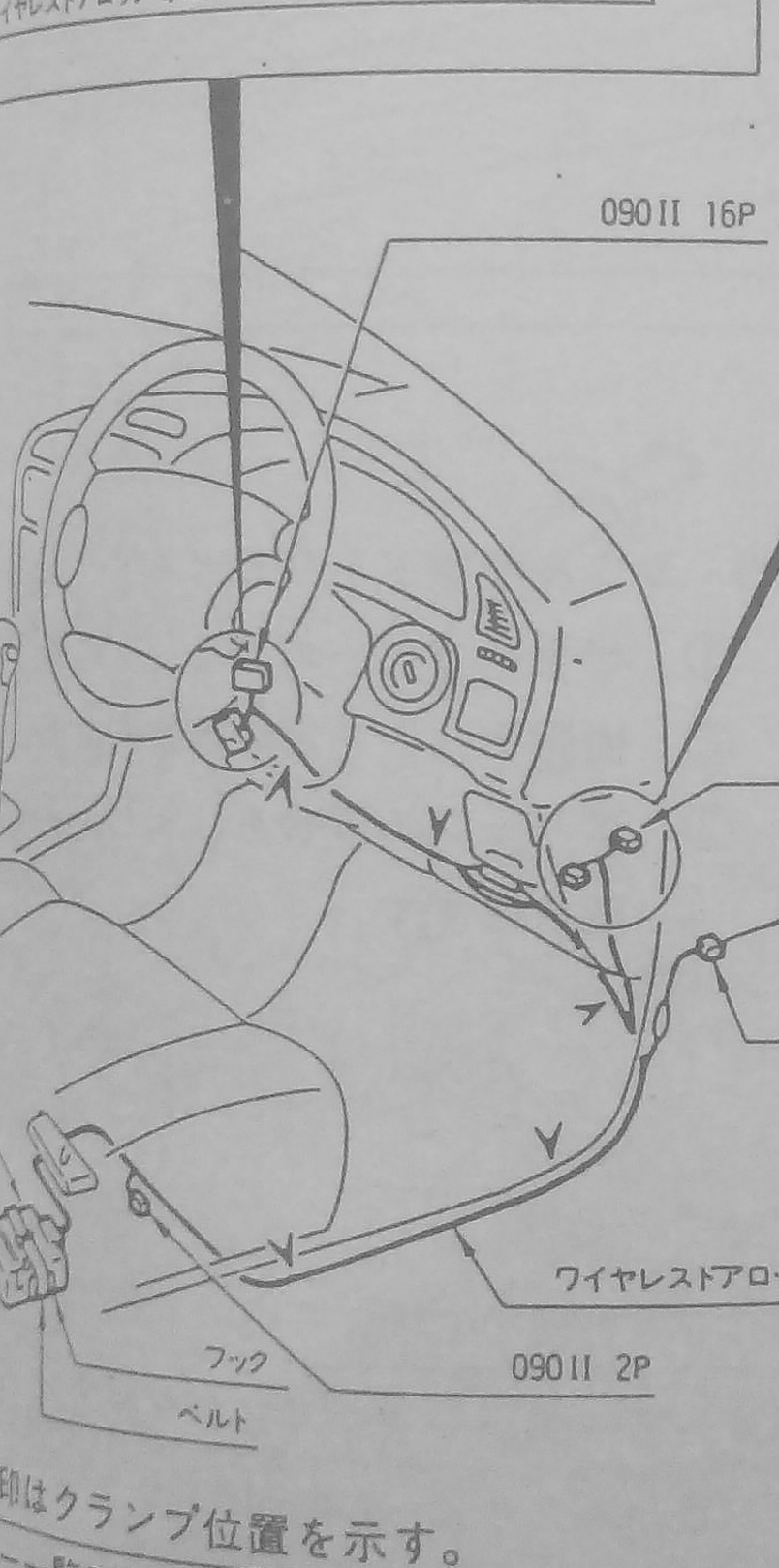
m程度残して切

3

取り付け概要

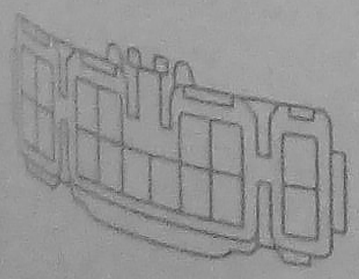
① 090II 16P コネクターの接続



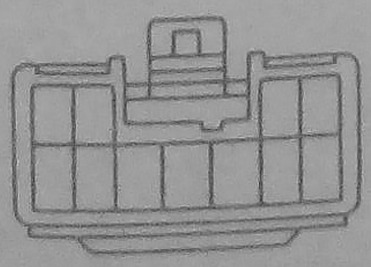


▲印はクランプ位置を示す。

コネクター一覧表(メス側で示す)

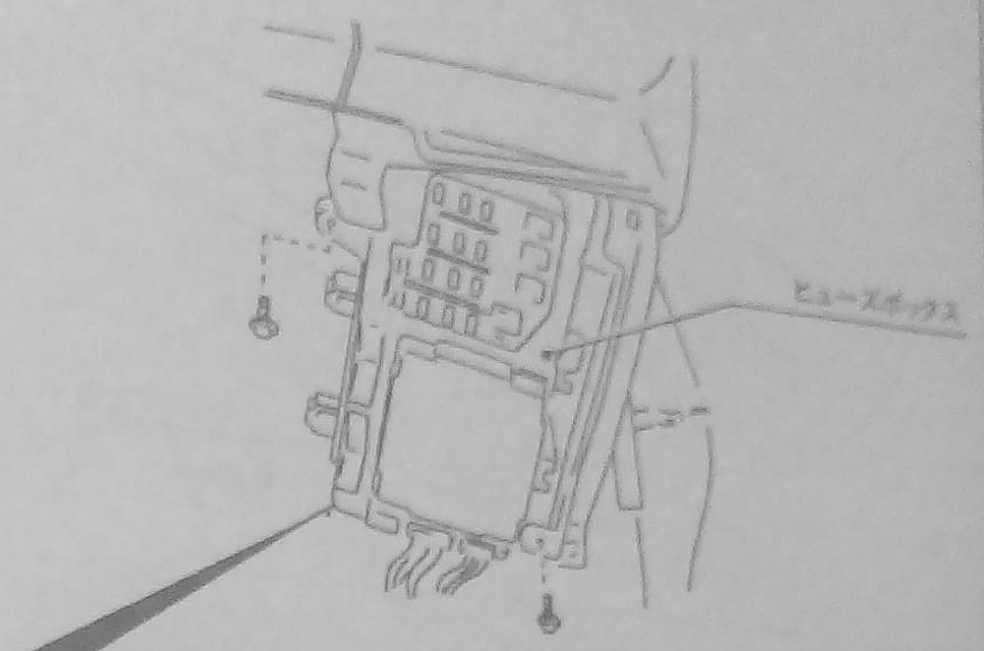


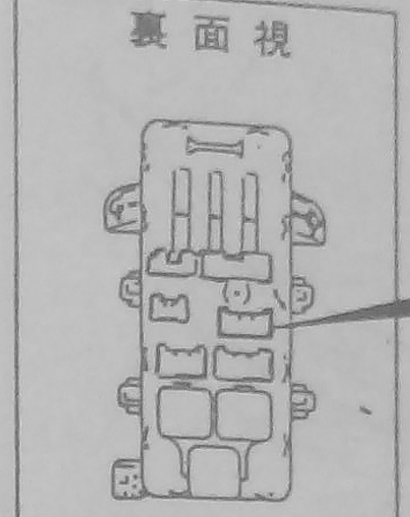
090II 16P

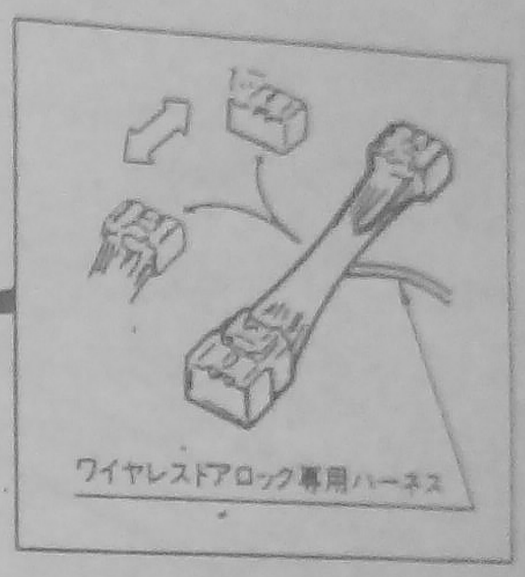


090II 11P

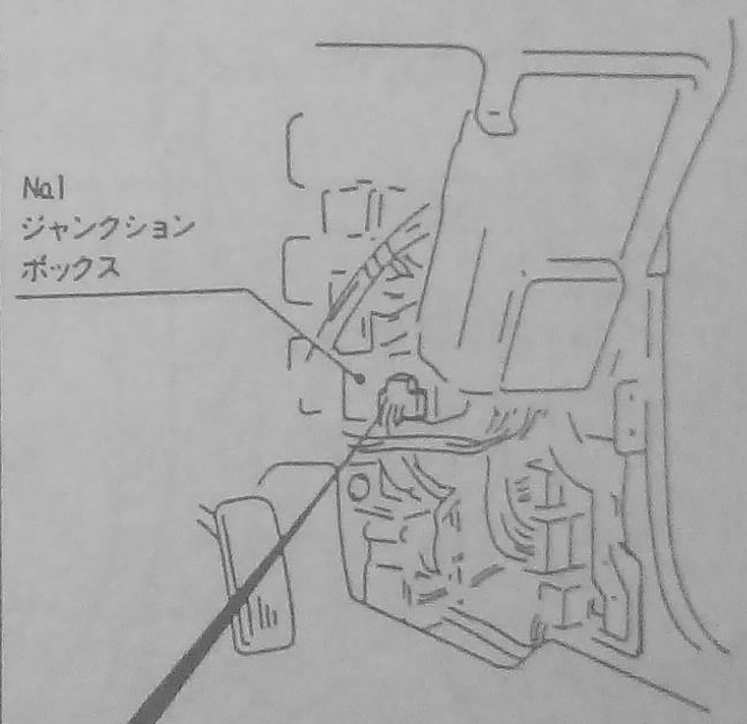
② 090II 11P コネクターの接続

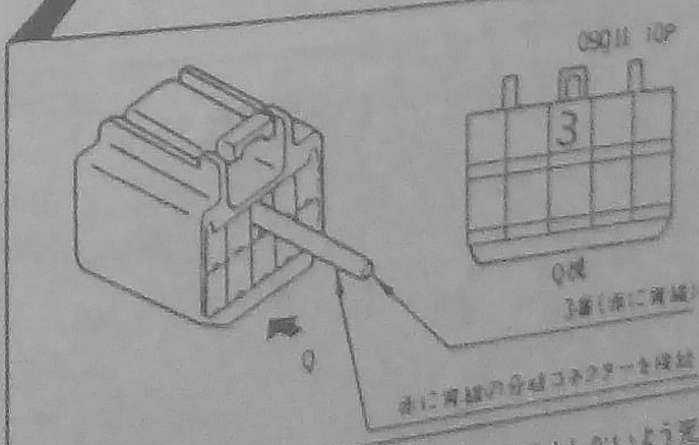






③分岐コネクターの接続
(接続方法については3ページを参照)



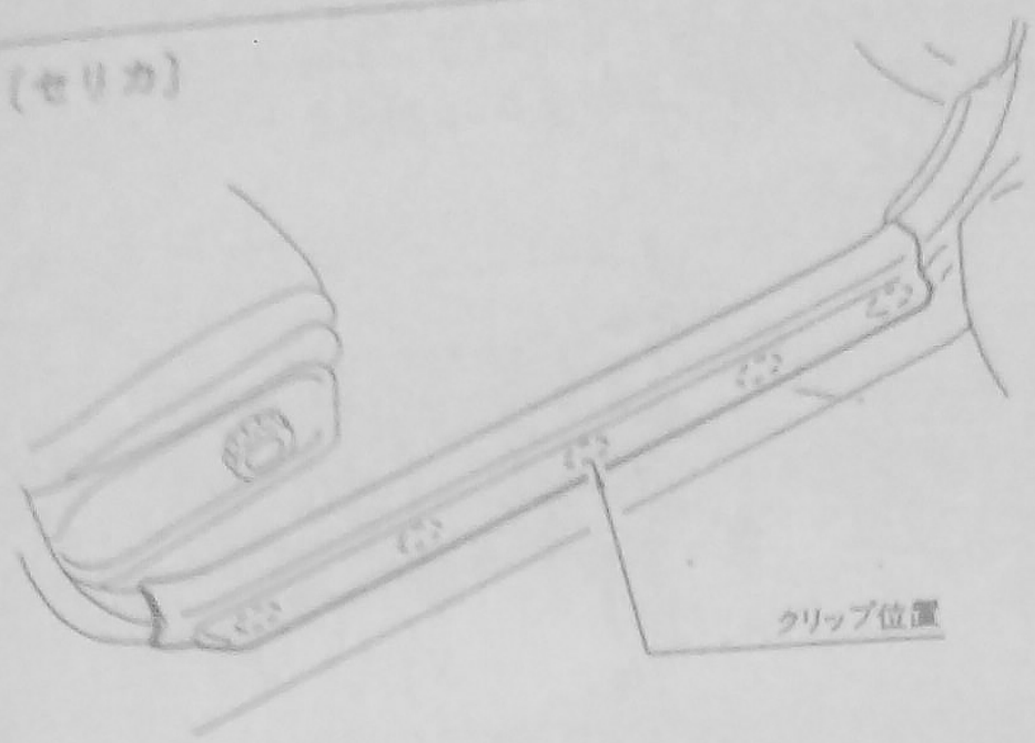


注意 端子番号と線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。もし、誤って接続した場合は、3ページの分岐コネクター使用上の注意にしたがって処理してください。

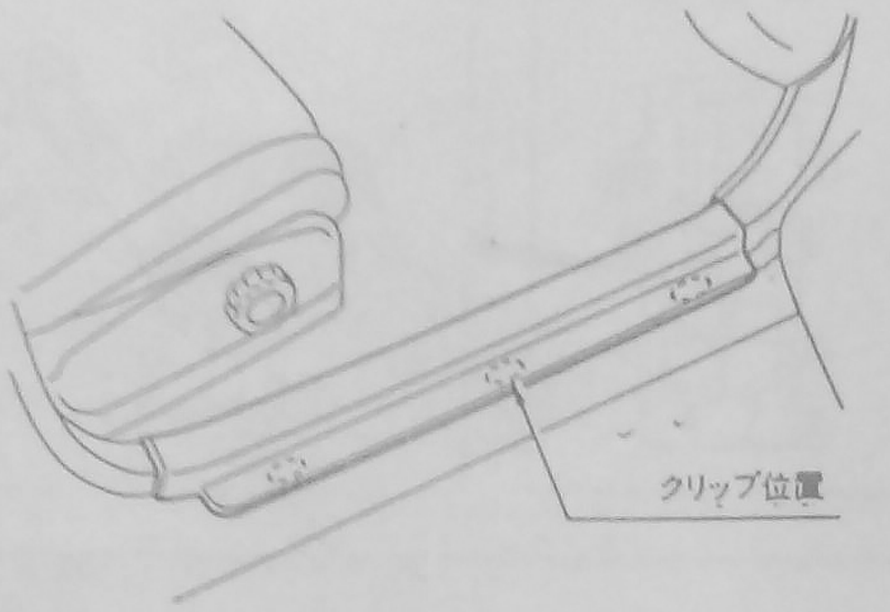
注意 (ED・EXiVの場合)
No.1ジャンクションボックス右下に同種類のコネクターがありますので接続間違いのない様充分注意してください。

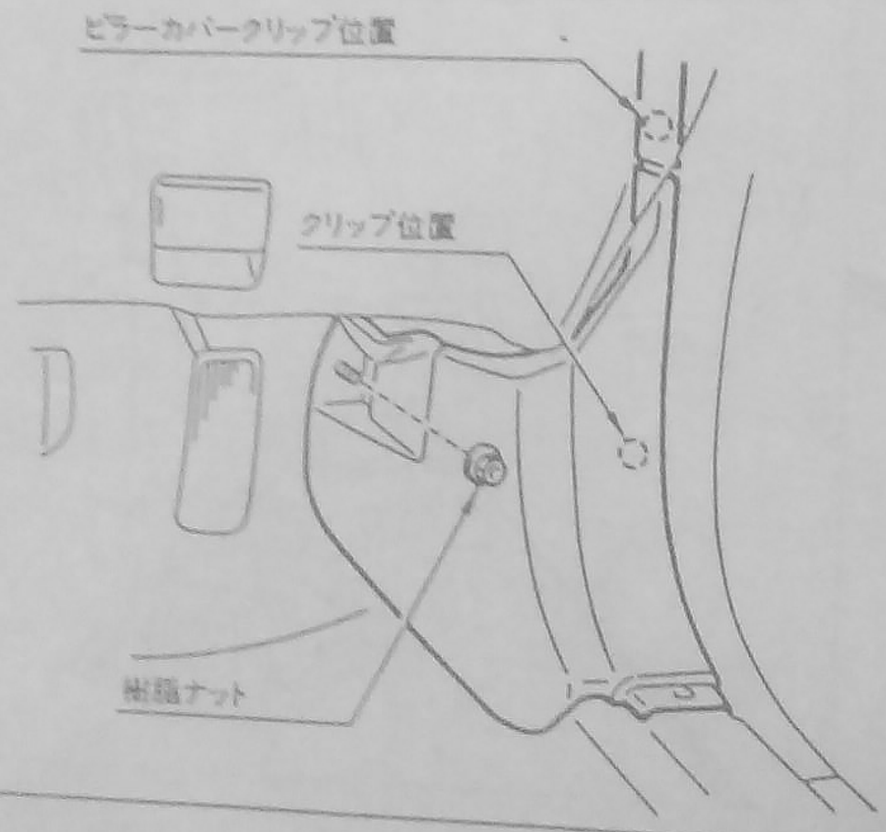
取り付け要領

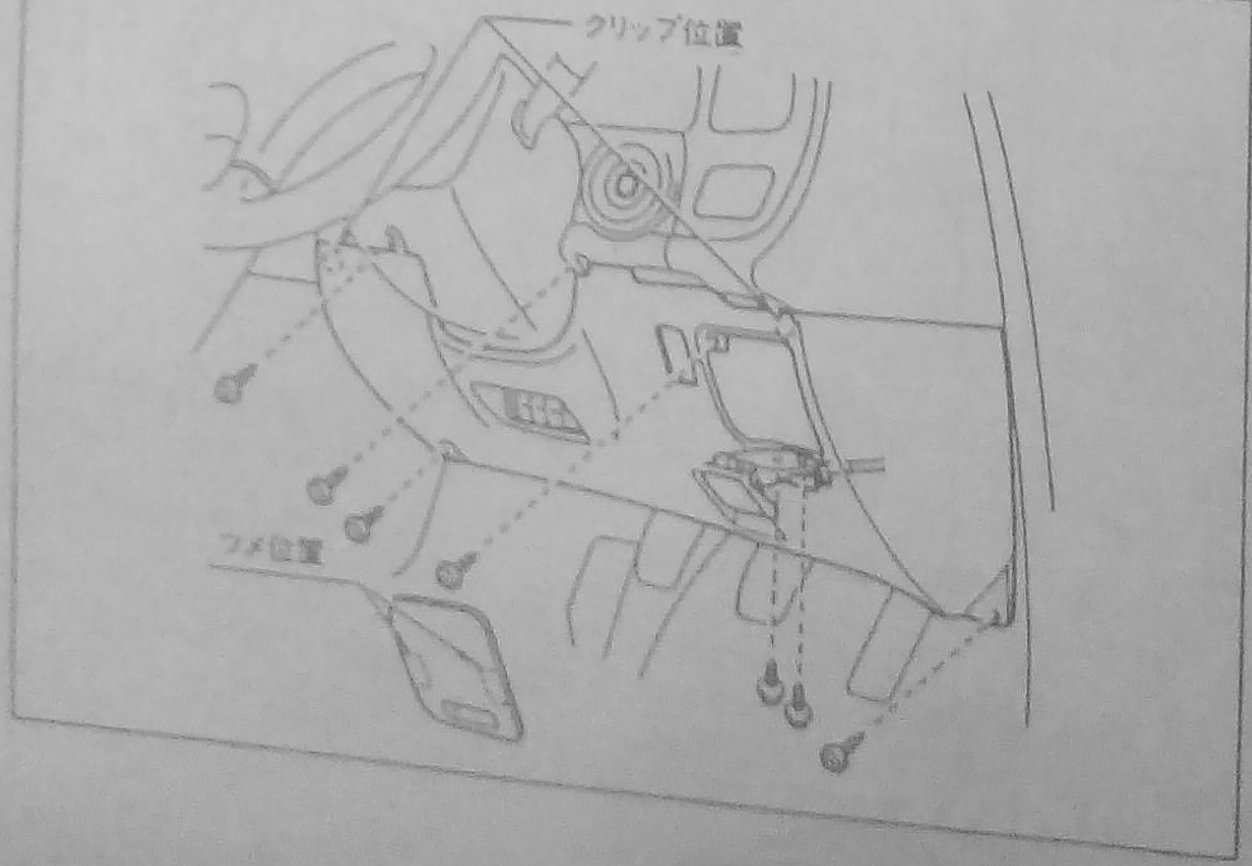
〔セリカ〕



〔カリーナED・コロナEXiV〕







1　車両部品の取りはずし

下記部品を取りはずす。

(1)　フロントドア　スカッフプレート RH

①　クリップの嵌合をはずし、スカッフプレートを取りはずす。

(2)　カウルサイドトリムボード RH

①　ピラーカバーのクリップの嵌合をはずす。

②　樹脂ナットを反時計方向に回してはずす。

③　クリップの嵌合をはずし、トリムボードを取りはずす。

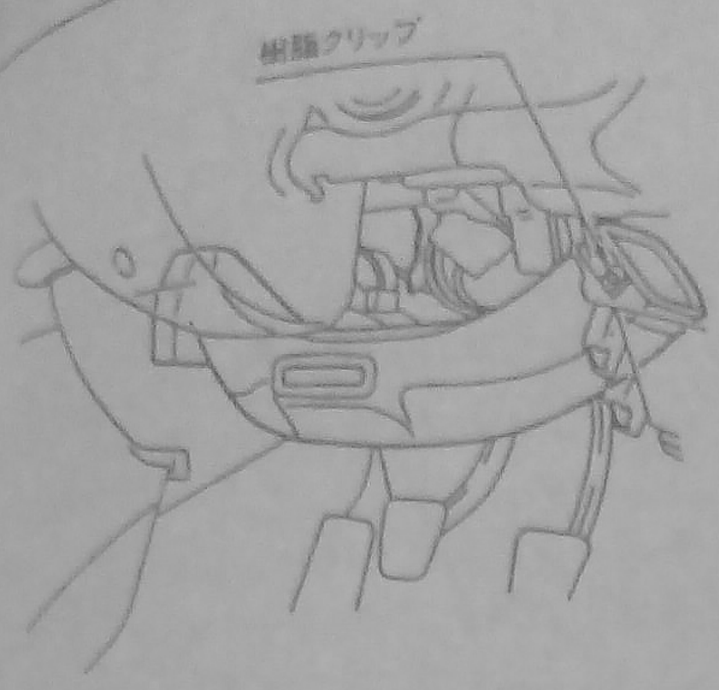
(3)　フードロックレリーズレバー

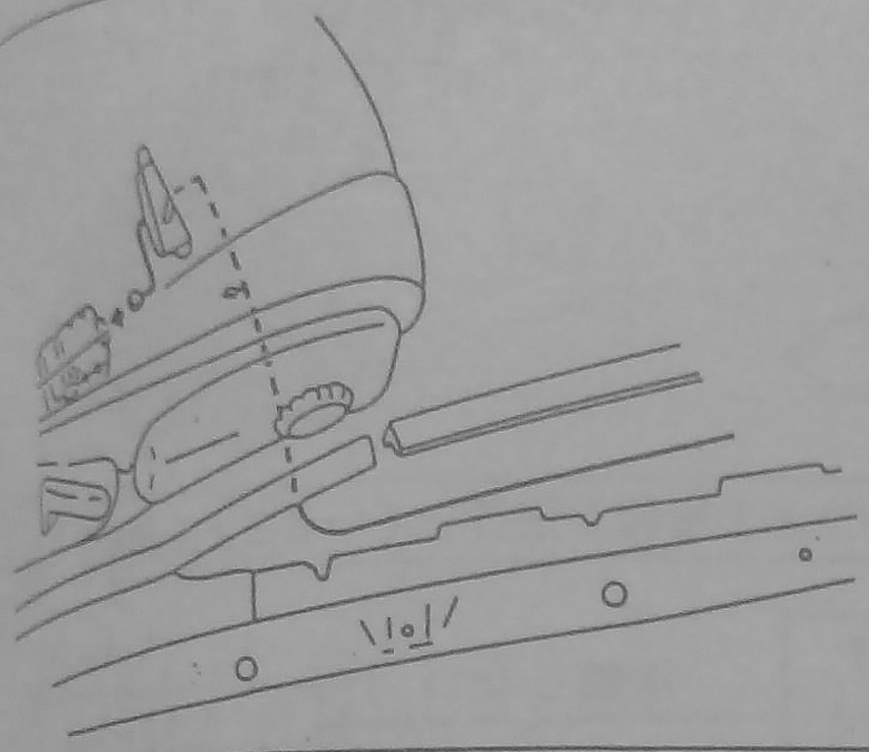
①　スクリュー2本をはずし、レリーズレバーを取りはずす。

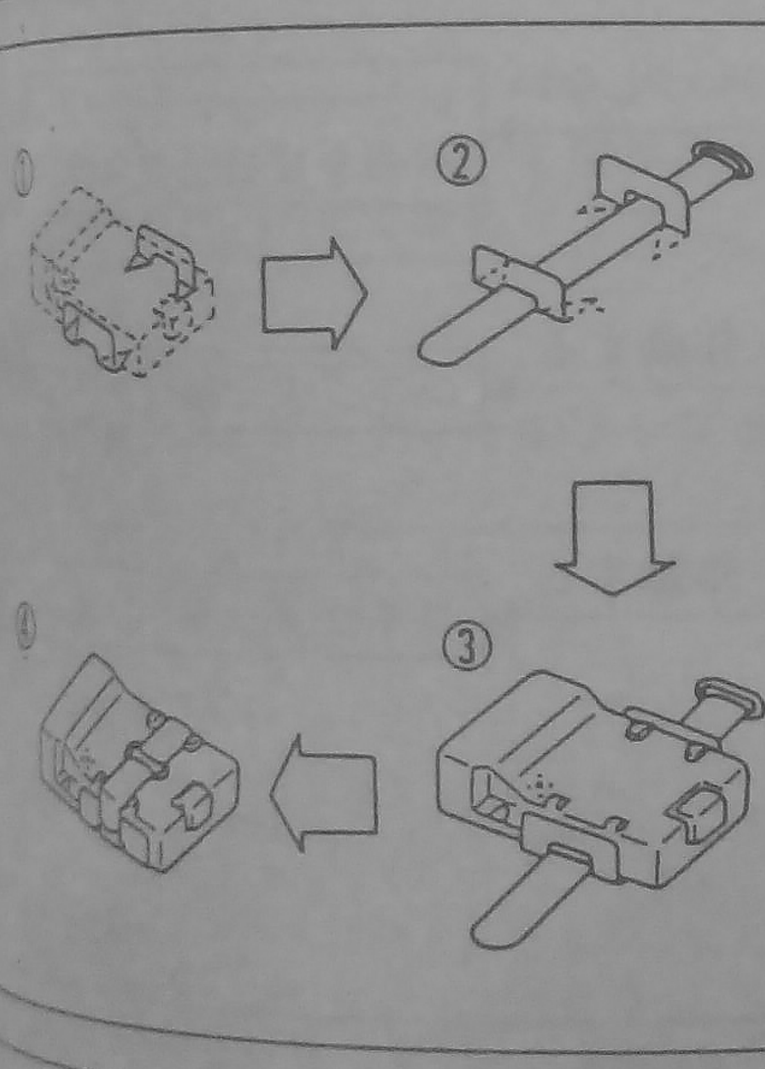
(4)　ヒューズボックスカバー

(5)　インストルメントパネルフィニッシュロワー No.1パネル

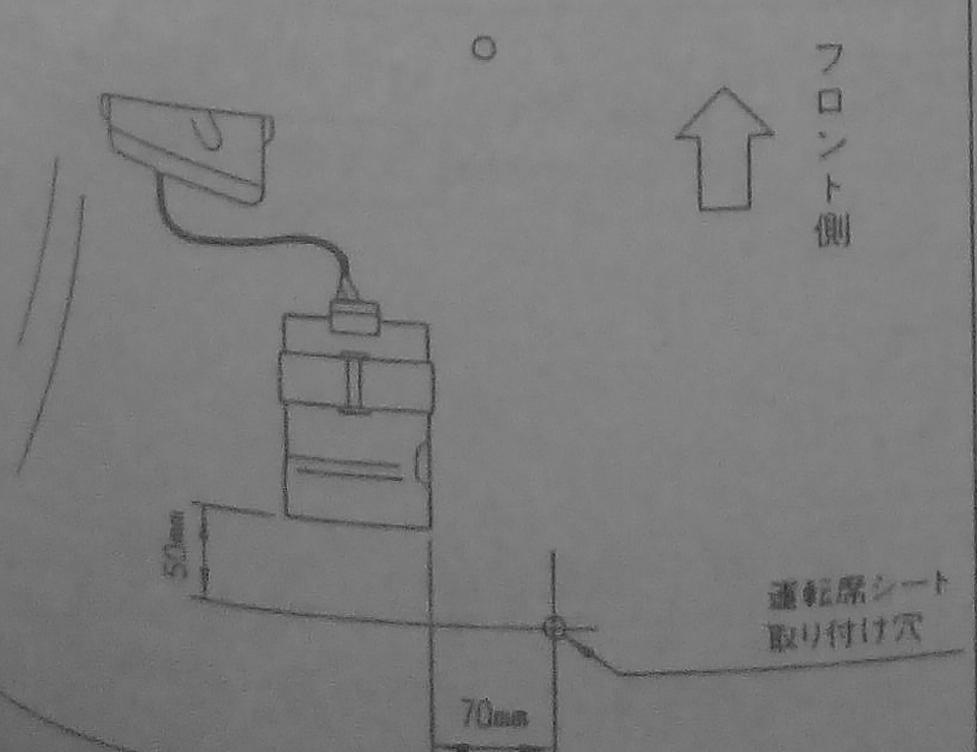
①　スクリュー5本をはずし、No.1パネルをはずす。







レシーバー取り付け位置



(6) ヒーターフレジスターNo2ダクト

① 樹脂クリップをはずし、No2ダクトを取りはずす。

2 配線作業

(1) ワイヤハーネスの配線

4ページ取り付け概要による。

(2) レシーバーの取り付け

① 運転席側のカーペット下へワイヤハーネスを配線し、エアダクトのカーペットの切れ目より取り出し、レシーバーにコネクターを接続する。

(エアダクトが無い場合は、フロアカーペットにカッターナイフで、約30mm切り込みを入れてください。)

注意

フロアカーペットに切り込みをを入れる際、他の車両部品を傷つけないように注意してください。

② 運転席下のカーペットにレシーバーの幅に合わせてフックを刺す。

③ マジックテープ面を下にしてフックにベルトを通す。

④ レシーバーを置く。

⑤ ベルトでレシーバーを締めつけ固定する。

注意

レシーバーは決められた位置に取り付けてください。レシーバーの取り付け位置や向きを変更した場合、作動距離が著しく短くなることがあります。

取り付け完了後の点検

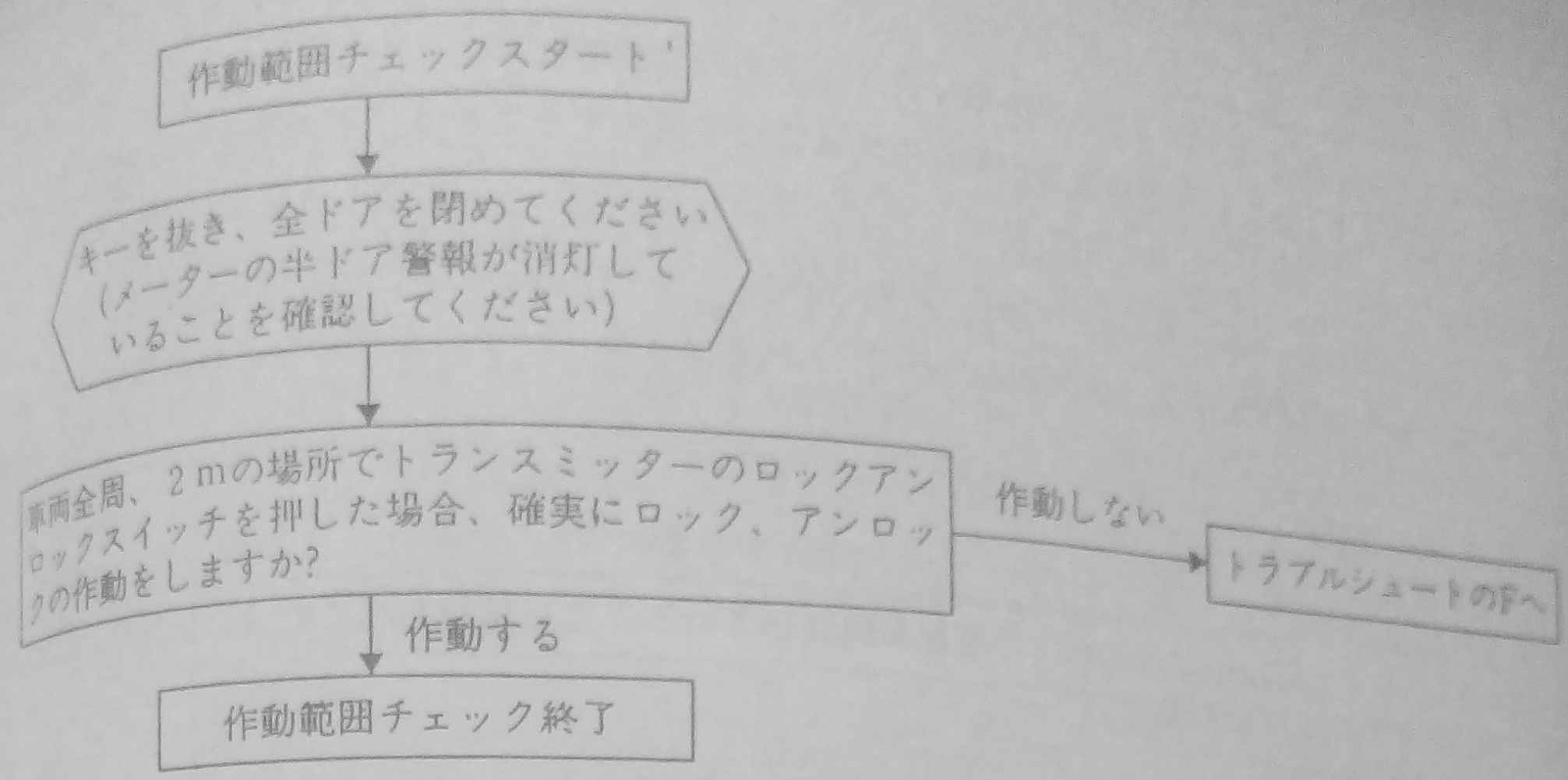
1　取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。

(2) 特に車両ハーネスおよびワイヤレスドアロック専用ハーネスを無理に押したり、引っ張ったり、かみ込んだりしていないか点検すること。またクランプおよびバンドのはずれや、部品の締めつけ忘れはないかもう一度確認すること。

2　作動確認

次の手順で作動チェックの点検を行ってください。
また、作動チェックの点検中に作動不良が出た場合は、指示されているトラブルシュートに移り、点検を実施してください。



注意

部分的に作動距離が著しく悪くなる所がありますが、その場合、トランスミッターを15cm移動した場所で作動すれば、不良ではありません。

注意

センサーの周囲に、オーディオのアンプ等、金属物を置いた場合、作動範囲が狭くなる場合があります。

復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を元通りに取り付ける。また復元の際は、下記の点に注意して作業を行うこと。

注意

復元時に車両ハーネス及びワイヤレスドアロック専用ハーネスをかみ込んだり、車両部品を損傷させないように注意してください。

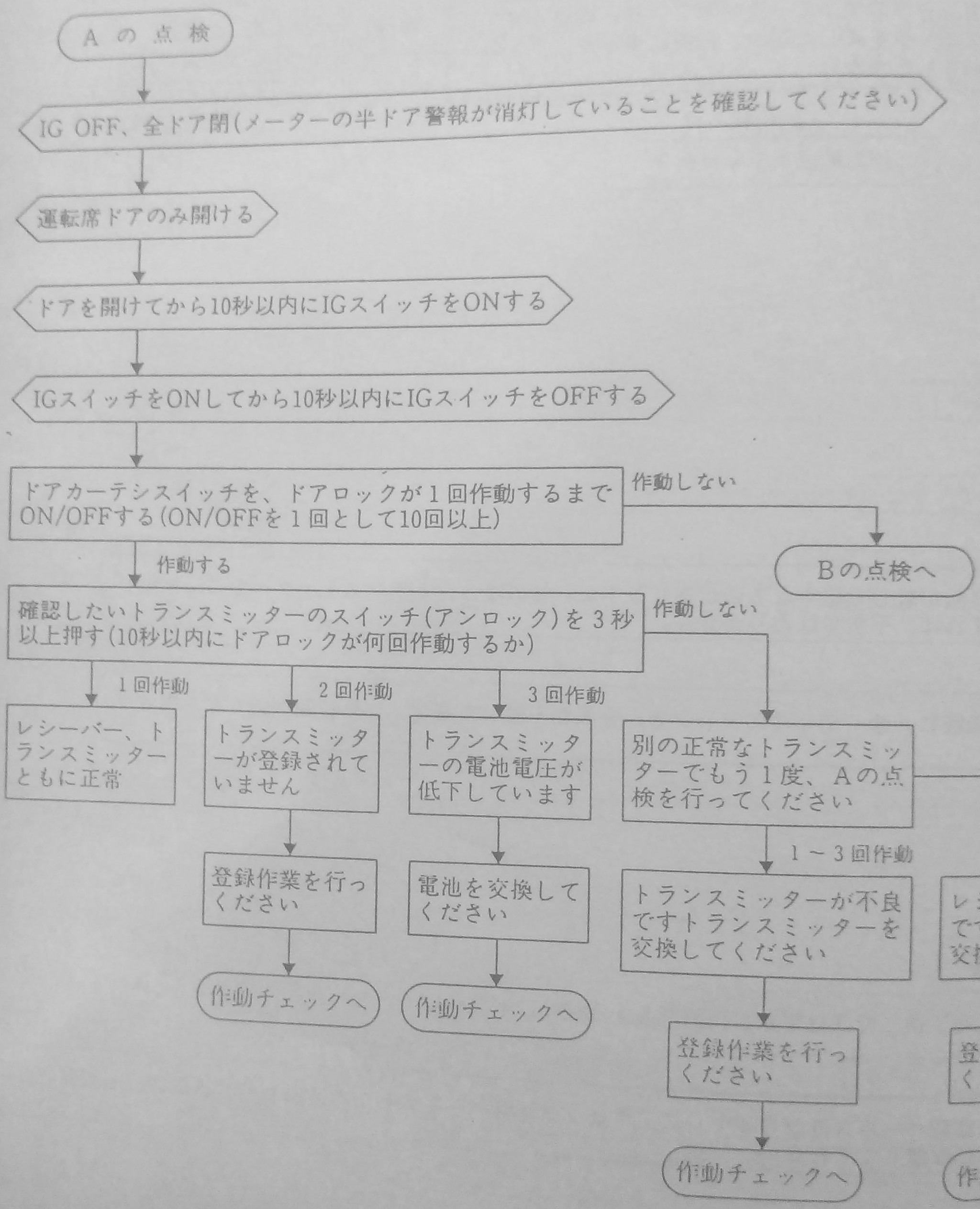
最終確認

1. ハーネス類のかみ込み、車両部品の取り付けに異常がないか確認してください。
2. パワーウインドウ・ドアロック・ライトスイッチ・フロントワイパー&ウォッシャースイッチ・メーター・表示灯・警告灯などの車両機能に異常がないか確認してください。

トラブルシュート

このトラブルシュートは、7~8ページの取り付け完了後の点検時に発生した作動不良について、その点検方法を記載しています。また、不具合現象が特定の地域にだけ発生する場合は、その発生する地域で点検を行ってください。

トランスミッターの点検



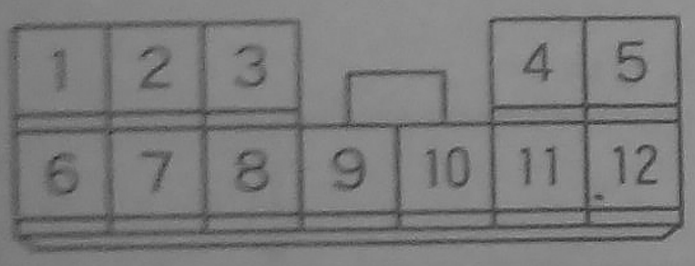
補給用バッテリーセット品番
08672-00090(キーホルダタイプ)
08672-00100(キーグリップタイプ)
補給用トランスミッター品番
08192-00080(キーホルダタイプ)
08192-00110(キーグリップタイプ)

Bの点検

<コネクター端子の点検>

レシーバーに接続されているコネクター各端子とボディーアース間の導通、電圧は正常か
点検は、トヨタエレクトリカルテスターを使用してください。

端子 ⊕	端子 ⊖	項目	点検条件	基準	基準でない時
6	アース	電圧	常時	10～14V	Dの点検へ
7	アース	導通	常時	導通あり	Dの点検へ
3	アース	導通	運転席のドアロックをキーでOFF→LOCKにする	導通なし→あり	Dの点検へ
8	アース	導通	運転席のドアロックをキーでOFF→UNLOCKにする	導通なし→あり	Dの点検へ
9	アース	電圧	運転席ドアロックノブLOCK→UNLOCK	電圧の変動あり	Dの点検へ
5	アース	電圧	全ドア閉→いずれかのドア開	10～14V→0V	Cの点検へ
10	アース	電圧	イグニッションキーシリンダーにキープレートを差し込む→抜く	0V→10～14V	Dの点検へ
1	アース	電圧	キープレートを差し込みIG ONにする	0V→10～14V	Eの点検へ



レシーバーに接続されているコネクター

基準がすべて正常なとき

レシーバーの不良の為、レシーバーを交換してください

C の 点 検

090II 11Pコネクターは嵌合されていますか?

嵌合されていない

嵌合してください

嵌合されている

コネクター各端子は基準になりましたか?

基準にならない

ハーネス不良の為、交換してください

基準になった

次の作動チェックを行ってください

D の 点 検

090II 16Pコネクターは嵌合されていますか?

嵌合されていない

嵌合してください

嵌合されている

ハーネスのヒューズ及び車両ヒューズは切れていませんか?

切れている

交換してください

切れていない

コネクター各端子は基準になりましたか?

基準にならない

基準になった

次の作動チェックを行ってください

ハーネス不良の為、交換してください

E の 点 検

赤に青線の分岐コネクターの接続は正しいですか?

正しくない

分岐コネクターは再使用できませんので
3ページの分岐コネクター使用上の注意
にしたがって処理してください

正しい

ハーネスのヒューズ及び車両ヒューズは切れていませんか?

切れている

交換してください

切れていない

コネクター各端子は基準になりましたか?

基準にならない

基準になった

次の作動チェックを行ってください

ハーネス不良の為、交換してください

F の 点 検

レシーバーの取り付け位置は、指示されている取り付け位置ですか?

NO → 取り付け直してください

YES

レシーバーの周囲に工具等、金属物が置かれていませんか?

置かれている → 金属物をレシーバーから離してください

置かれていない

作動距離の不良は、無くなりましたか?

無くならない → レシーバーの位置を少し指示されている位置から動かしてください
注. 下記を参照

無くなった

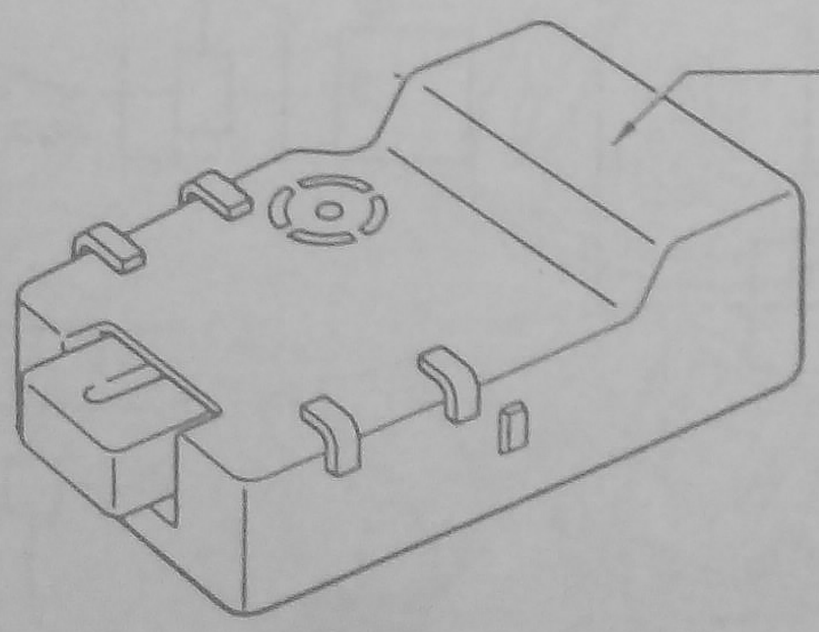
作動距離の不良は、無くなりましたか?

無くならない → レシーバー不良の為、交換してください

無くなった

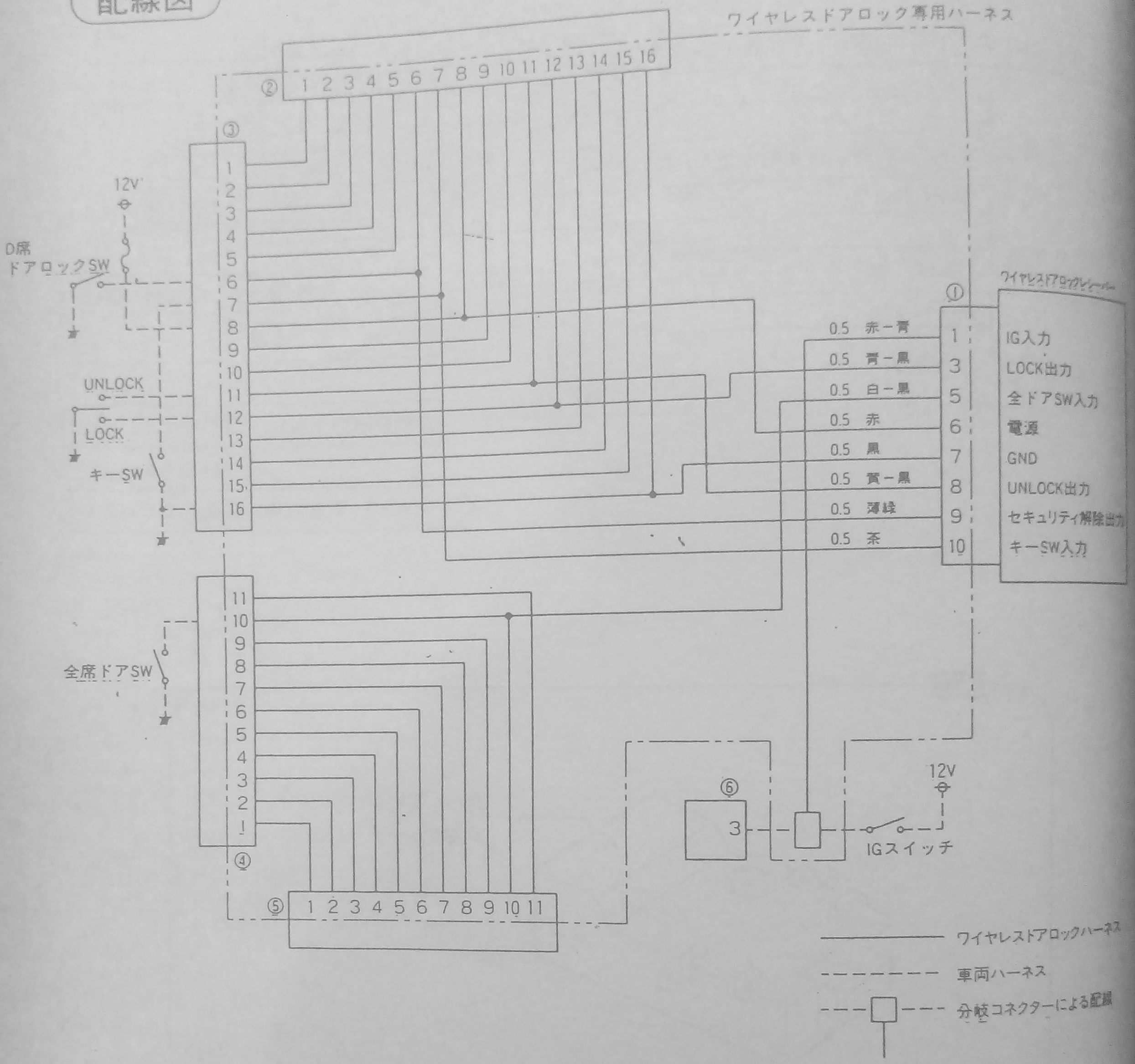
点 検 終 了

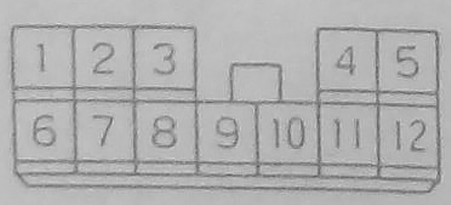
注意



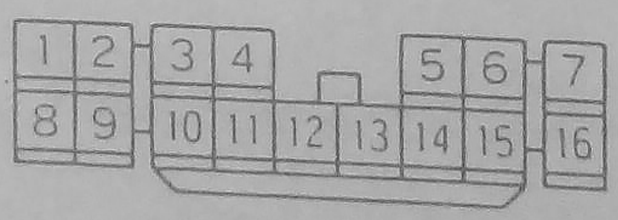
内蔵アンテナをシート裏の金属部分の真下から
ずらして固定してください

配線図

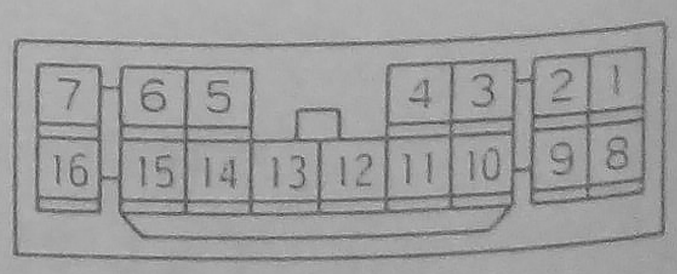




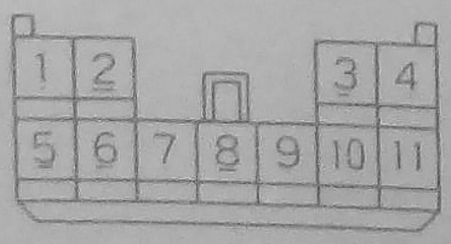
①



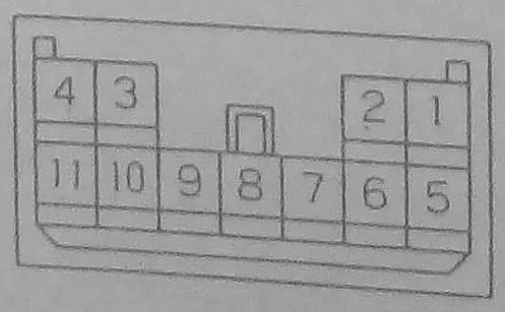
②



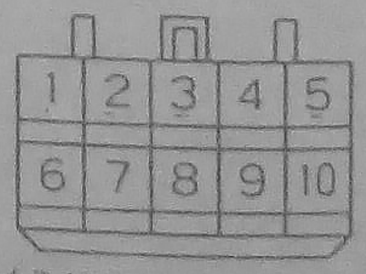
③



④



⑤



（分岐コネクターによる配線）

⑥

仕様

項　　目	仕　　様
消費電流	DC. 12V
作動範囲	車両より約2m以内 〔周囲の電波状況により 作動距離は変わります〕
電　　池	コイン形リチウム電池(1個) ・CR1616(キーホルダタイプ) ・CR1216(キーグリップタイプ)

注 仕様は製品改良の為、予告なく変更することがあります。

〈キーカットミスについて〉　（キーグリップタイプのみ）

(1) 万が一キーカットミスをした場合は、ブランクキーとしてキープレートが付いている側のみ交換できますので、それをお求めのうえ、再度キーカットをしてください。

(2) 補給用ブランクキー品番　　０８１９６－００３１０

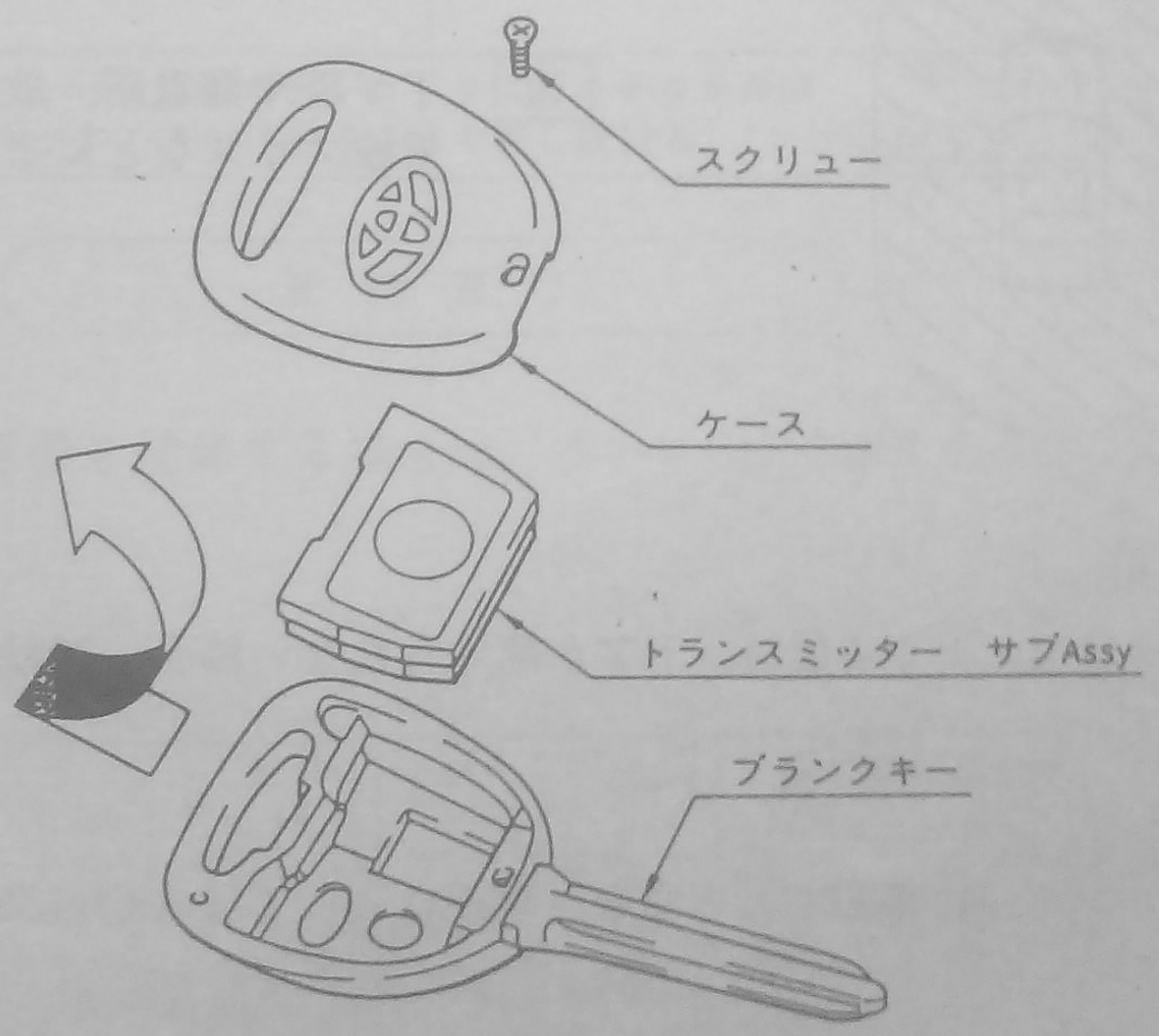
(3) ブランクキー交換手順

① スクリューをはずす。

② ケースを下図、矢印方向にスライドさせる様に取りはずす。

③ トランスミッター　サブAssyを取りはずす。

④ ブランクキーを交換し、①～③の逆の手順で、トランスミッター　サブAssy、ケース、スクリューを取り付ける。



取り付け店殿へのお願い

・必ずお客様に操作要領を説明してください。

お客様用

トヨタ純正 ワイヤレスドアロック リモートコントロール 取扱書

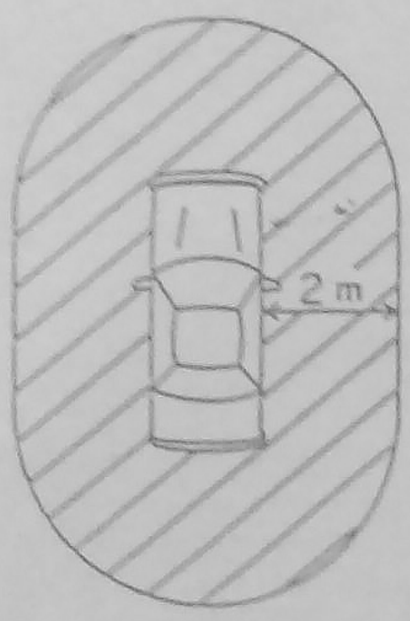
このたびはトヨタ純正ワイヤレスドアロックリモートコントロールをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱書をお読みいただき、正しい取り扱い方法により長くご愛用くださるようお願い申しあげます。

機能説明

1 ドアロックコントロール機能

送信機から発信される電波により、離れた場所から車の全ドアの施錠・解錠がワンタッチで操作することができます。

2 作動範囲



車両より約２ｍ以内で作動します。

注　ＴＶ塔や発電所、放送局などの近くや周囲の状況、電波ノイズなどにより作動距離が変わります。

3 盗難防止機能

ドアロックを送信機により解錠後、ドアが開けられない場合、30秒後に自動的にドアロックが施錠されます。

4 安全機能

キーがキーシリンダーに差してある場合（車種によってはＡＣＣ又は、ＩＧ位置の場合）は、作動しません。

5 登録機能

このワイヤレスドアロックリモートコントロールは１台のレシーバーで３個までの送信機を使用することができます。
１回の登録操作で１種類の送信コードが登録でき、登録操作を実行すると最も古いコードが消去されます。
新たに送信機を追加する場合は、以下の手順で登録してください。

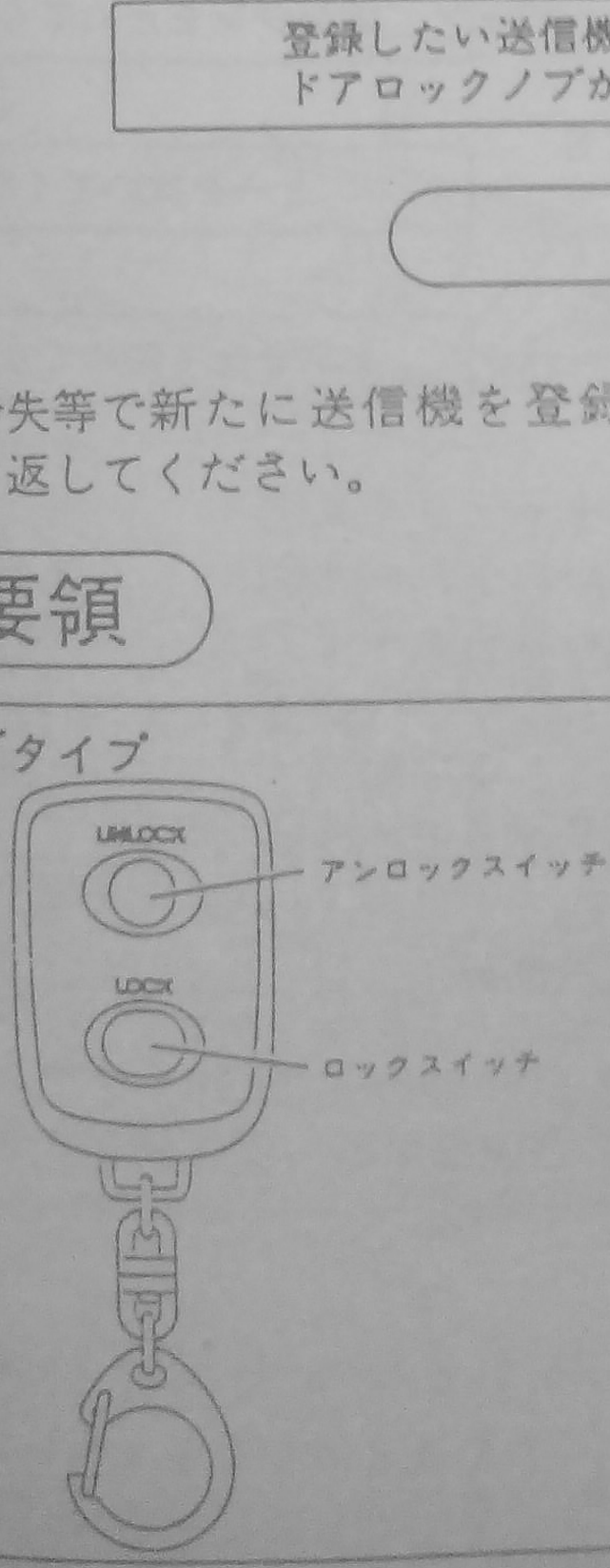
注 送信機のロックスイッチでは、登録できません。

登録操作開始
（キーをシリンダーから抜き、全ドア閉の状態を確認のこと。）
↓
運転席ドアを開ける。
↓
ドアを開けてから10秒以内に登録しようとする
送信機のアンロックスイッチを２秒以上押す。
↓
送信機のアンロックスイッチを押してから、10秒以内にキーを
キーシリンダーに差し、ＩＧ位置まで回す。
↓
ＩＧ位置まで回してから、10秒以内に
キーをキーシリンダーから抜く。
↓
運転席側のカーテシスイッチを車両側ドアロックノブが作動するまで
ＯＮ，ＯＦＦする。（ＯＮ，ＯＦＦを１回として６回以上）
↓
登録したい送信機のアンロックスイッチを車両側
ドアロックノブが作動するまで押し続ける。（５秒以上）
↓
登録完了

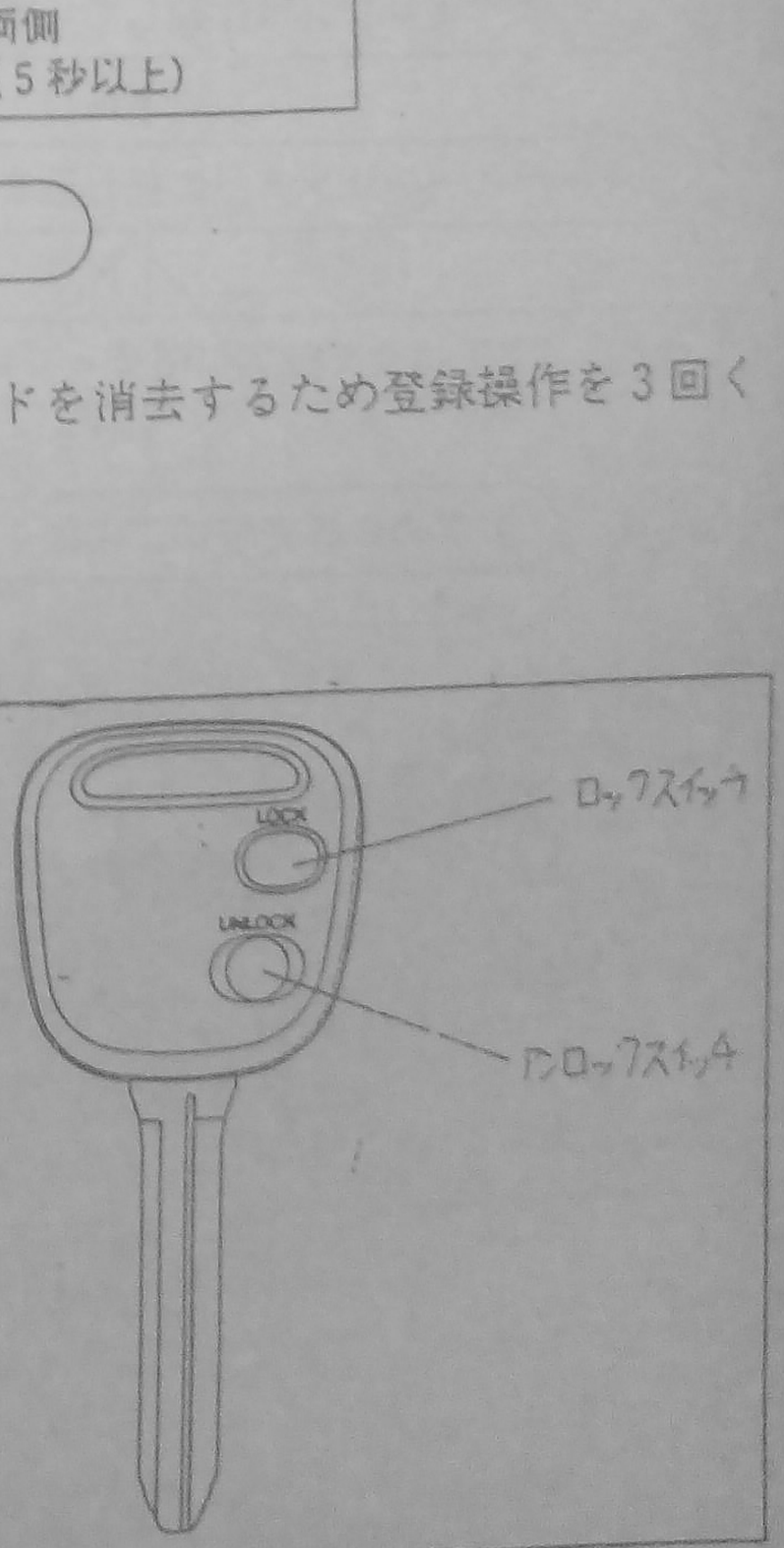
注 紛失等で新たに送信機を登録する場合は、古いコードを消去するため登録操作を３回くり返してください。

操作要領

キーホルダタイプ



キーブレードタイプ



1. ドアロックの解錠
   送信機のアンロックスイッチを押してください。
2. ドアロックの施錠
   送信機のロックスイッチを押してください。

注 送信機から発信される電波は製品ごとの専用コード電波のため他の送信機では操作できません。

取扱上の注意事項

1. 送信機は水にぬらさないようにしてください。
2. 送信機を落下させたり、ぶつけたり、踏んだりすると故障の原因になります。
3. 送信機をダッシュボードの上など高温（60℃以上）になる場所に放置しないでください。
   電池寿命の低下や故障の原因になります。
4. ワイヤレスドアロックリモートコントロールによりドアロックの解錠・施錠を行なった場合は、必ずその状態を確認してください。

故障とお考えになる前に

ワイヤレスドアロックリモートコントロールが正常に作動しなくなったときは、次表に従ってお調べいただきそれでも作動しないときはお求めの販売店にご相談ください。

エンジンは作動していますか？ —YES→ エンジンを止めてください。
↓NO
キーがキーシリンダーに差し込まれていますか？ —YES→ キーを抜いてください。
↓NO
ドアは全て確実に閉まっていますか？ —NO→ ドアを全て閉めてください。
↓YES
お求めの販売店にご相談ください。

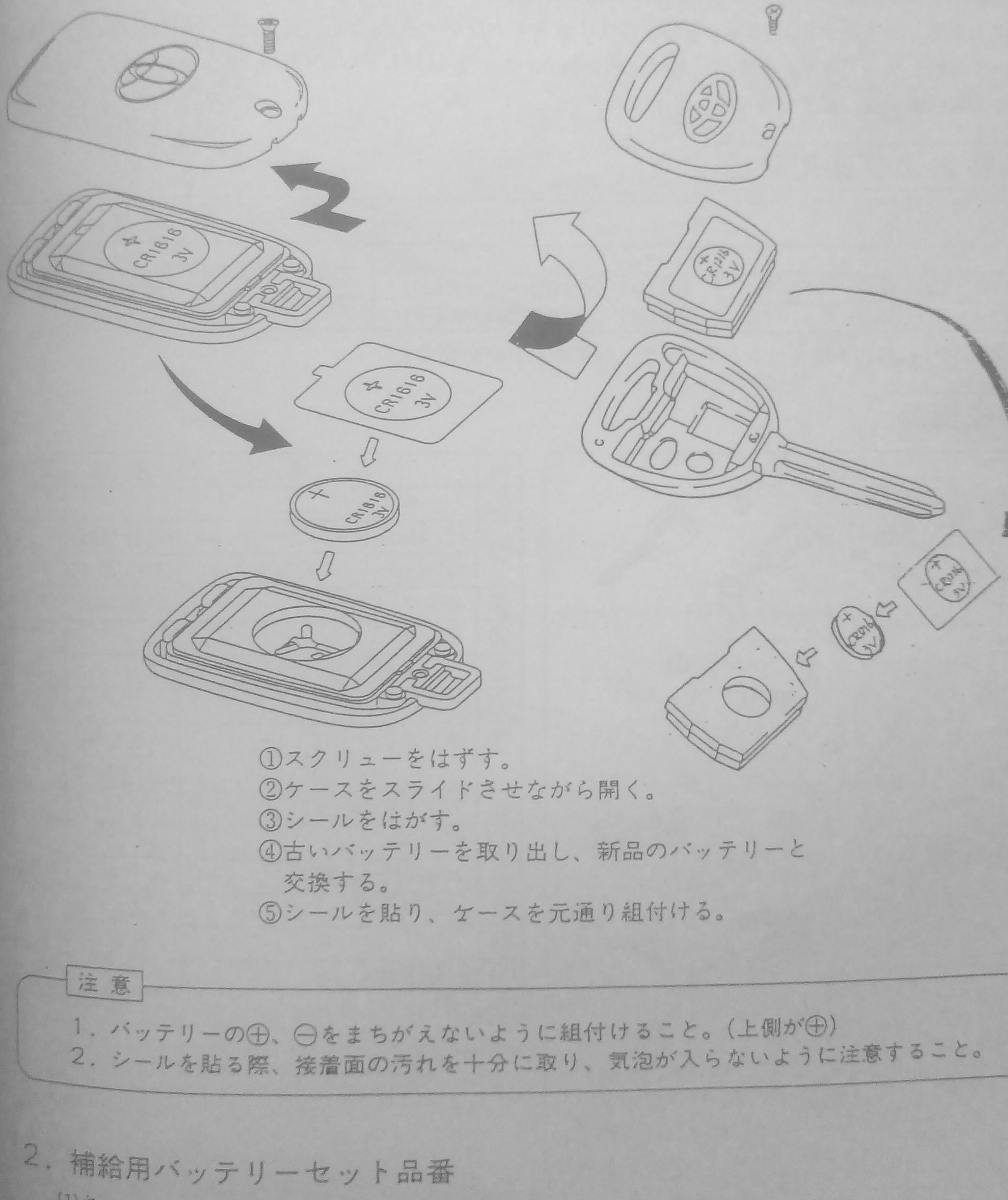
電池交換について

送信機内の電池が消耗した場合は、お買いあげの販売店にて交換してください。
電池寿命　キーホルダタイプ：約2年間（CR1616 1個）（10回／日使用の場合）
　　キーグリップタイプ：約2年間（CR1216 1個）（10回/日 使用の場合）

1．電池交換方法

(1)キーホルダタイプ

(2) キーグリップタイプ



①スクリューをはずす。
②ケースをスライドさせながら開く。
③シールをはがす。
④古いバッテリーを取り出し、新品のバッテリーと
　交換する。
⑤シールを貼り、ケースを元通り組付ける。

注意

1．バッテリーの⊕、⊖をまちがえないように組付けること。（上側が⊕）
2．シールを貼る際、接着面の汚れを十分に取り、気泡が入らないように注意すること。

2．補給用バッテリーセット品番

(1)キーホルダタイプ：08672－00090
(2)キーグリップタイプ：08672－00100

トヨタ純正
ワイヤレストランクオープナ
取付要領書

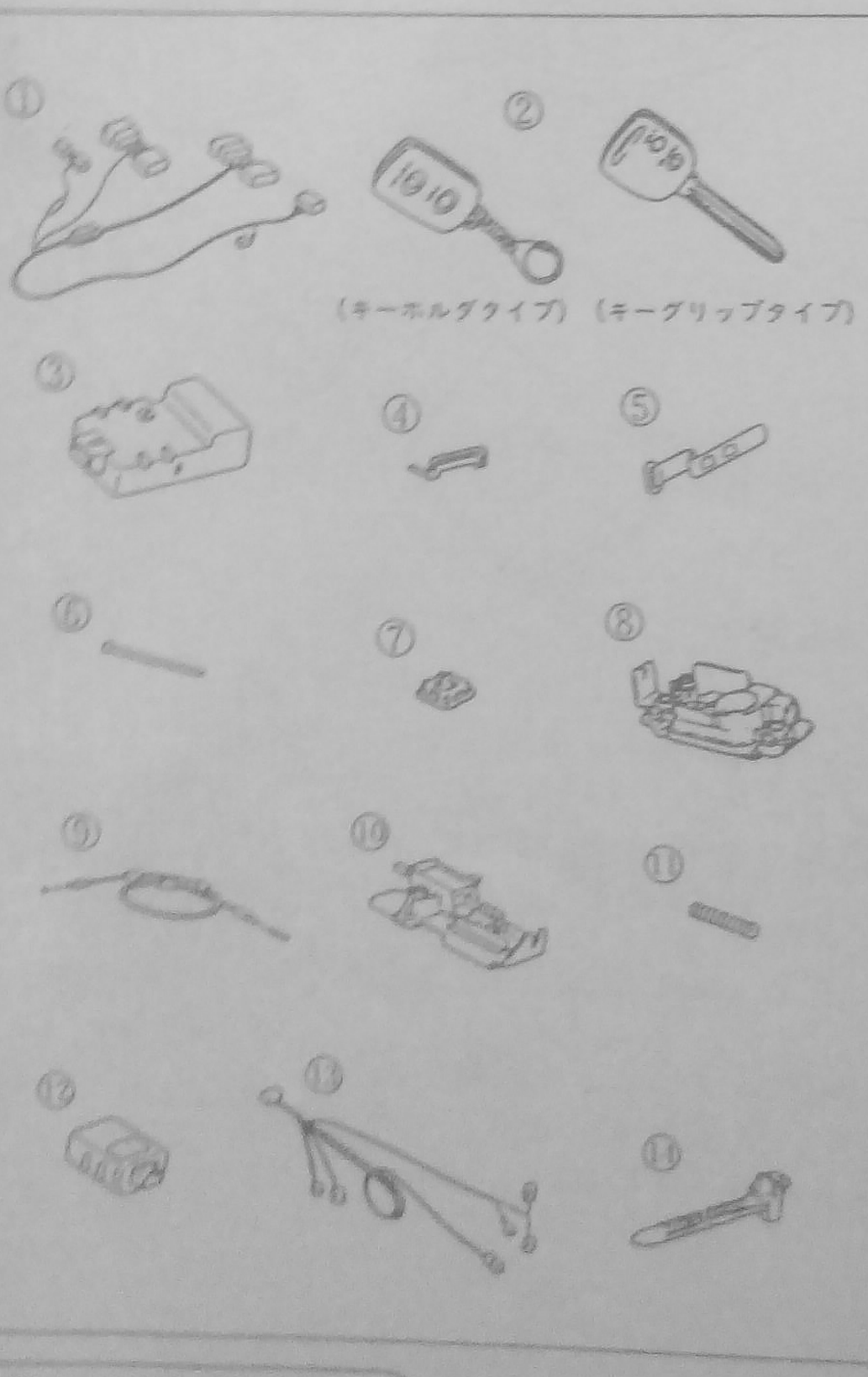
このたびはトヨタ純正ワイヤレストランクオープナをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はトヨタ　カリーナED・コロナEXiVにワイヤレストランクオープナを取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

品番		適用車種	年式
本体キット	フィッティングキット		
08190-00140(キーホルダタイプ)	08191-20160(カリーナED)	カリーナED コロナEXiV	1993年10月以降
08190-00160(キーグリップタイプ)	08191-20150(コロナEXiV)		

注 取り付けには、本体キットとフィッティングキットが必要です。

構成部品



No.	品名	品番	個数
①	ハーネスB		1
②	トランスミッター(キーホルダタイプ) 注1.	08192-00080	1
	トランスミッター(キーグリップタイプ) 注1.	08192-00110	
③	レシーバー	08192-00090	1
④	フック		2
⑤	ベルト		1
⑥	クランプ		25
⑦	ホルダクランプ	注2. カリーナED コロナEXiV	5 7
⑧	アクチュエータ		1
⑨	ケーブル		1
⑩	スイッチAssy		1
⑪	スプリング		1
⑫	リレーユニット		1
⑬	ハーネスA		1
⑭	クランプ、ワイヤ	注3. コロナEXiVのみ	3

注1. ②トランスミッターはキーホルダタイプ、またはキーグリップタイプのどちらか一方の選択となります。
2. ⑦ホルダクランプは、カリーナED用フィッティングキットと、コロナEXiV用フィッティングキットで、収容個数が異なります。
3. ⑭クランプ、ワイヤは、コロナEXiV用フィッティングキットのみの設定です。

取り付け時間

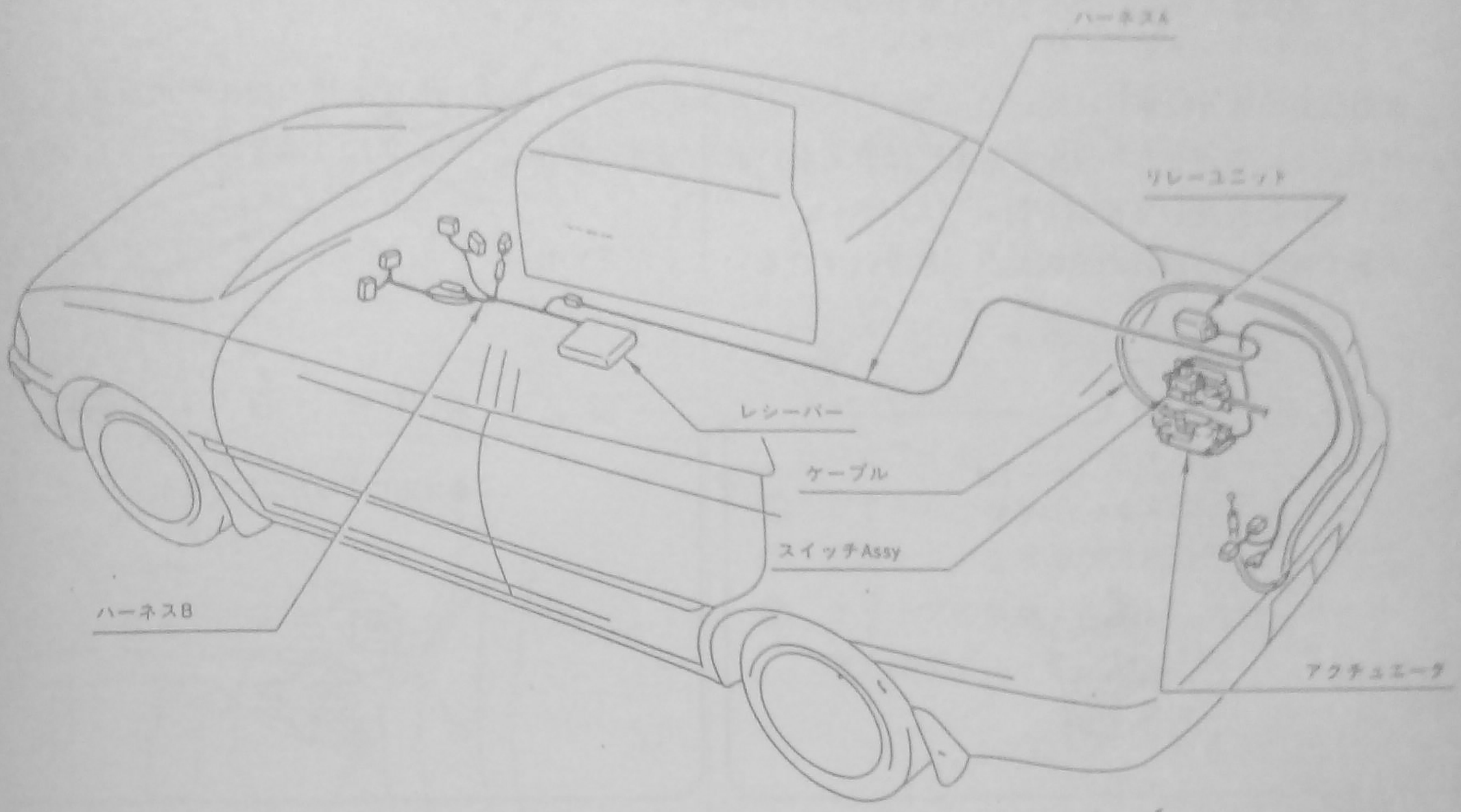
1.1H

768288-0010

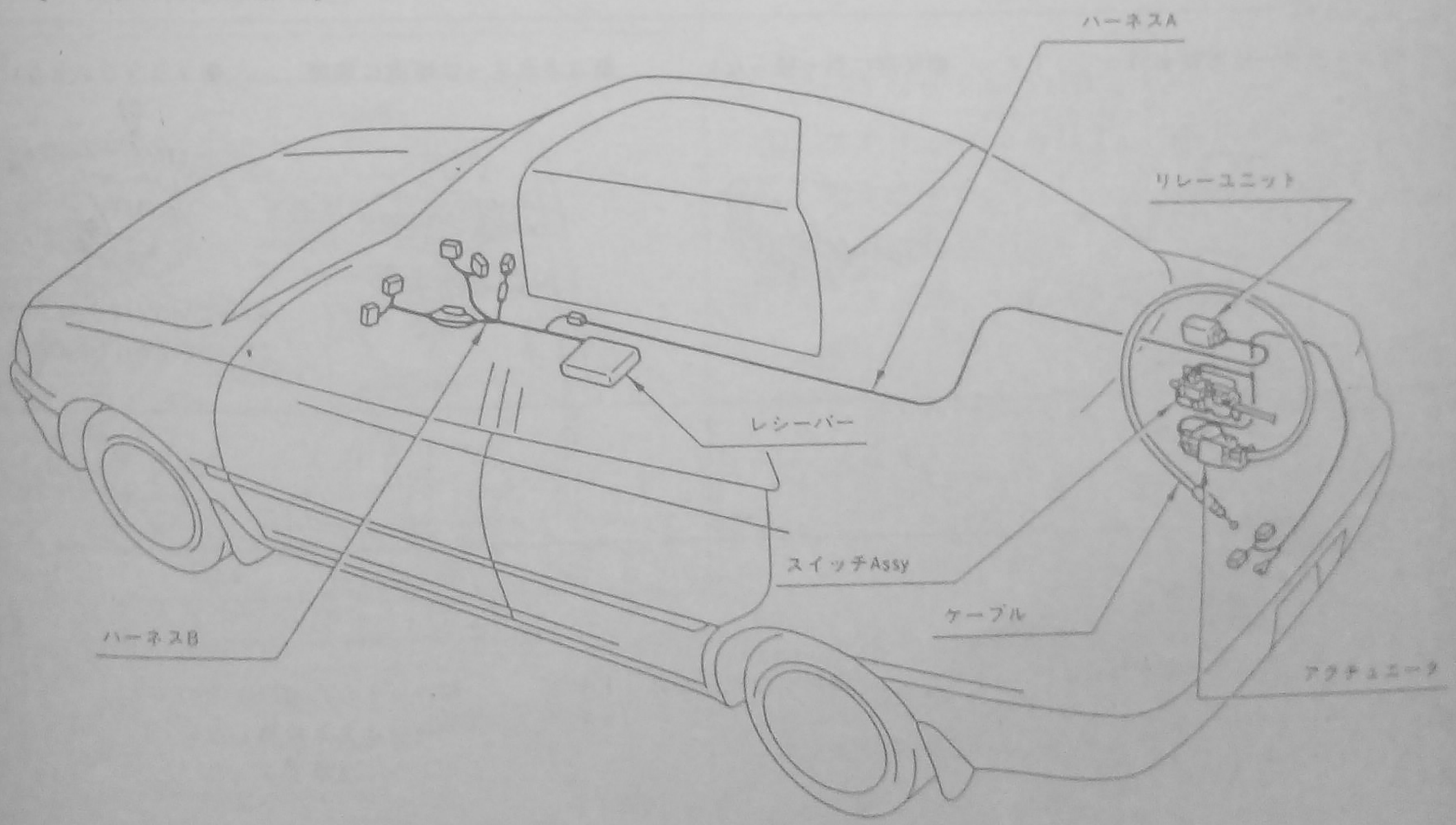
トヨタ自動車株式会社

取り付け概要

〈カリーナEDの場合〉



〈コロナEXiVの場合〉



取り付けに必要な工具等

一般工具、クリップリムーバー、ニッパー、カッターナイフ

取り付け上の注意事項

1．本文中の取り付け上の 注意 は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、 注意 を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。

2．車両部品の取りはずしに際して、タッピング　スクリューやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。

3．本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

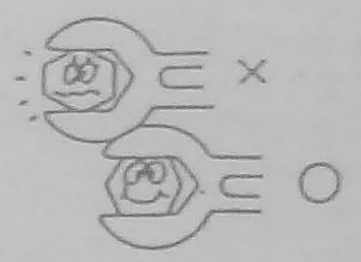
取り付ける前に

●バッテリーの(－)側
ケーブルをはずす



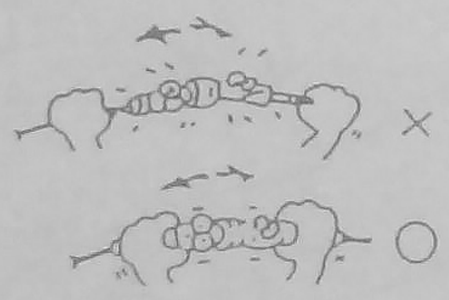
部品の取り付けは

●寸法に合った工具を使う

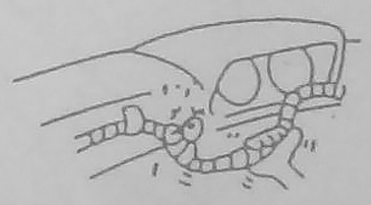


配線は

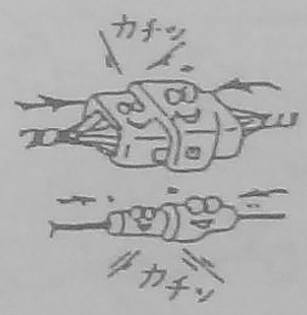
●コネクターは本体を持ってはずす



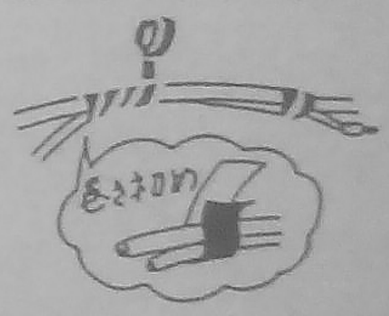
●無理に引っ張らない



●コネクターは確実に接続



●ブラブラさせない



車両のワイヤハーネスとまとめたり、
クランプを使用して固定する。

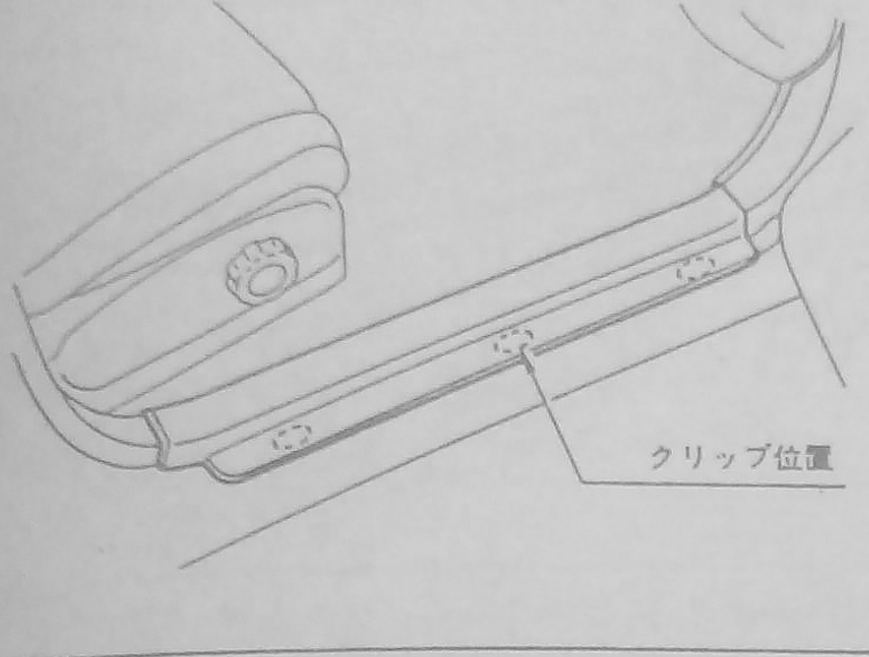
クランプは

●はだか線には
クランプしない

●余った部分をカットする

●カットした端末が他の
ハーネスと接触しない
ように注意する

取り付け要領

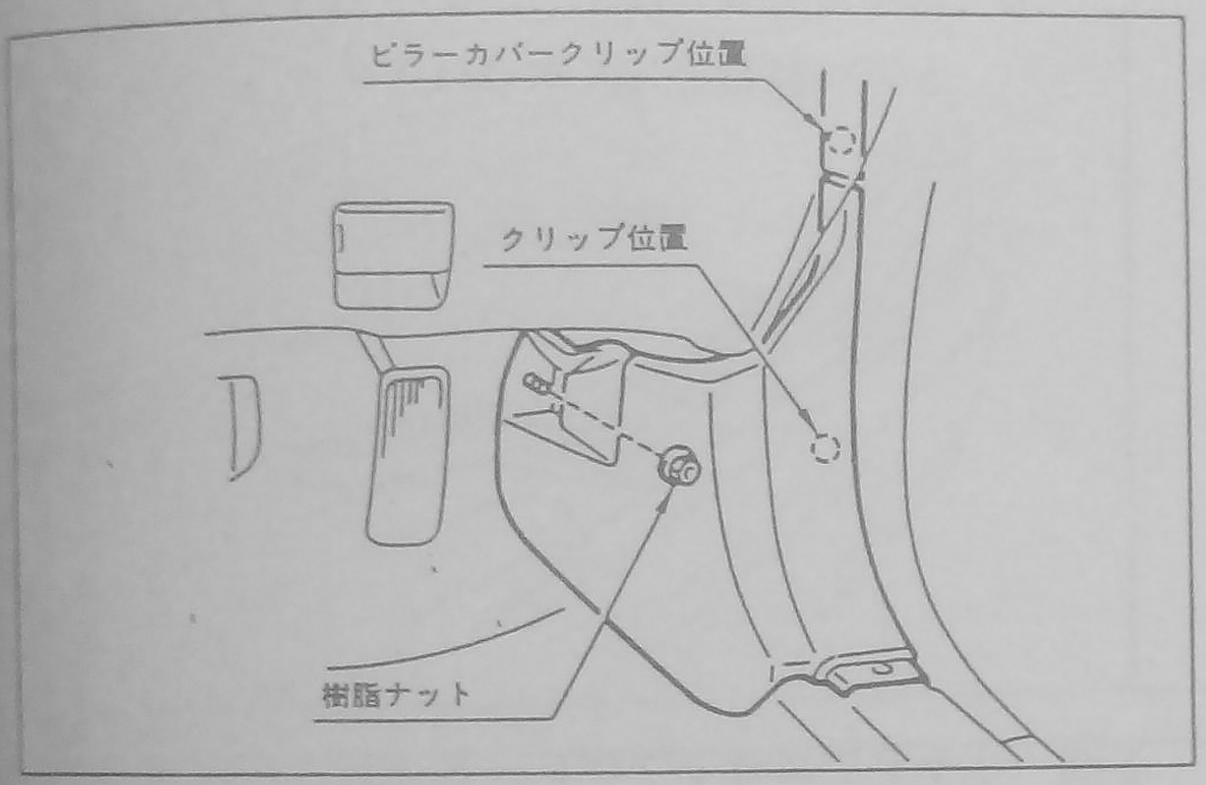


1　車両部品の取りはずし

下記部品を取りはずす。

(1)　フロントドア　スカッフプレート RH

①　クリップ(3箇所)の嵌合をはずし、スカッフプレートを取りはずす。

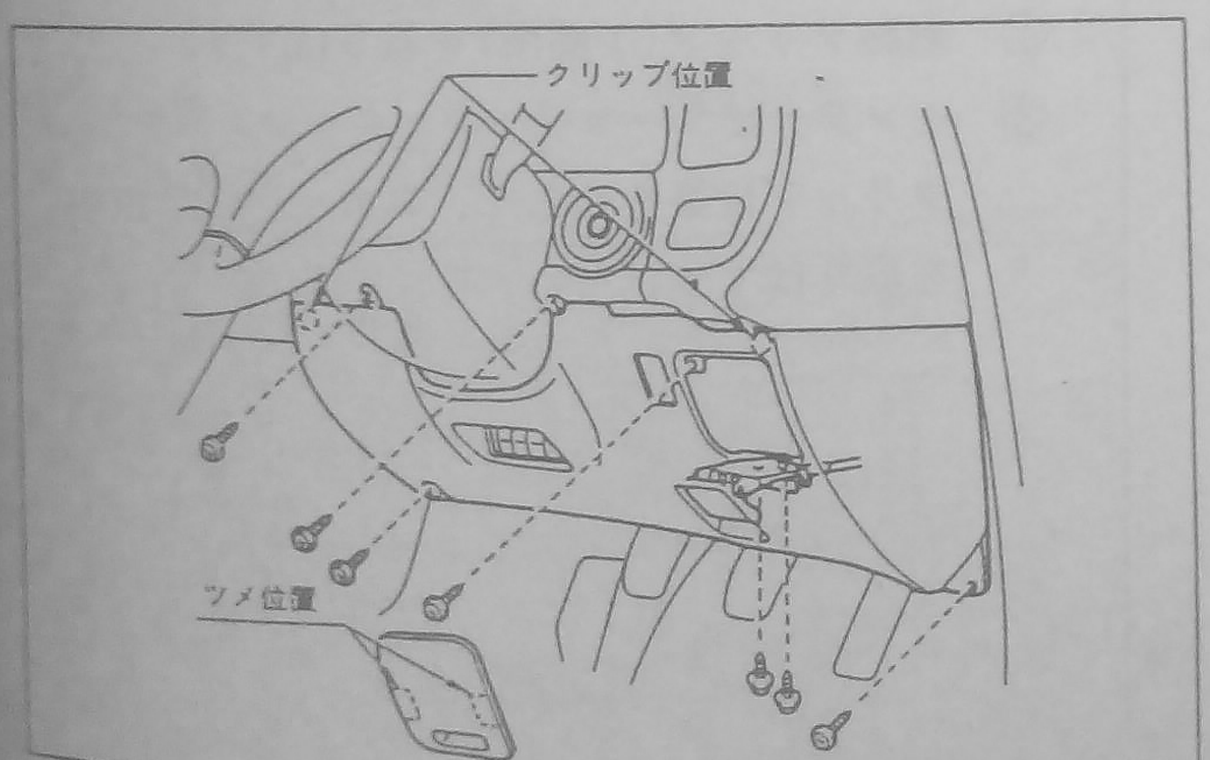


(2)　カウルサイドトリムボード RH

①　ピラーカバーのクリップの嵌合をはずす。

②　樹脂ナットを反時計方向に回してはずす。

③　クリップの嵌合をはずし、トリムボードを取りはずす。



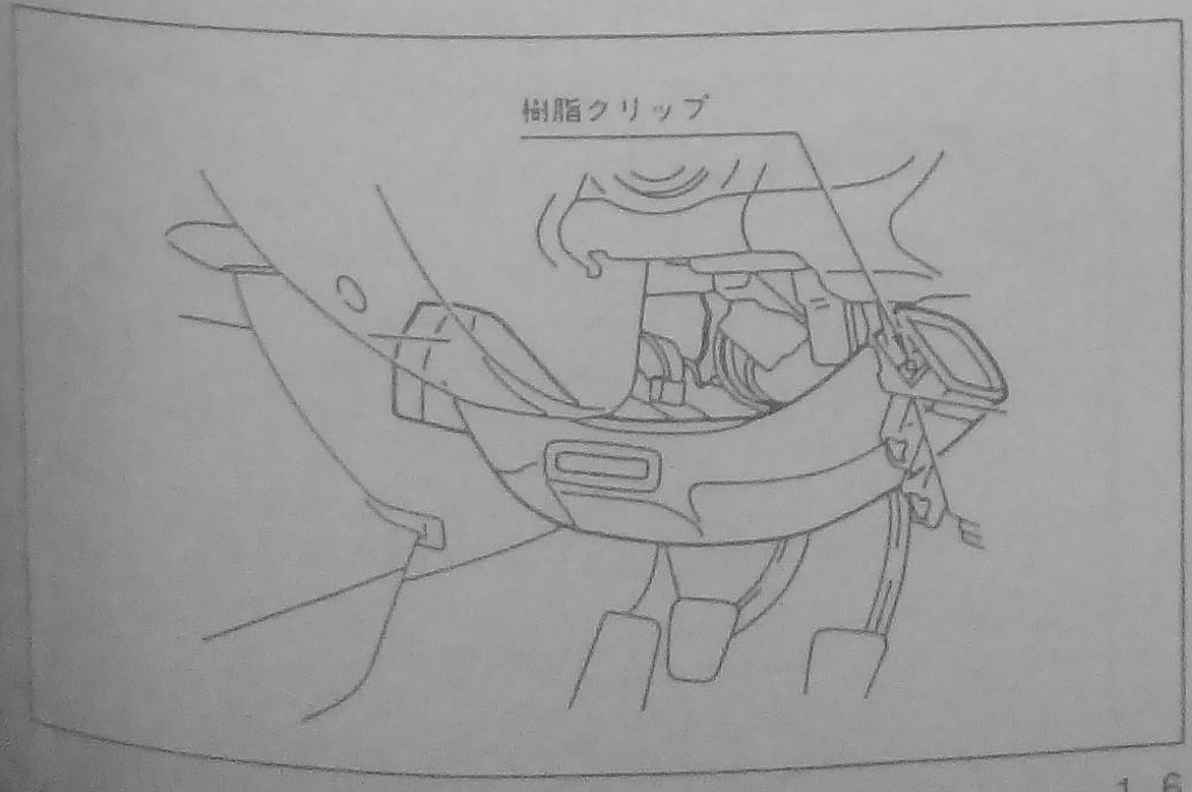
(3)　フードロックレリーズレバー

①　スクリュー2本をはずし、レリーズレバーを取りはずす。

(4)　ヒューズボックスカバー

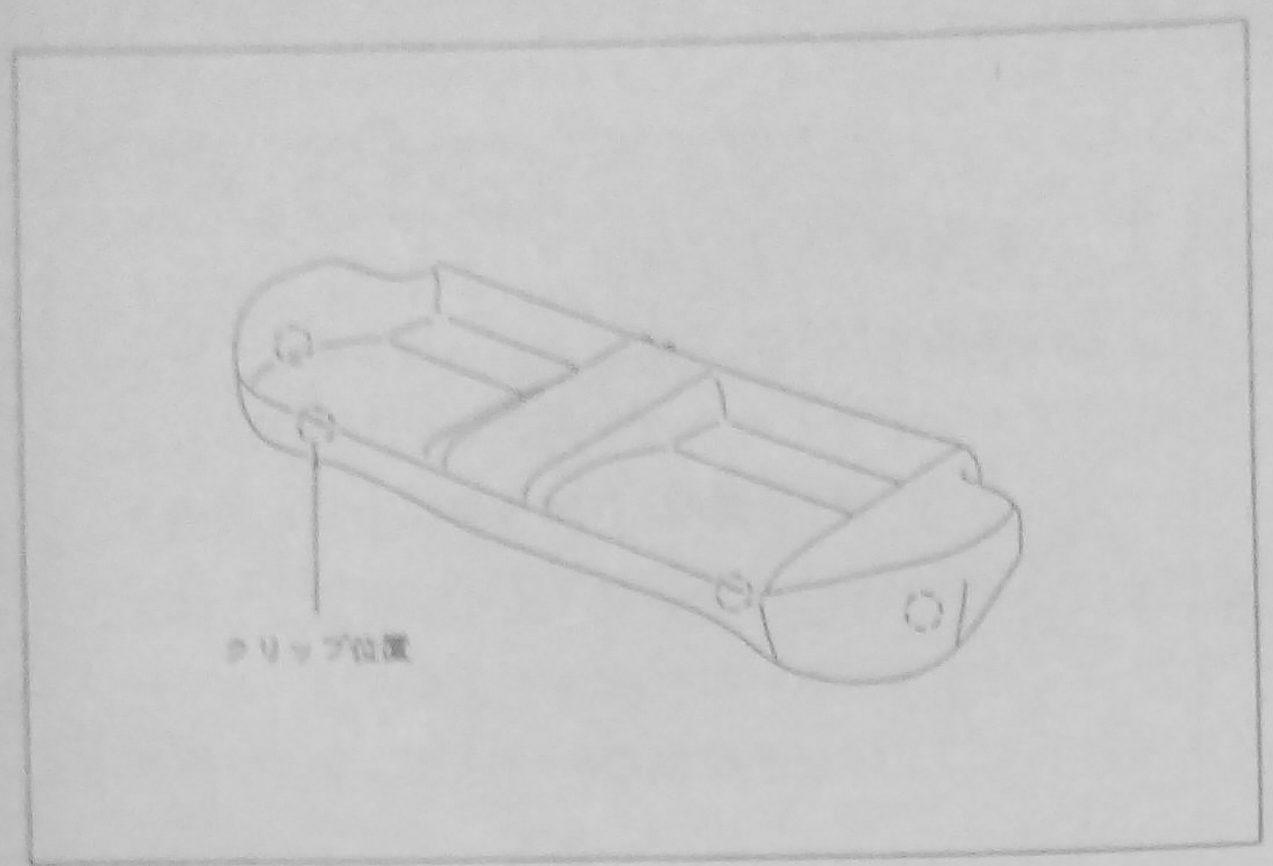
(5)　インストルメントパネルフィニッシュロワー No.1パネル

①　スクリュー5本をはずし、No.1パネルを取りはずす。



(6)　ヒーターツウレジスターNo.2ダクト

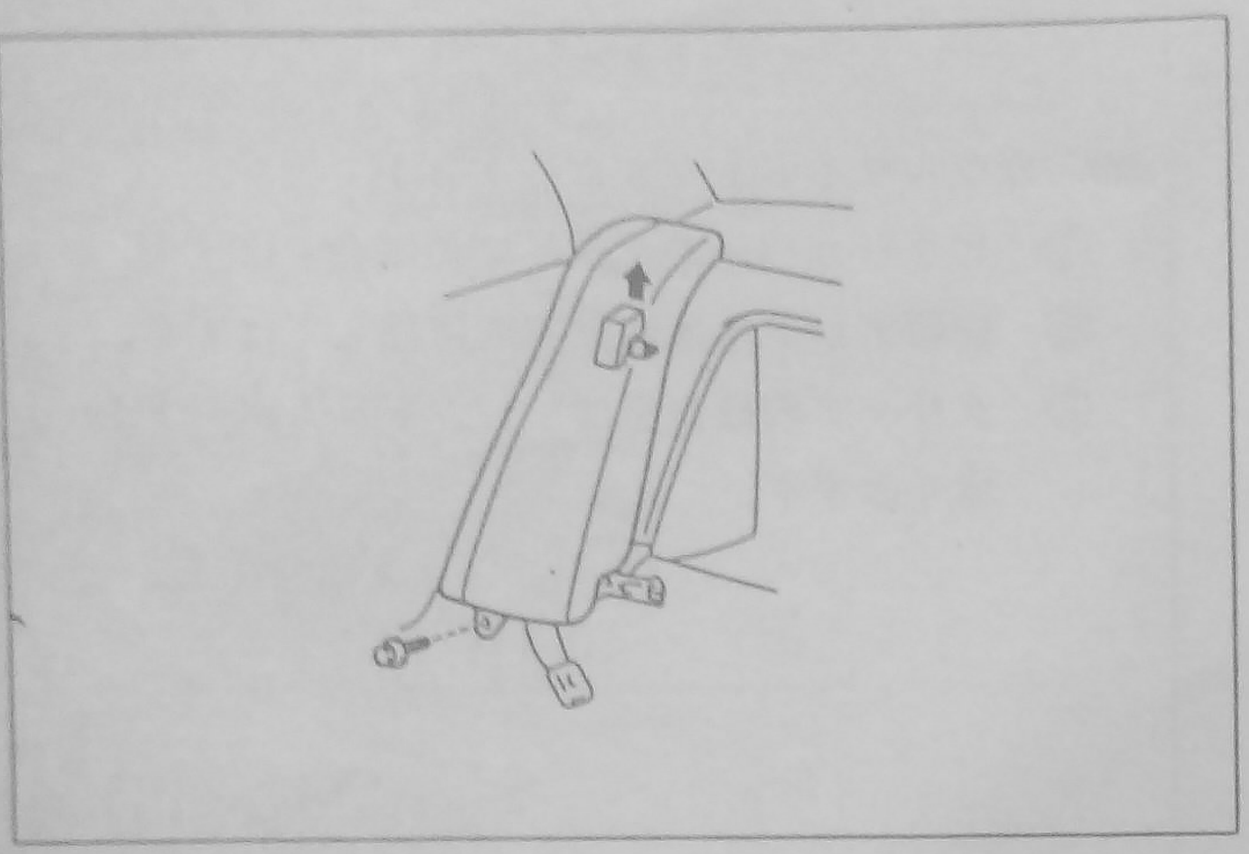
①　樹脂クリップをはずし、No.2ダクトを取りはずす。



(7) リヤシートクッションAssy

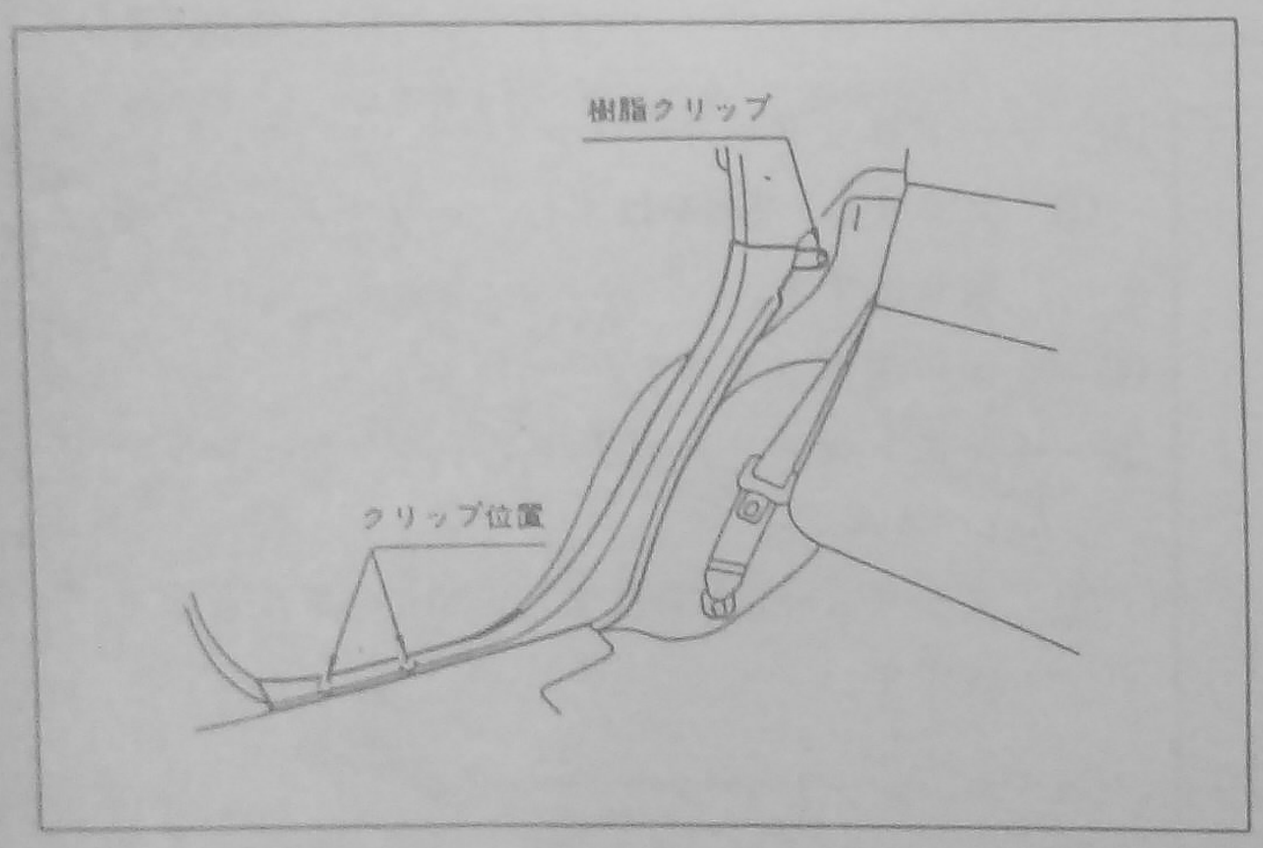
① クリップ位置を引き上げ、クリップ(4箇所)とシートクッションとの嵌合をはずす。

② シートクッションを前方にずらして、取りはずす。



(8) リヤサイドシートバックAssy

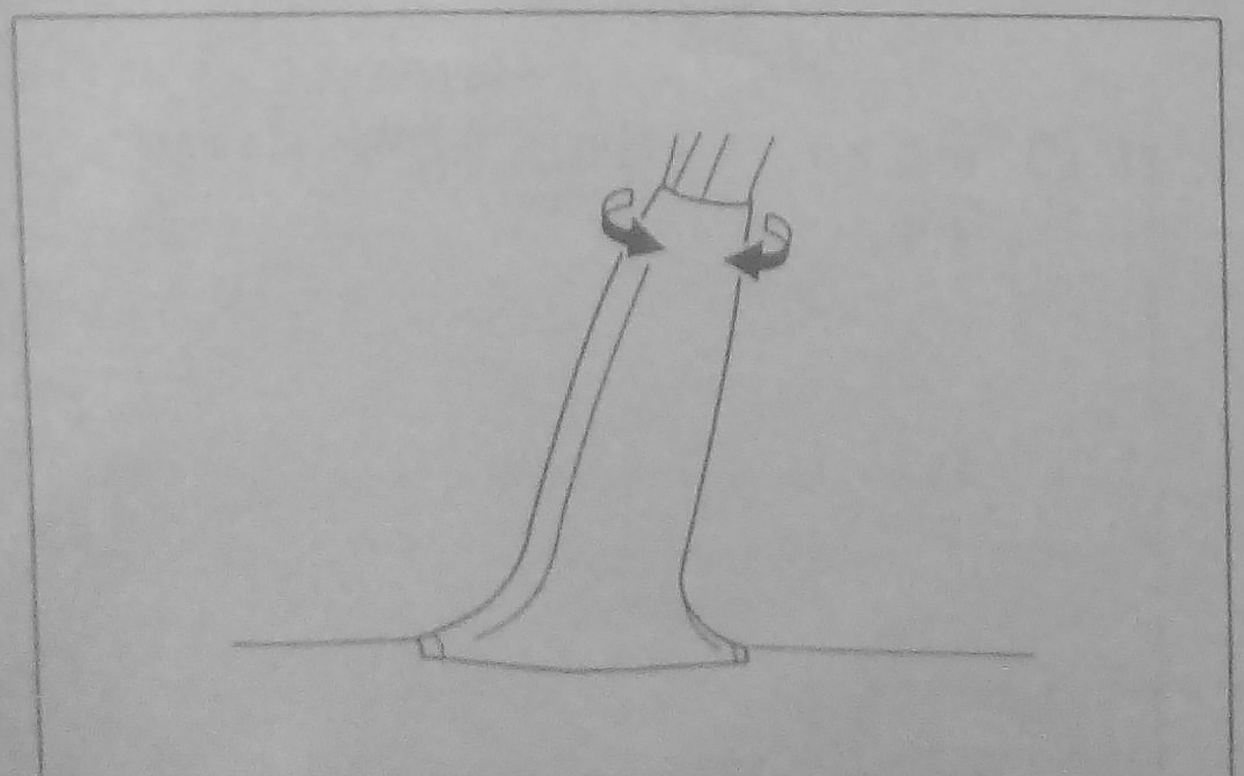
① ボルトを取りはずし、シートバックAssyを上方へ持ち上げて取りはずす。



(9) リヤドアスカッフプレート RH

① 樹脂クリップ(1箇所)を取りはずす。

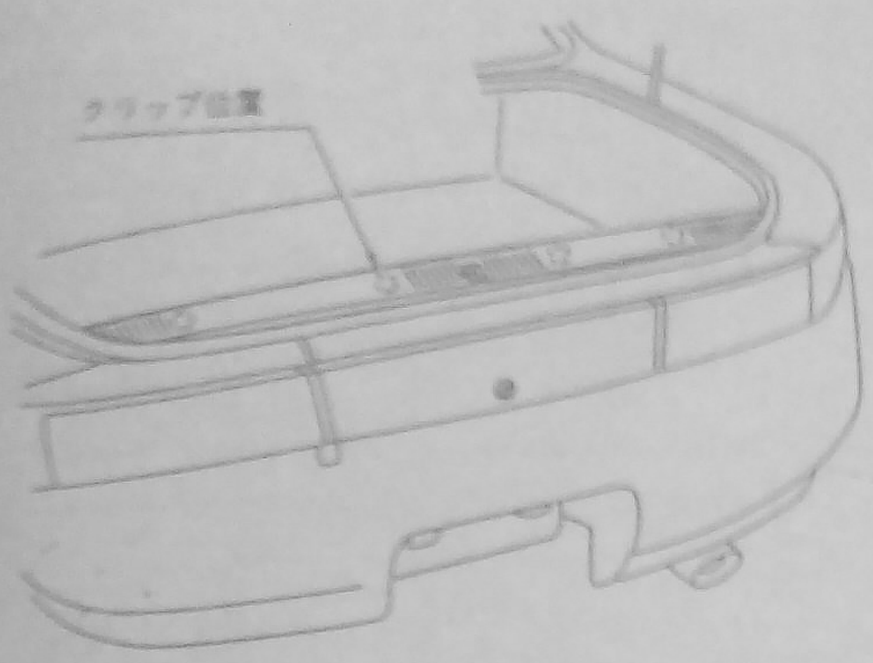
② センターピラーロワーガーニッシュ側から、クリップ位置をこじて、スカッフプレートを取りはずす。



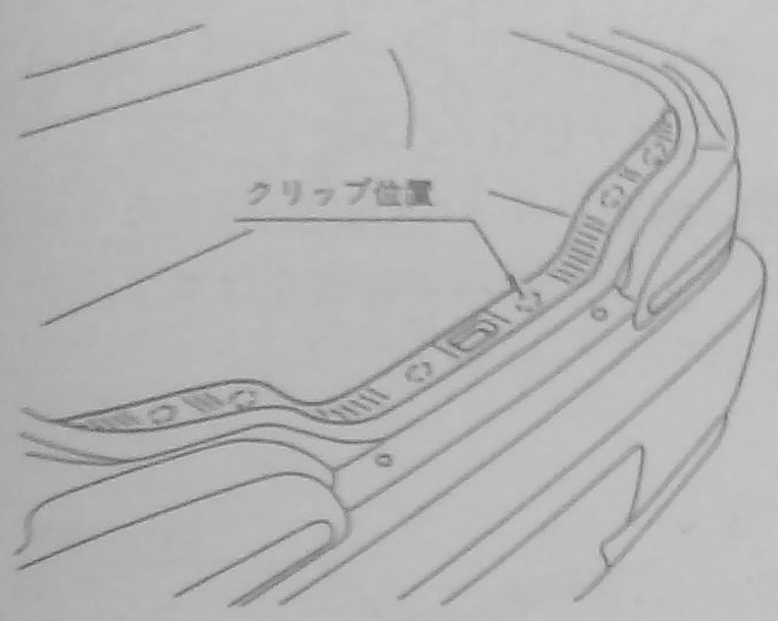
(10) センターピラーロワーガーニッシュ RH

① 矢印の方向に、ロワーガーニッシュをこじて、取りはずす。

〔カリーナEDの場合〕



〔コロナEXiVの場合〕



(11) リアフロアフィニッシュプレート

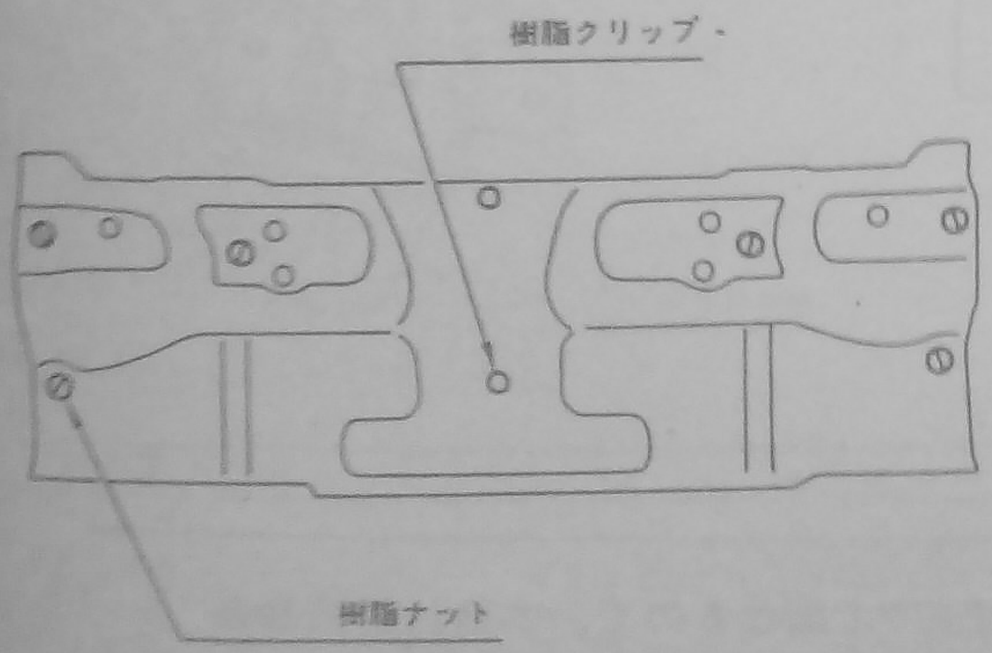
〔カリーナEDの場合〕

① クリップ位置(4箇所)をこじて、フィニッシュプレートを取りはずす。

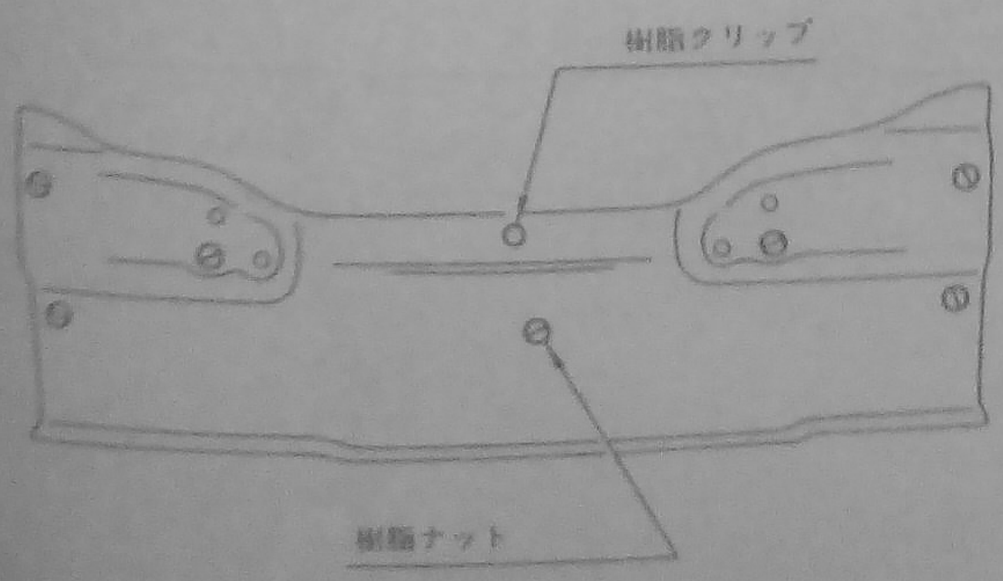
〔コロナEXiVの場合〕

① クリップ位置(6箇所)をこじて、フィニッシュプレートを取りはずす。

〔カリーナEDの場合〕



〔コロナEXiVの場合〕



(12) ラゲージコンパートメント トリムリヤカバー

〔カリーナEDの場合〕

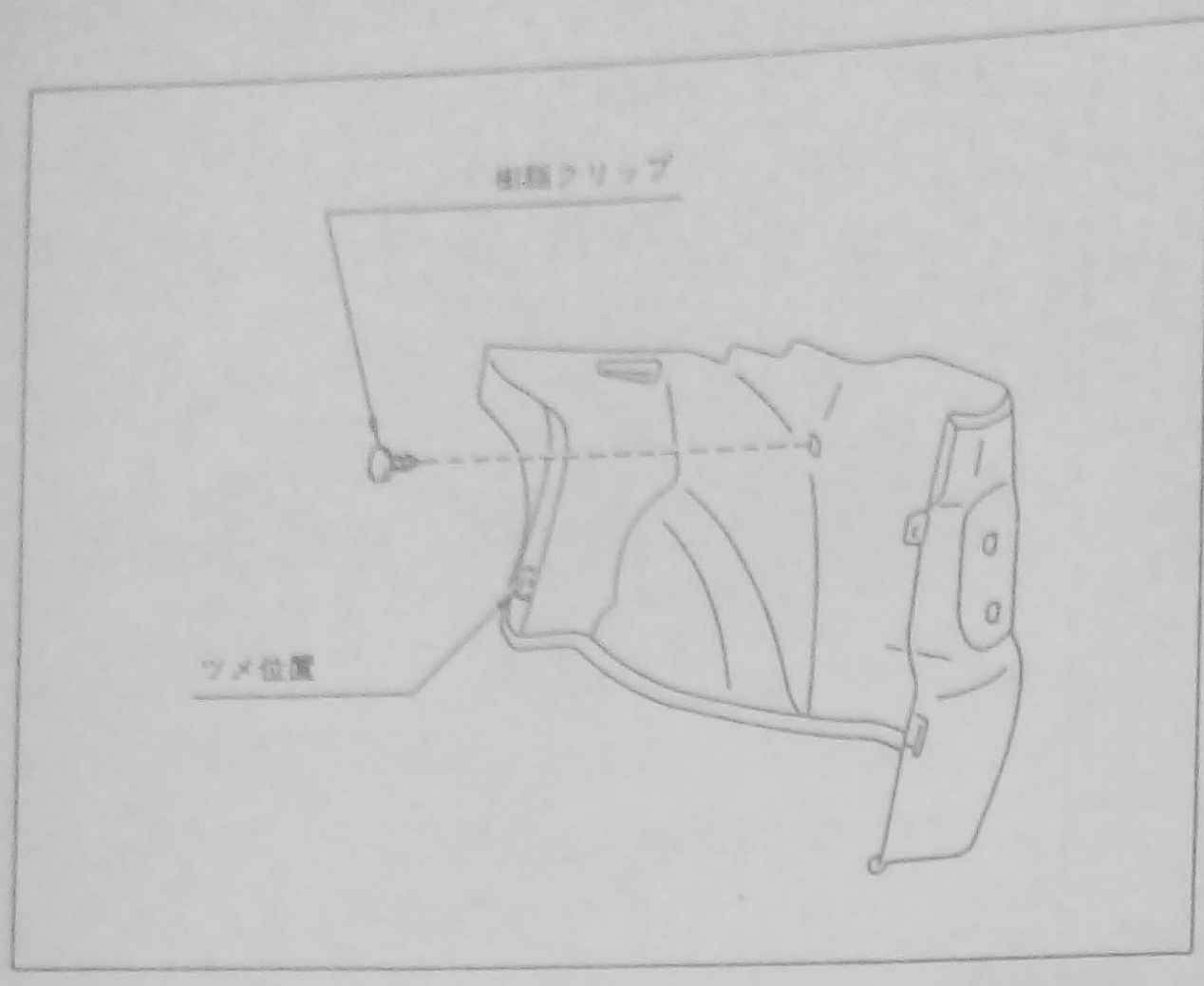
① 樹脂ナット(6箇所)を反時計方向に回して、嵌合をはずす。

② 樹脂クリップ(2箇所)をはずし、トリムリアカバーを取りはずす。

〔コロナEXiVの場合〕

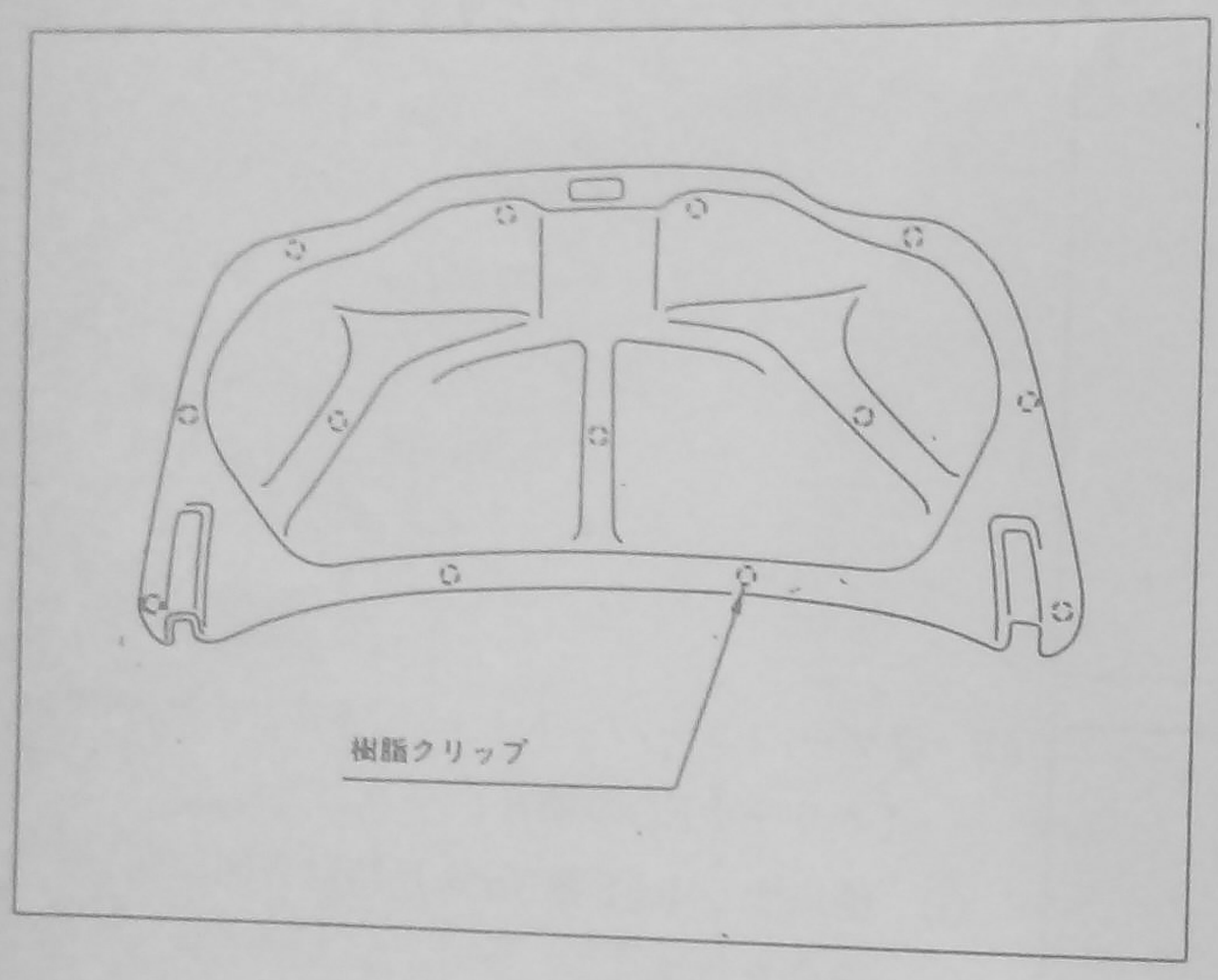
① 樹脂ナット(7箇所)を反時計方向に回して、嵌合をはずす。

② 樹脂クリップ(1箇所)をはずし、トリムリアカバーを取りはずす。



(13) ラゲージコンパートメント　トリムカバー 取付

① 樹脂クリップ(1箇所)と、ツメの嵌合をはずし、トリムカバーを取りはずす。



(14) ラゲージコンパートメント　トリムドアカバー
(コロナEXiVのみ)

① 樹脂クリップ(13箇所)をとりはずし、トリムドアカバーを取りはずす。

注意

これ以降の取り付け手順は、カリーナEDとコロナEXiVで異なるので、本取付要領書を以下の順序で、お読みください。

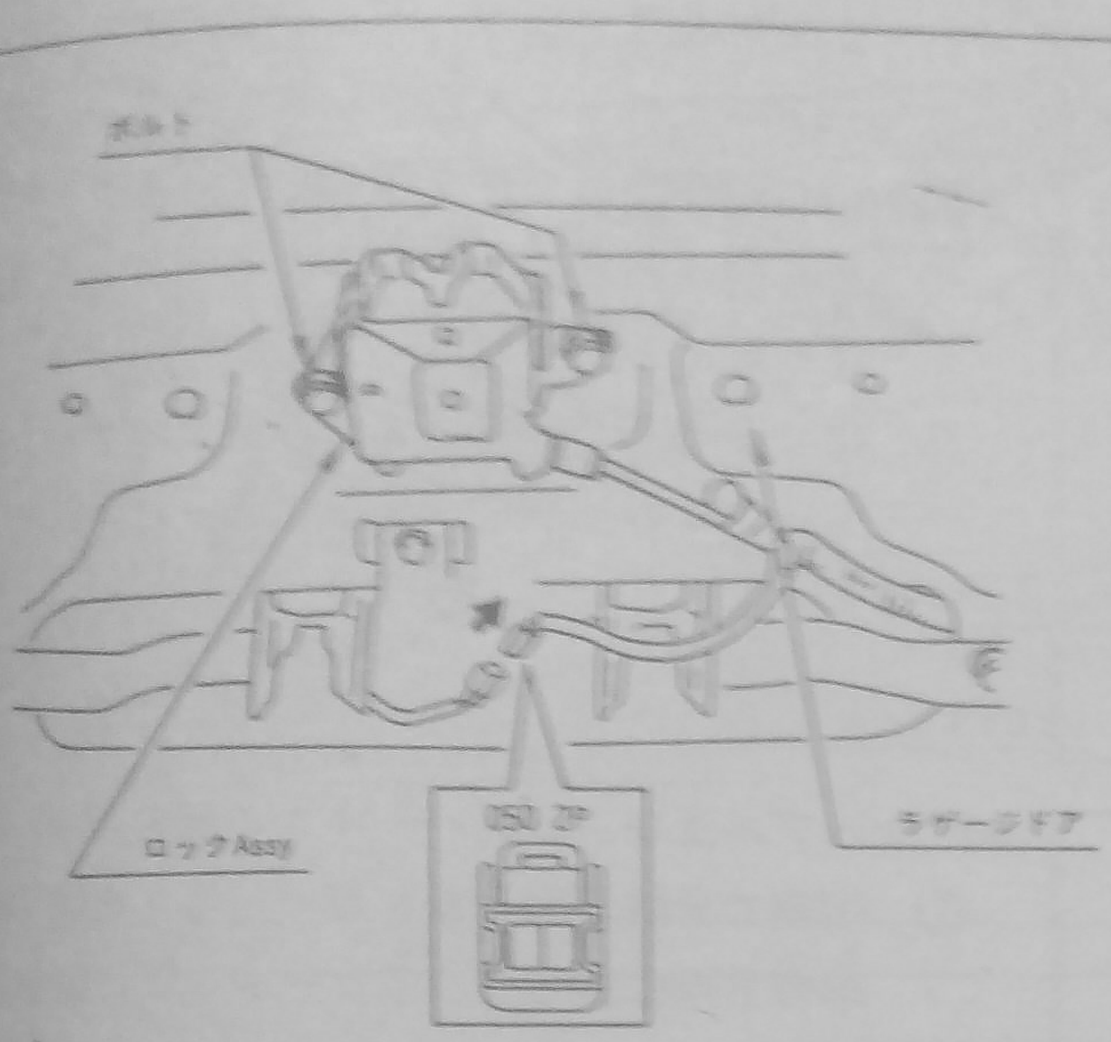
カリーナED： 8～13ページ⇨22ページ以降へ続く

コロナEXiV：14～21ページ⇨22ページ以降へ続く

(コロナEXiV適用ページ)

注意

全作業終了後、作動確認を行うまで、トランクは開けたままで作業してください。
作業途中でトランクを閉めると、トランクが開かなくなります。

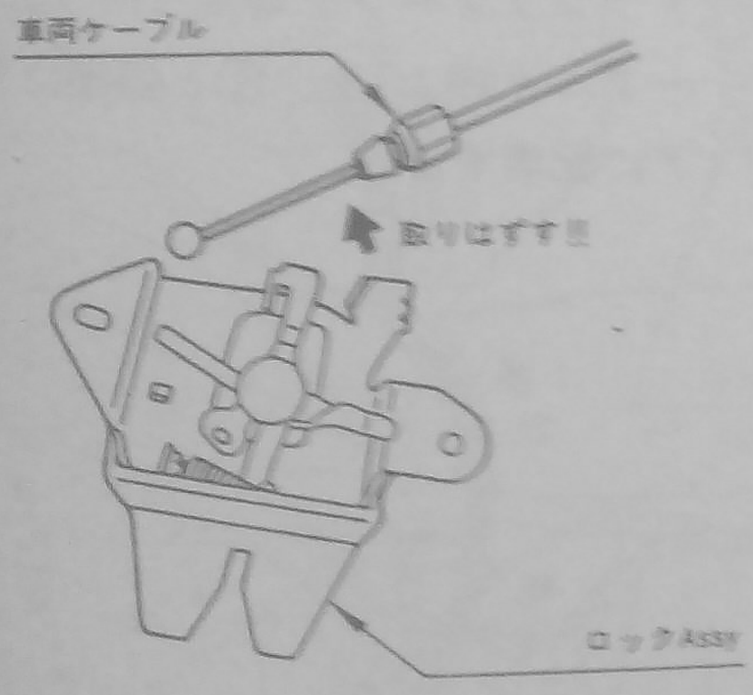


2 取り付け作業 (トランク周辺部)

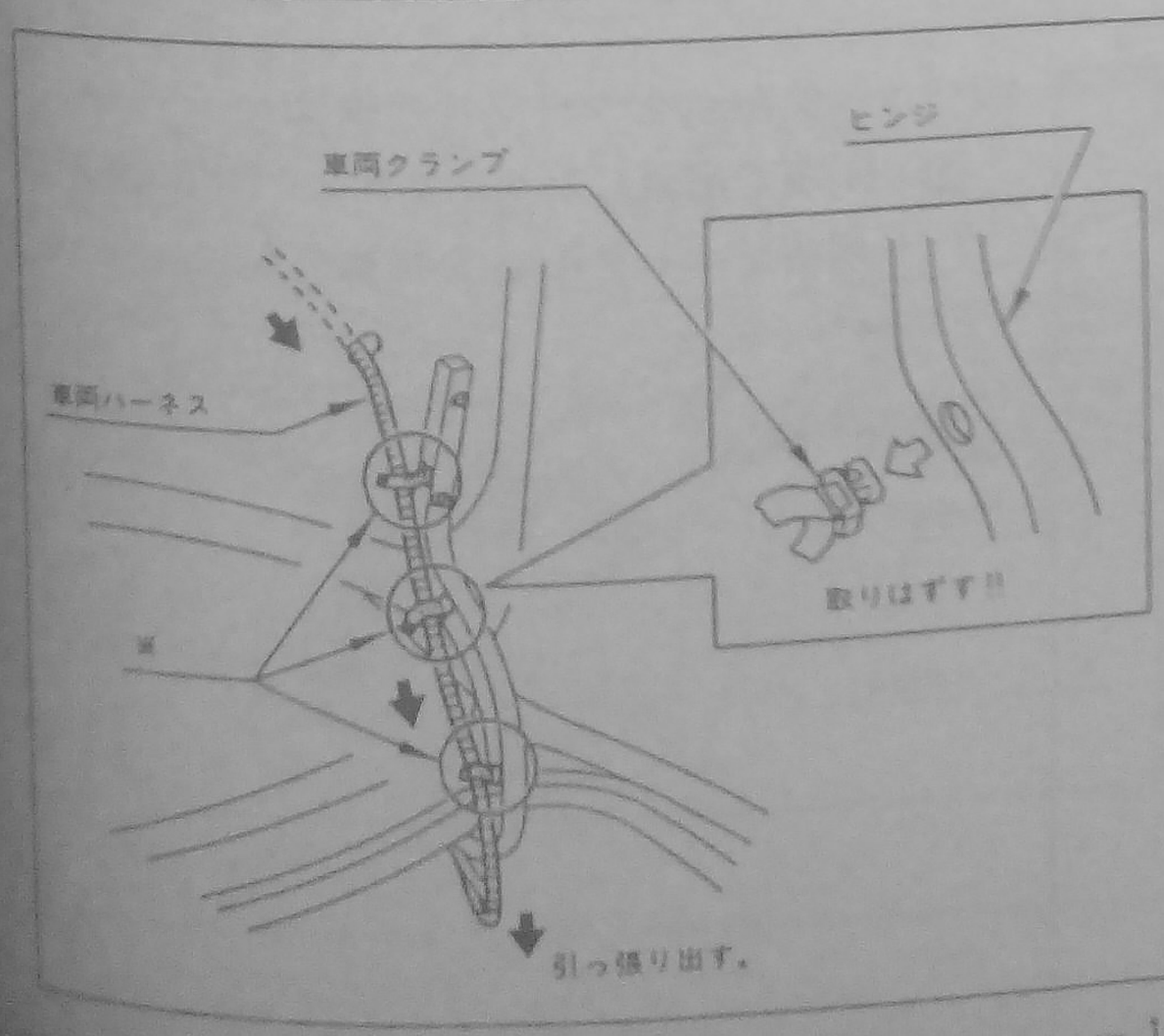
(1) ロックAssy及び、車両ケーブルの取りはずし

① 車両コネクター(050 2P)の嵌合をはずす。

② ボルト2本をゆるめ、ラゲージドアからロックAssyを取りはずす。



③ さらに、ロックAssyから、車両側トランクオープナケーブル(以下、車両ケーブルと呼ぶ)を取りはずす。



(2) 車両ハーネスの取りはずし

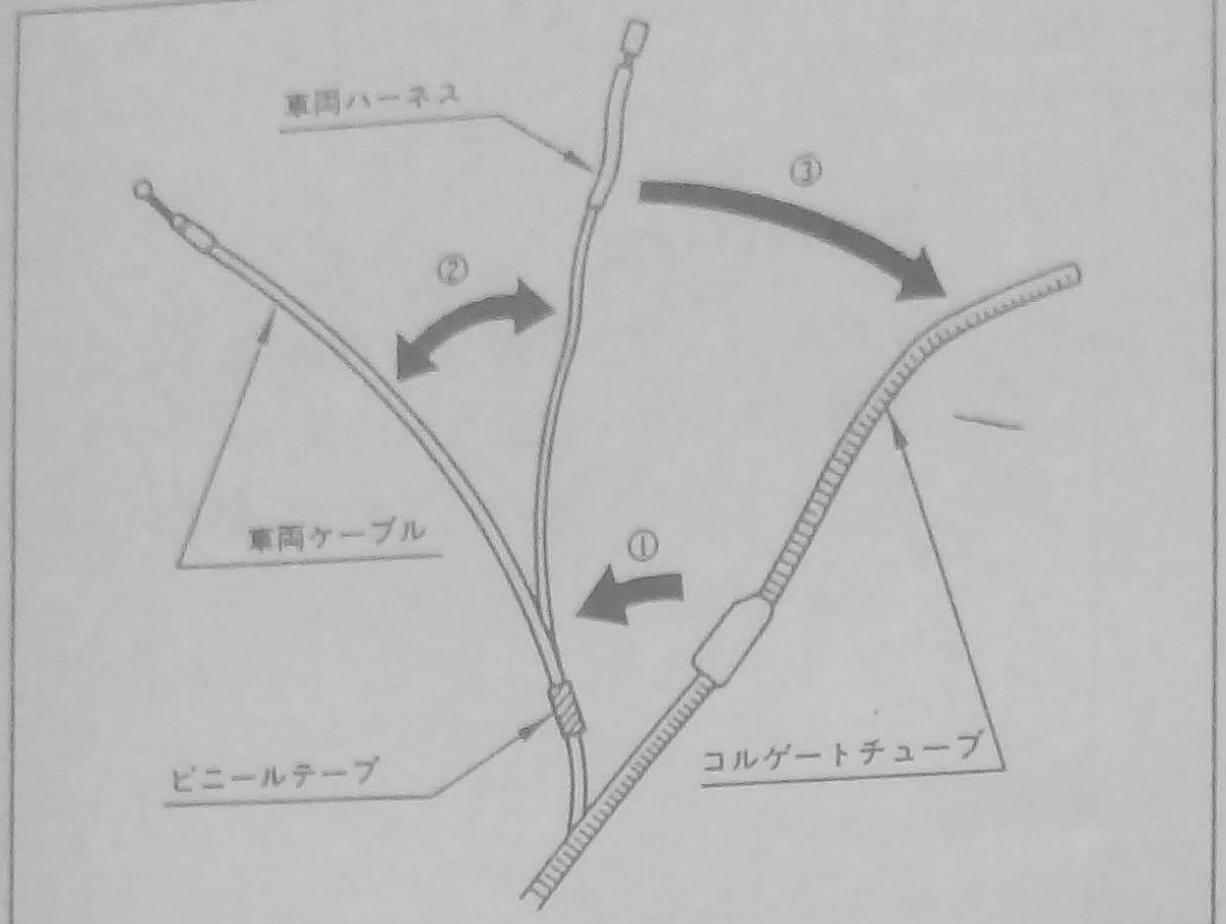
① ラゲージドアヒンジ部の車両クランプ(図中※印)をニッパー等で切断し、車両ハーネスを分離した後、ヒンジから取りはずす。

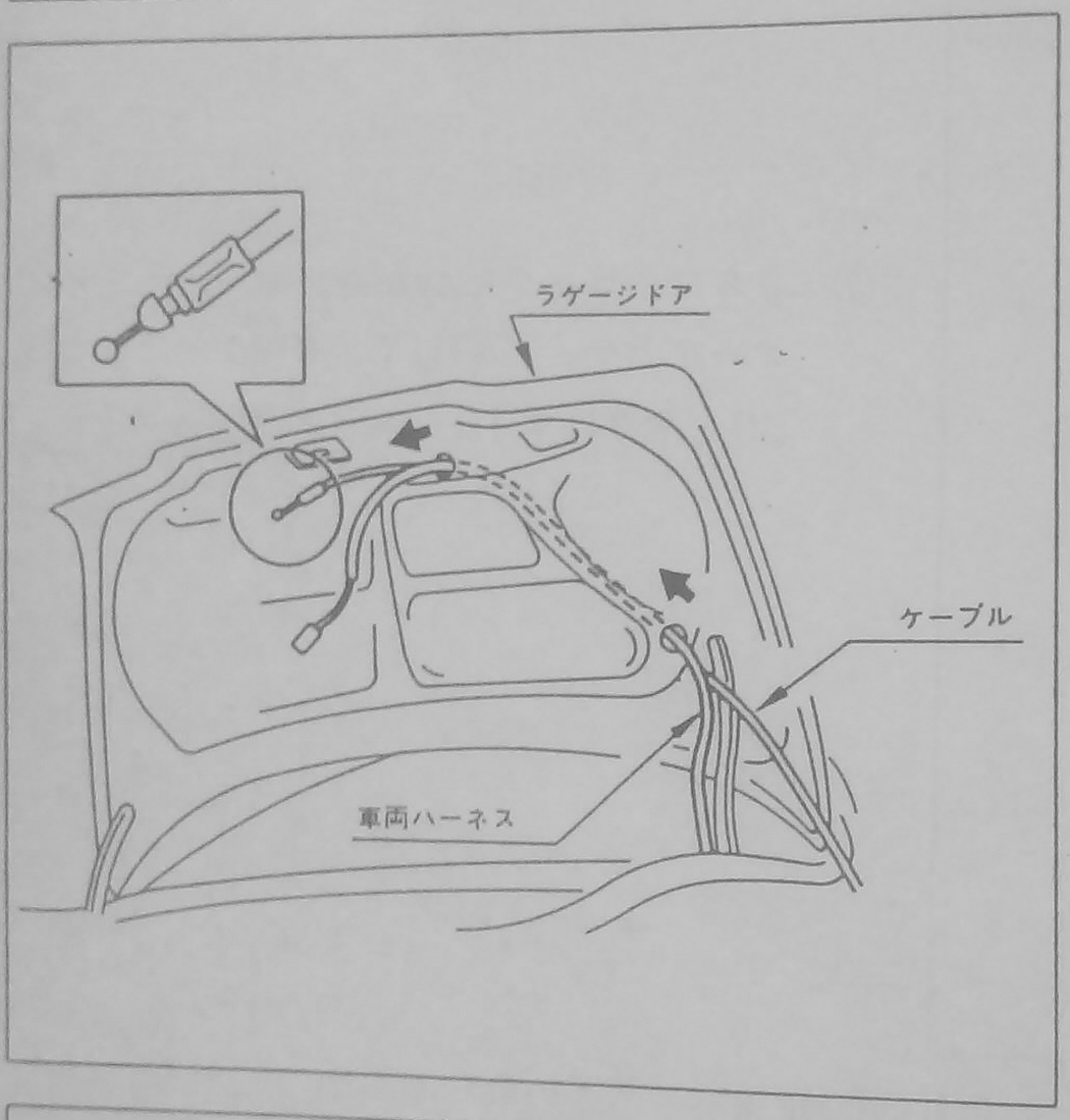
注意

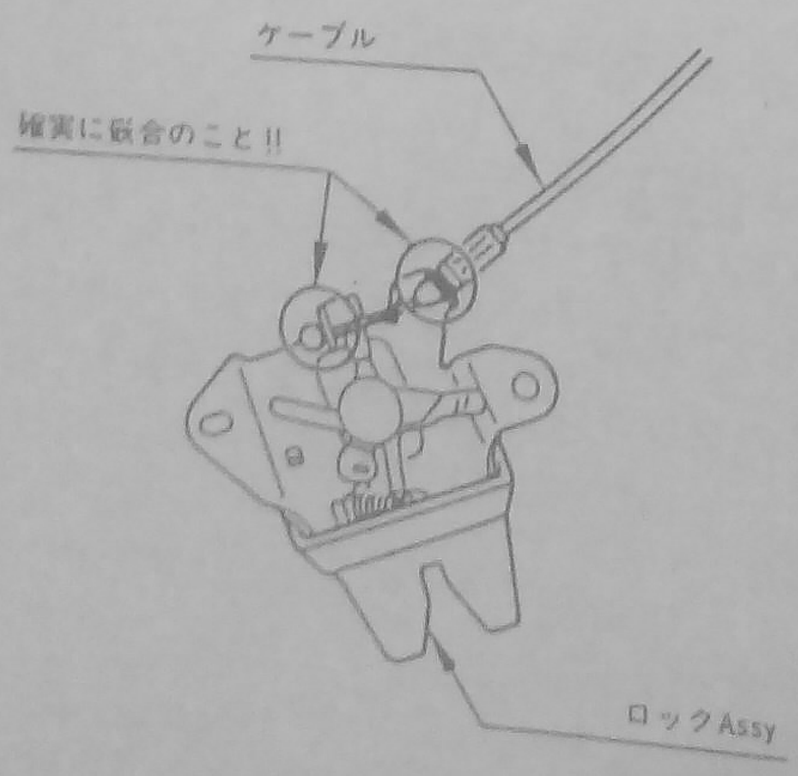
取りはずした車両クランプは、再使用しないので廃却してください。(本キットに、交換用のクランプ，ワイヤが添付されています。)

② 車両ハーネスを→印の方向へ引っ張り出す。

〈コロナEXiV適用ページ〉







(3) 車両ケーブルと車両ハーネスの分離

① (2)項で取り出した車両ハーネスに巻いてあるコルゲートチューブを固定しているテーピングを取り去り、チューブの中から、ケーブルとハーネスの束を取り出す。

② ①で取り出した束を固定しているテーピングを取り去り、ケーブルとハーネスを完全に分離する。

③ ②で分離したハーネスのみをコルゲートチューブの中に戻し、元通りテーピングで固定する。

(4) ケーブル及び、車両ハーネスの配索(その1)

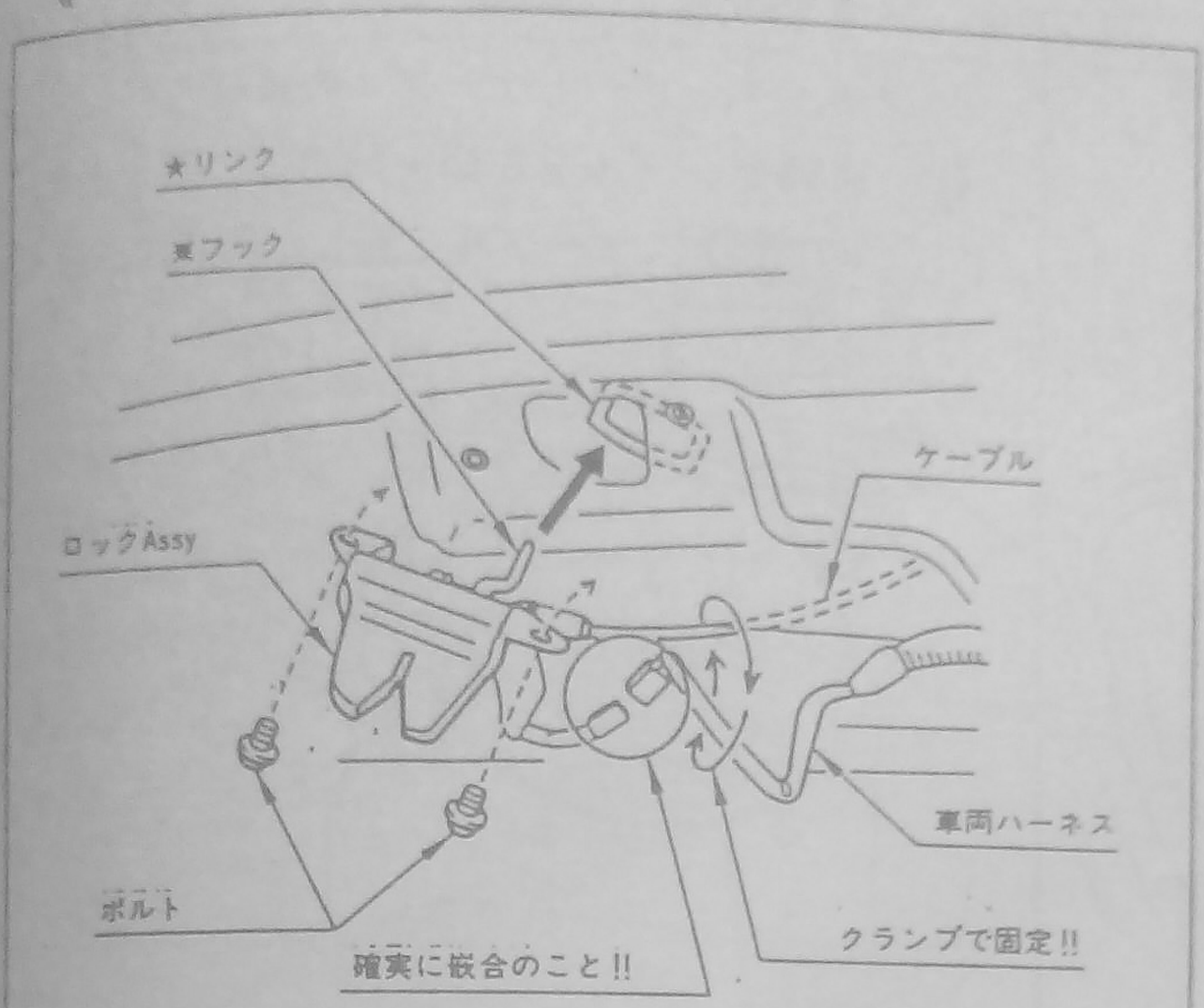
① (3)項で分離復元した車両ハーネスを図中▸印の方向に従って、ラゲージドアに配索する。

② トランクオープナ専用ケーブル(以下、ケーブルと呼ぶ)を、①と同様にラゲージドアに配索する。

(5) ロックAssyとケーブルの接続

① (4)項で配索したケーブルと、(1)項で取りはずしたロックAssyを接続する。

〈コロナEXiV適用ページ〉



(6) ロックAssyの復元

注意

この工程の途中で、作業を中断しないでください。

① ロックAssyのフック(図中※印)がリンク(図中★印)の輪の中を完全に通る様に注意しながら、(1)項ではずしたボルト2本で、ロックAssyをラゲージドアに取り付ける。

注意

①リンクの復元は確実に行ってください。
不完全な場合、トランクが開かなくなります!!

②ボルトの締めつけトルクは、以下の値とする。
70~90kgf·cm

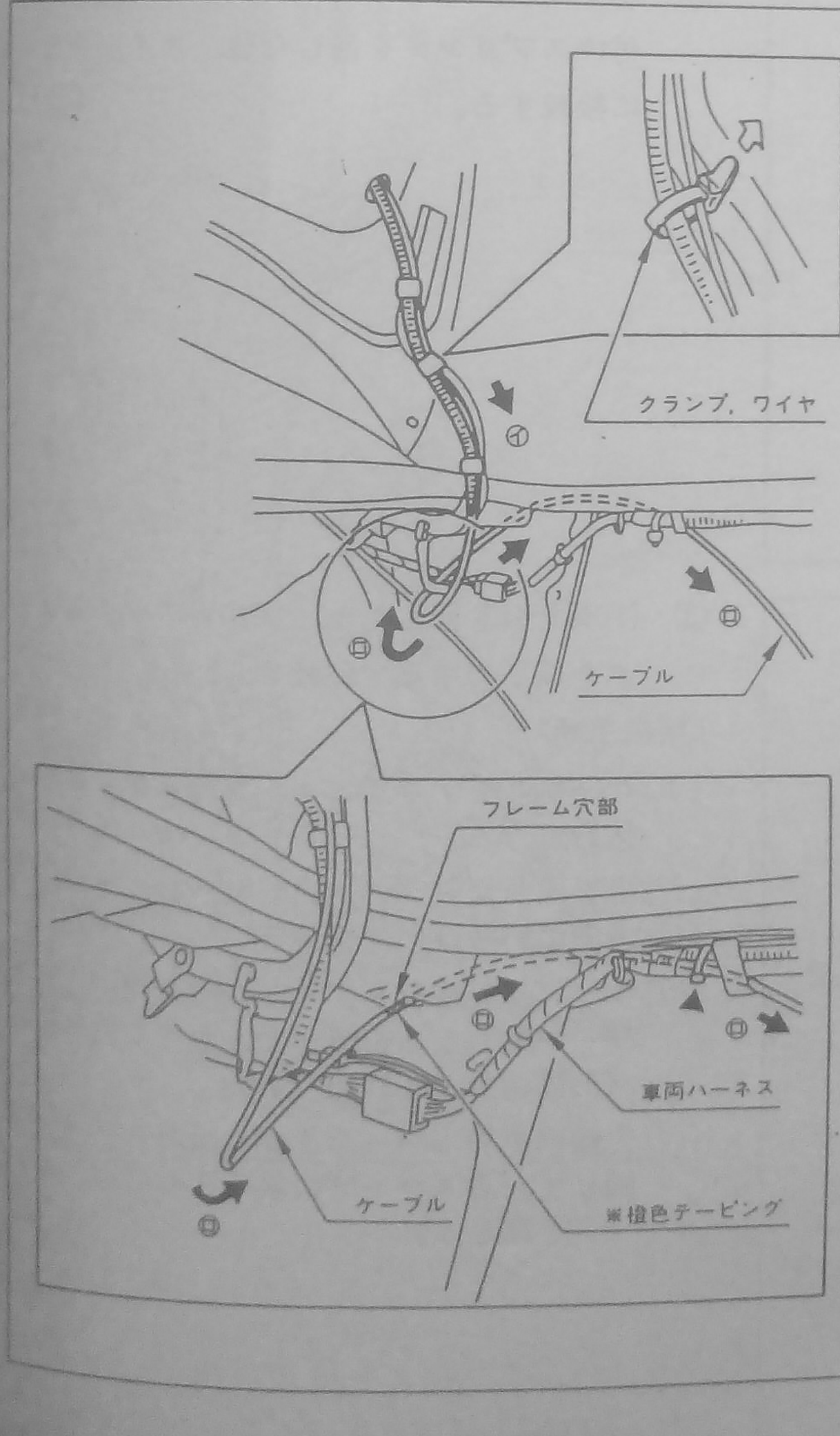
② 車両ハーネスのコネクター(050 2P)を元通り嵌合させた後、車両のエッジ部にはコルゲートチューブが当たる様に注意し、図示の位置で車両ハーネスをケーブルにクランプ固定する。

(7) ケーブル及び、車両ハーネスの配索(その2)

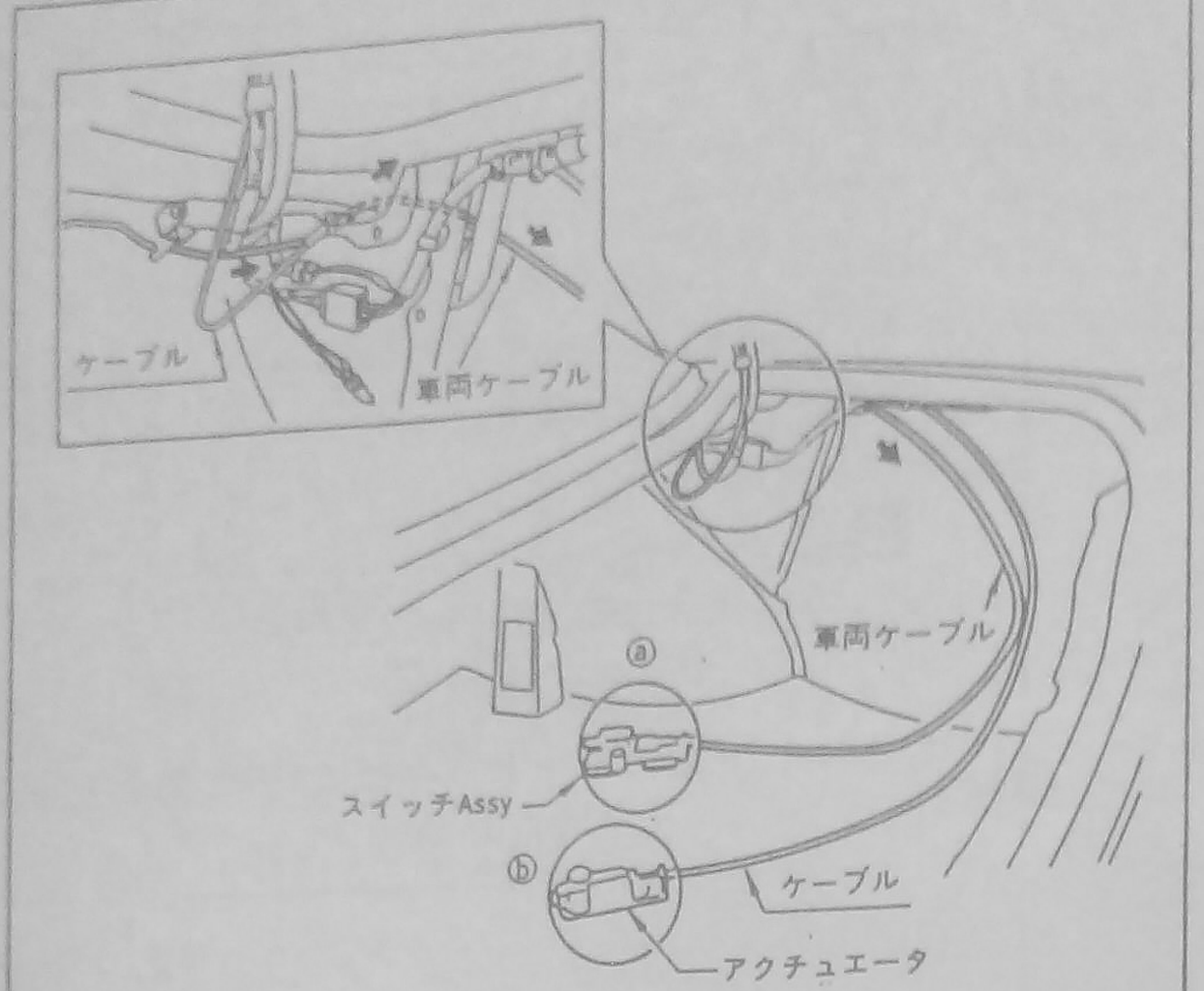
① (2)項①で、車両クランプを取りはずしたラゲージドアヒンジ部の穴に、添付のクランプ，ワイヤを取り付ける。

② ケーブルと車両ハーネスを↓㋑の方向に、たるみが無くなるまで軽く引っ張り、①で取り付けたクランプ，ワイヤで固定する。
(3箇所)

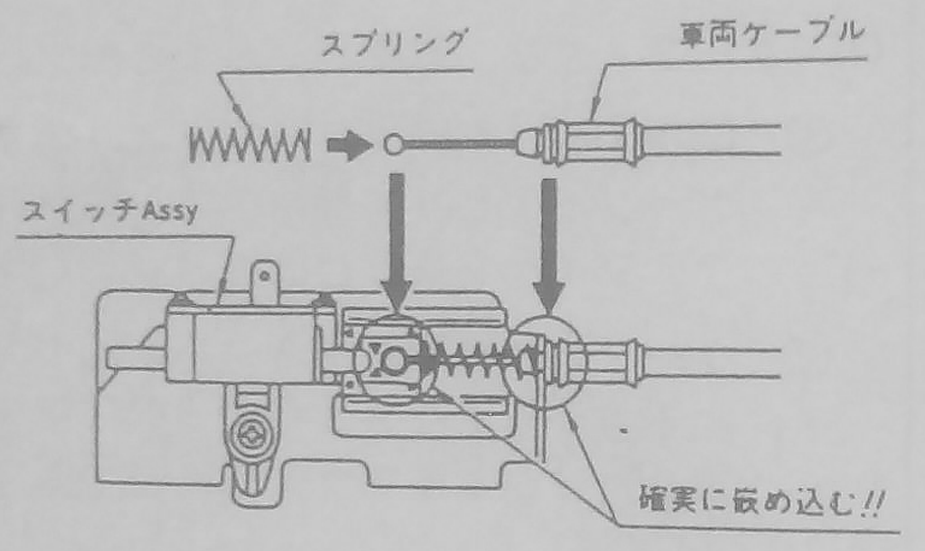
③ さらに、ケーブルのみを→印㋺で示した様に、ループ状に引き回した後、ケーブルの橙色テーピングが図示のフレーム穴端部にくる様に(※印部)位置あわせした後、クランプにて車両ハーネスに固定する。
(図中▲印部：1箇所)



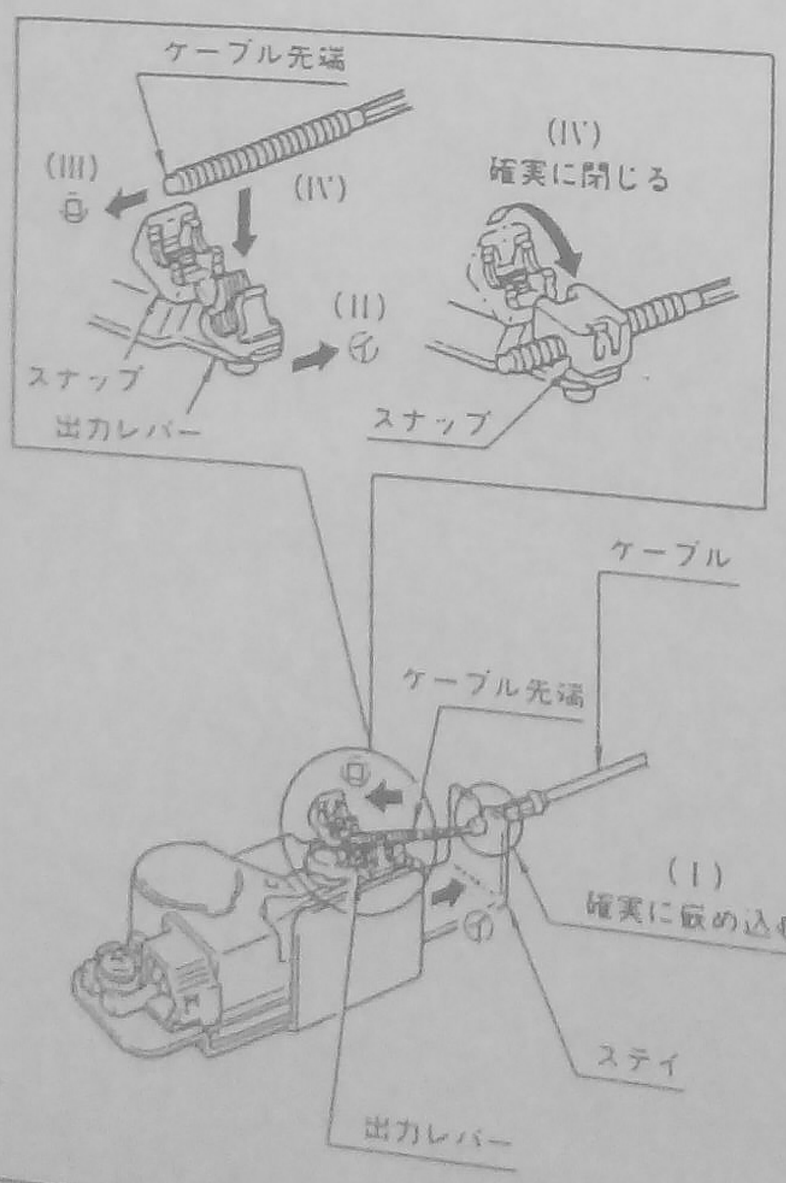
〈コロナEXiV適用ページ〉



ⓐ部詳細図



ⓑ部詳細図



(8) スイッチAssyと車両ケーブルの接続及び、アクチュエーターとケーブルの接続

① 車両ケーブルを左図→印の様に引き回す。((7)項③で、ケーブルを通した同じ穴に通す)

② ①で引き回した車両ケーブルの先端に、添付のスプリングを通した後、スイッチAssyに接続する。

③ (7)項で引き回したケーブルとアクチュエータを以下の手順で接続する。

〈接続手順〉

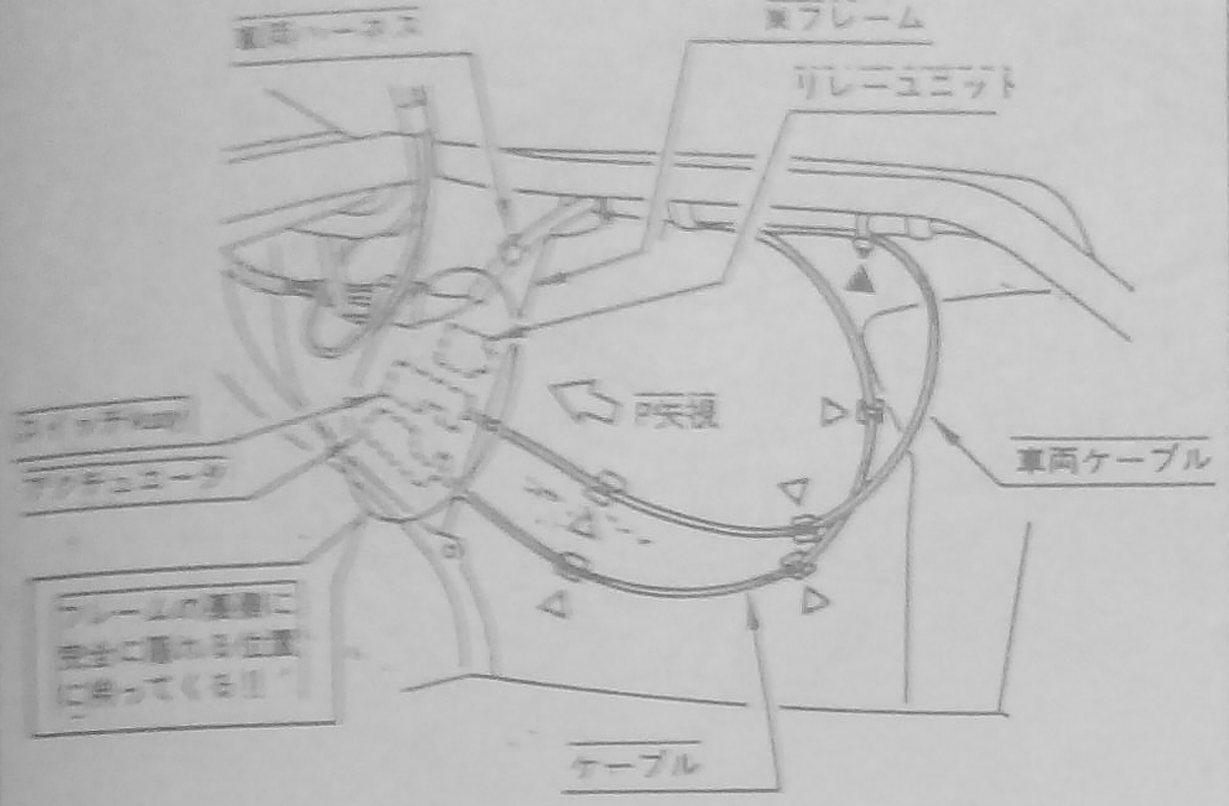
(I)ケーブルをアクチュエータのスティに嵌め込む。

(II)アクチュエータの出力レバーを、→印Ⓘの方向にいっぱいに寄せる。

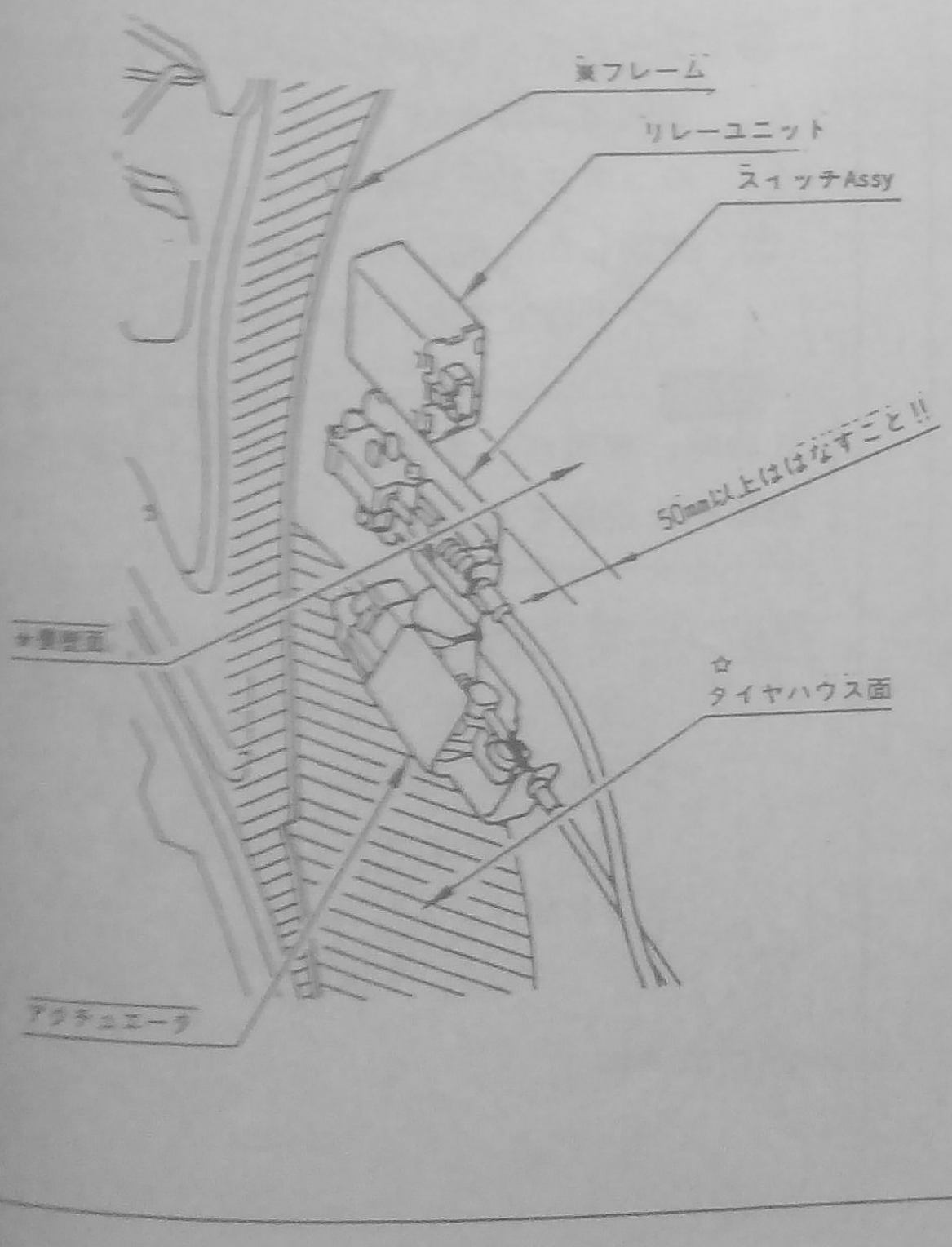
(III)ケーブル先端部を、←印Ⓡの方向に「あそび」が無くなる位置まで、かるく引っ張る。(引張荷重：0.1kgf 以下)

(IV)先端部を引っ張ったまま、出力レバーに付随しているスナップに嵌め込んだ後、スナップを閉じる。

《コロナEXIV適用ページ》



P矢視図



(10) アクチュエータ、スイッチAssy及び、リレーユニットの取り付け。

① アクチュエータの底面に貼付されている、両面テープの剥離フィルム(赤色)をはがし、ラゲージルーム右側のタイヤハウス面(P矢視図☆印部)に接着固定する。
この時、アクチュエータは側壁面(P矢視図★印部)にできるだけ寄せ、且つ、フレーム(※印部)の裏側に、完全に隠れる位置に取り付けること。

② 同様に、スイッチAssy及び、リレーユニット(コネクターの向きに注意!!)を側壁面(P矢視図★印部)に接着固定する。
この時、アクチュエータとスイッチAssy間は約10㎜程度空け、また、スイッチAssyとリレーユニット間は、50㎜以上空けること。

注意

両面テープの取扱上、以下の点に御注意ください。

① 被接着面の汚れ、ほこり等を拭き取ってください。(グリス等の付着がある場合は、白ガソリンで洗浄してください!!)

② 被接着面とテープ間に気泡ができない様に注意し、接着面に均等に荷重(7~10kgf)を加えてください。

③ 気温が低い(10℃以下)場合、テープの初期接着力が低下します。この場合、作業場の温度を上げてください。
(25℃以上が望ましい!!)

④ 被接着面が極端に冷えている場合は、加熱機器(赤外線ランプやドライヤー等)で、被接着面を温めてください。
被接着面側の加温が困難な時は、テープ面側を温めても効果があります。

③ 車両ケーブルを添付のクランプで車両ハーネスに固定する。(図中▲印部:1箇所)

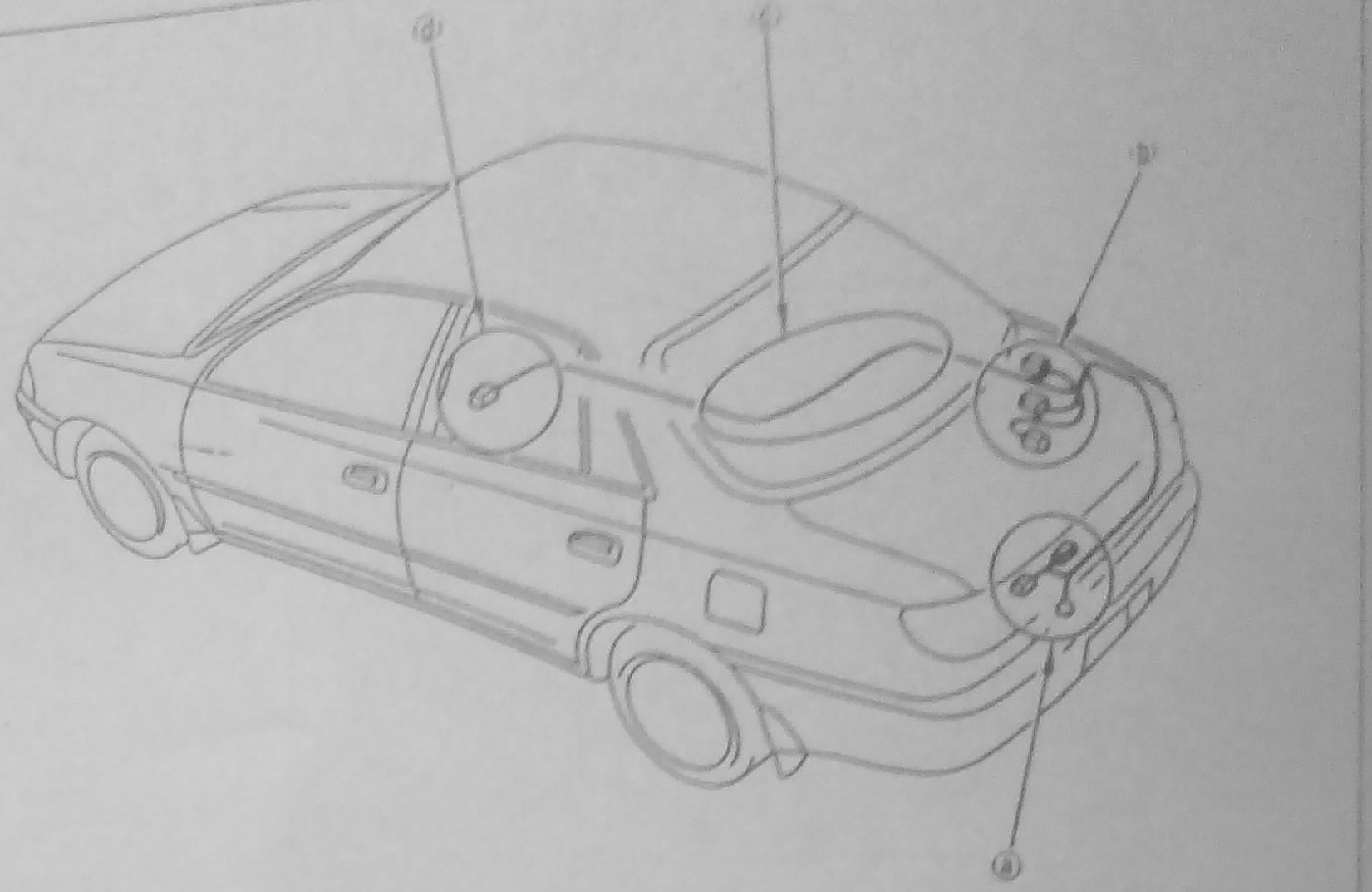
④ ケーブル及び、車両ケーブルをクランプとホルダクランプ(裏面:両面テープ付)を用いて、側壁面に接着固定する。
(図中△印部:5箇所)

〈コロナEXiV適用ページ〉

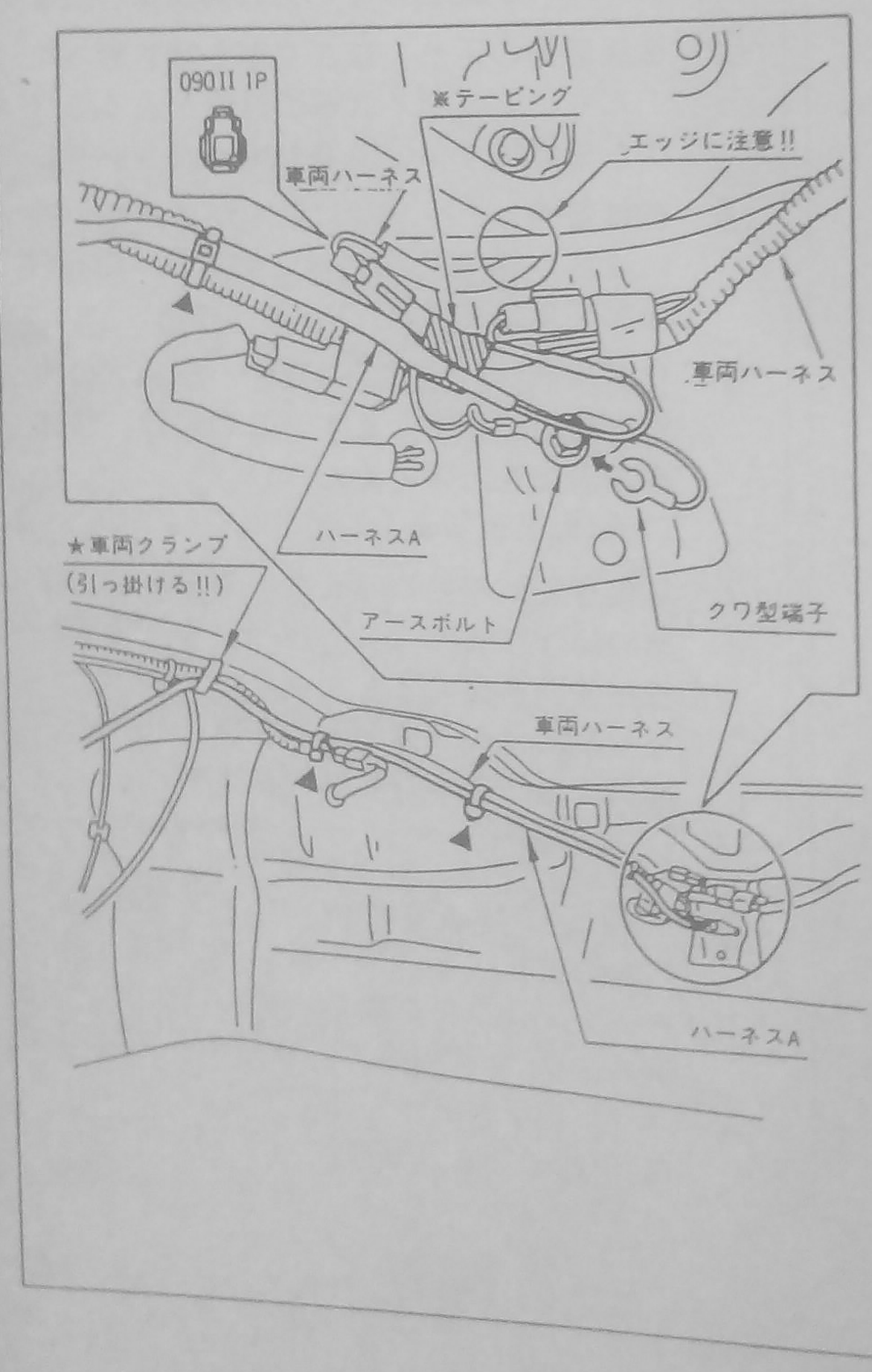
(11) ハーネスAの配線

ハーネスAの全体配線図

No.	接続コネクター
ⓐ	クワ型端子 090II 1P 090II 1P
ⓑ	050 7P 250 2P 250 4P
ⓒ	――
ⓓ	090II 2P



ⓐ部詳細図



① シャックパネル中央部のアースボルトをゆるめ、クワ型端子を共締めする。

② アースボルトの真上にある車両コネクター(090II 1P)をはずし、その間にハーネスAのコネクターを接続する。

③ 接続したコネクターを車両ハーネスにテーピング固定する。(図中※部)

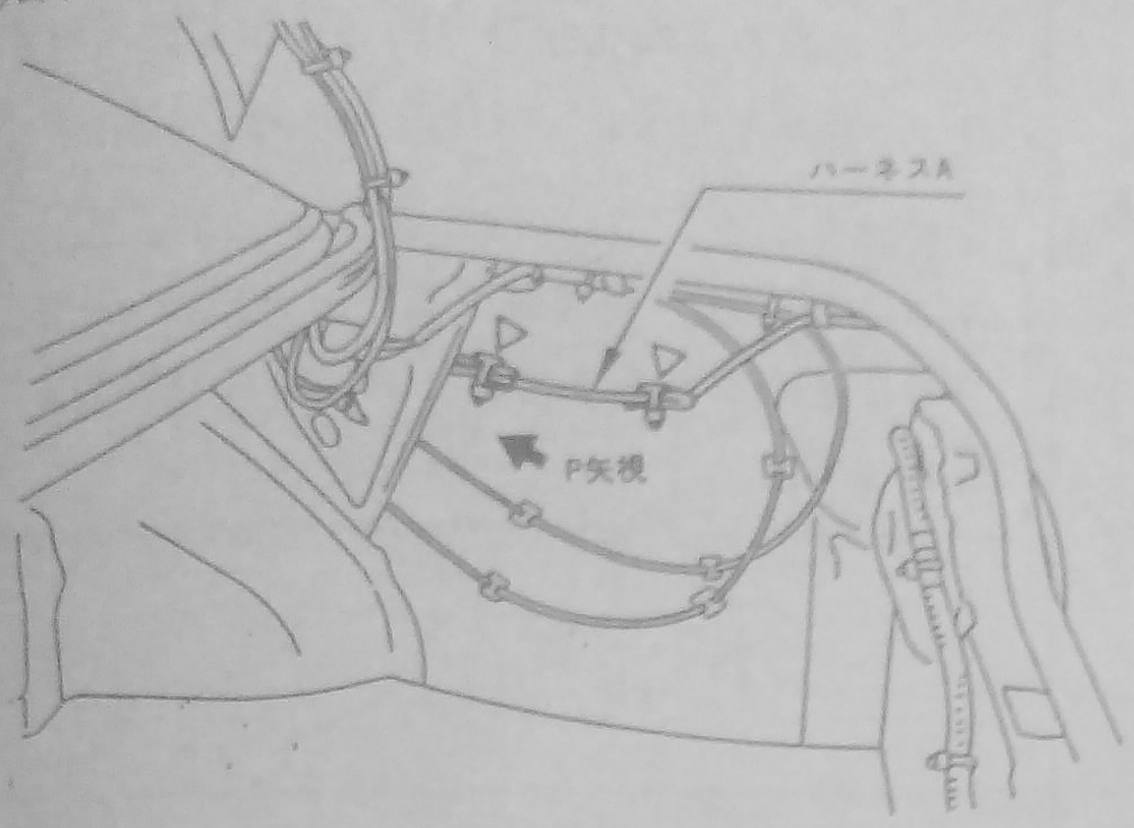
注意

この時、車両ハーネスがエッジ部と干渉しない様に十分注意すること。

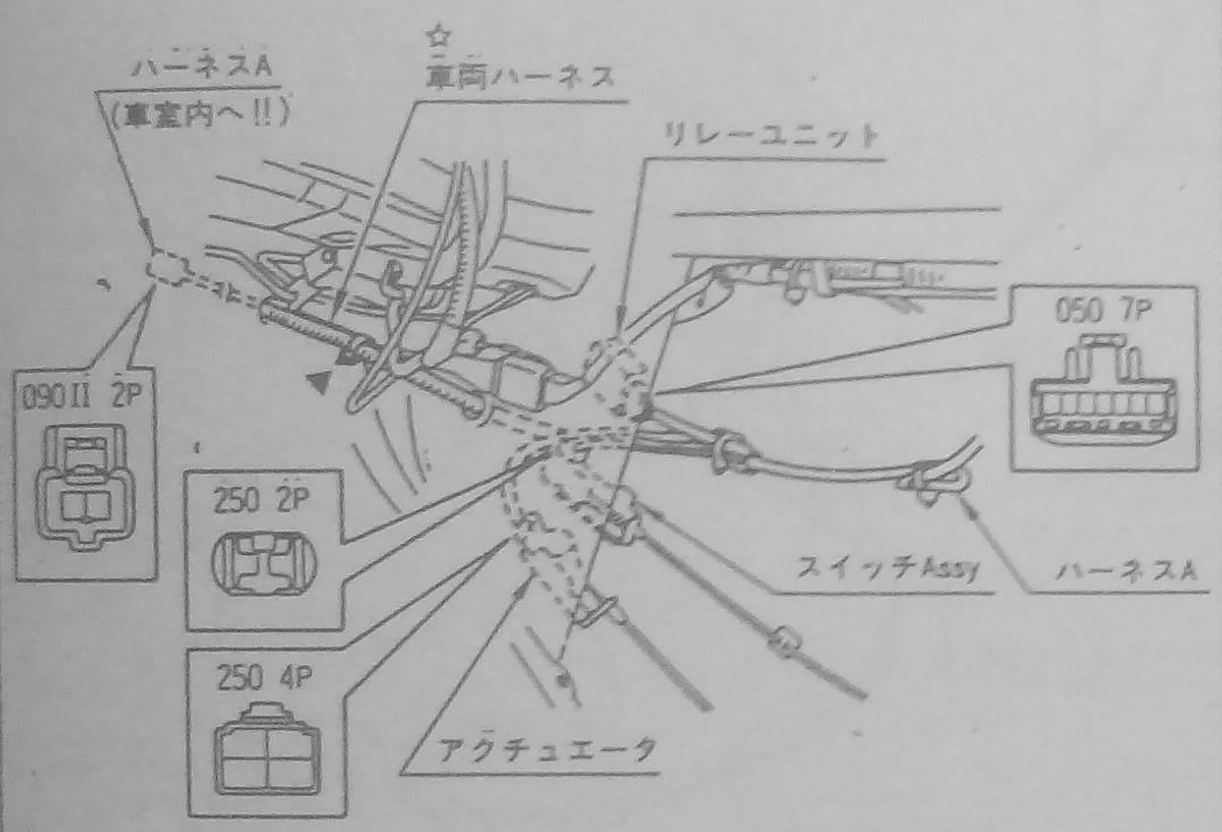
④ ハーネスAを車両ハーネスに添わせて配線し、クランプにて固定する。
(図中▲印部：3箇所)
さらに、車両クランプに引っ掛ける。
(図中★部)

〈コロナEXiV適用ページ〉

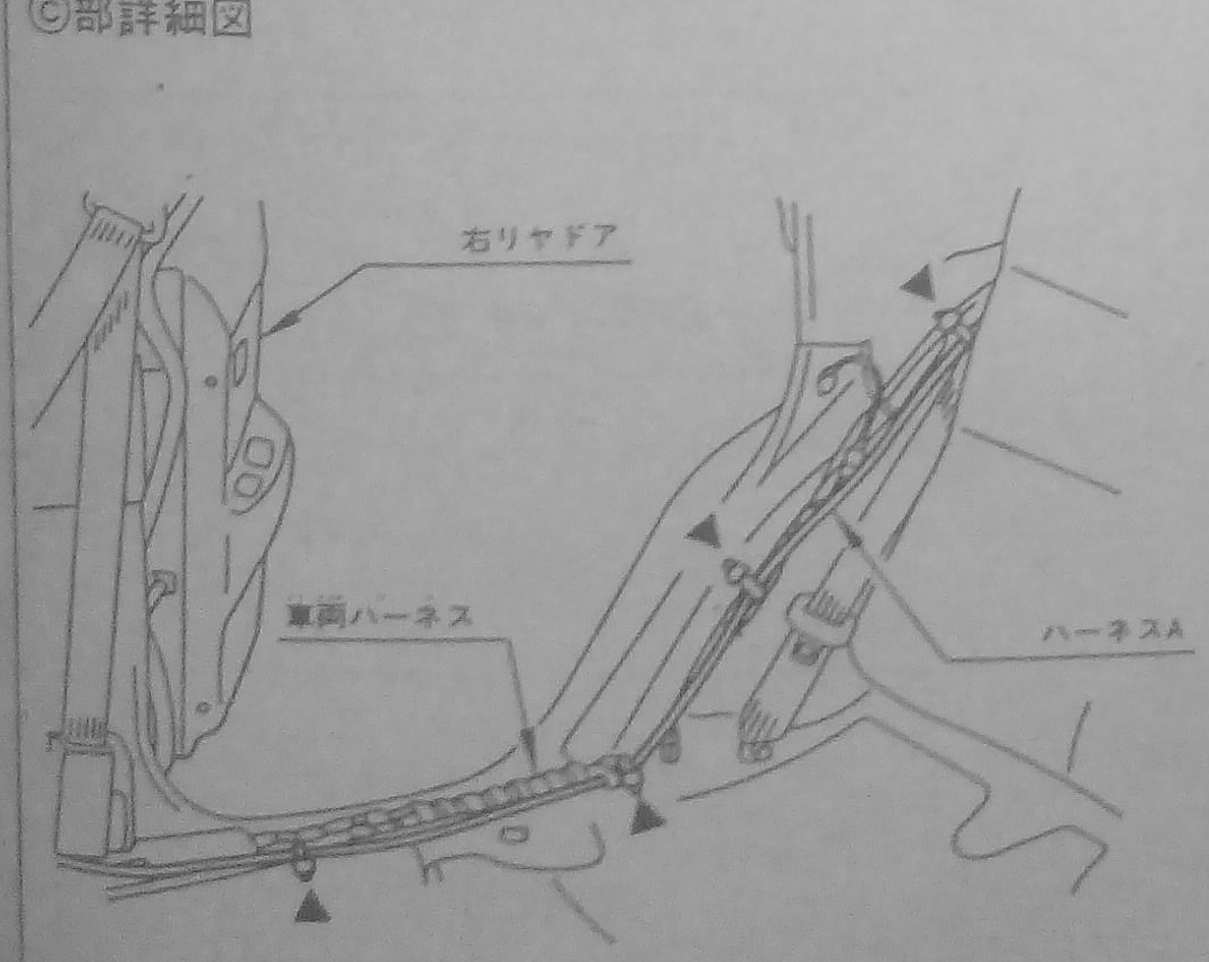
ⓑ部詳細図



P矢視図



ⓒ部詳細図



⑤ (10)項で取り付けたリレーユニット、スイッチAssy及び、アクチュエータに、ハーネスAの以下のコネクターを各々、接続する。

リレーユニット ⟷ 050 7P
スイッチAssy ⟷ 250 2P
アクチュエータ ⟷ 250 4P

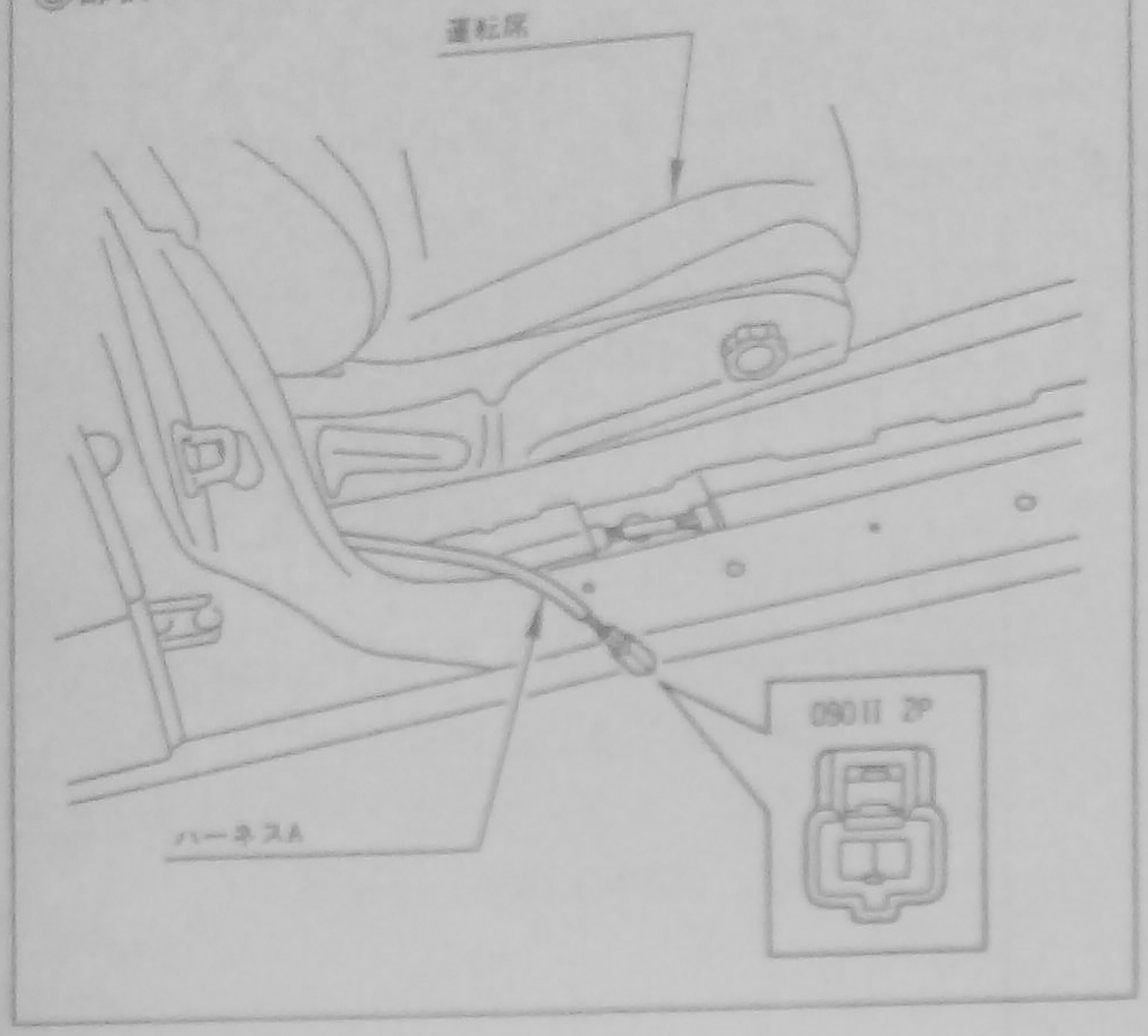
⑥ ハーネスAのコネクター(090II 2P)を車両ハーネス(図中☆印)と同じ経路で、ラゲージルームから車室内へ通す。

⑦ ハーネスAをクランプとホルダクランプ(裏面：両面テープ付)を用いて、車体側壁面に接着固定する。(図中△印部：2箇所)
さらに、クランプにて車両ハーネスに固定する。(図中▲印部：1箇所)

⑧ ⑥で、ラゲージルームから車室内へ通されたハーネスAを図示の様に、車両ハーネスに添わせて配線し、クランプにて固定する。
(図中▲印部：4箇所)

《コロナEXiV適用ページ》

ⓓ部詳細図



⑨ 車両ハーネスに添って配線された、ハーネスAの先端(09011 2P)は、運転席右横まで持っていく。

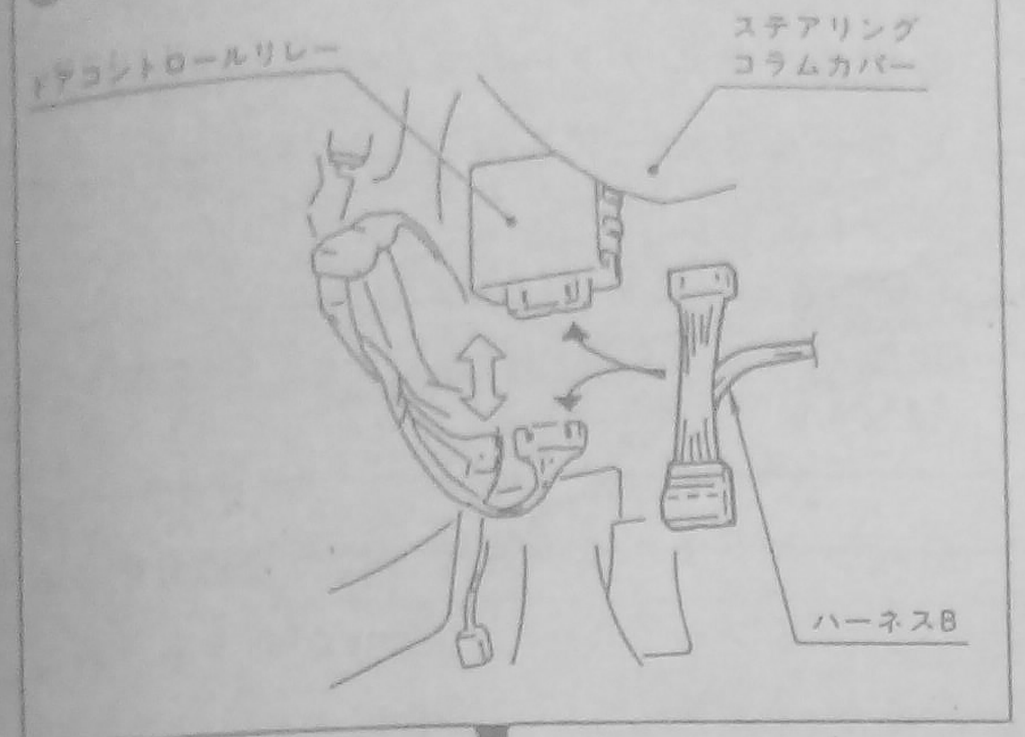
注意

本コネクタは、後作業〔22ページ〕でハーネスBと接続されるまで、一旦、この状態のままとする。

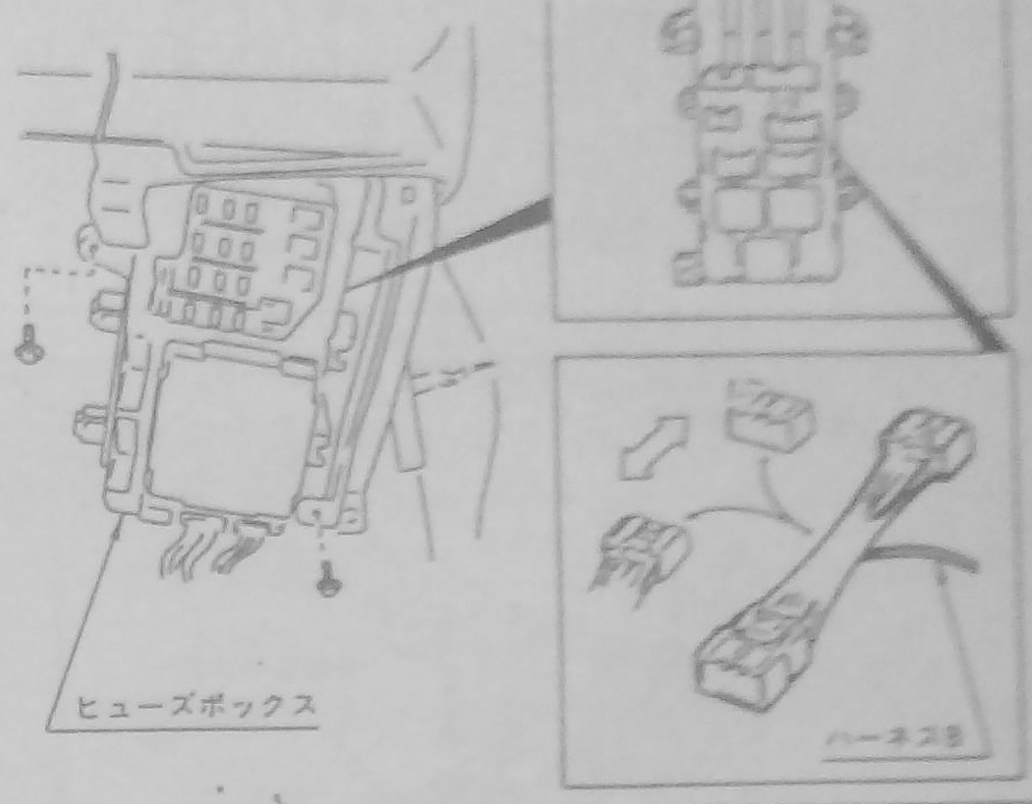
3　取り付け作業（右カウル脚近辺の配線）

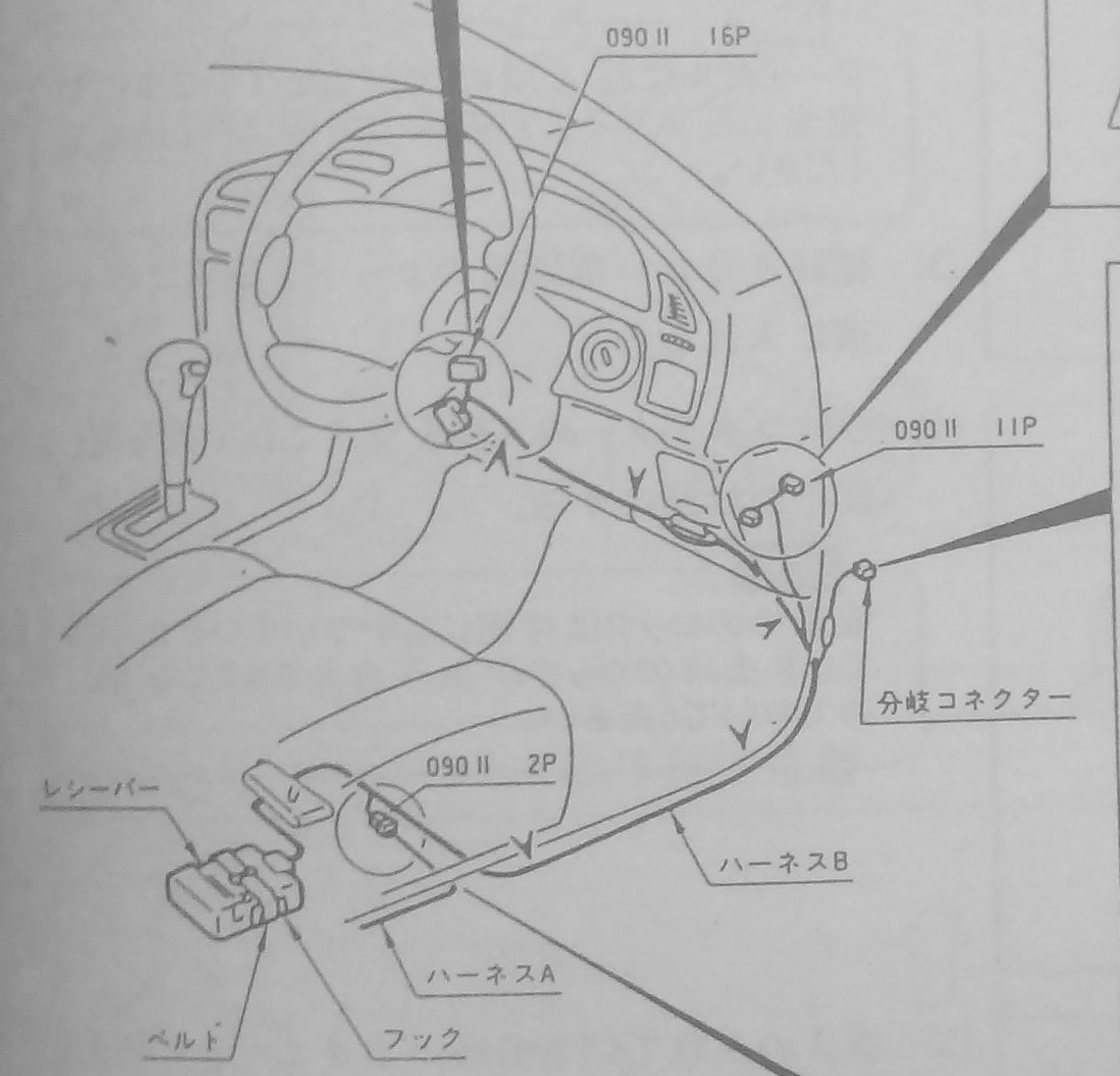
(1)　ハーネスBの配線

①090II　16P　コネクターの接続



②090II　11P　コネクターの接続

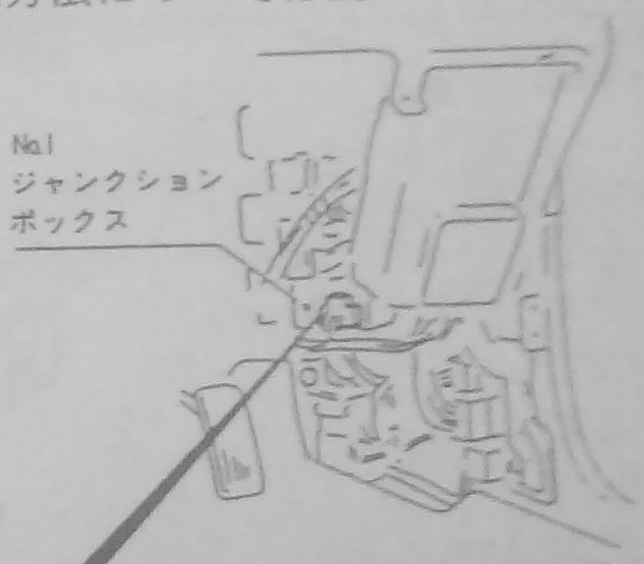


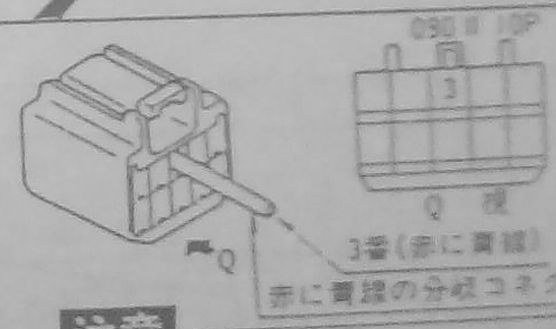


※図中A印はクランプ位置を示す。

③分岐コネクターの接続

(接続方法については23ページを参照)

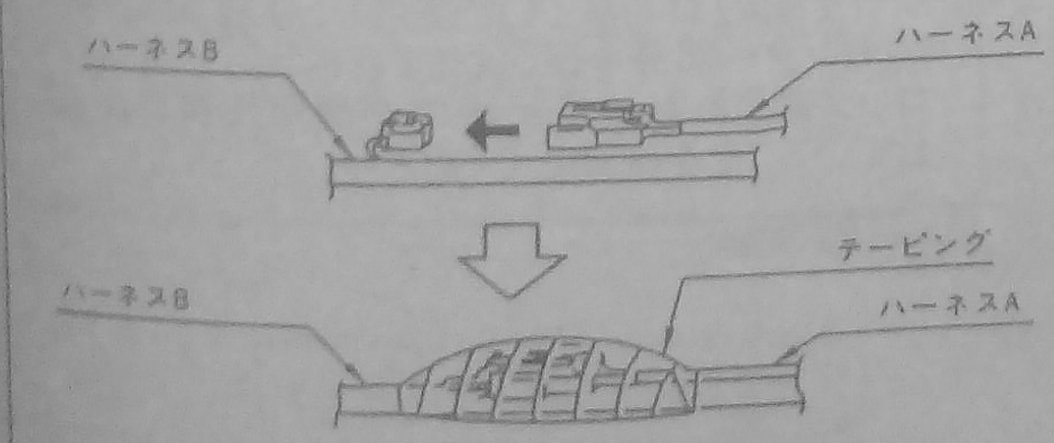




注意

端子番号と線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
もし、誤って接続した場合は、23ページの分岐コネクター使用上の注意にしたがって処理してください。

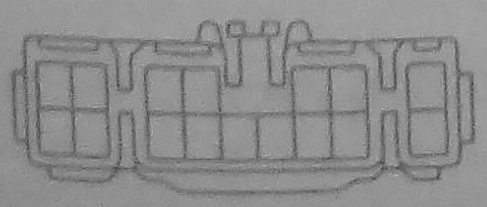
④ハーネスAとハーネスBの接続

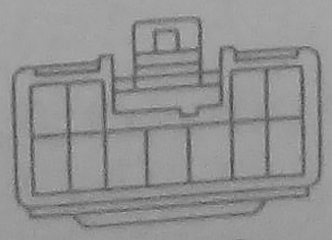


注意

No.1ジャンクションボックス右下に同種類のコネクターがありますので接続間違いのない様充分注意してください。

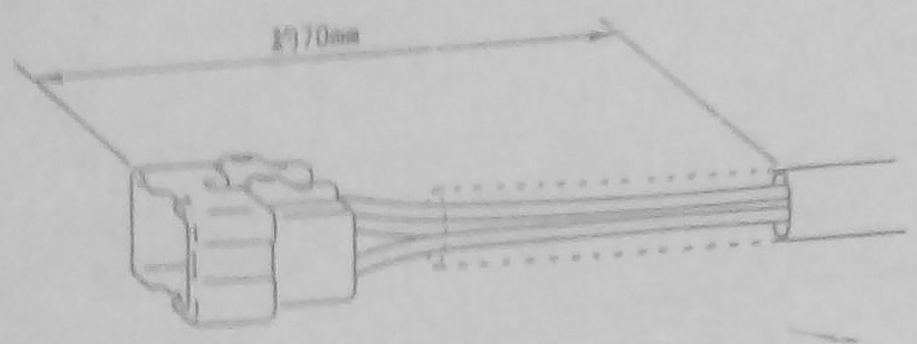
コネクター一覧表(メス側で示す)


090 II　16P


090 II　11P


090 II　2P

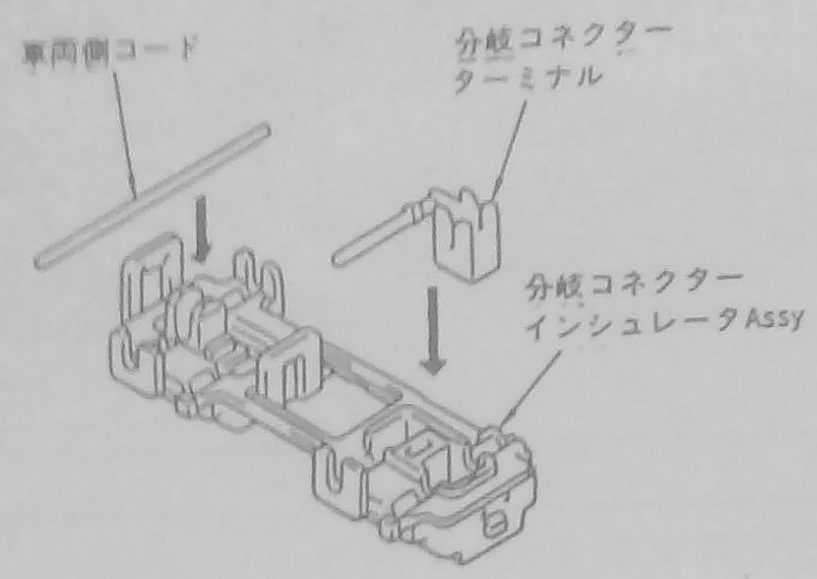
《分岐コネクターの接続方法》



(1) 接続させたい車両側のハーネスがビニールチューブまたは、ビニールテープで覆われている場合、コネクターから約70㎜の位置まで、ビニールチューブまたは、ビニールテープをカットする。

注意

車両ハーネスを傷つけないよう充分注意してください。

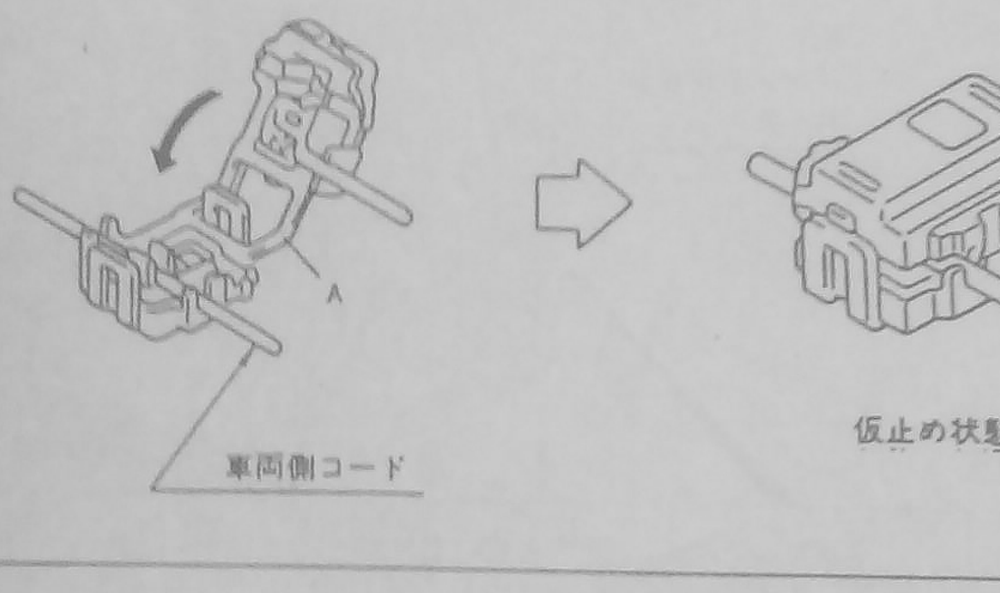


(2) 分岐コネクターターミナルには予め分岐コネクターインシュレータAssyがセットされているが、はずれている場合はセットしなおす。

注意

ターミナルに圧入用の穴があいていますので完全に圧入するまで矢印の方向に押し込んでください。

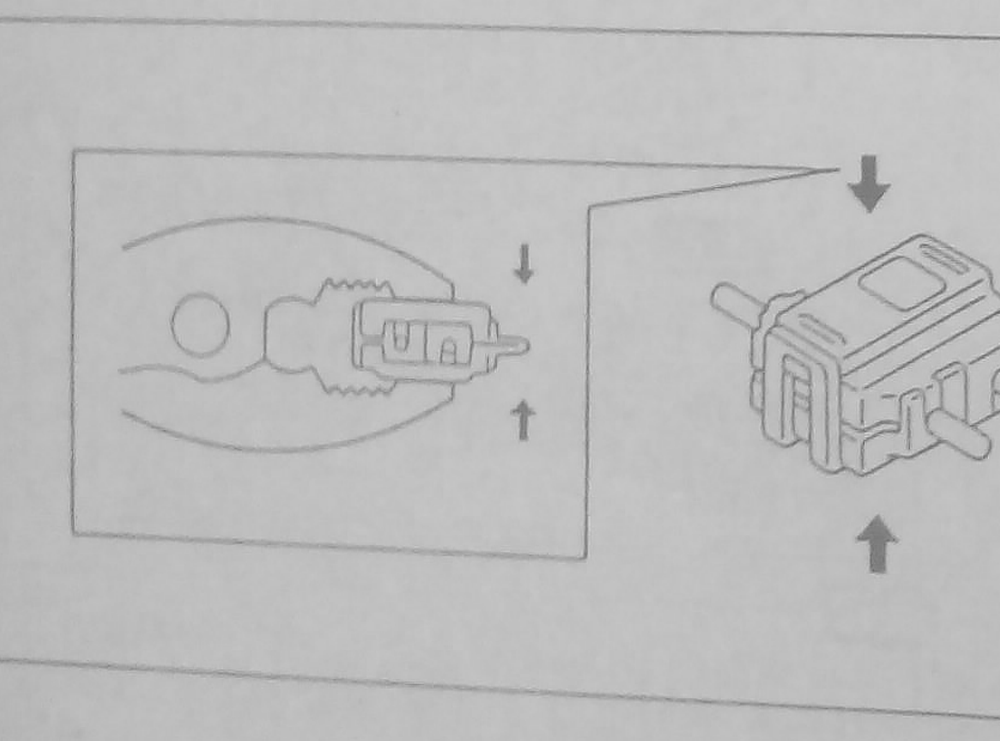
(3) 接続させたい車両側のコードを確実にガイド溝に入れる。



(4) 分岐コネクターのA部を支点にして折り返し、仮止め状態にする。

注意

仮止めのロックは片側にしかついていませんので、本止めのロックが上下合わさるところで止めておいてください。



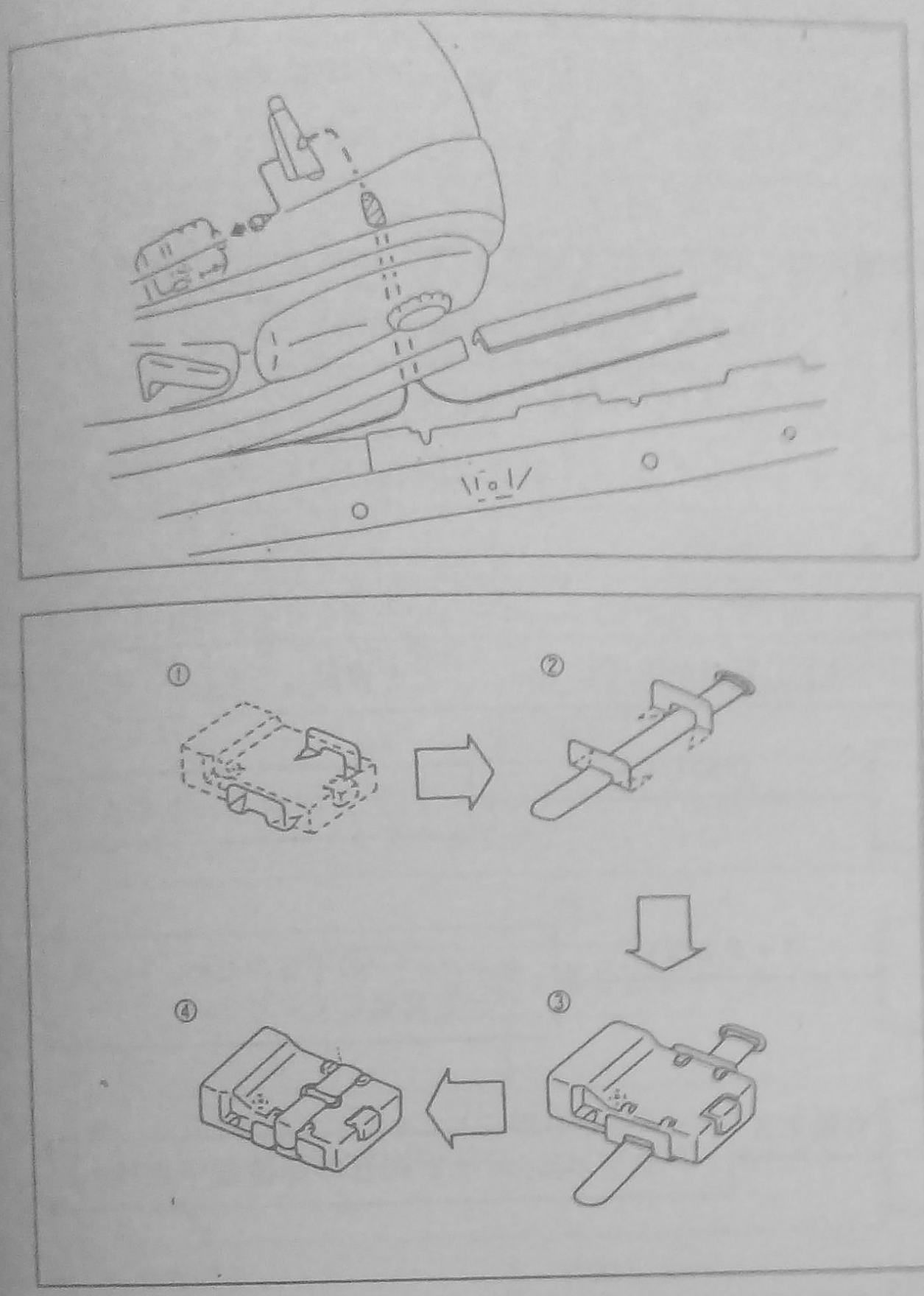
(5) 仮止めされている分岐コネクターをプライヤ等の工具を用いて、左右のロックがかかるまで、はさみ込む。(クリック音がするまで)

注意

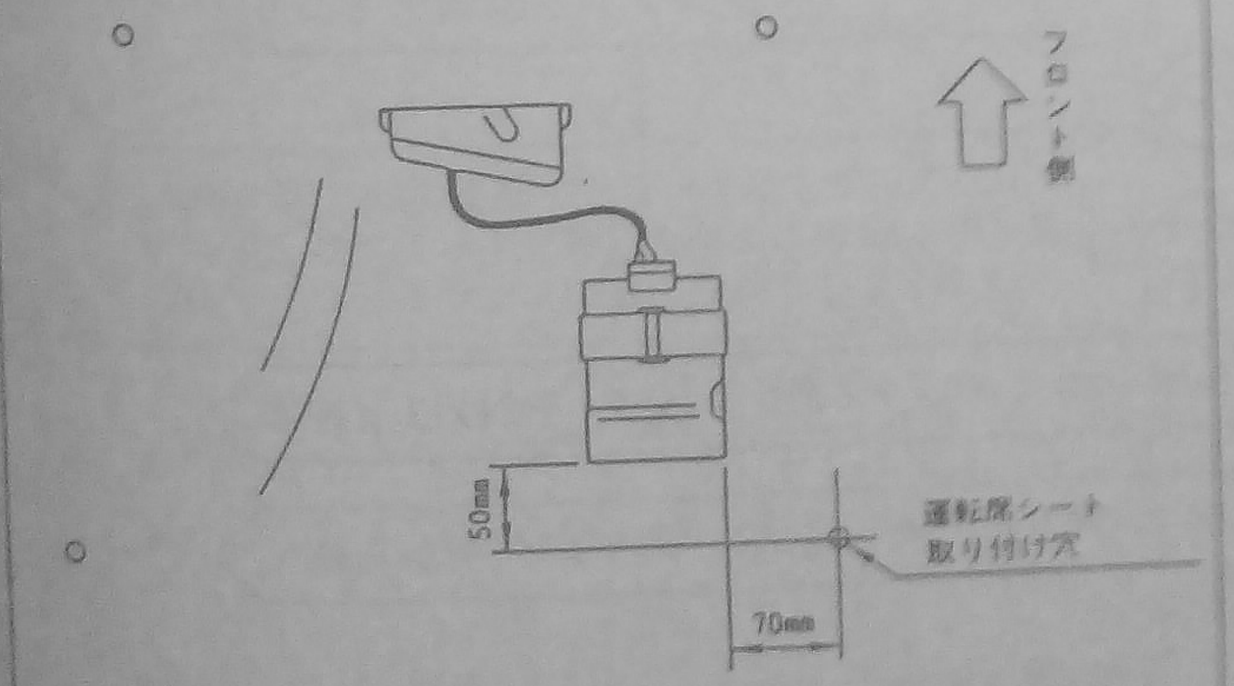
プライヤの口を広くして使用し、分岐コネクターのセンター部分をはさんでください。
ロック音とあわせて目視で2箇所確実にロックしていることを確認してください。

分岐コネクター使用上の注意

1. ヒンジ部が折れた場合でも性能には影響ありませんので、そのまま使用してください。
2. 一度使用したものは再使用しないでください。
   また、取りはずす際は分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま、用品側ハーネスを30㎜程度残して切り離し、テープ等で絶縁処理してください。



レシーバー取り付け位置



取り付け完了後の点検

1　取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。

(2) 特に車両ハーネスおよびワイヤレストランクオープナ専用ハーネスを無理に伸したり、引っ張ったり、かみ込んだりしていないか点検すること。またクランプおよびバンドのはずれや、部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2 作動確認

注意

以下の点検は、トランクを開けたままで始めてください。

次の手順で作動チェックの点検を行ってください。
また、作動チェックの点検中に作動不良が出た場合は、指示されているトラブルシュートに移り、点検を実施してください。

トランクの作動確認スタート

トランクの作動確認

トランク部のキーシリンダーにキーを差し込み、左右に回してください

ロックAssy～キーシリンダー間を連結しているリンクが、キーの動作と確実に連動していますか？

連動していない → トラブルシュートのFへ

連動している

キーを中立位置に戻して抜き、トランクを閉めてください

既存のトランクオープナーレバー(運転席右下)を引くと、トランクが開きますか？

開かない → トラブルシュートのGへ

開く

トランスミッターのアンロックスイッチを2秒以上押すとトランクが開きますか？

開かない → トラブルシュートのJへ

開く

トランクを開けてください

トランクを開けたままで、既存のトランクオープナーレバー(運転席右下)を引くと、アクチュエータが作動しますか？

作動する → トラブルシュートのKへ

作動範囲チェック

作動しない

キーを抜き、全ドアを閉めてください
(メーターの半ドア警報が消灯していることを確認してください)

車両全周、2mの場所でトランスミッターのロックアンロックスイッチを押した場合、確実にロック、アンロック、トランク開放の作動をしますか？

作動しない → トラブルシュートのLへ

作動する

点　検　終　了

注意

部分的に作動距離が著しく悪くなる所がありますが、その場合、トランスミッターを15cm移動した場所で作動すれば、不良ではありません。

注意

レシーバーの周囲に、オーディオのアンプ等、金属物を置いた場合、作動範囲が狭くなる場合があります。

復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を元通りに取り付ける。また復元の際は、下記の点に注意して作業を行うこと。

注意
復元時に車両ハーネス及びハーネスA及びハーネスBをかみ込んだり、車両部品を損傷させないように注意すること。

最終確認

1. ハーネス類のかみ込み、車両部品の取り付けに異常がないか確認してください。
2. パワーウインドウ・ドアロック・ライトスイッチ・フロントワイパー＆ウォッシャースイッチ・メーター・表示灯・警告灯などの車両機能に異常がないか確認してください。

トラブルシュート

このトラブルシュートは、25～26ページの取り付け完了後の点検時に発生した作動不良について、その点検方法を記載しています。
また、不具合現象が特定の地域にだけ発生する場合は、その発生する地域で点検を行ってください。

トランスミッターの点検

補給用バッテリーセット品番
08672-00090(キーホルダタイプ)
08672-00100(キーグリップタイプ)
補給用トランスミッター品番
08192-00080(キーホルダタイプ)
08192-00110(キーグリップタイプ)

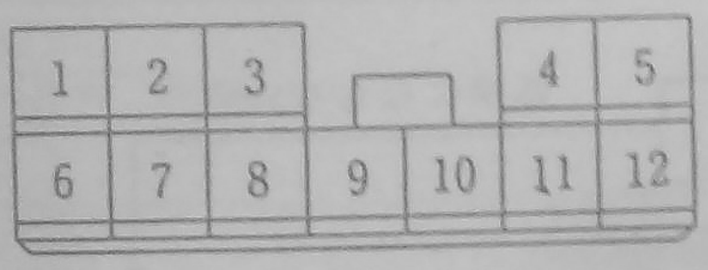
ハーネスBの点検

Bの点検

<コネクター端子の点検>

レシーバーに接続されているコネクター各端子とボディーアース間の導通、電圧は正常か
点検は、トヨタエレクトリカルテスターを使用してください。

端子 テスター⊕	端子 テスター⊖	項目	点検条件	基準	基準でないとき
6	アース	電圧	常時	10～14V	Dの点検へ
7	アース	導通	常時	導通あり	Dの点検へ
3	アース	導通	運転席のドアロックをキーでOFF→LOCKする	導通なし→あり	Dの点検へ
8	アース	導通	運転席のドアロックをキーでOFF→UNLOCKする	導通なし→あり	Dの点検へ
9	アース	電圧	運転席ドアロックノブ LOCK→UNLOCK	電圧の変動あり	Dの点検へ
5	アース	電圧	全ドア閉→いずれかのドア開	10～14V→0V	Cの点検へ
10	アース	電圧	イグニッションキーシリンダーにキープレートを差し込む→抜く	0V→10～14V	Dの点検へ
1	アース	電圧	キープレートを差し込み IG ONにする	0V→10～14V	Eの点検へ



レシーバーに接続されているコネクター

基準がすべて正常のとき

レシーバーの不良の為、レシーバーを交換してください

C の 点 検

090II 11Pコネクターは嵌合されていますか？

嵌合されていない

嵌合してください

嵌合されている

コネクター各端子は基準になりましたか？

基準にならない

ハーネスB不良の為、交換してください

基準になった

次の作動チェックを行ってください

D の 点 検

090II 16Pコネクターは嵌合されていますか？

嵌合されていない

嵌合してください

嵌合されている

ハーネスBのヒューズ及び車両ヒューズは切れていませんか？

切れている

交換してください

切れていない

コネクター各端子は基準になりましたか？

基準にならない

ハーネスB不良の為、交換してください

基準になった

次の作動チェックを行ってください

E の 点 検

赤に青線の分岐コネクターの接続は正しいですか？

正しくない

分岐コネクターは再使用できませんので、23ページの分岐コネクター使用上の注意にしたがって処理してください

正しい

ハーネスBのヒューズ及び車両ヒューズは切れていませんか？

切れている

交換してください

切れていない

コネクター各端子は基準になりましたか？

基準にならない

ハーネスB不良の為、交換してください

基準になった

次の作動チェックを行ってください

F の 点 検

キーはメインキーですか？

NO

メインキーを使ってください

YES

リンクとキーシリンダーは、確実に嵌合していますか？

嵌合していない

嵌合してください

嵌合している

リンクが連動する様になりましたか？

連動しない

連動する

次の作動チェックを行ってください

車両部品（ロックAssy又はキーシリンダー）の故障です
修理書に従って、点検してください

G の 点 検

アクチュエータは作動していますか？

作動していない

トラブルシュートのHへ

I の 点 検

作動している

アクチュエータとケーブルの接続及び
ロックAssyとケーブルの接続は、
取付手順どおり行われていますか？

NO

手順どおりにやり直してください

YES

トランクオープナーレバーを引くと、
トランクが開きますか？

開かない

開く

ケーブル不良の為、交換してください

次の作動チェックを行ってください

H の 点 検

スイッチAssyとケーブルの接続は、取付手順どおり、確実に接続されていますか？

接続されていない → 接続してください

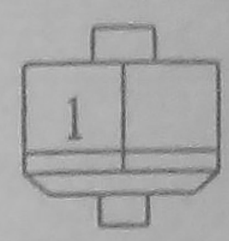
接続されている

以下の各コネクター(端子)は嵌合されていますか？
090II 2P(ハーネスA～ハーネスB間)
250 4P,250 2P,050 7P
クワ型端子

嵌合されていない → 嵌合してください

嵌合されている

090 II 2P コネクター



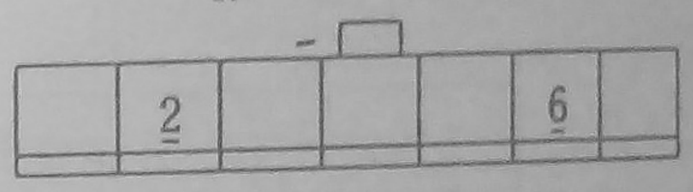
テスターで以下のコネクター端子の電圧をチェックしてください(090II 2Pコネクター ハーネスB側)
テスター ⊕ ⇨ 1番端子(コード色:赤)
テスター ⊖ ⇨ アース

DC10～14Vを出力しますか？

出力しない → ハーネスB不良の為、交換してください

出力する

050 7P コネクター



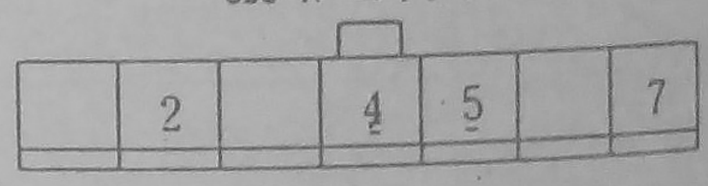
テスターで以下のコネクター端子の電圧をチェックしてください(050 7Pコネクター)
テスター ⊕ ⇨ 6番端子
テスター ⊖ ⇨ 2番端子

DC10～14Vを出力しますか？

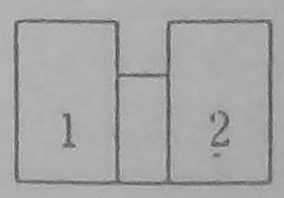
出力しない → ハーネスA不良の為、交換してください

出力する

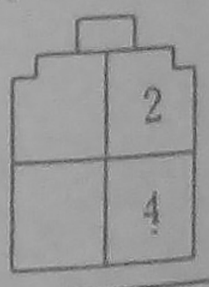
050 7P コネクター



250 2P コネクター



250 4P コネクター



テスターでハーネスAの以下のコネクター端子間の導通チェックを行ってください
050 7P:4番端子 ←→ 250 2P:1番端子
050 7P:2番端子 ←→ 250 2P:2番端子
050 7P:7番端子 ←→ 250 4P:2番端子
050 7P:5番端子 ←→ 250 4P:4番端子

すべての導通が正常ですか？

NO → ハーネスA不良の為、交換してください

YES

トランクオープン(カーテシ)スイッチを押してください

トランクオープン(カーテシ)スイッチを押したままの状態で、トランクオープナーレバーを引くと、アクチュエータが作動しますか？

作動しない → アクチュエータ、リレーユニット、スイッチAssyのいずれかの不良の為、すべて交換してください

作動する → Iの点検を行ってください

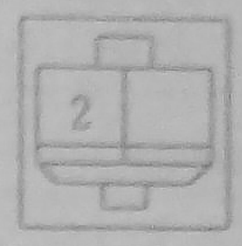
J の 点 検

090II 2Pコネクター(ハーネスA～ハーネスB間)は嵌合されていますか？

嵌合されていない → 嵌合してください

嵌合されている

テスターで以下のコネクター端子の電圧をチェックしてください(090II 2Pコネクター ハーネスA側)
テスター ⊕ ⇨ 2番端子(コード色：緑－白)
テスター ⊖ ⇨ アース

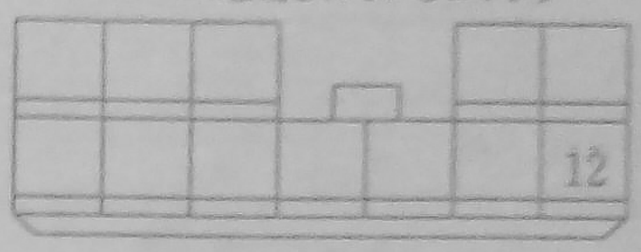


DC10～14Vを出力しますか？

出力しない → ハーネスA不良の為、交換してください

出力する

テスターで以下のコネクター端子の電圧をチェックしてください(レシーバーに接続されているコネクター)
テスター ⊕ ⇨ 12番端子
テスター ⊖ ⇨ アース



DC10～14Vを出力しますか？

出力しない → ハーネスB不良の為、交換してください

出力する

トランスミッターのアンロックボタンを2秒以上押してトランクが開きますか？

開かない → レシーバー不良の為、交換してください

開く

次の作動チェックを行ってください

K の 点 検

ラゲージルームランプは点灯していますか？

点灯していない → ランプを交換してください

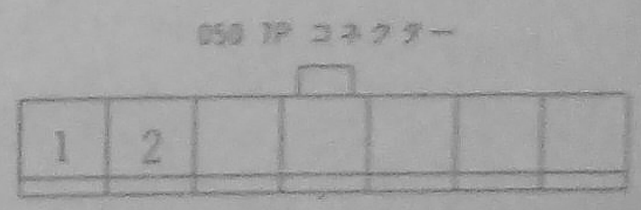
点灯している

090II 1Pコネクターは嵌合されていますか？

嵌合されていない → 嵌合してください

嵌合されている

テスターで以下のコネクター端子の電圧をチェックしてください(050 7Pコネクター)
テスター ⊕ ⇨ 1番端子
テスター ⊖ ⇨ 2番端子



トランクオープン(カーテシ)スイッチを押すと、以下の様に電圧が変化しますか？
DC10～14V→0V

変化しない → ハーネスA不良の為、交換してください

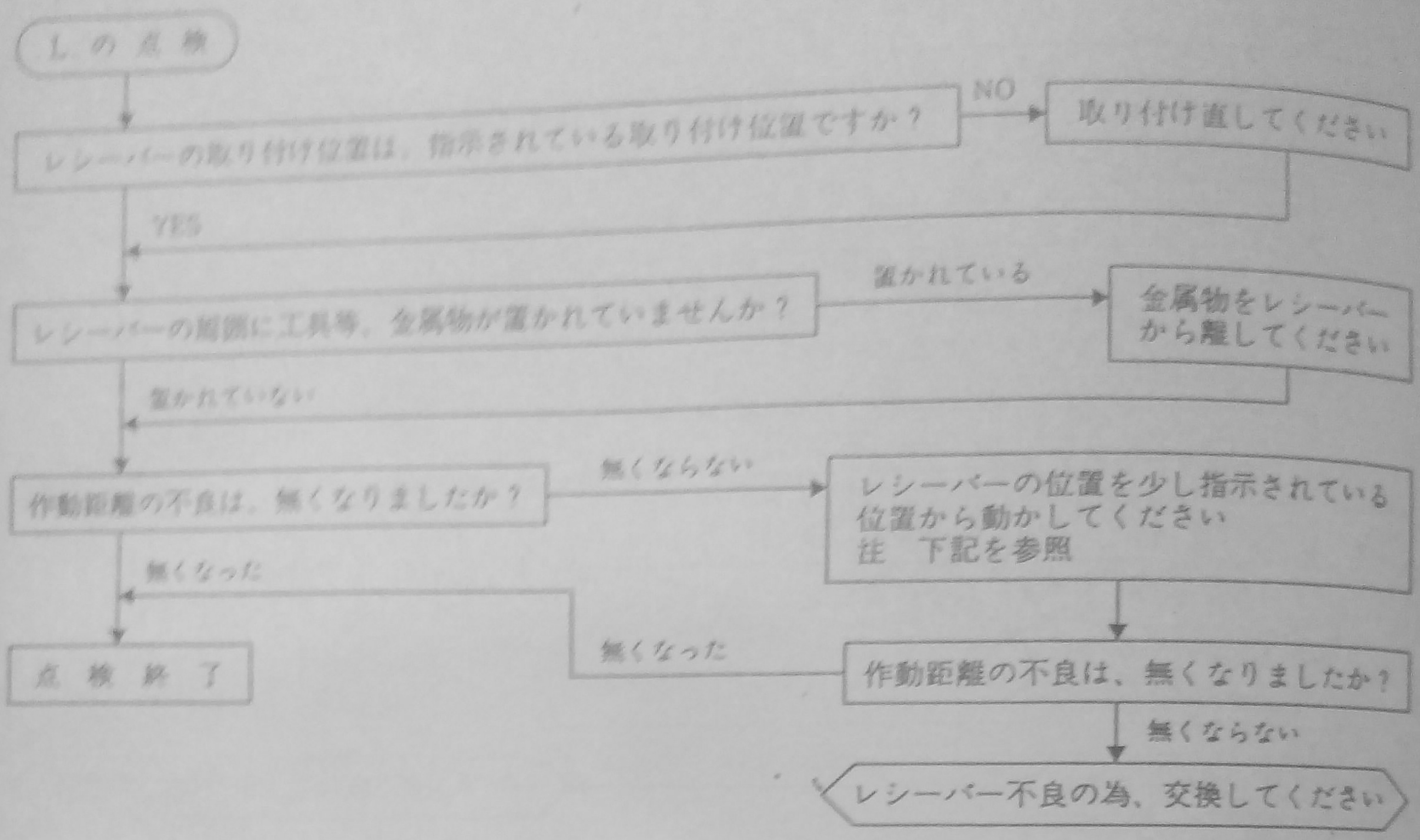
変化する

トランクを開けたままで、トランクオープナーレバーを引くとアクチュエータが作動しますか？

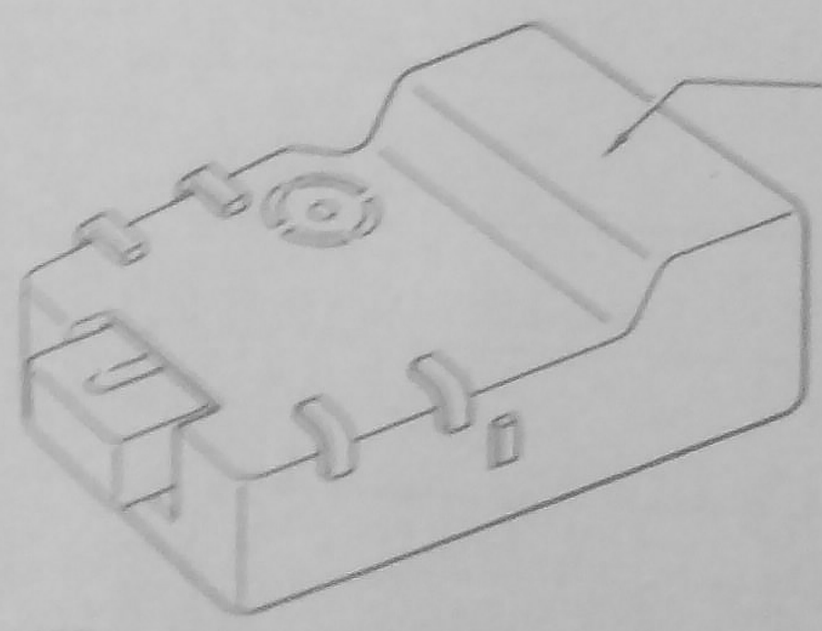
作動する → リレーユニット不良の為、交換してください

作動しない

次の作動チェックを行ってください

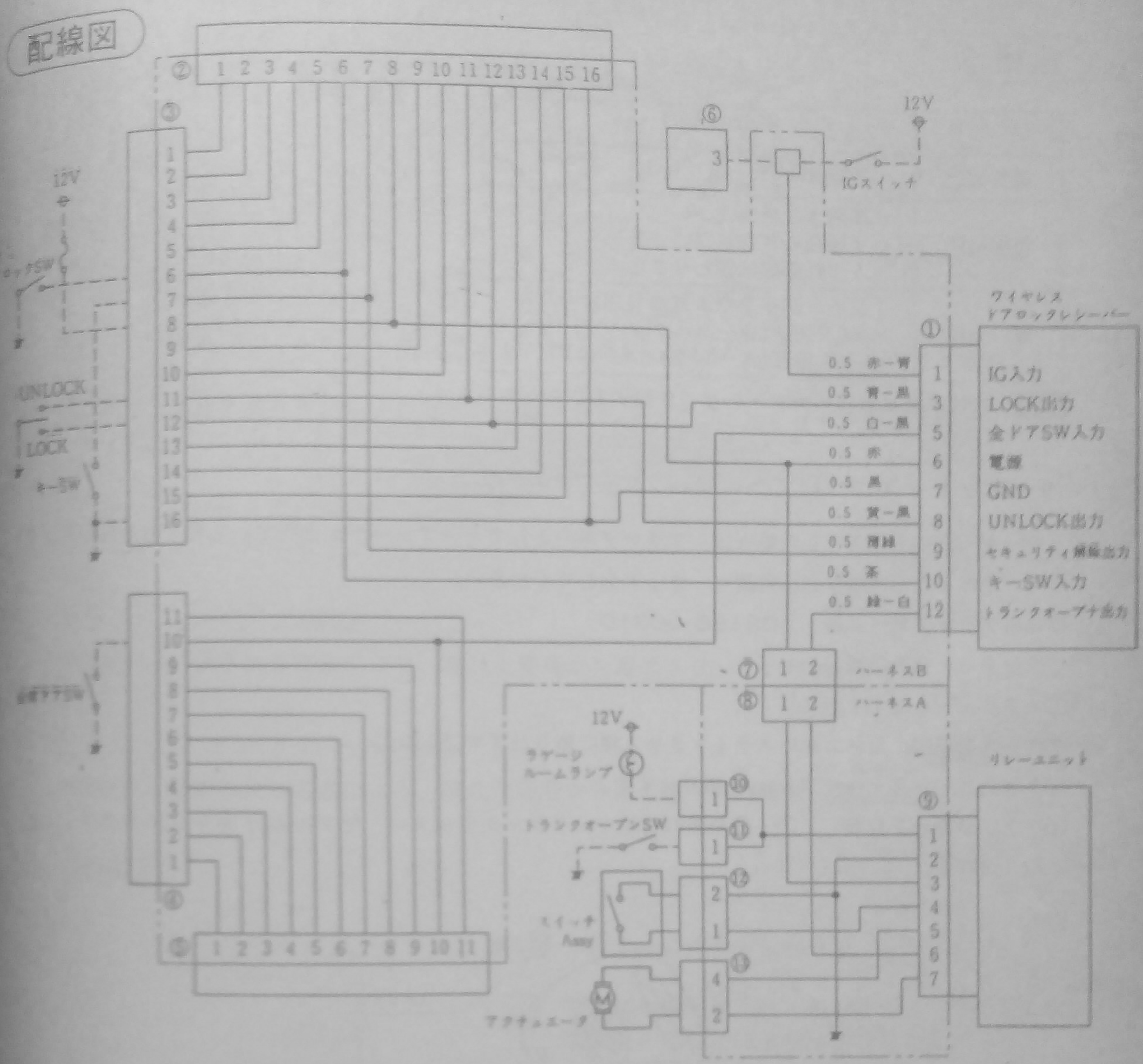


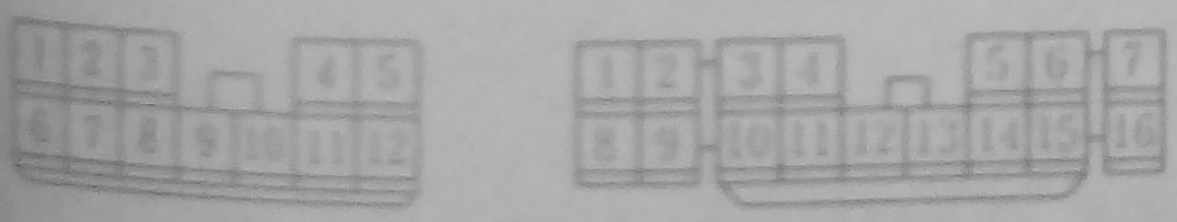
注記

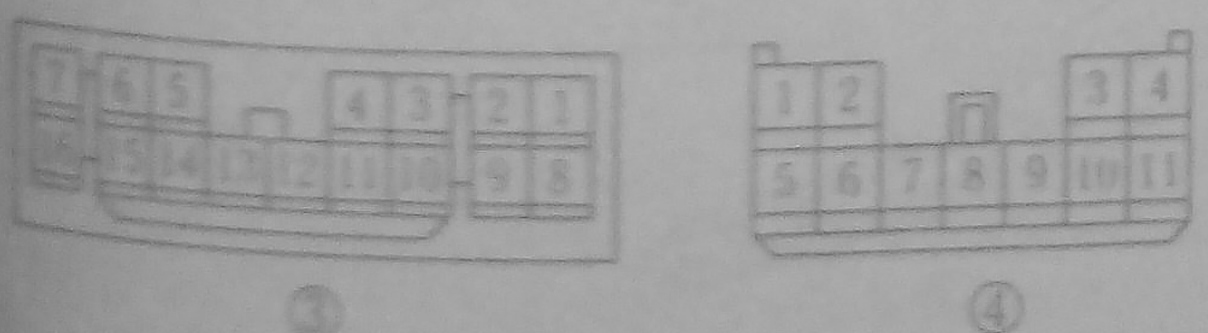


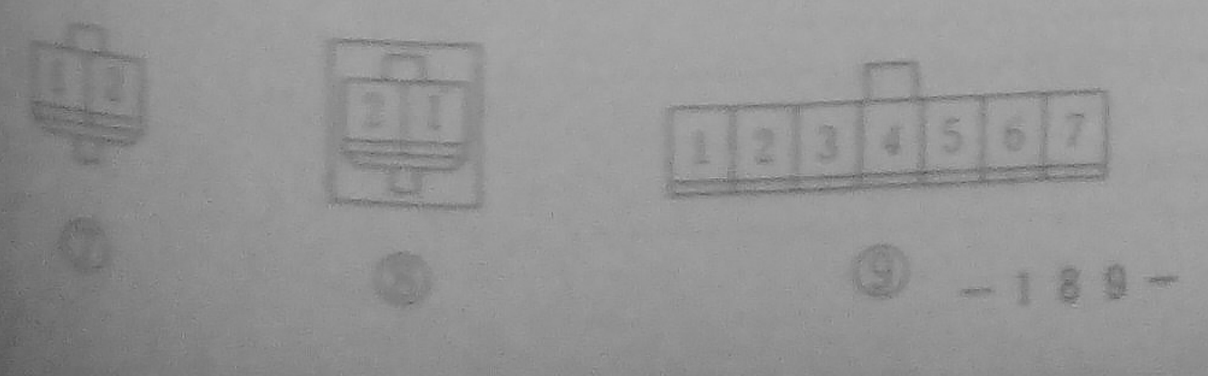
内蔵アンテナをシート裏の金属部分の真下から
ずらして固定してください

配線図


②
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
③
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
⑥
3
12V
IGスイッチ
12V
ドアロックSW
UNLOCK
LOCK
キーSW
ワイヤレス
ドアロックレシーバー
①
1 IG入力
3 LOCK出力
5 全ドアSW入力
6 電源
7 GND
8 UNLOCK出力
9 セキュリティ解除出力
10 キーSW入力
12 トランクオープナ出力
0.5 赤－青
0.5 青－黒
0.5 白－黒
0.5 赤
0.5 黒
0.5 黄－黒
0.5 灰緑
0.5 茶
0.5 緑－白
⑦ 1 2 ハーネスB
⑧ 1 2 ハーネスA
11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
④
⑮ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
全席ドアSW
12V
ラゲージ
ルームランプ
トランクオープンSW
⑩ 1
⑪ 1
⑫ 2 1
⑬ 4 2
スイッチ
Assy
アクチュエータ
リレーユニット
⑨
1 2 3 4 5 6 7
ハーネスA品
専用ハーネス
小径ヒューズ付ハーネス


① 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
② 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16


③ 7 6 5 4 3 2 1 8 9 10 11 12 13 14 15 16
④ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
⑤ 4 3 2 1 11 10 9 8 7 6 5
⑥ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10


⑦ 1 2
⑧ 2 1
⑨ 1 2 3 4 5 6 7
⑩ 1
⑪ 1
⑫ 1 2
⑬ 1 2 3 4

仕様

項　　目	仕　　様
消費電流	DC.12V
作動範囲	車両より約2m以内 （周囲の電波状況により 作動距離は変わります）
電　　池	コイン形リチウム電池(1個) ・CR1616(キーホルダタイプ) ・CR1216(キーグリップタイプ)

注意 仕様は製品改良の為、予告なく変更することがあります。

＜キーカットミスについて＞ (キーグリップタイプのみ)

(1)万が一キーカットミスをした場合は、ブランクキーとしてキープレートが付いている側のみ交換できますので、それをお求めのうえ、再度キーカットをしてください。

(2)補給用ブランクキー品番　　08196-00310

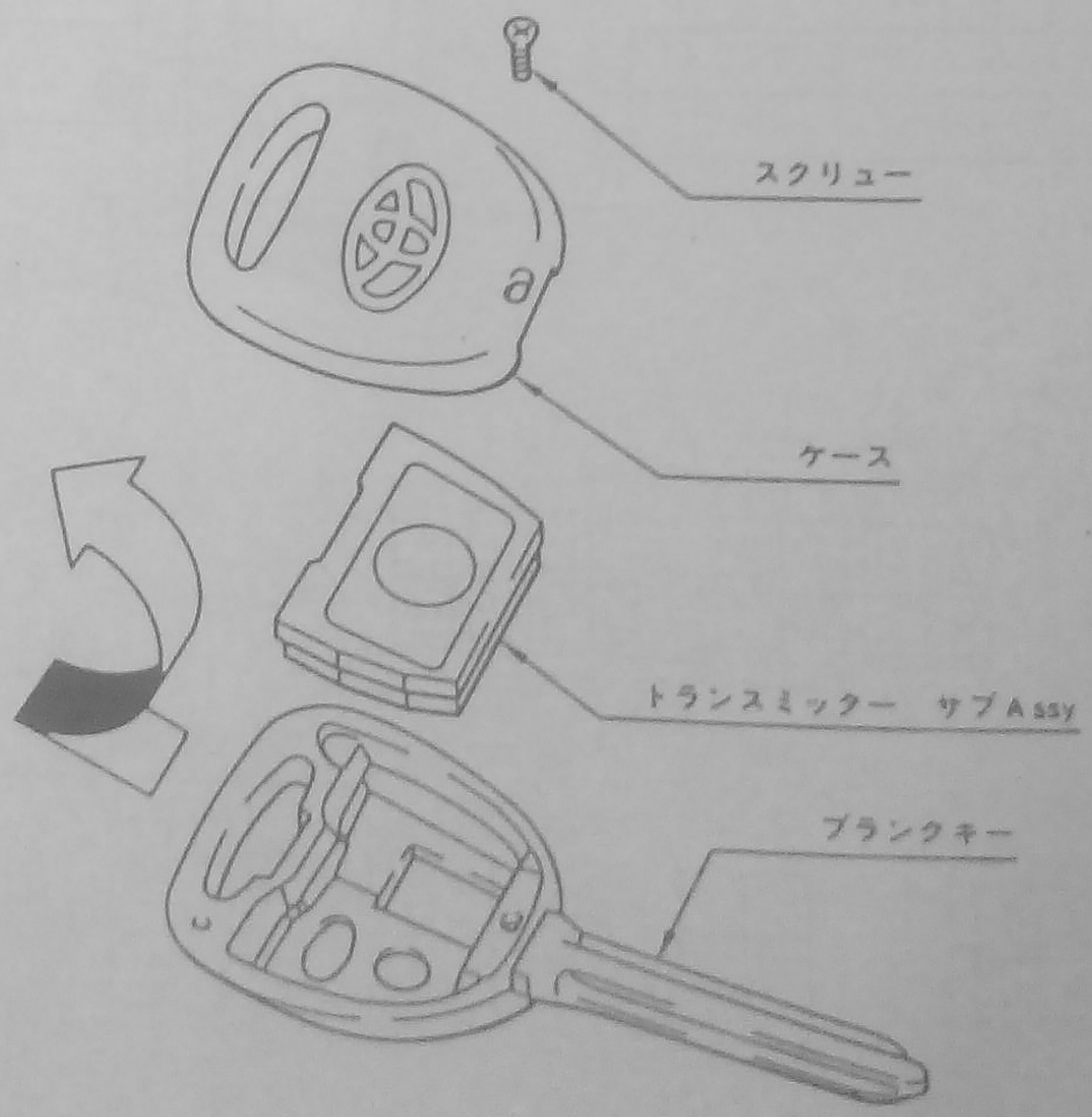
(3)ブランクキー交換手順

①スクリューをはずす。

②ケースを下図、矢印方向にスライドさせる様に取りはずす。

③トランスミッター　サブAssyを取りはずす。

④ブランクキーを交換し、①～③の逆の手順で、トランスミッター　サブAssy、ケース、スクリューを取り付ける。



取り付け店舗へのお願い

・必ずお客様に操作要領を説明してください。

お客様用

トヨタ純正 ワイヤレス トランクオープナ

取扱書

このたびはトヨタ純正ワイヤレストランクオープナをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱書をお読みいただき、正しい取り扱い方法により長くご愛用くださるようお願い申しあげます。

機能説明

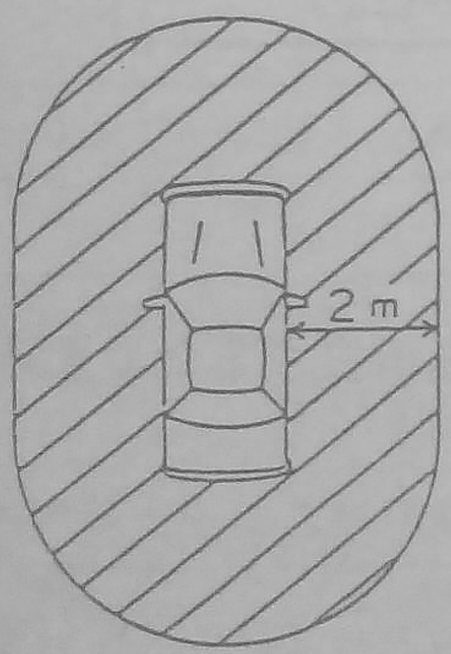
1 トランクオープナ機能

送信機から発信される電波により、離れた場所から車のトランクの解錠がワンタッチで操作することができます。

2 ドアロックコントロール機能

送信機から発信される電波により、離れた場所から車の全ドアの施錠・解錠がワンタッチで操作することができます。

3 作動範囲



車両より約２ｍ以内で作動します。

注　ＴＶ塔や発電所、放送局などの近くや周囲の状況、電波ノイズなどにより作動距離が変わります。

4 盗難防止機能

ドアロックを送信機により解錠後、ドアが開けられない場合、30秒後に自動的にドアロックが施錠されます。

5 安全機能

キーがキーシリンダーに差してある場合（車種によってはＡＣＣ又は、ＩＧ位置の場合）は、作動しません。また、ドアが開いている場合はトランクの解錠のみ可能です。

5 登録機能

このワイヤレスドアロックリモートコントロールは１台のレシーバーで３個までの送信機を使用することができます。
１回の登録操作で１種類の送信コードが登録でき、登録操作を実行すると最も古いコードが消去されます。
新たに送信機を追加する場合は、以下の手順で登録してください。

注　送信機のロックスイッチでは、登録できません。

登録操作開始
(キーをシリンダーから抜き、全ドア閉の状態を確認のこと。)

↓

運転席ドアを開ける。

↓

ドアを開けてから10秒以内に登録しようとする
送信機のアンロックスイッチを２秒以上押す。

↓

送信機のアンロックスイッチを押してから、10秒以内にキーを
キーシリンダーに差し、ＩＧ位置まで回す。

↓

ＩＧ位置まで回してから、10秒以内に
キーをキーシリンダーから抜く。

↓

運転席側のカーテシスイッチを車両側ドアロックノブが作動するまで
ＯＮ，ＯＦＦする。(ＯＮ，ＯＦＦを１回として６回以上)

↓

登録したい送信機のアンロックスイッチを車両側
ドアロックノブが作動するまで押し続ける。(５秒以上)

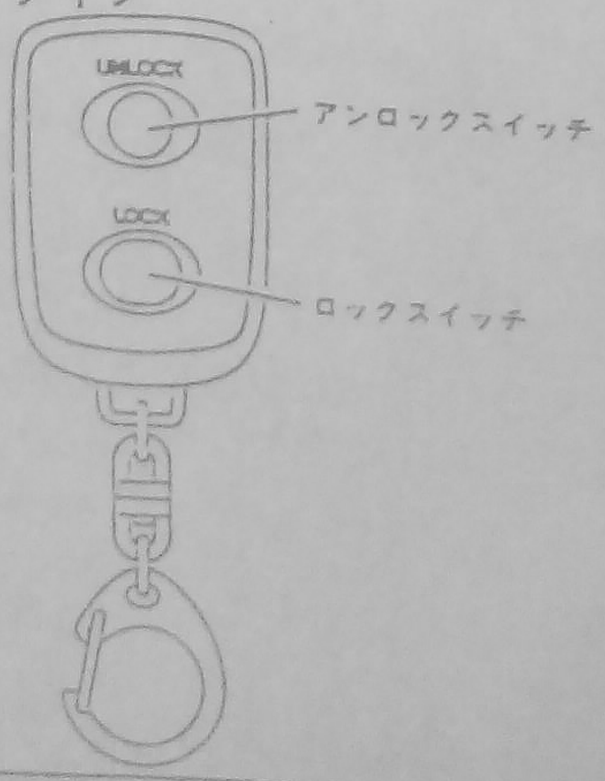
↓

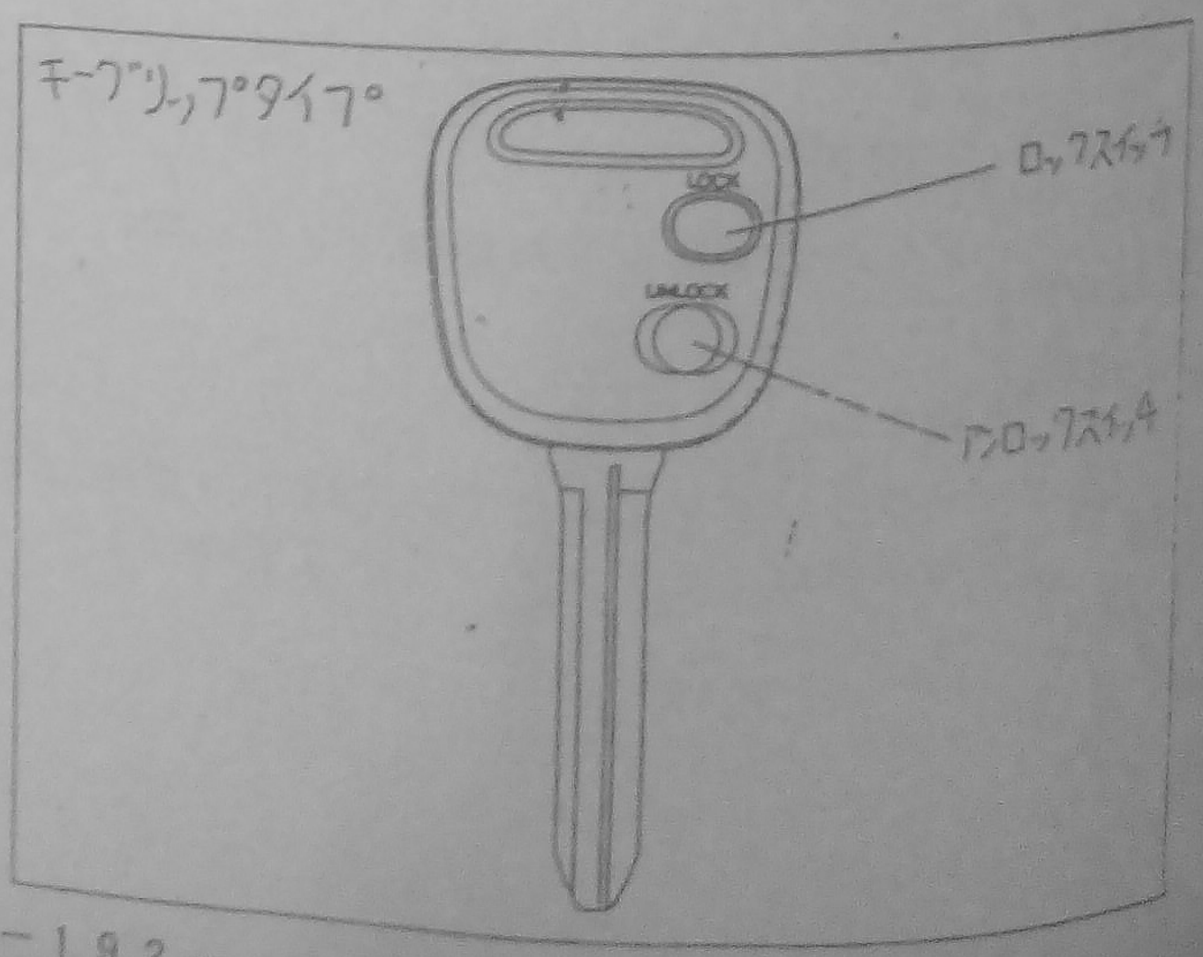
登録完了

注　紛失等で新たに送信機を登録する場合は、古いコードを消去するため登録操作を３回くり返してください。

操作要領

キーホルダタイプ





1. ドアロックの解錠
   送信機のアンロックスイッチを押してください。
2. ドアロックの施錠
   送信機のロックスイッチを押してください。
3. トランクの解錠
   送信機のアンロックスイッチを1.5秒以上押してください。
   ドアロックが解錠した後、トランクが解錠します。
   (ただし、ドアが開いている時は、トランクのみ解錠します。)

注 送信機から発信される電波は製品ごとの専用コード電波のため他の送信機では操作できません。

取扱上の注意事項

1. 送信機は水にぬらさないようにしてください。
2. 送信機を落下させたり、ぶつけたり、踏んだりすると故障の原因になります。
3. 送信機をダッシュボードの上など高温（60℃以上）になる場所に放置しないでください。
   電池寿命の低下や故障の原因になります。
4. ワイヤレスドアロックリモートコントロールによりドアロックの解錠・施錠を行なった場合は、必ずその状態を確認してください。

故障とお考えになる前に

ワイヤレスドアロックリモートコントロールが正常に作動しなくなったときは、次表に従ってお調べいただきそれでも作動しないときはお求めの販売店にご相談ください。

エンジンは作動していますか？ —YES→ エンジンを止めてください。
↓NO
キーがキーシリンダーに差し込まれていますか？ —YES→ キーを抜いてください。
↓NO
ドアは全て確実に閉まっていますか？ —NO→ ドアを全て閉めてください。
↓YES
お求めの販売店にご相談ください。

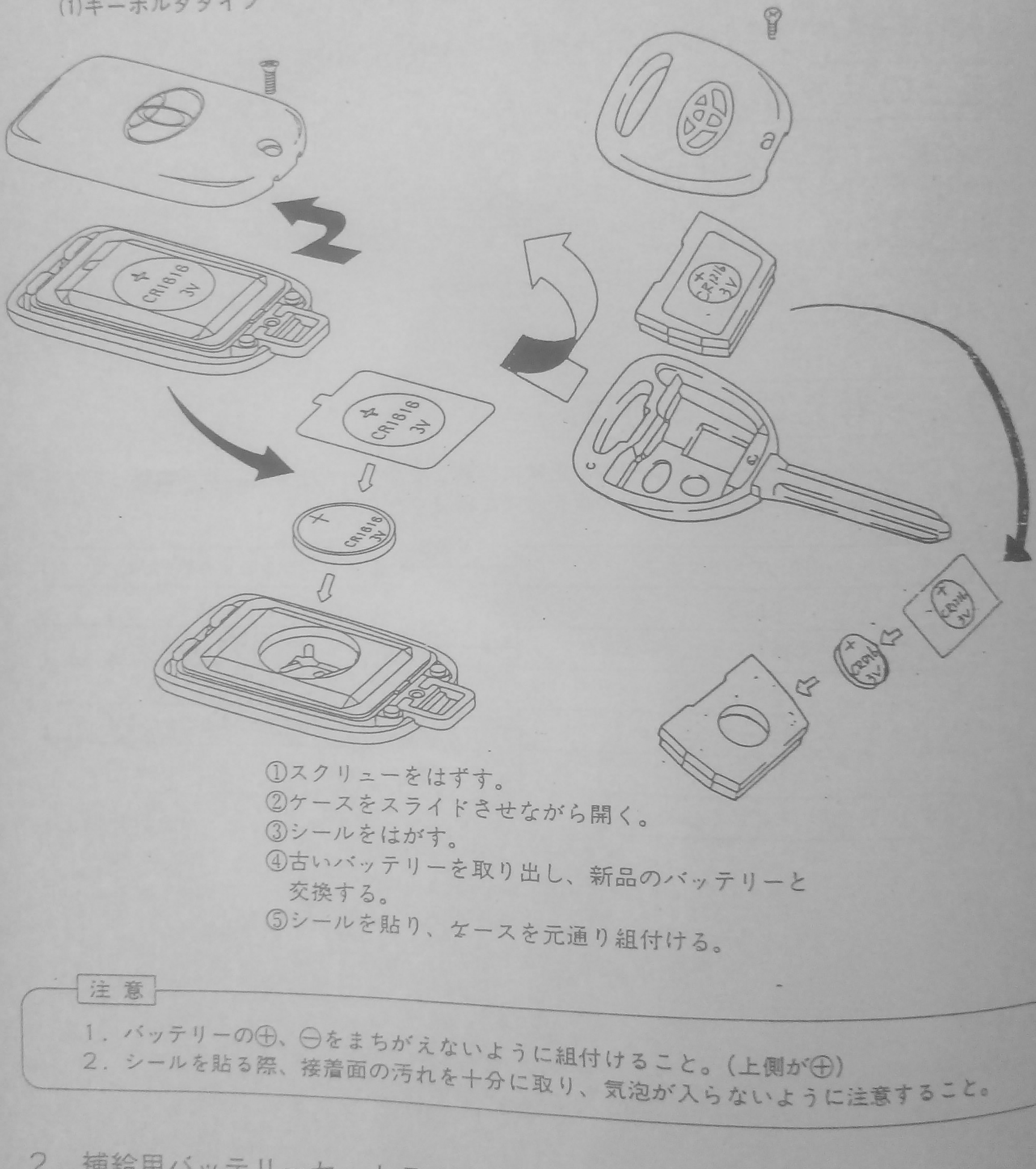
電池交換について

送信機内の電池が消耗した場合は、お買いあげの販売店にて交換してください。
電池寿命　キーホルダタイプ：約2年間（CR1616　1個）（10回／日使用の場合）
　　キーグリップタイプ：約2年間（CR1216　1個）（10回/日　使用の場合）

1．電池交換方法

(1)キーホルダタイプ

(2) キーグリップタイプ



①スクリューをはずす。
②ケースをスライドさせながら開く。
③シールをはがす。
④古いバッテリーを取り出し、新品のバッテリーと
　交換する。
⑤シールを貼り、ケースを元通り組付ける。

注 意

1．バッテリーの⊕、⊖をまちがえないように組付けること。（上側が⊕）
2．シールを貼る際、接着面の汚れを十分に取り、気泡が入らないように注意すること。

2．補給用バッテリーセット品番

(1)キーホルダタイプ：08672－00090
(2)キーグリップタイプ：08672-00100

トヨタ純正 1DIN4インチテレビ&ダイバーシティアンテナ

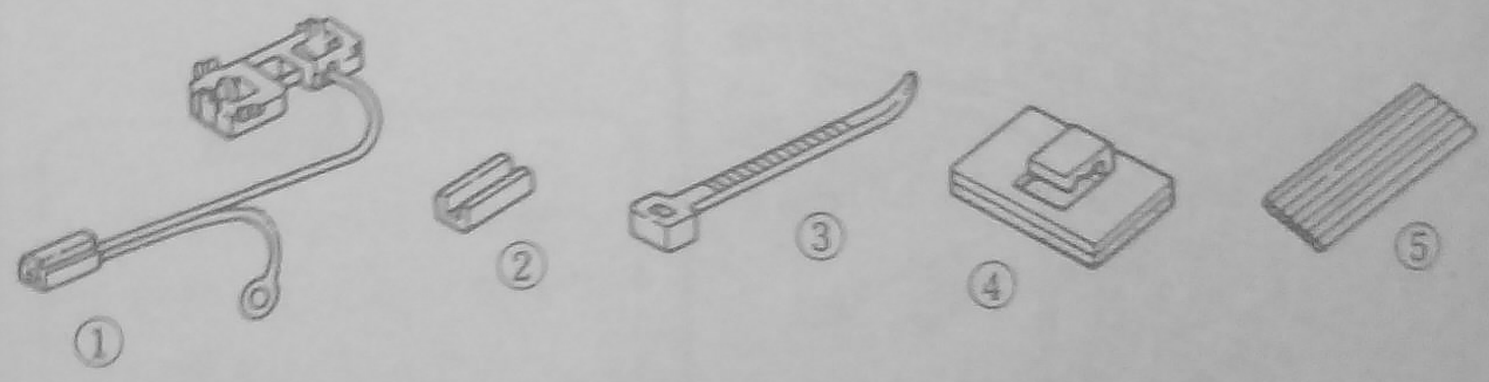
取付要領書

このたびはトヨタ純正車載用1DIN4インチテレビ&ダイバーシティアンテナをお買いあげいただきありがとうございました。
本書はコロナEXIVとカリーナEDに車載用1DIN4インチテレビ&ダイバーシティアンテナを取付ける場合の取付要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付けを行ってください。
別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番および適用車種

品　　番	品　　名	適　用　車　種	年　　式
08545－00070	1DIN4インチテレビ&ダイバーシティアンテナ	コロナEXIV カリーナED	平成5年10月以降
08541－20010	フィッティングキット		
08540－00175	リモコン（別売）		

フィッティングキット構成部品一覧表

品　　名	数量	概　略　図
①2信号分岐リード	1本	
②コードレール(25mm)	6コ	
③タイラップ	10本	
④コードクランパ	12コ	
⑤ミラーマット	6枚	

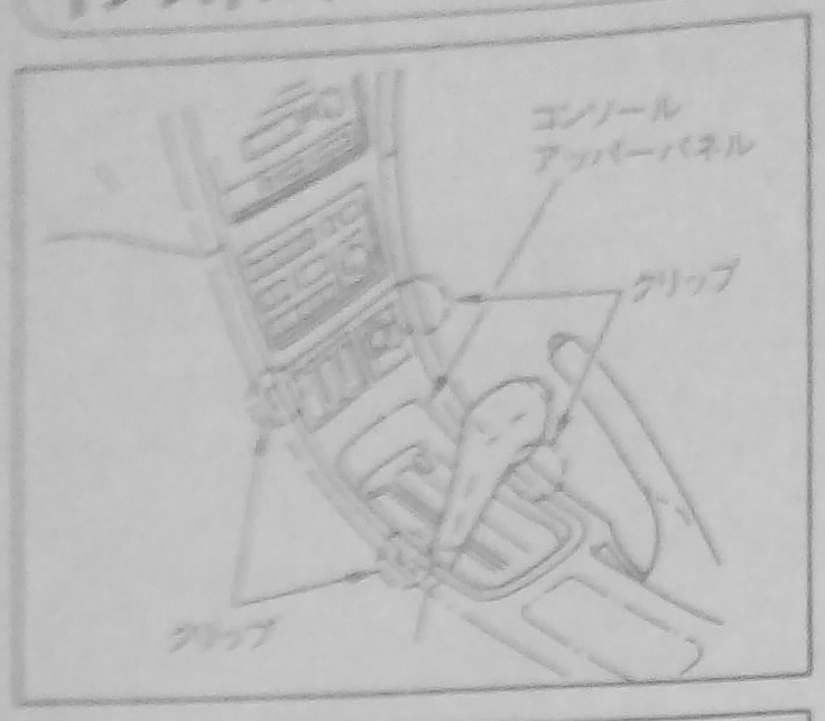
取り付けに必要な工具等

一般工具、モールディングリムーバ(トヨタ品番09070－20010)

取り付け上の注意事項

1. 本文中の取り付け上の注意は、必ず取り付に反映させて作業を行ってください。
   もし、注意を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
2. 車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
3. 本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。

インストルメントパネルASSYの取りはずし

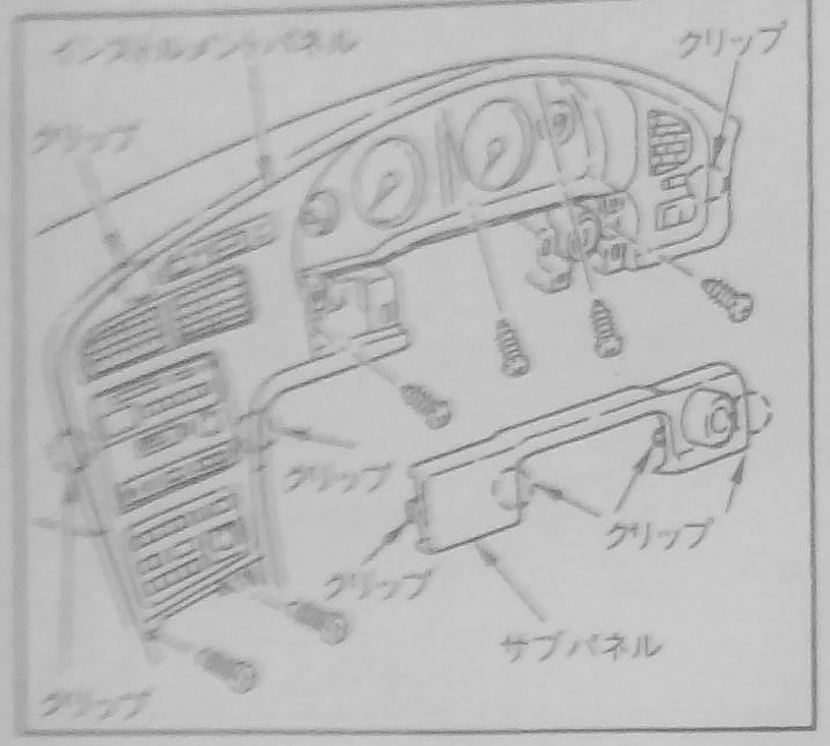


1 コンソールアッパーパネルの取りはずし

M/T車の場合は、コンソールアッパーパネルをはずす前にシフトレバーノブをはずす。

(1)コンソールアッパーパネルを取りはずす。
（クリップ4ヵ所止め）

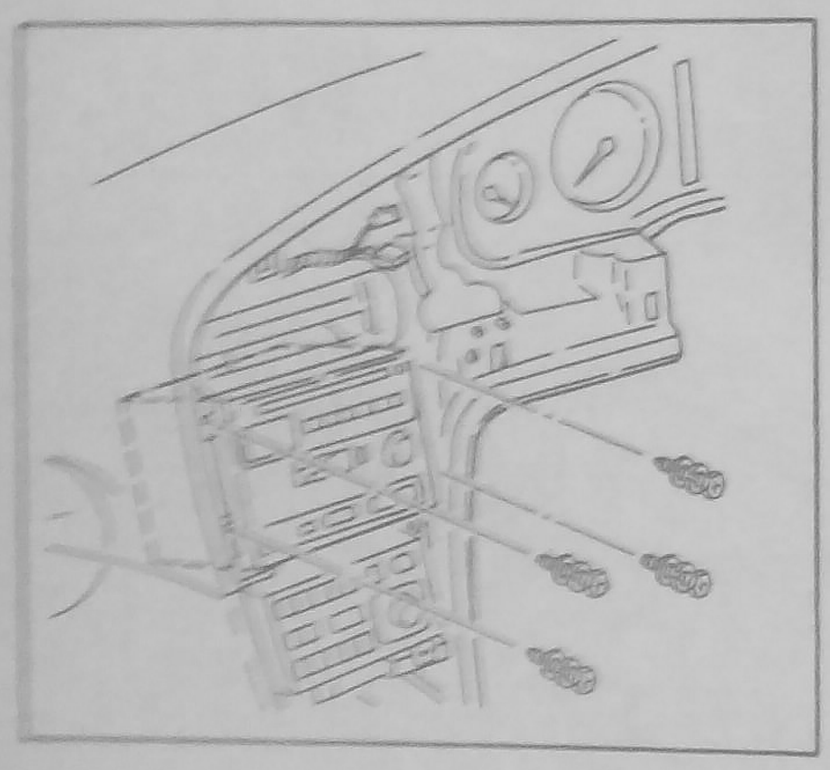
(2)シガレットライター用コネクタ、その他接続コネクタを取りはずす。



2 インストルメントパネルの取りはずし

(1)インストルメントサブパネルを取りはずす。
（クリップ4ヵ所止め）

(2)インストルメントパネルをはずす。
（タッピングねじ6本、クリップ4ヵ所止め）

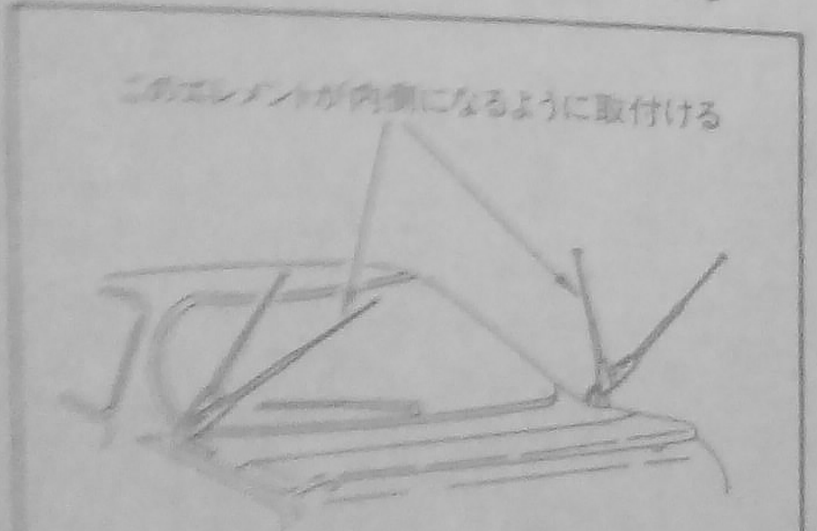


3 ラジオレシーバASSYの取りはずし

(1)ラジオレシーバASSYを取りはずす。
（ボルト4本止め）

ダイバーシティアンテナの取付

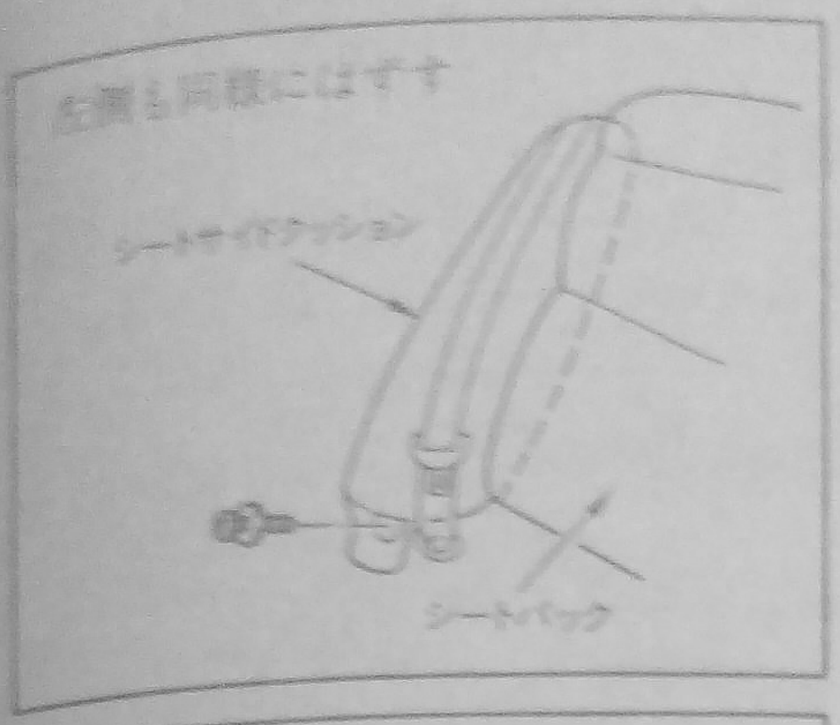
注意 コロナEXIVとカリーナEDはケーブルの取り回しが異なるため、該当車の説明に従って取付作業をすること。



カリーナEDの取付概略図
コロナEXIVも同様に取付ける。

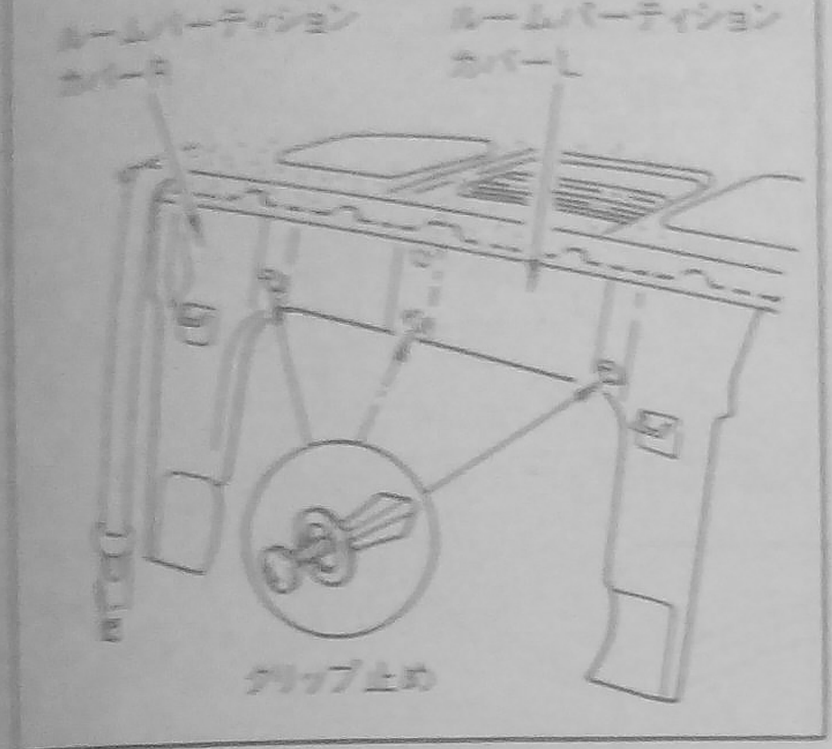
1 アンテナの取付概要

(1)トランクリッドの左右にアンテナベースを取付けてからアンテナ本体を取付ける。(次ページ参照)
エレメントが車巾より出ないように調整すること。



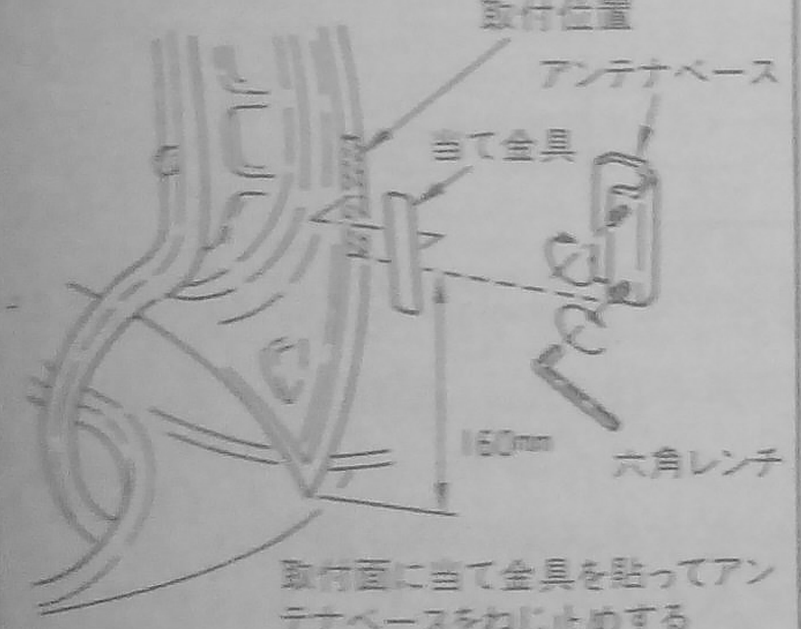
2 車両部品の取りはずし

(1)後席のシートクッションをはずし（フック２ヵ所止め）シートバック横のシートサイドクッションをはずす。（ボルト１本止め）
左右どちらもはずす。

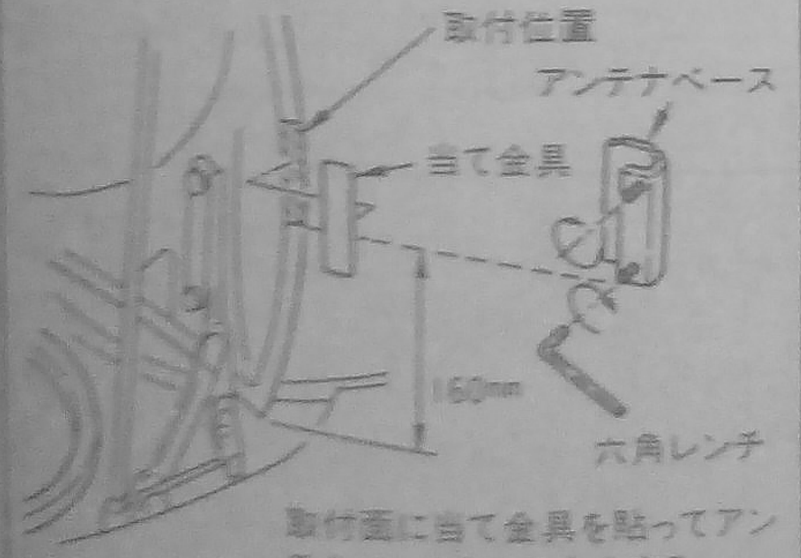


(2)ルームパーティションカバーL、Rをはずす。（Lを先にはずす）

コロナEXIVの取付位置



カリーナEDの取付位置



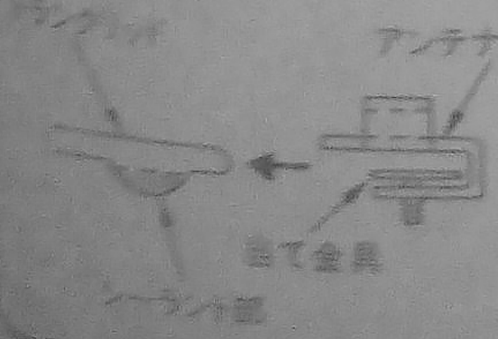
3 アンテナベースの取付

(1)トランクリッドにアンテナベースを取付ける。
（左右同様）

注意

当て金具のはくり紙を剥がして取付部分に貼り、アンテナベースをしっかりねじ止めする。

注意

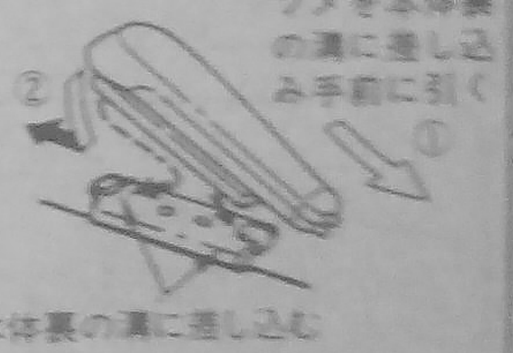


トランクリッドのシーラント部分が厚すぎる場合、カッターナイフ等で少し削り、タッチアップペイントで補修後アンテナベースを取付ける。

アンテナの取扱要領

●アンテナ本体の取付け方

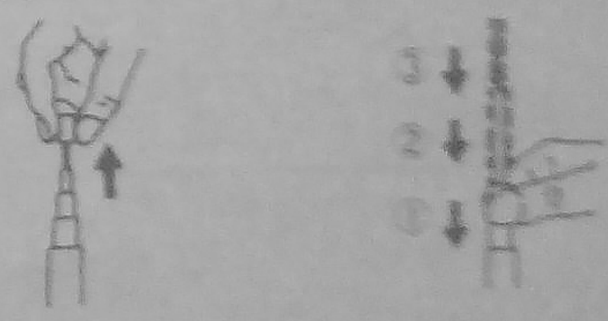
手前に引いた状態で後方を降ろし、カチッと音がするまで後方にさげる。



●エレメントの伸縮

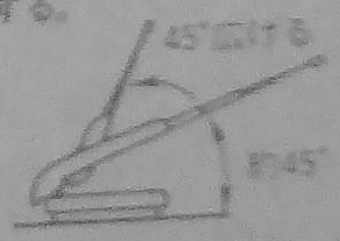
先端を持って引く

太い方から順に収納する。



●調整

水平より約45°上向きにし、内側のエレメントを45°広げて使用する。

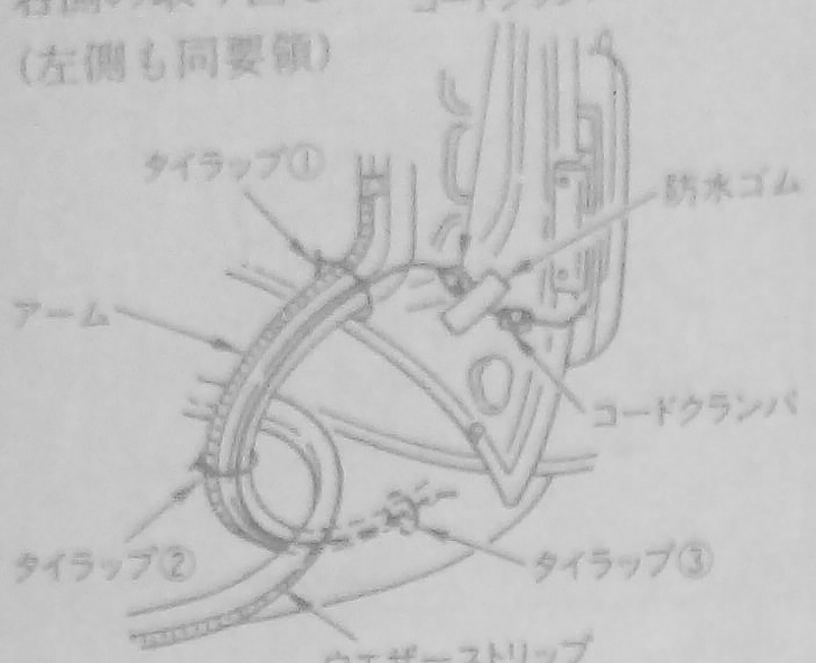


エレメントが車体より出ないよう3ヵ所のねじをゆるめて調整する。



■コロナEXIVのアンテナケーブル取り回し

右側の取り回し
(左側も同要領)

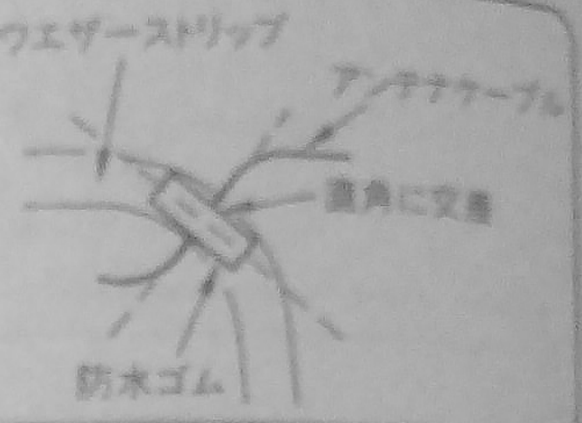


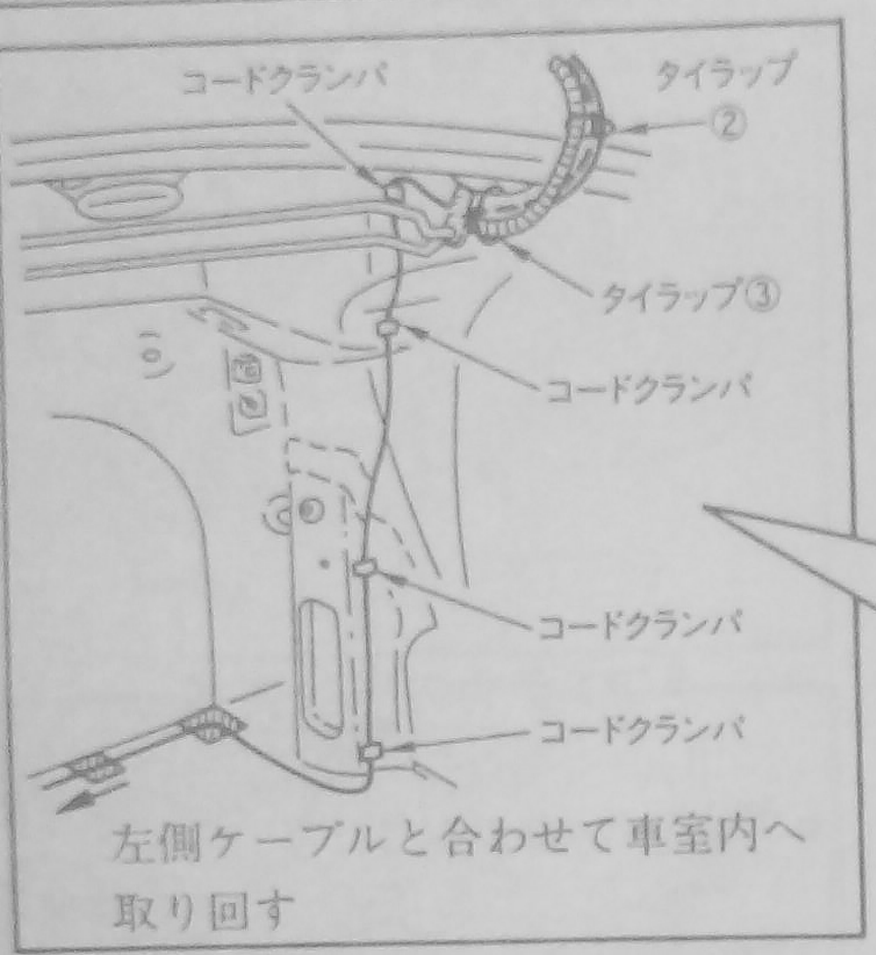
1アンテナケーブルの取り回し

(1)トランクリッドを閉めた時、ウエザーストリップと重なる位置に防水ゴムを移動し、その前後をコードクランパで固定する。

注意

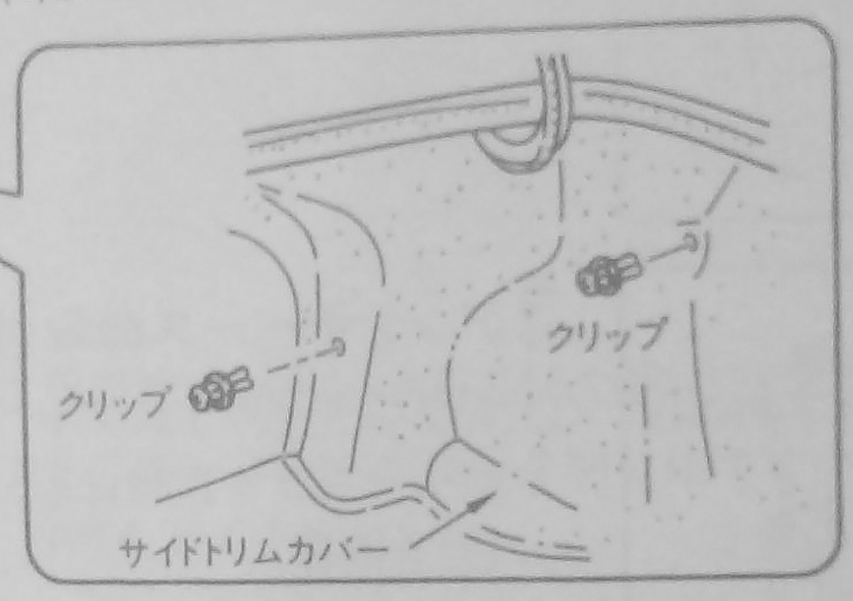
- 防水ゴムの移動は水または石鹸水をつけて行なうこと。
- ウエザーストリップに対しケーブルが直角に交差するように取り回すこと。

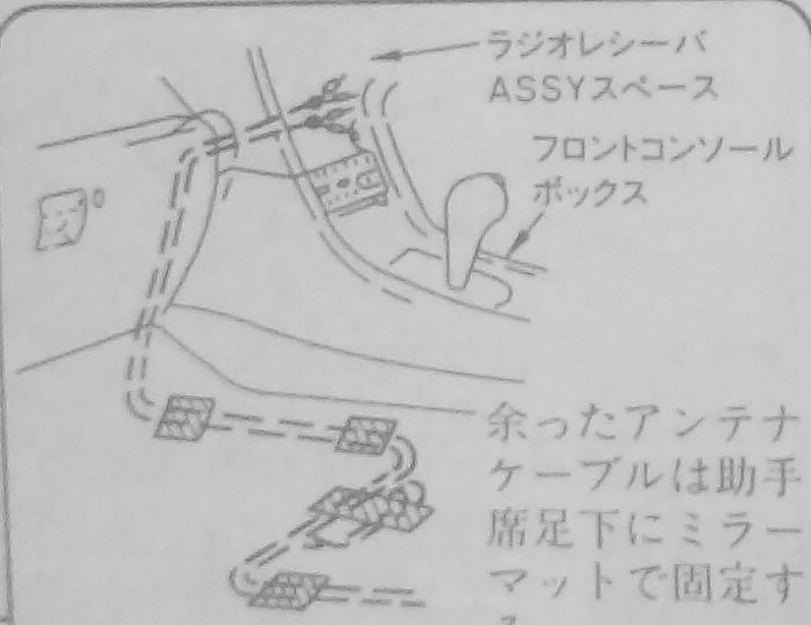




左側ケーブルと合わせて車室内へ取り回す

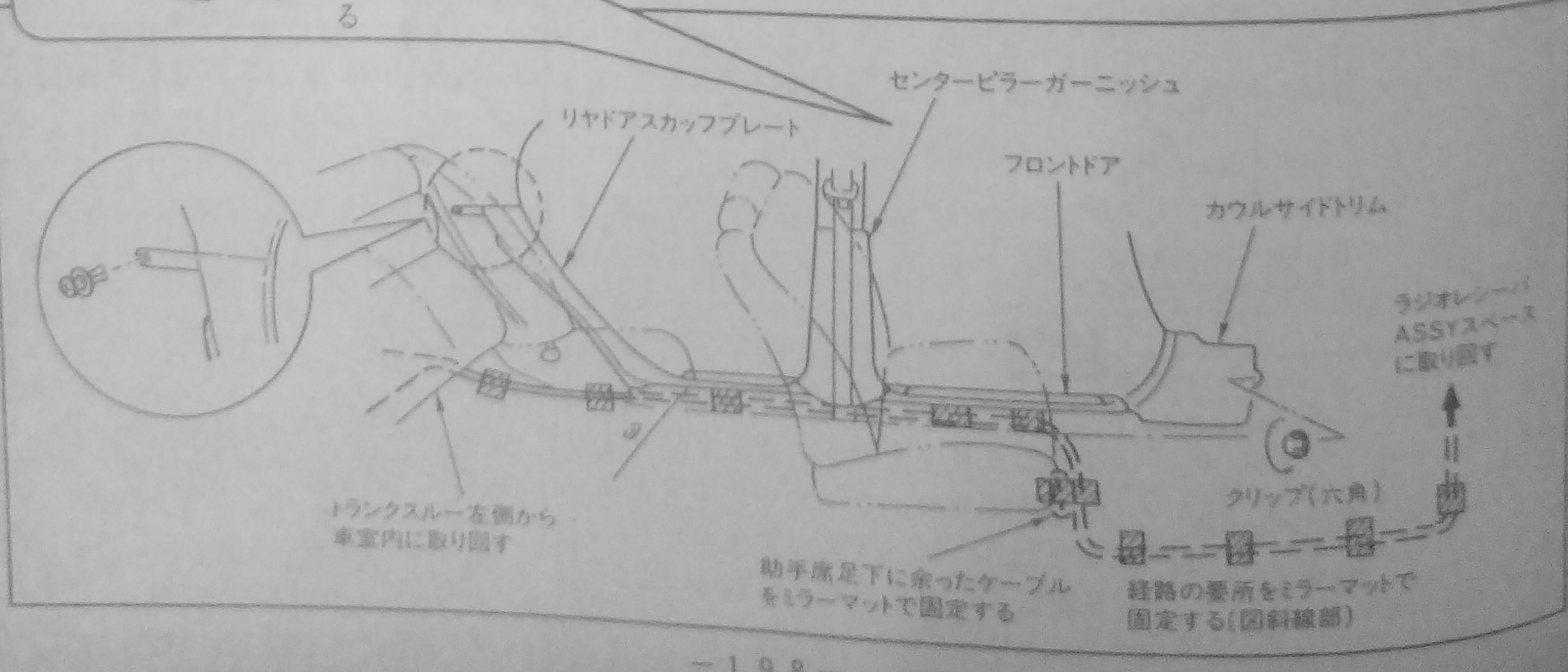
(2)トランクルームのフロアカーペットをはずす。
(3)サイドトリムカバーの2ヵ所のクリップ（下図参照）をはずしてサイドトリムカバーをめくり、アンテナケーブルを取り回す。
(左側も同様)
(4)左右のアンテナケーブルは左側で合わせて車室内に取り回す。



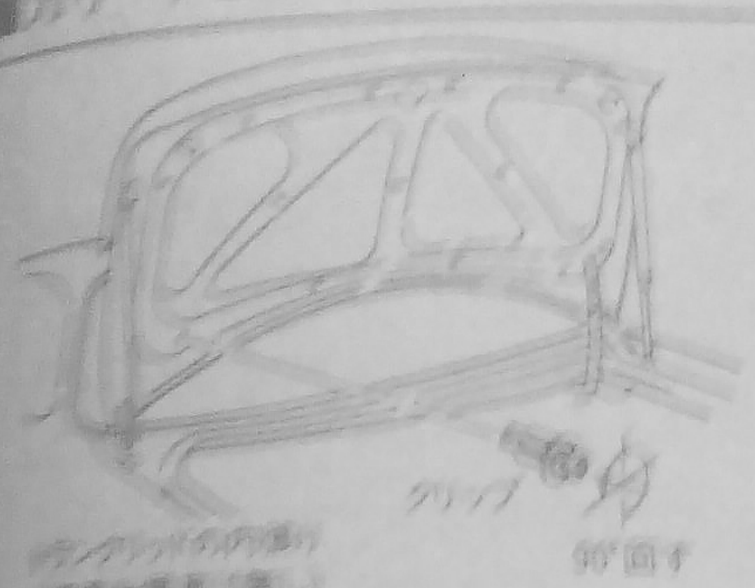


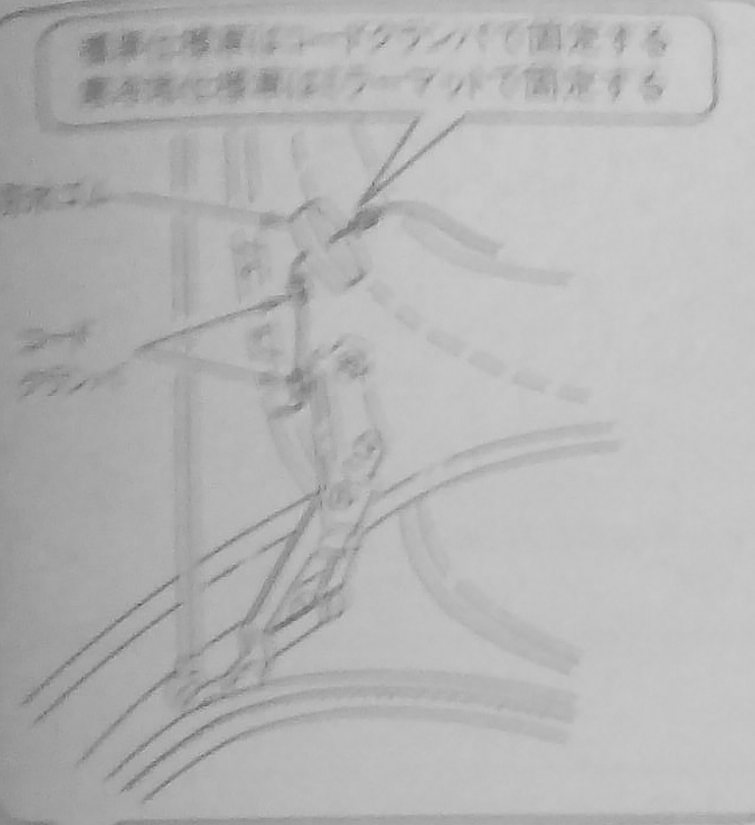
余ったアンテナケーブルは助手席足下にミラーマットで固定する

(5)左側のスカッフプレート(フロントとリヤ)、センターピラーガーニッシュ、カウルサイドトリムをはずし、車体に沿ってフロアカーペット下を取り回す。
(6)助手席の足下からコンソールボックス沿に取り回す。
(7)フロントコンソールボックス奥からラジオレシーバASSYスペースに取り回す。余ったアンテナケーブルは助手席足下にミラーマットで固定する。
(8)取り回し経路の要所をミラーマットで固定する。



■カリーナEDのアンテナケーブル取り回し





1 アンテナケーブルの取り回し

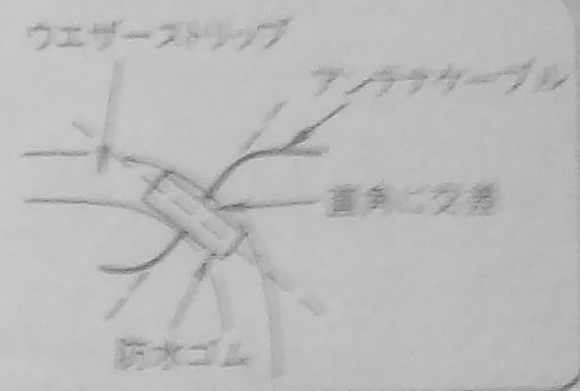
(1)トランクリッドの内張りを取りはずす。(寒冷地仕様車のみ)

注意

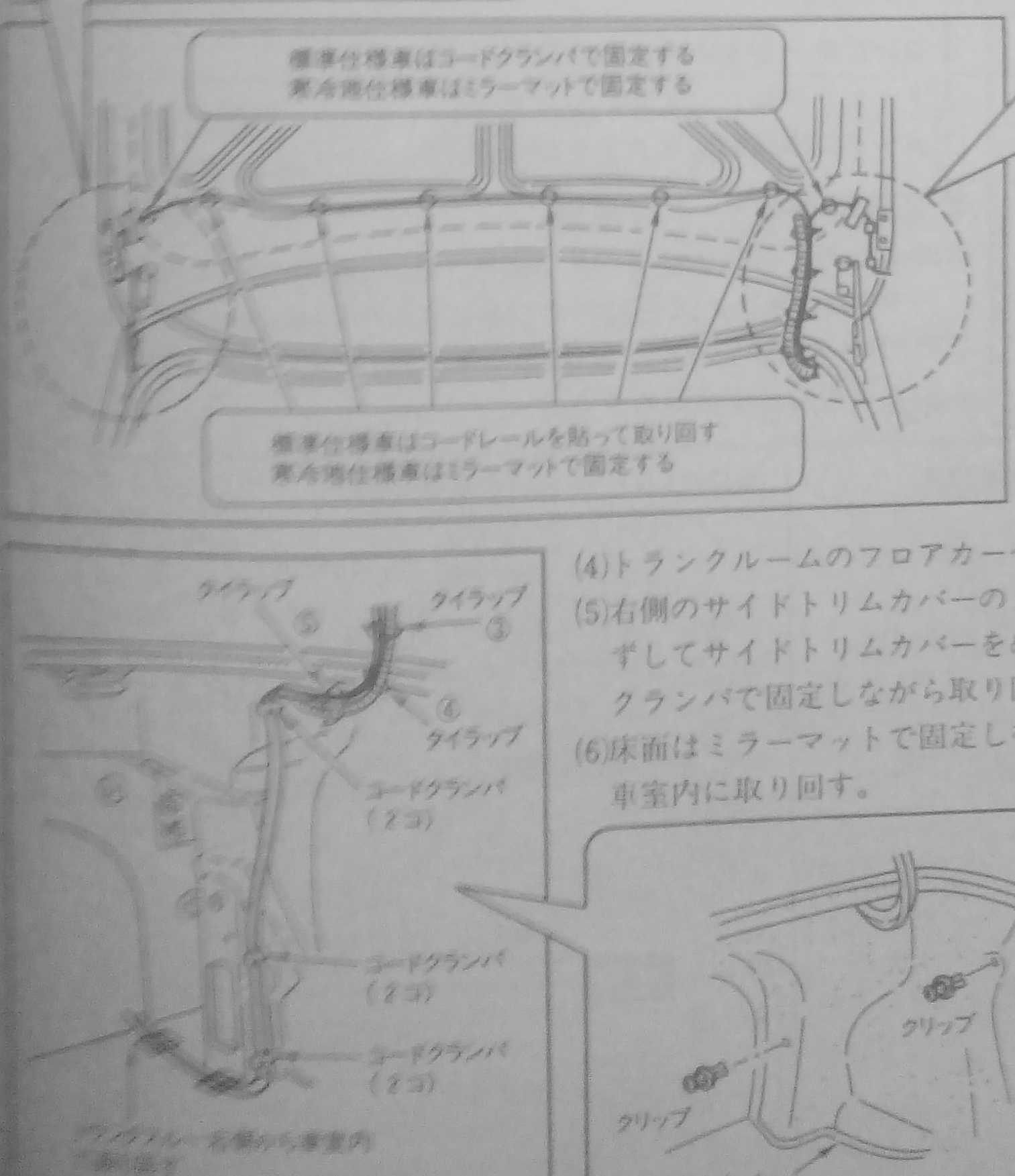
標準仕様車は内張り無し。
取り回しケーブルの固定方法は内張りの有無により異なる。

(2)トランクリッドを開めた時、ウエザーストリップと重なる位置に防水ゴムを移動し、その前後を該当車用説明に従って、コードクランパやミラーマットで固定する。

- 防水ゴムの移動は水または石鹸水をつけて行なうこと。
- ウエザーストリップに対しケーブルが直角に交差するように取り回すこと。



(3)左右からのアンテナケーブルをコルゲートチューブにタイラップ止めしながら取り回す。



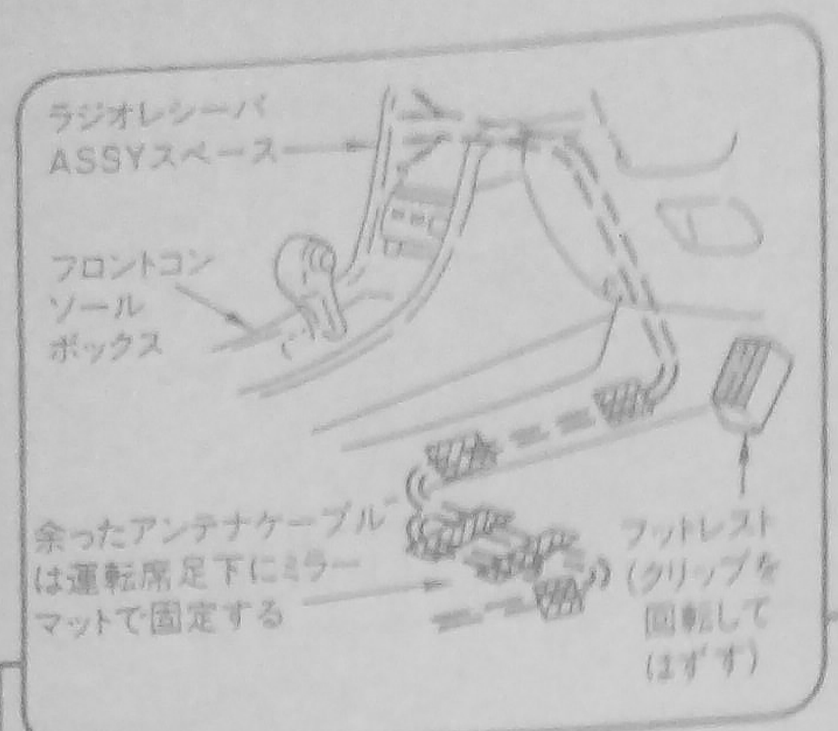


アンテナケーブルはコルゲートチューブにタイラップ止めして取り回す

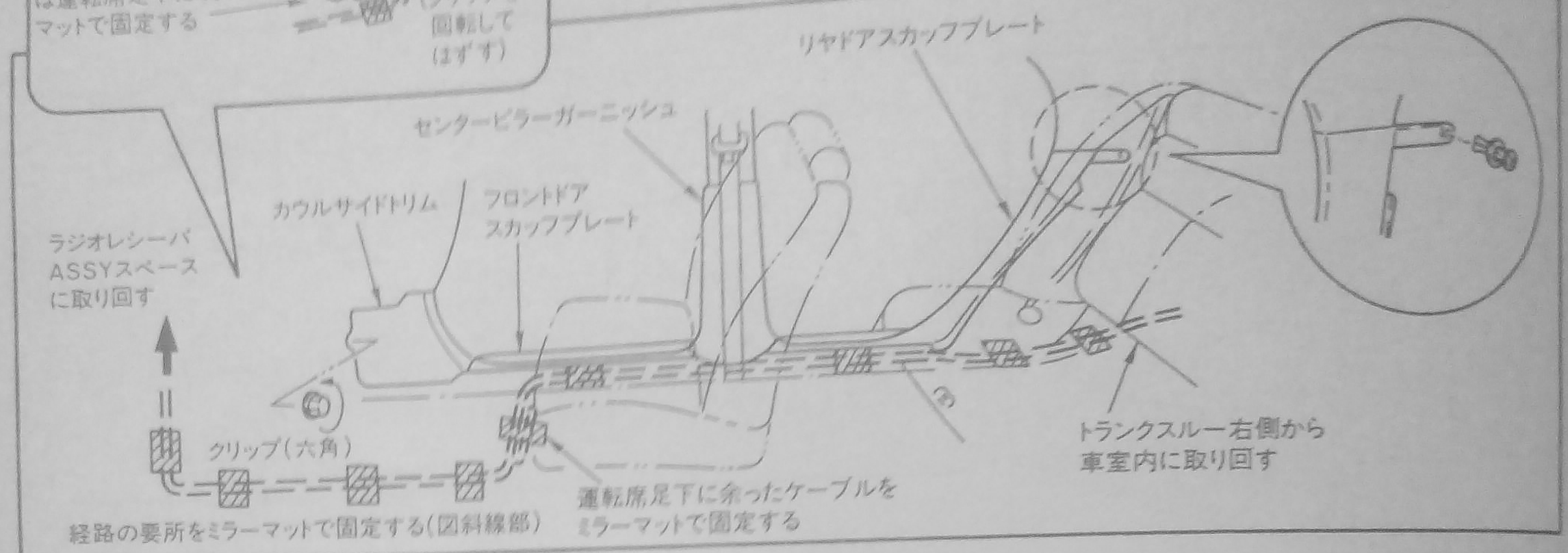
(4)トランクルームのフロアカーペットをはずす。

(5)右側のサイドトリムカバーの2ヵ所のクリップ(下図参照)をはずしてサイドトリムカバーをめくり、アンテナケーブルをコードクランパで固定しながら取り回す。

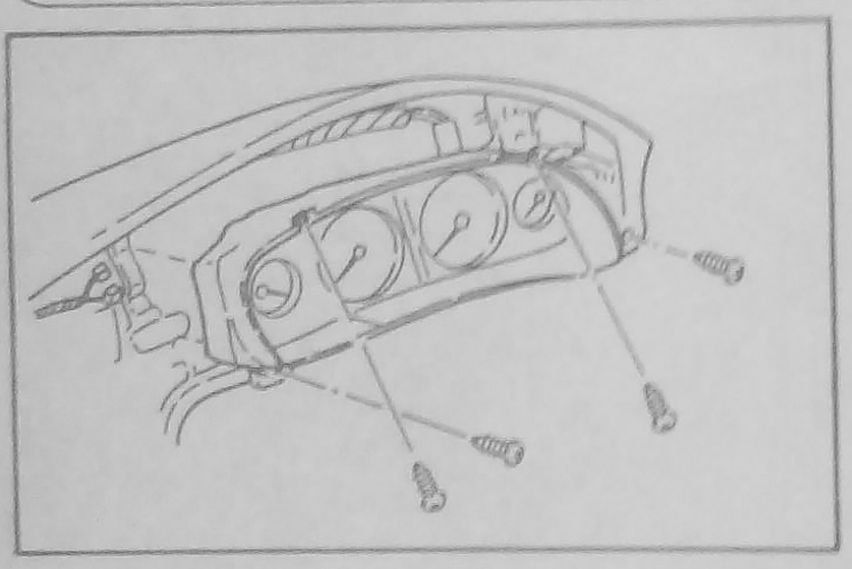
(6)床面はミラーマットで固定しながら、トランクスルーの右側から車室内に取り回す。



(7)右側のスカッフプレート(フロントとリヤ)、センターピラーガーニッシュ、カウルサイドトリムとフットレストをはずし、車体に沿ってフロアカーペット下を取り回す。
(8)運転席足下からコンソールボックス沿に取り回す。
(9)フロントコンソールボックス奥からラジオレシーバASSYスペースに取り回す。余ったアンテナケーブルは運転席足下にミラーマットで固定する。
(10)取り回し経路の要所をミラーマットで固定する。



2信号分岐リードの接続



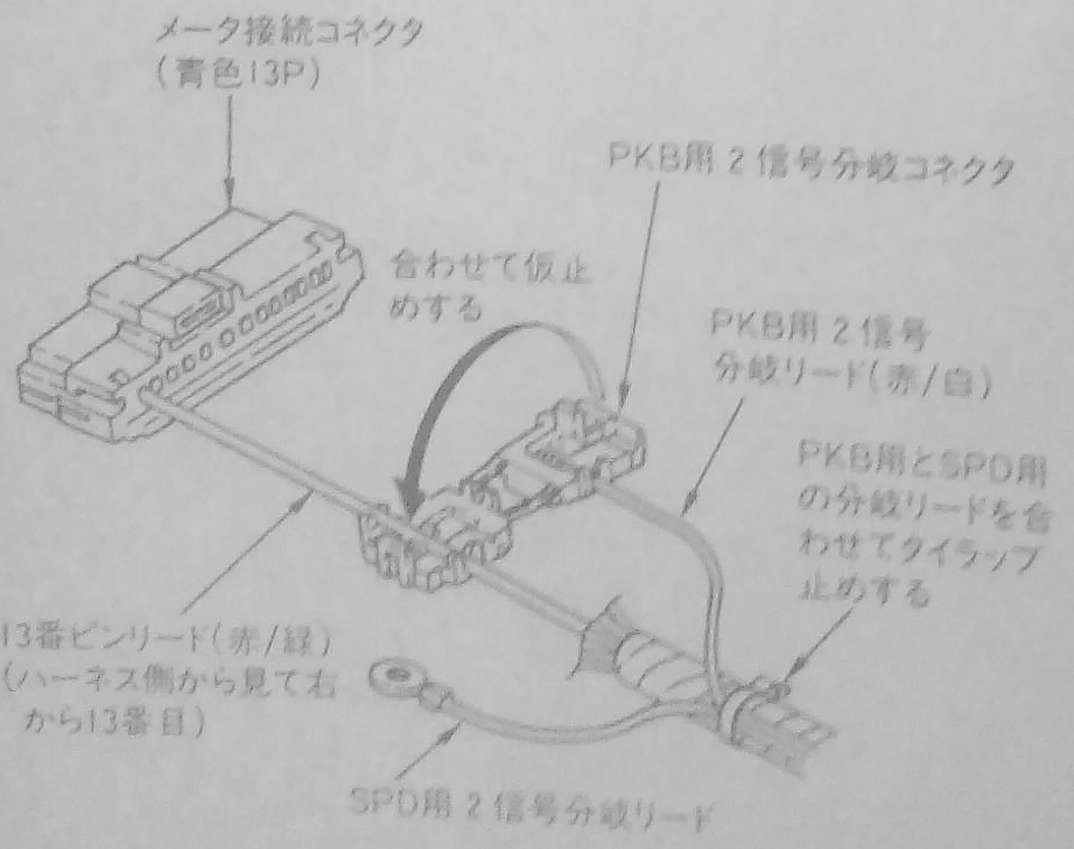
1 コンビネーションメータの取りはずし

(1)クッピングねじ（4本）をはずす。
(2)メークに接続のコネクタをはずす。

2 2信号分岐リードの接続

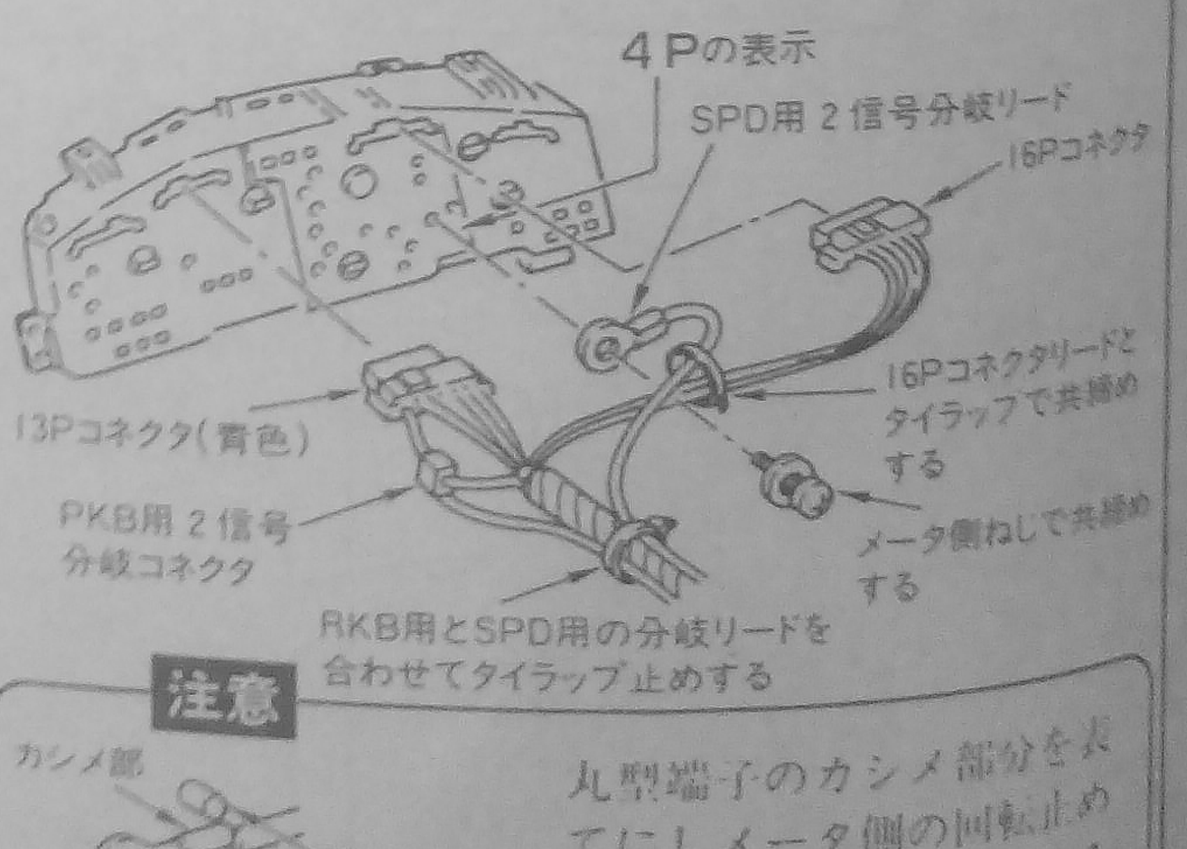
(1)ＰＫＢ用２信号分岐リード（線色：赤／白）の分岐コネクタをメーク接続コネクタ(青色13P)の13番ピンリード(赤／緑)にロックする。
(2)SPD用２信号分岐リード(線色：紫／白)はメータの４Pと表示された所のねじで共締めする。

PKB(パーキングブレーキ)信号の接続

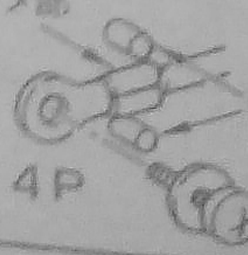


注：分岐コネクタのロック方法は次ページ参照

SPD(スピード)信号の接続

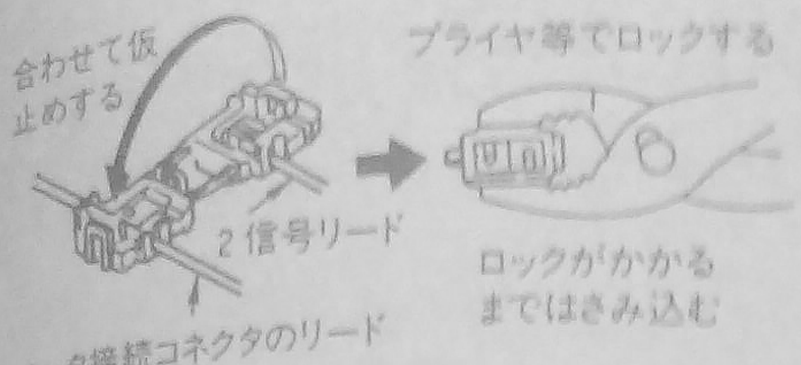


注意



丸型端子のカシメ部分を表てにしメータ側の回転止めボスに当ててねじ止めする

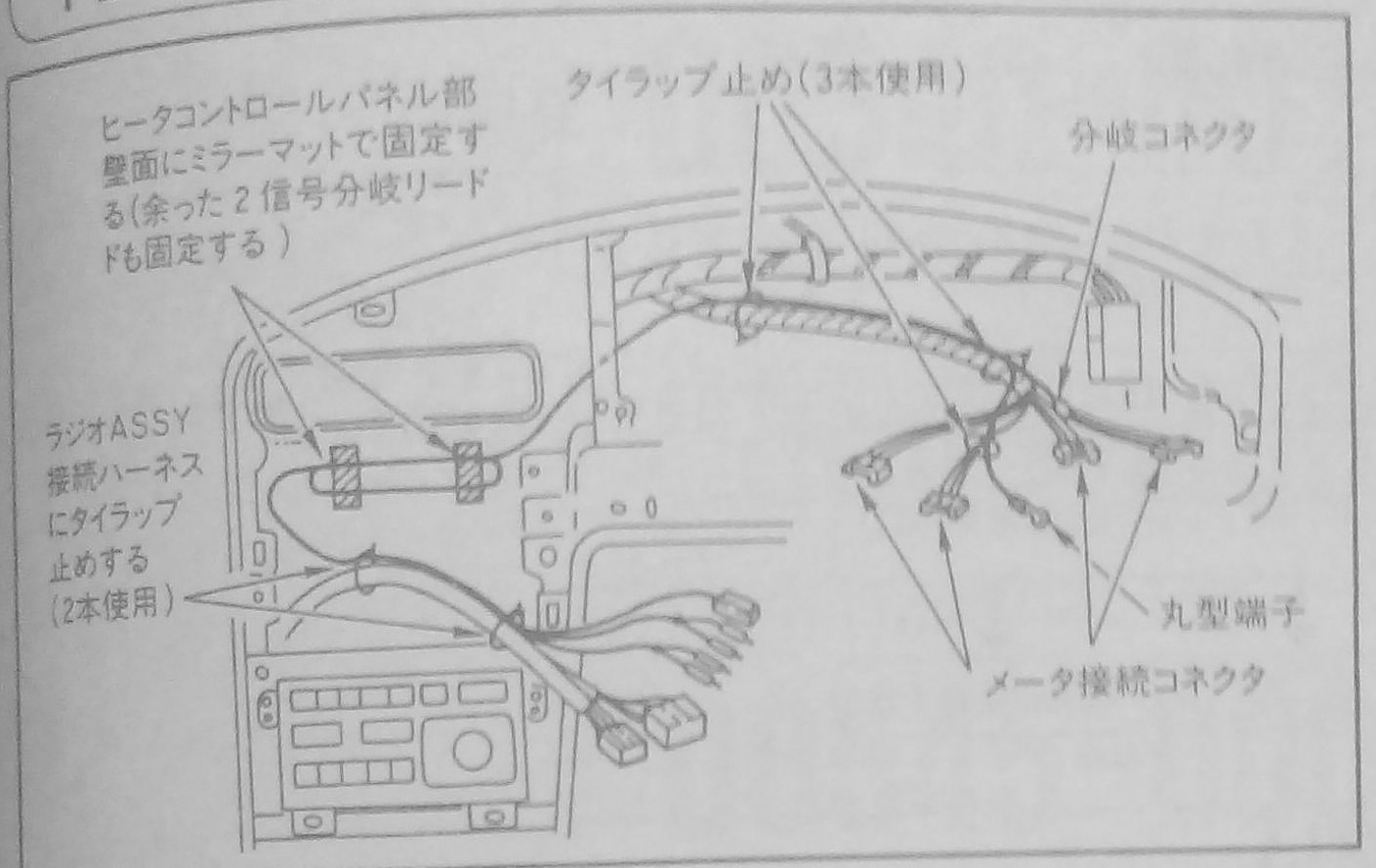
分岐コネクタのロック方法



注意

①接続コネクタの種類および線色を再度確認してからロックすること。(前ページ参照)
②ヒンジが折れても性能に影響ないため使用可。
③一度使用したものは使用不可。

1DIN4インチテレビの取付

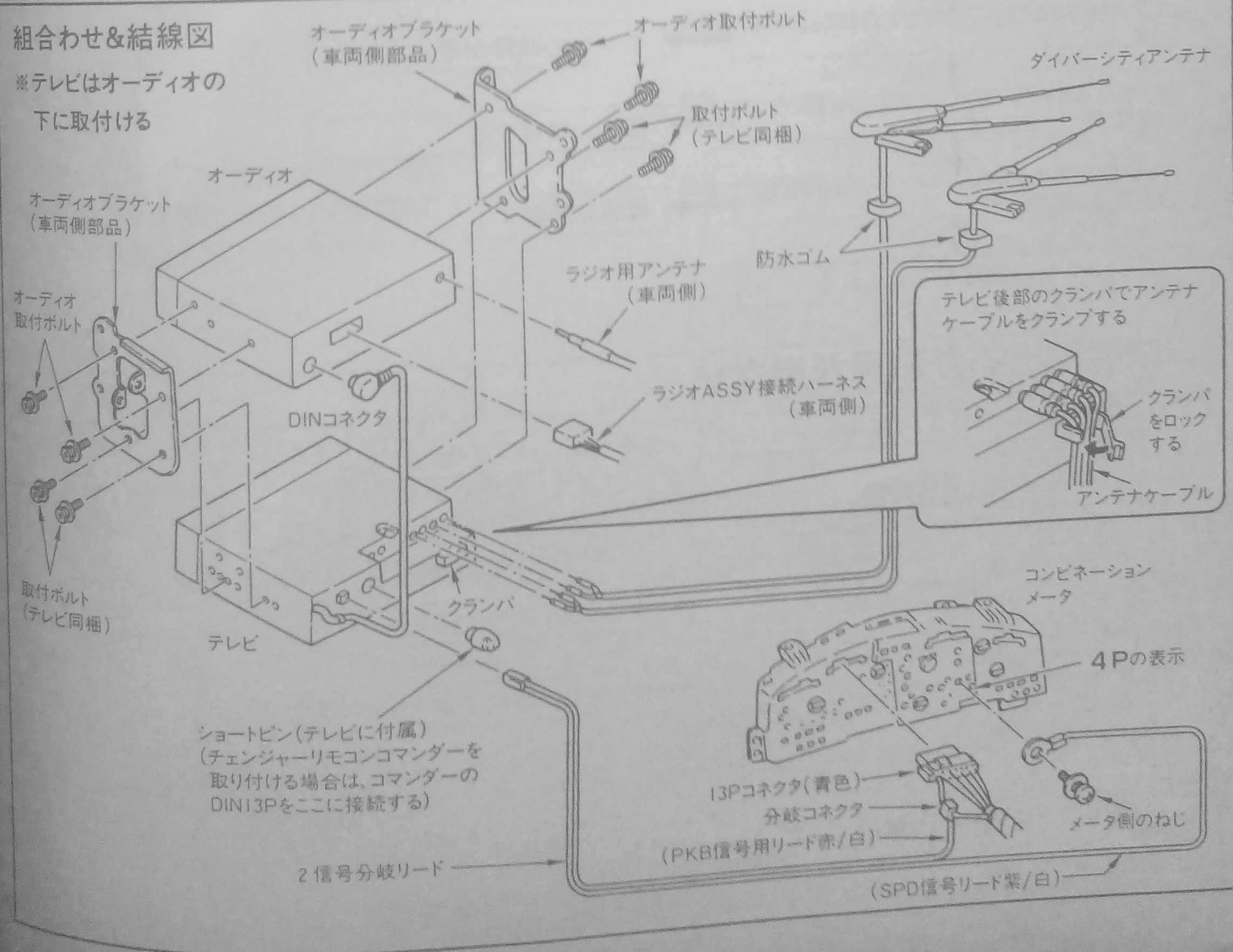


1 ケーブル類の取り回しとテレビの取付

(1)2信号分岐リードはメータ用ハーネスにタイラップ止め(3本使用)し、ラジオレシーバASSYスペースに取り回す。
(2)アンテナケーブルと2信号分岐リードをラジオレシーバASSY接続ハーネスにタイラップ止めする。(2本使用)
(3)ラジオレシーバASSYスペースの壁面(ヒータユニット)に余った2信号分岐リードをミラーマットで固定する。
(4)車両側のオーディオブラケットでテレビとオーディオを組合わせ、各結線をする。アンテナケーブルはテレビ後部のクランパで固定する。

組合わせ&結線図

※テレビはオーディオの下に取付ける



復元作業

ラジオASSYと組合わせたテレビを取付スペースに取付け後、取りはずした車両部品を元どおりに取付ける。

注意

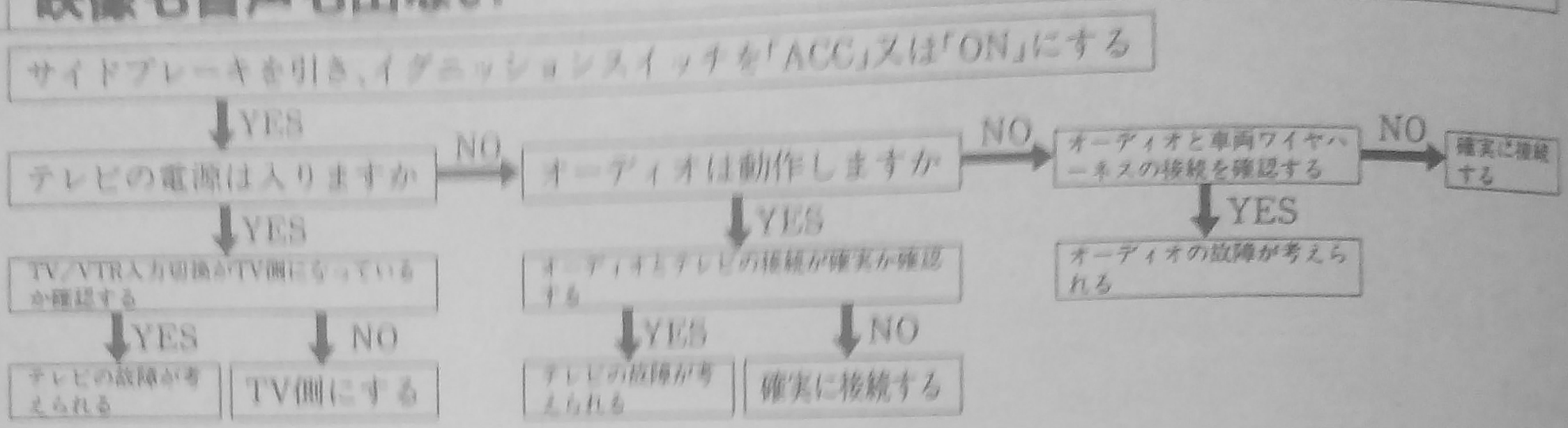
復元時に車両ハーネス等をかみ込んだり、車両部品を損傷させないように注意すること。

最終確認

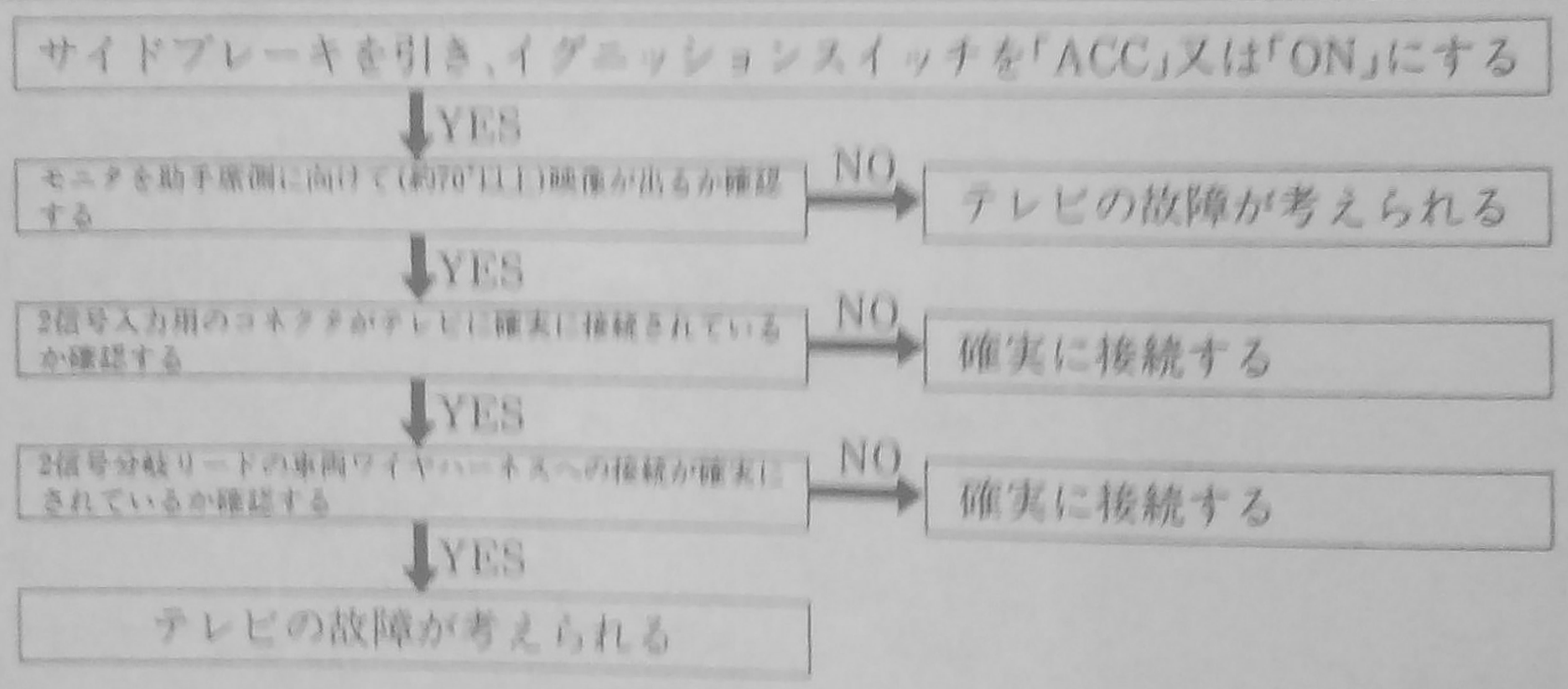
1. ハーネス類のかみ込み、車両部品の取り付けに異常がないか確認してください。
2. ライトスイッチ、フロントワイパー及びウォッシャースイッチ、メーター、表示灯、警告灯などの車両機能に異常がないか確認してください。

トラブルシュート

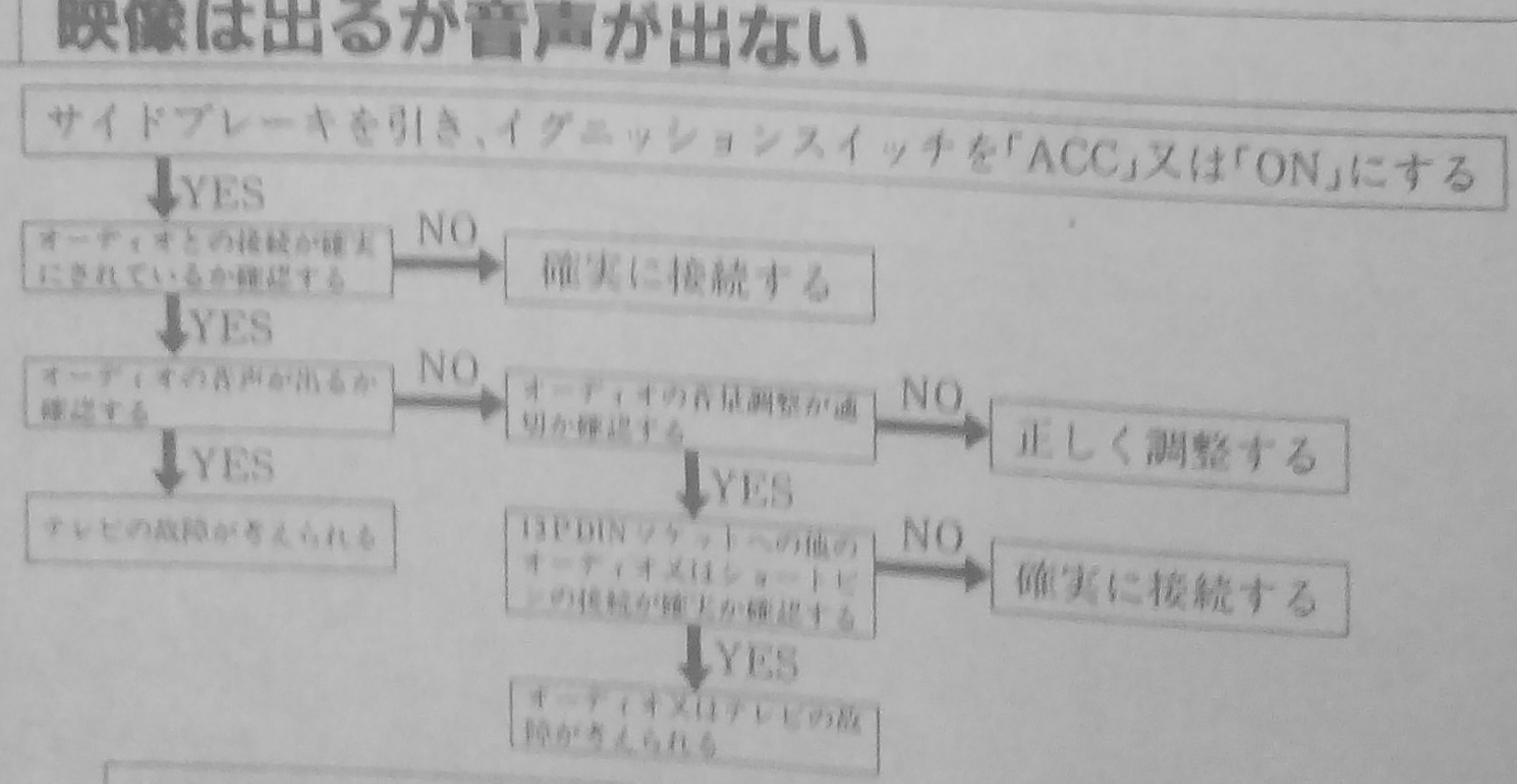
1 映像も音声も出ない



2 音声は出るが映像が出ない



3 映像は出るが音声が出ない



取り付け店殿へのお願い

- 必ずお客様に操作要領を説明してください。

お客様用

トヨタ純正 1DIN4インチ テレビ&ダイバーシティアンテナ取扱書

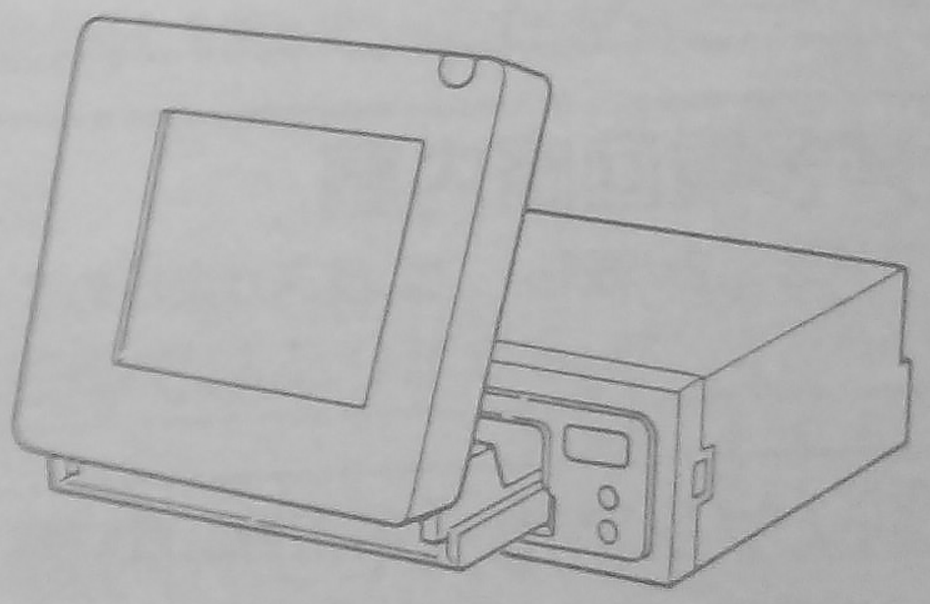
このたびはトヨタ純正1DIN4インチテレビ&ダイバーシティアンテナをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱書をお読みいただき、正しい取り扱い方法により長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

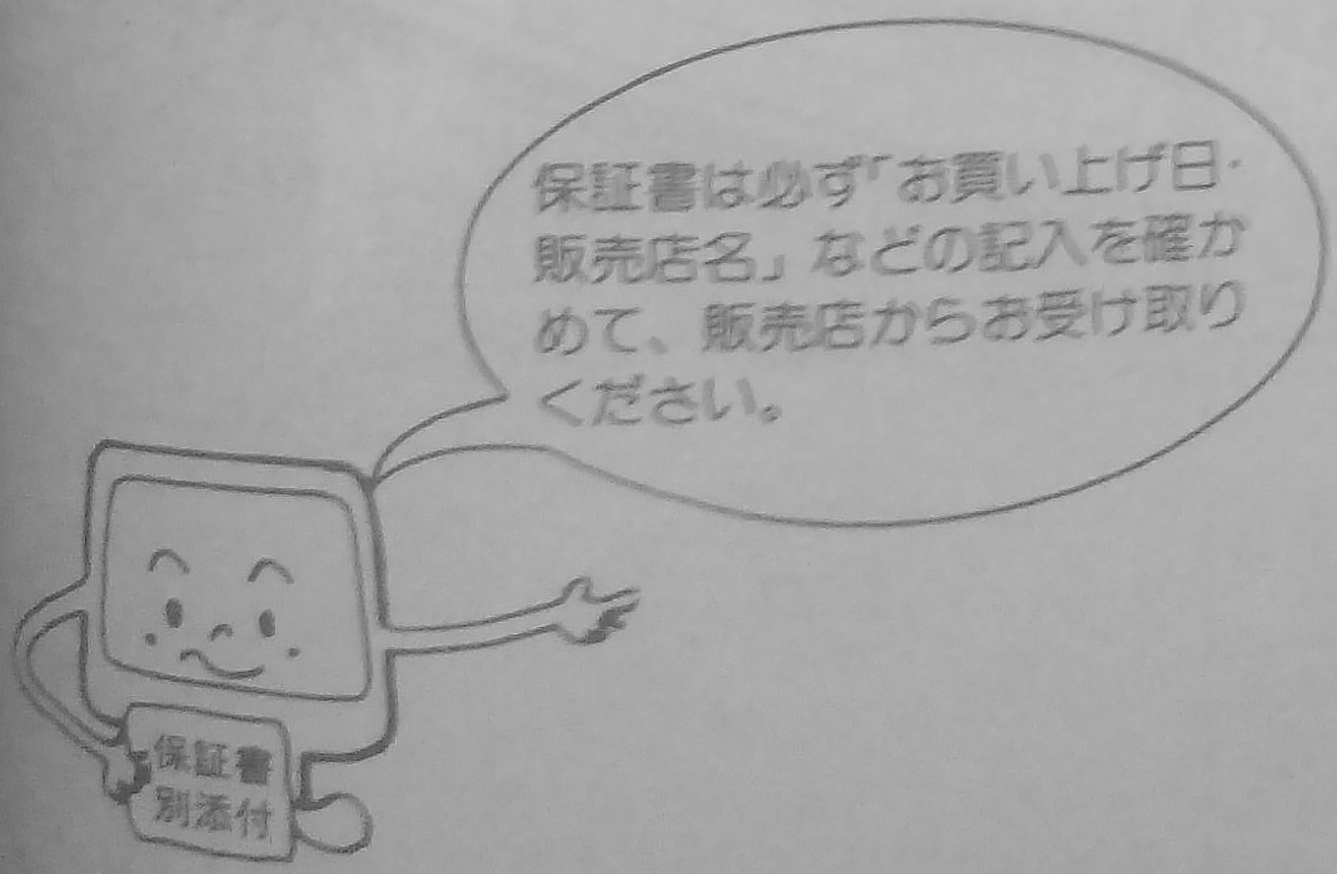
品番 **08540-00170**
（1DIN4インチテレビ）

品番 **08545-00050**
（1DIN4インチテレビ+ダイバーシティアンテナ（はり付け型））

品番 **08545-00070**
（1DIN4インチテレビ+ダイバーシティアンテナ（トランクリッド取り付け型））

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の
製造番号をお確かめください。

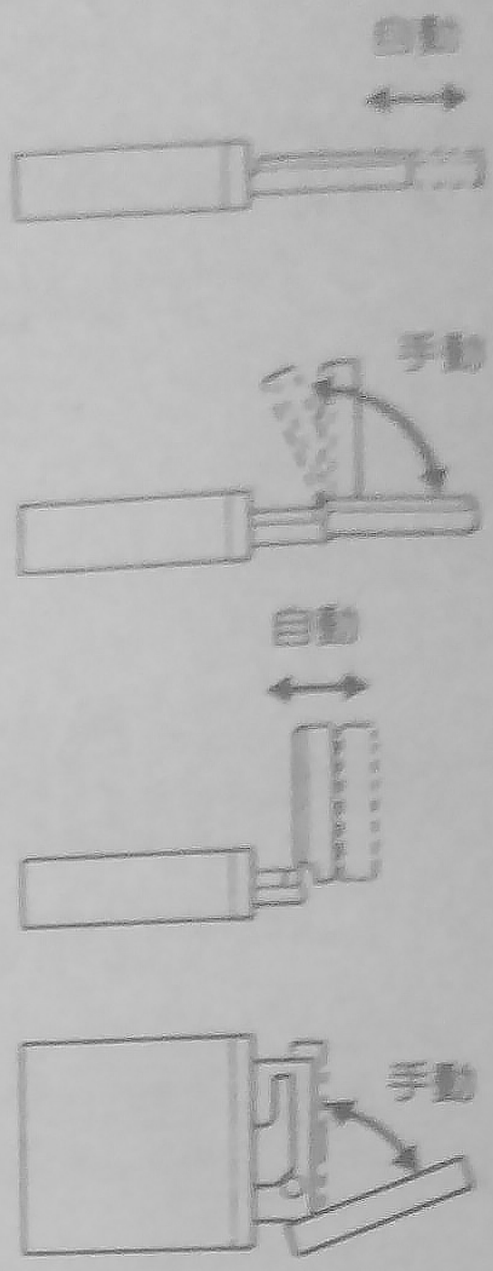




1.1DIN※サイズに4インチカラーモニター内蔵

- モーターローディングによるモニター引き出し、収納方式を採用し、使用時にワンタッチで引き出せます。また、モニターは引き出して水平状態のまま10秒以上たちますと、自動的に収納されます。
- モニターは前後方向に水平から115度まで角度調整ができます。
  (サイドブレーキを引いたときモニターを立てますと自動的に映像と音声がでます。)
- モニターは立てた状態で前後方向2段階スライドできます。
- モニターは助手席方向に90度向けられます。
  (約70度以上の角度で走行中でも絵が映ります。)

※DIN(Deutsche Industrie Normen) サイズとは日本の工業標準規格(JIS)のドイツ版がDINでティンと発音します。(1DINとは横幅18cm,高さ5cmの大きさをいいます。)



2. 低反射液晶パネルを採用

車内外からの光などによる画面反射を極力抑えた低反射液晶パネルを採用。

3.4チャンネルダイバーシティ回路内蔵

安定した画像を生み出す4チャンネルダイバーシティ回路内蔵。

4.音声多重回路内蔵

ステレオ放送、2ヵ国語(二重)放送が楽しめます。

5.自動チャンネルメモリー内蔵

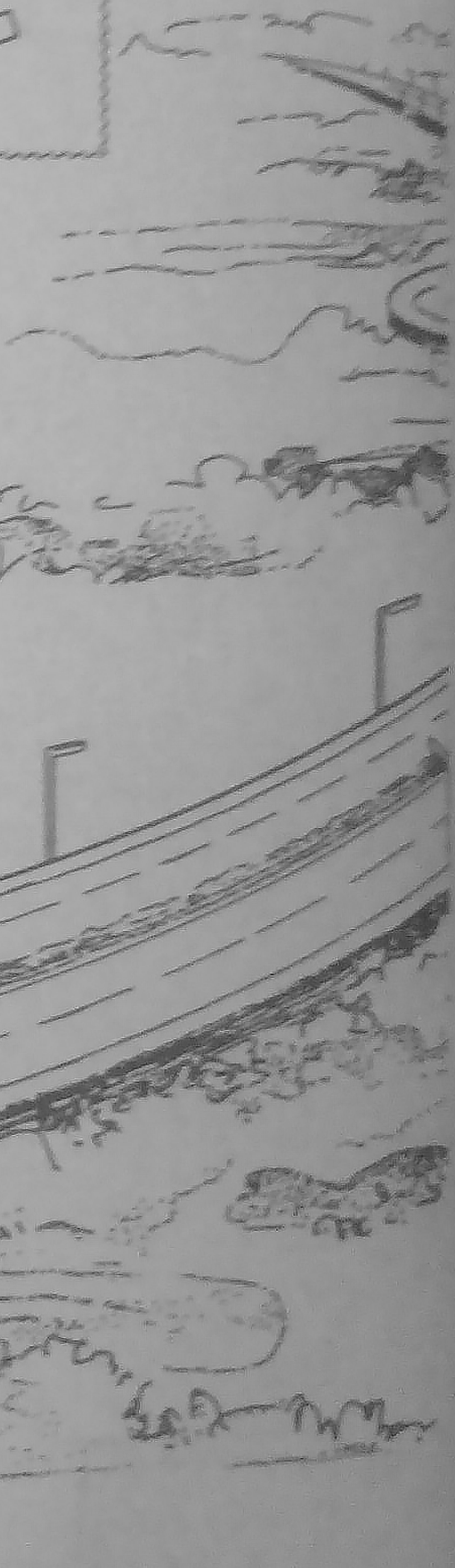
チャンネルボタンを2秒以上押すだけで、放送中の受信可能なチャンネルを全てメモリーできます。

6.ビデオ入力端子(映像、音声)付

ビデオムービー、車載用ビデオのモニターとして使用できます。

7.ワイヤレスリモコン(別売)対応

別売のワイヤレスリモコンが使用できます。



もくじ



使用前に

説明のはじまるページ

各部の名称とはたらき …… 4

使い方

アンテナの取り扱いかた …… 8

基本操作 …… 9

選局のしかた …… 14

２カ国語（二重）放送について …… 16

ビデオモニターとして使いたいとき …… 17

上手にご使用いただくために

使用上のご注意 …… 18

こんなときは故障ではありません …… 19

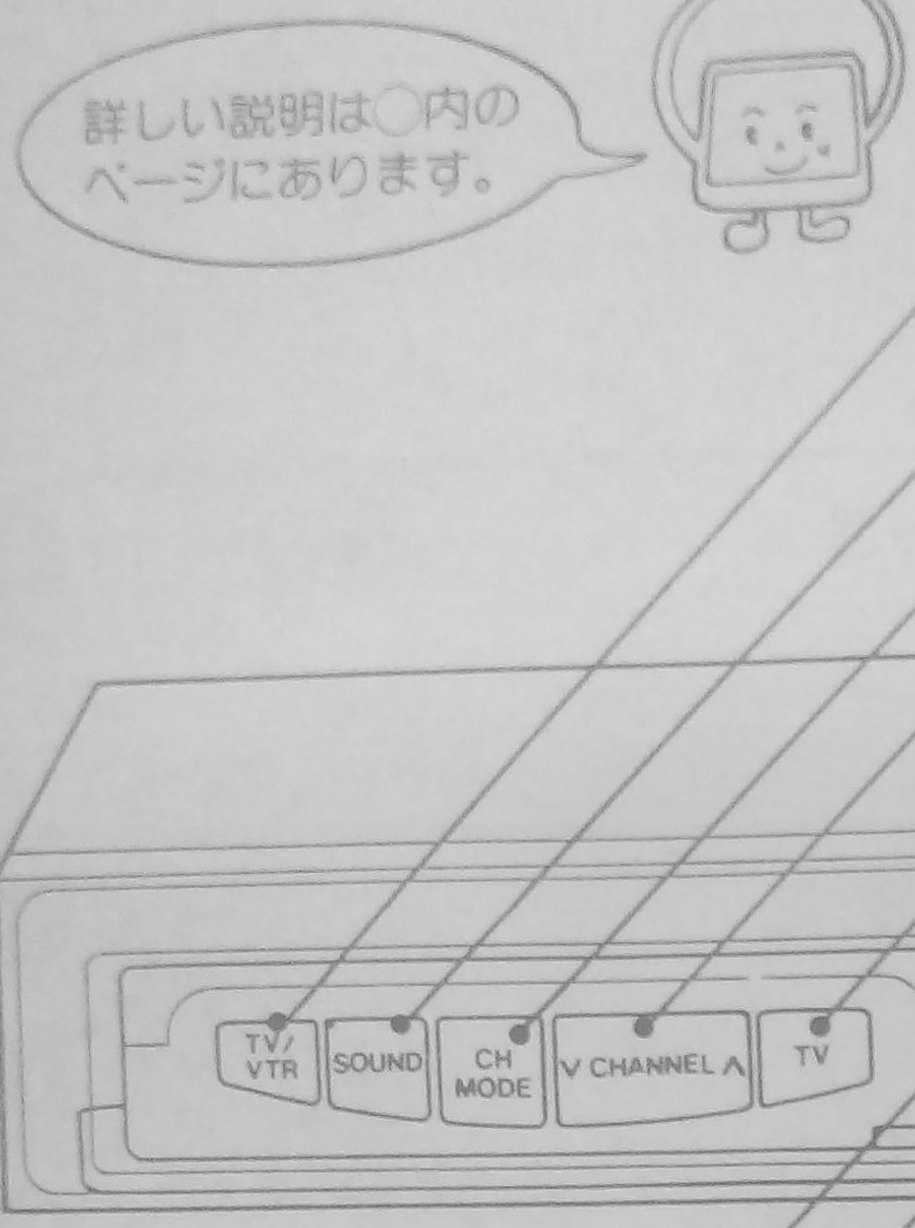
故障とお考えになる前に …… 20

アフターサービスについて …… 21

仕様 …… 22

各部の名称とはたらき

テレビ本体



テレビ/ビデオ入力切換(TV/VTR) 13・17

音声モード切換(SOUND) 16

マニュアルサーチ/メモリーサーチ切換(CH MODE) 15

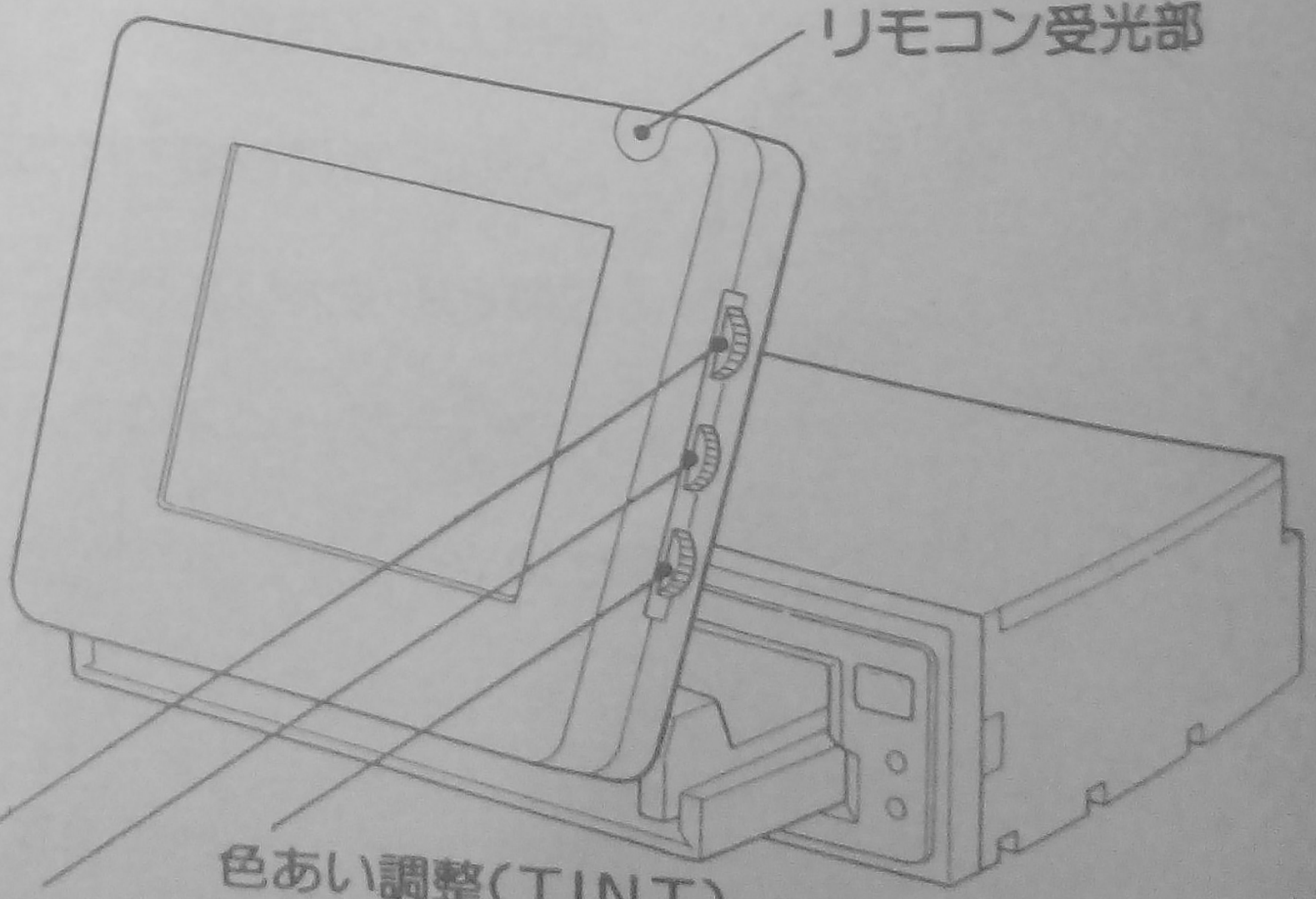
選局(CHANNEL) 11・14・15

テレビON/オンスクリーン表示(TV) 9・11

音声入力(AUDIO) 17

映像入力(VIDEO)

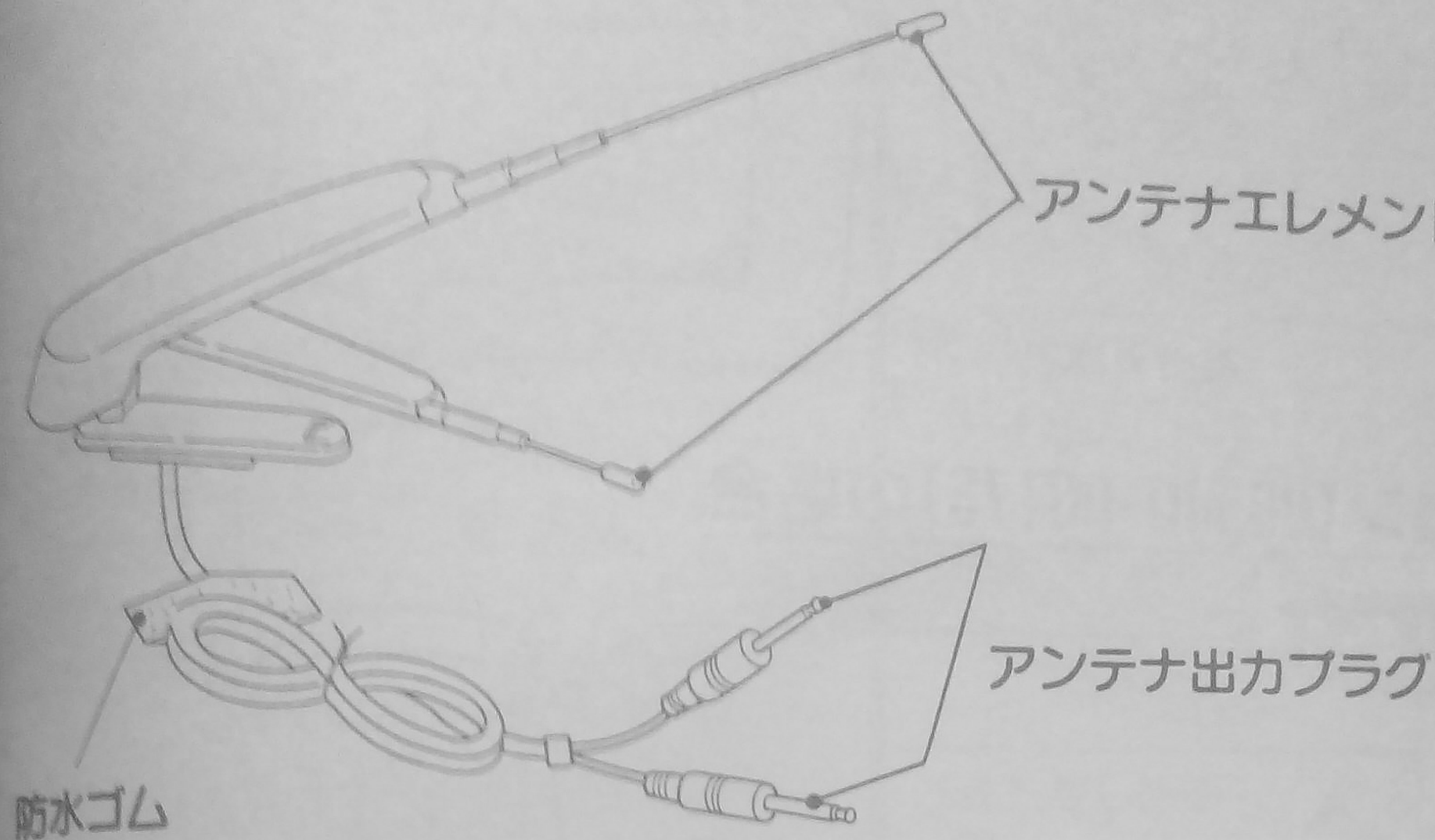
モニターオープン(OPEN) 9・13



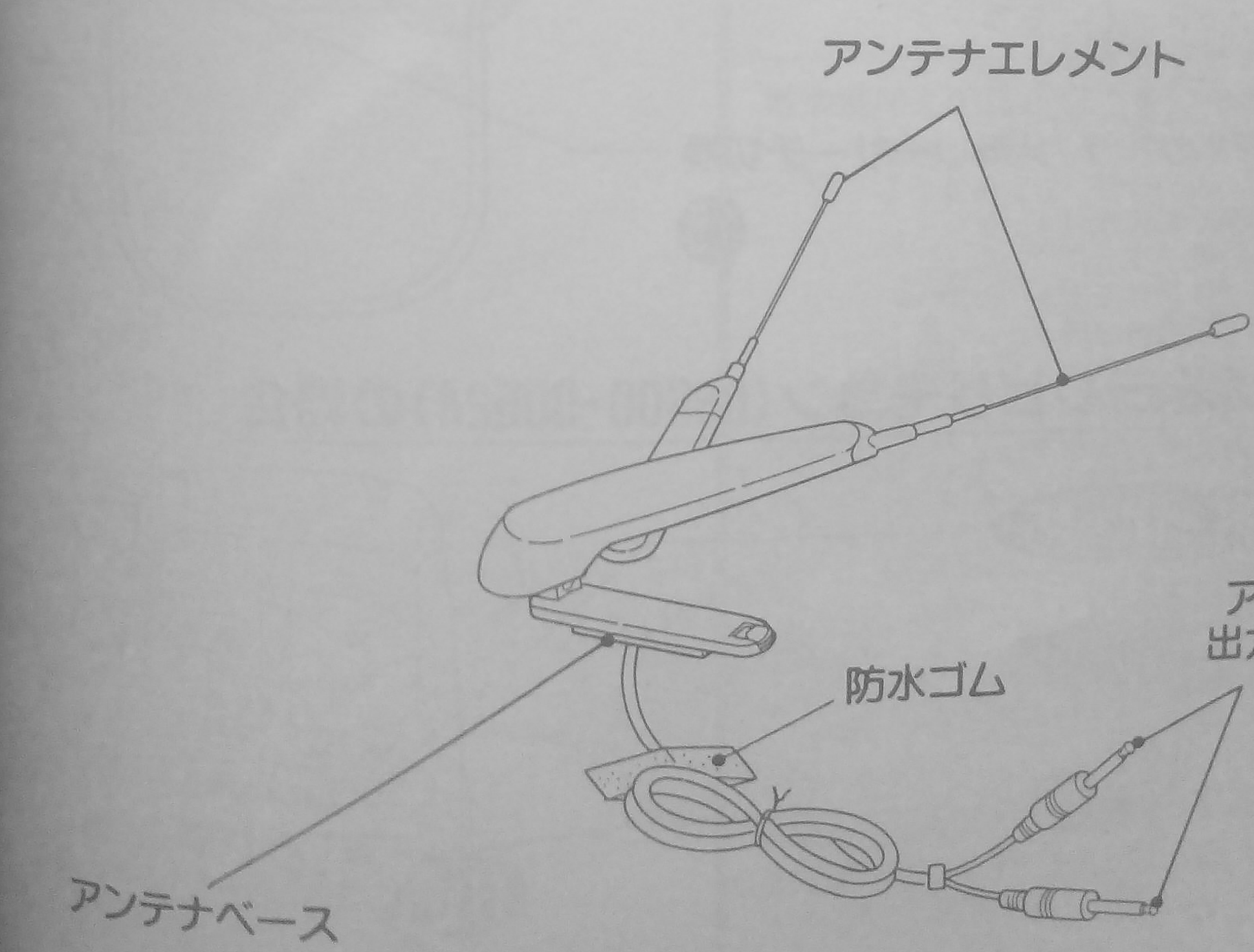
11

ダイバーシティアンテナ（08545-00050、08545-00070の場合、同梱されています。）

（右側用）

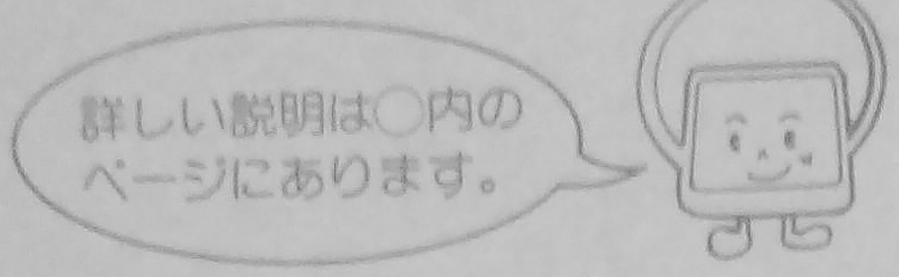


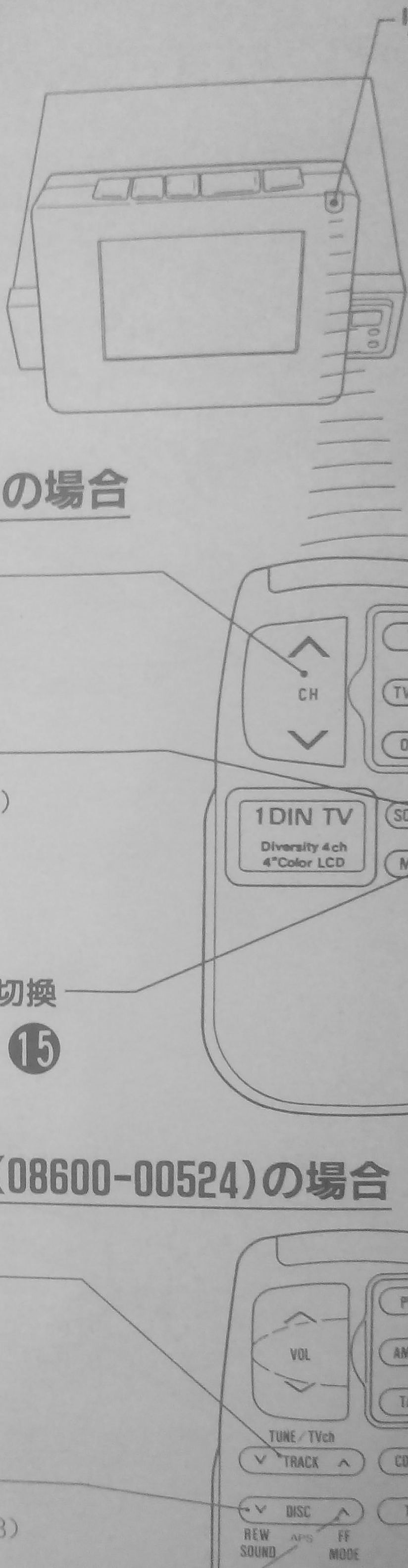
（左側用）



トランクリッド取り付け型（08545-00070に同梱）
トランクリッドに取り付けます。
はり付け型（08545-00050に同梱）
リアウィンドー、ルーフ等に取り付けます。

ワイヤレスリモコン（別売）





テレビリモコン（08540-00175）の場合

選局 11・14・15

音声モード切換 16

2ヵ国語（二重）放送のとき（MAIN）・（SUB）
（MAIN-SUB）音声が選べます。

マニュアルサーチ/メモリーサーチ切換
15

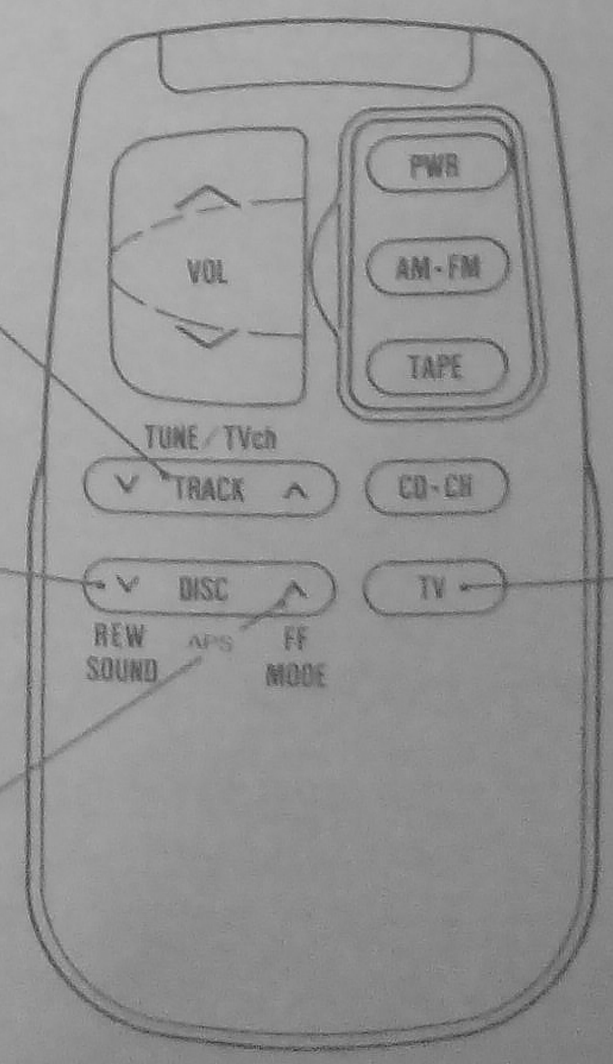
オーディオ&テレビリモコン（08600-00524）の場合

選局 11・14・15

音声モード切換 16

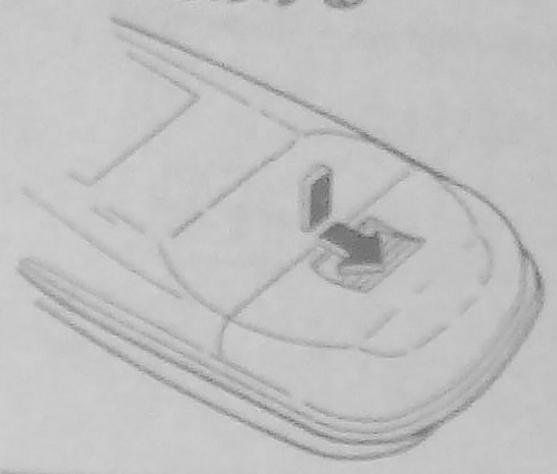
2ヵ国語（二重）放送のとき（MAIN）・（SUB）
（MAIN-SUB）音声が選べます。

マニュアルサーチ/メモリーサーチ切換
15

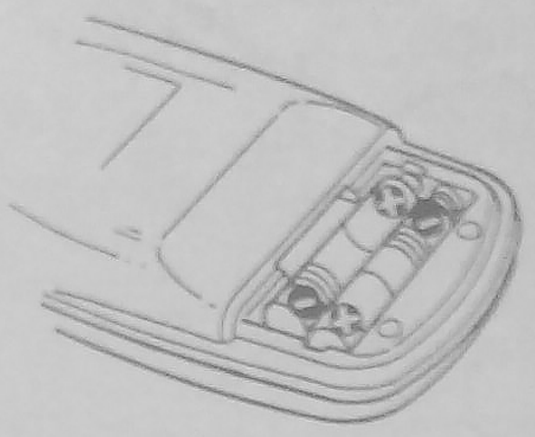


電池の入れかた

1 ふたをあける



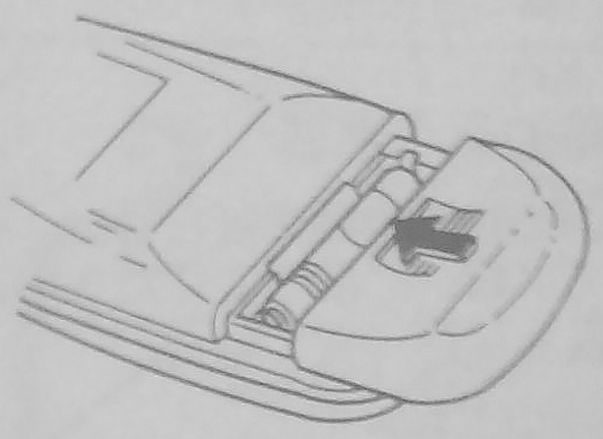
2 電池を入れる



付属の単4形乾電池を、極性に注意して図のように入れてください。

※充電式(Ni-Cd)電池は使用しないでください。

3 ふたをしめる



ナショナルネオ(黒)単4形乾電池で約6ヵ月使用できます。(常温時)

電池使用上のご注意

電池の破裂や液もれを防ぐため、次のことをお守りください。



- 種類の違うものや新・旧を混ぜて使わない。
- 電池は充電できません。
- ⊕極と⊖極をショートさせない。
- 分解しない。
- 使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。

リモコン使用上のご注意

- 液状のものを掛けないように。
- リモコンを落とさないように。

リモコンが使えないときは

- 電池の極性はまちがっていませんか?

テレビON/オンスクリーン表示 9・11

テレビ/ビデオ入力切換 13・17

テレビ画面、ビデオ入力画面の切換えができます。

モニターオーブン 9・13

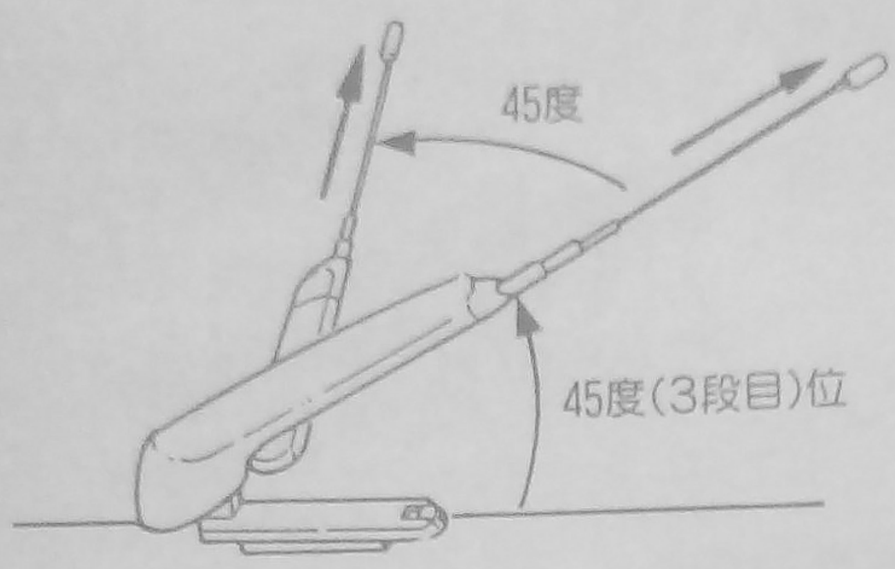
テレビON/オンスクリーン表示 9・11

アンテナの取り扱いかた

取り付け後の角度は…

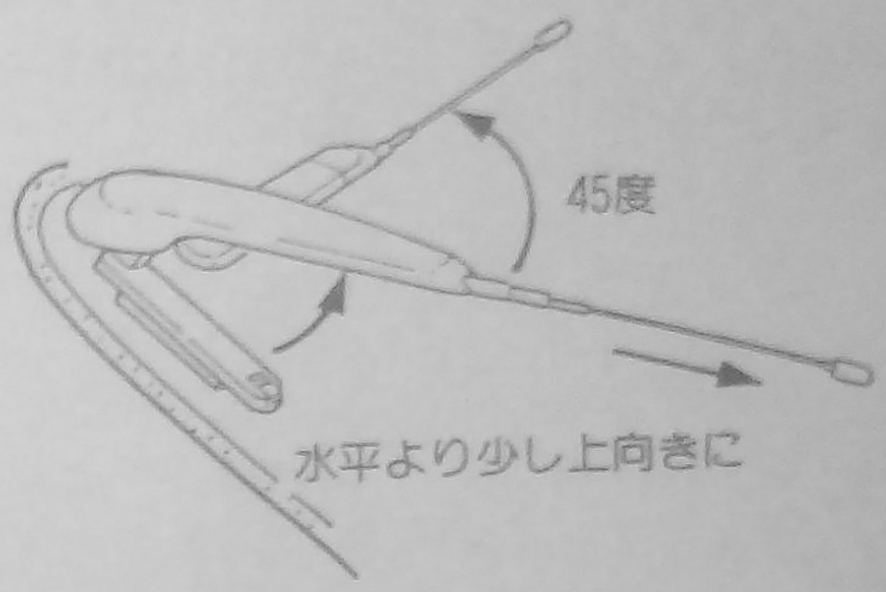
トランクリッド、ルーフ等に取り付けた場合

エレメントを伸ばし、角度は45度位を目安に映りがよくなるよう調整してください。



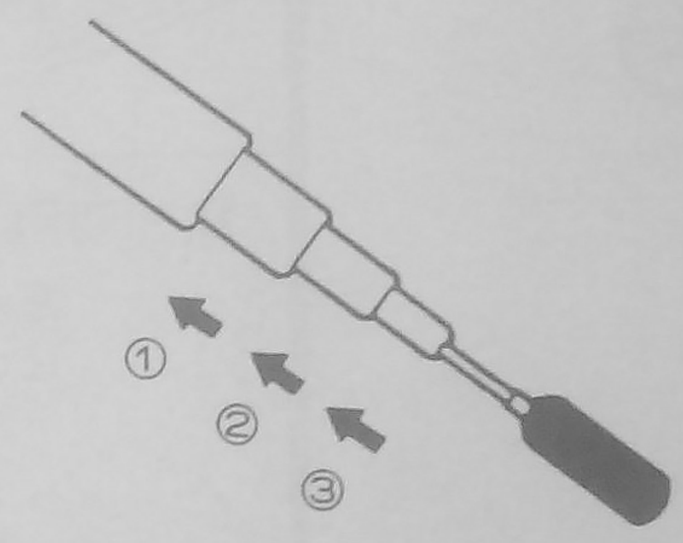
リアウィンドーに取り付けた場合

エレメントは引き伸ばし、角度は水平より少し上向きを目安に映りが良くなるよう調整してください。



エレメントを縮めるときは…

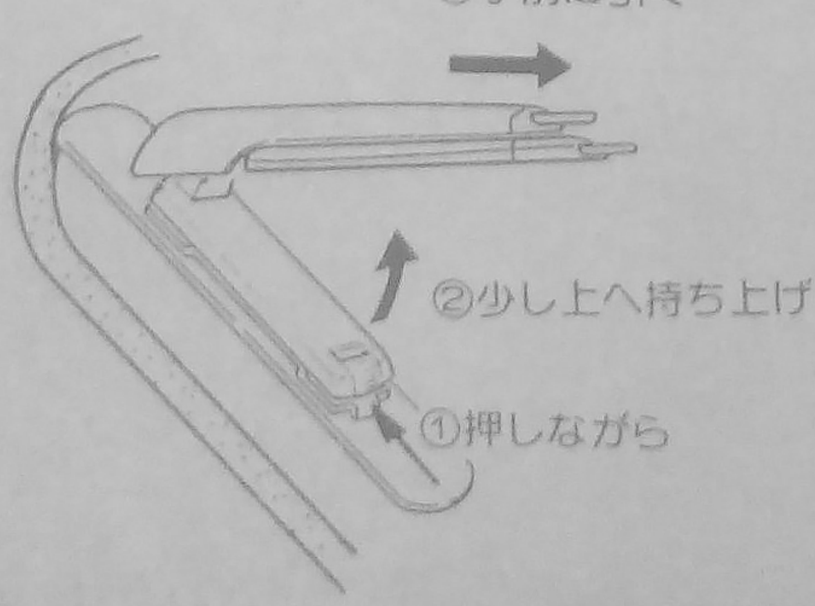
太い部分から順番に収納してください。
先端は細いのでていねいに扱ってください。



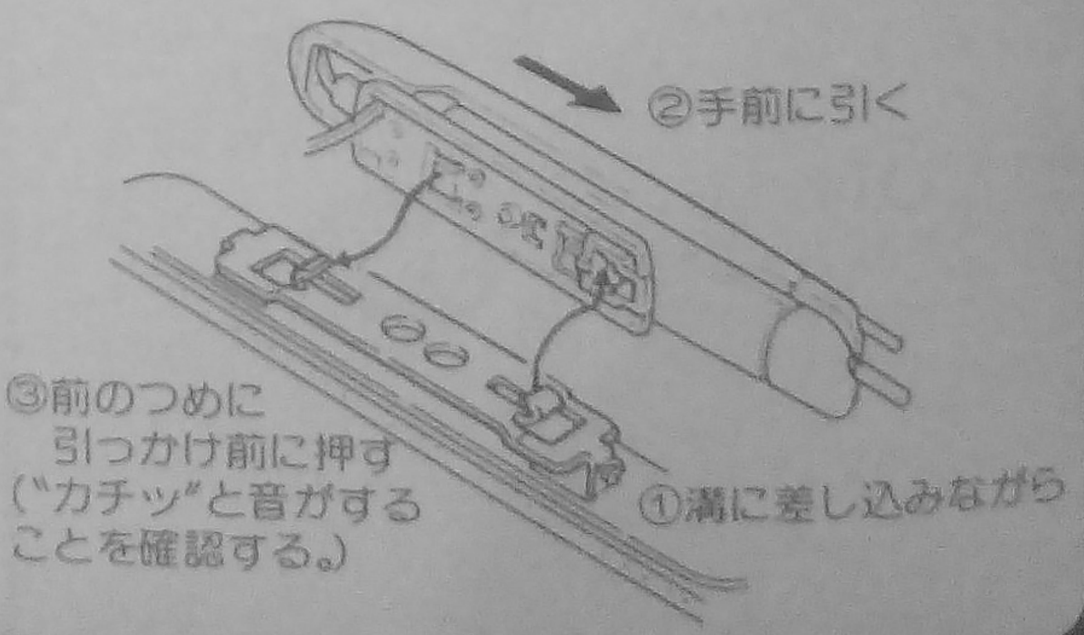
アンテナの着脱方法について

自動洗車機で洗車または長時間駐車される場合は外し、トランク内へ収納してください。

外しかた



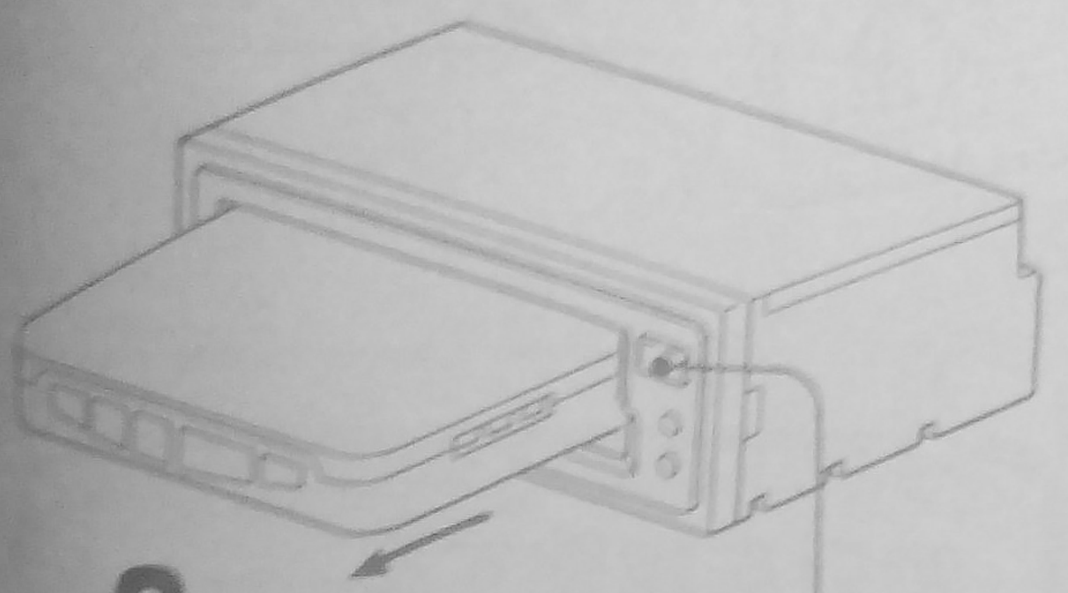
取り付けかた



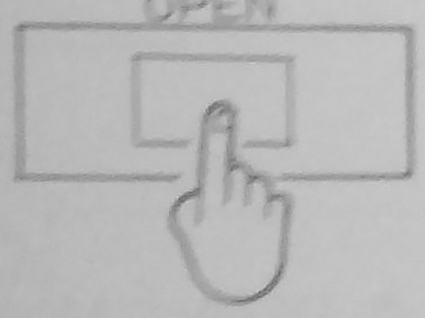
基本操作

1 エンジンスイッチをONまたはACCにする。

モニターが収納されている場合

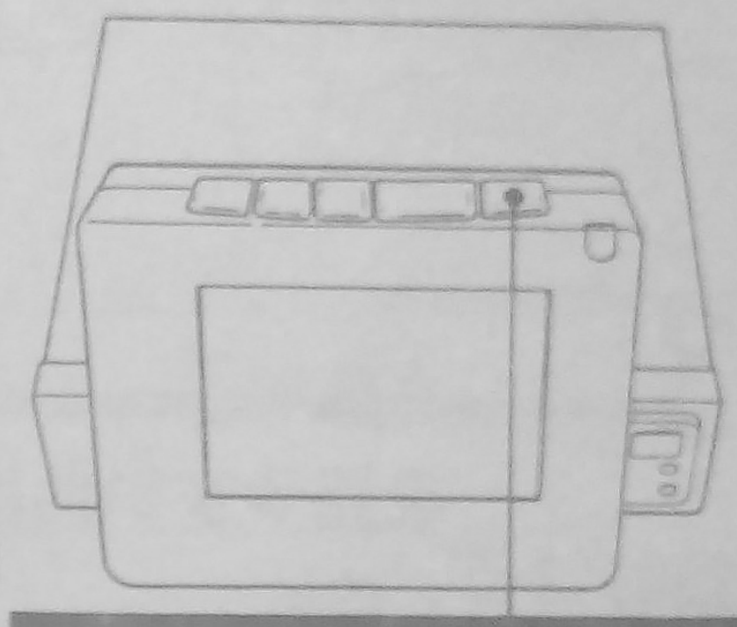


2 モニターを出す。

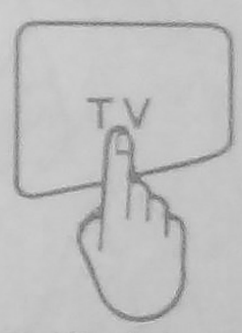


モニターオープンボタンを押して離すと自動的にモニターが出てきます。
モニターをさらに手前に出したいときは、もう一度押してから離してください。
(13ページ参照。)

モニターが立ててある場合



2 TV ボタンを押す。



テレビボタンを押すと、映像と音声が出ます。
モニターのスライド量を調整したいときはもう一度押してください。
(13ページ参照。)

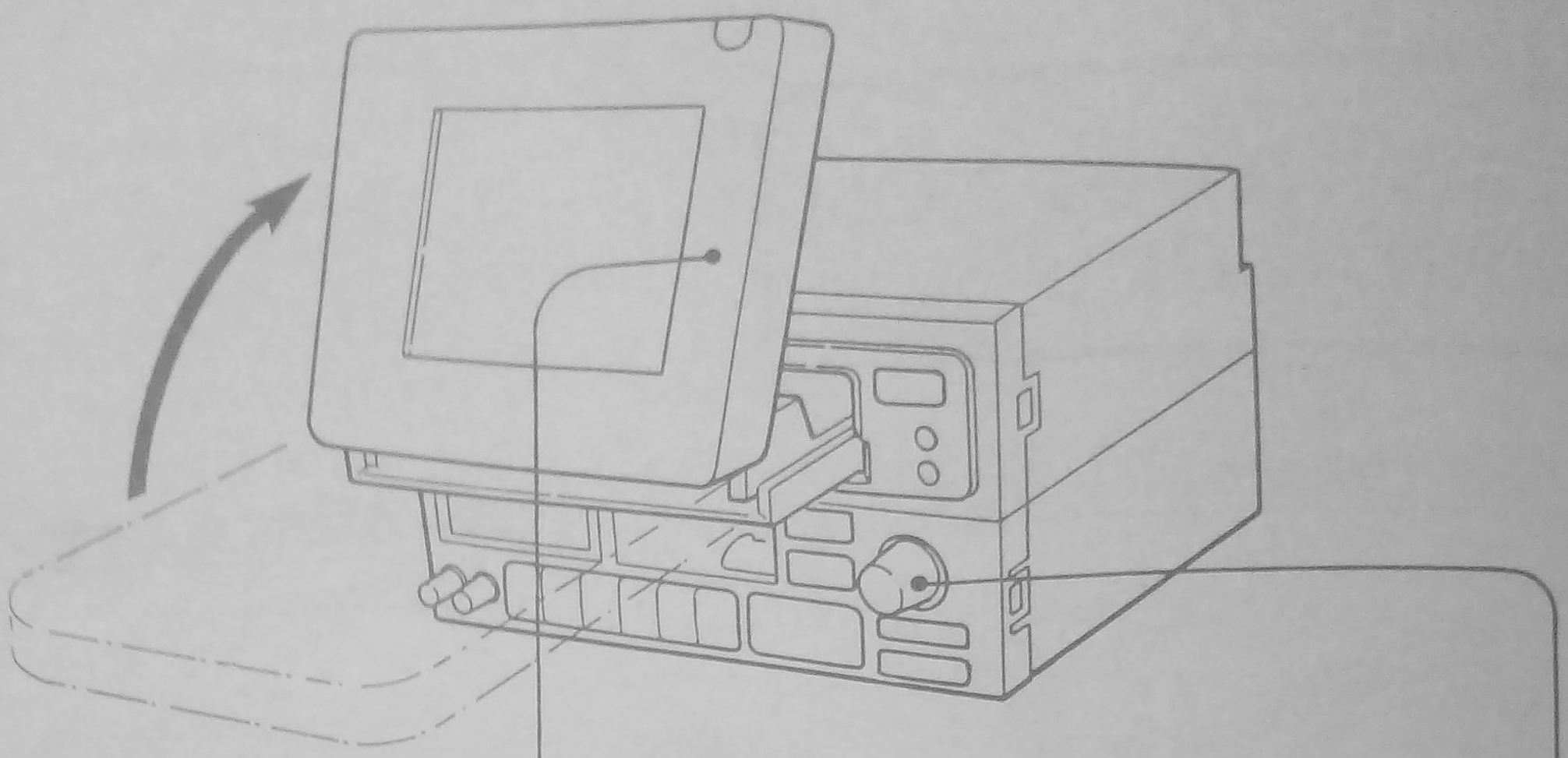
走行中の映像について…
(13ページ参照。)

ご注意
エンジンを止めたままでテレビを見るのは控えてください。
(バッテリーあがりの原因となります。)

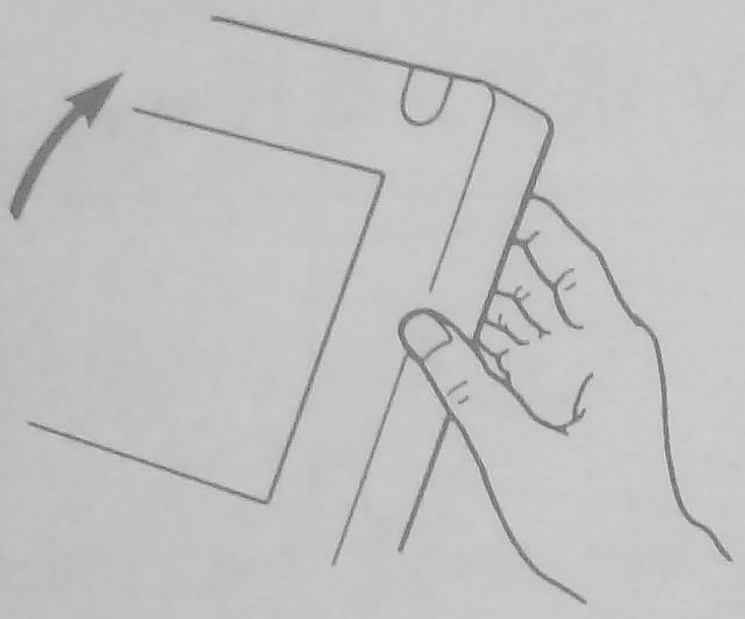
モニターが水平のままの状態で10秒以上たつと…
モニターは自動的に収納されます。

モニターが水平の状態でモニターオープンボタンを2秒以上押しつづけると…
モニターは自動的に収納されます。

モニターのスライドについて…
(13ページ参照。)



3 モニターを見やすい角度に合わせる。



モニターが収納されていた場合は、モニターを起こすと、自動的に電源が入り、映像と音声がでます。

4 音量を調整する。

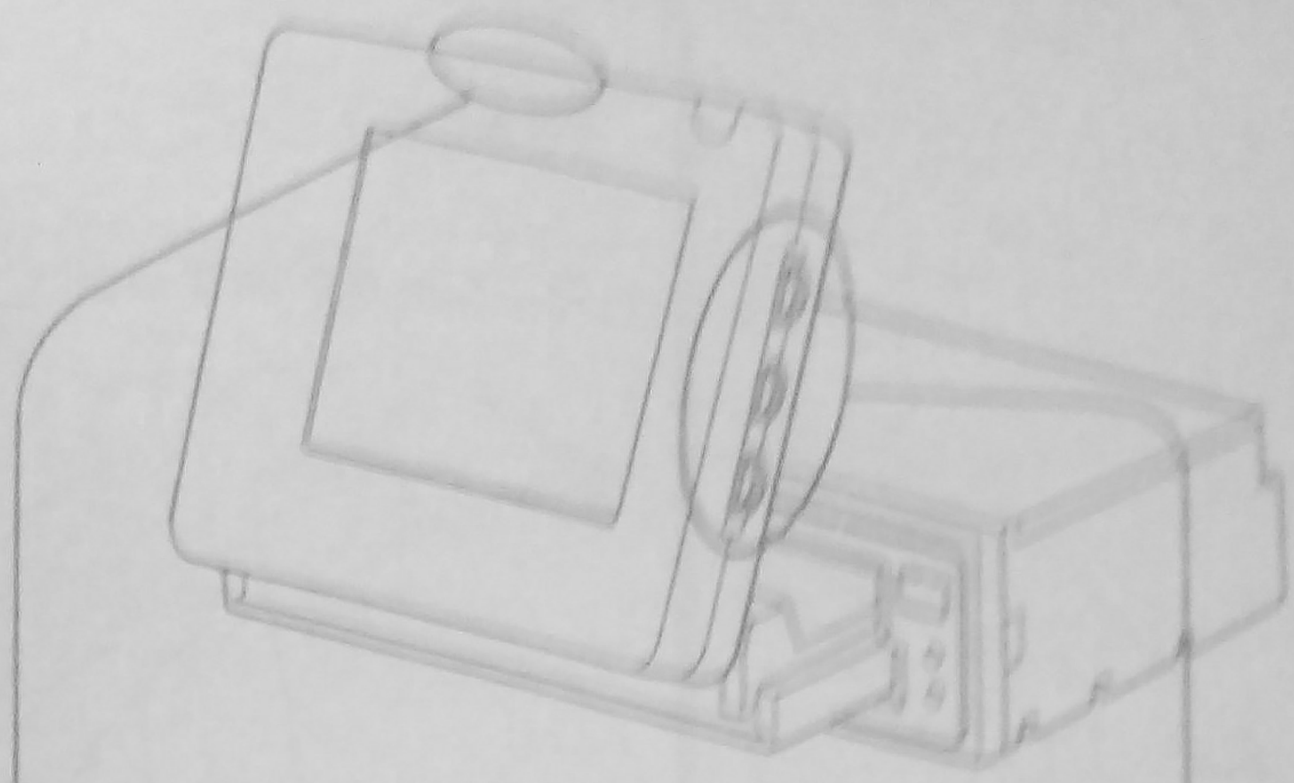
オーディオ側で調整します。
（オーディオの取扱書を参照してください。）

ご注意

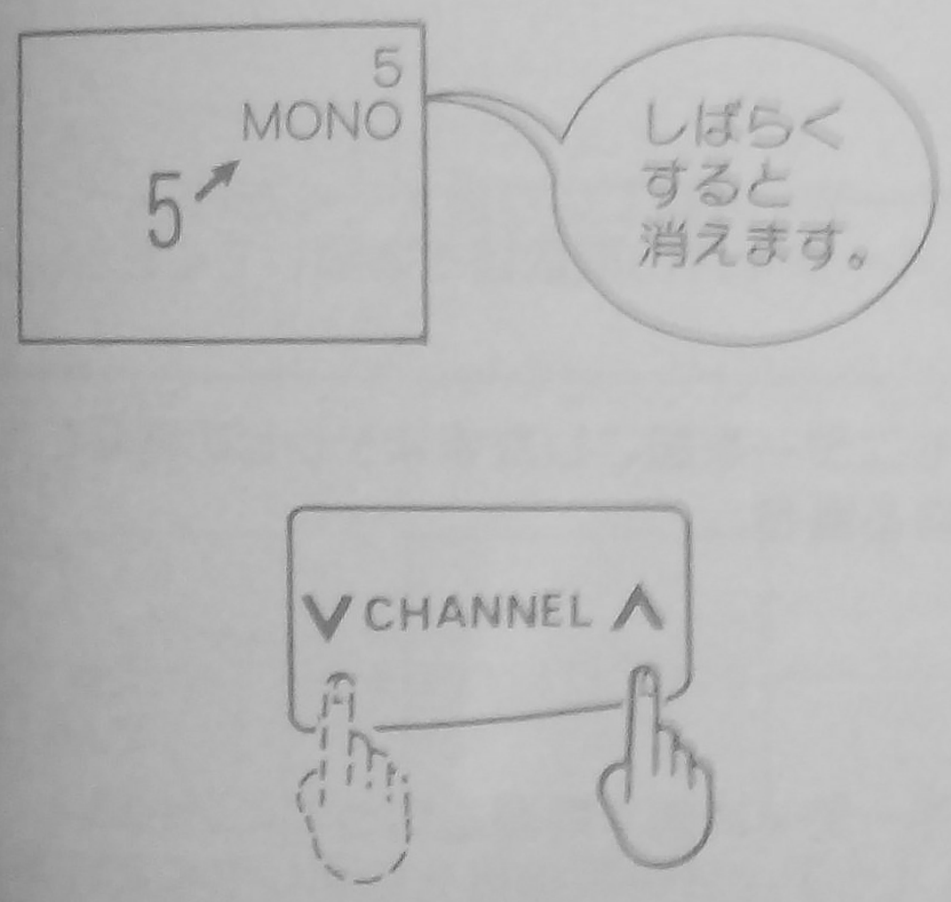
角度調整は、キャビネットを持って！

使用温度について…

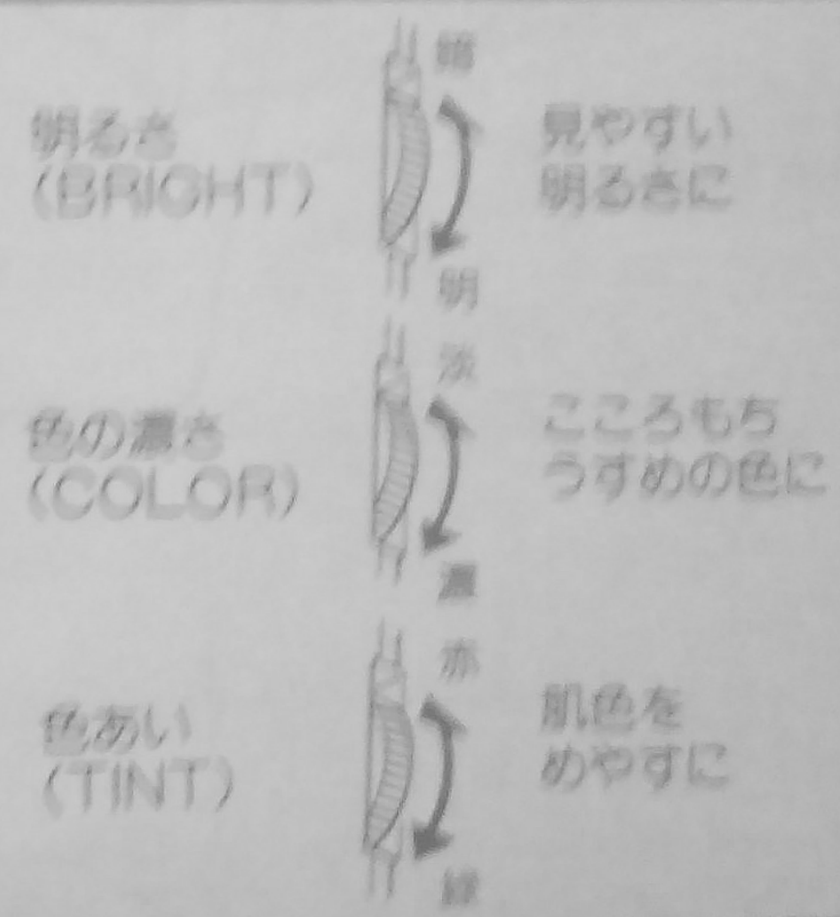
低温時や高温時になりますと映像が出なくなったり、映像が出るのが遅くなったりすることがあります。
また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがありますが故障ではありません。
常温にもどれば回復します。



5 見たいチャンネルを選ぶ。

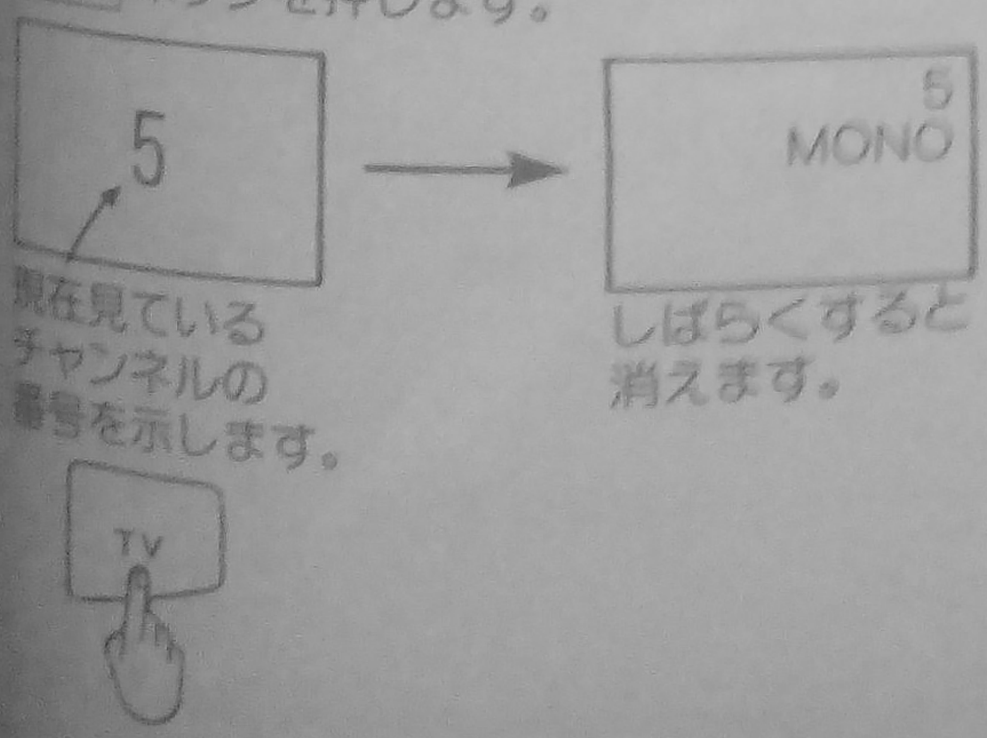


6 明るさ、色の濃さ、色あいを調整する。



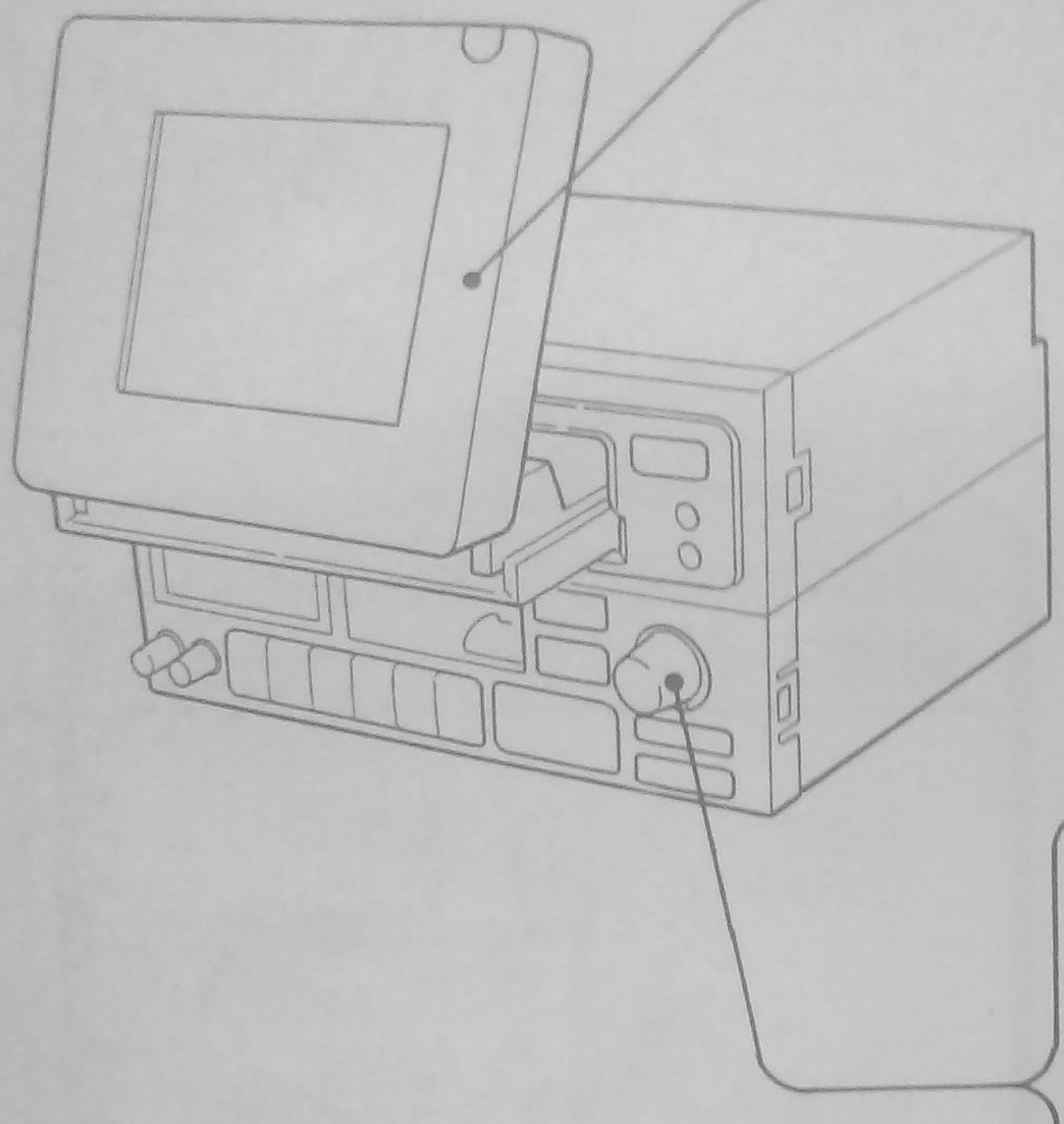
選局のしかた…
14、15ページ参照。

チャンネル番号を確かめたいとき…
TV ボタンを押します。



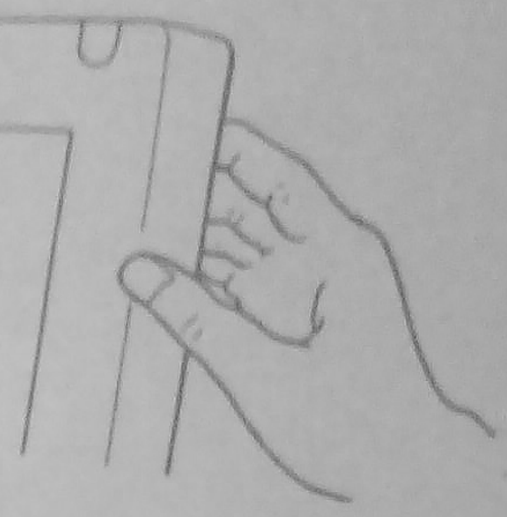
自動減光機能
車のライトを点灯させると自動的に画面が暗くなります。

チャンネル番号及び表示は
モノラル放送のとき…緑
ステレオ放送のとき…黄
2カ国語放送のとき…赤
自動的に変わります。



7 見終わったら

モニターを収納する場合



モニターをたおしてください。
自動的に収納され、映像と音声が消えます。

モニターを起こしたままラジオ、テープ、CD等を聞く場合

オーディオ側で切り換えてください。
(オーディオの取扱書を参照してください。)

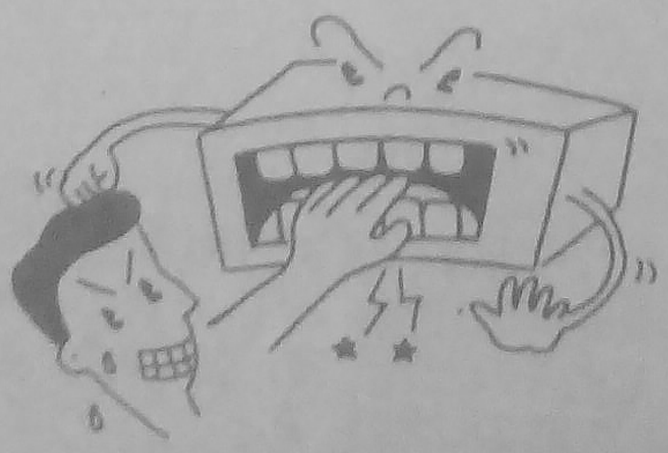
モニターを起こしたままテレビの電源を切る場合

オーディオ側で電源を切ってください。
(オーディオの取扱書を参照してください。)

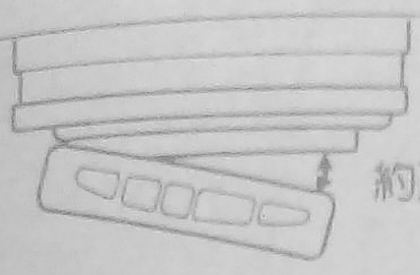
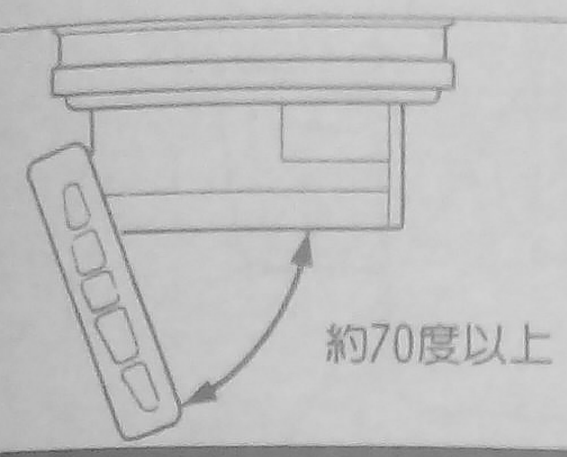
テレビを見終わり、長時間使用しないときは…

液晶モニターは収納して保管してください。
(夏季の場合特に注意してください。)

モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。

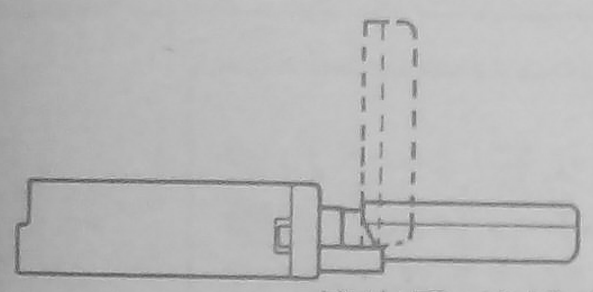


走行中の映像について

	停車中でサイドブレーキが引かれているとき	走行中
モニターの向き 約70度未満 	映像と音が出ます。	音声のみ出ます。（画面はスターダスト（星空画面）になります。）
約70度以上 	映像と音声が出ます。	

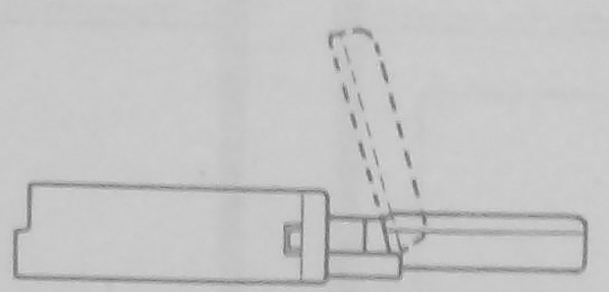
モニターのスライドについて

モニターのスライドについては、ポジション0、1、2の3ポジションがありモニターオープンボタンを押して離すごとにスライドします。



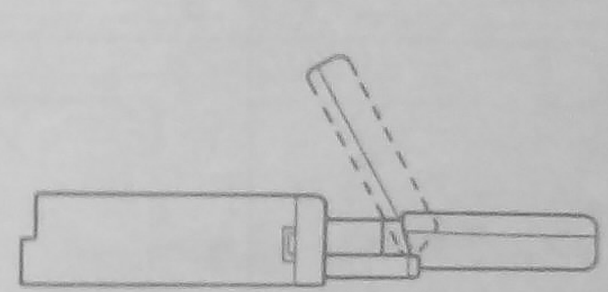
排出量：約12.5cm

ポジション0



排出量：約15cm

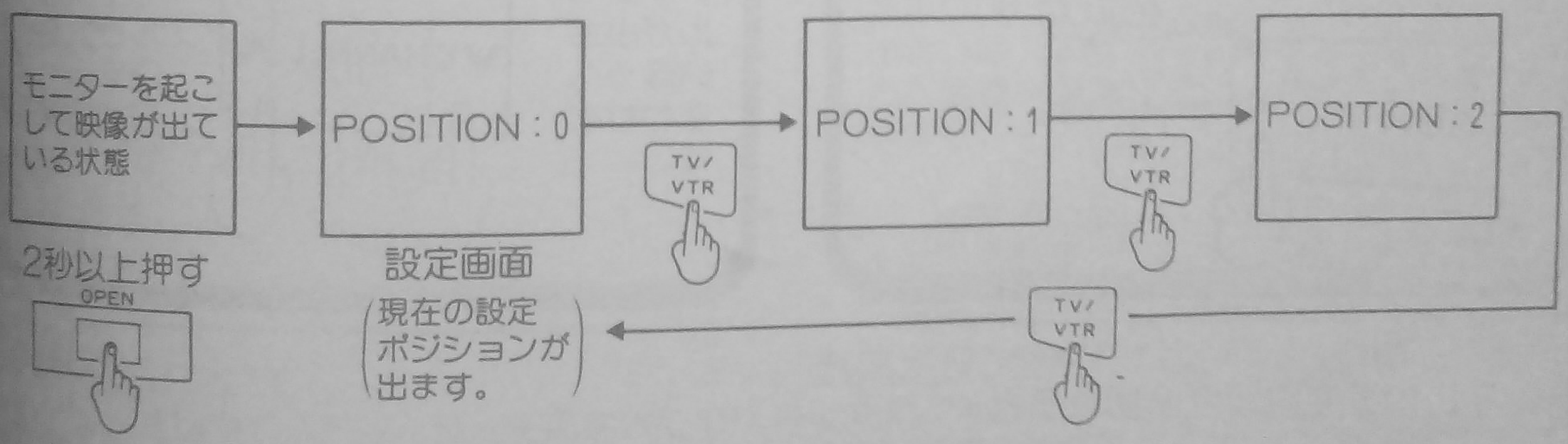
ポジション1



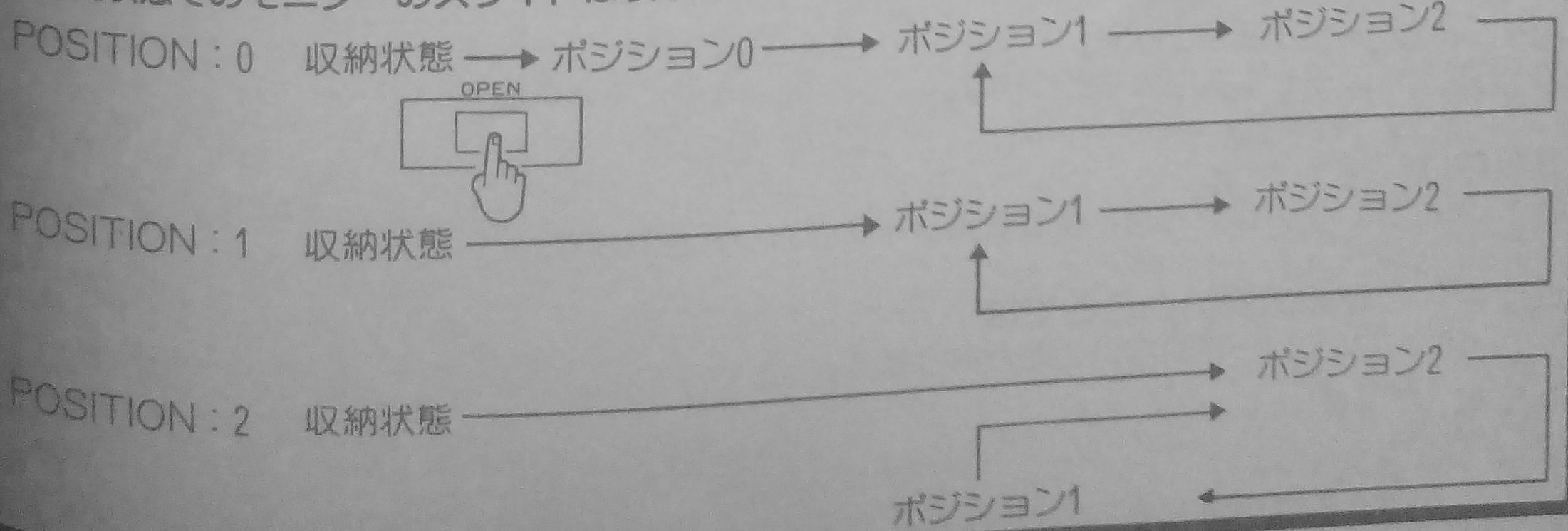
排出量：約18cm

ポジション2

またモニターオープンボタンとテレビ／ビデオ入力切換ボタンを使って収納状態からの排出量を設定できます。



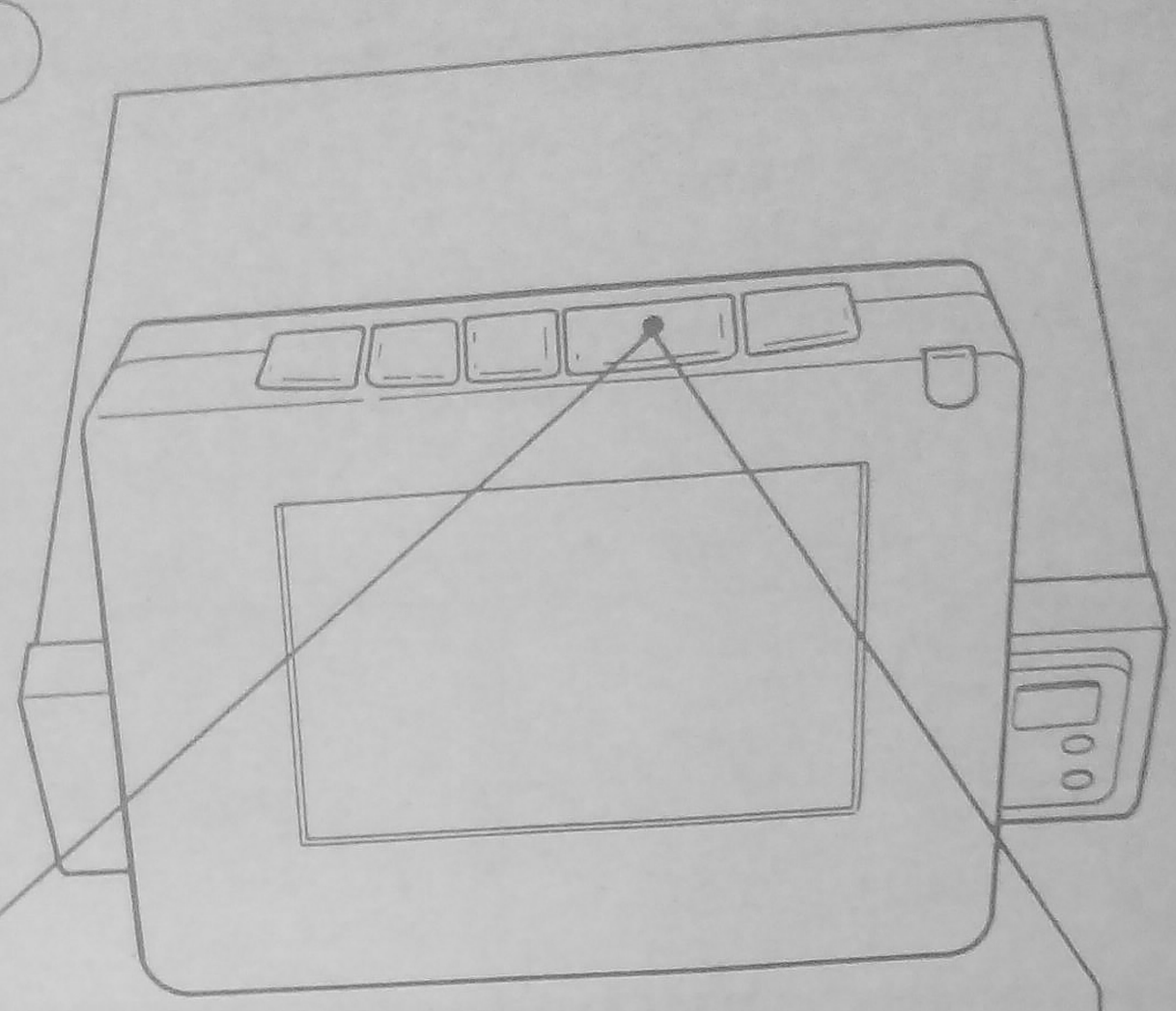
各設定状態でのモニターのスライドは以下のようになります。



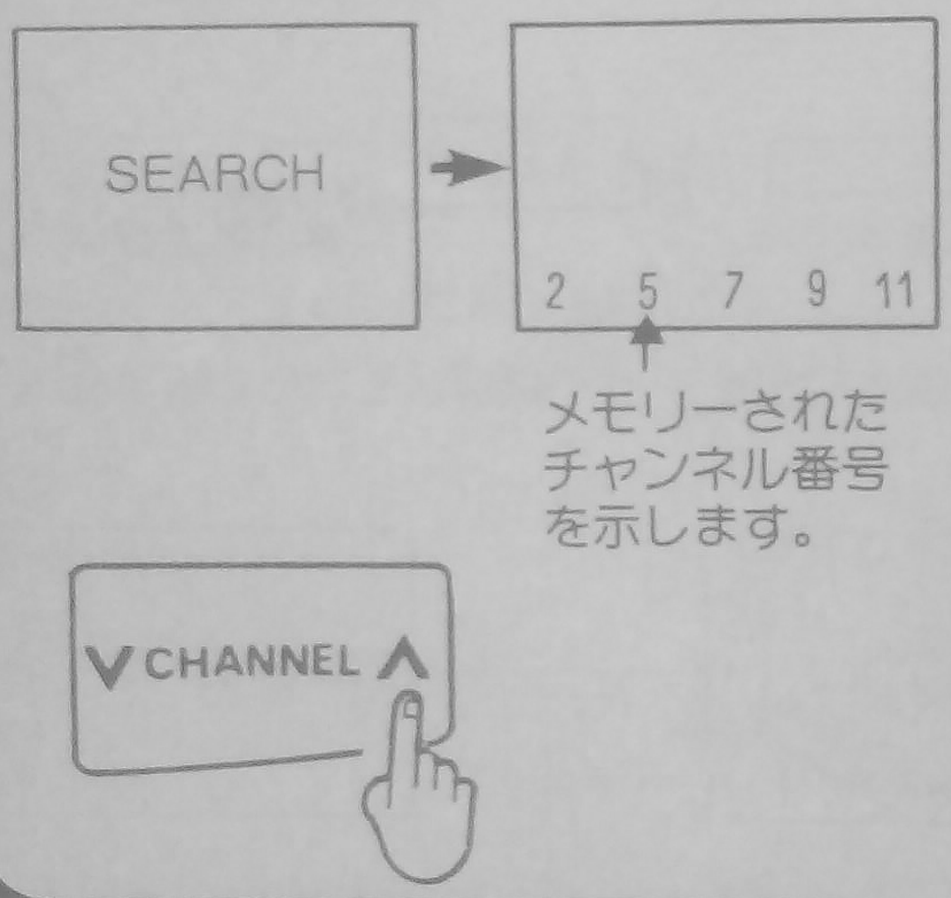
選局のしかた

メモリーサーチの場合

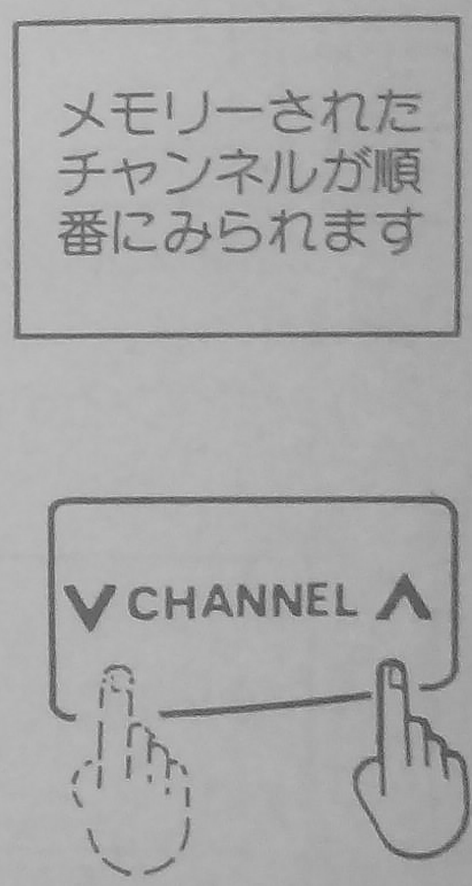
選局ボタンのひと押しで放送中の受信可能なチャンネルを自動的にメモリーします。(最大62チャンネル、但し表示は24チャンネルまで)チャンネル番号がわからない地域でテレビを見る場合にご利用ください。



1 選局ボタン(∨または∧)を2秒以上押す。



2 見たいチャンネルを選ぶ。



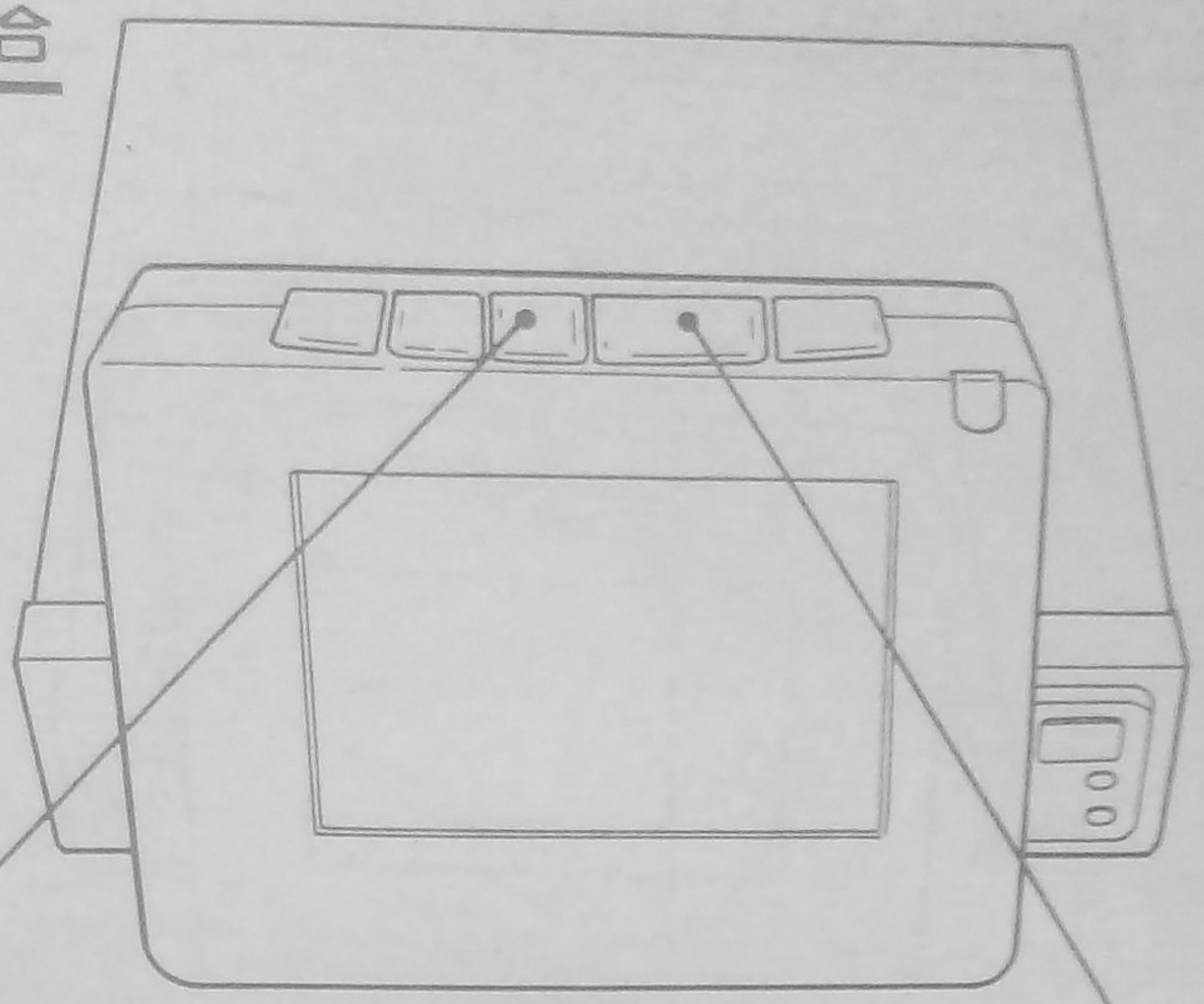
トンネル内等で電波が途切れると…
音声ミュート回路がはたらき不快な音声ノイズがカットされます。

メモリーサーチが終了したら…
サーチ開始前のチャンネルへもどります。

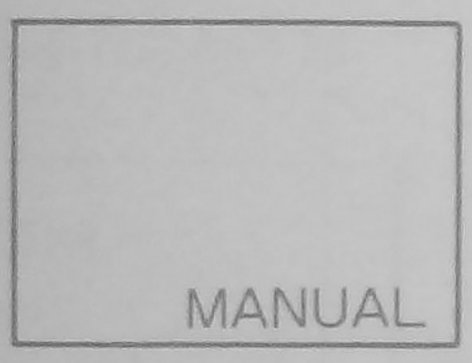
選局中は…
音声ミュート回路がはたらき不快な音声ノイズがカットされます。

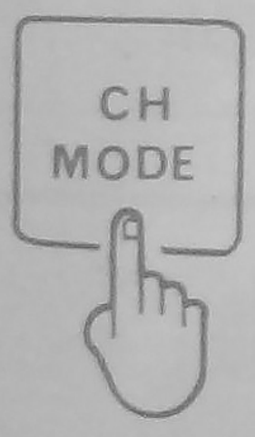
走行中など電波の弱いところでは…
チャンネルがメモリーされないことがあります。

マニュアルサーチの場合

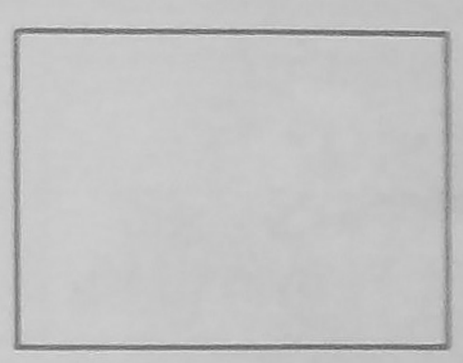


1 「MANUAL」表示を出す

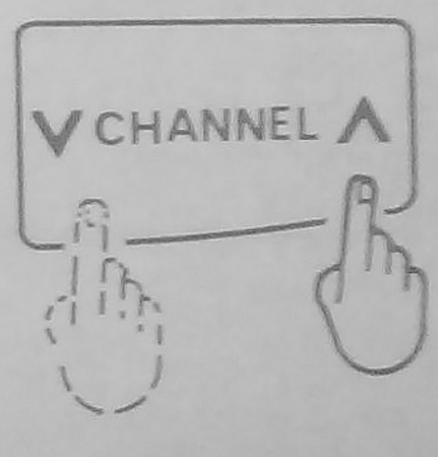




2 見たいチャンネルを選ぶ。



1チャンネルづつ小さいほうへ変わります。



1チャンネルづつ大きいほうへ変わります。

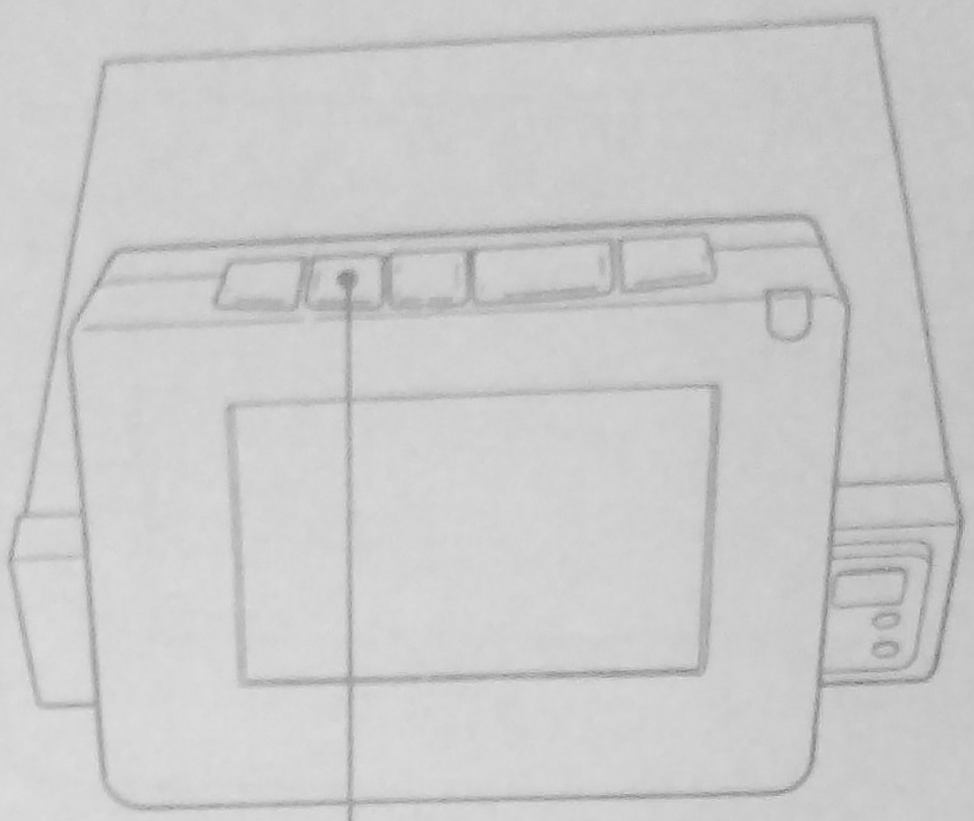
選局方法について…

選局方法は、標準でメモリーサーチになっており、CH MODEボタンを押したときのみマニュアルサーチになります。またマニュアルサーチ時でも5秒以上操作しないとメモリーサーチに戻ります。

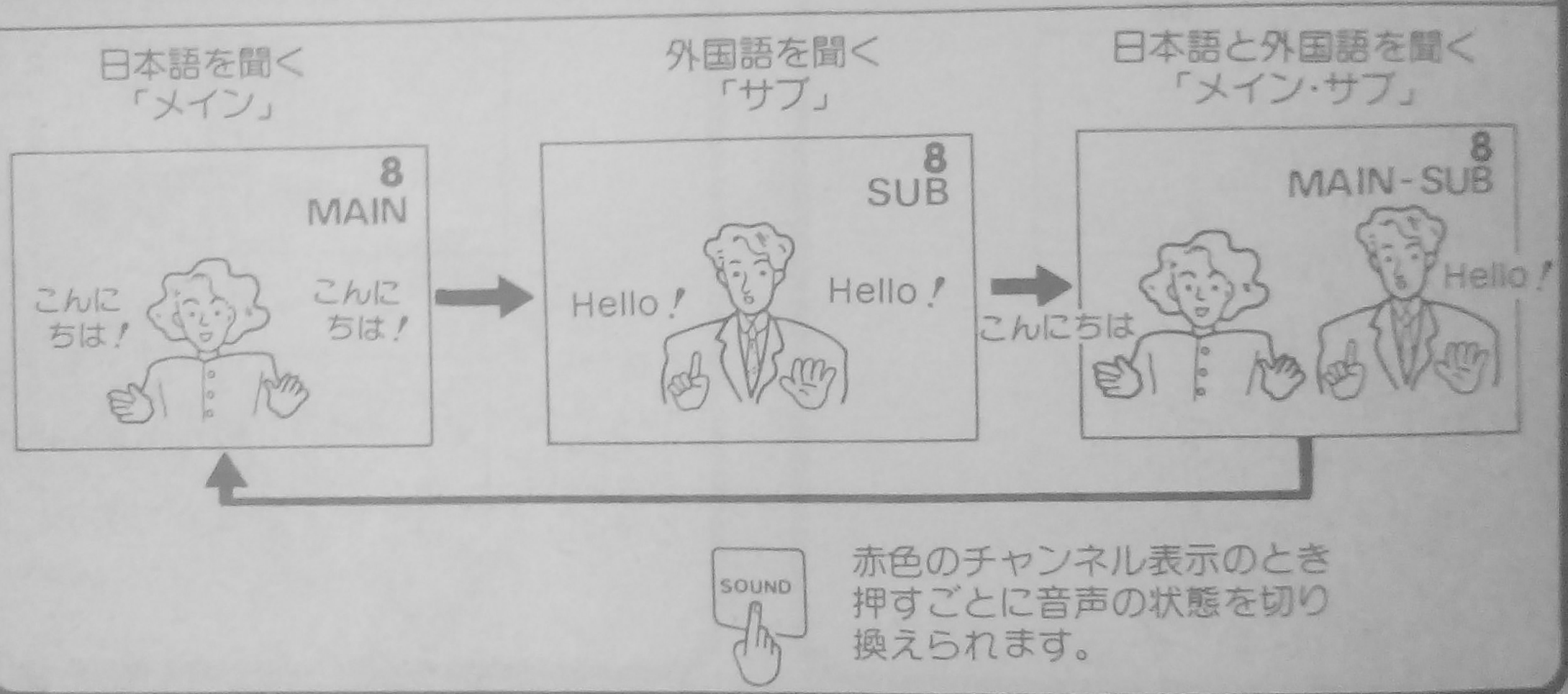
選局ボタンを2秒以上押しつづけますと…

自動的に1チャンネルづつ小さいほう、または大きいほうへ連続的に変わります。

2ヵ国語(二重)放送について



お好みの音声を選ぶ。(音声多重放送受信中に行なってください。)



メイン音声とサブ音声について…

- 洋画の2ヵ国語(二重)放送のとき、日本語に吹き変えて送られてくる音声を「メイン」、原語のまま送られてくる音声を「サブ」といいます。
  「SUB」のとき若干ノイズが大きくなることがありますが故障ではありません。
- 放送によっては「メイン」で原語を、「サブ」で日本語を送ることがあります。

ステレオ放送のとき(チャンネル表示が黄色のとき)

- 自動的にステレオになります。

チャンネル表示が出ていないときSOUNDボタンを押しますと…

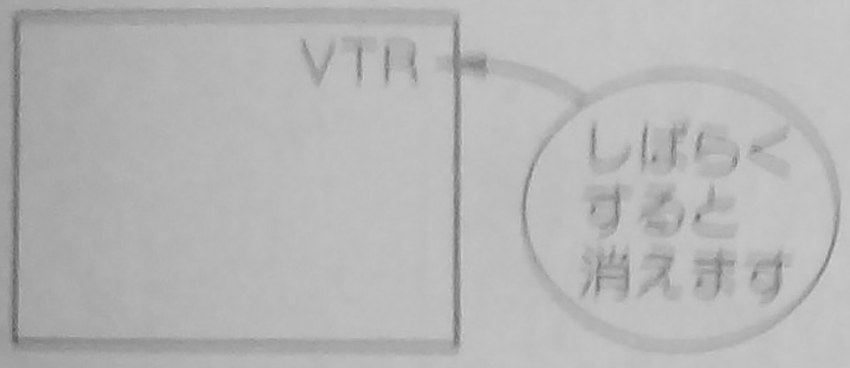
現在の音声状態を示します。

サブ音声を受信中に電波状況が悪くなるとメイン音声が混入することがありますが故障ではありません。

ビデオモニターとして使いたいとき



1 ビデオ入力に切換えます。





2 ビデオ機器を再生状態にします。



再生画像がご覧になれます。

ビデオ接続コードは、ビデオ、ムービー等の種類により異なる場合がありますので、それぞれの機器の説明書もご参照ください。

使用上のご注意

ぜひお守りください。

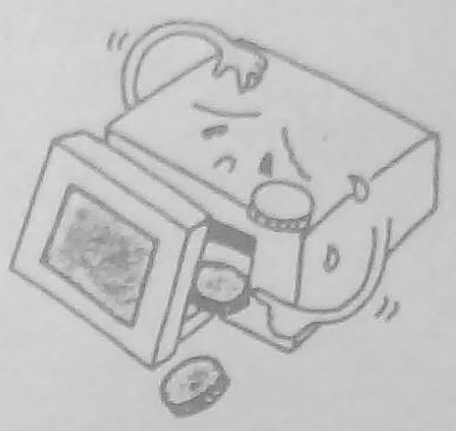
走行中運転者は安全のためテレビの操作はさけてください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。



モニターの上にコインなど異物を置かないでください。



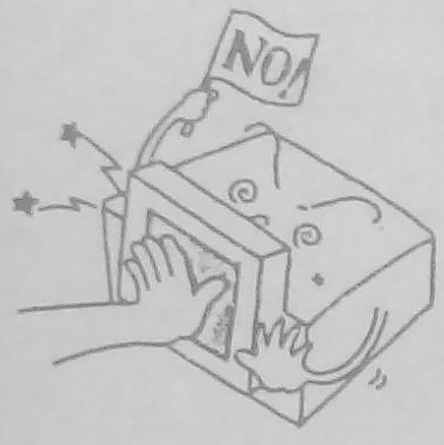
故障の原因となります。

車内温度にご注意！
夏期は車内温度が高くなりますので、モニターは収納し、保管してください。
(夏期には100℃に達することがあります。)



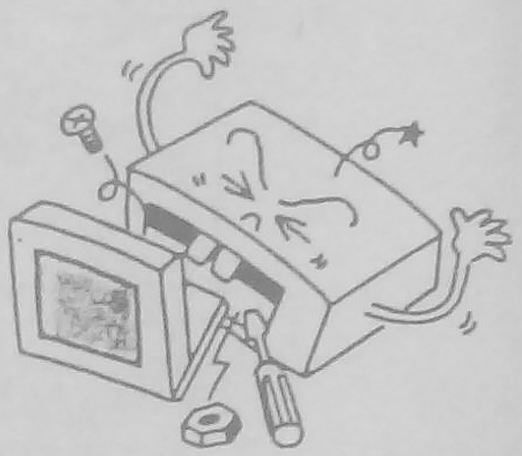
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたり、液晶パネルを押したりしないでください。



故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。



高圧部分があり危険です。
また故障の原因にもなります。

テレビ内部への異物は禁物



特にお子様にご注意を！

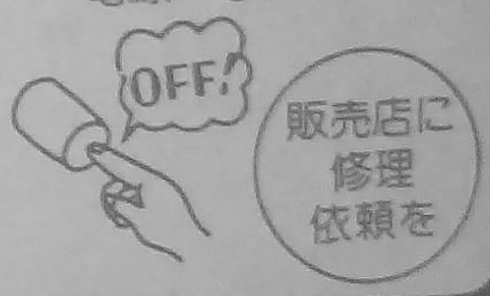
故障したままの使用は危険！

煙、変な音
変なにおい



こんなときはすぐに…

電源　OFF！



お手入れについて

汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。

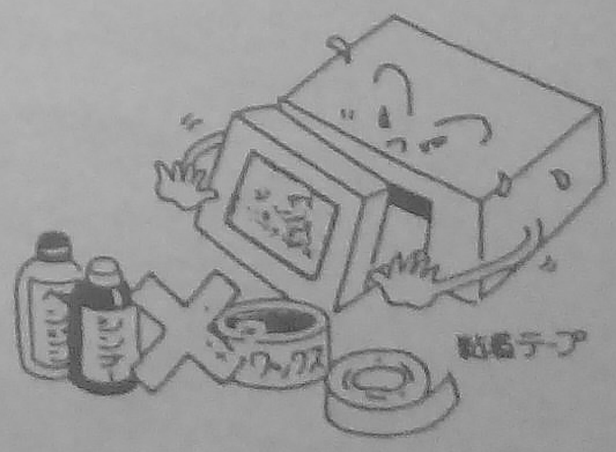
汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



液晶パネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

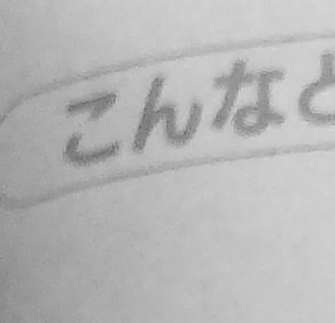
キャビネットをいためないようにしてください。



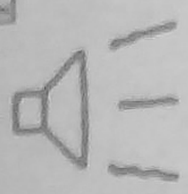
キャビネットが変質したり、塗料がはげることがあります。

こんなときは故障ではありません

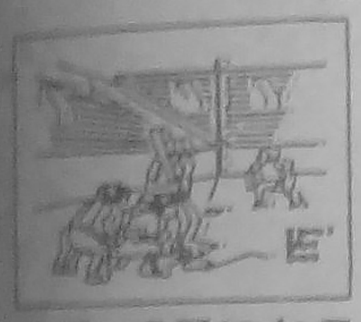
つぎのような場合、映りにくいことがあります。



揺れる

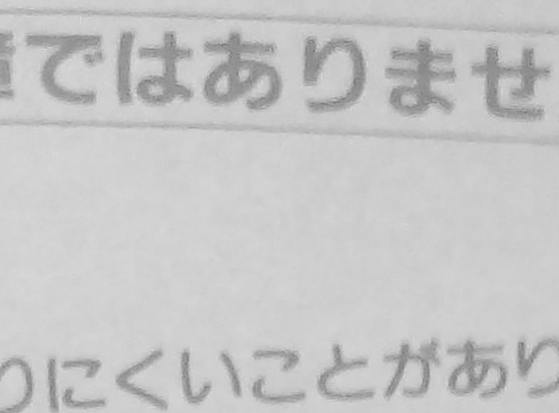


雑音が出る

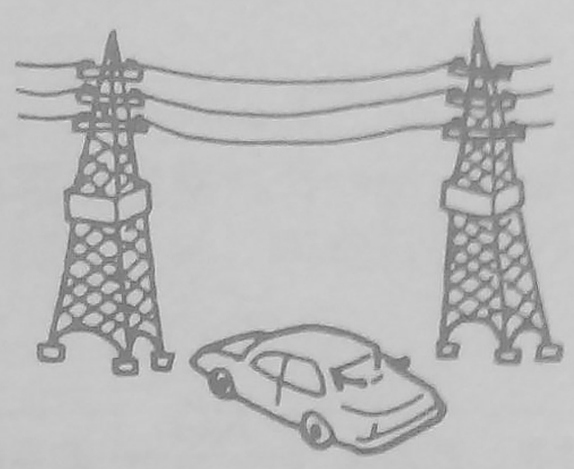


2重、3重になる（ゴースト）

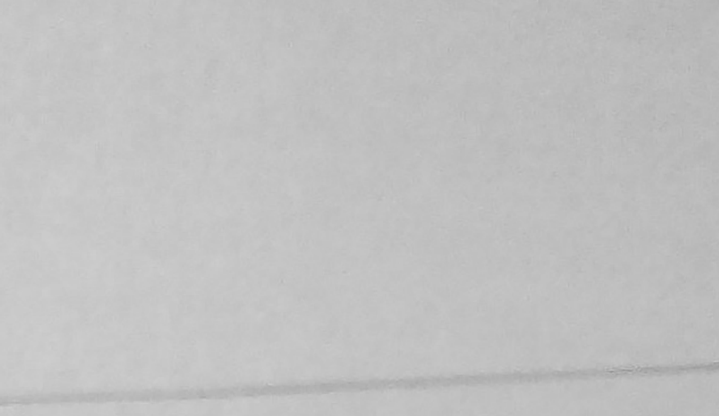
ビルとビルの間を走行または停車



送電線の付近を走行



上空を飛行機が通過
電車が近くを通過



山かげ、放送局から遠いところを走行





雑音が出る

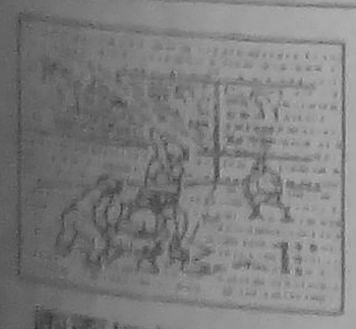
だんだん映りが悪くなる　色が出たり、消えたりする

山や木立のかげを走行



トンネル内を走行

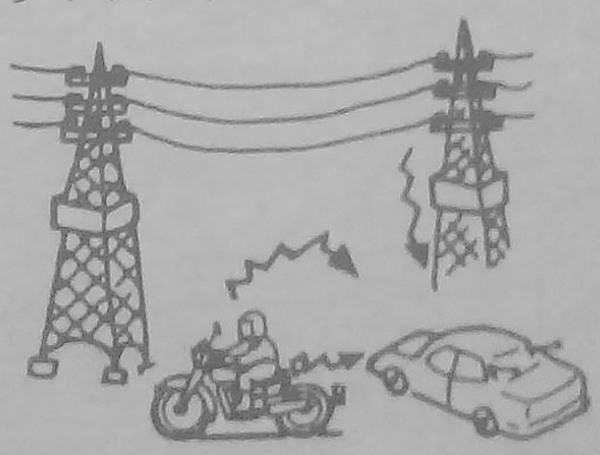


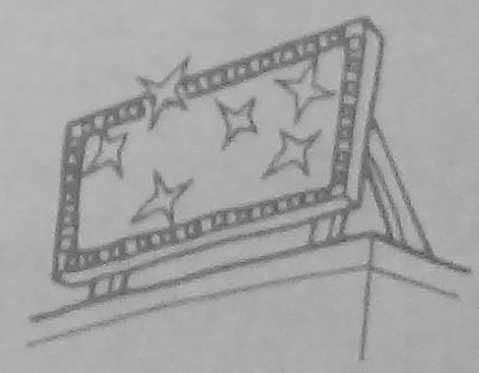


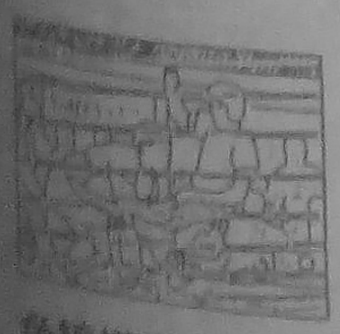
正常

画面にはん点が出る（メダカノイズ）

自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近くを走行







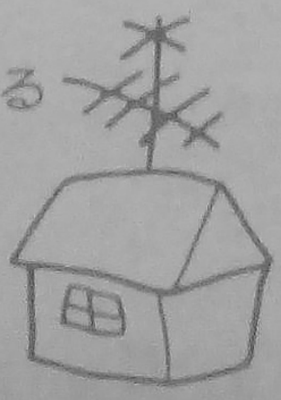
正常

色縞模様が出る　色が消える

ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行

車内の無線機を使用している場合







故障とお考えになる前に

テレビが正常に作動しなくなったときは、次表に従ってお調べいただき、それでも作動しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

映像も音声も出ない

エンジンスイッチはONまたはACCになっていますか？
- NO → エンジンスイッチをONまたはACCにしてください。
- YES ↓

テレビ/ビデオ入力切換ボタンがビデオ入力になっていませんか？
- YES → テレビ入力に切り換えてください。
- NO ↓

お買い上げの販売店にご相談ください。

音声が出ない

音量が正しく調整されていますか？
- NO → お望みの音量に調整してください。
- YES ↓

お買い上げの販売店にご相談ください。

音声は出るが、映像が出ない(停車中)

サイドブレーキを引きましたか？
- NO → サイドブレーキを引いてください。
- YES ↓

お買い上げの販売店にご相談ください。

音声は出るが、映像が出ない(走行中)

モニターを助手席方向に約70°以上向けましたか？
- NO → 助手席方向に約70°以上向けてください。
- YES ↓

お買い上げの販売店にご相談ください。

画面が暗い

明るさが正しく調整されていますか？
- NO → お望みの明るさに調整してください。
- YES ↓

スモールライトは点灯していませんか？
- YES → 昼間はスモールライトを消してください。
- NO ↓

お買い上げの販売店にご相談ください。

色あいが悪い 色がうすい

色の濃さ、色あいが正しく調整されていますか？
- NO → お望みの色の濃さ、色あいに調整してください。
- YES ↓

お買い上げの販売店にご相談ください。

画面に赤い点や青い点がある

液晶テレビ特有の現象で故障ではありません。

アフターサービスについて

保証書
（本に添付してあります）

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

修理を依頼されるとき

左の「故障とお考えになる前に」の表に従って調べていただき、直らないときには必ず電源スイッチを切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

この車載用液晶カラーテレビの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低８年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げ販売店にお問い合わせください。

蛍光管について

本機に使用しております蛍光管には寿命があります。
寿命が進みますと蛍光管は暗くなります。
このときは、専用蛍光管と交換してください。

寿命の目安…１日２時間のご使用で約６～７年間

蛍光管が暗くなった場合、新しい蛍光管との交換には専門技術が必要です。
必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
なおこの場合は有料となります。

仕　様

テレビ本体

種　　類	車載用液晶カラーテレビ（1DIN4インチ テレビ）
使 用 電 源	DC 12 V
消 費 電 力	10 W
受信チャンネル	VHF1～12チャンネル、UHF13～62チャンネル
液 晶 パ ネ ル	4型低反射パネル
画 面 寸 法	幅8.1 cm・高さ6.1 cm・対角10.1 cm
画 素 数	89,622画素（縦234×横383）
有 効 画 素 率	99.99 %以上
表 示 方 式	透過型カラーフィルター方式
駆 動 方 式	TFT（薄膜トランジスター）アクティブマトリックス方式
接 続 端 子	映像入力端子（1 Vp-p（75 Ω）） 音声入力端子（L／R）（0.5 Vrms（600 Ω））M3ミニジャック3.5φ ダイバーシティアンテナ端子（75 Ω×4）
使用温度範囲	0 ℃～+40 ℃
保存温度範囲	−40 ℃～+85 ℃
外 形 寸 法	横幅18.0 cm・高さ5.0 cm・奥行16.5 cm
質 量（ 重 量 ）	1.6 kg

ダイバーシティアンテナ（トランクリッド取り付け型）

受信チャンネル	VHF1～12チャンネル、UHF13～62チャンネル
出力インピーダンス	75 Ω×4（ミニプラグ付）
ケーブルの長さ	6.5 m
外 形 寸 法	横幅3.3 cm・高さ5.0 cm・奥行21.2 cm（収納時）
質 量（ 重 量 ）	0.5 kg（片側）（ケーブルを含む）

ダイバーシティアンテナ（はり付け型）

受信チャンネル	VHF1～12チャンネル、UHF13～62チャンネル
出力インピーダンス	75 Ω×4（ミニプラグ付）
ケーブルの長さ	6.5 m
外 形 寸 法	横幅3.3 cm・高さ5.3 cm・奥行21.2 cm（収納時）
質 量（ 重 量 ）	0.5 kg（片側）（ケーブルを含む）

CDオートチェンジャー（6枚タイプ）　取付要領書

■チェンジャーブラケット08601－20010(CA－F563SOC)

部品構成表

図中番号	品　名	数　量
★①	ベースブラケット	1
★②	補助ブラケット	1
★③	アンカーボルト押えブラケット	1
★④	アンカーボルト(ナット	2

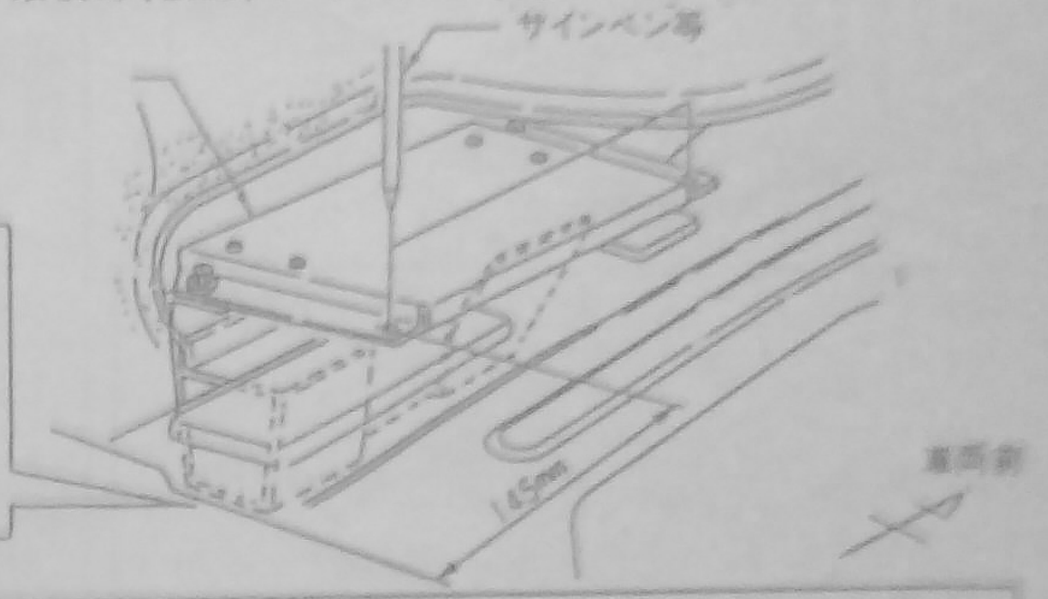
図中の★印はチェンジャーブラケットの付属部品を示しています。

取付方法

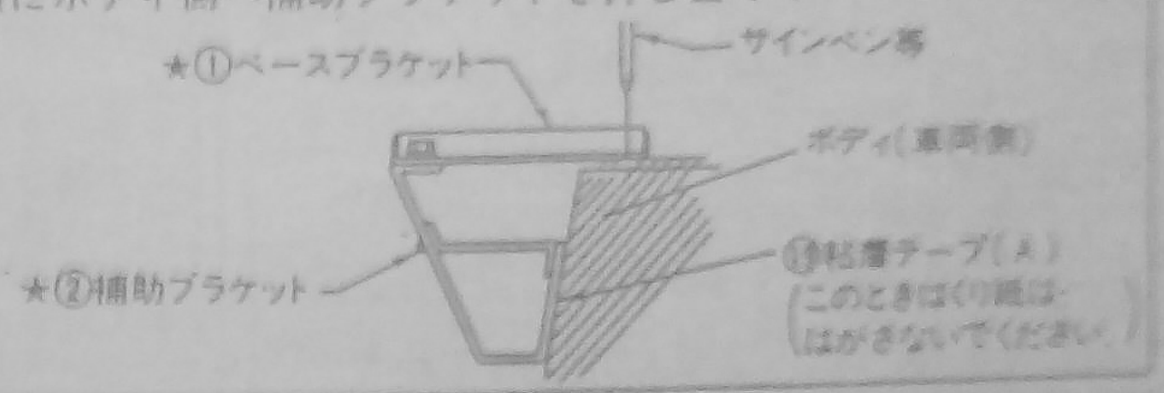
(1)補助ブラケットに粘着テープ(A)を貼り、ベースブラケットは補助ブラケットを取り付ける。

(2)車両側に穴位置をマーキングする。(2ヵ所)

■トランクルーム最後部(板金)から145mmの位置に穴のセンターを合わせます。

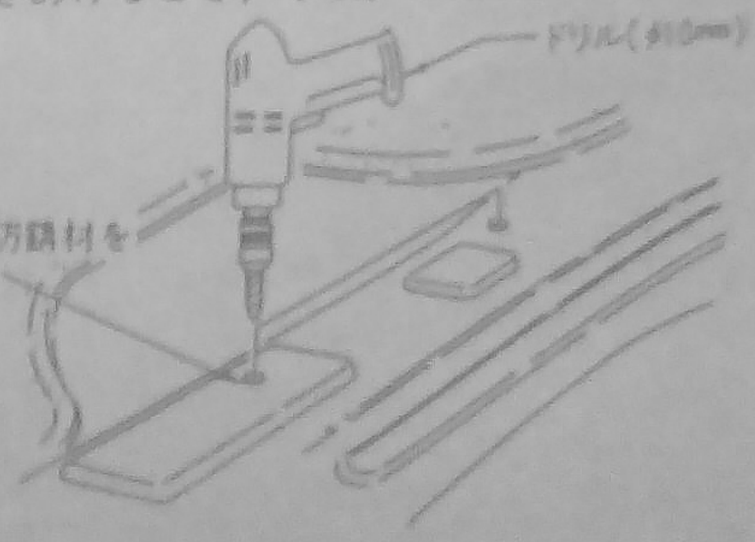


■図の様にボディ側へ補助ブラケットを押し当ててマーキングする。



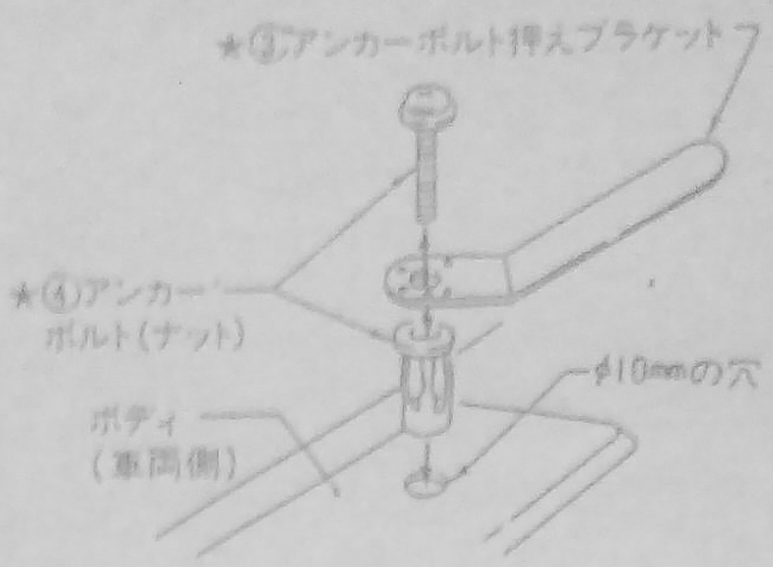
(3)マーキングした位置にφ10mmのドリルで穴をあける。(2ヵ所)

注）ドリルで穴をあけるとき、手袋、保護メガネ等を使用してください。

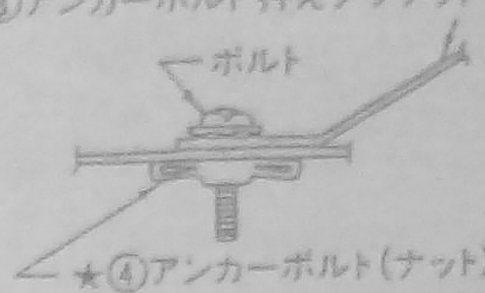


注 φ10穴あけ後、必ず防錆材を塗ってください。

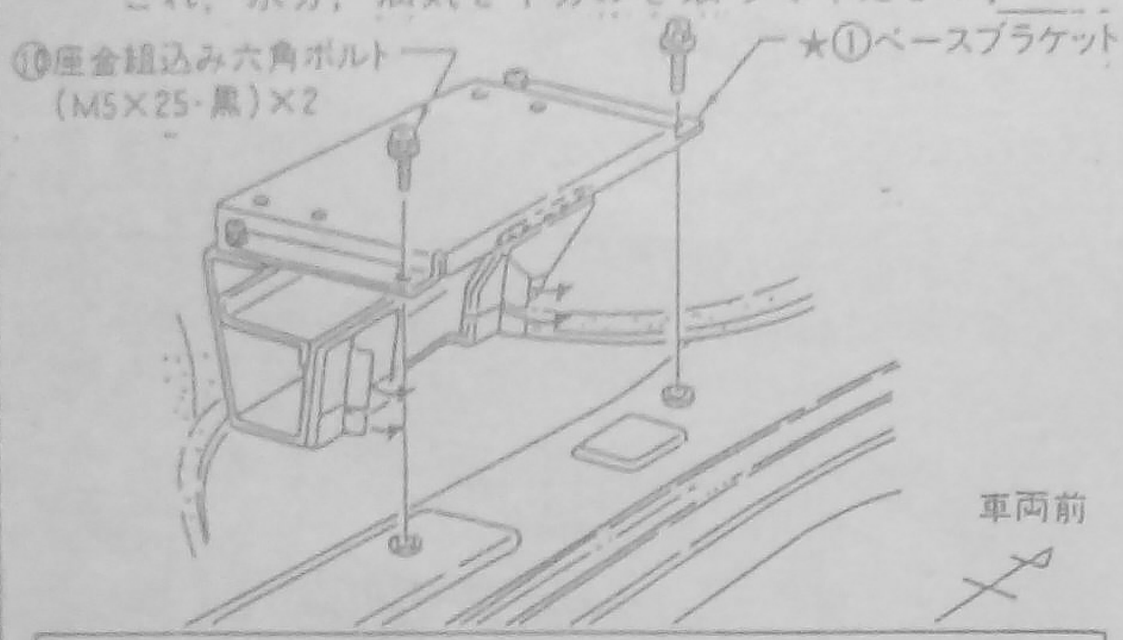
[4][3]項であけた穴にアンカーボルトを取り付ける．(2ヵ所)
■穴にアンカーボルトを差し込み，アンカーボルト押えブラケットを当てボルトを締め付けてかしめます．



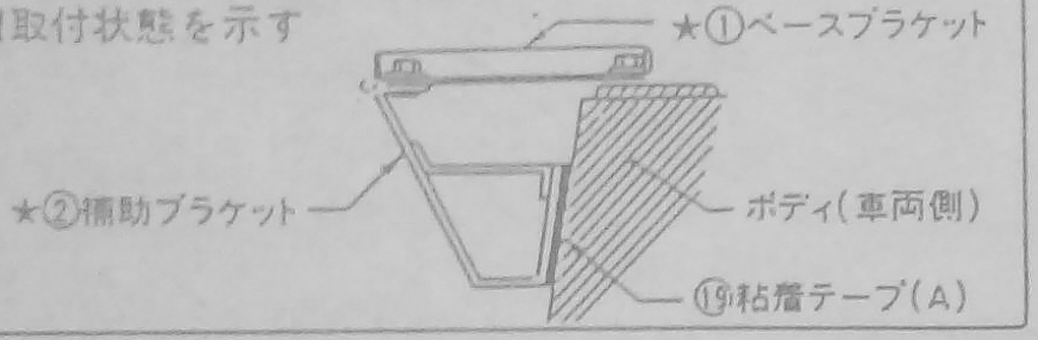
■アンカーボルトかしめ状態
アンカーボルトを確実にかしめたら，アンカーボルト押えブラケットボルトをはずします．



[5]車両側にベースブラケット，補助ブラケットを取り付ける．
注）補助ブラケットを貼り付ける際，貼付位置表面のよごれ，水分，油気を十分ふき取ってください．

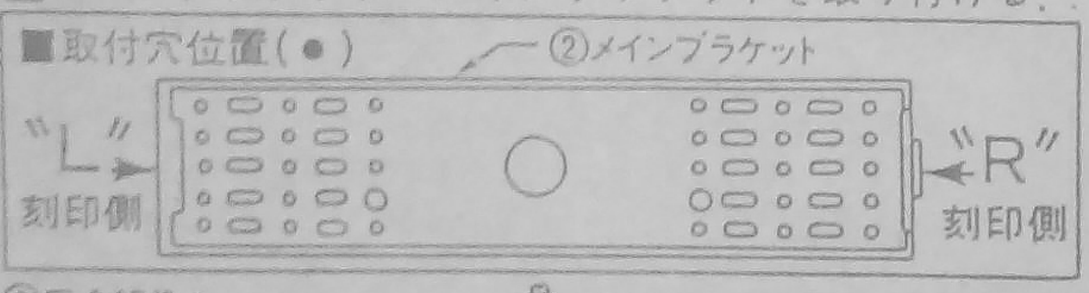


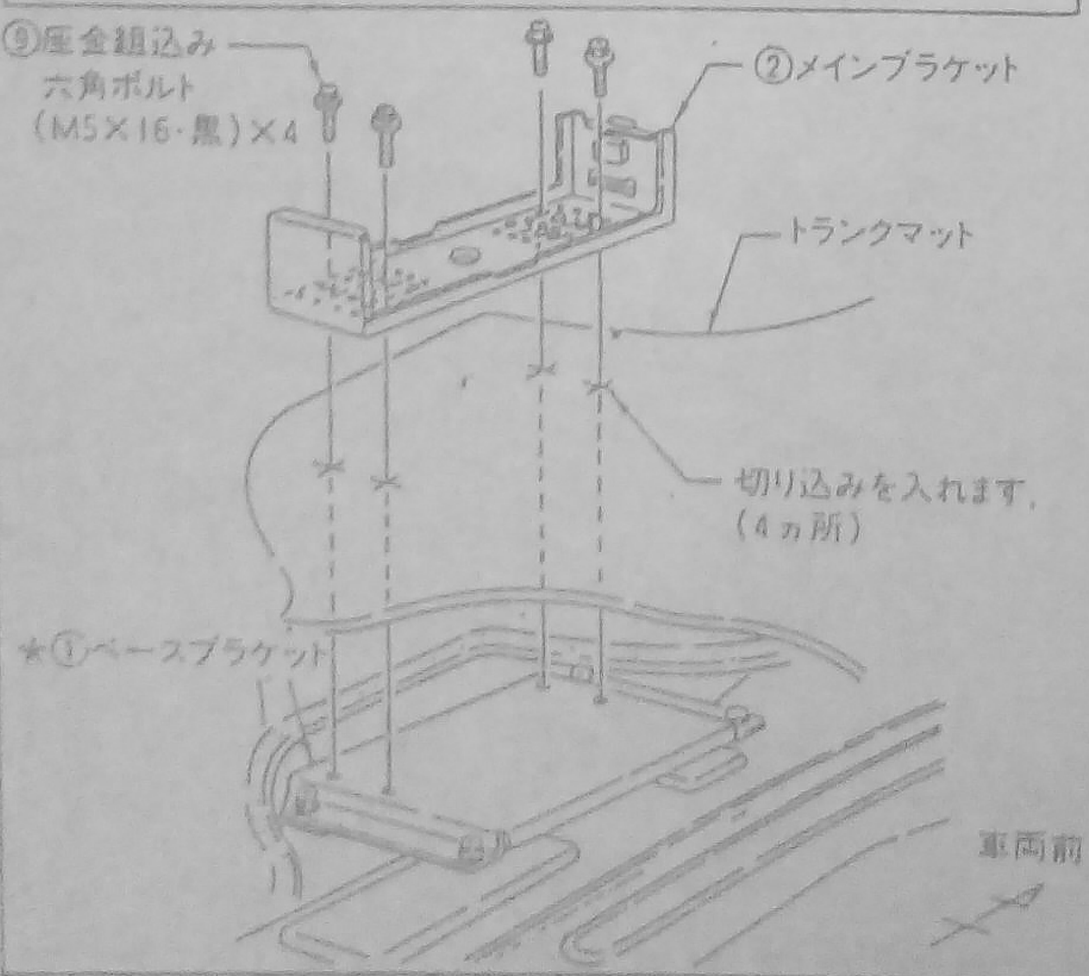
■取付状態を示す



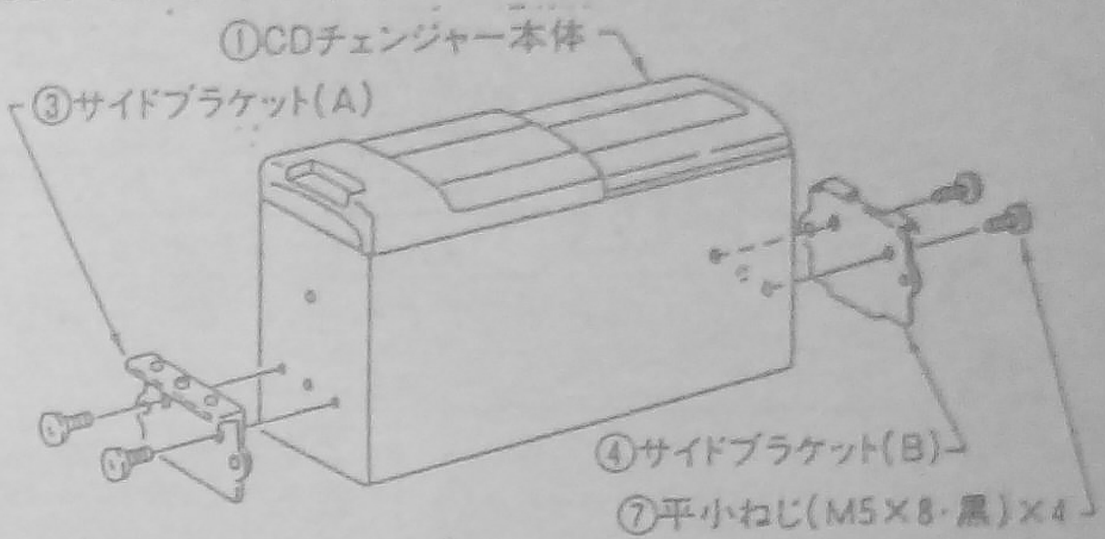
[6]トランクマットを元に戻しベースブラケットの取り付け穴位置のところへ切り込みを入れる．(4ヵ所)
[7]ベースブラケットへメインブラケットを取り付ける．

■取付穴位置(●)



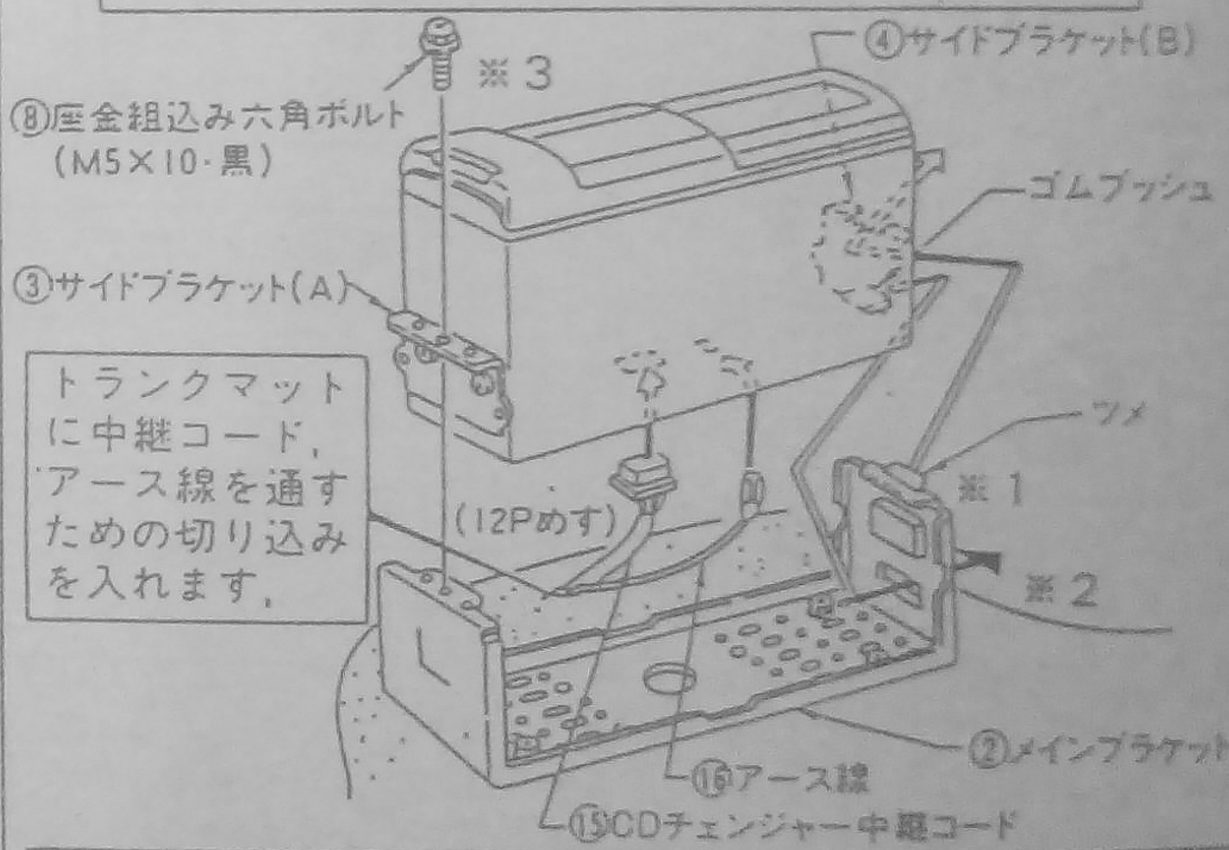


[8]CDチェンジャー本体にサイドブラケットを取り付ける．

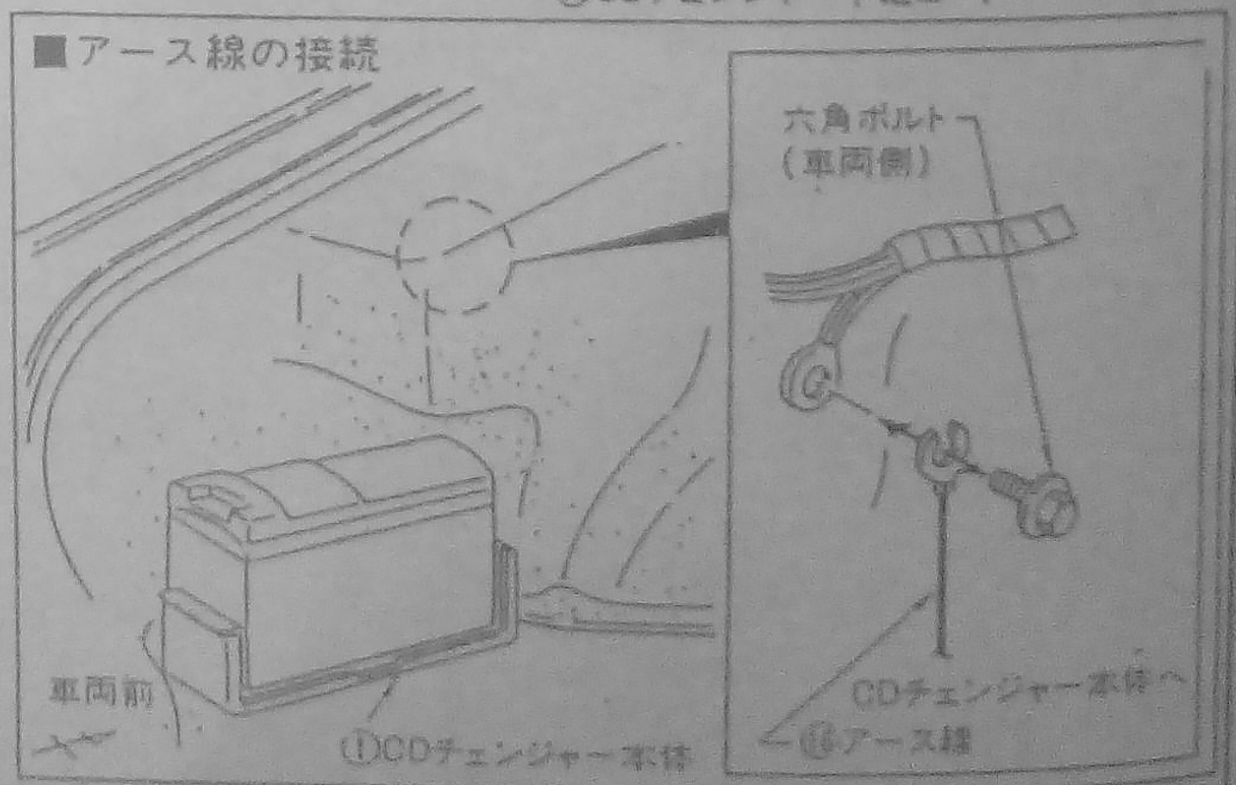


[9]中継コード，アース線をCDチェンジャー本体に接続する．
[10]メインブラケットにCDチェンジャー本体を取り付ける．

CDチェンジャー本体の取付手順
※1……ツメをサイドブラケット(B)に引っかける．
※2……ゴムブッシュをメインブラケットに差し込む．
※3……メインブラケットにサイドブラケット(A)を固定する．



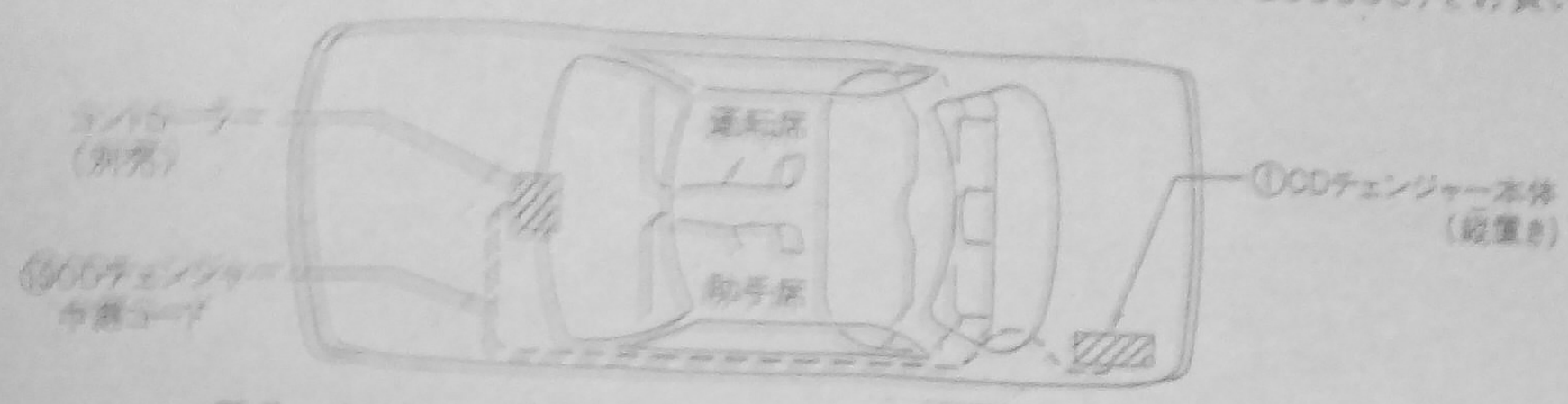
■アース線の接続



トヨタ純正

CDオートチェンジャー（12枚タイプ） 取付要領書

注.CDオートチェンジャーを取り付ける際、別売の取付キットO8601-20010(CA-FS6350C)をお買い求めください。



■チェンジャーブラケット08601－20010(CA－FS6350C)

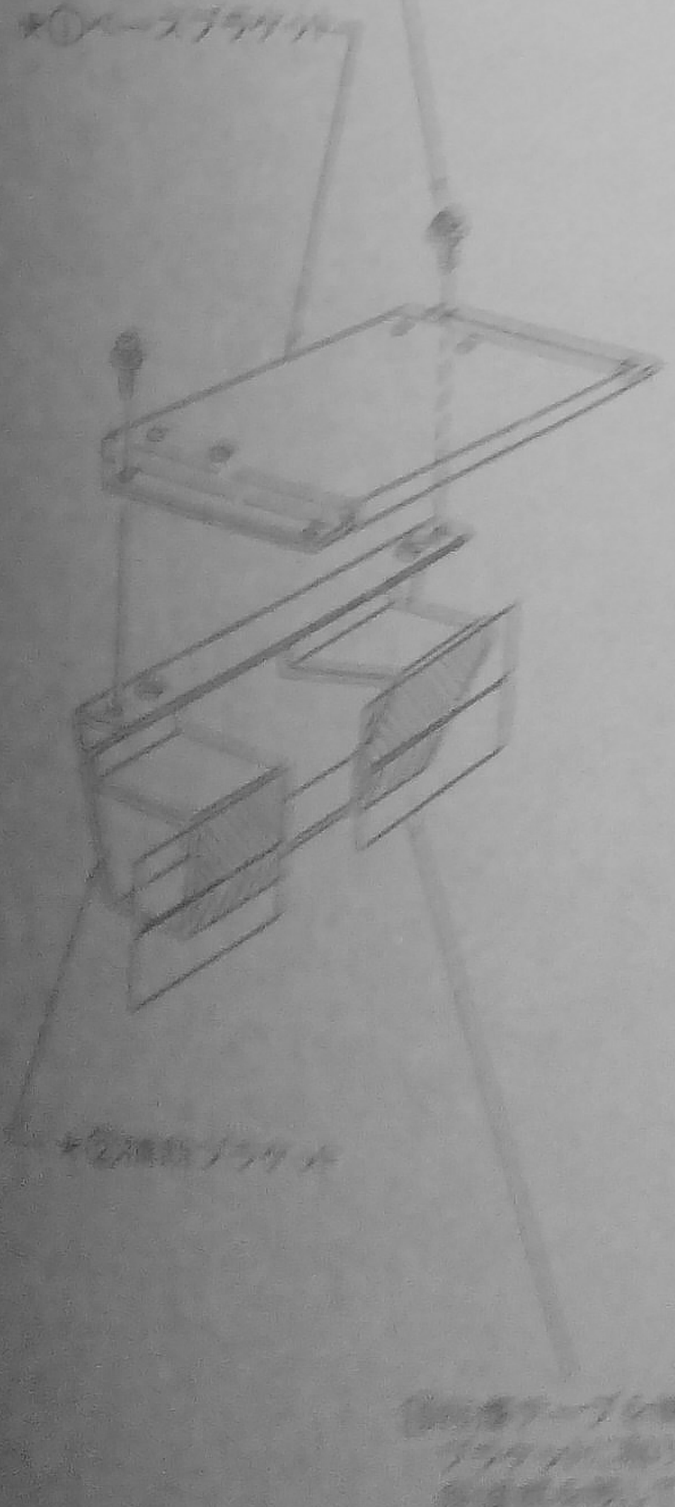
部品構成表

記号番号	品名	数量
★①	ベースブラケット	1
★②	補助ブラケット	1
★③	アンカーボルト押えブラケット	1
★④	アンカーボルト(ナット	2

注.★印は、チェンジャーブラケットの付属部品を示しています。

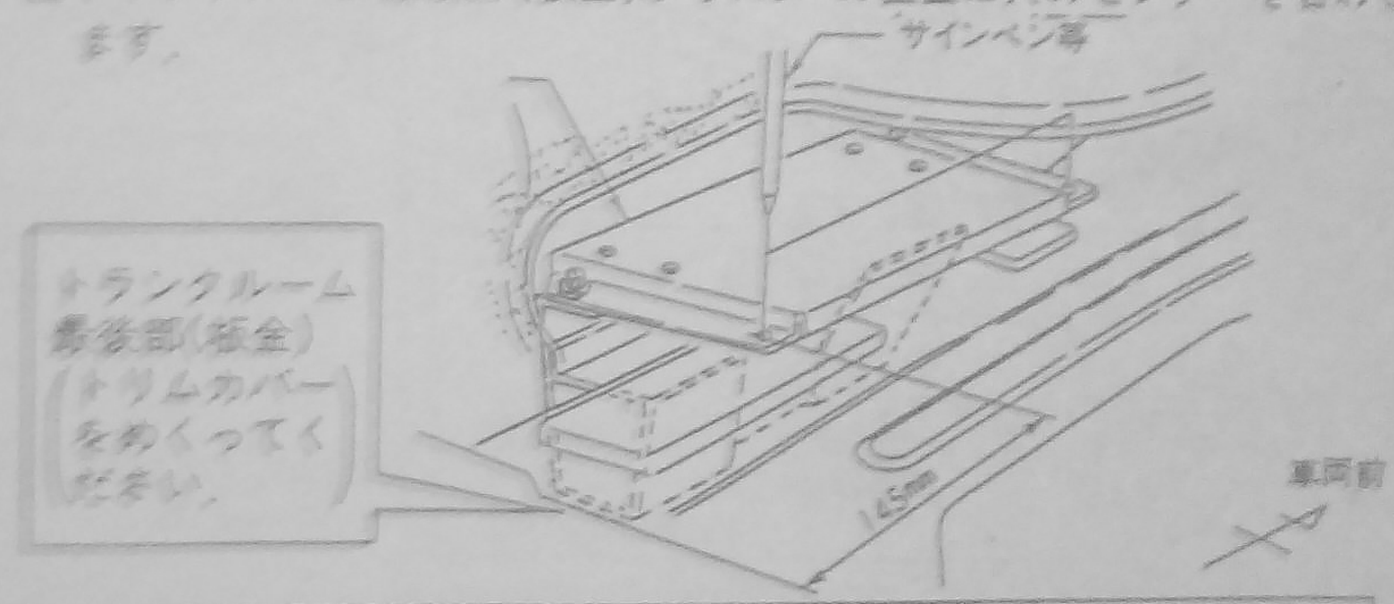
取付注意

①補助ブラケットに粘着テープ(A)を貼り、ベースブラケットは補助ブラケットを取り付ける。

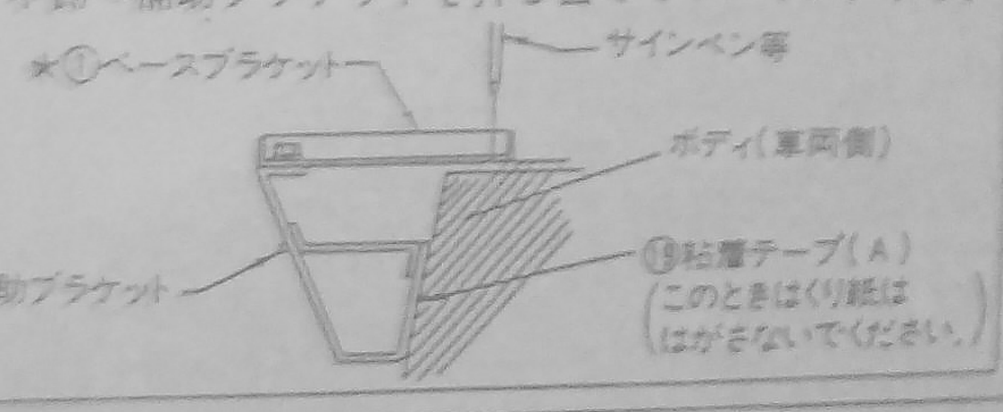


②車両側に穴位置をマーキングする。(2ヵ所)

■トランクルーム最後部(板金)から145mmの位置に穴のセンターを合わせます。

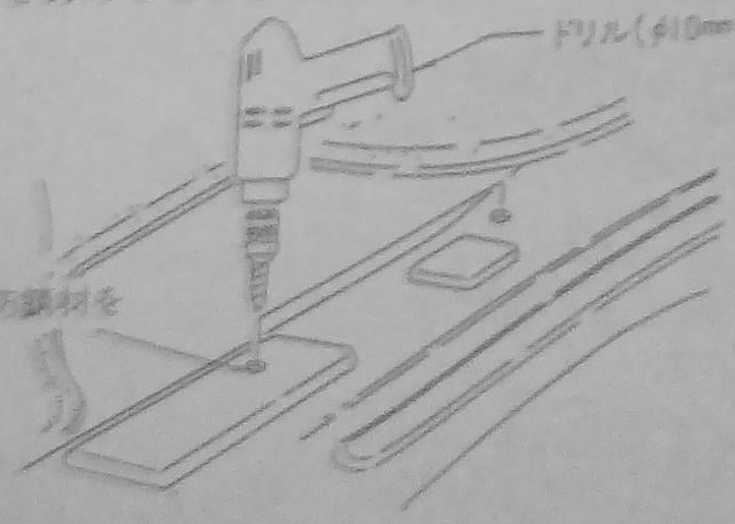


■図の様にボディ側へ補助ブラケットを押し当ててマーキングする。



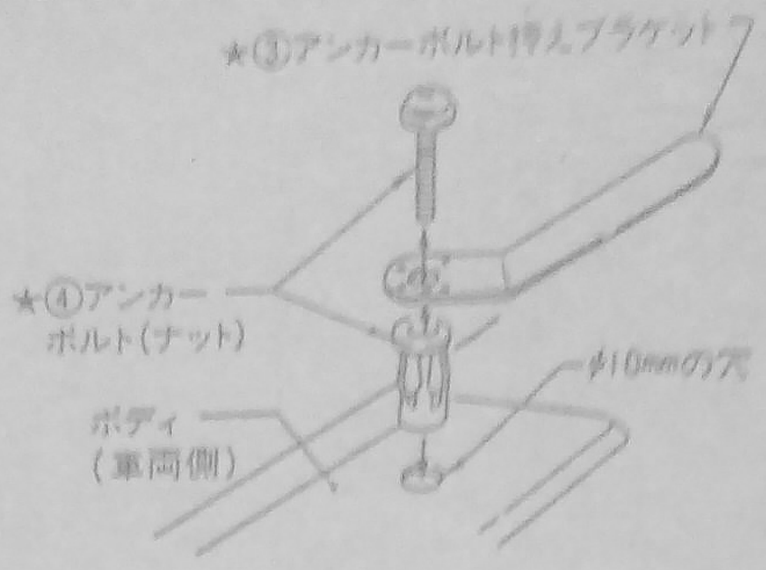
③マーキングした位置にφ10mmのドリルで穴をあける。(2ヵ所)

注) ドリルで穴をあけるとき、手袋、保護メガネ等を使用してください。

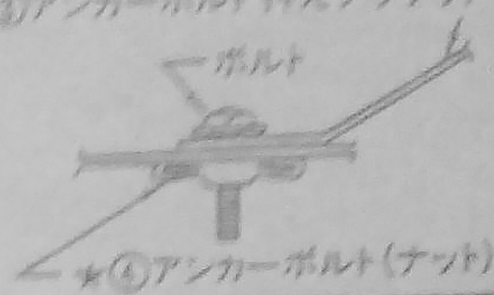


※φ10穴あけ後、必ず切粉材を取ってください。

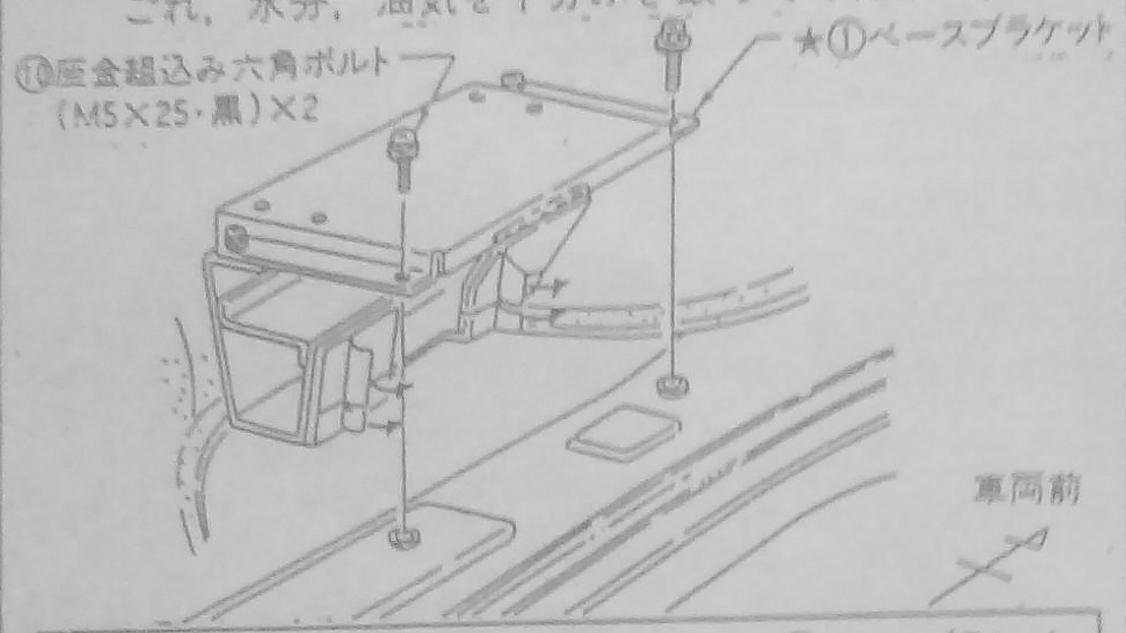
④③項であけた穴にアンカーボルトを取り付ける．(2ヵ所)
■穴にアンカーボルトを差し込み，アンカーボルト押えブラケットを当てボルトを締め付けてかしめます．



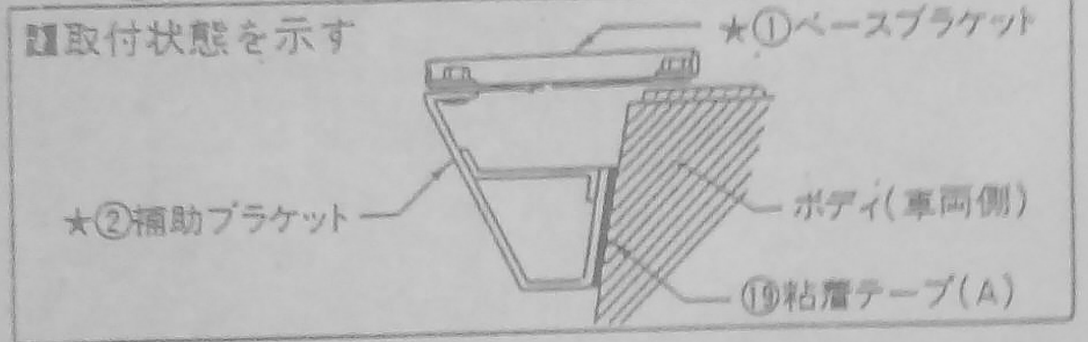
■アンカーボルトかしめ状態
アンカーボルトを確実にかしめたら，アンカーボルト押えブラケットボルトをはずします．



⑤車両側にベースブラケット，補助ブラケットを取り付ける．
注）補助ブラケットを貼り付ける際，貼付位置表面のよごれ，水分，油気を十分ふき取ってください．

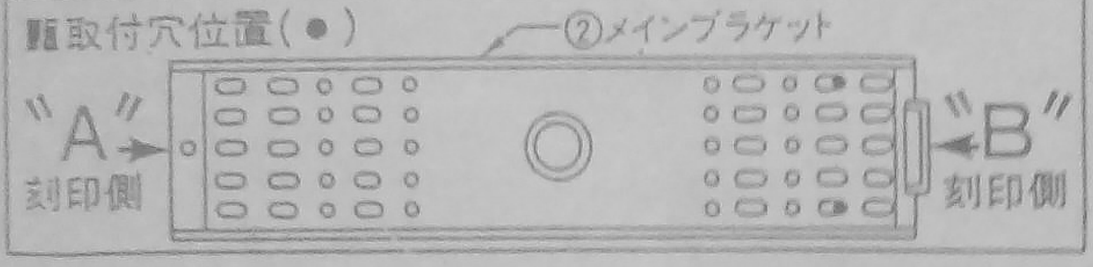


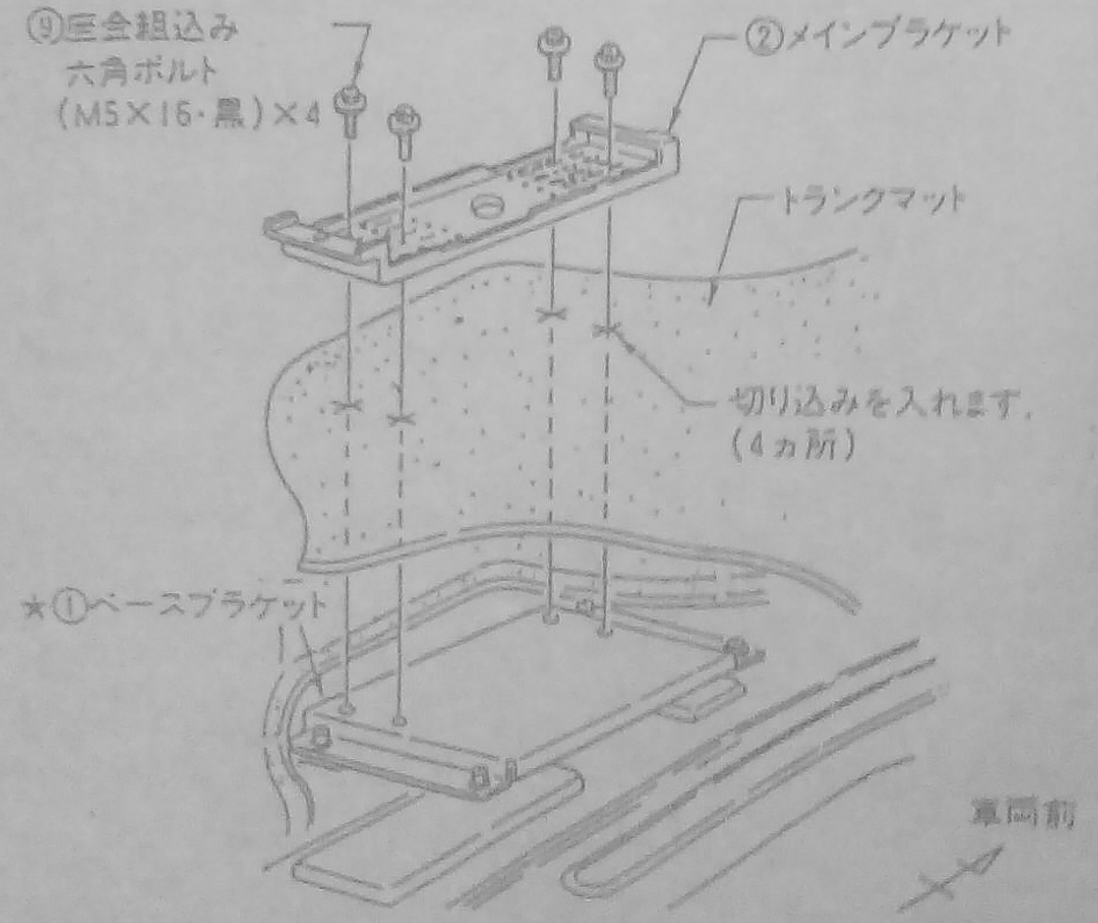
■1取付状態を示す



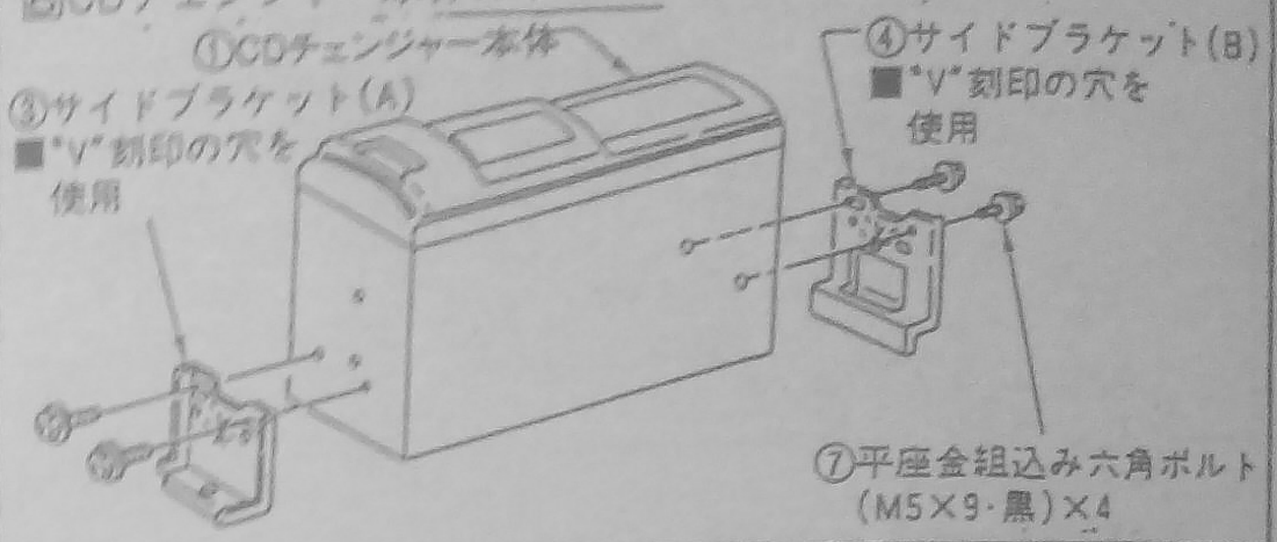
⑥トランクマットを元に戻しベースブラケットの取り付け穴位置のところへ切り込みを入れる．(4ヵ所)
⑦ベースブラケットへメインブラケットを取り付ける．

■2取付穴位置(●)



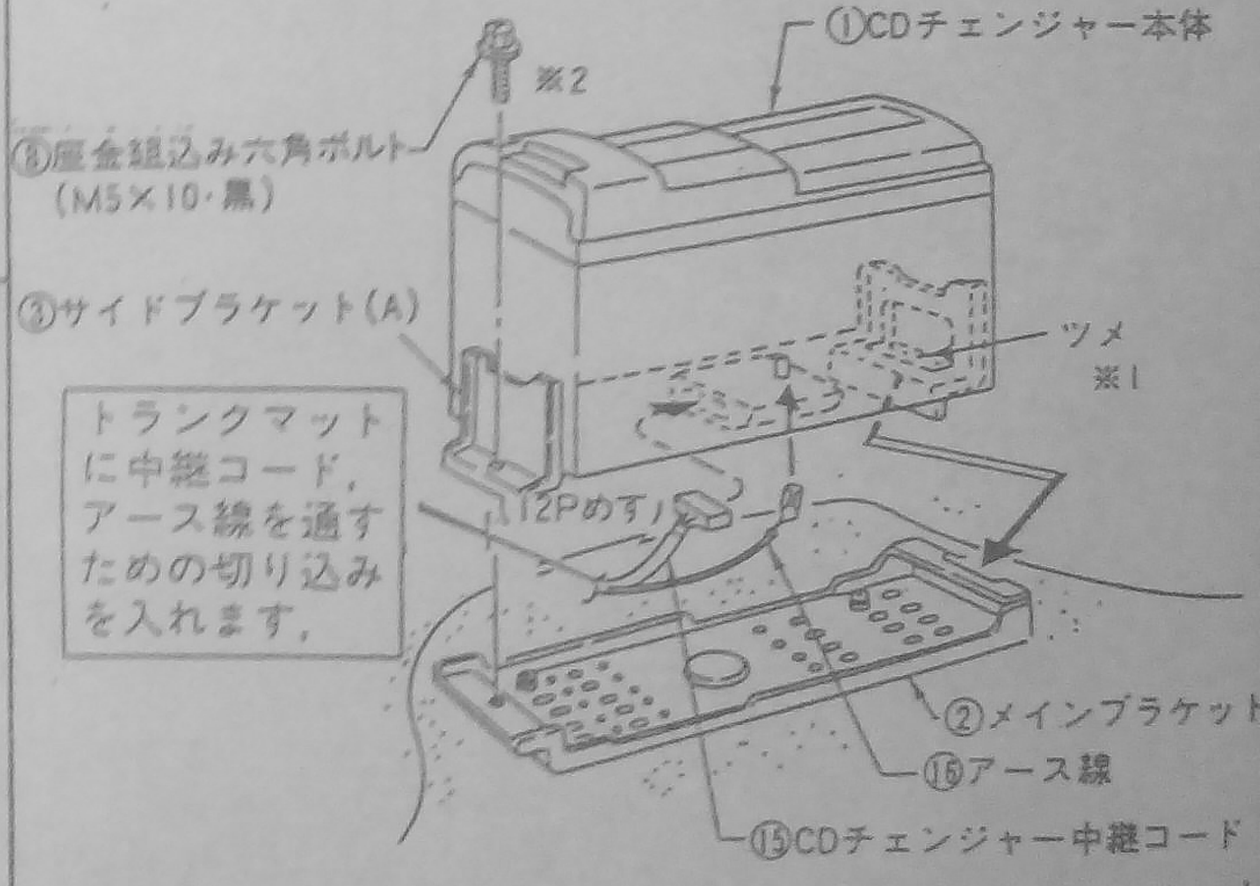


⑧CDチェンジャー本体にサイドブラケットを取り付ける．

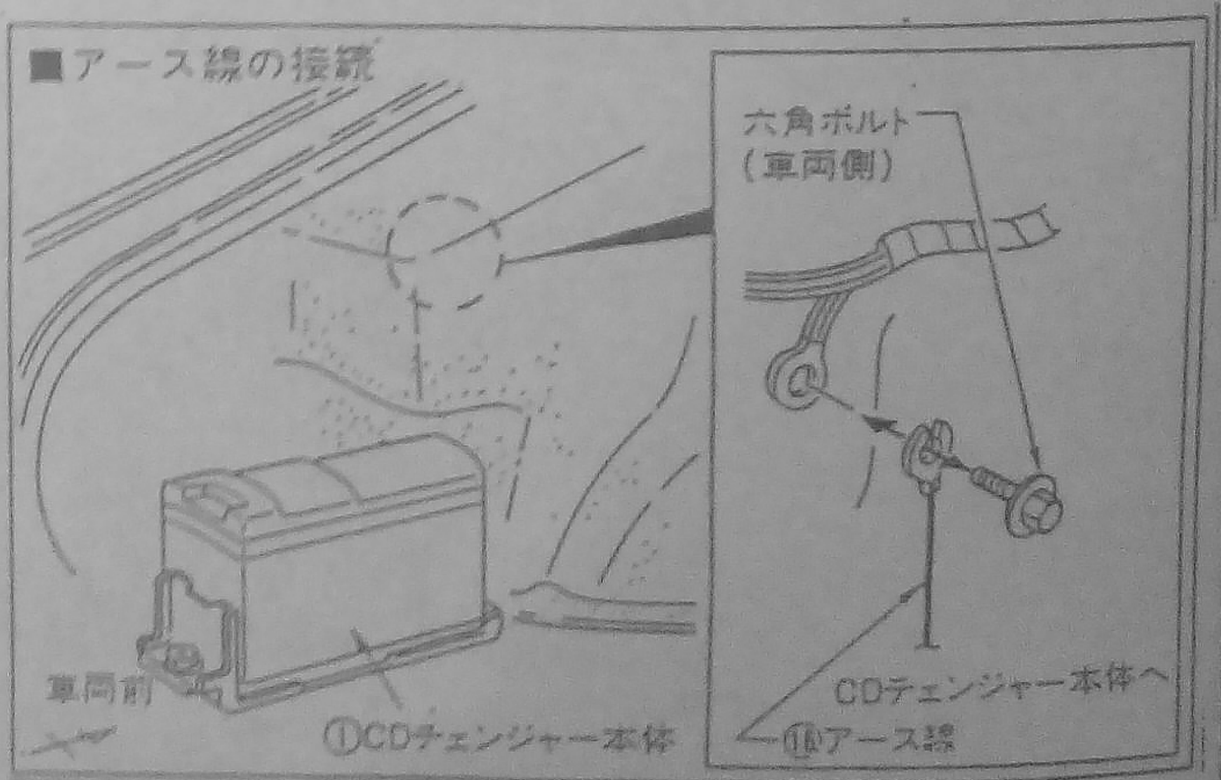


⑨中継コード，アース線をCDチェンジャー本体に接続する．
⑩メインブラケットにCDチェンジャー本体を取り付ける．

CDチェンジャー本体の取付手順
※1……ツメをメインブラケットに差し込む．
※2……メインブラケットにサイドブラケット(A)を固定する．



■アース線の接続



TECHNO

技術にこころをそえて――トヨタサービス